

| | | | | | |
|---------------------------------|--|-------|---------|--------------------|-------------------|
| 科目名 | 【新カリ】Basic English I ①S | | | 授業形態 | 講義 |
| 英語科目名 | Basic English I ①S | | | 対象学年 | 1年 |
| 開講学期 | 2022年度前期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | 堀 智子 | | | ナンバリング | LNG1101 |
| 担当教員 | 堀 智子、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | <p>【授業全体の内容】</p> <p>本科目は、演習の授業形態で行われる。入学時のプレースメントテストの結果により、各自の英語レベルに応じたクラスを受講する。基本的な語彙力を習得し文法や文構造を理解することで、実践的な英語運用能力を磨くための基礎固めをする。また、主体的に英語のスキルアップに取り組めるよう効果的な学習方法についても紹介する。教材には TOEFL 等の試験問題を積極的に取り入れ、その他各種英語資格・検定試験にも対応できる力を養成する。</p> | | | | |
| 到達目標 | <p>【授業の到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 英語コミュニケーション力の基礎となる語彙や文法を理解し、使うことができる。 2. 身近な話題からキャンパスライフに関連した内容の英語を聞いて理解できる。 3. 自分自身や身近な話題について英語で表現できる。 4. 大学生に必要な教養英語の語彙を習得し、限られた時間内に英文を読み内容を理解できる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・外国語科目の必修科目である。また、中・高保健体育1種免許取得にあたっての必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | <p>【授業の位置づけ（学位授与方針に定められている知識・能力等との関連）】</p> <p>この科目は、スポーツ健康科学部の学位授与方針である「グローバル社会において連携や協働できるコミュニケーション能力」の基礎力の習得を目指している。</p> | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | <p>【履修要件】</p> <p>4月に実施するプレースメントテストのスコアによりクラス分けを行うので、指定クラスを受講する。</p> | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | <p>【成績評価の方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業外課題、授業内活動、小テスト等(60%) 2. TOEFL模擬試験 (40%) | | | | |
| 評価基準 | <p>【成績評価の基準】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的な語彙や文法を理解し、文法問題や読解問題を解くことができる。（平常点、小テスト、TOEFL） 2. 身近な話題や大学生活に関連する英語を聞き、内容を把握し、伝えることができる。（平常点、小テスト、TOEFL） 3. 学術的あるいは身近な話題について書かれた英文を理解できる。（平常点、課題） | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| テストや課題については授業内に担当教員からフィードバックする。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | TOEFL TEST必ずでる単スピードマスター | 林 功 他 | Jリサーチ出版 | 9784863924130 | 購入必須 購入方法は指示しません。 |
| 参考文献 | | | | | |
| 授業内で別途案内する。 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>【連絡先】</p> <p>担当： 堀智子 E-mail：t-hori[at]juntendo.ac.jp [at]を@に置き換えてください。</p> <p>【オフィスアワー】</p> <p>火曜日/水曜日 昼休み 1号館3階 1304室</p> | | | | |
| 担当教員の実務経験 | | | | | |
| 備考 | <p>【学修時間】 この授業は、演習の授業形態による2単位科目であり、授業60時間、予習・復習30時間の計90時間の学修を必要とする。1回の授業時間は100分とする。</p> <p>【その他】</p> <p>中・高教諭1種免許（保健体育）取得するための必修科目 科目：教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 施行規則に定める科目区分又は事項等：外国語コミュニケーション</p> <p>英語力の伸びを確認するためにTOEFL ITP試験を年に2回実施する。 科目担当者欄に記載のあるいずれかの担当者が担当する。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p> | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 | |

| | | | | |
|----|------|--|---|--|
| 1 | 堀 智子 | <p>【授業内容】</p> <p>①ガイダンス:単位取得上の諸注意、授業展開の概要を説明する。また、英語力向上に必要な日々の学習方法を紹介する。</p> <p>②アクティビティ:受講者同士のコミュニケーションを促進するための活動を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(復習:4時間)</p> <p>授業内で紹介した学習方法で英語のリスニングや語彙学習を行う。</p> |
| 2 | 堀 智子 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法問題演習と解説</p> <p>②リスニング:日常生活に関連した英文のリスニングを行い、語彙や表現を確認する。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習:2時間)</p> <p>語彙を増やすために指定の単語帳を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習:2時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 3 | 堀 智子 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目を解説、TOEFL問題で応用力を磨く。</p> <p>②リスニング:日常生活に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習:2時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習:2時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 4 | 堀 智子 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目を解説し、TOEFL問題で応用力を磨く。</p> <p>②リスニング:日常生活に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習:2時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習:2時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 5 | 堀 智子 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目を確認し、TOEFL問題で応用力を磨く。</p> <p>②リスニング:キャンパスライフに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習:2時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習:2時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 6 | 堀 智子 | <p>【授業内容】</p> <p>①単語テストの実施、文法問題演習及び解説</p> <p>②リスニング:キャンパスライフに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習:2時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習:2時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 7 | 堀 智子 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目:ここまでの文法項目の復習をし、TOEFL問題で実践力を磨く。</p> <p>②リスニング:キャンパスライフに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習:2時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習:2時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 8 | 堀 智子 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目を復習し、TOEFL問題で応用力を磨く。</p> <p>②リスニング:キャンパスライフに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習:2時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習:2時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 9 | 堀 智子 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目を復習し、TOEFL問題で応用力を磨く。</p> <p>②リスニング:講義トピックに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習:2時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習:2時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 10 | 堀 智子 | <p>【授業内容】</p> <p>①TOEFL模擬試験でこれまでの理解と弱点を確認する。</p> <p>②リスニング:講義トピックに関連した英文のリスニングを行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>模擬試験によって時間配分や弱点を把握し、今後の具体的な対策をたてる。</p> | <p>(予習:2時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習:2時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 11 | 堀 智子 | <p>【授業内容】</p> <p>①TOEFL問題演習</p> <p>②リスニング:講義トピックに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>問題の解説、会話練習</p> | <p>(予習:2時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習:2時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |

| | | | | |
|----|------|---|--|---|
| 12 | 堀 智子 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目：これまで間違いが多かった項目について解説を行い、練習問題を行う。</p> <p>②リスニング：講義トピックに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：2時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習：3時間)</p> <p>理解が曖昧な文法項目の確認やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 13 | 堀 智子 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目：間違いが多かった項目について解説を行い、練習問題を行う。</p> <p>②リスニング：講義トピックに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：2時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習：3時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 14 | 堀 智子 | <p>【授業内容】</p> <p>前期学習内容の総復習</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：2時間)</p> <p>弱点と思われる項目について再度確認しておく。</p> <p>(復習：4時間)</p> <p>授業で扱った項目について総復習する。</p> |
| | | 定期試験 | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

| | | | | | |
|---------------------------------|--|--------|---------|---------------|----|
| 科目名 | 【新カリ】Basic English I ②D | 授業形態 | 講義 | | |
| 英語科目名 | Basic English I ②D | 対象学年 | 1年 | | |
| 開講学期 | 2022年度前期 | 単位数 | 2単位 | | |
| 代表教員 | 庄子 ひとみ | ナンバリング | LNG1101 | | |
| 担当教員 | 庄子 ひとみ、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | <p>【授業全体の内容】</p> <p>本科目は、演習の授業形態で行われる。入学時のプレースメントテストの結果により、各自の英語レベルに応じたクラスを受講する。基本的な語彙力を習得し文法や文構造を理解することで、実践的な英語運用能力を磨くための基礎固めをする。また、主体的に英語のスキルアップに取り組めるよう効果的な学習方法についても紹介する。教材には TOEFL 等の試験問題を積極的に取り入れ、その他各種英語資格・検定試験にも対応できる力を養成する。</p> | | | | |
| 到達目標 | <p>【授業の到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 英語コミュニケーション力の基礎となる語彙や文法を理解し、使うことができる。 2. 身近な話題からキャンパスライフに関連した内容の英語を聞いて理解できる。 3. 自分自身や身近な話題について英語で表現できる。 4. 大学生に必要な教養英語の語彙を習得し、限られた時間内に英文を読み内容を理解できる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・外国語科目の必修科目である。また、中・高保健体育1種免許取得にあたっての必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | <p>【授業の位置づけ（学位授与方針に定められている知識・能力等との関連）】</p> <p>この科目は、スポーツ健康科学部の学位授与方針である「グローバル社会において連携や協働できるコミュニケーション能力」の基礎力の習得を目指している。</p> | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | <p>【履修要件】</p> <p>4月に実施するプレースメントテストのスコアによりクラス分けを行うので、指定クラスを受講する。</p> <p>【課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法】</p> <p>課題に対するフィードバックは授業内で行い、問題点の解説や強化すべき事項を明示する。</p> <p>【テキスト・参考書等】</p> <p>TOEFL TEST 必ずでる単 スピードマスター（Jリサーチ出版） 他 指定テキストは必ず購入してください。購入方法は別途連絡します。</p> <p>その他の教材については、担当者が授業内で指示します。</p> | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | <p>【成績評価の方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業外課題、授業内活動、小テスト等 (60%) 2. TOEFL模擬試験 (40%) | | | | |
| 評価基準 | <p>【成績評価の基準】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的な語彙や文法を理解し、文法問題や読解問題を解くことができる。（平常点、小テスト、TOEFL） 2. 身近な話題や大学生活に関連する英語を聞き、内容を把握し、伝えることができる。（平常点、小テスト、TOEFL） 3. 学術的あるいは身近な話題について書かれた英文を理解できる。（平常点、課題） | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| テストや課題については授業内に担当教員からフィードバックする。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | TOEFL TEST必ずでる単スピードマスター | 林 功 他 | Jリサーチ出版 | 9784863924130 | |
| 参考文献 | | | | | |
| 授業内で別途案内する。 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>【連絡先】</p> <p>担当：庄子ひとみ E-mail：hi-shoji[at]juntendo.ac.jp [at]を@に置き換えてください。</p> <p>【オフィスアワー】 火曜日~木曜日 昼休み</p> | | | | |
| 担当教員の実務経験 | | | | | |
| 備考 | <p>【学修時間】 この授業は、演習の授業形態による2単位科目であり、授業60時間、予習・復習30時間の計90時間の学修を必要とする。1回の授業時間は100分とする。</p> <p>【その他】</p> <p>中・高教諭1種免許（保健体育）取得するための必修科目 科目：教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 施行規則に定める科目区分又は事項等：外国語コミュニケーション</p> <p>英語力の伸びを確認するためにTOEFL ITP試験を年に2回実施する。 科目担当者欄に記載のあるいずれかの担当者が担当する。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p> | | | | |

| 授業計画 | | | | |
|------|--|---|---|---|
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 |
| 1 | 堀 智子、庄子 ひとみ、廣瀬 絵美、ウィレムセン・マシュー、コニグリアーロ・フランシス、有江 和美、林 美里 | 【授業内容】 ①ガイダンス：単位取得上の諸注意、授業展開の概要を説明する。また、英語力向上に必要な日々の学習方法を紹介する。 ②アクティビティ：受講者同士のコミュニケーションを促進するための活動を行う。 | 【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (復習：4時間) 授業内で紹介した学習方法で英語のリスニングや語彙学習を行う。 |
| 2 | 堀 智子、庄子 ひとみ、廣瀬 絵美、ウィレムセン・マシュー、コニグリアーロ・フランシス、有江 和美、林 美里 | 【授業内容】 ①文法問題演習と解説 ②リスニング：日常生活に関連した英文のリスニングを行い、語彙や表現を確認する。 | 【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：2時間) 語彙を増やすために指定の単語帳を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。 (復習：2時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 3 | 堀 智子、庄子 ひとみ、廣瀬 絵美、ウィレムセン・マシュー、コニグリアーロ・フランシス、有江 和美、林 美里 | 【授業内容】 ①文法項目を解説、TOEFL問題で応用力を磨く。 ②リスニング：日常生活に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | 【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：2時間) 語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。 (復習：2時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 4 | 堀 智子、庄子 ひとみ、廣瀬 絵美、ウィレムセン・マシュー、コニグリアーロ・フランシス、有江 和美、林 美里 | 【授業内容】 ①文法項目を解説し、TOEFL問題で応用力を磨く。 ②リスニング：日常生活に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | 【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：2時間) 語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。 (復習：2時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 5 | 堀 智子、庄子 ひとみ、廣瀬 絵美、ウィレムセン・マシュー、コニグリアーロ・フランシス、有江 和美、林 美里 | 【授業内容】 ①文法項目を確認し、TOEFL問題で応用力を磨く。 ②リスニング：キャンパスライフに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | 【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：2時間) 語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。 (復習：2時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 6 | 堀 智子、庄子 ひとみ、廣瀬 絵美、ウィレムセン・マシュー、コニグリアーロ・フランシス、有江 和美、林 美里 | 【授業内容】 ①単語テストの実施、文法問題演習及び解説 ②リスニング：キャンパスライフに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | 【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：2時間) 語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。 (復習：2時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 7 | 堀 智子、庄子 ひとみ、廣瀬 絵美、ウィレムセン・マシュー、コニグリアーロ・フランシス、有江 和美、林 美里 | 【授業内容】 ①文法項目：ここまでの文法項目の復習をし、TOEFL問題で実践力を磨く。 ②リスニング：キャンパスライフに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | 【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：2時間) 語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。 (復習：2時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |

| | | | | |
|----|--|---|---|---|
| 8 | 堀 智子、庄子 ひとみ、廣瀬 絵美、ウィレムセン・マシュー、コングリアーロ・フランシス、有江 和美、林 美里 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目を復習し、TOEFL問題で応用力を磨く。</p> <p>②リスニング：キャンパスライフに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：2時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習：2時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 9 | 堀 智子、庄子 ひとみ、廣瀬 絵美、ウィレムセン・マシュー、コングリアーロ・フランシス、有江 和美、林 美里 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目を復習し、TOEFL問題で応用力を磨く。</p> <p>②リスニング：講義トピックに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：2時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習：2時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 10 | 堀 智子、庄子 ひとみ、廣瀬 絵美、ウィレムセン・マシュー、コングリアーロ・フランシス、有江 和美、林 美里 | <p>【授業内容】</p> <p>①TOEFL模擬試験でこれまでの理解と弱点を確認する。</p> <p>②リスニング：講義トピックに関連した英文のリスニングを行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>模擬試験によって時間配分や弱点を把握し、今後の具体的な対策をたてる。</p> | <p>(予習：2時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習：2時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 11 | 堀 智子、庄子 ひとみ、廣瀬 絵美、ウィレムセン・マシュー、コングリアーロ・フランシス、有江 和美、林 美里 | <p>【授業内容】</p> <p>①TOEFL問題演習</p> <p>②リスニング：講義トピックに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>問題の解説、会話練習</p> | <p>(予習：2時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習：2時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 12 | 堀 智子、庄子 ひとみ、廣瀬 絵美、ウィレムセン・マシュー、コングリアーロ・フランシス、有江 和美、林 美里 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目：これまで間違いが多かった項目について解説を行い、練習問題を行う。</p> <p>②リスニング：講義トピックに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：2時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習：3時間)</p> <p>理解が曖昧な文法項目の確認やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 13 | 堀 智子、庄子 ひとみ、廣瀬 絵美、ウィレムセン・マシュー、コングリアーロ・フランシス、有江 和美、林 美里 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目：間違いが多かった項目について解説を行い、練習問題を行う。</p> <p>②リスニング：講義トピックに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：2時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習：3時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 14 | 堀 智子、庄子 ひとみ、廣瀬 絵美、ウィレムセン・マシュー、コングリアーロ・フランシス、有江 和美、林 美里 | <p>【授業内容】</p> <p>前期学習内容の総復習</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：2時間)</p> <p>弱点と思われる項目について再度確認しておく。</p> <p>(復習：4時間)</p> <p>授業で扱った項目について総復習する。</p> |
| | | 定期試験 | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

| | | | | |
|--|--|--|--|--|
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

| | | | | | |
|---------------------------------|---|--------|---------|---------------|----|
| 科目名 | 【新カリ】Basic English I ③C | 授業形態 | 講義 | | |
| 英語科目名 | Basic English I ③C | 対象学年 | 1年 | | |
| 開講学期 | 2022年度前期 | 単位数 | 2単位 | | |
| 代表教員 | 廣瀬 絵美 | ナンバリング | LNG1101 | | |
| 担当教員 | 廣瀬 絵美、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | <p>【授業全体の内容】</p> <p>本科目は、演習の授業形態で行われる。入学時のプレACEMENTテストの結果により、各自の英語レベルに応じたクラスを受講する。基本的な語彙力を習得し文法や文構造を理解することで、実践的な英語運用能力を磨くための基礎固めをする。また、主体的に英語のスキルアップに取り組めるよう効果的な学習方法についても紹介する。教材には TOEFL 等の試験問題を積極的に取り入れ、その他各種英語資格・検定試験にも対応できる力を養成する。</p> | | | | |
| 到達目標 | <p>【授業の到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 英語コミュニケーション力の基礎となる語彙や文法を理解し、使うことができる。 2. 身近な話題からキャンパスライフに関連した内容の英語を聞いて理解できる。 3. 自分自身や身近な話題について英語で表現できる。 4. 大学生に必要な教養英語の語彙を習得し、限られた時間内に英文を読み内容を理解できる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・外国語科目の必修科目である。また、中・高保健体育1種免許取得にあたっての必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | <p>【授業の位置づけ（学位授与方針に定められている知識・能力等との関連）】</p> <p>この科目は、スポーツ健康科学部の学位授与方針である「グローバル社会において連携や協働できるコミュニケーション能力」の基礎力の習得を目指している。</p> | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | <p>【履修要件】</p> <p>4月に実施するプレACEMENTテストのスコアによりクラス分けを行うので、指定クラスを受講する。</p> <p>【課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法】</p> <p>課題に対するフィードバックは授業内で行い、問題点の解説や強化すべき事項を明示する。</p> <p>【テキスト・参考書等】</p> <p>TOEFL TEST 必ずでる単 スピードマスター（Jリサーチ出版） Boost Your English I (TOEFL ITP)（成美堂） 他 指定テキストは必ず購入してください。購入方法は別途連絡します。</p> <p>その他の教材については、担当者が授業内で指示します。</p> | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | <p>【成績評価の方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業外課題、授業内活動、小テスト等(60%) 2. TOEFL模擬試験 (40%) | | | | |
| 評価基準 | <p>【成績評価の基準】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的な語彙や文法を理解し、文法問題や読解問題を解くことができる。（平常点、小テスト、TOEFL） 2. 身近な話題や大学生活に関連する英語を聞き、内容を把握し、伝えることができる。（平常点、小テスト、TOEFL） 3. 学術的あるいは身近な話題について書かれた英文を理解できる。（平常点、課題） | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| テストや課題については授業内に担当教員からフィードバックする。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | TOEFL TEST必ずでる単スピードマスター | 林 功 他 | Jリサーチ出版 | 9784863924130 | |
| | Boost Your English I (TOEFL ITP) | | 成美堂 | 784791931248 | |
| 参考文献 | | | | | |
| 授業内で別途案内する。 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>【連絡先】</p> <p>担当： 廣瀬絵美 E-mail : e.hirose.df@juntendo.ac.jp [at]を@に置き換えてください。</p> <p>【オフィスアワー】 火曜日 昼休み 1号館3階 廣瀬絵美研究室</p> | | | | |
| 担当教員の実務経験 | | | | | |

| 備考 | | | | |
|---|---|--|--|--|
| <p>【学修時間】 この授業は、演習の授業形態による2単位科目であり、授業60時間、予習・復習30時間の計90時間の学修を必要とする。1回の授業時間は100分とする。</p> <p>【その他】 中・高教諭1種免許（保健体育）取得するための必修科目 科目：教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 施行規則に定める科目区分又は事項等：外国語コミュニケーション</p> <p>英語力の伸びを確認するためにTOEFL ITP試験を年に2回実施する。 科目担当者欄に記載のあるいずれかの担当者が担当する。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p> | | | | |
| 授業計画 | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 |
| 1 | 堀 智子、庄 子 ひとみ、 廣瀬 絵美、 ウィレムセ ン・マ シュー、コニ グリアーロ・ フランス、 有江 和美、 林 美里 | <p>【授業内容】</p> <p>①ガイダンス：単位取得上の諸注意、授業展開の概要を説明する。また、英語力向上に必要な日々の学習方法を紹介する。 ②アクティビティ：受講者同士のコミュニケーションを促進するための活動を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(復習：1時間)</p> <p>授業内で紹介した学習方法で英語のリスニングや語彙学習を行う。</p> |
| 2 | 堀 智子、庄 子 ひとみ、 廣瀬 絵美、 ウィレムセ ン・マ シュー、コニ グリアーロ・ フランス、 有江 和美、 林 美里 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法問題演習と解説 ②リスニング：日常生活に関連した英文のリスニングを行い、語彙や表現を確認する。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：1時間)</p> <p>語彙を増やすために指定の単語帳を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 3 | 堀 智子、庄 子 ひとみ、 廣瀬 絵美、 ウィレムセ ン・マ シュー、コニ グリアーロ・ フランス、 有江 和美、 林 美里 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目を解説、TOEFL問題で応用力を磨く。 ②リスニング：日常生活に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：1時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 4 | 堀 智子、庄 子 ひとみ、 廣瀬 絵美、 ウィレムセ ン・マ シュー、コニ グリアーロ・ フランス、 有江 和美、 林 美里 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目を解説し、TOEFL問題で応用力を磨く。 ②リスニング：日常生活に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：1時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 5 | 堀 智子、庄 子 ひとみ、 廣瀬 絵美、 ウィレムセ ン・マ シュー、コニ グリアーロ・ フランス、 有江 和美、 林 美里 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目を確認し、TOEFL問題で応用力を磨く。 ②リスニング：キャンパスライフに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：1時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 6 | 堀 智子、庄 子 ひとみ、 廣瀬 絵美、 ウィレムセ ン・マ シュー、コニ グリアーロ・ フランス、 有江 和美、 林 美里 | <p>【授業内容】</p> <p>①単語テストの実施、文法問題演習及び解説 ②リスニング：キャンパスライフに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：1時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |

| | | | | |
|----|--|--|--|--|
| 7 | 堀 智子、庄 子 ひとみ、 廣瀬 絵美、 ウィレムセ ン・マ シュー、コニ グリアーロ・ フランシス、 有江 和美、 林 美里 | 【授業内容】 ①文法項目：ここまでの文法項目の復習をし、TOEFL問題で実践力を磨く。 ②リスニング：キャンパスライフに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | 【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) 語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 8 | 堀 智子、庄 子 ひとみ、 廣瀬 絵美、 ウィレムセ ン・マ シュー、コニ グリアーロ・ フランシス、 有江 和美、 林 美里 | 【授業内容】 ①文法項目を復習し、TOEFL問題で応用力を磨く。 ②リスニング：キャンパスライフに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | 【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) 語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 9 | 堀 智子、庄 子 ひとみ、 廣瀬 絵美、 ウィレムセ ン・マ シュー、コニ グリアーロ・ フランシス、 有江 和美、 林 美里 | 【授業内容】 ①文法項目を復習し、TOEFL問題で応用力を磨く。 ②リスニング：講義トピックに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | 【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) 語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 10 | 堀 智子、庄 子 ひとみ、 廣瀬 絵美、 ウィレムセ ン・マ シュー、コニ グリアーロ・ フランシス、 有江 和美、 林 美里 | 【授業内容】 ①TOEFL模擬試験でこれまでの理解と弱点を確認する。 ②リスニング：講義トピックに関連した英文のリスニングを行う。 | 【授業方法】 模擬試験によって時間配分や弱点を把握し、今後の具体的な対策をたてる。 | (予習：1時間) 語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 11 | 堀 智子、庄 子 ひとみ、 廣瀬 絵美、 ウィレムセ ン・マ シュー、コニ グリアーロ・ フランシス、 有江 和美、 林 美里 | 【授業内容】 ①TOEFL問題演習 ②リスニング：講義トピックに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | 【授業方法】 問題の解説、会話練習 | (予習：1時間) 語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 12 | 堀 智子、庄 子 ひとみ、 廣瀬 絵美、 ウィレムセ ン・マ シュー、コニ グリアーロ・ フランシス、 有江 和美、 林 美里 | 【授業内容】 ①文法項目：これまで間違いが多かった項目について解説を行い、練習問題を行う。 ②リスニング：講義トピックに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | 【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) 語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。 (復習：1時間) 理解が曖昧な文法項目の確認やリスニング問題の復習をする。 |
| 13 | 堀 智子、庄 子 ひとみ、 廣瀬 絵美、 ウィレムセ ン・マ シュー、コニ グリアーロ・ フランシス、 有江 和美、 林 美里 | 【授業内容】 ①文法項目：間違いが多かった項目について解説を行い、練習問題を行う。 ②リスニング：講義トピックに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | 【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) 語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。 (復習：2時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 14 | 堀 智子、庄 子 ひとみ、 廣瀬 絵美、 ウィレムセ ン・マ シュー、コニ グリアーロ・ フランシス、 有江 和美、 林 美里 | 【授業内容】 前期学習内容の総復習 | 【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：2時間) 弱点と思われる項目について再度確認しておく。 (復習：2時間) 授業で扱った項目について総復習する。 |
| | | 定期試験 | | |

| | | | | | |
|---------------------------------|---|-------|---------|--------------------|------------------|
| 科目名 | 【新カリ】Basic English I ④B | | | 授業形態 | 講義 |
| 英語科目名 | Basic English I ④B | | | 対象学年 | 1年 |
| 開講学期 | 2022年度前期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | Fran Conigliaro | | | ナンバリング | LNG1101 |
| 担当教員 | Fran Conigliaro、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | <p>【授業全体の内容】</p> <p>本科目は、演習の授業形態で行われる。入学時のプレースメントテストの結果により、各自の英語レベルに応じたクラスを受講する。基本的な語彙力を習得し文法や文構造を理解することで、実践的な英語運用能力を磨くための基礎固めをする。また、主体的に英語のスキルアップに取り組めるよう効果的な学習方法についても紹介する。教材には TOEFL 等の試験問題を積極的に取り入れ、その他各種英語資格・検定試験にも対応できる力を養成する。</p> | | | | |
| 到達目標 | <p>【授業の到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 英語コミュニケーション力の基礎となる語彙や文法を理解し、使うことができる。 2. 身近な話題からキャンパスライフに関連した内容の英語を聞いて理解できる。 3. 自分自身や身近な話題について英語で表現できる。 4. 大学生に必要な教養英語の語彙を習得し、限られた時間内に英文を読み内容を理解できる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・外国語科目の必修科目である。また、中・高保健体育1種免許取得にあたっての必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | <p>【授業の位置づけ（学位授与方針に定められている知識・能力等との関連）】</p> <p>この科目は、スポーツ健康科学部の学位授与方針である「グローバル社会において連携や協働できるコミュニケーション能力」の基礎力の習得を目指している。</p> | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | <p>【履修要件】</p> <p>4月に実施するプレースメントテストのスコアによりクラス分けを行うので、指定クラスを受講する。</p> | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | <p>【成績評価の方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業外課題、授業内活動、小テスト等(60%) 2. TOEFL模擬試験 (40%) | | | | |
| 評価基準 | <p>【成績評価の基準】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的な語彙や文法を理解し、文法問題や読解問題を解くことができる。（平常点、小テスト、TOEFL） 2. 身近な話題や大学生活に関連する英語を聞き、内容を把握し、伝えることができる。（平常点、小テスト、TOEFL） 3. 学術的あるいは身近な話題について書かれた英文を理解できる。（平常点、課題） | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| テストや課題については授業内に担当教員からフィードバックする。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | TOEFL TEST必ずでる単スピードマスター | 林 功 他 | Jリサーチ出版 | 9784863924130 | 購入必須 購入方法は指示します。 |
| 参考文献 | | | | | |
| 授業内で別途案内する。 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>【連絡先】 Contact Email: franc[at]juntendo.ac.jp [at] を@に変えて送信してください。</p> <p>【オフィスアワー】 Office Hours 1号館 3階 1302室 Tuesdays, 16:15-16:35</p> | | | | |
| 担当教員の実務経験 | | | | | |
| 備考 | <p>【学修時間】 この授業は、演習の授業形態による2単位科目であり、授業60時間、予習・復習30時間の計90時間の学修を必要とする。1回の授業時間は100分とする。</p> <p>【その他】 中・高教諭1種免許（保健体育）取得するための必修科目 科目：教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 施行規則に定める科目区分又は事項等：外国語コミュニケーション</p> <p>英語力の伸びを確認するためにTOEFL ITP試験を年に2回実施する。 科目担当者欄に記載のあるいずれかの担当者が担当する。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p> | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 | |

| | | | | |
|----|--------------------|--|---|--|
| 1 | Fran Conigliaro | <p>【授業内容】</p> <p>①ガイダンス:単位取得上の諸注意、授業展開の概要を説明する。また、英語力向上に必要な日々の学習方法を紹介する。</p> <p>②アクティビティ:受講者同士のコミュニケーションを促進するための活動を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(復習:4時間)</p> <p>授業内で紹介した学習方法で英語のリスニングや語彙学習を行う。</p> |
| 2 | Fran Conigliaro | <p>【授業内容】</p> <p>①文法問題演習と解説</p> <p>②リスニング:日常生活に関連した英文のリスニングを行い、語彙や表現を確認する。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習:2時間)</p> <p>語彙を増やすために指定の単語帳を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習:2時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 3 | Fran Conigliaro | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目を解説、TOEFL問題で応用力を磨く。</p> <p>②リスニング:日常生活に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習:2時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習:2時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 4 | Fran Conigliaro | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目を解説し、TOEFL問題で応用力を磨く。</p> <p>②リスニング:日常生活に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習:2時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習:2時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 5 | Fran Conigliaro | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目を確認し、TOEFL問題で応用力を磨く。</p> <p>②リスニング:キャンパスライフに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習:2時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習:2時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 6 | Fran Conigliaro | <p>【授業内容】</p> <p>①単語テストの実施、文法問題演習及び解説</p> <p>②リスニング:キャンパスライフに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習:2時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習:2時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 7 | Fran Conigliaro | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目:ここまでの文法項目の復習をし、TOEFL問題で実践力を磨く。</p> <p>②リスニング:キャンパスライフに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習:2時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習:2時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 8 | Fran Conigliaro | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目を復習し、TOEFL問題で応用力を磨く。</p> <p>②リスニング:キャンパスライフに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習:2時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習:2時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 9 | Fran Conigliaro | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目を復習し、TOEFL問題で応用力を磨く。</p> <p>②リスニング:講義トピックに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習:2時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習:2時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 10 | Fran Conigliaro | <p>【授業内容】</p> <p>①TOEFL模擬試験でこれまでの理解と弱点を確認する。</p> <p>②リスニング:講義トピックに関連した英文のリスニングを行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>模擬試験によって時間配分や弱点を把握し、今後の具体的な対策をたてる。</p> | <p>(予習:2時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習:2時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 11 | Fran Conigliaro | <p>【授業内容】</p> <p>①TOEFL問題演習</p> <p>②リスニング:講義トピックに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>問題の解説、会話練習</p> | <p>(予習:2時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習:2時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |

| | | | | | |
|---------------------------------|---|-------|---------|--------------------|------------------|
| 科目名 | 【新カリ】Basic English I ⑤A | | | 授業形態 | 講義 |
| 英語科目名 | Basic English I ⑤A | | | 対象学年 | 1年 |
| 開講学期 | 2022年度前期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | Matthew Willemsen | | | ナンバリング | LNG1101 |
| 担当教員 | Matthew Willemsen、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | <p>【授業全体の内容】</p> <p>本科目は、演習の授業形態で行われる。入学時のプレースメントテストの結果により、各自の英語レベルに応じたクラスを受講する。基本的な語彙力を習得し文法や文構造を理解することで、実践的な英語運用能力を磨くための基礎固めをする。また、主体的に英語のスキルアップに取り組めるよう効果的な学習方法についても紹介する。教材には TOEFL 等の試験問題を積極的に取り入れ、その他各種英語資格・検定試験にも対応できる力を養成する。</p> | | | | |
| 到達目標 | <p>【授業の到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 英語コミュニケーション力の基礎となる語彙や文法を理解し、使うことができる。 2. 身近な話題からキャンパスライフに関連した内容の英語を聞いて理解できる。 3. 自分自身や身近な話題について英語で表現できる。 4. 大学生に必要な教養英語の語彙を習得し、限られた時間内に英文を読み内容を理解できる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・外国語科目の必修科目である。また、中・高保健体育1種免許取得にあたっての必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | 【授業の位置づけ（学位授与方針に定められている知識・能力等との関連）】 この科目は、スポーツ健康科学部の学位授与方針である「グローバル社会において連携や協働できるコミュニケーション能力」の基礎力の習得を目指している。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | 【履修要件】 4月に実施するプレースメントテストのスコアによりクラス分けを行うので、指定クラスを受講する。 | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | <p>【成績評価の方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業外課題、授業内活動、小テスト等 (60%) 2. TOEFL模擬試験 (40%) | | | | |
| 評価基準 | <p>【成績評価の基準】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的な語彙や文法を理解し、文法問題や読解問題を解くことができる。（平常点、小テスト、TOEFL） 2. 身近な話題や大学生活に関連する英語を聞き、内容を把握し、伝えることができる。（平常点、小テスト、TOEFL） 3. 学術的あるいは身近な話題について書かれた英文を理解できる。（平常点、課題） | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| テストや課題については授業内に担当教員からフィードバックする。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | TOEFL TEST必ずでる単スピードマスター | 林 功 他 | Jリサーチ出版 | 9784863924130 | 購入必須 購入方法は指示します。 |
| 参考文献 | | | | | |
| 授業内で別途案内する。 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>【連絡先】 Contact address matthew[at]juntendo.ac.jp *[at]を@に変更してください。</p> <p>【オフィスアワー】 Office hours Office hours Building 1 3rd floor, rm1302, Tuesdays, Wednesdays and Thursdays 8:00-8:30, Wednesdays 4:20-4:45</p> | | | | |
| 担当教員の実務経験 | | | | | |
| 備考 | <p>【学修時間】 この授業は、演習の授業形態による2単位科目であり、授業60時間、予習・復習30時間の計90時間の学修を必要とする。1回の授業時間は100分とする。</p> <p>【その他】 中・高教諭1種免許（保健体育）取得するための必修科目 科目：教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 施行規則に定める科目区分又は事項等：外国語コミュニケーション</p> <p>英語力の伸びを確認するためにTOEFL ITP試験を年に2回実施する。 科目担当者欄に記載のあるいずれかの担当者が担当する。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p> | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 | |

| | | | | |
|----|--------------------|--|---|--|
| 1 | Matthew Willemssen | <p>【授業内容】</p> <p>①ガイダンス：単位取得上の諸注意、授業展開の概要を説明する。また、英語力向上に必要な日々の学習方法を紹介する。</p> <p>②アクティビティ：受講者同士のコミュニケーションを促進するための活動を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(復習：4時間)</p> <p>授業内で紹介した学習方法で英語のリスニングや語彙学習を行う。</p> |
| 2 | Matthew Willemssen | <p>【授業内容】</p> <p>①文法問題演習と解説</p> <p>②リスニング：日常生活に関連した英文のリスニングを行い、語彙や表現を確認する。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：2時間)</p> <p>語彙を増やすために指定の単語帳を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習：2時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 3 | Matthew Willemssen | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目を解説、TOEFL問題で応用力を磨く。</p> <p>②リスニング：日常生活に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：2時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習：2時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 4 | Matthew Willemssen | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目を解説し、TOEFL問題で応用力を磨く。</p> <p>②リスニング：日常生活に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：2時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習：2時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 5 | Matthew Willemssen | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目を確認し、TOEFL問題で応用力を磨く。</p> <p>②リスニング：キャンパスライフに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：2時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習：2時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 6 | Matthew Willemssen | <p>【授業内容】</p> <p>①単語テストの実施、文法問題演習及び解説</p> <p>②リスニング：キャンパスライフに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：2時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習：2時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 7 | Matthew Willemssen | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目：ここまでの文法項目の復習をし、TOEFL問題で実践力を磨く。</p> <p>②リスニング：キャンパスライフに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：2時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習：2時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 8 | Matthew Willemssen | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目を復習し、TOEFL問題で応用力を磨く。</p> <p>②リスニング：キャンパスライフに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：2時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習：2時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 9 | Matthew Willemssen | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目を復習し、TOEFL問題で応用力を磨く。</p> <p>②リスニング：講義トピックに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：2時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習：2時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 10 | Matthew Willemssen | <p>【授業内容】</p> <p>①TOEFL模擬試験でこれまでの理解と弱点を確認する。</p> <p>②リスニング：講義トピックに関連した英文のリスニングを行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>模擬試験によって時間配分や弱点を把握し、今後の具体的な対策をたてる。</p> | <p>(予習：2時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習：2時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 11 | Matthew Willemssen | <p>【授業内容】</p> <p>①TOEFL問題演習</p> <p>②リスニング：講義トピックに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>問題の解説、会話練習</p> | <p>(予習：2時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習：2時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |

| | | | | |
|----|--------------------|--|---|--|
| 12 | Matthew Willemssen | 【授業内容】 ①文法項目：これまで間違いが多かった項目について解説を行い、練習問題を行う。 ②リスニング：講義トピックに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | 【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：2時間) 語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。 (復習：3時間) 理解が曖昧な文法項目の確認やリスニング問題の復習をする。 |
| 13 | Matthew Willemssen | 【授業内容】 ①文法項目：間違いが多かった項目について解説を行い、練習問題を行う。 ②リスニング：講義トピックに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | 【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：2時間) 語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。 (復習：3時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 14 | Matthew Willemssen | 【授業内容】 前期学習内容の総復習 | 【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：2時間) 弱点と思われる項目について再度確認しておく。 (復習：4時間) 授業で扱った項目について総復習する。 |
| | | 定期試験 | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

| | | | | | |
|---------------------------------|---|--------|---------|---------------|----|
| 科目名 | 【新カリ】Basic English I ⑥S | 授業形態 | 講義 | | |
| 英語科目名 | Basic English I ⑥S | 対象学年 | 1年 | | |
| 開講学期 | 2022年度前期 | 単位数 | 2単位 | | |
| 代表教員 | 廣瀬 絵美 | ナンバリング | LNG1101 | | |
| 担当教員 | 廣瀬 絵美、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | <p>【授業全体の内容】</p> <p>本科目は、演習の授業形態で行われる。入学時のプレースメントテストの結果により、各自の英語レベルに応じたクラスを受講する。基本的な語彙力を習得し文法や文構造を理解することで、実践的な英語運用能力を磨くための基礎固めをする。また、主体的に英語のスキルアップに取り組めるよう効果的な学習方法についても紹介する。教材には TOEFL 等の試験問題を積極的に取り入れ、その他各種英語資格・検定試験にも対応できる力を養成する。</p> | | | | |
| 到達目標 | <p>【授業の到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 英語コミュニケーション力の基礎となる語彙や文法を理解し、使うことができる。 2. 身近な話題からキャンパスライフに関連した内容の英語を聞いて理解できる。 3. 自分自身や身近な話題について英語で表現できる。 4. 大学生に必要な教養英語の語彙を習得し、限られた時間内に英文を読み内容を理解できる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・外国語科目の必修科目である。また、中・高保健体育1種免許取得にあたっての必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | <p>【授業の位置づけ（学位授与方針に定められている知識・能力等との関連）】</p> <p>この科目は、スポーツ健康科学部の学位授与方針である「グローバル社会において連携や協働できるコミュニケーション能力」の基礎力の習得を目指している。</p> | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | <p>【履修要件】</p> <p>4月に実施するプレースメントテストのスコアによりクラス分けを行うので、指定クラスを受講する。</p> <p>【課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法】</p> <p>課題に対するフィードバックは授業内で行い、問題点の解説や強化すべき事項を明示する。</p> <p>【テキスト・参考書等】</p> <p>TOEFL TEST 必ずでる単 スピードマスター（Jリサーチ出版） Boost Your English I (TOEFL ITP)（成美堂） 他 指定テキストは必ず購入してください。購入方法は別途連絡します。</p> <p>その他の教材については、担当者が授業内で指示します。</p> | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | <p>【成績評価の方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業外課題、授業内活動、小テスト等(60%) 2. TOEFL模擬試験 (40%) | | | | |
| 評価基準 | <p>【成績評価の基準】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的な語彙や文法を理解し、文法問題や読解問題を解くことができる。（平常点、小テスト、TOEFL） 2. 身近な話題や大学生活に関連する英語を聞き、内容を把握し、伝えることができる。（平常点、小テスト、TOEFL） 3. 学術的あるいは身近な話題について書かれた英文を理解できる。（平常点、課題） | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| テストや課題については授業内に担当教員からフィードバックする。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | TOEFL TEST必ずでる単スピードマスター | 林 功 他 | Jリサーチ出版 | 9784863924130 | |
| | Boost Your English I (TOEFL ITP) | | 成美堂 | 784791931248 | |
| 参考文献 | | | | | |
| 授業内で別途案内する。 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>【連絡先】</p> <p>担当： 廣瀬絵美 E-mail: e.hirose.df@juntendo.ac.jp [at]を@に置き換えてください。</p> <p>【オフィスアワー】 火曜日 昼休み 1号館3階 廣瀬絵美研究室</p> | | | | |
| 担当教員の実務経験 | | | | | |

| 備考 | | | | |
|---|---|--|--|--|
| <p>【学修時間】 この授業は、演習の授業形態による2単位科目であり、授業60時間、予習・復習30時間の計90時間の学修を必要とする。1回の授業時間は100分とする。</p> <p>【その他】 中・高教諭1種免許（保健体育）取得するための必修科目 科目：教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 施行規則に定める科目区分又は事項等：外国語コミュニケーション</p> <p>英語力の伸びを確認するためにTOEFL ITP試験を年に2回実施する。 科目担当者欄に記載のあるいずれかの担当者が担当する。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p> | | | | |
| 授業計画 | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 |
| 1 | 堀 智子、庄 子 ひとみ、 廣瀬 絵美、 ウィレムセ ン・マ シュー、コニ グリアーロ・ フランス、 有江 和美、 林 美里 | <p>【授業内容】</p> <p>①ガイダンス：単位取得上の諸注意、授業展開の概要を説明する。また、英語力向上に必要な日々の学習方法を紹介する。</p> <p>②アクティビティ：受講者同士のコミュニケーションを促進するための活動を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(復習：1時間)</p> <p>授業内で紹介した学習方法で英語のリスニングや語彙学習を行う。</p> |
| 2 | 堀 智子、庄 子 ひとみ、 廣瀬 絵美、 ウィレムセ ン・マ シュー、コニ グリアーロ・ フランス、 有江 和美、 林 美里 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法問題演習と解説</p> <p>②リスニング：日常生活に関連した英文のリスニングを行い、語彙や表現を確認する。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：1時間)</p> <p>語彙を増やすために指定の単語帳を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習：1時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 3 | 堀 智子、庄 子 ひとみ、 廣瀬 絵美、 ウィレムセ ン・マ シュー、コニ グリアーロ・ フランス、 有江 和美、 林 美里 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目を解説、TOEFL問題で応用力を磨く。</p> <p>②リスニング：日常生活に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：1時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習：1時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 4 | 堀 智子、庄 子 ひとみ、 廣瀬 絵美、 ウィレムセ ン・マ シュー、コニ グリアーロ・ フランス、 有江 和美、 林 美里 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目を解説し、TOEFL問題で応用力を磨く。</p> <p>②リスニング：日常生活に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：1時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習：1時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 5 | 堀 智子、庄 子 ひとみ、 廣瀬 絵美、 ウィレムセ ン・マ シュー、コニ グリアーロ・ フランス、 有江 和美、 林 美里 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目を確認し、TOEFL問題で応用力を磨く。</p> <p>②リスニング：キャンパスライフに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：1時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習：1時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 6 | 堀 智子、庄 子 ひとみ、 廣瀬 絵美、 ウィレムセ ン・マ シュー、コニ グリアーロ・ フランス、 有江 和美、 林 美里 | <p>【授業内容】</p> <p>①単語テストの実施、文法問題演習及び解説</p> <p>②リスニング：キャンパスライフに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：1時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習：1時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |

| | | | | |
|----|--|--|--|--|
| 7 | 堀 智子、庄 子 ひとみ、 廣瀬 絵美、 ウィレムセ ン・マ シュー、コニ グリアーロ・ フランシス、 有江 和美、 林 美里 | 【授業内容】 ①文法項目：ここまでの文法項目の復習をし、TOEFL問題で実践力を磨く。 ②リスニング：キャンパスライフに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | 【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) 語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 8 | 堀 智子、庄 子 ひとみ、 廣瀬 絵美、 ウィレムセ ン・マ シュー、コニ グリアーロ・ フランシス、 有江 和美、 林 美里 | 【授業内容】 ①文法項目を復習し、TOEFL問題で応用力を磨く。 ②リスニング：キャンパスライフに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | 【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) 語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 9 | 堀 智子、庄 子 ひとみ、 廣瀬 絵美、 ウィレムセ ン・マ シュー、コニ グリアーロ・ フランシス、 有江 和美、 林 美里 | 【授業内容】 ①文法項目を復習し、TOEFL問題で応用力を磨く。 ②リスニング：講義トピックに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | 【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) 語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 10 | 堀 智子、庄 子 ひとみ、 廣瀬 絵美、 ウィレムセ ン・マ シュー、コニ グリアーロ・ フランシス、 有江 和美、 林 美里 | 【授業内容】 ①TOEFL模擬試験でこれまでの理解と弱点を確認する。 ②リスニング：講義トピックに関連した英文のリスニングを行う。 | 【授業方法】 模擬試験によって時間配分や弱点を把握し、今後の具体的な対策をたてる。 | (予習：1時間) 語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 11 | 堀 智子、庄 子 ひとみ、 廣瀬 絵美、 ウィレムセ ン・マ シュー、コニ グリアーロ・ フランシス、 有江 和美、 林 美里 | 【授業内容】 ①TOEFL問題演習 ②リスニング：講義トピックに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | 【授業方法】 問題の解説、会話練習 | (予習：1時間) 語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 12 | 堀 智子、庄 子 ひとみ、 廣瀬 絵美、 ウィレムセ ン・マ シュー、コニ グリアーロ・ フランシス、 有江 和美、 林 美里 | 【授業内容】 ①文法項目：これまで間違いが多かった項目について解説を行い、練習問題を行う。 ②リスニング：講義トピックに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | 【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) 語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。 (復習：1時間) 理解が曖昧な文法項目の確認やリスニング問題の復習をする。 |
| 13 | 堀 智子、庄 子 ひとみ、 廣瀬 絵美、 ウィレムセ ン・マ シュー、コニ グリアーロ・ フランシス、 有江 和美、 林 美里 | 【授業内容】 ①文法項目：間違いが多かった項目について解説を行い、練習問題を行う。 ②リスニング：講義トピックに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | 【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) 語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。 (復習：2時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 14 | 堀 智子、庄 子 ひとみ、 廣瀬 絵美、 ウィレムセ ン・マ シュー、コニ グリアーロ・ フランシス、 有江 和美、 林 美里 | 【授業内容】 前期学習内容の総復習 | 【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：2時間) 弱点と思われる項目について再度確認しておく。 (復習：2時間) 授業で扱った項目について総復習する。 |
| | | 定期試験 | | |

| | | | | | |
|------------------------|--|--------|---------|------|----|
| 科目名 | 【新カリ】Basic English I ⑦D | 授業形態 | 講義 | | |
| 英語科目名 | Basic English I ⑦D | 対象学年 | 1年 | | |
| 開講学期 | 2022年度前期 | 単位数 | 2単位 | | |
| 代表教員 | 有江 和美 | ナンバリング | LNG1101 | | |
| 担当教員 | 有江 和美、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | <p>【授業全体の内容】 本科目は、演習の授業形態で行われる。入学時のプレースメントテストの結果により、各自の英語レベルに応じたクラスを編成し、基本的な語彙力を習得し文法や文構造を理解することで、実践的な英語運用能力を磨くための基礎固めをする。また、主体的に英語のスキルアップに取り組めるよう効果的な学習方法についても紹介する。教材には TOEFL 等の試験問題を積極的に取り入れ、英語資格・検定試験にも対応できる力を養成する。</p> <p>【授業の位置づけ（学位授与方針に定められている知識・能力等との関連）】 この科目は、スポーツ健康科学部の学位授与方針である「グローバル社会において連携や協働できるコミュニケーション能力」の基礎力の習得を目指している。</p> <p>【授業の到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 英語コミュニケーション力の基礎となる語彙や文法を理解し、使うことができる。 2. 身近な話題からキャンパスライフに関連した内容の英語を聞いて理解できる。 3. 自分自身や身近な話題について英語で表現できる。 | | | | |
| 到達目標 | | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・外国語科目の必修科目である。また、中・高保健体育1種免許取得にあたっての必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | <p>【履修要件】 4月に実施するプレースメントテストのスコアによりクラス分けを行うので、指定クラスを受講する。</p> <p>【課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法】 課題に対するフィードバックは授業内で行い、問題点の解説や強化すべき事項を明示する。</p> <p>【テキスト・参考書等】 TOEFL TEST 必ずでる単 スピードマスター（Jリサーチ出版）</p> <p>このテキストは必ず購入してください。購入方法は別途連絡します。</p> <p>その他の教材については、担当者が授業内で指示します。</p> | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | <p>【成績評価の基準】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的な語彙や文法を理解し、文法問題やTOEFL問題などを解くことができる。（平常点、小テスト） 2. 身近な話題や大学生活に関連する英語を聞き、英語表現、英語音声特徴を理解した上で、内容を把握できる。（平常点、小テスト） 3. 自分自身や身近な話題について英語で話し、書くことができる。（平常点、小テスト） <p>【成績評価の方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業外課題、授業内活動、小テスト等 (60%) 2. TOEFL (40%) | | | | |
| 評価基準 | | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | | | | | |
| 参考文献 | | | | | |
| | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>【連絡先】 E-mail: k.arie.zi[at]juntendo.ac.jp [at]を@に置き換えてください。</p> <p>【オフィスアワー】 授業内で周知します</p> | | | | |
| 担当教員の実務経験 | | | | | |

| 備考 | <p>【学修時間】 この授業は、演習の授業形態による2単位科目であり、授業60時間、予習・復習30時間の計90時間の学修を必要とする。1回の授業時間は100分とする。</p> <p>【その他】 中・高教諭1種免許（保健体育）取得するための必修科目 科目：教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 施行規則に定める科目区分又は事項等：外国語コミュニケーション</p> <p>英語力の伸びを確認するためにTOEFL ITP試験を年に2回実施する。 科目担当者欄に記載のあるいずれかの担当者が担当する。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p> | | | |
|------|---|--|--------|---|
| 授業計画 | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 |
| 1 | 有江 和美 | <p>【授業内容】 ①ガイダンス：単位取得上の諸注意、授業展開の概要を説明する。また、英語力向上に必要な日々の学習方法を紹介する。 ②アクティビティ：受講者同士のコミュニケーションを促進するための活動を行う。 【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | | <p>(復習：4時間) 授業内で紹介した学習方法で英語のリスニングや語彙学習を行う。</p> |
| 2 | 有江 和美 | <p>【授業内容】 ①文法項目「品詞」：英文を構成する語の意味や働きで分類されている品詞について解説し、練習問題や読解の際に使えるようにする。 ②リスニング：日常生活に関連した英文のリスニングを行い、語彙や表現を確認する。 【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | | <p>(予習：2時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえる。 (復習：2時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 3 | 有江 和美 | <p>【授業内容】 ①文法項目「文構造」：英文構造の基本となる主語・述語動詞・目的語の関係を確認し、TOEFL問題で応用力を磨く。 ②リスニング：日常生活に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | | <p>(予習：2時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえる。 (復習：2時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 4 | 有江 和美 | <p>【授業内容】 ①文法項目「動詞・句動詞」：自動詞/他動詞の区別や句動詞について確認し、TOEFL問題で応用力を磨く。 ②リスニング：日常生活に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | | <p>(予習：2時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえる。 (復習：2時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 5 | 有江 和美 | <p>【授業内容】 ①文法項目「時制」：過去・現在・未来時制の特徴や使い分けを確認し、TOEFL問題で応用力を磨く。 ②リスニング：キャンパスライフに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | | <p>(予習：2時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえる。 (復習：2時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 6 | 有江 和美 | <p>【授業内容】 ①文法項目「時制」：完了形の特徴や使い分けを確認し、TOEFL問題で応用力を磨く。 ②リスニング：キャンパスライフに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | | <p>(予習：2時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえる。 (復習：2時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 7 | 有江 和美 | <p>【授業内容】 ①文法項目：ここまでの文法項目の復習をし、TOEFL問題で実践力を磨く。 ②リスニング：キャンパスライフに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 ③単語復習テストNo.1を実施する。 【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | | <p>(予習：2時間) 語彙テキストで指示された範囲の単語をおぼえる。 (復習：2時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 8 | 有江 和美 | <p>【授業内容】 ①文法項目「主語と動詞の一致」：主語と動詞の関係を復習し、TOEFL問題で応用力を磨く。 ②リスニング：キャンパスライフに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | | <p>(予習：2時間) 語彙テキストで指示された範囲の単語をおぼえる。 (復習：2時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |

| | | | | |
|--|--|--|--|--|
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

| | | | | | |
|---------------------------------|--|-------|---------|--------------------|---------------|
| 科目名 | 【新カリ】Basic English I ⑧C | | | 授業形態 | 講義 |
| 英語科目名 | Basic English I ⑧C | | | 対象学年 | 1年 |
| 開講学期 | 2022年度前期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | 堀 智子 | | | ナンバリング | LNG1101 |
| 担当教員 | 堀 智子、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | <p>【授業全体の内容】</p> <p>本科目は、演習の授業形態で行われる。入学時のプレースメントテストの結果により、各自の英語レベルに応じたクラスを受講する。基本的な語彙力を習得し文法や文構造を理解することで、実践的な英語運用能力を磨くための基礎固めをする。また、主体的に英語のスキルアップに取り組めるよう効果的な学習方法についても紹介する。教材には TOEFL 等の試験問題を積極的に取り入れ、その他各種英語資格・検定試験にも対応できる力を養成する。</p> | | | | |
| 到達目標 | <p>【授業の到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 英語コミュニケーション力の基礎となる語彙や文法を理解し、使うことができる。 2. 身近な話題からキャンパスライフに関連した内容の英語を聞いて理解できる。 3. 自分自身や身近な話題について英語で表現できる。 4. 大学生に必要な教養英語の語彙を習得し、限られた時間内に英文を読み内容を理解できる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・外国語科目の必修科目である。また、中・高保健体育1種免許取得にあたっての必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | <p>【授業の位置づけ（学位授与方針に定められている知識・能力等との関連）】</p> <p>この科目は、スポーツ健康科学部の学位授与方針である「グローバル社会において連携や協働できるコミュニケーション能力」の基礎力の習得を目指している。</p> | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | <p>【履修要件】</p> <p>4月に実施するプレースメントテストのスコアによりクラス分けを行うので、指定クラスを受講する。</p> | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | <p>【成績評価の方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業外課題、授業内活動、小テスト等(60%) 2. TOEFL模擬試験 (40%) | | | | |
| 評価基準 | <p>【成績評価の基準】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的な語彙や文法を理解し、文法問題や読解問題を解くことができる。（平常点、小テスト、TOEFL） 2. 身近な話題や大学生活に関連する英語を聞き、内容を把握し、伝えることができる。（平常点、小テスト、TOEFL） 3. 学術的あるいは身近な話題について書かれた英文を理解できる。（平常点、課題） | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| テストや課題については授業内に担当教員からフィードバックする。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | TOEFL TEST必ずでる単スピードマスター | 林 功 他 | Jリサーチ出版 | 9784863924130 | 購入必須 購入方法別途案内 |
| 参考文献 | | | | | |
| 授業内で別途案内する。 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>【連絡先】</p> <p>担当：堀 智子 E-mail：t-hori[at]juntendo.ac.jp [at]を@に置き換えてください。</p> <p>【オフィスアワー】</p> <p>火曜日・水曜日 昼休み 1号館3階 1304室</p> | | | | |
| 担当教員の実務経験 | | | | | |
| 備考 | <p>【学修時間】 この授業は、演習の授業形態による2単位科目であり、授業60時間、予習・復習30時間の計90時間の学修を必要とする。1回の授業時間は100分とする。</p> <p>【その他】</p> <p>中・高教諭1種免許（保健体育）取得するための必修科目 科目：教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 施行規則に定める科目区分又は事項等：外国語コミュニケーション</p> <p>英語力の伸びを確認するためにTOEFL ITP試験を年に2回実施する。 科目担当者欄に記載のあるいずれかの担当者が担当する。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p> | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 | |

| | | | | |
|----|------|--|---|--|
| 1 | 堀 智子 | <p>【授業内容】</p> <p>①ガイダンス:単位取得上の諸注意、授業展開の概要を説明する。また、英語力向上に必要な日々の学習方法を紹介する。</p> <p>②アクティビティ:受講者同士のコミュニケーションを促進するための活動を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(復習:2時間)</p> <p>授業内で紹介した学習方法で英語のリスニングや語彙学習を行う。</p> |
| 2 | 堀 智子 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法問題演習と解説</p> <p>②リスニング:日常生活に関連した英文のリスニングを行い、語彙や表現を確認する。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習:1時間)</p> <p>語彙を増やすために指定の単語帳を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習:1時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 3 | 堀 智子 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目を解説、TOEFL問題で応用力を磨く。</p> <p>②リスニング:日常生活に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習:1時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習:1時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 4 | 堀 智子 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目を解説し、TOEFL問題で応用力を磨く。</p> <p>②リスニング:日常生活に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習:1時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習:1時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 5 | 堀 智子 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目を確認し、TOEFL問題で応用力を磨く。</p> <p>②リスニング:キャンパスライフに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習:1時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習:1時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 6 | 堀 智子 | <p>【授業内容】</p> <p>①単語テストの実施、文法問題演習及び解説</p> <p>②リスニング:キャンパスライフに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習:1時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習:1時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 7 | 堀 智子 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目:ここまでの文法項目の復習をし、TOEFL問題で実践力を磨く。</p> <p>②リスニング:キャンパスライフに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習:1時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習:1時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 8 | 堀 智子 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目を復習し、TOEFL問題で応用力を磨く。</p> <p>②リスニング:キャンパスライフに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習:1時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習:1時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 9 | 堀 智子 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目を復習し、TOEFL問題で応用力を磨く。</p> <p>②リスニング:講義トピックに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習:1時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習:1時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 10 | 堀 智子 | <p>【授業内容】</p> <p>①TOEFL模擬試験でこれまでの理解と弱点を確認する。</p> <p>②リスニング:講義トピックに関連した英文のリスニングを行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>模擬試験によって時間配分や弱点を把握し、今後の具体的な対策をたてる。</p> | <p>(予習:1時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習:1時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 11 | 堀 智子 | <p>【授業内容】</p> <p>①TOEFL問題演習</p> <p>②リスニング:講義トピックに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>問題の解説、会話練習</p> | <p>(予習:1時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習:1時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |

| | | | | |
|----|------|---|--|--|
| 12 | 堀 智子 | 【授業内容】 ①文法項目：これまで間違いが多かった項目について解説を行い、練習問題を行う。 ②リスニング：講義トピックに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | 【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | （予習：1時間） 語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。 （復習：1時間） 理解が曖昧な文法項目の確認やリスニング問題の復習をする。 |
| 13 | 堀 智子 | 【授業内容】 ①文法項目：間違いが多かった項目について解説を行い、練習問題を行う。 ②リスニング：講義トピックに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | 【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | （予習：1時間） 語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。 （復習：1時間） 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 14 | 堀 智子 | 【授業内容】 前期学習内容の総復習 | 【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | （予習：2時間） 弱点と思われる項目について再度確認しておく。 （復習：2時間） 授業で扱った項目について総復習する。 |
| | | 定期試験 | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

| | | | | | |
|---------------------------------|---|--------|---------|---------------|----|
| 科目名 | 【新カリ】Basic English I ㊹B | 授業形態 | 講義 | | |
| 英語科目名 | Basic English I ㊹B | 対象学年 | 1年 | | |
| 開講学期 | 2022年度前期 | 単位数 | 2単位 | | |
| 代表教員 | 庄子 ひとみ | ナンバリング | LNG1101 | | |
| 担当教員 | 庄子 ひとみ、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | <p>【授業全体の内容】 本科目は、演習の授業形態で行われる。入学時のプレースメントテストの結果により、各自の英語レベルに応じたクラスを受講する。基本的な語彙を習得し文法や文構造を理解することで、実践的な英語運用能力を磨くための基礎固めをする。 また、主体的に英語のスキルアップに取り組めるよう効果的な学習方法についても紹介する。 教材には TOEFL 等の試験問題を積極的に取り入れ、その他各種英語資格・検定試験にも対応できる力を養成する。</p> | | | | |
| 到達目標 | <p>【授業の到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 英語コミュニケーション力の基礎となる語彙や文法を理解し、使うことができる。 2. 身近な話題からキャンパスライフに関連した内容の英語を聞いて理解できる。 3. 自分自身や身近な話題について英語で表現できる。 4. 大学生に必要な教養英語の語彙を習得し、限られた時間内に英文を読み内容を理解できる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・外国語科目の必修科目である。また、中・高保健体育1種免許取得にあたっての必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | <p>【授業の位置づけ（学位授与方針に定められている知識・能力等との関連）】 この科目は、スポーツ健康科学部の学位授与方針である「グローバル社会において連携や協働できるコミュニケーション能力」の基礎力の習得を目指している。</p> | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | <p>【履修要件】 4月に実施するプレースメントテストのスコアによりクラス分けを行うので、指定クラスを受講する。</p> <p>【課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法】 課題に対するフィードバックは授業内で行い、問題点の解説や強化すべき事項を明示する。</p> <p>【テキスト・参考書等】 TOEFL TEST 必ずでる単 スピードマスター（Jリサーチ出版） 他 指定テキストは必ず購入してください。購入方法は別途連絡します。</p> <p>その他の教材については、担当者が授業内で指示します。</p> | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | <p>【成績評価の方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業外課題、授業内活動、小テスト等 (60%) 2. TOEFL模擬試験 (40%) | | | | |
| 評価基準 | <p>【成績評価の基準】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的な語彙や文法を理解し、文法問題や読解問題を解くことができる。（平常点、小テスト、TOEFL） 2. 身近な話題や大学生活に関連する英語を聞き、内容を把握し、伝えることができる。（平常点、小テスト、TOEFL） 3. 学術的あるいは身近な話題について書かれた英文を理解できる。（平常点、課題） | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| テストや課題については授業内に担当教員からフィードバックする。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | TOEFL TEST必ずでる単スピードマスター | 林 功 他 | Jリサーチ出版 | 9784863924130 | |
| 参考文献 | | | | | |
| 授業内で別途案内する。 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>【連絡先】 担当：庄子ひとみ E-mail：hi-shoji[at]juntendo.ac.jp [at]を@に置き換えてください。</p> <p>【オフィスアワー】 火曜日~木曜日 昼休み</p> | | | | |
| 担当教員の実務経験 | | | | | |
| 備考 | <p>【学修時間】 この授業は、演習の授業形態による2単位科目であり、授業60時間、予習・復習30時間の計90時間の学修を必要とする。1回の授業時間は100分とする。</p> <p>【その他】 中・高教諭1種免許（保健体育）取得するための必修科目 科目：教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 施行規則に定める科目区分又は事項等：外国語コミュニケーション</p> <p>英語力の伸びを確認するためにTOEFL ITP試験を年に2回実施する。 科目担当者欄に記載のあるいずれかの担当者が担当する。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p> | | | | |

| 授業計画 | | | | |
|------|---|---|---|---|
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 |
| 1 | 堀 智子、庄 子 ひとみ、 廣瀬 絵美、 ウィレムセ ン・マ シュー、コニ グリアーロ・ フランス、 有江 和美、 林 美里 | 【授業内容】 ①ガイダンス：単位取得上の諸注意、授業展開の概要を説明する。また、英語力向上に必要な日々の学習方法を紹介する。 ②アクティビティ：受講者同士のコミュニケーションを促進するための活動を行う。 | 【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (復習：4時間) 授業内で紹介した学習方法で英語のリスニングや語彙学習を行う。 |
| 2 | 堀 智子、庄 子 ひとみ、 廣瀬 絵美、 ウィレムセ ン・マ シュー、コニ グリアーロ・ フランス、 有江 和美、 林 美里 | 【授業内容】 ①文法問題演習と解説 ②リスニング：日常生活に関連した英文のリスニングを行い、語彙や表現を確認する。 | 【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：2時間) 語彙を増やすために指定の単語帳を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。 (復習：2時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 3 | 堀 智子、庄 子 ひとみ、 廣瀬 絵美、 ウィレムセ ン・マ シュー、コニ グリアーロ・ フランス、 有江 和美、 林 美里 | 【授業内容】 ①文法項目を解説、TOEFL問題で応用力を磨く。 ②リスニング：日常生活に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | 【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：2時間) 語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。 (復習：2時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 4 | 堀 智子、庄 子 ひとみ、 廣瀬 絵美、 ウィレムセ ン・マ シュー、コニ グリアーロ・ フランス、 有江 和美、 林 美里 | 【授業内容】 ①文法項目を解説し、TOEFL問題で応用力を磨く。 ②リスニング：日常生活に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | 【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：2時間) 語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。 (復習：2時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 5 | 堀 智子、庄 子 ひとみ、 廣瀬 絵美、 ウィレムセ ン・マ シュー、コニ グリアーロ・ フランス、 有江 和美、 林 美里 | 【授業内容】 ①文法項目を確認し、TOEFL問題で応用力を磨く。 ②リスニング：キャンパスライフに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | 【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：2時間) 語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。 (復習：2時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 6 | 堀 智子、庄 子 ひとみ、 廣瀬 絵美、 ウィレムセ ン・マ シュー、コニ グリアーロ・ フランス、 有江 和美、 林 美里 | 【授業内容】 ①単語テストの実施、文法問題演習及び解説 ②リスニング：キャンパスライフに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | 【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：2時間) 語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。 (復習：2時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 7 | 堀 智子、庄 子 ひとみ、 廣瀬 絵美、 ウィレムセ ン・マ シュー、コニ グリアーロ・ フランス、 有江 和美、 林 美里 | 【授業内容】 ①文法項目：ここまでの文法項目の復習をし、TOEFL問題で実践力を磨く。 ②リスニング：キャンパスライフに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | 【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：2時間) 語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。 (復習：2時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |

| | | | | |
|----|--|--|---|---|
| 8 | 堀 智子、庄子 ひとみ、廣瀬 絵美、ウィレムセン・マシュー、コングリアーロ・フランシス、有江 和美、林 美里 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目を復習し、TOEFL問題で応用力を磨く。 ②リスニング：キャンパスライフに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：2時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習：2時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 9 | 堀 智子、庄子 ひとみ、廣瀬 絵美、ウィレムセン・マシュー、コングリアーロ・フランシス、有江 和美、林 美里 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目を復習し、TOEFL問題で応用力を磨く。 ②リスニング：講義トピックに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：2時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習：2時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 10 | 堀 智子、庄子 ひとみ、廣瀬 絵美、ウィレムセン・マシュー、コングリアーロ・フランシス、有江 和美、林 美里 | <p>【授業内容】</p> <p>①TOEFL模擬試験でこれまでの理解と弱点を確認する。 ②リスニング：講義トピックに関連した英文のリスニングを行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>模擬試験によって時間配分や弱点を把握し、今後の具体的な対策をたてる。</p> | <p>(予習：2時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習：2時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 11 | 堀 智子、庄子 ひとみ、廣瀬 絵美、ウィレムセン・マシュー、コングリアーロ・フランシス、有江 和美、林 美里 | <p>【授業内容】</p> <p>①TOEFL問題演習 ②リスニング：講義トピックに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>問題の解説、会話練習</p> | <p>(予習：2時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習：2時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 12 | 堀 智子、庄子 ひとみ、廣瀬 絵美、ウィレムセン・マシュー、コングリアーロ・フランシス、有江 和美、林 美里 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目：これまで間違いが多かった項目について解説を行い、練習問題を行う。 ②リスニング：講義トピックに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：2時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習：3時間)</p> <p>理解が曖昧な文法項目の確認やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 13 | 堀 智子、庄子 ひとみ、廣瀬 絵美、ウィレムセン・マシュー、コングリアーロ・フランシス、有江 和美、林 美里 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目：間違いが多かった項目について解説を行い、練習問題を行う。 ②リスニング：講義トピックに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：2時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習：3時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 14 | 堀 智子、庄子 ひとみ、廣瀬 絵美、ウィレムセン・マシュー、コングリアーロ・フランシス、有江 和美、林 美里 | <p>【授業内容】</p> <p>前期学習内容の総復習</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：2時間)</p> <p>弱点と思われる項目について再度確認しておく。</p> <p>(復習：4時間)</p> <p>授業で扱った項目について総復習する。</p> |
| | | 定期試験 | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

| | | | | | |
|---------------------------------|--|--------|---------|--------------------|-------------------|
| 科目名 | 【新カリ】Basic English I ⑩A | | | 授業形態 | 講義 |
| 英語科目名 | Basic English I ⑩A | | | 対象学年 | 1年 |
| 開講学期 | 2022年度前期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | 林 美里 | | | ナンバリング | LNG1101 |
| 担当教員 | 林 美里、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | <p>【授業全体の内容】</p> <p>本科目は、演習の授業形態で行われる。入学時のプレースメントテストの結果により、各自の英語レベルに応じたクラスを受講する。基本的な語彙力を習得し文法や文構造を理解することで、実践的な英語運用能力を磨くための基礎固めをする。また、主体的に英語のスキルアップに取り組めるよう効果的な学習方法についても紹介する。教材には TOEFL 等の試験問題を積極的に取り入れ、その他各種英語資格・検定試験にも対応できる力を養成する。</p> | | | | |
| 到達目標 | <p>【授業の到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 英語コミュニケーション力の基礎となる語彙や文法を理解し、使うことができる。 2. 身近な話題からキャンパスライフに関連した内容の英語を聞いて理解できる。 3. 自分自身や身近な話題について英語で表現できる。 4. 大学生に必要な教養英語の語彙を習得し、限られた時間内に英文を読み内容を理解できる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・外国語科目の必修科目である。また、中・高保健体育1種免許取得にあたっての必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | <p>【授業の位置づけ（学位授与方針に定められている知識・能力等との関連）】</p> <p>この科目は、スポーツ健康科学部の学位授与方針である「グローバル社会において連携や協働できるコミュニケーション能力」の基礎力の習得を目指している。</p> | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | <p>【履修要件】</p> <p>4月に実施するプレースメントテストのスコアによりクラス分けを行うので、指定クラスを受講する。</p> | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | <p>【成績評価の方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業外課題、授業内活動、小テスト等(60%) 2. TOEFL模擬試験 (40%) | | | | |
| 評価基準 | <p>【成績評価の基準】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的な語彙や文法を理解し、文法問題や読解問題を解くことができる。（平常点、小テスト、TOEFL） 2. 身近な話題や大学生活に関連する英語を聞き、内容を把握し、伝えることができる。（平常点、小テスト、TOEFL） 3. 学術的あるいは身近な話題について書かれた英文を理解できる。（平常点、課題） | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| テストや課題については授業内に担当教員からフィードバックする。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | TOEFL TEST必ずでる単スピードマスター | 林 功 他 | Jリサーチ出版 | 9784863924130 | 購入必須 購入方法は指示しません。 |
| | Boost Your English 1: Practice for TOEFL ITP | 宍戸 真 他 | 成美堂 | 9784791931248 | 購入必須 購入方法は指示しません。 |
| 参考文献 | | | | | |
| 授業内で別途案内する。 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>【連絡先】</p> <p>担当： 林 美里 E-mail : hayashimisat[at]gmail.com [at]を@に置き換えてください。対応可能時間：平日月曜日～土曜日 9:00～18:00 対応可能時間で計算して24時間以内に返信がない場合は、メーラーの不具合でこちらに届いていない可能性が高いです。申し訳ないですがその時は直接授業で声をかけてください。</p> <p>【オフィスアワー】</p> <p>メールで日程を相談の上、授業時間前後に非常勤講師室で対応します。</p> | | | | |
| 担当教員の実務経験 | | | | | |
| 備考 | <p>【学修時間】 この授業は、演習の授業形態による2単位科目であり、授業60時間、予習・復習30時間の計90時間の学修を必要とする。1回の授業時間は100分とする。</p> <p>【その他】</p> <p>中・高教諭1種免許（保健体育）取得するための必修科目 科目：教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 施行規則に定める科目区分又は事項等：外国語コミュニケーション</p> <p>英語力の伸びを確認するためにTOEFL ITP試験を年に2回実施する。 科目担当者欄に記載のあるいずれかの担当者が担当する。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p> | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 | |

| | | | | |
|----|------|--|---|--|
| 1 | 林 美里 | <p>【授業内容】</p> <p>①ガイダンス：単位取得上の諸注意、授業展開の概要を説明する。また、英語力向上に必要な日々の学習方法を紹介する。</p> <p>②アクティビティ：受講者同士のコミュニケーションを促進するための活動を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(復習：4時間)</p> <p>授業内で紹介した学習方法で英語のリスニングや語彙学習を行う。</p> |
| 2 | 林 美里 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法問題演習と解説</p> <p>②リスニング：日常生活に関連した英文のリスニングを行い、語彙や表現を確認する。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：2時間)</p> <p>語彙を増やすために指定の単語帳を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習：2時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 3 | 林 美里 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目を解説、TOEFL問題で応用力を磨く。</p> <p>②リスニング：日常生活に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：2時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習：2時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 4 | 林 美里 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目を解説し、TOEFL問題で応用力を磨く。</p> <p>②リスニング：日常生活に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：2時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習：2時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 5 | 林 美里 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目を確認し、TOEFL問題で応用力を磨く。</p> <p>②リスニング：キャンパスライフに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：2時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習：2時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 6 | 林 美里 | <p>【授業内容】</p> <p>①単語テストの実施、文法問題演習及び解説</p> <p>②リスニング：キャンパスライフに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：2時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習：2時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 7 | 林 美里 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目：ここまでの文法項目の復習をし、TOEFL問題で実践力を磨く。</p> <p>②リスニング：キャンパスライフに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：2時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習：2時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 8 | 林 美里 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目を復習し、TOEFL問題で応用力を磨く。</p> <p>②リスニング：キャンパスライフに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：2時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習：2時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 9 | 林 美里 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目を復習し、TOEFL問題で応用力を磨く。</p> <p>②リスニング：講義トピックに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：2時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習：2時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 10 | 林 美里 | <p>【授業内容】</p> <p>①TOEFL模擬試験でこれまでの理解と弱点を確認する。</p> <p>②リスニング：講義トピックに関連した英文のリスニングを行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>模擬試験によって時間配分や弱点を把握し、今後の具体的な対策をたてる。</p> | <p>(予習：2時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習：2時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 11 | 林 美里 | <p>【授業内容】</p> <p>①TOEFL問題演習</p> <p>②リスニング：講義トピックに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>問題の解説、会話練習</p> | <p>(予習：2時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習：2時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |

| | | | | |
|----|------|---|--|---|
| 12 | 林 美里 | <p>【授業内容】 ①文法項目：これまで間違いが多かった項目について解説を行い、練習問題を行う。 ②リスニング：講義トピックに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：2時間) 語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。 (復習：3時間) 理解が曖昧な文法項目の確認やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 13 | 林 美里 | <p>【授業内容】 ①文法項目：間違いが多かった項目について解説を行い、練習問題を行う。 ②リスニング：講義トピックに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：2時間) 語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。 (復習：3時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 14 | 林 美里 | <p>【授業内容】 前期学習内容の総復習</p> | <p>【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：2時間) 弱点と思われる項目について再度確認しておく。 (復習：4時間) 授業で扱った項目について総復習する。</p> |
| | | 定期試験 | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

| | | | | | |
|---------------------------------|--|--------|---------|---------------|----|
| 科目名 | 【新カリ】Basic English I ①S | 授業形態 | 講義 | | |
| 英語科目名 | Basic English I ①S | 対象学年 | 1年 | | |
| 開講学期 | 2022年度前期 | 単位数 | 2単位 | | |
| 代表教員 | 庄子 ひとみ | ナンバリング | LNG1101 | | |
| 担当教員 | 庄子 ひとみ、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | <p>【授業全体の内容】</p> <p>本科目は、演習の授業形態で行われる。入学時のプレースメントテストの結果により、各自の英語レベルに応じたクラスを受講する。基本的な語彙力を習得し文法や文構造を理解することで、実践的な英語運用能力を磨くための基礎固めをする。また、主体的に英語のスキルアップに取り組めるよう効果的な学習方法についても紹介する。教材には TOEFL 等の試験問題を積極的に取り入れ、各種英語資格・検定試験にも対応できる力を養成する。</p> | | | | |
| 到達目標 | <p>【授業の到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 英語コミュニケーション力の基礎となる語彙や文法を理解し、使うことができる。 2. 身近な話題からキャンパスライフに関連した内容の英語を聞いて理解できる。 3. 自分自身や身近な話題について英語で表現できる。 4. 大学生に必要な教養英語の語彙を習得し、限られた時間内に英文を読み内容を理解できる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・外国語科目の必修科目である。また、中・高保健体育1種免許取得にあたっての必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | <p>【授業の位置づけ（学位授与方針に定められている知識・能力等との関連）】</p> <p>この科目は、スポーツ健康科学部の学位授与方針である「グローバル社会において連携や協働できるコミュニケーション能力」の基礎力の習得を目指している。</p> | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | <p>【履修要件】</p> <p>4月に実施するプレースメントテストのスコアによりクラス分けを行うので、指定クラスを受講する。</p> <p>【課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法】</p> <p>課題に対するフィードバックは授業内で行い、問題点の解説や強化すべき事項を明示する。</p> <p>【テキスト・参考書等】</p> <p>TOEFL TEST 必ずでる単 スピードマスター（Jリサーチ出版） 他 指定テキストは必ず購入してください。購入方法は別途連絡します。</p> <p>その他の教材については、担当者が授業内で指示します。</p> | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | <p>【成績評価の方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業外課題、授業内活動、小テスト等 (60%) 2. TOEFL模擬試験 (40%) | | | | |
| 評価基準 | <p>【成績評価の基準】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的な語彙や文法を理解し、文法問題や読解問題を解くことができる。（平常点、小テスト、TOEFL） 2. 身近な話題や大学生活に関連する英語を聞き、内容を把握し、伝えることができる。（平常点、小テスト、TOEFL） 3. 学術的あるいは身近な話題について書かれた英文を理解できる。（平常点、課題） | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| テストや課題については授業内に担当教員からフィードバックする。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | TOEFL TEST必ずでる単スピードマスター | 林 功 他 | Jリサーチ出版 | 9784863924130 | |
| 参考文献 | | | | | |
| 授業内で別途案内する。 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>【連絡先】</p> <p>担当：庄子ひとみ E-mail：hi-shoji[at]juntendo.ac.jp [at]を@に置き換えてください。</p> <p>【オフィスアワー】 火曜日~木曜日 昼休み</p> | | | | |
| 担当教員の実務経験 | | | | | |
| 備考 | <p>【学修時間】 この授業は、演習の授業形態による2単位科目であり、授業60時間、予習・復習30時間の計90時間の学修を必要とする。1回の授業時間は100分とする。</p> <p>【その他】</p> <p>中・高教諭1種免許（保健体育）取得するための必修科目 科目：教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 施行規則に定める科目区分又は事項等：外国語コミュニケーション</p> <p>英語力の伸びを確認するためにTOEFL ITP試験を年に2回実施する。 科目担当者欄に記載のあるいずれかの担当者が担当する。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p> | | | | |

| 授業計画 | | | | |
|------|--|---|---|---|
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 |
| 1 | 堀 智子、庄子 ひとみ、廣瀬 絵美、ウィレムセン・マシュー、コニグリアーロ・フランシス、有江 和美、林 美里 | 【授業内容】 ①ガイダンス：単位取得上の諸注意、授業展開の概要を説明する。また、英語力向上に必要な日々の学習方法を紹介する。 ②アクティビティ：受講者同士のコミュニケーションを促進するための活動を行う。 | 【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (復習：4時間) 授業内で紹介した学習方法で英語のリスニングや語彙学習を行う。 |
| 2 | 堀 智子、庄子 ひとみ、廣瀬 絵美、ウィレムセン・マシュー、コニグリアーロ・フランシス、有江 和美、林 美里 | 【授業内容】 ①文法問題演習と解説 ②リスニング：日常生活に関連した英文のリスニングを行い、語彙や表現を確認する。 | 【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：2時間) 語彙を増やすために指定の単語帳を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。 (復習：2時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 3 | 堀 智子、庄子 ひとみ、廣瀬 絵美、ウィレムセン・マシュー、コニグリアーロ・フランシス、有江 和美、林 美里 | 【授業内容】 ①文法項目を解説、TOEFL問題で応用力を磨く。 ②リスニング：日常生活に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | 【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：2時間) 語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。 (復習：2時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 4 | 堀 智子、庄子 ひとみ、廣瀬 絵美、ウィレムセン・マシュー、コニグリアーロ・フランシス、有江 和美、林 美里 | 【授業内容】 ①文法項目を解説し、TOEFL問題で応用力を磨く。 ②リスニング：日常生活に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | 【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：2時間) 語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。 (復習：2時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 5 | 堀 智子、庄子 ひとみ、廣瀬 絵美、ウィレムセン・マシュー、コニグリアーロ・フランシス、有江 和美、林 美里 | 【授業内容】 ①文法項目を確認し、TOEFL問題で応用力を磨く。 ②リスニング：キャンパスライフに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | 【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：2時間) 語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。 (復習：2時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 6 | 堀 智子、庄子 ひとみ、廣瀬 絵美、ウィレムセン・マシュー、コニグリアーロ・フランシス、有江 和美、林 美里 | 【授業内容】 ①単語テストの実施、文法問題演習及び解説 ②リスニング：キャンパスライフに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | 【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：2時間) 語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。 (復習：2時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 7 | 堀 智子、庄子 ひとみ、廣瀬 絵美、ウィレムセン・マシュー、コニグリアーロ・フランシス、有江 和美、林 美里 | 【授業内容】 ①文法項目：ここまでの文法項目の復習をし、TOEFL問題で実践力を磨く。 ②リスニング：キャンパスライフに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | 【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：2時間) 語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。 (復習：2時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |

| | | | | |
|----|--|--|--|--|
| 8 | 堀 智子、庄 子 ひとみ、 廣瀬 絵美、 ウィレムセ ン・マ シュー、コニ グリアーロ・ フランシス、 有江 和美、 林 美里 | 【授業内容】 ①文法項目を復習し、TOEFL問題で応用力を磨く。 ②リスニング：キャンパスライフに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | 【授業方法】 テキスト・配布プ リント等を用い、 解説やペアワーク 等での演習を行 う。 | (予習：2時間) 語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。 (復習：2時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 9 | 堀 智子、庄 子 ひとみ、 廣瀬 絵美、 ウィレムセ ン・マ シュー、コニ グリアーロ・ フランシス、 有江 和美、 林 美里 | 【授業内容】 ①文法項目を復習し、TOEFL問題で応用力を磨く。 ②リスニング：講義トピックに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | 【授業方法】 テキスト・配布プ リント等を用い、 解説やペアワーク 等での演習を行 う。 | (予習：2時間) 語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。 (復習：2時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 10 | 堀 智子、庄 子 ひとみ、 廣瀬 絵美、 ウィレムセ ン・マ シュー、コニ グリアーロ・ フランシス、 有江 和美、 林 美里 | 【授業内容】 ①TOEFL模擬試験でこれまでの理解と弱点を確認する。 ②リスニング：講義トピックに関連した英文のリスニングを行う。 | 【授業方法】 模擬試験によって 時間配分や弱点を 把握し、今後の具 体的な対策をたて る。 | (予習：2時間) 語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。 (復習：2時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 11 | 堀 智子、庄 子 ひとみ、 廣瀬 絵美、 ウィレムセ ン・マ シュー、コニ グリアーロ・ フランシス、 有江 和美、 林 美里 | 【授業内容】 ①TOEFL問題演習 ②リスニング：講義トピックに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | 【授業方法】 問題の解説、会話 練習 | (予習：2時間) 語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。 (復習：2時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 12 | 堀 智子、庄 子 ひとみ、 廣瀬 絵美、 ウィレムセ ン・マ シュー、コニ グリアーロ・ フランシス、 有江 和美、 林 美里 | 【授業内容】 ①文法項目：これまで間違いが多かった項目について解説を行い、練習問題を行う。 ②リスニング：講義トピックに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | 【授業方法】 テキスト・配布プ リント等を用い、 解説やペアワーク 等での演習を行 う。 | (予習：2時間) 語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。 (復習：3時間) 理解が曖昧な文法項目の確認やリスニング問題の復習をする。 |
| 13 | 堀 智子、庄 子 ひとみ、 廣瀬 絵美、 ウィレムセ ン・マ シュー、コニ グリアーロ・ フランシス、 有江 和美、 林 美里 | 【授業内容】 ①文法項目：間違いが多かった項目について解説を行い、練習問題を行う。 ②リスニング：講義トピックに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | 【授業方法】 テキスト・配布プ リント等を用い、 解説やペアワーク 等での演習を行 う。 | (予習：2時間) 語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。 (復習：3時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 14 | 堀 智子、庄 子 ひとみ、 廣瀬 絵美、 ウィレムセ ン・マ シュー、コニ グリアーロ・ フランシス、 有江 和美、 林 美里 | 【授業内容】 前期学習内容の総復習 | 【授業方法】 テキスト・配布プ リント等を用い、 解説やペアワーク 等での演習を行 う。 | (予習：2時間) 弱点と思われる項目について再度確認をしておく。 (復習：4時間) 授業で扱った項目について総復習する。 |
| | | 定期試験 | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

| | | | | | |
|------------------------|---|--------|---------|------|----|
| 科目名 | 【新カリ】Basic English I ⑫D | 授業形態 | 講義 | | |
| 英語科目名 | Basic English I ⑫D | 対象学年 | 1年 | | |
| 開講学期 | 2022年度前期 | 単位数 | 2単位 | | |
| 代表教員 | 有江 和美 | ナンバリング | LNG1101 | | |
| 担当教員 | 有江 和美、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | <p>【授業全体の内容】 本科目は、演習の授業形態で行われる。入学時のプレースメントテストの結果により、各自の英語レベルに応じたクラスを編成し、基本的な語彙力を習得し文法や文構造を理解することで、実践的な英語運用能力を磨くための基礎固めをする。また、主体的に英語のスキルアップに取り組めるよう効果的な学習方法についても紹介する。教材には TOEFL 等の試験問題を積極的に取り入れ、英語資格・検定試験にも対応できる力を養成する。</p> <p>【授業の位置づけ（学位授与方針に定められている知識・能力等との関連）】 この科目は、スポーツ健康科学部の学位授与方針である「グローバル社会において連携や協働できるコミュニケーション能力」の基礎力の習得を目指している。</p> <p>【授業の到達目標】 1. 英語コミュニケーション力の基礎となる語彙や文法を理解し、使うことができる。 2. 身近な話題からキャンパスライフに関連した内容の英語を聞いて理解できる。 3. 自分自身や身近な話題について英語で表現できる。</p> | | | | |
| 到達目標 | | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・外国語科目の必修科目である。また、中・高保健体育1種免許取得にあたっての必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | <p>【履修要件】 4月に実施するプレースメントテストのスコアによりクラス分けを行うので、指定クラスを受講する。</p> <p>【課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法】 課題に対するフィードバックは授業内で行い、問題点の解説や強化すべき事項を明示する。</p> <p>【テキスト・参考書等】 TOEFL TEST 必ずでる単 スピードマスター（Jリサーチ出版） このテキストは必ず購入してください。購入方法は別途連絡します。 その他の教材については、担当者が授業内で指示します。</p> | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | <p>【成績評価の基準】 1. 基本的な語彙や文法を理解し、文法問題やTOEFL問題などを解くことができる。（平常点、小テスト） 2. 身近な話題や大学生活に関連する英語を聞き、英語表現、英語音声特徴を理解した上で、内容を把握できる。（平常点、小テスト） 3. 自分自身や身近な話題について英語で話し、書くことができる。（平常点、小テスト）</p> <p>【成績評価の方法】 1. 授業外課題、授業内活動、小テスト等(60%) 2. TOEFL (40%)</p> | | | | |
| 評価基準 | | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | | | | | |
| 参考文献 | | | | | |
| | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>【連絡先】 E-mail: k.arie.zi[at]juntendo.ac.jp [at]を@に置き換えてください。</p> <p>【オフィスアワー】 授業内で周知します</p> | | | | |
| 担当教員の実務経験 | | | | | |

| 備考 | <p>【学修時間】 この授業は、演習の授業形態による2単位科目であり、授業60時間、予習・復習30時間の計90時間の学修を必要とする。1回の授業時間は100分とする。</p> <p>【その他】 中・高教諭1種免許（保健体育）取得するための必修科目 科目：教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 施行規則に定める科目区分又は事項等：外国語コミュニケーション</p> <p>英語力の伸びを確認するためにTOEFL ITP試験を年に2回実施する。 科目担当者欄に記載のあるいずれかの担当者が担当する。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p> | | | |
|------|---|--|--------|---|
| 授業計画 | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 |
| 1 | 有江 和美 | <p>【授業内容】 ①ガイダンス：単位取得上の諸注意、授業展開の概要を説明する。また、英語力向上に必要な日々の学習方法を紹介する。 ②アクティビティ：受講者同士のコミュニケーションを促進するための活動を行う。 【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | | <p>(復習：4時間) 授業内で紹介した学習方法で英語のリスニングや語彙学習を行う。</p> |
| 2 | 有江 和美 | <p>【授業内容】 ①文法項目「品詞」：英文を構成する語の意味や働きで分類されている品詞について解説し、練習問題や読解の際に使えるようにする。 ②リスニング：日常生活に関連した英文のリスニングを行い、語彙や表現を確認する。 【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | | <p>(予習：2時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえる。 (復習：2時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 3 | 有江 和美 | <p>【授業内容】 ①文法項目「文構造」：英文構造の基本となる主語・述語動詞・目的語の関係を確認し、TOEFL問題で応用力を磨く。 ②リスニング：日常生活に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | | <p>(予習：2時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえる。 (復習：2時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 4 | 有江 和美 | <p>【授業内容】 ①文法項目「動詞・句動詞」：自動詞/他動詞の区別や句動詞について確認し、TOEFL問題で応用力を磨く。 ②リスニング：日常生活に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | | <p>(予習：2時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえる。 (復習：2時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 5 | 有江 和美 | <p>【授業内容】 ①文法項目「時制」：過去・現在・未来時制の特徴や使い分けを確認し、TOEFL問題で応用力を磨く。 ②リスニング：キャンパスライフに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | | <p>(予習：2時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえる。 (復習：2時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 6 | 有江 和美 | <p>【授業内容】 ①文法項目「時制」：完了形の特徴や使い分けを確認し、TOEFL問題で応用力を磨く。 ②リスニング：キャンパスライフに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | | <p>(予習：2時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえる。 (復習：2時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 7 | 有江 和美 | <p>【授業内容】 ①文法項目：ここまでの文法項目の復習をし、TOEFL問題で実践力を磨く。 ②リスニング：キャンパスライフに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 ③単語復習テストNo.1を実施する。 【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | | <p>(予習：2時間) 語彙テキストで指示された範囲の単語をおぼえる。 (復習：2時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 8 | 有江 和美 | <p>【授業内容】 ①文法項目「主語と動詞の一致」：主語と動詞の関係を復習し、TOEFL問題で応用力を磨く。 ②リスニング：キャンパスライフに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | | <p>(予習：2時間) 語彙テキストで指示された範囲の単語をおぼえる。 (復習：2時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |

| | | | | |
|--|--|--|--|--|
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

| | | | | | |
|---------------------------------|---|--------|---------|---------------|----|
| 科目名 | 【新カリ】Basic English I ⑬C | 授業形態 | 講義 | | |
| 英語科目名 | Basic English I ⑬C | 対象学年 | 1年 | | |
| 開講学期 | 2022年度前期 | 単位数 | 2単位 | | |
| 代表教員 | 廣瀬 絵美 | ナンバリング | LNG1101 | | |
| 担当教員 | 廣瀬 絵美、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | <p>【授業全体の内容】</p> <p>本科目は、演習の授業形態で行われる。入学時のプレースメントテストの結果により、各自の英語レベルに応じたクラスを受講する。基本的な語彙力を習得し文法や文構造を理解することで、実践的な英語運用能力を磨くための基礎固めをする。また、主体的に英語のスキルアップに取り組めるよう効果的な学習方法についても紹介する。教材には TOEFL 等の試験問題を積極的に取り入れ、その他各種英語資格・検定試験にも対応できる力を養成する。</p> | | | | |
| 到達目標 | <p>【授業の到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 英語コミュニケーション力の基礎となる語彙や文法を理解し、使うことができる。 2. 身近な話題からキャンパスライフに関連した内容の英語を聞いて理解できる。 3. 自分自身や身近な話題について英語で表現できる。 4. 大学生に必要な教養英語の語彙を習得し、限られた時間内に英文を読み内容を理解できる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・外国語科目の必修科目である。また、中・高保健体育1種免許取得にあたっての必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | <p>【授業の位置づけ（学位授与方針に定められている知識・能力等との関連）】</p> <p>この科目は、スポーツ健康科学部の学位授与方針である「グローバル社会において連携や協働できるコミュニケーション能力」の基礎力の習得を目指している。</p> | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | <p>【履修要件】</p> <p>4月に実施するプレースメントテストのスコアによりクラス分けを行うので、指定クラスを受講する。</p> <p>【課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法】</p> <p>課題に対するフィードバックは授業内で行い、問題点の解説や強化すべき事項を明示する。</p> <p>【テキスト・参考書等】</p> <p>TOEFL TEST 必ずでる単 スピードマスター（Jリサーチ出版） Boost Your English I (TOEFL ITP)（成美堂） 他 指定テキストは必ず購入してください。購入方法は別途連絡します。</p> <p>その他の教材については、担当者が授業内で指示します。</p> | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | <p>【成績評価の方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業外課題、授業内活動、小テスト等(60%) 2. TOEFL模擬試験 (40%) | | | | |
| 評価基準 | <p>【成績評価の基準】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的な語彙や文法を理解し、文法問題や読解問題を解くことができる。（平常点、小テスト、TOEFL） 2. 身近な話題や大学生活に関連する英語を聞き、内容を把握し、伝えることができる。（平常点、小テスト、TOEFL） 3. 学術的あるいは身近な話題について書かれた英文を理解できる。（平常点、課題） | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| テストや課題については授業内に担当教員からフィードバックする。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | TOEFL TEST必ずでる単スピードマスター | 林 功 他 | Jリサーチ出版 | 9784863924130 | |
| | Boost Your English I (TOEFL ITP) | | 成美堂 | 784791931248 | |
| 参考文献 | | | | | |
| 授業内で別途案内する。 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>【連絡先】</p> <p>担当： 廣瀬絵美 E-mail : e.hirose.df@juntendo.ac.jp [at]を@に置き換えてください。</p> <p>【オフィスアワー】 火曜日 昼休み 1号館3階 廣瀬絵美研究室</p> | | | | |
| 担当教員の実務経歴 | | | | | |

| 備考 | | | | |
|---|---|--|--|--|
| <p>【学修時間】 この授業は、演習の授業形態による2単位科目であり、授業60時間、予習・復習30時間の計90時間の学修を必要とする。1回の授業時間は100分とする。</p> <p>【その他】 中・高教諭1種免許（保健体育）取得するための必修科目 科目：教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 施行規則に定める科目区分又は事項等：外国語コミュニケーション</p> <p>英語力の伸びを確認するためにTOEFL ITP試験を年に2回実施する。 科目担当者欄に記載のあるいずれかの担当者が担当する。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p> | | | | |
| 授業計画 | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 |
| 1 | 堀 智子、庄 子 ひとみ、 廣瀬 絵美、 ウィレムセ ン・マ シュー、コニ グリアーロ・ フランス、 有江 和美、 林 美里 | <p>【授業内容】</p> <p>①ガイダンス：単位取得上の諸注意、授業展開の概要を説明する。また、英語力向上に必要な日々の学習方法を紹介する。</p> <p>②アクティビティ：受講者同士のコミュニケーションを促進するための活動を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(復習：1時間)</p> <p>授業内で紹介した学習方法で英語のリスニングや語彙学習を行う。</p> |
| 2 | 堀 智子、庄 子 ひとみ、 廣瀬 絵美、 ウィレムセ ン・マ シュー、コニ グリアーロ・ フランス、 有江 和美、 林 美里 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法問題演習と解説</p> <p>②リスニング：日常生活に関連した英文のリスニングを行い、語彙や表現を確認する。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：1時間)</p> <p>語彙を増やすために指定の単語帳を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習：1時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 3 | 堀 智子、庄 子 ひとみ、 廣瀬 絵美、 ウィレムセ ン・マ シュー、コニ グリアーロ・ フランス、 有江 和美、 林 美里 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目を解説、TOEFL問題で応用力を磨く。</p> <p>②リスニング：日常生活に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：1時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習：1時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 4 | 堀 智子、庄 子 ひとみ、 廣瀬 絵美、 ウィレムセ ン・マ シュー、コニ グリアーロ・ フランス、 有江 和美、 林 美里 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目を解説し、TOEFL問題で応用力を磨く。</p> <p>②リスニング：日常生活に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：1時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習：1時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 5 | 堀 智子、庄 子 ひとみ、 廣瀬 絵美、 ウィレムセ ン・マ シュー、コニ グリアーロ・ フランス、 有江 和美、 林 美里 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目を確認し、TOEFL問題で応用力を磨く。</p> <p>②リスニング：キャンパスライフに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：1時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習：1時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 6 | 堀 智子、庄 子 ひとみ、 廣瀬 絵美、 ウィレムセ ン・マ シュー、コニ グリアーロ・ フランス、 有江 和美、 林 美里 | <p>【授業内容】</p> <p>①単語テストの実施、文法問題演習及び解説</p> <p>②リスニング：キャンパスライフに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：1時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習：1時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |

| | | | | |
|----|--|--|--|--|
| 7 | 堀 智子、庄 子 ひとみ、 廣瀬 絵美、 ウィレムセ ン・マ シュー、コニ グリアーロ・ フランシス、 有江 和美、 林 美里 | 【授業内容】 ①文法項目：ここまでの文法項目の復習をし、TOEFL問題で実践力を磨く。 ②リスニング：キャンパスライフに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | 【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) 語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 8 | 堀 智子、庄 子 ひとみ、 廣瀬 絵美、 ウィレムセ ン・マ シュー、コニ グリアーロ・ フランシス、 有江 和美、 林 美里 | 【授業内容】 ①文法項目を復習し、TOEFL問題で応用力を磨く。 ②リスニング：キャンパスライフに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | 【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) 語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 9 | 堀 智子、庄 子 ひとみ、 廣瀬 絵美、 ウィレムセ ン・マ シュー、コニ グリアーロ・ フランシス、 有江 和美、 林 美里 | 【授業内容】 ①文法項目を復習し、TOEFL問題で応用力を磨く。 ②リスニング：講義トピックに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | 【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) 語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 10 | 堀 智子、庄 子 ひとみ、 廣瀬 絵美、 ウィレムセ ン・マ シュー、コニ グリアーロ・ フランシス、 有江 和美、 林 美里 | 【授業内容】 ①TOEFL模擬試験でこれまでの理解と弱点を確認する。 ②リスニング：講義トピックに関連した英文のリスニングを行う。 | 【授業方法】 模擬試験によって時間配分や弱点を把握し、今後の具体的な対策をたてる。 | (予習：1時間) 語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 11 | 堀 智子、庄 子 ひとみ、 廣瀬 絵美、 ウィレムセ ン・マ シュー、コニ グリアーロ・ フランシス、 有江 和美、 林 美里 | 【授業内容】 ①TOEFL問題演習 ②リスニング：講義トピックに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | 【授業方法】 問題の解説、会話練習 | (予習：1時間) 語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 12 | 堀 智子、庄 子 ひとみ、 廣瀬 絵美、 ウィレムセ ン・マ シュー、コニ グリアーロ・ フランシス、 有江 和美、 林 美里 | 【授業内容】 ①文法項目：これまで間違いが多かった項目について解説を行い、練習問題を行う。 ②リスニング：講義トピックに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | 【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) 語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。 (復習：1時間) 理解が曖昧な文法項目の確認やリスニング問題の復習をする。 |
| 13 | 堀 智子、庄 子 ひとみ、 廣瀬 絵美、 ウィレムセ ン・マ シュー、コニ グリアーロ・ フランシス、 有江 和美、 林 美里 | 【授業内容】 ①文法項目：間違いが多かった項目について解説を行い、練習問題を行う。 ②リスニング：講義トピックに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | 【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) 語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。 (復習：2時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 14 | 堀 智子、庄 子 ひとみ、 廣瀬 絵美、 ウィレムセ ン・マ シュー、コニ グリアーロ・ フランシス、 有江 和美、 林 美里 | 【授業内容】 前期学習内容の総復習 | 【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：2時間) 弱点と思われる項目について再度確認しておく。 (復習：2時間) 授業で扱った項目について総復習する。 |
| | | 定期試験 | | |

| | | | | | |
|---------------------------------|--|--------|---------|--------------------|-------------------|
| 科目名 | 【新カリ】Basic English I ⑭B | | | 授業形態 | 講義 |
| 英語科目名 | Basic English I ⑭B | | | 対象学年 | 1年 |
| 開講学期 | 2022年度前期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | 林 美里 | | | ナンバリング | LNG1101 |
| 担当教員 | 林 美里、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | <p>【授業全体の内容】</p> <p>本科目は、演習の授業形態で行われる。入学時のプレースメントテストの結果により、各自の英語レベルに応じたクラスを受講する。基本的な語彙力を習得し文法や文構造を理解することで、実践的な英語運用能力を磨くための基礎固めをする。また、主体的に英語のスキルアップに取り組めるよう効果的な学習方法についても紹介する。教材には TOEFL 等の試験問題を積極的に取り入れ、その他各種英語資格・検定試験にも対応できる力を養成する。</p> | | | | |
| 到達目標 | <p>【授業の到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 英語コミュニケーション力の基礎となる語彙や文法を理解し、使うことができる。 2. 身近な話題からキャンパスライフに関連した内容の英語を聞いて理解できる。 3. 自分自身や身近な話題について英語で表現できる。 4. 大学生に必要な教養英語の語彙を習得し、限られた時間内に英文を読み内容を理解できる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・外国語科目の必修科目である。また、中・高保健体育1種免許取得にあたっての必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | <p>【授業の位置づけ（学位授与方針に定められている知識・能力等との関連）】</p> <p>この科目は、スポーツ健康科学部の学位授与方針である「グローバル社会において連携や協働できるコミュニケーション能力」の基礎力の習得を目指している。</p> | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | <p>【履修要件】</p> <p>4月に実施するプレースメントテストのスコアによりクラス分けを行うので、指定クラスを受講する。</p> | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | <p>【成績評価の方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業外課題、授業内活動、小テスト等 (60%) 2. TOEFL模擬試験 (40%) | | | | |
| 評価基準 | <p>【成績評価の基準】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的な語彙や文法を理解し、文法問題や読解問題を解くことができる。（平常点、小テスト、TOEFL） 2. 身近な話題や大学生活に関連する英語を聞き、内容を把握し、伝えることができる。（平常点、小テスト、TOEFL） 3. 学術的あるいは身近な話題について書かれた英文を理解できる。（平常点、課題） | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| テストや課題については授業内に担当教員からフィードバックする。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | TOEFL TEST必ずでる単スピードマスター | 林 功 他 | Jリサーチ出版 | 9784863924130 | 購入必須 購入方法は指示しません。 |
| | Boost Your English I: Practice for TOEFL ITP | 宍戸 真 他 | 成美堂 | 9784791931248 | 購入必須 購入方法は指示しません。 |
| 参考文献 | | | | | |
| 授業内で別途案内する。 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>【連絡先】</p> <p>担当：林 美里 E-mail: hayashimisat[at]gmail.com [at]を@に置き換えてください。対応可能時間：平日月曜日～土曜日 9:00～18:00 対応可能時間で計算して24時間以内に返信がない場合は、メーラーの不具合でこちらに届いていない可能性が高いです。申し訳ないですがその時は直接授業で声をかけてください。</p> <p>【オフィスアワー】</p> <p>メールで日程を相談の上、授業時間前後に非常勤講師室で対応します。</p> | | | | |
| 担当教員の実務経験 | | | | | |
| 備考 | <p>【学修時間】 この授業は、演習の授業形態による2単位科目であり、授業60時間、予習・復習30時間の計90時間の学修を必要とする。1回の授業時間は100分とする。</p> <p>【その他】</p> <p>中・高教諭1種免許（保健体育）取得するための必修科目 科目：教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 施行規則に定める科目区分又は事項等：外国語コミュニケーション</p> <p>英語力の伸びを確認するためにTOEFL ITP試験を年に2回実施する。 科目担当者欄に記載のあるいずれかの担当者が担当する。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p> | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 | |

| | | | | |
|----|------|--|---|--|
| 1 | 林 美里 | <p>【授業内容】</p> <p>①ガイダンス：単位取得上の諸注意、授業展開の概要を説明する。また、英語力向上に必要な日々の学習方法を紹介する。</p> <p>②アクティビティ：受講者同士のコミュニケーションを促進するための活動を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(復習：4時間)</p> <p>授業内で紹介した学習方法で英語のリスニングや語彙学習を行う。</p> |
| 2 | 林 美里 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法問題演習と解説</p> <p>②リスニング：日常生活に関連した英文のリスニングを行い、語彙や表現を確認する。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：2時間)</p> <p>語彙を増やすために指定の単語帳を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習：2時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 3 | 林 美里 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目を解説、TOEFL問題で応用力を磨く。</p> <p>②リスニング：日常生活に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：2時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習：2時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 4 | 林 美里 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目を解説し、TOEFL問題で応用力を磨く。</p> <p>②リスニング：日常生活に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：2時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習：2時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 5 | 林 美里 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目を確認し、TOEFL問題で応用力を磨く。</p> <p>②リスニング：キャンパスライフに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：2時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習：2時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 6 | 林 美里 | <p>【授業内容】</p> <p>①単語テストの実施、文法問題演習及び解説</p> <p>②リスニング：キャンパスライフに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：2時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習：2時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 7 | 林 美里 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目：ここまでの文法項目の復習をし、TOEFL問題で実践力を磨く。</p> <p>②リスニング：キャンパスライフに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：2時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習：2時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 8 | 林 美里 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目を復習し、TOEFL問題で応用力を磨く。</p> <p>②リスニング：キャンパスライフに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：2時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習：2時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 9 | 林 美里 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目を復習し、TOEFL問題で応用力を磨く。</p> <p>②リスニング：講義トピックに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：2時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習：2時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 10 | 林 美里 | <p>【授業内容】</p> <p>①TOEFL模擬試験でこれまでの理解と弱点を確認する。</p> <p>②リスニング：講義トピックに関連した英文のリスニングを行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>模擬試験によって時間配分や弱点を把握し、今後の具体的な対策をたてる。</p> | <p>(予習：2時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習：2時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 11 | 林 美里 | <p>【授業内容】</p> <p>①TOEFL問題演習</p> <p>②リスニング：講義トピックに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>問題の解説、会話練習</p> | <p>(予習：2時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習：2時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |

| | | | | | |
|---------------------------------|--|-------|---------|--------------------|---------------|
| 科目名 | 【新カリ】Basic English I ⑯A | | | 授業形態 | 講義 |
| 英語科目名 | Basic English I ⑯A | | | 対象学年 | 1年 |
| 開講学期 | 2022年度前期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | 堀 智子 | | | ナンバリング | LNG1101 |
| 担当教員 | 堀 智子、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | <p>【授業全体の内容】</p> <p>本科目は、演習の授業形態で行われる。入学時のプレースメントテストの結果により、各自の英語レベルに応じたクラスを受講する。基本的な語彙力を習得し文法や文構造を理解することで、実践的な英語運用能力を磨くための基礎固めをする。また、主体的に英語のスキルアップに取り組めるよう効果的な学習方法についても紹介する。教材には TOEFL 等の試験問題を積極的に取り入れ、その他各種英語資格・検定試験にも対応できる力を養成する。</p> | | | | |
| 到達目標 | <p>【授業の到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 英語コミュニケーション力の基礎となる語彙や文法を理解し、使うことができる。 2. 身近な話題からキャンパスライフに関連した内容の英語を聞いて理解できる。 3. 自分自身や身近な話題について英語で表現できる。 4. 大学生に必要な教養英語の語彙を習得し、限られた時間内に英文を読み内容を理解できる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・外国語科目の必修科目である。また、中・高保健体育1種免許取得にあたっての必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | <p>【授業の位置づけ（学位授与方針に定められている知識・能力等との関連）】</p> <p>この科目は、スポーツ健康科学部の学位授与方針である「グローバル社会において連携や協働できるコミュニケーション能力」の基礎力の習得を目指している。</p> | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | <p>【履修要件】</p> <p>4月に実施するプレースメントテストのスコアによりクラス分けを行うので、指定クラスを受講する。</p> | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | <p>【成績評価の方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業外課題、授業内活動、小テスト等 (60%) 2. TOEFL模擬試験 (40%) | | | | |
| 評価基準 | <p>【成績評価の基準】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的な語彙や文法を理解し、文法問題や読解問題を解くことができる。（平常点、小テスト、TOEFL） 2. 身近な話題や大学生活に関連する英語を聞き、内容を把握し、伝えることができる。（平常点、小テスト、TOEFL） 3. 学術的あるいは身近な話題について書かれた英文を理解できる。（平常点、課題） | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| テストや課題については授業内に担当教員からフィードバックする。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | TOEFL TEST必ずでる単スピードマスター | 林 功 他 | Jリサーチ出版 | 9784863924130 | 購入必須 購入方法別途案内 |
| 参考文献 | | | | | |
| 授業内で別途案内する。 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>【連絡先】</p> <p>担当：堀 智子 E-mail：t-hori[at]juntendo.ac.jp [at]を@に置き換えてください。</p> <p>【オフィスアワー】</p> <p>火曜日・水曜日 昼休み 1号館3階 1304室</p> | | | | |
| 担当教員の実務経験 | | | | | |
| 備考 | <p>【学修時間】 この授業は、演習の授業形態による2単位科目であり、授業60時間、予習・復習30時間の計90時間の学修を必要とする。1回の授業時間は100分とする。</p> <p>【その他】</p> <p>中・高教諭1種免許（保健体育）取得するための必修科目 科目：教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 施行規則に定める科目区分又は事項等：外国語コミュニケーション</p> <p>英語力の伸びを確認するためにTOEFL ITP試験を年に2回実施する。 科目担当者欄に記載のあるいずれかの担当者が担当する。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p> | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 | |

| | | | | |
|----|------|--|---|--|
| 1 | 堀 智子 | <p>【授業内容】</p> <p>①ガイダンス:単位取得上の諸注意、授業展開の概要を説明する。また、英語力向上に必要な日々の学習方法を紹介する。</p> <p>②アクティビティ:受講者同士のコミュニケーションを促進するための活動を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(復習:2時間)</p> <p>授業内で紹介した学習方法で英語のリスニングや語彙学習を行う。</p> |
| 2 | 堀 智子 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法問題演習と解説</p> <p>②リスニング:日常生活に関連した英文のリスニングを行い、語彙や表現を確認する。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習:1時間)</p> <p>語彙を増やすために指定の単語帳を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習:1時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 3 | 堀 智子 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目を解説、TOEFL問題で応用力を磨く。</p> <p>②リスニング:日常生活に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習:1時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習:1時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 4 | 堀 智子 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目を解説し、TOEFL問題で応用力を磨く。</p> <p>②リスニング:日常生活に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習:1時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習:1時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 5 | 堀 智子 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目を確認し、TOEFL問題で応用力を磨く。</p> <p>②リスニング:キャンパスライフに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習:1時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習:1時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 6 | 堀 智子 | <p>【授業内容】</p> <p>①単語テストの実施、文法問題演習及び解説</p> <p>②リスニング:キャンパスライフに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習:1時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習:1時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 7 | 堀 智子 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目:ここまでの文法項目の復習をし、TOEFL問題で実践力を磨く。</p> <p>②リスニング:キャンパスライフに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習:1時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習:1時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 8 | 堀 智子 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目を復習し、TOEFL問題で応用力を磨く。</p> <p>②リスニング:キャンパスライフに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習:1時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習:1時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 9 | 堀 智子 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目を復習し、TOEFL問題で応用力を磨く。</p> <p>②リスニング:講義トピックに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習:1時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習:1時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 10 | 堀 智子 | <p>【授業内容】</p> <p>①TOEFL模擬試験でこれまでの理解と弱点を確認する。</p> <p>②リスニング:講義トピックに関連した英文のリスニングを行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>模擬試験によって時間配分や弱点を把握し、今後の具体的な対策をたてる。</p> | <p>(予習:1時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習:1時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 11 | 堀 智子 | <p>【授業内容】</p> <p>①TOEFL問題演習</p> <p>②リスニング:講義トピックに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>問題の解説、会話練習</p> | <p>(予習:1時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習:1時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |

| | | | | |
|----|------|---|--|---|
| 12 | 堀 智子 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目：これまで間違いが多かった項目について解説を行い、練習問題を行う。</p> <p>②リスニング：講義トピックに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：1時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習：1時間)</p> <p>理解が曖昧な文法項目の確認やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 13 | 堀 智子 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目：間違いが多かった項目について解説を行い、練習問題を行う。</p> <p>②リスニング：講義トピックに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：1時間)</p> <p>語彙を増やすために単語帳を基本に隙間時間を利用して暗記に努める。教員に指定された問題を時間を計りながら解く。</p> <p>(復習：1時間)</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 14 | 堀 智子 | <p>【授業内容】</p> <p>前期学習内容の総復習</p> | <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：2時間)</p> <p>弱点と思われる項目について再度確認しておく。</p> <p>(復習：2時間)</p> <p>授業で扱った項目について総復習する。</p> |
| | | 定期試験 | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

| | | | | | |
|---|---|------|--------|--------------------|---------|
| 科目名 | 【新カリ】Basic EnglishⅢ 中・上級 | | | 授業形態 | 講義 |
| 英語科目名 | Basic EnglishⅢ 中・上級 | | | 対象学年 | 2年 |
| 開講学期 | 2022年度前期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | Matthew Willemsen | | | ナンバリング | LNG2103 |
| 担当教員 | Matthew Willemsen、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | <p>【授業全体の内容】 Summary of the Course 本科目は演習の授業形態で行われる。1年次で学んだ英語の基礎から発展し、レベルごとにクラス編成をし、英語4技能（Listening, Reading, Speaking, Writing）の総合的な運用能力の向上を目指す。身近な話題から発展して異文化理解、健康・医療、人権、環境など多岐にわたるトピックの英文を扱い、ロールプレイではビジネスの場面も想定して口頭や文章で意見をアウトプットする練習を行う。また音楽や映画などの音源・映像資料を使って、英語のリスニングや会話表現を学ぶ。</p> | | | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 英語コミュニケーション力の基礎となる語彙や文法を理解し、使うことができる。 2. 身近な話題から社会問題、ビジネスに関連した内容の英語を聞いて理解できる。 3. 身近な話題だけではなく、社会問題についても英語で表現できる。 4. TOEFL等、各種英語試験対策も考慮しながら、発展的な英語表現を学び、理解できる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・外国語科目の選択必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目はスポーツ健康科学部の学位授与方針である「グローバル社会において連携や協働できるコミュニケーション能力」の基礎力の習得を目指している。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | 特になし | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | <p>【成績評価の方法】 Evaluation System</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 発言、ロールプレイ含む授業参加度 (Class Participation 30%) 2. 提出課題 (Assignment 30%) 3. 定期試験 (Term Exam 40%) <p>(評価基準の詳細はオリエンテーションの際に説明します)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Evaluation is based upon student participation in skills activities in class (30%), completion of homework assignments (30%), and in-class tests (40%). 2. Further details will be described in the class orientation. | | | | |
| 評価基準 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的な語彙力及び文法を身に付け、英文を正しく理解できる。 2. 身近な話題や社会問題、ビジネスのやり取りに関連する英語を聞き、英語表現、英語音声特徴を理解した上で、内容を把握できる。 3. 自分自身や身近な話題について英語で話し、書くことができる。 | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 課題に対するフィードバックは授業内で行い、問題点の解説や強化すべき事項を明示する。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | | | | | |
| 参考文献 | | | | | |
| 授業内に随時、参考文献を提示します。 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>【連絡先】 Contact address matthew[at]juntendo.ac.jp *[at]を@に変更してください。</p> <p>【オフィスアワー】 Office hours Office hours Building 1 3'rd floor, rm1302, Tuesdays, Wednesdays and Thursdays 8:00-8:30, Wednesdays 4:20-4:45</p> | | | | |
| 担当教員の実務経歴 | | | | | |
| 備考 | <p>【学修時間】 Expected study time for this course この授業は、演習の授業形態による2単位科目であり、授業30時間、予習・復習各30時間の計90時間の学修を必要とする。</p> <p>【その他】 Notes 科目担当者欄に記載のあるいずれかの担当者が担当する。 新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p> | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 | |

| | | | | |
|---|--------------------|--|---|---|
| 1 | Matthew Willemssen | オリエンテーション | 授業目的、授業方法、評価方法等を説明する。 英語による自己紹介 | (予習: 1時間) 自己紹介を英語で考えておく。 (復習: 1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |
| 2 | Matthew Willemssen | Listening & Reading (Food & Restaurant) (TOEFL / TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習: 1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。 (復習: 1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |
| 3 | Matthew Willemssen | Listening & Reading (Entertainment) (TOEFL / TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習: 1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。授業内で指名された際には単語を調べてある状態にしておくこと。 (復習: 1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |
| 4 | Matthew Willemssen | Listening & Reading (Travel) (TOEFL / TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習: 1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。授業内で指名された際には単語を調べてある状態にしておくこと。 (復習: 1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |
| 5 | Matthew Willemssen | Listening & Reading (Shopping) (TOEFL / TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習: 1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。 (復習: 1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |

| | | | | |
|---|--------------------|--|--|---|
| 6 | Matthew Willemssen | Listening & Reading (Office work 1) (TOEFL / TOEIC) | <p>(1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。</p> <p>(2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど)</p> <p>(3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。</p> <p>(4) 英語で自分の意見を書く。</p> | <p>(予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。</p> <p>(復習：1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。</p> |
| 7 | Matthew Willemssen | Listening & Reading (Office Work 2) (TOEFL / TOEIC) | <p>(1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。</p> <p>(2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど)</p> <p>(3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。</p> <p>(4) 英語で自分の意見を書く。</p> | <p>(予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。</p> <p>(復習：1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。</p> |
| 8 | Matthew Willemssen | Listening & Reading (Environment) (TOEFL / TOEIC) | <p>(1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。</p> <p>(2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど)</p> <p>(3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。</p> <p>(4) 英語で自分の意見を書く。</p> | <p>(予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。授業内で指名された際には単語を調べてある状態にしておくこと。</p> <p>(復習：1時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。</p> |
| 9 | Matthew Willemssen | Listening & Reading (Sports) (TOEFL / TOEIC) | <p>(1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。</p> <p>(2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど)</p> <p>(3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。</p> <p>(4) 英語で自分の意見を書く。</p> | <p>(予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。</p> <p>(復習：1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。</p> |

| | | | | |
|----|--------------------|---|---|--|
| 10 | Matthew Willemssen | Listening & Reading (Art) (TOEFL /TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。 (復習：1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |
| 11 | Matthew Willemssen | Listening & Reading (Environment) (TOEFL /TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。授業内で指名された際には単語を調べてある状態にしておくこと。 (復習：1時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 12 | Matthew Willemssen | Listening & Reading (Lectures & Presentations) (TOEFL / TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。 (復習：1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |
| 13 | Matthew Willemssen | Listening & Reading (Globalization) (TOEFL/ TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。 (復習：1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |
| 14 | Matthew Willemssen | まとめ | 前期学習の総復習 | (予習：2時間) 定期試験に備え、語彙ノートを振り返り、学んだ内容を整理する。 (復習：2時間) 定期試験に備え、語彙ノートを振り返り、学んだ内容を整理する。 |
| | Matthew Willemssen | 定期試験 | | なし |
| | | | | |

| | | | | | |
|---|---|------|--------|--------------------|-----------------------|
| 科目名 | 【新カリ】Basic EnglishⅢ 入門 | | | 授業形態 | 講義 |
| 英語科目名 | Basic EnglishⅢ 入門 | | | 対象学年 | 2年 |
| 開講学期 | 2022年度前期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | Keith G.Russell | | | ナンバリング | LNG2103 |
| 担当教員 | Keith G.Russell、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | <p>【授業全体の内容】 Summary of the Course 本科目は演習の授業形態で行われる。1年次で学んだ英語の基礎から発展し、レベルごとにクラス編成をし、英語4技能（Listening, Reading, Speaking, Writing）の総合的な運用能力の向上を目指す。身近な話題から発展して異文化理解、健康・医療、人権、環境など多岐にわたるトピックの英文を扱い、ロールプレイではビジネスの場面も想定して口頭や文章で意見をアウトプットする練習を行う。また音楽や映画などの音源・映像資料を使って、英語のリスニングや会話表現を学ぶ。</p> | | | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 英語コミュニケーション力の基礎となる語彙や文法を理解し、使うことができる。 2. 身近な話題から社会問題、ビジネスに関連した内容の英語を聞いて理解できる。 3. 身近な話題だけではなく、社会問題についても英語で表現できる。 4. TOEFL等、各種英語試験対策も考慮しながら、発展的な英語表現を学び、理解できる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・外国語科目の選択必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目はスポーツ健康科学部の学位授与方針である「グローバル社会において連携や協働できるコミュニケーション能力」の基礎力の習得を目指している。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | 特になし | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | <p>【成績評価の方法】 Evaluation System</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 発言、ロールプレイ含む授業参加度 (Class Participation 30%) 2. 提出課題 (Assignment 30%) 3. 定期試験 (Term Exam 40%) <p>(評価基準の詳細はオリエンテーションの際に説明します)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Evaluation is based upon student participation in skills activities in class (30%), completion of homework assignments (30%), and in-class tests (40%). 2. Further details will be described in the class orientation. | | | | |
| 評価基準 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的な語彙力及び文法を身に付け、英文を正しく理解できる。 2. 身近な話題や社会問題、ビジネスのやり取りに関連する英語を聞き、英語表現、英語音声特徴を理解した上で、内容を把握できる。 3. 自分自身や身近な話題について英語で話し、書くことができる。 | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 課題に対するフィードバックは授業内で行い、問題点の解説や強化すべき事項を明示する。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | Marathon Mouth Keep On Running | | | | You must buy in class |
| 参考文献 | | | | | |
| 授業内に随時、参考文献を提示します。 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>【連絡先】 keithr[at]juntendo.ac.jp *[at]を@に変更してください。</p> <p>【オフィスアワー】 Office hours Building 1 3'rd floor, rm1302, Tuesdays, Wednesdays and Thursdays 8:00-8:30, Wednesdays 4:20-4:45</p> | | | | |
| 担当教員の実務経歴 | | | | | |
| 備考 | <p>【学修時間】 Expected study time for this course この授業は、演習の授業形態による2単位科目であり、授業30時間、予習・復習各30時間の計90時間の学修を必要とする。</p> <p>【その他】 Notes 科目担当者欄に記載のあるいずれかの担当者が担当する。 新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p> | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 | |

| | | | | |
|---|---------------------|--|---|---|
| 1 | Keith G. Russell | オリエンテーション | 授業目的、授業方法、評価方法を説明する。 英語による自己紹介 | (予習: 1時間) 自己紹介を英語で考えておく。 (復習: 1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |
| 2 | Keith G. Russell | Listening & Reading (Food & Restaurant) (TOEFL / TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習: 1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。 (復習: 1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |
| 3 | Keith G. Russell | Listening & Reading (Entertainment) (TOEFL / TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習: 1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。授業内で指名された際には単語を調べてある状態にしておくこと。 (復習: 1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |
| 4 | Keith G. Russell | Listening & Reading (Travel) (TOEFL / TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習: 1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。授業内で指名された際には単語を調べてある状態にしておくこと。 (復習: 1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |
| 5 | Keith G. Russell | Listening & Reading (Shopping) (TOEFL / TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習: 1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。 (復習: 1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |

| | | | | |
|---|---------------------|--|--|---|
| 6 | Keith G. Russell | Listening & Reading (Office work 1) (TOEFL / TOEIC) | <p>(1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。</p> <p>(2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど)</p> <p>(3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。</p> <p>(4) 英語で自分の意見を書く。</p> | <p>(予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。</p> <p>(復習：1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。</p> |
| 7 | Keith G. Russell | Listening & Reading (Office Work 2) (TOEFL / TOEIC) | <p>(1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。</p> <p>(2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど)</p> <p>(3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。</p> <p>(4) 英語で自分の意見を書く。</p> | <p>(予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。</p> <p>(復習：1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。</p> |
| 8 | Keith G. Russell | Listening & Reading (Environment) (TOEFL / TOEIC) | <p>(1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。</p> <p>(2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど)</p> <p>(3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。</p> <p>(4) 英語で自分の意見を書く。</p> | <p>(予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。授業内で指名された際には単語を調べてある状態にしておくこと。</p> <p>(復習：1時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。</p> |
| 9 | Keith G. Russell | Listening & Reading (Sports) (TOEFL / TOEIC) | <p>(1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。</p> <p>(2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど)</p> <p>(3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。</p> <p>(4) 英語で自分の意見を書く。</p> | <p>(予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。</p> <p>(復習：1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。</p> |

| | | | | |
|----|---------------------|---|---|--|
| 10 | Keith G. Russell | Listening & Reading (Art) (TOEFL /TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。 (復習：1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |
| 11 | Keith G. Russell | Listening & Reading (Environment) (TOEFL /TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。授業内で指名された際には単語を調べてある状態にしておくこと。 (復習：1時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 12 | Keith G. Russell | Listening & Reading (Lectures & Presentations) (TOEFL / TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。 (復習：1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |
| 13 | Keith G. Russell | Listening & Reading (Globalization) (TOEFL/ TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。 (復習：1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |
| 14 | Keith G. Russell | まとめ | 前期学習の総復習 | (予習：2時間) 定期試験に備え、語彙ノートを振り返り、学んだ内容を整理する。 (復習：2時間) 定期試験に備え、語彙ノートを振り返り、学んだ内容を整理する。 |
| | Keith G. Russell | 定期試験 | | なし |
| | | | | |

| | | | | |
|--|--|--|--|--|
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

| | | | | | |
|---|---|--------|---------|------|----|
| 科目名 | 【新カリ】Basic EnglishⅢ 入門 | 授業形態 | 講義 | | |
| 英語科目名 | Basic EnglishⅢ 入門 | 対象学年 | 2年 | | |
| 開講学期 | 2022年度前期 | 単位数 | 2単位 | | |
| 代表教員 | 廣瀬 絵美 | ナンバリング | LNG2103 | | |
| 担当教員 | 廣瀬 絵美、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | <p>【授業全体の内容】 Summary of the Course 本科目は演習の授業形態で行われる。1年次で学んだ英語の基礎から発展し、レベルごとにクラス編成をし、英語4技能（Listening, Reading, Speaking, Writing）の総合的な運用能力の向上を目指す。身近な話題から発展して異文化理解、健康・医療、人権、環境など多岐にわたるトピックの英文を扱い、ロールプレイではビジネスの場面も想定して口頭や文章で意見をアウトプットする練習を行う。また音楽や映画などの音源・映像資料を使って、英語のリスニングや会話表現を学ぶ。</p> <p>【授業の位置づけ（学位授与方針に定められている知識・能力等との関連）】 Diploma& Curricular Policies この科目はスポーツ健康科学部の学位授与方針である「グローバル社会において連携や協働できるコミュニケーション能力」の基礎力の習得を目指している。</p> <p>【授業の到達目標】 Targets 1. 英語コミュニケーション力の基礎となる語彙や文法を理解し、使うことができる。 2. 身近な話題から社会問題、ビジネスに関連した内容の英語を聞いて理解できる。 3. 身近な話題だけではなく、社会問題についても英語で表現できる。 4. TOEFL等、各種英語試験対策も考慮しながら、発展的な英語表現を学び、理解できる。</p> | | | | |
| 到達目標 | 1. 英語コミュニケーション力の基礎となる語彙や文法を理解し、使うことができる。 2. 身近な話題から社会問題、ビジネスに関連した内容の英語を聞いて理解できる。 3. 身近な話題だけではなく、社会問題についても英語で表現できる。 4. TOEFL等、各種英語試験対策も考慮しながら、発展的な英語表現を学び、理解できる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・外国語科目の選択必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目はスポーツ健康科学部の学位授与方針である「グローバル社会において連携や協働できるコミュニケーション能力」の基礎力の習得を目指している。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | 特になし | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | <p>【成績評価の方法】 Evaluation System 1. 発言、ロールプレイ含む授業参加度（Class Participation 30%） 2. 提出課題（Assignment 30%） 3. 定期試験（Term Exam 40%） （評価基準の詳細はオリエンテーションの際に説明します）</p> <p>1. Evaluation is based upon student participation in skills activities in class (30%), completion of homework assignments (30%), and in-class tests (40%). 2. Further details will be described in the class orientation.</p> | | | | |
| 評価基準 | 1. 基本的な語彙力及び文法を身に着け、英文を正しく理解できる。 2. 身近な話題や社会問題、ビジネスのやり取りに関連する英語を聞き、英語表現、英語音声特徴を理解した上で、内容を把握できる。 3. 自分自身や身近な話題について英語で話し、書くことができる。 | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 課題に対するフィードバックは授業内で行い、問題点の解説や強化すべき事項を明示する。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | | | | | |
| 参考文献 | | | | | |
| 授業内に随時、参考文献を提示します。 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>【連絡先】 e.hirose.df@juntendo.ac.jp</p> <p>【オフィスアワー】 Office Hours 火曜 12:00~12:50 一号館3階 廣瀬絵美研究室（事前にメールで予約すること）</p> | | | | |
| 担当教員の実務経験 | | | | | |
| 備考 | <p>【学修時間】 Expected study time for this course この授業は、演習の授業形態による2単位科目であり、授業60時間、予習・復習30時間の計90時間の学修を必要とする。</p> <p>【その他】 Notes 科目担当者欄に記載のあるいずれかの担当者が担当する。 新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p> | | | | |

| 授業計画 | | | | |
|------|-------|--|---|---|
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 |
| 1 | 廣瀬絵美 | オリエンテーション | 授業目的、授業方法、評価方法等を説明する。 英語による自己紹介 | (予習:1時間) 自己紹介を英語で考えておく。 (復習:1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |
| 2 | 廣瀬絵美 | Listening & Reading (Food & Restaurant) (TOEFL / TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習:1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。 (復習:1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |
| 3 | 廣瀬 絵美 | Listening & Reading (Entertainment) (TOEFL / TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習:1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。授業内で指名された際には単語を調べてある状態にしておくこと。 (復習:1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |
| 4 | 廣瀬 絵美 | Listening & Reading (Travel) (TOEFL / TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習:1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。授業内で指名された際には単語を調べてある状態にしておくこと。 (復習:1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |
| 5 | 廣瀬 絵美 | Listening & Reading (Shopping) (TOEFL / TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習:1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。 (復習:1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |

| | | | | |
|---|-------|--|--|---|
| 6 | 廣瀬 絵美 | Listening & Reading (Office work 1) (TOEFL / TOEIC) | <p>(1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。</p> <p>(2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど)</p> <p>(3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。</p> <p>(4) 英語で自分の意見を書く。</p> | <p>(予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。</p> <p>(復習：1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。</p> |
| 7 | 廣瀬絵美 | Listening & Reading (Office Work 2) (TOEFL / TOEIC) | <p>(1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。</p> <p>(2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど)</p> <p>(3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。</p> <p>(4) 英語で自分の意見を書く。</p> | <p>(予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。</p> <p>(復習：1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。</p> |
| 8 | 廣瀬 絵美 | Listening & Reading (Environment) (TOEFL / TOEIC) | <p>(1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。</p> <p>(2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど)</p> <p>(3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。</p> <p>(4) 英語で自分の意見を書く。</p> | <p>(予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。授業内で指名された際には単語を調べてある状態にしておくこと。</p> <p>(復習：1時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。</p> |
| 9 | 廣瀬 絵美 | Listening & Reading (Sports) (TOEFL / TOEIC) | <p>(1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。</p> <p>(2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど)</p> <p>(3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。</p> <p>(4) 英語で自分の意見を書く。</p> | <p>(予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。</p> <p>(復習：1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。</p> |

| | | | | |
|----|-------|---|---|--|
| 10 | 廣瀬 絵美 | Listening & Reading (Art) (TOEFL /TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。 (復習：1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |
| 11 | 廣瀬 絵美 | Listening & Reading (Environment) (TOEFL /TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。授業内で指名された際には単語を調べてある状態にしておくこと。 (復習：1時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 12 | 廣瀬 絵美 | Listening & Reading (Lectures & Presentations) (TOEFL / TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。 (復習：1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |
| 13 | 廣瀬 絵美 | Listening & Reading (Globalization) (TOEFL/ TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。 (復習：1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |
| 14 | 廣瀬 絵美 | まとめ | 前期学習の総復習 | (予習：2時間) 定期試験に備え、語彙ノートを振り返り、学んだ内容を整理する。 (復習：2時間) 定期試験に備え、語彙ノートを振り返り、学んだ内容を整理する。 |
| | 廣瀬 絵美 | 定期試験 | | なし |
| | | | | |

| | | | | | |
|---|---|------|--------|--------------------|---------|
| 科目名 | 【新カリ】Basic EnglishⅢ 中・上級 | | | 授業形態 | 講義 |
| 英語科目名 | Basic EnglishⅢ 中・上級 | | | 対象学年 | 2年 |
| 開講学期 | 2022年度前期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | Matthew Willemsen | | | ナンバリング | LNG2103 |
| 担当教員 | Matthew Willemsen、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | <p>【授業全体の内容】 Summary of the Course 本科目は演習の授業形態で行われる。1年次で学んだ英語の基礎から発展し、レベルごとにクラス編成をし、英語4技能（Listening, Reading, Speaking, Writing）の総合的な運用能力の向上を目指す。身近な話題から発展して異文化理解、健康・医療、人権、環境など多岐にわたるトピックの英文を扱い、ロールプレイではビジネスの場面も想定して口頭や文章で意見をアウトプットする練習を行う。また音楽や映画などの音源・映像資料を使って、英語のリスニングや会話表現を学ぶ。</p> | | | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 英語コミュニケーション力の基礎となる語彙や文法を理解し、使うことができる。 2. 身近な話題から社会問題、ビジネスに関連した内容の英語を聞いて理解できる。 3. 身近な話題だけではなく、社会問題についても英語で表現できる。 4. TOEFL等、各種英語試験対策も考慮しながら、発展的な英語表現を学び、理解できる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・外国語科目の選択必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目はスポーツ健康科学部の学位授与方針である「グローバル社会において連携や協働できるコミュニケーション能力」の基礎力の習得を目指している。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | 特になし | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | <p>【成績評価の方法】 Evaluation System</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 発言、ロールプレイ含む授業参加度 (Class Participation 30%) 2. 提出課題 (Assignment 30%) 3. 定期試験 (Term Exam 40%) <p>(評価基準の詳細はオリエンテーションの際に説明します)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Evaluation is based upon student participation in skills activities in class (30%), completion of homework assignments (30%), and in-class tests (40%). 2. Further details will be described in the class orientation. | | | | |
| 評価基準 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的な語彙力及び文法を身に付け、英文を正しく理解できる。 2. 身近な話題や社会問題、ビジネスのやり取りに関連する英語を聞き、英語表現、英語音声特徴を理解した上で、内容を把握できる。 3. 自分自身や身近な話題について英語で話し、書くことができる。 | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 課題に対するフィードバックは授業内で行い、問題点の解説や強化すべき事項を明示する。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | | | | | |
| 参考文献 | | | | | |
| 授業内に随時、参考文献を提示します。 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>【連絡先】 Contact address matthew[at]juntendo.ac.jp *[at]を@に変更してください。</p> <p>【オフィスアワー】 Office hours Office hours Building 1 3'rd floor, rm1302, Tuesdays, Wednesdays and Thursdays 8:00-8:30, Wednesdays 4:20-4:45</p> | | | | |
| 担当教員の実務経歴 | | | | | |
| 備考 | <p>【学修時間】 Expected study time for this course この授業は、演習の授業形態による2単位科目であり、授業30時間、予習・復習各30時間の計90時間の学修を必要とする。</p> <p>【その他】 Notes 科目担当者欄に記載のあるいずれかの担当者が担当する。 新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p> | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 | |

| | | | | |
|---|--------------------|--|---|---|
| 1 | Matthew Willemssen | オリエンテーション | 授業目的、授業方法、評価方法等を説明する。 英語による自己紹介 | (予習: 1時間) 自己紹介を英語で考えておく。 (復習: 1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |
| 2 | Matthew Willemssen | Listening & Reading (Food & Restaurant) (TOEFL / TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習: 1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。 (復習: 1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |
| 3 | Matthew Willemssen | Listening & Reading (Entertainment) (TOEFL / TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習: 1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。授業内で指名された際には単語を調べてある状態にしておくこと。 (復習: 1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |
| 4 | Matthew Willemssen | Listening & Reading (Travel) (TOEFL / TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習: 1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。授業内で指名された際には単語を調べてある状態にしておくこと。 (復習: 1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |
| 5 | Matthew Willemssen | Listening & Reading (Shopping) (TOEFL / TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習: 1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。 (復習: 1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |

| | | | | |
|---|--------------------|--|--|---|
| 6 | Matthew Willemssen | Listening & Reading (Office work 1) (TOEFL / TOEIC) | <p>(1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。</p> <p>(2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど)</p> <p>(3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。</p> <p>(4) 英語で自分の意見を書く。</p> | <p>(予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。</p> <p>(復習：1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。</p> |
| 7 | Matthew Willemssen | Listening & Reading (Office Work 2) (TOEFL / TOEIC) | <p>(1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。</p> <p>(2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど)</p> <p>(3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。</p> <p>(4) 英語で自分の意見を書く。</p> | <p>(予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。</p> <p>(復習：1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。</p> |
| 8 | Matthew Willemssen | Listening & Reading (Environment) (TOEFL / TOEIC) | <p>(1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。</p> <p>(2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど)</p> <p>(3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。</p> <p>(4) 英語で自分の意見を書く。</p> | <p>(予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。授業内で指名された際には単語を調べてある状態にしておくこと。</p> <p>(復習：1時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。</p> |
| 9 | Matthew Willemssen | Listening & Reading (Sports) (TOEFL / TOEIC) | <p>(1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。</p> <p>(2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど)</p> <p>(3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。</p> <p>(4) 英語で自分の意見を書く。</p> | <p>(予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。</p> <p>(復習：1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。</p> |

| | | | | |
|----|--------------------|---|---|--|
| 10 | Matthew Willemssen | Listening & Reading (Art) (TOEFL /TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。 (復習：1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |
| 11 | Matthew Willemssen | Listening & Reading (Environment) (TOEFL /TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。授業内で指名された際には単語を調べてある状態にしておくこと。 (復習：1時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 12 | Matthew Willemssen | Listening & Reading (Lectures & Presentations) (TOEFL / TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。 (復習：1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |
| 13 | Matthew Willemssen | Listening & Reading (Globalization) (TOEFL/ TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。 (復習：1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |
| 14 | Matthew Willemssen | まとめ | 前期学習の総復習 | (予習：2時間) 定期試験に備え、語彙ノートを振り返り、学んだ内容を整理する。 (復習：2時間) 定期試験に備え、語彙ノートを振り返り、学んだ内容を整理する。 |
| | Matthew Willemssen | 定期試験 | | なし |
| | | | | |

| | | | | | |
|---|---|------|--------|--------------------|-----------------------|
| 科目名 | 【新カリ】Basic EnglishⅢ 入門 | | | 授業形態 | 講義 |
| 英語科目名 | Basic EnglishⅢ 入門 | | | 対象学年 | 2年 |
| 開講学期 | 2022年度前期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | Keith G.Russell | | | ナンバリング | LNG2103 |
| 担当教員 | Keith G.Russell、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | <p>【授業全体の内容】 Summary of the Course 本科目は演習の授業形態で行われる。1年次で学んだ英語の基礎から発展し、レベルごとにクラス編成をし、英語4技能（Listening, Reading, Speaking, Writing）の総合的な運用能力の向上を目指す。身近な話題から発展して異文化理解、健康・医療、人権、環境など多岐にわたるトピックの英文を扱い、ロールプレイではビジネスの場面も想定して口頭や文章で意見をアウトプットする練習を行う。また音楽や映画などの音源・映像資料を使って、英語のリスニングや会話表現を学ぶ。</p> | | | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 英語コミュニケーション力の基礎となる語彙や文法を理解し、使うことができる。 2. 身近な話題から社会問題、ビジネスに関連した内容の英語を聞いて理解できる。 3. 身近な話題だけではなく、社会問題についても英語で表現できる。 4. TOEFL等、各種英語試験対策も考慮しながら、発展的な英語表現を学び、理解できる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・外国語科目の選択必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目はスポーツ健康科学部の学位授与方針である「グローバル社会において連携や協働できるコミュニケーション能力」の基礎力の習得を目指している。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | 特になし | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | <p>【成績評価の方法】 Evaluation System</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 発言、ロールプレイ含む授業参加度 (Class Participation 30%) 2. 提出課題 (Assignment 30%) 3. 定期試験 (Term Exam 40%) <p>(評価基準の詳細はオリエンテーションの際に説明します)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Evaluation is based upon student participation in skills activities in class (30%), completion of homework assignments (30%), and in-class tests (40%). 2. Further details will be described in the class orientation. | | | | |
| 評価基準 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的な語彙力及び文法を身に付け、英文を正しく理解できる。 2. 身近な話題や社会問題、ビジネスのやり取りに関連する英語を聞き、英語表現、英語音声特徴を理解した上で、内容を把握できる。 3. 自分自身や身近な話題について英語で話し、書くことができる。 | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 課題に対するフィードバックは授業内で行い、問題点の解説や強化すべき事項を明示する。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | Marathon Mouth Keep On Running | | | | You must buy in class |
| 参考文献 | | | | | |
| 授業内に随時、参考文献を提示します。 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>【連絡先】 keithr[at]juntendo.ac.jp *[at]を@に変更してください。</p> <p>【オフィスアワー】 Office hours Building 1 3'rd floor, rm1302, Tuesdays, Wednesdays and Thursdays 8:00-8:30, Wednesdays 4:20-4:45</p> | | | | |
| 担当教員の実務経歴 | | | | | |
| 備考 | <p>【学修時間】 Expected study time for this course この授業は、演習の授業形態による2単位科目であり、授業30時間、予習・復習各30時間の計90時間の学修を必要とする。</p> <p>【その他】 Notes 科目担当者欄に記載のあるいずれかの担当者が担当する。 新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p> | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 | |

| | | | | |
|---|---------------------|--|---|---|
| 1 | Keith G. Russell | オリエンテーション | 授業目的、授業方法、評価方法を説明する。 英語による自己紹介 | (予習: 1時間) 自己紹介を英語で考えておく。 (復習: 1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |
| 2 | Keith G. Russell | Listening & Reading (Food & Restaurant) (TOEFL / TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習: 1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。 (復習: 1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |
| 3 | Keith G. Russell | Listening & Reading (Entertainment) (TOEFL / TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習: 1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。授業内で指名された際には単語を調べてある状態にしておくこと。 (復習: 1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |
| 4 | Keith G. Russell | Listening & Reading (Travel) (TOEFL / TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習: 1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。授業内で指名された際には単語を調べてある状態にしておくこと。 (復習: 1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |
| 5 | Keith G. Russell | Listening & Reading (Shopping) (TOEFL / TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習: 1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。 (復習: 1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |

| | | | | |
|---|---------------------|--|--|---|
| 6 | Keith G. Russell | Listening & Reading (Office work 1) (TOEFL / TOEIC) | <p>(1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。</p> <p>(2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど)</p> <p>(3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。</p> <p>(4) 英語で自分の意見を書く。</p> | <p>(予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。</p> <p>(復習：1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。</p> |
| 7 | Keith G. Russell | Listening & Reading (Office Work 2) (TOEFL / TOEIC) | <p>(1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。</p> <p>(2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど)</p> <p>(3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。</p> <p>(4) 英語で自分の意見を書く。</p> | <p>(予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。</p> <p>(復習：1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。</p> |
| 8 | Keith G. Russell | Listening & Reading (Environment) (TOEFL / TOEIC) | <p>(1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。</p> <p>(2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど)</p> <p>(3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。</p> <p>(4) 英語で自分の意見を書く。</p> | <p>(予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。授業内で指名された際には単語を調べてある状態にしておくこと。</p> <p>(復習：1時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。</p> |
| 9 | Keith G. Russell | Listening & Reading (Sports) (TOEFL / TOEIC) | <p>(1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。</p> <p>(2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど)</p> <p>(3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。</p> <p>(4) 英語で自分の意見を書く。</p> | <p>(予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。</p> <p>(復習：1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。</p> |

| | | | | |
|----|---------------------|---|---|--|
| 10 | Keith G. Russell | Listening & Reading (Art) (TOEFL /TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。 (復習：1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |
| 11 | Keith G. Russell | Listening & Reading (Environment) (TOEFL /TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。授業内で指名された際には単語を調べてある状態にしておくこと。 (復習：1時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 12 | Keith G. Russell | Listening & Reading (Lectures & Presentations) (TOEFL / TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。 (復習：1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |
| 13 | Keith G. Russell | Listening & Reading (Globalization) (TOEFL/ TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。 (復習：1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |
| 14 | Keith G. Russell | まとめ | 前期学習の総復習 | (予習：2時間) 定期試験に備え、語彙ノートを振り返り、学んだ内容を整理する。 (復習：2時間) 定期試験に備え、語彙ノートを振り返り、学んだ内容を整理する。 |
| | Keith G. Russell | 定期試験 | | なし |
| | | | | |

| | | | | | |
|---|---|------|--------|--------------------|---------|
| 科目名 | 【新カリ】Basic EnglishⅢ 入門 | | | 授業形態 | 講義 |
| 英語科目名 | Basic EnglishⅢ 入門 | | | 対象学年 | 2年 |
| 開講学期 | 2022年度前期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | Fran Conigliaro | | | ナンバリング | LNG2103 |
| 担当教員 | Fran Conigliaro、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | <p>【授業全体の内容】 Summary of the Course 本科目は演習の授業形態で行われる。1年次で学んだ英語の基礎から発展し、レベルごとにクラス編成をし、英語4技能（Listening, Reading, Speaking, Writing）の総合的な運用能力の向上を目指す。身近な話題から発展して異文化理解、健康・医療、人権、環境など多岐にわたるトピックの英文を扱い、ロールプレイではビジネスの場面も想定して口頭や文章で意見をアウトプットする練習を行う。また音楽や映画などの音源・映像資料を使って、英語のリスニングや会話表現を学ぶ。</p> | | | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 英語コミュニケーション力の基礎となる語彙や文法を理解し、使うことができる。 2. 身近な話題から社会問題、ビジネスに関連した内容の英語を聞いて理解できる。 3. 身近な話題だけではなく、社会問題についても英語で表現できる。 4. TOEFL等、各種英語試験対策も考慮しながら、発展的な英語表現を学び、理解できる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・外国語科目の選択必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目はスポーツ健康科学部の学位授与方針である「グローバル社会において連携や協働できるコミュニケーション能力」の基礎力の習得を目指している。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | 特になし | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | <p>【成績評価の方法】 Evaluation System</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 発言、ロールプレイ含む授業参加度 (Class Participation 30%) 2. 提出課題 (Assignment 30%) 3. 定期試験 (Term Exam 40%) <p>(評価基準の詳細はオリエンテーションの際に説明します)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Evaluation is based upon student participation in skills activities in class (30%), completion of homework assignments (30%), and in-class tests (40%). 2. Further details will be described in the class orientation. | | | | |
| 評価基準 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的な語彙力及び文法を身に付け、英文を正しく理解できる。 2. 身近な話題や社会問題、ビジネスのやり取りに関連する英語を聞き、英語表現、英語音声特徴を理解した上で、内容を把握できる。 3. 自分自身や身近な話題について英語で話し、書くことができる。 | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 課題に対するフィードバックは授業内で行い、問題点の解説や強化すべき事項を明示する。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | | | | | |
| 参考文献 | | | | | |
| 授業内に随時、参考文献を提示します。 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>【連絡先】 Contact Email: franc[at]juntendo.ac.jp [at] を@に変えて送信してください。</p> <p>【オフィスアワー】 Office Hours 1号館 3階 1302室 Tuesdays, 16:15-16:35</p> | | | | |
| 担当教員の実際経験 | | | | | |
| 備考 | <p>【学修時間】 Expected study time for this course この授業は、演習の授業形態による2単位科目であり、授業30時間、予習・復習各30時間の計90時間の学修を必要とする。</p> <p>【その他】 Notes 科目担当者欄に記載のあるいずれかの担当者が担当する。 新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p> | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 | |

| | | | | |
|---|-----------------|--|---|---|
| 1 | Fran Conigliaro | オリエンテーション | 授業目的、授業方法、評価方法を説明する。 英語による自己紹介 | (予習: 1時間) 自己紹介を英語で考えておく。 (復習: 1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |
| 2 | Fran Conigliaro | Listening & Reading (Food & Restaurant) (TOEFL / TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習: 1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。 (復習: 1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |
| 3 | Fran Conigliaro | Listening & Reading (Entertainment) (TOEFL / TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習: 1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。授業内で指名された際には単語を調べてある状態にしておくこと。 (復習: 1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |
| 4 | Fran Conigliaro | Listening & Reading (Travel) (TOEFL / TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習: 1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。授業内で指名された際には単語を調べてある状態にしておくこと。 (復習: 1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |
| 5 | Fran Conigliaro | Listening & Reading (Shopping) (TOEFL / TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習: 1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。 (復習: 1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |

| | | | | |
|---|-----------------|--|--|---|
| 6 | Fran Conigliaro | Listening & Reading (Office work 1) (TOEFL / TOEIC) | <p>(1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。</p> <p>(2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど)</p> <p>(3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。</p> <p>(4) 英語で自分の意見を書く。</p> | <p>(予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。</p> <p>(復習：1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。</p> |
| 7 | Fran Conigliaro | Listening & Reading (Office Work 2) (TOEFL / TOEIC) | <p>(1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。</p> <p>(2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど)</p> <p>(3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。</p> <p>(4) 英語で自分の意見を書く。</p> | <p>(予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。</p> <p>(復習：1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。</p> |
| 8 | Fran Conigliaro | Listening & Reading (Environment) (TOEFL / TOEIC) | <p>(1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。</p> <p>(2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど)</p> <p>(3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。</p> <p>(4) 英語で自分の意見を書く。</p> | <p>(予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。授業内で指名された際には単語を調べてある状態にしておくこと。</p> <p>(復習：1時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。</p> |
| 9 | Fran Conigliaro | Listening & Reading (Sports) (TOEFL / TOEIC) | <p>(1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。</p> <p>(2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど)</p> <p>(3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。</p> <p>(4) 英語で自分の意見を書く。</p> | <p>(予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。</p> <p>(復習：1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。</p> |

| | | | | |
|----|-----------------|---|--|---|
| 10 | Fran Conigliaro | Listening & Reading (Art) (TOEFL /TOEIC) | <p>(1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。</p> <p>(2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど)</p> <p>(3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。</p> <p>(4) 英語で自分の意見を書く。</p> | <p>(予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。</p> <p>(復習：1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。</p> |
| 11 | Fran Conigliaro | Listening & Reading (Environment) (TOEFL /TOEIC) | <p>(1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。</p> <p>(2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど)</p> <p>(3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。</p> <p>(4) 英語で自分の意見を書く。</p> | <p>(予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。授業内で指名された際には単語を調べてある状態にしておくこと。</p> <p>(復習：1時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。</p> |
| 12 | Fran Conigliaro | Listening & Reading (Lectures & Presentations) (TOEFL / TOEIC) | <p>(1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。</p> <p>(2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど)</p> <p>(3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。</p> <p>(4) 英語で自分の意見を書く。</p> | <p>(予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。</p> <p>(復習：1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。</p> |
| 13 | Fran Conigliaro | Listening & Reading (Globalization) (TOEFL/ TOEIC) | <p>(1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。</p> <p>(2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど)</p> <p>(3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。</p> <p>(4) 英語で自分の意見を書く。</p> | <p>(予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。</p> <p>(復習：1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。</p> |
| 14 | Fran Conigliaro | まとめ | 前期学習の総復習 | <p>(予習：2時間) 定期試験に備え、語彙ノートを振り返り、学んだ内容を整理する。</p> <p>(復習：2時間) 定期試験に備え、語彙ノートを振り返り、学んだ内容を整理する。</p> |
| | Fran Conigliaro | 定期試験 | | なし |
| | | | | |

| | | | | | |
|--|---|---|-------------------------------------|---|---------|
| 科目名 | 【新カリ】 TOEFL・IELTS | | | 授業形態 | 演習 |
| 英語科目名 | TOEFL・IELTS | | | 対象学年 | 1年 |
| 開講学期 | 2022年度前期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | Matthew Willemsen | | | ナンバリング | LNG1104 |
| 担当教員 | Matthew Willemsen、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | 【授業全体の内容】 本科目は、グローバル・スタンダードとして用いられている英語試験の一つTOEFL ITP対策を柱とすえ、留学に必要な英語力を文法、リーディング、リスニング面を中心に養成する。また、TOEFL IBTおよびIELTS受験者にも対応できるよう、スピーキングやライティングを含めたアウトプット面も強化することをめざす。 | | | | |
| 到達目標 | 1. TOEFLやIELTSで求められるアカデミックな語彙や表現を理解できる。 2. 基本的な文法事項や文語表現を理解し、長文読解ができる。 3. キャンパスライフやアカデミックな内容の英語を聞いて理解できる。 4. 身近なテーマについて意見を話したり、書いたりできる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・外国語科目の選択必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目は、スポーツ健康科学部の学位授与方針である「グローバル社会において連携や協働できるコミュニケーション能力」の習得を目指すしている。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | 【履修要件】 特になし | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | 1. 課題や小テスト (20%) 2. TOEFLスコア (40%) *第1回目のスコアから第2回目スコアが上昇していることが重要である。 3. 定期試験 (40%) | | | | |
| 評価基準 | 1. 文法を正しく理解し、TOEFLレベルのリスニングや英文読解ができる (TOEFLスコア・定期試験) 2. アカデミックな語彙や表現を理解できる (小テスト・定期試験) 3. 身近なテーマに関する自分の考えをスピーキングやライティングで表現できる (課題) | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 課題に対するフィードバックは授業内で行い、問題点の解説や強化すべき事項を明示する。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | | | | | |
| 参考文献 | | | | | |
| プリントや資料を配布、配信します。必要に応じて印刷して使用すること。 初回授業時に担当教員より参考図書、使用教材について指示します | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | 【連絡先】 Contact address matthew[at]juntendo.ac.jp *[at]を@に変更してください。 【オフィスアワー】 Office hours Office hours Building 1 3'rd floor, rm1302, Tuesdays, Wednesdays and Thursdays 8:00-8:30, Wednesdays 4:20-4:45 | | | | |
| 担当教員の実務経験 | | | | | |
| 備考 | 【学修時間】 この授業は、演習の授業形態による2単位科目であり、授業30時間、予習・復習各30時間の計90時間の学修を必要とする。 【その他】 英語力の伸びを確認する指標の一つとしてTOEFL ITP試験を年に2回実施する。第1回目のスコアから第2回目上昇していることが重要である。 科目担当者欄に記載のあるいずれかの担当者が担当する。 新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。 | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 | |
| 1 | Matthew Willemsen | 【授業内容】 ・オリエンテーション：授業目的、授業方法、評価方法を説明する。 TOEFLとIELTS、そのほか代表的な英語試験の特徴について説明する。 | ・簡易版TOEFL模試を実施し、弱点を知り、強化すべき項目を確認する。 | (予習：2時間) TOEFL試験やそのほかの英語試験について調べ自分の目標スコアを設定する。 (復習：4時間) 授業内で間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記する。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習(シャドーイング)をする。 | |

| | | | | |
|----|--------------------|--|--|--|
| 2 | Matthew Willemssen | 【授業内容】 TOEFL模試の解説を行う。 | 間違えやすい問題を取り上げ、解法、文の構造や解答を説明する。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 3 | Matthew Willemssen | 【授業内容】 TOEFL 問題演習、グループワーク | TOEFL形式の問題で演習を行い、ペアワークで問題の解法を確認し、理解を深める。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 4 | Matthew Willemssen | 【授業内容】 TOEFL 問題演習、グループワーク | TOEFL形式の問題で演習を行い、ペアワークで問題の解法を確認し、理解を深める。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 5 | Matthew Willemssen | 【授業内容】 TOEFL 問題演習、グループワーク | TOEFL形式の問題で演習を行い、ペアワークで音読や速読練習を行う。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 6 | Matthew Willemssen | 【授業内容】 TOEFL 問題演習、グループワーク | TOEFL形式の問題で演習を行い、ペアワークで音読や速読練習を行う。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 7 | Matthew Willemssen | 【授業内容】 TOEFLの読解問題の特徴を解説し、実際の問題で読解練習を行う。 | ペアワークで音読や速読練習を行う。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 8 | Matthew Willemssen | 【授業内容】 TOEFL 問題演習、グループワーク | TOEFL形式の問題で演習を行い、ペアワークで音読や速読練習を行う。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 9 | Matthew Willemssen | 【授業内容】 TOEFL 問題演習、グループワーク | TOEFL形式の問題で演習を行い、解説された文法項目を使って英文を作成する。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 10 | Matthew Willemssen | 【授業内容】 身近なテーマについて話す際の表現や英文の構成について解説する。 | TOEFL形式の問題で演習を行い、解説された文法項目を使って英文を作成する。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 11 | Matthew Willemssen | 【授業内容】 身近なテーマについて話す際の表現や英文の構成について解説する。 | TOEFL形式の問題で演習を行い、解説された文法項目を使って英文を作成する。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |

| | | | | | |
|--|---|--|--|--|---------|
| 科目名 | 【新カリ】 TOEFL・IELTS | | | 授業形態 | 演習 |
| 英語科目名 | TOEFL・IELTS | | | 対象学年 | 1年 |
| 開講学期 | 2022年度前期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | Keith G. Russell | | | ナンバリング | LNG1104 |
| 担当教員 | Keith G. Russell、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | 本科目は、グローバル・スタンダードとして用いられている英語試験の一つTOEFL ITP対策を柱とすえ、留学に必要な英語力を文法、リーディング、リスニング面を中心に養成する。また、TOEFL IBTおよびIELTS受験者にも対応できるよう、スピーキングやライティングを含めたアウトプット面も強化することをめざす。 | | | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> TOEFLやIELTSで求められるアカデミックな語彙や表現を理解できる。 基本的な文法事項や文語表現を理解し、長文読解ができる。 キャンパスライフやアカデミックな内容の英語を聞いて理解できる。 身近なテーマについて意見を話したり、書いたりできる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・外国語科目の選択必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目は、スポーツ健康科学部の学位授与方針である「グローバル社会において連携や協働できるコミュニケーション能力」の習得を目指している。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | 【履修要件】 特になし | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | <ol style="list-style-type: none"> 課題や小テスト (20%) TOEFLスコア (40%) *第1回目のスコアから第2回目スコアが上昇していることが重要である。 定期試験 (40%) | | | | |
| 評価基準 | <ol style="list-style-type: none"> 文法を正しく理解し、TOEFLレベルのリスニングや英文読解ができる (TOEFLスコア・定期試験) アカデミックな語彙や表現を理解できる (小テスト・定期試験) 身近なテーマに関する自分の考えをスピーキングやライティングで表現できる (課題) | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 課題に対するフィードバックは授業内で行い、問題点の解説や強化すべき事項を明示する。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | | | | | |
| 参考文献 | | | | | |
| プリントや資料を配布、配信します。必要に応じて印刷して使用すること。 初回授業時に担当教員より参考図書、使用教材について指示します | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>【連絡先】 keithr[at]juntendo.ac.jp *[at]を@に変更してください。</p> <p>【オフィスアワー】 Office hours Building 1 3'rd floor, rm1302, Tuesdays, Wednesdays and Thursdays 8:00-8:30, Wednesdays 4:20-4:45</p> | | | | |
| 担当教員の実務経験 | | | | | |
| 備考 | <p>【学修時間】 この授業は、演習の授業形態による2単位科目であり、授業30時間、予習・復習各30時間の計90時間の学修を必要とする。</p> <p>【その他】 英語力の伸びを確認する指標の一つとしてTOEFL ITP試験を年に2回実施する。第1回目のスコアから第2回目が上昇していることが重要である。 科目担当者欄に記載のあるいずれかの担当者が担当する。 新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p> | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 | |
| 1 | Keith G. Russell | <p>【授業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> オリエンテーション：授業目的、授業方法、評価方法を説明する。 TOEFLとIELTS、そのほか代表的な英語試験の特徴について説明する。 | <ul style="list-style-type: none"> 簡易版TOEFL模試を実施し、弱点を知り、強化すべき項目を確認する。 | <p>(予習：2時間) TOEFL試験やそのほかの英語試験について調べ自分の目標スコアを設定する。</p> <p>(復習：4時間) 授業内で間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記する。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習(シャドーイング)をする。</p> | |

| | | | | |
|----|---------------------|--|--|--|
| 2 | Keith G. Russell | 【授業内容】 TOEFL模試の解説を行う。 | 間違えやすい問題を取り上げ、解法、文の構造や解答を説明する。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 3 | Keith G. Russell | 【授業内容】 TOEFL 問題演習、グループワーク | TOEFL形式の問題で演習を行い、ペアワークで問題の解法を確認し、理解を深める。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 4 | Keith G. Russell | 【授業内容】 TOEFL 問題演習、グループワーク | TOEFL形式の問題で演習を行い、ペアワークで問題の解法を確認し、理解を深める。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 5 | Keith G. Russell | 【授業内容】 TOEFL 問題演習、グループワーク | TOEFL形式の問題で演習を行い、ペアワークで音読や速読練習を行う。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 6 | Keith G. Russell | 【授業内容】 TOEFL 問題演習、グループワーク | TOEFL形式の問題で演習を行い、ペアワークで音読や速読練習を行う。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 7 | Keith G. Russell | 【授業内容】 TOEFLの読解問題の特徴を解説し、実際の問題で読解練習を行う。 | ペアワークで音読や速読練習を行う。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 8 | Keith G. Russell | 【授業内容】 TOEFL 問題演習、グループワーク | TOEFL形式の問題で演習を行い、ペアワークで音読や速読練習を行う。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 9 | Keith G. Russell | 【授業内容】 TOEFL 問題演習、グループワーク | TOEFL形式の問題で演習を行い、解説された文法項目を使って英文を作成する。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 10 | Keith G. Russell | 【授業内容】 身近なテーマについて話す際の表現や英文の構成について解説する。 | TOEFL形式の問題で演習を行い、解説された文法項目を使って英文を作成する。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 11 | Keith G. Russell | 【授業内容】 身近なテーマについて話す際の表現や英文の構成について解説する。 | TOEFL形式の問題で演習を行い、解説された文法項目を使って英文を作成する。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |

| | | | | | |
|--|--|--|--|--|---------|
| 科目名 | 【新カリ】 TOEFL・IELTS | | | 授業形態 | 演習 |
| 英語科目名 | TOEFL・IELTS | | | 対象学年 | 1年 |
| 開講学期 | 2022年度前期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | Matthew Willemsen | | | ナンバリング | LNG1104 |
| 担当教員 | Matthew Willemsen、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | <p>【授業全体の内容】</p> <p>本科目は、グローバル・スタンダードとして用いられている英語試験の一つTOEFL ITP対策を柱とすえ、留学に必要な英語力を文法、リーディング、リスニング面を中心に養成する。また、TOEFL IBTおよびIELTS受験者にも対応できるように、スピーキングやライティングを含めたアウトプット面も強化することをめざす。</p> | | | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> TOEFLやIELTSで求められるアカデミックな語彙や表現を理解できる。 基本的な文法事項や文語表現を理解し、長文読解ができる。 キャンパスライフやアカデミックな内容の英語を聞いて理解できる。 身近なテーマについて意見を話したり、書いたりできる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・外国語科目の選択必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目は、スポーツ健康科学部の学位授与方針である「グローバル社会において連携や協働できるコミュニケーション能力」の習得を目指すしている。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | <p>【履修要件】</p> <p>特になし</p> | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | <ol style="list-style-type: none"> 課題や小テスト (20%) TOEFLスコア (40%) *第1回目のスコアから第2回目スコアが上昇していることが重要である。 定期試験 (40%) | | | | |
| 評価基準 | <ol style="list-style-type: none"> 文法を正しく理解し、TOEFLレベルのリスニングや英文読解ができる (TOEFLスコア・定期試験) アカデミックな語彙や表現を理解できる (小テスト・定期試験) 身近なテーマに関する自分の考えをスピーキングやライティングで表現できる (課題) | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 課題に対するフィードバックは授業内で行い、問題点の解説や強化すべき事項を明示する。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | | | | | |
| 参考文献 | | | | | |
| プリントや資料を配布、配信します。必要に応じて印刷して使用すること。 初回授業時に担当教員より参考図書、使用教材について指示します | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>【連絡先】 Contact address matthew[at]juntendo.ac.jp *[at]を@に変更してください。</p> <p>【オフィスアワー】 Office hours Office hours Building 1 3'rd floor, rm1302, Tuesdays, Wednesdays and Thursdays 8:00-8:30, Wednesdays 4:20-4:45</p> | | | | |
| 担当教員の実務経験 | | | | | |
| 備考 | <p>【学修時間】</p> <p>この授業は、演習の授業形態による2単位科目であり、授業30時間、予習・復習各30時間の計90時間の学修を必要とする。</p> <p>【その他】</p> <p>英語力の伸びを確認する指標の一つとしてTOEFL ITP試験を年に2回実施する。第1回目のスコアから第2回目上昇していることが重要である。</p> <p>科目担当者欄に記載のあるいずれかの担当者が担当する。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p> | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 | |
| 1 | Matthew Willemsen | <p>【授業内容】</p> <p>・オリエンテーション：授業目的、授業方法、評価方法を説明する。</p> <p>TOEFLとIELTS、そのほか代表的な英語試験の特徴について説明する。</p> | <p>・簡易版TOEFL模試を実施し、弱点を知り、強化すべき項目を確認する。</p> | <p>(予習：2時間)</p> <p>TOEFL試験やそのほかの英語試験について調べ自分の目標スコアを設定する。</p> <p>(復習：4時間)</p> <p>授業内で間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記する。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習(シャドーイング)をする。</p> | |

| | | | | |
|----|--------------------|--|--|--|
| 2 | Matthew Willemssen | 【授業内容】 TOEFL模試の解説を行う。 | 間違えやすい問題を取り上げ、解法、文の構造や解答を説明する。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 3 | Matthew Willemssen | 【授業内容】 TOEFL 問題演習、グループワーク | TOEFL形式の問題で演習を行い、ペアワークで問題の解法を確認し、理解を深める。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 4 | Matthew Willemssen | 【授業内容】 TOEFL 問題演習、グループワーク | TOEFL形式の問題で演習を行い、ペアワークで問題の解法を確認し、理解を深める。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 5 | Matthew Willemssen | 【授業内容】 TOEFL 問題演習、グループワーク | TOEFL形式の問題で演習を行い、ペアワークで音読や速読練習を行う。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 6 | Matthew Willemssen | 【授業内容】 TOEFL 問題演習、グループワーク | TOEFL形式の問題で演習を行い、ペアワークで音読や速読練習を行う。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 7 | Matthew Willemssen | 【授業内容】 TOEFLの読解問題の特徴を解説し、実際の問題で読解練習を行う。 | ペアワークで音読や速読練習を行う。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 8 | Matthew Willemssen | 【授業内容】 TOEFL 問題演習、グループワーク | TOEFL形式の問題で演習を行い、ペアワークで音読や速読練習を行う。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 9 | Matthew Willemssen | 【授業内容】 TOEFL 問題演習、グループワーク | TOEFL形式の問題で演習を行い、解説された文法項目を使って英文を作成する。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 10 | Matthew Willemssen | 【授業内容】 身近なテーマについて話す際の表現や英文の構成について解説する。 | TOEFL形式の問題で演習を行い、解説された文法項目を使って英文を作成する。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 11 | Matthew Willemssen | 【授業内容】 身近なテーマについて話す際の表現や英文の構成について解説する。 | TOEFL形式の問題で演習を行い、解説された文法項目を使って英文を作成する。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |

| | | | | | |
|--|---|---|---|--|---------|
| 科目名 | 【新カリ】 TOEFL・IELTS | | | 授業形態 | 演習 |
| 英語科目名 | TOEFL・IELTS | | | 対象学年 | 1年 |
| 開講学期 | 2022年度前期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | Keith G. Russell | | | ナンバリング | LNG1104 |
| 担当教員 | Keith G. Russell、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | 本科目は、グローバル・スタンダードとして用いられている英語試験の一つTOEFL ITP対策を柱とすえ、留学に必要な英語力を文法、リーディング、リスニング面を中心に養成する。また、TOEFL IBTおよびIELTS受験者にも対応できるよう、スピーキングやライティングを含めたアウトプット面も強化することをめざす。 | | | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. TOEFLやIELTSで求められるアカデミックな語彙や表現を理解できる。 2. 基本的な文法事項や文語表現を理解し、長文読解ができる。 3. キャンパスライフやアカデミックな内容の英語を聞いて理解できる。 4. 身近なテーマについて意見を話したり、書いたりできる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・外国語科目の選択必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目は、スポーツ健康科学部の学位授与方針である「グローバル社会において連携や協働できるコミュニケーション能力」の習得を目指している。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | 【履修要件】 特になし | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 課題や小テスト (20%) 2. TOEFLスコア (40%) *第1回目のスコアから第2回目スコアが上昇していることが重要である。 3. 定期試験 (40%) | | | | |
| 評価基準 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 文法を正しく理解し、TOEFLレベルのリスニングや英文読解ができる (TOEFLスコア・定期試験) 2. アカデミックな語彙や表現を理解できる (小テスト・定期試験) 3. 身近なテーマに関する自分の考えをスピーキングやライティングで表現できる (課題) | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 課題に対するフィードバックは授業内で行い、問題点の解説や強化すべき事項を明示する。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | | | | | |
| 参考文献 | | | | | |
| プリントや資料を配布、配信します。必要に応じて印刷して使用すること。 初回授業時に担当教員より参考図書、使用教材について指示します | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>【連絡先】 keithr[at]juntendo.ac.jp *[at]を@に変更してください。</p> <p>【オフィスアワー】 Office hours Building 1 3'rd floor, rm1302, Tuesdays, Wednesdays and Thursdays 8:00-8:30, Wednesdays 4:20-4:45</p> | | | | |
| 担当教員の実務経験 | | | | | |
| 備考 | <p>【学修時間】 この授業は、演習の授業形態による2単位科目であり、授業30時間、予習・復習各30時間の計90時間の学修を必要とする。</p> <p>【その他】 英語力の伸びを確認する指標の一つとしてTOEFL ITP試験を年に2回実施する。第1回目のスコアから第2回目が上昇していることが重要である。 科目担当者欄に記載のあるいずれかの担当者が担当する。 新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p> | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 | |
| 1 | Keith G. Russell | <p>【授業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション：授業目的、授業方法、評価方法を説明する。 <p>TOEFLとIELTS、そのほか代表的な英語試験の特徴について説明する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・簡易版TOEFL模試を実施し、弱点を知り、強化すべき項目を確認する。 | <p>(予習：2時間) TOEFL試験やそのほかの英語試験について調べ自分の目標スコアを設定する。</p> <p>(復習：4時間) 授業内で間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記する。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習(シャドーイング)をする。</p> | |

| | | | | |
|----|---------------------|--|--|--|
| 2 | Keith G. Russell | 【授業内容】 TOEFL模試の解説を行う。 | 間違えやすい問題を取り上げ、解法、文の構造や解答を説明する。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 3 | Keith G. Russell | 【授業内容】 TOEFL 問題演習、グループワーク | TOEFL形式の問題で演習を行い、ペアワークで問題の解法を確認し、理解を深める。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 4 | Keith G. Russell | 【授業内容】 TOEFL 問題演習、グループワーク | TOEFL形式の問題で演習を行い、ペアワークで問題の解法を確認し、理解を深める。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 5 | Keith G. Russell | 【授業内容】 TOEFL 問題演習、グループワーク | TOEFL形式の問題で演習を行い、ペアワークで音読や速読練習を行う。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 6 | Keith G. Russell | 【授業内容】 TOEFL 問題演習、グループワーク | TOEFL形式の問題で演習を行い、ペアワークで音読や速読練習を行う。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 7 | Keith G. Russell | 【授業内容】 TOEFLの読解問題の特徴を解説し、実際の問題で読解練習を行う。 | ペアワークで音読や速読練習を行う。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 8 | Keith G. Russell | 【授業内容】 TOEFL 問題演習、グループワーク | TOEFL形式の問題で演習を行い、ペアワークで音読や速読練習を行う。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 9 | Keith G. Russell | 【授業内容】 TOEFL 問題演習、グループワーク | TOEFL形式の問題で演習を行い、解説された文法項目を使って英文を作成する。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 10 | Keith G. Russell | 【授業内容】 身近なテーマについて話す際の表現や英文の構成について解説する。 | TOEFL形式の問題で演習を行い、解説された文法項目を使って英文を作成する。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 11 | Keith G. Russell | 【授業内容】 身近なテーマについて話す際の表現や英文の構成について解説する。 | TOEFL形式の問題で演習を行い、解説された文法項目を使って英文を作成する。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |

| | | | | | |
|--|---|---|-------------------------------------|--|---------|
| 科目名 | 【新カリ】 TOEFL・IELTS | | | 授業形態 | 演習 |
| 英語科目名 | TOEFL・IELTS | | | 対象学年 | 1年 |
| 開講学期 | 2022年度前期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | Fran Conigliaro | | | ナンバリング | LNG1104 |
| 担当教員 | Fran Conigliaro、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | 本科目は、グローバル・スタンダードとして用いられている英語試験の一つTOEFL ITP対策を柱とすえ、留学に必要な英語力を文法、リーディング、リスニング面を中心に養成する。また、TOEFL IBTおよびIELTS受験者にも対応できるよう、スピーキングやライティングを含めたアウトプット面も強化することをめざす。 | | | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. TOEFLやIELTSで求められるアカデミックな語彙や表現を理解できる。 2. 基本的な文法事項や文語表現を理解し、長文読解ができる。 3. キャンパスライフやアカデミックな内容の英語を聞いて理解できる。 4. 身近なテーマについて意見を話したり、書いたりできる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・外国語科目の選択必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目は、スポーツ健康科学部の学位授与方針である「グローバル社会において連携や協働できるコミュニケーション能力」の習得を指している。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | 【履修要件】 特になし | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 課題や小テスト (20%) 2. TOEFLスコア (40%) *第1回目のスコアから第2回目スコアが上昇していることが重要である。 3. 定期試験 (40%) | | | | |
| 評価基準 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 文法を正しく理解し、TOEFLレベルのリスニングや英文読解ができる (TOEFLスコア・定期試験) 2. アカデミックな語彙や表現を理解できる (小テスト・定期試験) 3. 身近なテーマに関する自分の考えをスピーキングやライティングで表現できる (課題) | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 課題に対するフィードバックは授業内で行い、問題点の解説や強化すべき事項を明示する。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | | | | | |
| 参考文献 | | | | | |
| プリントや資料を配布、配信します。必要に応じて印刷して使用すること。 初回授業時に担当教員より参考図書、使用教材について指示します | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>[連絡先] Contact Email: franc[at]juntendo.ac.jp [at] を@に変えて送信してください。</p> <p>[オフィスアワー] Office Hours 1号館 3階 1302室 Tuesdays, 16:15-16:35</p> | | | | |
| 担当教員の実務経験 | | | | | |
| 備考 | <p>【学修時間】 この授業は、演習の授業形態による2単位科目であり、授業30時間、予習・復習各30時間の計90時間の学修を必要とする。</p> <p>【その他】 英語力の伸びを確認する指標の一つとしてTOEFL ITP試験を年に2回実施する。第1回目のスコアから第2回目が上昇していることが重要である。 科目担当者欄に記載のあるいずれかの担当者が担当する。 新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p> | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 | |
| 1 | Fran Conigliaro | <p>【授業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション：授業目的、授業方法、評価方法を説明する。 TOEFLとIELTS、そのほか代表的な英語試験の特徴について説明する。 | ・簡易版TOEFL模試を実施し、弱点を知り、強化すべき項目を確認する。 | <p>(予習：2時間) TOEFL試験やそのほかの英語試験について調べ自分の目標スコアを設定する。</p> <p>(復習：4時間) 授業内で間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記する。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習(シャドーイング)をする。</p> | |

| | | | | |
|----|--------------------|--|--|--|
| 2 | Fran Conigliaro | 【授業内容】 TOEFL模試の解説を行う。 | 間違えやすい問題を取り上げ、解法、文の構造や解答を説明する。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 3 | Fran Conigliaro | 【授業内容】 TOEFL 問題演習、グループワーク | TOEFL形式の問題で演習を行い、ペアワークで問題の解法を確認し、理解を深める。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 4 | Fran Conigliaro | 【授業内容】 TOEFL 問題演習、グループワーク | TOEFL形式の問題で演習を行い、ペアワークで問題の解法を確認し、理解を深める。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 5 | Fran Conigliaro | 【授業内容】 TOEFL 問題演習、グループワーク | TOEFL形式の問題で演習を行い、ペアワークで音読や速読練習を行う。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 6 | Fran Conigliaro | 【授業内容】 TOEFL 問題演習、グループワーク | TOEFL形式の問題で演習を行い、ペアワークで音読や速読練習を行う。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 7 | Fran Conigliaro | 【授業内容】 TOEFLの読解問題の特徴を解説し、実際の問題で読解練習を行う。 | ペアワークで音読や速読練習を行う。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 8 | Fran Conigliaro | 【授業内容】 TOEFL 問題演習、グループワーク | TOEFL形式の問題で演習を行い、ペアワークで音読や速読練習を行う。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 9 | Fran Conigliaro | 【授業内容】 TOEFL 問題演習、グループワーク | TOEFL形式の問題で演習を行い、解説された文法項目を使って英文を作成する。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 10 | Fran Conigliaro | 【授業内容】 身近なテーマについて話す際の表現や英文の構成について解説する。 | TOEFL形式の問題で演習を行い、解説された文法項目を使って英文を作成する。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 11 | Fran Conigliaro | 【授業内容】 身近なテーマについて話す際の表現や英文の構成について解説する。 | TOEFL形式の問題で演習を行い、解説された文法項目を使って英文を作成する。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |

| | | | | |
|----|--------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|--|
| 12 | Fran Conigliaro | 【授業内容】 ここまでの授業内容の振り返りとポイントの確認を行う。 | 文法項目、リスニング、読解、それぞれのポイントの理解を確認する演習を行う。 | (予習: 2時間) 指定された課題を行う。 (復習: 2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 13 | Fran Conigliaro | 【授業内容】 ここまでの授業内容の振り返りとポイントの確認を行う。 | 文法項目、リスニング、読解、それぞれのポイントの理解を確認する演習を行う。 | (予習: 2時間) 指定された課題を行う。 (復習: 3時間) 定期試験に備え、語彙ノートを振り返り、学んだ内容を整理する。 |
| 14 | Fran Conigliaro | 【授業内容】 ここまでの授業内容の振り返りとポイントの確認を行う。 | 文法項目、リスニング、読解、それぞれのポイントの理解を確認する演習を行う。 | (予習: 2時間) 指定された課題を行う。 (復習: 3時間) 定期試験に備え、語彙ノートを振り返り、学んだ内容を整理する。 |
| | | 定期試験を実施する | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記 (PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等)

| | | | | | |
|--|---|---|-------------------------------------|---|---------|
| 科目名 | 【新カリ】 TOEFL・IELTS | | | 授業形態 | 演習 |
| 英語科目名 | TOEFL・IELTS | | | 対象学年 | 1年 |
| 開講学期 | 2022年度前期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | Matthew Willemsen | | | ナンバリング | LNG1104 |
| 担当教員 | Matthew Willemsen、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | 【授業全体の内容】 本科目は、グローバル・スタンダードとして用いられている英語試験の一つTOEFL ITP対策を柱とすえ、留学に必要な英語力を文法、リーディング、リスニング面を中心に養成する。また、TOEFL IBTおよびIELTS受験者にも対応できるよう、スピーキングやライティングを含めたアウトプット面も強化することをめざす。 | | | | |
| 到達目標 | 1. TOEFLやIELTSで求められるアカデミックな語彙や表現を理解できる。 2. 基本的な文法事項や文語表現を理解し、長文読解ができる。 3. キャンパスライフやアカデミックな内容の英語を聞いて理解できる。 4. 身近なテーマについて意見を話したり、書いたりできる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・外国語科目の選択必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目は、スポーツ健康科学部の学位授与方針である「グローバル社会において連携や協働できるコミュニケーション能力」の習得を目指すしている。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | 【履修要件】 特になし | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | 1. 課題や小テスト (20%) 2. TOEFLスコア (40%) *第1回目のスコアから第2回目スコアが上昇していることが重要である。 3. 定期試験 (40%) | | | | |
| 評価基準 | 1. 文法を正しく理解し、TOEFLレベルのリスニングや英文読解ができる (TOEFLスコア・定期試験) 2. アカデミックな語彙や表現を理解できる (小テスト・定期試験) 3. 身近なテーマに関する自分の考えをスピーキングやライティングで表現できる (課題) | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 課題に対するフィードバックは授業内で行い、問題点の解説や強化すべき事項を明示する。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | | | | | |
| 参考文献 | | | | | |
| プリントや資料を配布、配信します。必要に応じて印刷して使用すること。 初回授業時に担当教員より参考図書、使用教材について指示します | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | 【連絡先】 Contact address matthew[at]juntendo.ac.jp *[at]を@に変更してください。 【オフィスアワー】 Office hours Office hours Building 1 3'rd floor, rm1302, Tuesdays, Wednesdays and Thursdays 8:00-8:30, Wednesdays 4:20-4:45 | | | | |
| 担当教員の実務経験 | | | | | |
| 備考 | 【学修時間】 この授業は、演習の授業形態による2単位科目であり、授業30時間、予習・復習各30時間の計90時間の学修を必要とする。 【その他】 英語力の伸びを確認する指標の一つとしてTOEFL ITP試験を年に2回実施する。第1回目のスコアから第2回目上昇していることが重要である。 科目担当者欄に記載のあるいずれかの担当者が担当する。 新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。 | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 | |
| 1 | Matthew Willemsen | 【授業内容】 ・オリエンテーション：授業目的、授業方法、評価方法を説明する。 TOEFLとIELTS、そのほか代表的な英語試験の特徴について説明する。 | ・簡易版TOEFL模試を実施し、弱点を知り、強化すべき項目を確認する。 | (予習：2時間) TOEFL試験やそのほかの英語試験について調べ自分の目標スコアを設定する。 (復習：4時間) 授業内で間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記する。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習(シャドーイング)をする。 | |

| | | | | |
|----|--------------------|--|--|--|
| 2 | Matthew Willemssen | 【授業内容】 TOEFL模試の解説を行う。 | 間違えやすい問題を取り上げ、解法、文の構造や解答を説明する。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 3 | Matthew Willemssen | 【授業内容】 TOEFL 問題演習、グループワーク | TOEFL形式の問題で演習を行い、ペアワークで問題の解法を確認し、理解を深める。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 4 | Matthew Willemssen | 【授業内容】 TOEFL 問題演習、グループワーク | TOEFL形式の問題で演習を行い、ペアワークで問題の解法を確認し、理解を深める。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 5 | Matthew Willemssen | 【授業内容】 TOEFL 問題演習、グループワーク | TOEFL形式の問題で演習を行い、ペアワークで音読や速読練習を行う。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 6 | Matthew Willemssen | 【授業内容】 TOEFL 問題演習、グループワーク | TOEFL形式の問題で演習を行い、ペアワークで音読や速読練習を行う。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 7 | Matthew Willemssen | 【授業内容】 TOEFLの読解問題の特徴を解説し、実際の問題で読解練習を行う。 | ペアワークで音読や速読練習を行う。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 8 | Matthew Willemssen | 【授業内容】 TOEFL 問題演習、グループワーク | TOEFL形式の問題で演習を行い、ペアワークで音読や速読練習を行う。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 9 | Matthew Willemssen | 【授業内容】 TOEFL 問題演習、グループワーク | TOEFL形式の問題で演習を行い、解説された文法項目を使って英文を作成する。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 10 | Matthew Willemssen | 【授業内容】 身近なテーマについて話す際の表現や英文の構成について解説する。 | TOEFL形式の問題で演習を行い、解説された文法項目を使って英文を作成する。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 11 | Matthew Willemssen | 【授業内容】 身近なテーマについて話す際の表現や英文の構成について解説する。 | TOEFL形式の問題で演習を行い、解説された文法項目を使って英文を作成する。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |

| | | | | |
|----|-------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|--|
| 12 | Matthew Willemsen | 【授業内容】 ここまでの授業内容の振り返りとポイントの確認を行う。 | 文法項目、リスニング、読解、それぞれのポイントの理解を確認する演習を行う。 | (予習: 2時間) 指定された課題を行う。 (復習: 2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 13 | Matthew Willemsen | 【授業内容】 ここまでの授業内容の振り返りとポイントの確認を行う。 | 文法項目、リスニング、読解、それぞれのポイントの理解を確認する演習を行う。 | (予習: 2時間) 指定された課題を行う。 (復習: 3時間) 定期試験に備え、語彙ノートを振り返り、学んだ内容を整理する。 |
| 14 | Matthew Willemsen | 【授業内容】 ここまでの授業内容の振り返りとポイントの確認を行う。 | 文法項目、リスニング、読解、それぞれのポイントの理解を確認する演習を行う。 | (予習: 2時間) 指定された課題を行う。 (復習: 3時間) 定期試験に備え、語彙ノートを振り返り、学んだ内容を整理する。 |
| | | 定期試験を実施する | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

| | | | | | |
|---|---|----------------------------------|------------------------------------|---|---------|
| 科目名 | 【新カリ】 フランス語 | | | 授業形態 | 演習 |
| 英語科目名 | 【新カリ】 フランス語 | | | 対象学年 | 1年 |
| 開講学期 | 2022年度前期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | 竹内 京子 | | | ナンバリング | LNG1105 |
| 担当教員 | 竹内 京子、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | フランス語による簡単なコミュニケーションができるようになる。会話に必要な文法事項として動詞の活用や名詞の性数、代名詞、冠詞など英語と違う点に重点を置いて解説する。ペアによるやりとりなど、口答で発表を沢山する授業である。また、フランスを中心としてフランス語圏の文化、スポーツについても紹介する。 | | | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. フランス語の日常会話のための基礎的な文法、語彙を学ぶ。 2. あいさつ、自己紹介ができるようになる。 3. 旅先での簡単な会話などができるようになる。 4. フランス語の簡単な文法を理解する。 5. フランス語が使われている国の文化、習慣、ものの考え方などについて理解する。 6. フランス語圏で行われているスポーツを知り、ルールなどを説明できるようになる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・外国語科目の選択必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目は、スポーツ健康科学部の学位授与方針に定める「コミュニケーション能力」を身に付ける。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | <p>【履修要件】 フランス語を初めて学習する者</p> <p>【履修上の注意（科目独自のルール）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 初めて学ぶ言語であるので欠席せず、かつ積極的に参加することが非常に重要である。 2. 毎回の授業の予習・復習が1時間程度必要である。 3. 会話のクラスなので積極的にフランス語で話すことが大切であり、口答テストを重視する。 | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | 出席は3分の2以上が条件。平常点（毎回の宿題の小テスト・課題）（40%）+学期末試験（60%）合計点の60%以上を合格とする。 | | | | |
| 評価基準 | 授業で学んだ簡単な文法や表現を理解しているか。自己紹介ができ、口答で簡単な質問に答えられるか。 | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 毎回、宿題と小テストまたは課題提出があり、提出された課題は添削して次の授業で返却する。訂正された場合は再提出をしてもらう。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | バスカル・オ・ジャポン | 藤田裕二 | 白水社 | 9784560060834 | |
| 参考文献 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>【連絡先】 ktakeu@juntendo.ac.jp</p> <p>【オフィスアワー】 前期 月曜日10:00-10:40（1号館3階1302）</p> | | | | |
| 担当教員の実務経歴 | | | | | |
| 備考 | <p>【学修時間】 この授業は、演習の授業形態による1単位の科目であり、授業時間30時間と準備学習15時間の計45時間の学修を必要とする内容をもって構成する。</p> <p>【その他】 新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p> | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 | |
| 1 | 竹内 京子 | 授業の進め方・評価方法、あいさつ 0課 フランス語に親しむ | フランス語の単語を探し、意味を考えてみる。自分の名前の言い方を覚える | 【予習：0.5時間】 シラバスをよく読んでおく 【復習：0.5時間】 あいさつの表現を覚える | |
| 2 | 竹内 京子 | 1課 国籍を言う の本文と文法を学習する | 教科書の文法項目を理解し、実際に会話してみる。練習問題を解く。 | 【予習：0.5時間】 知っているフランス語を探しておく 【復習：0.5時間】 自分の名前の綴りをアルファベットで言えるようにする | |

| | | | | |
|--|--|--|--|--|
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

| | | | | | |
|---|--|---|--------|--|---------|
| 科目名 | 【新カリ】English Presentation | | | 授業形態 | 演習 |
| 英語科目名 | English Presentation | | | 対象学年 | 3年 |
| 開講学期 | 2022年度前期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | 庄子 ひとみ | | | ナンバリング | LNG3107 |
| 担当教員 | 庄子 ひとみ、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | 【授業全体の内容】 本科目は、演習の授業形態で行われる。1・2年次で学んだ基礎をもとにスピーキング力の強化をし、留学や海外での活動を目指す人のニーズに応える。身近な話題から社会問題についての語彙や表現を学びながら、ディカッションやスピーチを行う。また、自分の専門分野についてポスター発表やプレゼンで効果的に伝える技術を身に付ける。 | | | | |
| 到達目標 | 【授業の到達目標】 1. 身近な話題や社会問題について自分の意見を英語で表現できる。 2. プレゼンの構成、デリバリー、スライドの特徴を理解し、自分の発表に応用できる。 3. 自分の専門分野について英語でポスター発表や口頭発表ができる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・外国語科目の選択科目（卒業所要単位外）である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | （学位授与方針に定められている知識・能力等との関連） この科目は、スポーツ健康科学部の学位授与方針である「グローバル社会において連携や協働できるコミュニケーション能力」の基礎力の習得を目指している。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | 【履修要件】 特になし | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | 【成績評価の方法】 授業内・授業外課題（30%）、小テスト(20%)、ポスター発表・プレゼンテーション（50%）を総合して評価する。 | | | | |
| 評価基準 | 【成績評価の基準】 1. 身近な問題や社会問題について自分の意見を英語で話せる（授業内課題） 2. 発表に用いられる語彙や表現を理解している（小テスト） 3. プレゼンの構成、デリバリー、スライドの特徴を理解している（授業外課題、プレゼンテーション） 4. 自分の専門分野について英語でポスター発表や口頭発表ができる（ポスター発表・プレゼンテーション） | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 【課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法】 課題に対するフィードバックは授業内で行い、修正箇所や復習すべき事項を明示する。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | | | | | |
| 参考文献 | | | | | |
| 【テキスト・参考書等】 必要な資料は授業中に適宜配布しますので、必ず用意しなければならないテキストはありません。 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | 【連絡先】 担当：堀 智子 E-mail：t-hori[at]juntendo.ac.jp [at]を@に変えてください。 【オフィスアワー】 日時：火曜日昼休み・4限 場所：1号館3階 1304室 | | | | |
| 担当教員の実務経験 | | | | | |
| 備考 | 【学修時間】 この授業は、演習の授業形態による2単位科目であり、授業時間30時間、予習・復習30時間の計60時間の学修を必要とする。 【その他】 この授業は、スピーキング力向上を目指すため、積極的に英語を話そうとする態度が不可欠である。 | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学修時間 | |
| 1 | 堀 | 【授業内容】 ①ガイダンス：単位取得上の諸注意、授業概要、スピーキング練習法の説明 ②アクティビティ：受講者同志でコミュニケーションを促すための活動を行う。 【授業方法】 配布プリントやウェブサイトを用いて解説し、グループでの演習を行う。 | | （予習：1時間） 英語で1分間の自己PRができるよう発音練習とパワーポイントスライドを準備する。 （復習：1時間） 指示された課題を行う。 | |

| | | | |
|----|---|--|--|
| 2 | 堀 | <p>【授業内容】</p> <p>①基本的な英語の音について解説する。 ②周囲の事物を英語で描写するための語彙や表現をとりあげる。</p> <p>【授業方法】</p> <p>①英語発音用ウェブサイトを用いた解説や発音練習を行う。 ②ペアワークやグループで状況描写の練習を行う。</p> | <p>(予習:1時間)</p> <p>周囲の状況を英語で表現する練習を行う。</p> <p>(復習:1時間)</p> <p>授業中で紹介したウェブサイトでの英語の発音練習とリスニング練習を行う。</p> |
| 3 | 堀 | <p>【授業内容】</p> <p>①基本的な英語のリズムについて解説を行う。 ②身近な問題に対して自分の意見を言う際の表現をとりあげる。</p> <p>【授業方法】</p> <p>①英語発音用ウェブサイトを用いた発音練習とペアワークで音読を行う。 ②グループで意見交換をし、グループとしての結論をまとめ、発表する。</p> | <p>(予習:1時間)</p> <p>指示された英文を読み、自分の意見をまとめる。</p> <p>(復習:1時間)</p> <p>授業中で紹介したウェブサイトでの英語の発音練習とリスニングと音読練習を行う。</p> |
| 4 | 堀 | <p>【授業内容】</p> <p>①基本的な英語のリズムについて解説を行う。 ②社会問題を取りあげ、関連した表現を学び、問題の理解を深める。</p> <p>【授業方法】</p> <p>グループごとに社会問題を選び、その背景を調査し解決策を英語で話し合う。</p> | <p>(予習:1時間)</p> <p>社会問題について調査し、英語で話し合う準備をする。</p> <p>(復習:1時間)</p> <p>話し合った結果をまとめる。さらに社会問題に関する資料を読み、調査を行う。</p> |
| 5 | 堀 | <p>【授業内容】</p> <p>ポスター作成に関連した英語表現について解説し、基本的な作成方法を提示する。</p> <p>【授業方法】</p> <p>選んだ社会問題についてグループごとにポスターを作成する。</p> | <p>(予習:1時間)</p> <p>社会問題について調査した内容を英語でまとめる。</p> <p>(復習:1時間)</p> <p>ポスター作成し、発表用原稿を用意する。</p> |
| 6 | 堀 | <p>【授業内容】</p> <p>ポスター発表など口頭発表で注意すべき点を発音とデリバリーの面から解説する。</p> <p>【授業方法】</p> <p>グループごとに作成したポスターを使って発表練習を行う。</p> | <p>(予習:1時間)</p> <p>ポスター用発表原稿の発音練習を行う。</p> <p>(復習:1時間)</p> <p>ポスター用発表原稿の発音練習を行う。</p> |
| 7 | 堀 | <p>【授業内容】</p> <p>ポスター発表会の実施</p> <p>【授業方法】</p> <p>グループごとにポスター発表を英語で行い、他のグループの発表を聞き、質問をする。</p> | <p>(予習:2時間)</p> <p>ポスター用発表原稿の発音練習を行う。</p> <p>(復習:1時間)</p> <p>ポスター発表で指摘された改善点をまとめる。</p> |
| 8 | 堀 | <p>【授業内容】</p> <p>ポスター発表会の振り返り</p> <p>【授業方法】</p> <p>グループごとにポスター発表を振り返り、良かった点と改善点をまとめ、発表する。</p> | <p>(予習:1時間)</p> <p>ポスター発表の感想と指摘された改善点について発表する準備をする。</p> <p>(復習:1時間)</p> <p>ポスター発表での自分の改善点を整理、対策を考える。</p> |
| 9 | 堀 | <p>【授業内容】</p> <p>スライドを用いたプレゼンテーションの構成、デリバリー、スライドについて解説する。</p> <p>【授業方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・TED Talkや学会発表のプレゼン動画を見ながらグループで効果的なプレゼンに必要な要素を考察する。 ・各学生が自分の競技や卒研テーマについてプレゼンするための、発表内容を考える。 | <p>(予習:1時間)</p> <p>指示されたプレゼン動画を視聴する。</p> <p>(復習:1時間)</p> <p>自分のプレゼン内容を考える。</p> |
| 10 | 堀 | <p>【授業内容】</p> <p>プレゼンの構成とスライド作成について解説する。</p> <p>【授業方法】</p> <p>テンプレートを活用し各自でスライドを作成し、その後ペアワークで互いのスライドを確認し合う。</p> | <p>(予習:1時間)</p> <p>自分のプレゼン内容とストラクチャーを考える。</p> <p>(復習:1時間)</p> <p>スライドを完成させる。</p> |
| 11 | 堀 | <p>【授業内容】</p> <p>プレゼンで発表する際に用いる表現について解説する。</p> <p>【授業方法】</p> <p>モデルプレゼンの動画をみながら、表現や話し方を検討し、発表原稿を作成する。</p> | <p>(予習:1時間)</p> <p>スライドを使った発表原稿の下書きをする。</p> <p>(復習:1時間)</p> <p>発表原稿を完成させる。</p> |
| 12 | 堀 | <p>【授業内容】</p> <p>プレゼンテーションのための発音とデリバリーについて解説する。</p> <p>【授業方法】</p> <p>グループでプレゼン発表の練習をし、互いに改善点を指摘しあう。</p> | <p>(予習:1時間)</p> <p>発表原稿を覚えるぐらいまで発音練習をする。</p> <p>(復習:2時間)</p> <p>本番に向けプレゼンの練習をする。</p> |

| | | | | |
|----|---|---|--|--|
| 13 | 堀 | <p>【授業内容】 プレゼンテーション</p> <p>【授業方法】 学会発表の形式で、一人ずつプレゼンを行い、発表後に質疑応答の時間をとる。聞き手は、プレゼンに評価をつけ、良かった点と改善点を記録する。</p> | | <p>(予習: 2時間) 本番に向けプレゼンの練習をする。</p> <p>(復習: 1時間) クラスメートや教員からの評価をもとに、発表で達成できたことと、できなかったことをまとめる。</p> |
| 14 | 堀 | <p>【授業内容】 プレゼンテーションの振り返りとコース全体のまとめ</p> <p>【授業方法】 グループごとにプレゼンについて意見交換し、代表者が話題になって事を発表する。</p> | | <p>(予習: 1時間) 自分の今後の課題について英語で話せるように準備する。</p> |
| | | 定期試験は実施しない | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

| | | | | | |
|---|---|---|-----------------------------------|--|---------|
| 科目名 | 【新カリ】Basic EnglishⅡ ①S | | | 授業形態 | 講義 |
| 英語科目名 | Basic EnglishⅡ ①S | | | 対象学年 | 1年 |
| 開講学期 | 2022年度後期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | 堀 智子 | | | ナンバリング | LNG1102 |
| 担当教員 | 堀 智子、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | 本科目は、Basic EnglishⅠで確認された強化すべき学習項目に配慮しながら、基本的な語彙力の習得と文法や文構造の理解を深め、実践的な英語運用能力向上の素地となる基礎固めを確実にを行う。教材はTOEFLの試験問題を積極的に取り入れ、英語・資格試験に対応できる実践力を養成する。 | | | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 英語コミュニケーション力の基礎となる語彙や文法を理解し、使うことができる。 2. 身近な話題からキャンパスライフに関連した内容の英語を聞いて理解できる。 3. 自分自身や身近な話題について英語で表現できる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・外国語科目の選択必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目は、「コミュニケーション能力とリーダーシップ」という学位授与方針の達成に寄与する。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | 【履修要件】 能力別の授業内容のため、指定されたクラスを受講すること。 | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業外課題、授業内活動への参加度、小テスト (60%) 2. TOEFLスコア (40%) | | | | |
| 評価基準 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的な語彙や文法を理解し、文法問題やTOEFL問題などを解くことができる。(課題、小テスト、TOEFL) 2. 身近な話題や大学生活に関連する英語を聞き、英語表現、英語音声特徴を理解した上で、内容を把握できる。(平常点、課題、TOEFL) 3. 自分自身や身近な話題について英語で話し、書くことができる。(課題、平常点) | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 課題に対するフィードバックは授業内で行い、問題点の解説や強化すべき事項を明示する。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | TOEFL TEST 必ずでる単 | | Jリサーチ出版 | 4863924135 | 購入必須 |
| 参考文献 | | | | | |
| 詳細は授業内で指示する。 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | 【連絡先】 担当：堀 智子 E-mail：t-hori[at]juntendo.ac.jp *[at]を@に置き換えてください。 【オフィスアワー】Office Hour 日時：火曜日・水曜日 昼休み 場所：1号館3階 1304室 | | | | |
| 担当教員の実務経験 | | | | | |
| 備考 | 【学修時間】 この授業は、演習の授業形態による2単位科目であり、授業60時間、予習・復習30時間の計90時間の学修を必要とする。 【その他】 英語力の伸びを確認するためにTOEFL ITP試験を年に2回実施する。 能力別のクラス分け等の事情により、授業計画に変更が生じる可能性がある。 新型コロナウイルスの発生状況に応じて成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合がある。 科目担当者欄に記載のあるいずれかの担当者が担当する。 | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 | |
| 1 | 堀智子 | 【授業内容】 ①ガイダンス：前期の授業内容を振り返り、後期の授業展開の概要を説明する。 ②アクティビティ：受講者同士のコミュニケーションを促進するための活動を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) 前期に学んだ単語(Day 1 ~ Day 20)までを再度確認しておく。 (復習：1時間) 授業内で紹介した学習方法で英語のリスニングや語彙学習を行う。 | |

| | | | | |
|----|-----|--|--|--|
| 2 | 堀智子 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目「代名詞」：代名詞の使われ方等についての理解を深め、TOEFL問題で応用力をつける。</p> <p>②リスニング：リスニングを行い、語彙や表現を確認する。</p> <p>③ 単語テスト (Day 1 ~ Day 20) を実施する。</p> | <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：1時間) 単語テストの準備をし、指示された課題を行う。</p> <p>(復習：1時間) 単語テストで間違った部分や授業で扱った文法項目およびリスニング問題の復習をする。</p> |
| 3 | 堀智子 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目「名詞・冠詞」：名詞・冠詞の使われ方等についての理解を深め、TOEFL問題で応用力をつける。</p> <p>②リスニング：キャンパスでの会話に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：1時間) 指示された語彙テキストの範囲の単語をおぼえ、課題を行う。</p> <p>(復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 4 | 堀智子 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目「前置詞・接続詞」：前置詞と接続詞の使われ方の違いを理解し、TOEFL問題で練習を行う。</p> <p>②リスニング：キャンパスでの会話に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：1時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う</p> <p>(復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 5 | 堀智子 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目「前置詞・接続詞」：前置詞と接続詞の使われ方の違いを理解し、TOEFL問題で練習を行う。</p> <p>②リスニング：住まいに関連した会話を聞き、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>テキスト・配布プリント等を用い、講義やペアワークを行う。</p> | <p>(予習：1時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う</p> <p>(復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 6 | 堀智子 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目「助動詞」：助動詞の使われ方等についての理解を深め、TOEFL問題で応用力をつける。</p> <p>②リスニング：「ビジネス」に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：1時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う。</p> <p>(復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 7 | 堀智子 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目「不定詞・動名詞」：不定詞・動名詞の使い分けについて理解を深め、TOEFL問題で応用力をつける。</p> <p>②リスニング：「ビジネス」に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：1時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う。</p> <p>(復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 8 | 堀智子 | <p>【授業内容】</p> <p>ここまでの文法項目とリスニングを復習し、TOEFL問題で定着度を確認する。定着していない項目を再度説明し、練習を行う。</p> | <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：1時間) ここまでの範囲を復習する。</p> <p>(復習：1時間) 授業で扱った文法問題の復習をする。</p> |
| 9 | 堀智子 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目「分詞」：現在分詞・過去分詞の形容詞的用法についての理解を深め、TOEFL問題で応用力をつける。</p> <p>②リスニング：「クリニック」に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> <p>③単語復習テスト (Day 16~20) を実施する。</p> | <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：1時間) Listening テキスト Unit 12を聞いて問題を解き、単語復習テストの準備をする。</p> <p>(復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 10 | 堀智子 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目「分詞構文」：分詞構文の意味を理解し、構文を使った書き換え練習とTOEFL問題で応用力をつける。</p> <p>②リスニング：「クリニック」に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：1時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う。</p> <p>(復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 11 | 堀智子 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目「分詞構文」：分詞構文の慣用表現を学び、TOEFL問題で応用力をつける。</p> <p>②リスニング：クラスに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：1時間) Listening テキスト Unit 13を聞いて問題を解き、後期にカバーした単語の総復習をする。</p> <p>(復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 12 | 堀智子 | <p>【授業内容】</p> <p>後期学習内容の総復習を行う。</p> | <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：1時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う。</p> <p>(復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |

| | | | | | |
|---|--|--|-----------------------------------|--|---------|
| 科目名 | 【新カリ】Basic EnglishⅡ ②D | | | 授業形態 | 講義 |
| 英語科目名 | Basic EnglishⅡ ②D | | | 対象学年 | 1年 |
| 開講学期 | 2022年度後期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | 庄子 ひとみ | | | ナンバリング | LNG1102 |
| 担当教員 | 庄子 ひとみ、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | 本科目は、Basic English Iで確認された強化すべき学習項目に配慮しながら、基本的な語彙力の習得と文法や文構造の理解を深め、実践的な英語運用能力向上の素地となる基礎固めを確実にを行う。教材は TOEFLの試験問題を積極的に取り入れ、英語・資格試験に対応できる実践力を養成する。 | | | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 英語コミュニケーション力の基礎となる語彙や文法を理解し、使うことができる。 2. 身近な話題からキャンパスライフに関連した内容の英語を聞いて理解できる。 3. 自分自身や身近な話題について英語で表現できる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・外国語科目の選択必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目は、「コミュニケーション能力とリーダーシップ」という学位授与方針の達成に寄与する。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | 【履修要件】 能力別の授業内容のため、指定されたクラスを受講すること。 | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業外課題、授業内活動への参加度、小テスト (60%) 2. TOEFLスコア (40%) | | | | |
| 評価基準 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的な語彙や文法を理解し、文法問題やTOEFL問題などを解くことができる。 2. 身近な話題や大学生活に関連する英語を聞き、英語表現、英語音声特徴を理解した上で、内容を把握できる。 3. 自分自身や身近な話題について英語で話し、書くことができる。 | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 課題に対するフィードバックは授業内で行い、問題点の解説や強化すべき事項を明示する。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | TOEFL TEST 必ずでる単 | | Jリサーチ出版 | 9784863924130 | 購入必須 |
| | Boost Your English: Practice for TOEFL ITP | M. Shishido, M. Mann, 他 | 成美堂 | 9784791931248 | 購入必須 |
| 参考文献 | | | | | |
| 詳細は授業内で指示する。 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>【連絡先】 担当：庄子ひとみ E-mail：hi-shoji[at]juntendo.ac.jp *[at]を@に置き換えてください。</p> <p>【オフィスアワー】Office Hour 日時：火曜-木曜 昼休み 場所：1号館3階 1332室</p> | | | | |
| 担当教員の実務経験 | | | | | |
| 備考 | <p>【学修時間】 この授業は、演習の授業形態による2単位科目であり、授業60時間、予習・復習30時間の計90時間の学修を必要とする。</p> <p>【その他】 英語力の伸びを確認するためにTOEFL ITP試験を年に2回実施する。 能力別のクラス分け等の事情により、授業計画に変更が生じる可能性がある。 新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合がある。 科目担当者欄に記載のあるいずれかの担当者が担当する。</p> | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 | |
| 1 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemssen | <p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①ガイダンス:前期の授業内容を振り返り、後期の授業展開の概要を説明する。 ②アクティビティ:受講者同士のコミュニケーションを促進するための活動を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | <p>(予習:1時間) 前期に学んだ単語(Day 1 ~ Day 20)までを再度確認しておく。 (復習:1時間) 授業内で紹介した学習方法で英語のリスニングや語彙学習を行う。</p> | |

| | | | | |
|----|--|---|-----------------------------------|---|
| 2 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 ①文法項目「代名詞」：代名詞の使われ方等についての理解を深め、TOEFL問題で応用力をつける。 ②リスニング：リスニングを行い、語彙や表現を確認する。 ③ 単語テスト (Day 1 ~ Day 20) を実施する。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) 単語テストの準備をし、指示された課題を行う。 (復習：1時間) 単語テストで間違った部分や授業で扱った文法項目およびリスニング問題の復習をする。 |
| 3 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 ①文法項目「名詞・冠詞」：名詞・冠詞の使われ方等についての理解を深め、TOEFL問題で応用力をつける。 ②リスニング：キャンパスでの会話に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) 指示された語彙テキストの範囲の単語をおぼえ、課題を行う。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 4 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 ①文法項目「前置詞・接続詞」：前置詞と接続詞の使われ方の違いを理解し、TOEFL問題で練習を行う。 ②リスニング：キャンパスでの会話に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 5 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 ①文法項目「前置詞・接続詞」：前置詞と接続詞の使われ方の違いを理解し、TOEFL問題で練習を行う。 ②リスニング：住まいに関連した会話を聞き、ペアやグループで会話練習を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、講義やペアワークを行う。 | (予習：1時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 6 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 ①文法項目「助動詞」：助動詞の使われ方等についての理解を深め、TOEFL問題で応用力をつける。 ②リスニング：「ビジネス」に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 7 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 ①文法項目「不定詞・動名詞」：不定詞・動名詞の使い分けについて理解を深め、TOEFL問題で応用力をつける。 ②リスニング：「ビジネス」に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 8 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 ここまでの文法項目とリスニングを復習し、TOEFL問題で定着度を確認する。定着していない項目を再度説明し、練習を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：2時間) ここまでの範囲を復習する。 (復習：2時間) 授業で扱った文法問題の復習をする。 |
| 9 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 ①文法項目「分詞」：現在分詞・過去分詞の形容詞的用法についての理解を深め、TOEFL問題で応用力をつける。 ②リスニング：「クリニック」に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 ③単語復習テスト (Day 16~20) を実施する。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) Listening テキスト Unit 12を聞いて問題を解き、単語復習テストの準備をする。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 10 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 ①文法項目「分詞構文」：分詞構文の意味を理解し、構文を使った書き換え練習とTOEFL問題で応用力をつける。 ②リスニング：「クリニック」に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 11 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 ①文法項目「分詞構文」：分詞構文の慣用表現を学び、TOEFL問題で応用力をつける。 ②リスニング：クラスに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) Listening テキスト Unit 13を聞いて問題を解き、後期にカバーした単語の総復習をする。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 12 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 後期学習内容の総復習を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |

| | | | | |
|----|---|--------------------------|--|--|
| 13 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemssen | 【授業内容】 後期学習内容の総復習を行う。 | テキスト・配布ブ プリント等を用い、 解説やペアワーク 等での演習を行 う。 | (予習:1時間) 後期にカバーした単語と文法項目の総復習をする。 (復習:1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 14 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemssen | 【授業内容】 後期学習内容の総復習を行う | テキストと配布ブ プリント等を用いて 講義・ペアワーク を行う | (予習:1時間) 後期にカバーした単語の総復習をする。 (復習:1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| | | 定期試験は実施しない | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記 (PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等)

| | | | | | |
|---|---|---|-----------------------------------|--|---------|
| 科目名 | 【新カリ】Basic EnglishⅡ ③C | | | 授業形態 | 講義 |
| 英語科目名 | Basic EnglishⅡ ③C | | | 対象学年 | 1年 |
| 開講学期 | 2022年度後期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | 廣瀬 絵美 | | | ナンバリング | LNG1102 |
| 担当教員 | 廣瀬 絵美、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | 本科目は、Basic EnglishⅠで確認された強化すべき学習項目に配慮しながら、基本的な語彙力の習得と文法や文構造の理解を深め、実践的な英語運用能力向上の素地となる基礎固めを確実に行う。教材はTOEFLの試験問題を積極的に取り入れ、英語・資格試験に対応できる実践力を養成する。 | | | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 英語コミュニケーション力の基礎となる語彙や文法を理解し、使うことができる。 2. 身近な話題からキャンパスライフに関連した内容の英語を聞いて理解できる。 3. 自分自身や身近な話題について英語で表現できる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・外国語科目の選択必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目は、「コミュニケーション能力とリーダーシップ」という学位授与方針の達成に寄与する。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | 【履修要件】 能力別の授業内容のため、指定されたクラスを受講すること。 | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業外課題、授業内活動への参加度、小テスト (60%) 2. TOEFLスコア (40%) | | | | |
| 評価基準 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的な語彙や文法を理解し、文法問題やTOEFL問題などを解くことができる。 2. 身近な話題や大学生活に関連する英語を聞き、英語表現、英語音声特徴を理解した上で、内容を把握できる。 3. 自分自身や身近な話題について英語で話し、書くことができる。 | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 課題に対するフィードバックは授業内で行い、問題点の解説や強化すべき事項を明示する。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | TOEFL TEST 必ずでる単 | | Jリサーチ出版 | 4863924135 | 購入必須 |
| | Boost Your English I (TOEFL ITP) | | 成美堂 | 9784791931248 | 購入必須 |
| 参考文献 | | | | | |
| 詳細は授業内で指示する。 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>【連絡先】 担当：廣瀬 絵美 E-mail：e.hirose.df@juntendo.ac.jp *[at]を@に置き換えてください。</p> <p>【オフィスアワー】Office Hour 日時：火曜日 昼休み 場所：1号館3階 廣瀬絵美研究室</p> | | | | |
| 担当教員の実務経験 | | | | | |
| 備考 | <p>【学修時間】 この授業は、演習の授業形態による2単位科目であり、授業60時間、予習・復習30時間の計90時間の学修を必要とする。</p> <p>【その他】 英語力の伸びを確認するためにTOEFL ITP試験を年に2回実施する。 能力別のクラス分け等の事情により、授業計画に変更が生じる可能性がある。 新型コロナウイルスの発生状況に応じて成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合がある。 科目担当者欄に記載のあるいずれかの担当者が担当する。</p> | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 | |
| 1 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willmsen | <p>【授業内容】</p> <p>①ガイダンス：前期の授業内容を振り返り、後期の授業展開の概要を説明する。</p> <p>②アクティビティ：受講者同士のコミュニケーションを促進するための活動を行う。</p> | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | <p>(予習：1時間) 前期に学んだ単語(Day 1 ~ Day 20)までを再度確認しておく。 (復習：1時間) 授業内で紹介した学習方法で英語のリスニングや語彙学習を行う。</p> | |

| | | | | |
|----|--|---|-----------------------------------|---|
| 2 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 ①文法項目「代名詞」：代名詞の使われ方等についての理解を深め、TOEFL問題で応用力をつける。 ②リスニング：リスニングを行い、語彙や表現を確認する。 ③ 単語テスト (Day 1 ~ Day 20) を実施する。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) 単語テストの準備をし、指示された課題を行う。 (復習：1時間) 単語テストで間違った部分や授業で扱った文法項目およびリスニング問題の復習をする。 |
| 3 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 ①文法項目「名詞・冠詞」：名詞・冠詞の使われ方等についての理解を深め、TOEFL問題で応用力をつける。 ②リスニング：キャンパスでの会話に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) 指示された語彙テキストの範囲の単語をおぼえ、課題を行う。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 4 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 ①文法項目「前置詞・接続詞」：前置詞と接続詞の使われ方の違いを理解し、TOEFL問題で練習を行う。 ②リスニング：キャンパスでの会話に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 5 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 ①文法項目「前置詞・接続詞」：前置詞と接続詞の使われ方の違いを理解し、TOEFL問題で練習を行う。 ②リスニング：住まいに関連した会話を聞き、ペアやグループで会話練習を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、講義やペアワークを行う。 | (予習：1時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 6 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 ①文法項目「助動詞」：助動詞の使われ方等についての理解を深め、TOEFL問題で応用力をつける。 ②リスニング：「ビジネス」に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 7 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 ①文法項目「不定詞・動名詞」：不定詞・動名詞の使い分けについて理解を深め、TOEFL問題で応用力をつける。 ②リスニング：「ビジネス」に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 8 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 ここまでの文法項目とリスニングを復習し、TOEFL問題で定着度を確認する。定着していない項目を再度説明し、練習を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) ここまでの範囲を復習する。 (復習：1時間) 授業で扱った文法問題の復習をする。 |
| 9 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 ①文法項目「分詞」：現在分詞・過去分詞の形容詞的用法についての理解を深め、TOEFL問題で応用力をつける。 ②リスニング：「クリニック」に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 ③単語復習テスト (Day 16~20) を実施する。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) Listening テキスト Unit 12を聞いて問題を解き、単語復習テストの準備をする。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 10 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 ①文法項目「分詞構文」：分詞構文の意味を理解し、構文を使った書き換え練習とTOEFL問題で応用力をつける。 ②リスニング：「クリニック」に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 11 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 ①文法項目「分詞構文」：分詞構文の慣用表現を学び、TOEFL問題で応用力をつける。 ②リスニング：クラスに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) Listening テキスト Unit 13を聞いて問題を解き、後期にカバーした単語の総復習をする。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 12 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 後期学習内容の総復習を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |

| | | | | |
|----|---|--------------------------|---|--|
| 13 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemssen | 【授業内容】 後期学習内容の総復習を行う。 | テキスト・配布ブ リント等を用い、 解説やペアワーク 等での演習を行 う。 | (予習：1時間) 後期にカバーした単語と文法項目の総復習をする。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習 をする。 |
| 14 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemssen | 【授業内容】 後期学習内容の総復習を行う | テキストと配布ブ リント等を用いて 講義・ペアワーク を行う | (予習：2時間) 後期にカバーした単語の総復習をする。 (復習：2時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習 をする。 |
| | | 定期試験は実施しない | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記 (PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等)

| | | | | | |
|------------------------|--|--------|---------|------|----|
| 科目名 | 【新カリ】Basic EnglishⅡ ④B | 授業形態 | 講義 | | |
| 英語科目名 | Basic EnglishⅡ ④B | 対象学年 | 1年 | | |
| 開講学期 | 2022年度後期 | 単位数 | 2単位 | | |
| 代表教員 | 有江 和美 | ナンバリング | LNG1102 | | |
| 担当教員 | 有江 和美、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | <p>【授業全体の内容】 本科目は、演習の授業形態で行われる。入学時のプレースメントテストの結果により、各自の英語レベルに応じたクラスを編成し、基本的な語彙力を習得し文法や文構造を理解することで、実践的な英語運用能力を磨くための基礎固めをする。また、主体的に英語のスキルアップに取り組めるよう効果的な学習方法についても紹介する。教材には TOEFL 等の試験問題を積極的に取り入れ、英語資格・検定試験にも対応できる力を養成する。</p> <p>【授業の位置づけ（学位授与方針に定められている知識・能力等との関連）】 この科目は、スポーツ健康科学部の学位授与方針である「グローバル社会において連携や協働できるコミュニケーション能力」の基礎力の習得を目指している。</p> <p>【授業の到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 英語コミュニケーション力の基礎となる語彙や文法を理解し、使うことができる。 2. 身近な話題からキャンパスライフに関連した内容の英語を聞いて理解できる。 3. 自分自身や身近な話題について英語で表現できる。 | | | | |
| 到達目標 | | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・外国語科目の選択必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | <p>【履修要件】 4月に実施するプレースメントテストのスコアによりクラス分けを行うので、指定クラスを受講する。</p> <p>【課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法】 課題に対するフィードバックは授業内で行き、問題点の解説や強化すべき事項を明示する。</p> <p>【テキスト・参考書等】 TOEFL TEST 必ずでる単 スピードマスター（Jリサーチ出版）</p> <p>このテキストは必ず購入してください。購入方法は別途連絡します。</p> <p>その他の教材については、担当者が授業内で指示します。</p> | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | <p>【成績評価の基準】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的な語彙や文法を理解し、文法問題やTOEFL問題などを解くことができる。（平常点、小テスト） 2. 身近な話題や大学生活に関連する英語を聞き、英語表現、英語音声特徴を理解した上で、内容を把握できる。（平常点、小テスト） 3. 自分自身や身近な話題について英語で話し、書くことができる。（平常点、小テスト） <p>【成績評価の方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業外課題、授業内活動、小テスト等(60%) 2. TOEFL (40%) | | | | |
| 評価基準 | | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | | | | | |
| 参考文献 | | | | | |
| | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>【連絡先】 E-mail : k. arie. zi[at]juntendo. ac. jp [at]を@に置き換えてください。</p> <p>【オフィスアワー】 授業内で周知します</p> | | | | |
| 担当教員の実務経験 | | | | | |

| 備考 | <p>【学修時間】 この授業は、演習の授業形態による2単位科目であり、授業30時間、予習・復習60時間の計90時間の学修を必要とする。1回の授業時間は100分とする。</p> <p>【その他】 中・高教諭1種免許（保健体育）取得するための必修科目 科目：教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 施行規則に定める科目区分又は事項等：外国語コミュニケーション</p> <p>英語力の伸びを確認するためにTOEFL ITP試験を年に2回実施する。 科目担当者欄に記載のあるいずれかの担当者が担当する。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p> | | | |
|------|---|--|--------|---|
| 授業計画 | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 |
| 1 | 有江 和美 | <p>【授業内容】 ①ガイダンス：単位取得上の諸注意、授業展開の概要を説明する。また、英語力向上に必要な日々の学習方法を紹介する。 ②アクティビティ：受講者同士のコミュニケーションを促進するための活動を行う。 【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | | <p>(復習：4時間) 授業内で紹介した学習方法で英語のリスニングや語彙学習を行う。</p> |
| 2 | 有江 和美 | <p>【授業内容】 ①文法項目「品詞」：英文を構成する語の意味や働きで分類されている品詞について解説し、練習問題や読解の際に使えるようにする。 ②リスニング：日常生活に関連した英文のリスニングを行い、語彙や表現を確認する。 【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | | <p>(予習：2時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえる。 (復習：2時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 3 | 有江 和美 | <p>【授業内容】 ①文法項目「文構造」：英文構造の基本となる主語・述語動詞・目的語の関係を確認し、TOEFL問題で応用力を磨く。 ②リスニング：日常生活に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | | <p>(予習：2時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえる。 (復習：2時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 4 | 有江 和美 | <p>【授業内容】 ①文法項目「動詞・句動詞」：自動詞/他動詞の区別や句動詞について確認し、TOEFL問題で応用力を磨く。 ②リスニング：日常生活に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | | <p>(予習：2時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえる。 (復習：2時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 5 | 有江 和美 | <p>【授業内容】 ①文法項目「時制」：過去・現在・未来時制の特徴や使い分けを確認し、TOEFL問題で応用力を磨く。 ②リスニング：キャンパスライフに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | | <p>(予習：2時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえる。 (復習：2時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 6 | 有江 和美 | <p>【授業内容】 ①文法項目「時制」：完了形の特徴や使い分けを確認し、TOEFL問題で応用力を磨く。 ②リスニング：キャンパスライフに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | | <p>(予習：2時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえる。 (復習：2時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 7 | 有江 和美 | <p>【授業内容】 ①文法項目：ここまでの文法項目の復習をし、TOEFL問題で実践力を磨く。 ②リスニング：キャンパスライフに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 ③単語復習テストNo.1を実施する。 【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | | <p>(予習：2時間) 語彙テキストで指示された範囲の単語をおぼえる。 (復習：2時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 8 | 有江 和美 | <p>【授業内容】 ①文法項目「主語と動詞の一致」：主語と動詞の関係を復習し、TOEFL問題で応用力を磨く。 ②リスニング：キャンパスライフに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | | <p>(予習：2時間) 語彙テキストで指示された範囲の単語をおぼえる。 (復習：2時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |

| | | | | |
|--|--|--|--|--|
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

| | | | | | |
|--|---|---|-----------------------------------|--|---------|
| 科目名 | 【新カリ】Basic EnglishⅡ ⑤A | | | 授業形態 | 講義 |
| 英語科目名 | Basic EnglishⅡ ⑤A | | | 対象学年 | 1年 |
| 開講学期 | 2022年度後期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | 廣瀬 絵美 | | | ナンバリング | LNG1102 |
| 担当教員 | 廣瀬 絵美、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | 本科目は、Basic EnglishⅠで確認された強化すべき学習項目に配慮しながら、基本的な語彙力の習得と文法や文構造の理解を深め、実践的な英語運用能力向上の素地となる基礎固めを確実に行う。教材は TOEFLの試験問題を積極的に取り入れ、英語・資格試験に対応できる実践力を養成する。 | | | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 英語コミュニケーション力の基礎となる語彙や文法を理解し、使うことができる。 2. 身近な話題からキャンパスライフに関連した内容の英語を聞いて理解できる。 3. 自分自身や身近な話題について英語で表現できる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・外国語科目の選択必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目は、「コミュニケーション能力とリーダーシップ」という学位授与方針の達成に寄与する。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | 【履修要件】 能力別の授業内容のため、指定されたクラスを受講すること。 | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業外課題、授業内活動への参加度、小テスト (60%) 2. TOEFLスコア (40%) | | | | |
| 評価基準 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的な語彙や文法を理解し、文法問題やTOEFL問題などを解くことができる。 2. 身近な話題や大学生活に関連する英語を聞き、英語表現、英語音声特徴を理解した上で、内容を把握できる。 3. 自分自身や身近な話題について英語で話し、書くことができる。 | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 課題に対するフィードバックは授業内でを行い、問題点の解説や強化すべき事項を明示する。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | TOEFL TEST 必ずでる単 | | Jリサーチ出版 | 4863924135 | 購入必須 |
| | Boost Your English I (TOEFL ITP) | | 成美堂 | 9784791931248 | 購入必須 |
| 参考文献 | | | | | |
| 詳細は授業内で指示する。 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>【連絡先】 担当：廣瀬 絵美 E-mail：e.hirose.df@juntendo.ac.jp *[at]を@に置き換えてください。</p> <p>【オフィスアワー】Office Hour 日時：火曜日 昼休み 場所：1号館3階 廣瀬絵美研究室</p> | | | | |
| 担当教員の実務経験 | | | | | |
| 備考 | <p>【学修時間】 この授業は、演習の授業形態による2単位科目であり、授業60時間、予習・復習30時間の計90時間の学修を必要とする。</p> <p>【その他】 英語力の伸びを確認するためにTOEFL ITP試験を年に2回実施する。 能力別のクラス分け等の事情により、授業計画に変更が生じる可能性がある。 新型コロナウイルスの発生状況に応じて成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合がある。 科目担当者欄に記載のあるいずれかの担当者が担当する。</p> | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 | |
| 1 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willmsen | <p>【授業内容】</p> <p>①ガイダンス：前期の授業内容を振り返り、後期の授業展開の概要を説明する。</p> <p>②アクティビティ：受講者同士のコミュニケーションを促進するための活動を行う。</p> | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | <p>(予習：1時間) 前期に学んだ単語(Day 1 ~ Day 20)までを再度確認しておく。 (復習：1時間) 授業内で紹介した学習方法で英語のリスニングや語彙学習を行う。</p> | |

| | | | | |
|----|--|---|-----------------------------------|---|
| 2 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 ①文法項目「代名詞」：代名詞の使われ方等についての理解を深め、TOEFL問題で応用力をつける。 ②リスニング：リスニングを行い、語彙や表現を確認する。 ③ 単語テスト (Day 1 ~ Day 20) を実施する。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) 単語テストの準備をし、指示された課題を行う。 (復習：1時間) 単語テストで間違った部分や授業で扱った文法項目およびリスニング問題の復習をする。 |
| 3 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 ①文法項目「名詞・冠詞」：名詞・冠詞の使われ方等についての理解を深め、TOEFL問題で応用力をつける。 ②リスニング：キャンパスでの会話に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) 指示された語彙テキストの範囲の単語をおぼえ、課題を行う。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 4 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 ①文法項目「前置詞・接続詞」：前置詞と接続詞の使われ方の違いを理解し、TOEFL問題で練習を行う。 ②リスニング：キャンパスでの会話に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 5 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 ①文法項目「前置詞・接続詞」：前置詞と接続詞の使われ方の違いを理解し、TOEFL問題で練習を行う。 ②リスニング：住まいに関連した会話を聞き、ペアやグループで会話練習を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、講義やペアワークを行う。 | (予習：1時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 6 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 ①文法項目「助動詞」：助動詞の使われ方等についての理解を深め、TOEFL問題で応用力をつける。 ②リスニング：「ビジネス」に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 7 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 ①文法項目「不定詞・動名詞」：不定詞・動名詞の使い分けについて理解を深め、TOEFL問題で応用力をつける。 ②リスニング：「ビジネス」に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 8 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 ここまでの文法項目とリスニングを復習し、TOEFL問題で定着度を確認する。定着していない項目を再度説明し、練習を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) ここまでの範囲を復習する。 (復習：1時間) 授業で扱った文法問題の復習をする。 |
| 9 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 ①文法項目「分詞」：現在分詞・過去分詞の形容詞的用法についての理解を深め、TOEFL問題で応用力をつける。 ②リスニング：「クリニック」に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 ③単語復習テスト (Day 16~20) を実施する。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) Listening テキスト Unit 12を聞いて問題を解き、単語復習テストの準備をする。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 10 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 ①文法項目「分詞構文」：分詞構文の意味を理解し、構文を使った書き換え練習とTOEFL問題で応用力をつける。 ②リスニング：「クリニック」に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 11 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 ①文法項目「分詞構文」：分詞構文の慣用表現を学び、TOEFL問題で応用力をつける。 ②リスニング：クラスに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) Listening テキスト Unit 13を聞いて問題を解き、後期にカバーした単語の総復習をする。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 12 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 後期学習内容の総復習を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |

| | | | | | |
|--|--|---|-----------------------------------|--|---------|
| 科目名 | 【新カリ】Basic EnglishⅡ ⑥S | | | 授業形態 | 講義 |
| 英語科目名 | Basic EnglishⅡ ⑥S | | | 対象学年 | 1年 |
| 開講学期 | 2022年度後期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | 廣瀬 絵美 | | | ナンバリング | LNG1102 |
| 担当教員 | 廣瀬 絵美、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | 本科目は、Basic EnglishⅠで確認された強化すべき学習項目に配慮しながら、基本的な語彙力の習得と文法や文構造の理解を深め、実践的な英語運用能力向上の素地となる基礎固めを確実にを行う。教材は TOEFLの試験問題を積極的に取り入れ、英語・資格試験に対応できる実践力を養成する。 | | | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 英語コミュニケーション力の基礎となる語彙や文法を理解し、使うことができる。 2. 身近な話題からキャンパスライフに関連した内容の英語を聞いて理解できる。 3. 自分自身や身近な話題について英語で表現できる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・外国語科目の選択必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目は、「コミュニケーション能力とリーダーシップ」という学位授与方針の達成に寄与する。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | 【履修要件】 能力別の授業内容のため、指定されたクラスを受講すること。 | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業外課題、授業内活動への参加度、小テスト (60%) 2. TOEFLスコア (40%) | | | | |
| 評価基準 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的な語彙や文法を理解し、文法問題やTOEFL問題などを解くことができる。 2. 身近な話題や大学生活に関連する英語を聞き、英語表現、英語音声特徴を理解した上で、内容を把握できる。 3. 自分自身や身近な話題について英語で話し、書くことができる。 | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 課題に対するフィードバックは授業内でを行い、問題点の解説や強化すべき事項を明示する。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | TOEFL TEST 必ずでる単 | | Jリサーチ出版 | 4863924135 | 購入必須 |
| | Boost Your English I (TOEFL ITP) | | 成美堂 | 9784791931248 | 購入必須 |
| 参考文献 | | | | | |
| 詳細は授業内で指示する。 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>【連絡先】 担当： 廣瀬 絵美 E-mail：e.hirose.df@juntendo.ac.jp *[at]を@に置き換えてください。</p> <p>【オフィスアワー】Office Hour 日時：火曜日 昼休み 場所：1号館3階 廣瀬絵美研究室</p> | | | | |
| 担当教員の実際経験 | | | | | |
| 備考 | <p>【学修時間】 この授業は、演習の授業形態による2単位科目であり、授業60時間、予習・復習30時間の計90時間の学修を必要とする。</p> <p>【その他】 英語力の伸びを確認するためにTOEFL ITP試験を年に2回実施する。 能力別のクラス分け等の事情により、授業計画に変更が生じる可能性がある。 新型コロナ感染症の発生状況に応じて成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合がある。 科目担当者欄に記載のあるいずれかの担当者が担当する。</p> | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 | |
| 1 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willmsen | <p>【授業内容】</p> <p>①ガイダンス：前期の授業内容を振り返り、後期の授業展開の概要を説明する。</p> <p>②アクティビティ：受講者同士のコミュニケーションを促進するための活動を行う。</p> | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | <p>(予習：1時間) 前期に学んだ単語(Day 1 ~ Day 20)までを再度確認しておく。 (復習：1時間) 授業内で紹介した学習方法で英語のリスニングや語彙学習を行う。</p> | |

| | | | | |
|----|--|---|-----------------------------------|---|
| 2 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 ①文法項目「代名詞」：代名詞の使われ方等についての理解を深め、TOEFL問題で応用力をつける。 ②リスニング：リスニングを行い、語彙や表現を確認する。 ③ 単語テスト (Day 1 ~ Day 20) を実施する。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) 単語テストの準備をし、指示された課題を行う。 (復習：1時間) 単語テストで間違った部分や授業で扱った文法項目およびリスニング問題の復習をする。 |
| 3 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 ①文法項目「名詞・冠詞」：名詞・冠詞の使われ方等についての理解を深め、TOEFL問題で応用力をつける。 ②リスニング：キャンパスでの会話に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) 指示された語彙テキストの範囲の単語をおぼえ、課題を行う。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 4 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 ①文法項目「前置詞・接続詞」：前置詞と接続詞の使われ方の違いを理解し、TOEFL問題で練習を行う。 ②リスニング：キャンパスでの会話に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 5 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 ①文法項目「前置詞・接続詞」：前置詞と接続詞の使われ方の違いを理解し、TOEFL問題で練習を行う。 ②リスニング：住まいに関連した会話を聞き、ペアやグループで会話練習を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、講義やペアワークを行う。 | (予習：1時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 6 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 ①文法項目「助動詞」：助動詞の使われ方等についての理解を深め、TOEFL問題で応用力をつける。 ②リスニング：「ビジネス」に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 7 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 ①文法項目「不定詞・動名詞」：不定詞・動名詞の使い分けについて理解を深め、TOEFL問題で応用力をつける。 ②リスニング：「ビジネス」に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 8 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 ここまでの文法項目とリスニングを復習し、TOEFL問題で定着度を確認する。定着していない項目を再度説明し、練習を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) ここまでの範囲を復習する。 (復習：1時間) 授業で扱った文法問題の復習をする。 |
| 9 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 ①文法項目「分詞」：現在分詞・過去分詞の形容詞的用法についての理解を深め、TOEFL問題で応用力をつける。 ②リスニング：「クリニック」に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 ③単語復習テスト (Day 16~20) を実施する。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) Listening テキスト Unit 12を聞いて問題を解き、単語復習テストの準備をする。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 10 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 ①文法項目「分詞構文」：分詞構文の意味を理解し、構文を使った書き換え練習とTOEFL問題で応用力をつける。 ②リスニング：「クリニック」に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 11 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 ①文法項目「分詞構文」：分詞構文の慣用表現を学び、TOEFL問題で応用力をつける。 ②リスニング：クラスに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) Listening テキスト Unit 13を聞いて問題を解き、後期にカバーした単語の総復習をする。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 12 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 後期学習内容の総復習を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |

| | | | | |
|----|---|--------------------------|---|--|
| 13 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemssen | 【授業内容】 後期学習内容の総復習を行う。 | テキスト・配布プ リント等を用い、 解説やペアワーク 等での演習を行 う。 | (予習: 1時間) 後期にカバーした単語と文法項目の総復習をす る。 (復習: 1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習 をする。 |
| 14 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemssen | 【授業内容】 後期学習内容の総復習を行う | テキストと配布プ リント等を用いて 講義・ペアワーク を行う | (予習: 2時間) 後期にカバーした単語の総復習をする。 (復習: 2時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習 をする。 |
| | | 定期試験は実施しない | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記 (PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等)

| | | | | | |
|---|---|---|-----------------------------------|--|---------|
| 科目名 | 【新カリ】Basic EnglishⅡ ㉔D | | | 授業形態 | 講義 |
| 英語科目名 | Basic EnglishⅡ ㉔D | | | 対象学年 | 1年 |
| 開講学期 | 2022年度後期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | 庄子 ひとみ | | | ナンバリング | LNG1102 |
| 担当教員 | 庄子 ひとみ、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | 本科目は、Basic English Iで確認された強化すべき学習項目に配慮しながら、基本的な語彙力の習得と文法や文構造の理解を深め、実践的な英語運用能力向上の素地となる基礎固めを確実にを行う。教材は TOEFLの試験問題を積極的に取り入れ、英語・資格試験に対応できる実践力を養成する。 | | | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 英語コミュニケーション力の基礎となる語彙や文法を理解し、使うことができる。 2. 身近な話題からキャンパスライフに関連した内容の英語を聞いて理解できる。 3. 自分自身や身近な話題について英語で表現できる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・外国語科目の選択必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目は、「コミュニケーション能力とリーダーシップ」という学位授与方針の達成に寄与する。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | 【履修要件】 能力別の授業内容のため、指定されたクラスを受講すること。 | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業外課題、授業内活動への参加度、小テスト (60%) 2. TOEFLスコア (40%) | | | | |
| 評価基準 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的な語彙や文法を理解し、文法問題やTOEFL問題などを解くことができる。 2. 身近な話題や大学生活に関連する英語を聞き、英語表現、英語音声特徴を理解した上で、内容を把握できる。 3. 自分自身や身近な話題について英語で話し、書くことができる。 | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 課題に対するフィードバックは授業内で行い、問題点の解説や強化すべき事項を明示する。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | TOEFL TEST 必ずでる単 | | Jリサーチ出版 | 4863924135 | 購入必須 |
| | Boost Your English:Practice for TOEFL ITP | | SEIBIDO | 9784791931248 | 購入必須 |
| 参考文献 | | | | | |
| 詳細は授業内で指示する。 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | 【連絡先】 担当：堀 智子 E-mail：t-hori[at]juntendo.ac.jp *[at]を@に置き換えてください。 【オフィスアワー】 Office Hour 日時：火曜日 昼休み 場所：1号館3階 1304室 | | | | |
| 担当教員の実務経験 | | | | | |
| 備考 | 【学修時間】 この授業は、演習の授業形態による2単位科目であり、授業60時間、予習・復習30時間の計90時間の学修を必要とする。 【その他】 英語力の伸びを確認するためにTOEFL ITP試験を年に2回実施する。 能力別のクラス分け等の事情により、授業計画に変更が生じる可能性がある。 新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する可能性がある。 科目担当者欄に記載のあるいずれかの担当者が担当する。 | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 | |
| 1 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemssen | 【授業内容】 ①ガイダンス:前期の授業内容を振り返り、後期の授業展開の概要を説明する。 ②アクティビティ:受講者同士のコミュニケーションを促進するための活動を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習:1時間) 前期に学んだ単語(Day 1 ~ Day 20)までを再度確認しておく。 (復習:1時間) 授業内で紹介した学習方法で英語のリスニングや語彙学習を行う。 | |

| | | | | |
|----|---|---|-----------------------------------|---|
| 2 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemssen | 【授業内容】 ①文法項目「代名詞」：代名詞の使われ方等についての理解を深め、TOEFL問題で応用力をつける。 ②リスニング：リスニングを行い、語彙や表現を確認する。 ③ 単語テスト (Day 1 ~ Day 20) を実施する。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) 単語テストの準備をし、指示された課題を行う。 (復習：1時間) 単語テストで間違った部分や授業で扱った文法項目およびリスニング問題の復習をする。 |
| 3 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemssen | 【授業内容】 ①文法項目「名詞・冠詞」：名詞・冠詞の使われ方等についての理解を深め、TOEFL問題で応用力をつける。 ②リスニング：キャンパスでの会話に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) 指示された語彙テキストの範囲の単語をおぼえ、課題を行う。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 4 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemssen | 【授業内容】 ①文法項目「前置詞・接続詞」：前置詞と接続詞の使われ方の違いを理解し、TOEFL問題で練習を行う。 ②リスニング：キャンパスでの会話に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 5 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemssen | 【授業内容】 ①文法項目「前置詞・接続詞」：前置詞と接続詞の使われ方の違いを理解し、TOEFL問題で練習を行う。 ②リスニング：住まいに関連した会話を聞き、ペアやグループで会話練習を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、講義やペアワークを行う。 | (予習：1時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 6 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemssen | 【授業内容】 ①文法項目「助動詞」：助動詞の使われ方等についての理解を深め、TOEFL問題で応用力をつける。 ②リスニング：「ビジネス」に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 7 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemssen | 【授業内容】 ①文法項目「不定詞・動名詞」：不定詞・動名詞の使い分けについて理解を深め、TOEFL問題で応用力をつける。 ②リスニング：「ビジネス」に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 8 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemssen | 【授業内容】 ここまでの文法項目とリスニングを復習し、TOEFL問題で定着度を確認する。定着していない項目を再度説明し、練習を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) ここまでの範囲を復習する。 (復習：1時間) 授業で扱った文法問題の復習をする。 |
| 9 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemssen | 【授業内容】 ①文法項目「分詞」：現在分詞・過去分詞の形容詞的用法についての理解を深め、TOEFL問題で応用力をつける。 ②リスニング：「クリニック」に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 ③単語復習テスト (Day 16~20) を実施する。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) Listening テキスト Unit 12を聞いて問題を解き、単語復習テストの準備をする。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 10 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemssen | 【授業内容】 ①文法項目「分詞構文」：分詞構文の意味を理解し、構文を使った書き換え練習とTOEFL問題で応用力をつける。 ②リスニング：「クリニック」に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 11 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemssen | 【授業内容】 ①文法項目「分詞構文」：分詞構文の慣用表現を学び、TOEFL問題で応用力をつける。 ②リスニング：クラスに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) Listening テキスト Unit 13を聞いて問題を解き、後期にカバーした単語の総復習をする。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 12 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemssen | 【授業内容】 後期学習内容の総復習を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う。 (復習：3時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |

| | | | | | |
|---|---|---|-----------------------------------|--|---------|
| 科目名 | 【新カリ】Basic EnglishⅡ ㊸C | | | 授業形態 | 講義 |
| 英語科目名 | Basic EnglishⅡ ㊸C | | | 対象学年 | 1年 |
| 開講学期 | 2022年度後期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | 庄子 ひとみ | | | ナンバリング | LNG1102 |
| 担当教員 | 庄子 ひとみ、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | 本科目は、Basic English Iで確認された強化すべき学習項目に配慮しながら、基本的な語彙力の習得と文法や文構造の理解を深め、実践的な英語運用能力向上の素地となる基礎固めを確実にを行う。教材は TOEFLの試験問題を積極的に取り入れ、英語・資格試験に対応できる実践力を養成する。 | | | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 英語コミュニケーション力の基礎となる語彙や文法を理解し、使うことができる。 2. 身近な話題からキャンパスライフに関連した内容の英語を聞いて理解できる。 3. 自分自身や身近な話題について英語で表現できる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・外国語科目の選択必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目は、「コミュニケーション能力とリーダーシップ」という学位授与方針の達成に寄与する。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | 【履修要件】 能力別の授業内容のため、指定されたクラスを受講すること。 | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業外課題、授業内活動への参加度、小テスト (60%) 2. TOEFLスコア (40%) | | | | |
| 評価基準 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的な語彙や文法を理解し、文法問題やTOEFL問題などを解くことができる。 2. 身近な話題や大学生活に関連する英語を聞き、英語表現、英語音声特徴を理解した上で、内容を把握できる。 3. 自分自身や身近な話題について英語で話し、書くことができる。 | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 課題に対するフィードバックは授業内で行い、問題点の解説や強化すべき事項を明示する。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | TOEFL TEST 必ずでる単 | | Jリサーチ出版 | 4863924135 | 購入必須 |
| | Boost Your English 1: Practice for TOEFL ITP | | 成美堂 | 9784791931248 | 購入必須 |
| 参考文献 | | | | | |
| 詳細は授業内で指示する。 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | 【連絡先】 担当：庄子 ひとみ E-mail：hi-shoji[at]juntendo.ac.jp *[at]を@に置き換えてください。 【オフィスアワー】 Office Hour 日時：火曜日 昼休み 場所：1号館3階 1332室 | | | | |
| 担当教員の実務経験 | | | | | |
| 備考 | 【学修時間】 この授業は、演習の授業形態による2単位科目であり、授業60時間、予習・復習30時間の計90時間の学修を必要とする。 【その他】 英語力の伸びを確認するためにTOEFL ITP試験を年に2回実施する。 能力別のクラス分け等の事情により、授業計画に変更が生じる可能性がある。 新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する可能性がある。 科目担当者欄に記載のあるいずれかの担当者が担当する。 | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 | |
| 1 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemssen | 【授業内容】 ①ガイダンス:前期の授業内容を振り返り、後期の授業展開の概要を説明する。 ②アクティビティ:受講者同士のコミュニケーションを促進するための活動を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習:1時間) 前期に学んだ単語(Day 1 ~ Day 20)までを再度確認しておく。 (復習:1時間) 授業内で紹介した学習方法で英語のリスニングや語彙学習を行う。 | |

| | | | | |
|----|--|---|-----------------------------------|---|
| 2 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 ①文法項目「代名詞」：代名詞の使われ方等についての理解を深め、TOEFL問題で応用力をつける。 ②リスニング：リスニングを行い、語彙や表現を確認する。 ③ 単語テスト (Day 1 ~ Day 20) を実施する。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) 単語テストの準備をし、指示された課題を行う。 (復習：1時間) 単語テストで間違った部分や授業で扱った文法項目およびリスニング問題の復習をする。 |
| 3 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 ①文法項目「名詞・冠詞」：名詞・冠詞の使われ方等についての理解を深め、TOEFL問題で応用力をつける。 ②リスニング：キャンパスでの会話に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) 指示された語彙テキストの範囲の単語をおぼえ、課題を行う。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 4 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 ①文法項目「前置詞・接続詞」：前置詞と接続詞の使われ方の違いを理解し、TOEFL問題で練習を行う。 ②リスニング：キャンパスでの会話に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 5 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 ①文法項目「前置詞・接続詞」：前置詞と接続詞の使われ方の違いを理解し、TOEFL問題で練習を行う。 ②リスニング：住まいに関連した会話を聞き、ペアやグループで会話練習を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、講義やペアワークを行う。 | (予習：1時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 6 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 ①文法項目「助動詞」：助動詞の使われ方等についての理解を深め、TOEFL問題で応用力をつける。 ②リスニング：「ビジネス」に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 7 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 ①文法項目「不定詞・動名詞」：不定詞・動名詞の使い分けについて理解を深め、TOEFL問題で応用力をつける。 ②リスニング：「ビジネス」に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 8 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 ここまでの文法項目とリスニングを復習し、TOEFL問題で定着度を確認する。定着していない項目を再度説明し、練習を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) ここまでの範囲を復習する。 (復習：1時間) 授業で扱った文法問題の復習をする。 |
| 9 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 ①文法項目「分詞」：現在分詞・過去分詞の形容詞的用法についての理解を深め、TOEFL問題で応用力をつける。 ②リスニング：「クリニック」に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 ③単語復習テスト (Day 16~20) を実施する。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) Listening テキスト Unit 12を聞いて問題を解き、単語復習テストの準備をする。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 10 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 ①文法項目「分詞構文」：分詞構文の意味を理解し、構文を使った書き換え練習とTOEFL問題で応用力をつける。 ②リスニング：「クリニック」に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 11 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 ①文法項目「分詞構文」：分詞構文の慣用表現を学び、TOEFL問題で応用力をつける。 ②リスニング：クラスに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) Listening テキスト Unit 13を聞いて問題を解き、後期にカバーした単語の総復習をする。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 12 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 後期学習内容の総復習を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う。 (復習：3時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |

| | | | | | |
|------------------------|---|----|-----|--------|---------|
| 科目名 | 【新カリ】Basic English II ㊹B | | | 授業形態 | 講義 |
| 英語科目名 | Basic English II ㊹B | | | 対象学年 | 1年 |
| 開講学期 | 2022年度後期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | 有江 和美 | | | ナンバリング | LNG1102 |
| 担当教員 | 有江 和美、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | <p>【授業全体の内容】 本科目は、Basic English I で確認された強化すべき学習項目に配慮しながら、基本的な語彙力の習得と文法や文構造の理解を深め、実践的な英語運用能力向上の素地となる基礎固めを確実に行う。教材は TOEFL の試験問題を積極的に取り入れ、英語・資格試験に対応できる実践力を養成する。</p> <p>【授業の位置づけ（学位授与方針に定められている知識・能力等との関連）】 この科目は、スポーツ健康科学部の学位授与方針である「グローバル社会において連携や協働できるコミュニケーション能力」の基礎力の習得を目指している。</p> <p>【授業の到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 英語コミュニケーション力の基礎となる語彙や文法を理解し、使うことができる。 2. 身近な話題からキャンパスライフに関連した内容の英語を聞いて理解できる。 3. 自分自身や身近な話題について英語で表現できる。 | | | | |
| 到達目標 | | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・外国語科目の選択必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | <p>【履修要件】 特になし</p> <p>【課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法】 課題に対するフィードバックは授業内で行い、問題点の解説や強化すべき事項を明示する。</p> <p>【テキスト・参考書等】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. TOEFL TEST 必ずでる単 スピードマスター（Jリサーチ出版） <p>その他、担当者が授業内で指示する。</p> | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | <p>【成績評価の基準】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的な語彙や文法を理解し、文法問題やTOEFL問題などを解くことができる。 2. 身近な話題や大学生活に関連する英語を聞き、英語表現、英語音声特徴を理解した上で、内容を把握できる。 3. 自分自身や身近な話題について英語で話し、書くことができる。 <p>【成績評価の方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業外課題、授業内活動への参加度、小テスト（60%） 2. TOEFLスコア（40%） | | | | |
| 評価基準 | | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | | | | | |
| 参考文献 | | | | | |
| | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>【連絡先】 担当：堀 智子 E-mail：t-hori[at]juntendo.ac.jp *[at]を@に置き換えてください。</p> <p>【オフィスアワー】 日時：火曜日 昼休み 場所：1号館3階 1304室</p> | | | | |
| 担当教員の実務経験 | | | | | |

| 備考 | 【学修時間】 この授業は、演習の授業形態による2単位科目であり、授業30時間、予習・復習60時間の計90時間の学修を必要とする。 | | | |
|------|--|---|--------|--|
| | 【その他】 英語力の伸びを確認するためにTOEFL ITP試験を年に2回実施する。 科目担当者欄に記載のあるいずれかの担当者が担当する。 新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合がある。 | | | |
| 授業計画 | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 |
| 1 | 堀 智子 | 【授業内容】 ①ガイダンス：前期の授業内容を振り返り、後期の授業展開の概要を説明する。 ②アクティビティ：受講者同士のコミュニケーションを促進するための活動を行う。 【方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | | (予習：2時間) 前期に学んだ単語 (Day 1 ~ Day 10) までを再度確認しておく。 (復習：2時間) 授業内で紹介した学習方法で英語のリスニングや語彙学習を行う。 |
| 2 | 堀 智子 | 【授業内容】 ①文法項目「代名詞」：代名詞の使われ方等についての理解を深め、TOEFL問題で応用力をつける。 ②リスニング：リスニングを行い、語彙や表現を確認する。 ③ 単語テスト (Day 11 ~ Day 15) を実施する。 【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | | (予習：2時間) 単語テストの準備をし、指示された課題を行う。 (復習：2時間) 単語テストで間違った部分や授業で扱った文法項目およびリスニング問題の復習をする。 |
| 3 | 堀 智子 | 【授業内容】 ①文法項目「名詞・冠詞」：名詞・冠詞の使われ方等についての理解を深め、TOEFL問題で応用力をつける。 ②リスニング：キャンパスでの会話に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | | (予習：2時間) 指示された語彙テキストの範囲の単語をおぼえ、課題を行う。 (復習：2時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 4 | 堀 智子 | 【授業内容】 ①文法項目「前置詞・接続詞」：前置詞と接続詞の使われ方の違いを理解し、TOEFL問題で練習を行う。 ②リスニング：キャンパスでの会話に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | | (予習：2時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う (復習：2時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 5 | 堀 智子 | 【授業内容】 ①文法項目「前置詞・接続詞」：前置詞と接続詞の使われ方の違いを理解し、TOEFL問題で練習を行う。 ②リスニング：住まいに関連した会話を聞き、ペアやグループで会話練習を行う。 【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、講義やペアワークを行う。 | | (予習：2時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う (復習：2時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 6 | 堀 智子 | 【授業内容】 ①文法項目「助動詞」：助動詞の使われ方等についての理解を深め、TOEFL問題で応用力をつける。 ②リスニング：「ビジネス」に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | | (予習：2時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う。 (復習：2時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 7 | 堀 智子 | 【授業内容】 ①文法項目「不定詞・動名詞」：不定詞・動名詞の使い分けについて理解を深め、TOEFL問題で応用力をつける。 ②リスニング：「ビジネス」に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | | (予習：2時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う。 (復習：2時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 8 | 堀 智子 | 【授業内容】 ここまでの文法項目とリスニングを復習し、TOEFL問題で定着度を確認する。定着していない項目を再度説明し、練習を行う。 【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | | (予習：2時間) ここまでの範囲を復習する。 (復習：2時間) 授業で扱った文法問題の復習をする。 |

| | | | | |
|--|--|--|--|--|
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

| | | | | | |
|---|--|---|-----------------------------------|--|---------|
| 科目名 | 【新カリ】Basic English II ⑩A | | | 授業形態 | 講義 |
| 英語科目名 | Basic English II ⑩A | | | 対象学年 | 1年 |
| 開講学期 | 2022年度後期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | 堀 智子 | | | ナンバリング | LNG1102 |
| 担当教員 | 堀 智子、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | 本科目は、Basic English I で確認された強化すべき学習項目に配慮しながら、基本的な語彙力の習得と文法や文構造の理解を深め、実践的な英語運用能力向上の素地となる基礎固めを確実にを行う。教材は TOEFL の試験問題を積極的に取り入れ、英語・資格試験に対応できる実践力を養成する。 | | | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 英語コミュニケーション力の基礎となる語彙や文法を理解し、使うことができる。 2. 身近な話題からキャンパスライフに関連した内容の英語を聞いて理解できる。 3. 自分自身や身近な話題について英語で表現できる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・外国語科目の選択必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目は、「コミュニケーション能力とリーダーシップ」という学位授与方針の達成に寄与する。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | 【履修要件】 能力別の授業内容のため、指定されたクラスを受講すること。 | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業外課題、授業内活動への参加度、小テスト (60%) 2. TOEFLスコア (40%) | | | | |
| 評価基準 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的な語彙や文法を理解し、文法問題やTOEFL問題などを解くことができる。 2. 身近な話題や大学生活に関連する英語を聞き、英語表現、英語音声特徴を理解した上で、内容を把握できる。 3. 自分自身や身近な話題について英語で話し、書くことができる。 | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 課題に対するフィードバックは授業内で行い、問題点の解説や強化すべき事項を明示する。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | TOEFL TEST 必ずでる単 | | Jリサーチ出版 | 4863924135 | 購入必須 |
| 参考文献 | | | | | |
| 詳細は授業内で指示する。 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | 【連絡先】 担当：堀 智子 E-mail：t-hori[at]juntendo.ac.jp [at]を@に置き換えてください。 【オフィスアワー】 火曜日・水曜日 昼休み 1号館3階 1304室 | | | | |
| 担当教員の実務経験 | | | | | |
| 備考 | 【学修時間】 この授業は、演習の授業形態による2単位科目であり、授業60時間、予習・復習30時間の計90時間の学修を必要とする。 【その他】 英語力の伸びを確認するためにTOEFL ITP試験を年に2回実施する。 能力別のクラス分け等の事情により、授業計画に変更が生じる可能性がある。 新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合がある。 科目担当者欄に記載のあるいずれかの担当者が担当する。 | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 | |
| 1 | 堀智子 | 【授業内容】 ①ガイダンス：前期の授業内容を振り返り、後期の授業展開の概要を説明する。 ②アクティビティ：受講者同士のコミュニケーションを促進するための活動を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) 前期に学んだ単語 (Day 1 ~ Day 20) までを再度確認しておく。 (復習：1時間) 授業内で紹介した学習方法で英語のリスニングや語彙学習を行う。 | |

| | | | | |
|----|-----|--|--|--|
| 2 | 堀智子 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目「代名詞」：代名詞の使われ方等についての理解を深め、TOEFL問題で応用力をつける。</p> <p>②リスニング：リスニングを行い、語彙や表現を確認する。</p> <p>③ 単語テスト (Day 1 ~ Day 20) を実施する。</p> | <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：1時間) 単語テストの準備をし、指示された課題を行う。</p> <p>(復習：1時間) 単語テストで間違った部分や授業で扱った文法項目およびリスニング問題の復習をする。</p> |
| 3 | 堀智子 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目「名詞・冠詞」：名詞・冠詞の使われ方等についての理解を深め、TOEFL問題で応用力をつける。</p> <p>②リスニング：キャンパスでの会話に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：1時間) 指示された語彙テキストの範囲の単語をおぼえ、課題を行う。</p> <p>(復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 4 | 堀智子 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目「前置詞・接続詞」：前置詞と接続詞の使われ方の違いを理解し、TOEFL問題で練習を行う。</p> <p>②リスニング：キャンパスでの会話に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：1時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う</p> <p>(復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 5 | 堀智子 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目「前置詞・接続詞」：前置詞と接続詞の使われ方の違いを理解し、TOEFL問題で練習を行う。</p> <p>②リスニング：住まいに関連した会話を聞き、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>テキスト・配布プリント等を用い、講義やペアワークを行う。</p> | <p>(予習：1時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う</p> <p>(復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 6 | 堀智子 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目「助動詞」：助動詞の使われ方等についての理解を深め、TOEFL問題で応用力をつける。</p> <p>②リスニング：「ビジネス」に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：1時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う。</p> <p>(復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 7 | 堀智子 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目「不定詞・動名詞」：不定詞・動名詞の使い分けについて理解を深め、TOEFL問題で応用力をつける。</p> <p>②リスニング：「ビジネス」に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：1時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う。</p> <p>(復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 8 | 堀智子 | <p>【授業内容】</p> <p>ここまでの文法項目とリスニングを復習し、TOEFL問題で定着度を確認する。定着していない項目を再度説明し、練習を行う。</p> | <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：1時間) ここまでの範囲を復習する。</p> <p>(復習：1時間) 授業で扱った文法問題の復習をする。</p> |
| 9 | 堀智子 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目「分詞」：現在分詞・過去分詞の形容詞的用法についての理解を深め、TOEFL問題で応用力をつける。</p> <p>②リスニング：「クリニック」に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> <p>③単語復習テスト (Day 16~20) を実施する。</p> | <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：1時間) Listening テキスト Unit 12を聞いて問題を解き、単語復習テストの準備をする。</p> <p>(復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 10 | 堀智子 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目「分詞構文」：分詞構文の意味を理解し、構文を使った書き換え練習とTOEFL問題で応用力をつける。</p> <p>②リスニング：「クリニック」に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：1時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う。</p> <p>(復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 11 | 堀智子 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目「分詞構文」：分詞構文の慣用表現を学び、TOEFL問題で応用力をつける。</p> <p>②リスニング：クラスに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：1時間) Listening テキスト Unit 13を聞いて問題を解き、後期にカバーした単語の総復習をする。</p> <p>(復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 12 | 堀智子 | <p>【授業内容】</p> <p>後期学習内容の総復習を行う。</p> | <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：1時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う。</p> <p>(復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |

| | | | | |
|----|-----|--------------------------|-----------------------------------|--|
| 13 | 堀智子 | 【授業内容】 後期学習内容の総復習を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) 後期にカバーした単語と文法項目の総復習をする。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 14 | 堀智子 | 【授業内容】 後期学習内容の総復習を行う | テキストと配布プリント等を用いて講義・ペアワークを行う | (予習：2時間) 後期にカバーした単語の総復習をする。 (復習：2時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| | | 定期試験は実施しない | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

| | | | | | |
|---|---|---|-----------------------------------|--|---------|
| 科目名 | 【新カリ】Basic English II ①S | | | 授業形態 | 講義 |
| 英語科目名 | Basic English II ①S | | | 対象学年 | 1年 |
| 開講学期 | 2022年度後期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | 廣瀬 絵美 | | | ナンバリング | LNG1102 |
| 担当教員 | 廣瀬 絵美、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | 本科目は、Basic English I で確認された強化すべき学習項目に配慮しながら、基本的な語彙力の習得と文法や文構造の理解を深め、実践的な英語運用能力向上の素地となる基礎固めを確実に行う。教材は TOEFL の試験問題を積極的に取り入れ、英語・資格試験に対応できる実践力を養成する。 | | | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 英語コミュニケーション力の基礎となる語彙や文法を理解し、使うことができる。 2. 身近な話題からキャンパスライフに関連した内容の英語を聞いて理解できる。 3. 自分自身や身近な話題について英語で表現できる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・外国語科目の選択必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目は、「コミュニケーション能力とリーダーシップ」という学位授与方針の達成に寄与する。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | 【履修要件】 能力別の授業内容のため、指定されたクラスを受講すること。 | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業外課題、授業内活動への参加度、小テスト (60%) 2. TOEFLスコア (40%) | | | | |
| 評価基準 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的な語彙や文法を理解し、文法問題やTOEFL問題などを解くことができる。 2. 身近な話題や大学生活に関連する英語を聞き、英語表現、英語音声特徴を理解した上で、内容を把握できる。 3. 自分自身や身近な話題について英語で話し、書くことができる。 | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 課題に対するフィードバックは授業内で行い、問題点の解説や強化すべき事項を明示する。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | TOEFL TEST 必ずでる単 | | Jリサーチ出版 | 4863924135 | 購入必須 |
| | Boost Your English I (TOEFL ITP) | | 成美堂 | 9784791931248 | 購入必須 |
| 参考文献 | | | | | |
| 詳細は授業内で指示する。 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>【連絡先】 担当：廣瀬 絵美 E-mail：e.hirose.df@juntendo.ac.jp *[at]を@に置き換えてください。</p> <p>【オフィスアワー】Office Hour 日時：火曜日 昼休み 場所：1号館3階 廣瀬絵美研究室</p> | | | | |
| 担当教員の実務経験 | | | | | |
| 備考 | <p>【学修時間】 この授業は、演習の授業形態による2単位科目であり、授業60時間、予習・復習30時間の計90時間の学修を必要とする。</p> <p>【その他】 英語力の伸びを確認するためにTOEFL ITP試験を年に2回実施する。 能力別のクラス分け等の事情により、授業計画に変更が生じる可能性がある。 新型コロナウイルスの発生状況に応じて成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合がある。 科目担当者欄に記載のあるいずれかの担当者が担当する。</p> | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 | |
| 1 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willmsen | <p>【授業内容】</p> <p>①ガイダンス：前期の授業内容を振り返り、後期の授業展開の概要を説明する。</p> <p>②アクティビティ：受講者同士のコミュニケーションを促進するための活動を行う。</p> | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | <p>(予習：1時間) 前期に学んだ単語 (Day 1 ~ Day 20) までを再度確認しておく。 (復習：1時間) 授業内で紹介した学習方法で英語のリスニングや語彙学習を行う。</p> | |

| | | | | |
|----|--|---|-----------------------------------|---|
| 2 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 ①文法項目「代名詞」：代名詞の使われ方等についての理解を深め、TOEFL問題で応用力をつける。 ②リスニング：リスニングを行い、語彙や表現を確認する。 ③ 単語テスト (Day 1 ~ Day 20) を実施する。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) 単語テストの準備をし、指示された課題を行う。 (復習：1時間) 単語テストで間違った部分や授業で扱った文法項目およびリスニング問題の復習をする。 |
| 3 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 ①文法項目「名詞・冠詞」：名詞・冠詞の使われ方等についての理解を深め、TOEFL問題で応用力をつける。 ②リスニング：キャンパスでの会話に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) 指示された語彙テキストの範囲の単語をおぼえ、課題を行う。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 4 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 ①文法項目「前置詞・接続詞」：前置詞と接続詞の使われ方の違いを理解し、TOEFL問題で練習を行う。 ②リスニング：キャンパスでの会話に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 5 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 ①文法項目「前置詞・接続詞」：前置詞と接続詞の使われ方の違いを理解し、TOEFL問題で練習を行う。 ②リスニング：住まいに関連した会話を聞き、ペアやグループで会話練習を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、講義やペアワークを行う。 | (予習：1時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 6 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 ①文法項目「助動詞」：助動詞の使われ方等についての理解を深め、TOEFL問題で応用力をつける。 ②リスニング：「ビジネス」に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 7 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 ①文法項目「不定詞・動名詞」：不定詞・動名詞の使い分けについて理解を深め、TOEFL問題で応用力をつける。 ②リスニング：「ビジネス」に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 8 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 ここまでの文法項目とリスニングを復習し、TOEFL問題で定着度を確認する。定着していない項目を再度説明し、練習を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) ここまでの範囲を復習する。 (復習：1時間) 授業で扱った文法問題の復習をする。 |
| 9 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 ①文法項目「分詞」：現在分詞・過去分詞の形容詞的用法についての理解を深め、TOEFL問題で応用力をつける。 ②リスニング：「クリニック」に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 ③単語復習テスト (Day 16~20) を実施する。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) Listening テキスト Unit 12を聞いて問題を解き、単語復習テストの準備をする。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 10 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 ①文法項目「分詞構文」：分詞構文の意味を理解し、構文を使った書き換え練習とTOEFL問題で応用力をつける。 ②リスニング：「クリニック」に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 11 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 ①文法項目「分詞構文」：分詞構文の慣用表現を学び、TOEFL問題で応用力をつける。 ②リスニング：クラスに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) Listening テキスト Unit 13を聞いて問題を解き、後期にカバーした単語の総復習をする。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 12 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 後期学習内容の総復習を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |

| | | | | |
|----|---|--------------------------|---|--|
| 13 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemssen | 【授業内容】 後期学習内容の総復習を行う。 | テキスト・配布ブ リント等を用い、 解説やペアワーク 等での演習を行 う。 | (予習: 1時間) 後期にカバーした単語と文法項目の総復習をす る。 (復習: 1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習 をする。 |
| 14 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemssen | 【授業内容】 後期学習内容の総復習を行う | テキストと配布ブ リント等を用いて 講義・ペアワーク を行う | (予習: 2時間) 後期にカバーした単語の総復習をする。 (復習: 2時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習 をする。 |
| | | 定期試験は実施しない | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

| | | | | | |
|---|--|--|-----------------------------------|--|---------|
| 科目名 | 【新カリ】Basic English II ⑫D | | | 授業形態 | 講義 |
| 英語科目名 | Basic English II ⑫D | | | 対象学年 | 1年 |
| 開講学期 | 2022年度後期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | Matthew Willemsen | | | ナンバリング | LNG1102 |
| 担当教員 | Matthew Willemsen、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | 本科目は、Basic English I で確認された強化すべき学習項目に配慮しながら、基本的な語彙力の習得と文法や文構造の理解を深め、実践的な英語運用能力向上の素地となる基礎固めを確実に行う。教材は TOEFL の試験問題を積極的に取り入れ、英語・資格試験に対応できる実践力を養成する。 | | | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 英語コミュニケーション力の基礎となる語彙や文法を理解し、使うことができる。 2. 身近な話題からキャンパスライフに関連した内容の英語を聞いて理解できる。 3. 自分自身や身近な話題について英語で表現できる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・外国語科目の選択必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目は、「コミュニケーション能力とリーダーシップ」という学位授与方針の達成に寄与する。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | 【履修要件】 能力別の授業内容のため、指定されたクラスを受講すること。 | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業外課題、授業内活動への参加度、小テスト (60%) 2. TOEFLスコア (40%) | | | | |
| 評価基準 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的な語彙や文法を理解し、文法問題やTOEFL問題などを解くことができる。(課題、小テスト、TOEFL) 2. 身近な話題や大学生活に関連する英語を聞き、英語表現、英語音声特徴を理解した上で、内容を把握できる。(平常点、課題、TOEFL) 3. 自分自身や身近な話題について英語で話し、書くことができる。(課題、平常点) | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 課題に対するフィードバックは授業内で行い、問題点の解説や強化すべき事項を明示する。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | TOEFL TEST 必ずでる単 | | Jリサーチ出版 | 4863924135 | 購入必須 |
| 参考文献 | | | | | |
| 詳細は授業内で指示する。 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>[連絡先] Contact address matthew[at]juntendo.ac.jp *[at]を@に変更してください。</p> <p>[オフィスアワー] Office hours Office hours Building 1 3'rd floor, rm1302, Tuesdays, Wednesdays and Thursdays 8:00-8:30, Wednesdays 4:20-4:45</p> | | | | |
| 担当教員の実務経験 | | | | | |
| 備考 | <p>【学修時間】 この授業は、演習の授業形態による2単位科目であり、授業60時間、予習・復習30時間の計90時間の学修を必要とする。</p> <p>【その他】 英語力の伸びを確認するためにTOEFL ITP試験を年に2回実施する。 能力別のクラス分け等の事情により、授業計画に変更が生じる可能性がある。 新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合がある。 科目担当者欄に記載のあるいずれかの担当者が担当する。</p> | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 | |
| 1 | Matthew Willemsen | <p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①ガイダンス:前期の授業内容を振り返り、後期の授業展開の概要を説明する。 ②アクティビティ:受講者同士のコミュニケーションを促進するための活動を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | <p>(予習:1時間) 前期に学んだ単語(Day 1 ~ Day 20)までを再度確認しておく。 (復習:1時間) 授業内で紹介した学習方法で英語のリスニングや語彙学習を行う。</p> | |

| | | | | |
|----|--------------------|--|--|--|
| 2 | Matthew Willemssen | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目「代名詞」：代名詞の使われ方等についての理解を深め、TOEFL問題で応用力をつける。</p> <p>②リスニング：リスニングを行い、語彙や表現を確認する。</p> <p>③ 単語テスト (Day 1 ~ Day 20) を実施する。</p> | <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：1時間) 単語テストの準備をし、指示された課題を行う。</p> <p>(復習：1時間) 単語テストで間違った部分や授業で扱った文法項目およびリスニング問題の復習をする。</p> |
| 3 | Matthew Willemssen | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目「名詞・冠詞」：名詞・冠詞の使われ方等についての理解を深め、TOEFL問題で応用力をつける。</p> <p>②リスニング：キャンパスでの会話に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：1時間) 指示された語彙テキストの範囲の単語をおぼえ、課題を行う。</p> <p>(復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 4 | Matthew Willemssen | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目「前置詞・接続詞」：前置詞と接続詞の使われ方の違いを理解し、TOEFL問題で練習を行う。</p> <p>②リスニング：キャンパスでの会話に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：1時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う</p> <p>(復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 5 | Matthew Willemssen | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目「前置詞・接続詞」：前置詞と接続詞の使われ方の違いを理解し、TOEFL問題で練習を行う。</p> <p>②リスニング：住まいに関連した会話を聞き、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>テキスト・配布プリント等を用い、講義やペアワークを行う。</p> | <p>(予習：1時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う</p> <p>(復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 6 | Matthew Willemssen | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目「助動詞」：助動詞の使われ方等についての理解を深め、TOEFL問題で応用力をつける。</p> <p>②リスニング：「ビジネス」に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：1時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う。</p> <p>(復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 7 | Matthew Willemssen | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目「不定詞・動名詞」：不定詞・動名詞の使い分けについて理解を深め、TOEFL問題で応用力をつける。</p> <p>②リスニング：「ビジネス」に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：1時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う。</p> <p>(復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 8 | Matthew Willemssen | <p>【授業内容】</p> <p>ここまでの文法項目とリスニングを復習し、TOEFL問題で定着度を確認する。定着していない項目を再度説明し、練習を行う。</p> | <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：1時間) ここまでの範囲を復習する。</p> <p>(復習：1時間) 授業で扱った文法問題の復習をする。</p> |
| 9 | Matthew Willemssen | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目「分詞」：現在分詞・過去分詞の形容詞的用法についての理解を深め、TOEFL問題で応用力をつける。</p> <p>②リスニング：「クリニック」に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> <p>③単語復習テスト (Day 16~20) を実施する。</p> | <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：1時間) Listening テキスト Unit 12を聞いて問題を解き、単語復習テストの準備をする。</p> <p>(復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 10 | Matthew Willemssen | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目「分詞構文」：分詞構文の意味を理解し、構文を使った書き換え練習とTOEFL問題で応用力をつける。</p> <p>②リスニング：「クリニック」に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：1時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う。</p> <p>(復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 11 | Matthew Willemssen | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目「分詞構文」：分詞構文の慣用表現を学び、TOEFL問題で応用力をつける。</p> <p>②リスニング：クラスに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：1時間) Listening テキスト Unit 13を聞いて問題を解き、後期にカバーした単語の総復習をする。</p> <p>(復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 12 | Matthew Willemssen | <p>【授業内容】</p> <p>後期学習内容の総復習を行う。</p> | <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：1時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う。</p> <p>(復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |

| | | | | |
|----|-----------------------|--------------------------|---|--|
| 13 | Matthew Willemssen | 【授業内容】 後期学習内容の総復習を行う。 | テキスト・配布ブ リント等を用い、 解説やペアワーク 等での演習を行 う。 | (予習：1時間) 後期にカバーした単語と文法項目の総復習をす る。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習 をする。 |
| 14 | Matthew Willemssen | 【授業内容】 後期学習内容の総復習を行う | テキストと配布ブ リント等を用いて 講義・ペアワーク を行う | (予習：2時間) 後期にカバーした単語の総復習をする。 (復習：2時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習 をする。 |
| | | 定期試験は実施しない | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

| | | | | | |
|---|--|---|-----------------------------------|--|---------|
| 科目名 | 【新カリ】Basic EnglishⅡ ⑬C | | | 授業形態 | 講義 |
| 英語科目名 | Basic EnglishⅡ ⑬C | | | 対象学年 | 1年 |
| 開講学期 | 2022年度後期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | 堀 智子 | | | ナンバリング | LNG1102 |
| 担当教員 | 堀 智子、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | 本科目は、Basic EnglishⅠで確認された強化すべき学習項目に配慮しながら、基本的な語彙力の習得と文法や文構造の理解を深め、実践的な英語運用能力向上の素地となる基礎固めを確実にを行う。教材はTOEFLの試験問題を積極的に取り入れ、英語・資格試験に対応できる実践力を養成する。 | | | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 英語コミュニケーション力の基礎となる語彙や文法を理解し、使うことができる。 2. 身近な話題からキャンパスライフに関連した内容の英語を聞いて理解できる。 3. 自分自身や身近な話題について英語で表現できる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・外国語科目の選択必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目は、「コミュニケーション能力とリーダーシップ」という学位授与方針の達成に寄与する。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | 【履修要件】 能力別の授業内容のため、指定されたクラスを受講すること。 | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業外課題、授業内活動への参加度、小テスト (60%) 2. TOEFLスコア (40%) | | | | |
| 評価基準 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的な語彙や文法を理解し、文法問題やTOEFL問題などを解くことができる。 2. 身近な話題や大学生活に関連する英語を聞き、英語表現、英語音声特徴を理解した上で、内容を把握できる。 3. 自分自身や身近な話題について英語で話し、書くことができる。 | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 課題に対するフィードバックは授業内で行い、問題点の解説や強化すべき事項を明示する。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | TOEFL TEST 必ずでる単 | | Jリサーチ出版 | 4863924135 | 購入必須 |
| 参考文献 | | | | | |
| 詳細は授業内で指示する。 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | 【連絡先】 担当：堀 智子 E-mail：t-hori[at]juntendo.ac.jp *[at]を@に置き換えてください。 【オフィスアワー】 Office Hour 日時：火曜日 昼休み 場所：1号館3階 1304室 | | | | |
| 担当教員の実務経験 | | | | | |
| 備考 | 【学修時間】 この授業は、演習の授業形態による2単位科目であり、授業60時間、予習・復習30時間の計90時間の学修を必要とする。 【その他】 英語力の伸びを確認するためにTOEFL ITP試験を年に2回実施する。 能力別のクラス分け等の事情により、授業計画に変更が生じる可能性がある。 新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合がある。 科目担当者欄に記載のあるいずれかの担当者が担当する。 | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 | |
| 1 | 堀智子 | 【授業内容】 ①ガイダンス：前期の授業内容を振り返り、後期の授業展開の概要を説明する。 ②アクティビティ：受講者同士のコミュニケーションを促進するための活動を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) 前期に学んだ単語 (Day 1 ~ Day 20) までを再度確認しておく。 (復習：1時間) 授業内で紹介した学習方法で英語のリスニングや語彙学習を行う。 | |

| | | | | |
|----|-----|--|--|--|
| 2 | 堀智子 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目「代名詞」：代名詞の使われ方等についての理解を深め、TOEFL問題で応用力をつける。</p> <p>②リスニング：リスニングを行い、語彙や表現を確認する。</p> <p>③ 単語テスト (Day 1 ~ Day 20) を実施する。</p> | <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：1時間) 単語テストの準備をし、指示された課題を行う。</p> <p>(復習：1時間) 単語テストで間違った部分や授業で扱った文法項目およびリスニング問題の復習をする。</p> |
| 3 | 堀智子 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目「名詞・冠詞」：名詞・冠詞の使われ方等についての理解を深め、TOEFL問題で応用力をつける。</p> <p>②リスニング：キャンパスでの会話に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：1時間) 指示された語彙テキストの範囲の単語をおぼえ、課題を行う。</p> <p>(復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 4 | 堀智子 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目「前置詞・接続詞」：前置詞と接続詞の使われ方の違いを理解し、TOEFL問題で練習を行う。</p> <p>②リスニング：キャンパスでの会話に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：1時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う</p> <p>(復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 5 | 堀智子 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目「前置詞・接続詞」：前置詞と接続詞の使われ方の違いを理解し、TOEFL問題で練習を行う。</p> <p>②リスニング：住まいに関連した会話を聞き、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>テキスト・配布プリント等を用い、講義やペアワークを行う。</p> | <p>(予習：1時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う</p> <p>(復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 6 | 堀智子 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目「助動詞」：助動詞の使われ方等についての理解を深め、TOEFL問題で応用力をつける。</p> <p>②リスニング：「ビジネス」に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：1時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う。</p> <p>(復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 7 | 堀智子 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目「不定詞・動名詞」：不定詞・動名詞の使い分けについて理解を深め、TOEFL問題で応用力をつける。</p> <p>②リスニング：「ビジネス」に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：1時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う。</p> <p>(復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 8 | 堀智子 | <p>【授業内容】</p> <p>ここまでの文法項目とリスニングを復習し、TOEFL問題で定着度を確認する。定着していない項目を再度説明し、練習を行う。</p> | <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：1時間) ここまでの範囲を復習する。</p> <p>(復習：1時間) 授業で扱った文法問題の復習をする。</p> |
| 9 | 堀智子 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目「分詞」：現在分詞・過去分詞の形容詞的用法についての理解を深め、TOEFL問題で応用力をつける。</p> <p>②リスニング：「クリニック」に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> <p>③単語復習テスト (Day 16~20) を実施する。</p> | <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：1時間) Listening テキスト Unit 12を聞いて問題を解き、単語復習テストの準備をする。</p> <p>(復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 10 | 堀智子 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目「分詞構文」：分詞構文の意味を理解し、構文を使った書き換え練習とTOEFL問題で応用力をつける。</p> <p>②リスニング：「クリニック」に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：1時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う。</p> <p>(復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 11 | 堀智子 | <p>【授業内容】</p> <p>①文法項目「分詞構文」：分詞構文の慣用表現を学び、TOEFL問題で応用力をつける。</p> <p>②リスニング：クラスに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> | <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：1時間) Listening テキスト Unit 13を聞いて問題を解き、後期にカバーした単語の総復習をする。</p> <p>(復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |
| 12 | 堀智子 | <p>【授業内容】</p> <p>後期学習内容の総復習を行う。</p> | <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p> | <p>(予習：1時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う。</p> <p>(復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p> |

| | | | | | |
|---|--|---|-----------------------------------|--|---------|
| 科目名 | 【新カリ】Basic EnglishⅡ ⑭B | | | 授業形態 | 講義 |
| 英語科目名 | Basic EnglishⅡ ⑭B | | | 対象学年 | 1年 |
| 開講学期 | 2022年度後期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | 廣瀬 絵美 | | | ナンバリング | LNG1102 |
| 担当教員 | 廣瀬 絵美、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | 本科目は、Basic English Iで確認された強化すべき学習項目に配慮しながら、基本的な語彙力の習得と文法や文構造の理解を深め、実践的な英語運用能力向上の素地となる基礎固めを確実にを行う。教材は TOEFLの試験問題を積極的に取り入れ、英語・資格試験に対応できる実践力を養成する。 | | | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 英語コミュニケーション力の基礎となる語彙や文法を理解し、使うことができる。 2. 身近な話題からキャンパスライフに関連した内容の英語を聞いて理解できる。 3. 自分自身や身近な話題について英語で表現できる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・外国語科目の選択必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目は、「コミュニケーション能力とリーダーシップ」という学位授与方針の達成に寄与する。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | 【履修要件】 能力別の授業内容のため、指定されたクラスを受講すること。 | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業外課題、授業内活動への参加度、小テスト (60%) 2. TOEFLスコア (40%) | | | | |
| 評価基準 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的な語彙や文法を理解し、文法問題やTOEFL問題などを解くことができる。 2. 身近な話題や大学生活に関連する英語を聞き、英語表現、英語音声特徴を理解した上で、内容を把握できる。 3. 自分自身や身近な話題について英語で話し、書くことができる。 | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 課題に対するフィードバックは授業内で行い、問題点の解説や強化すべき事項を明示する。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | TOEFL TEST 必ずでる単 | | Jリサーチ出版 | 4863924135 | 購入必須 |
| | Boost Your English I (TOEFL ITP) | | 成美堂 | 9784791931248 | 購入必須 |
| 参考文献 | | | | | |
| 詳細は授業内で指示する。 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>【連絡先】 担当： 廣瀬 絵美 E-mail : e.hirose.df@juntendo.ac.jp *[at]を@に置き換えてください。</p> <p>【オフィスアワー】Office Hour 日時： 火曜日 昼休み 場所： 1号館3階 廣瀬絵美研究室</p> | | | | |
| 担当教員の実務経験 | | | | | |
| 備考 | <p>【学修時間】 この授業は、演習の授業形態による2単位科目であり、授業60時間、予習・復習30時間の計90時間の学修を必要とする。</p> <p>【その他】 英語力の伸びを確認するためにTOEFL ITP試験を年に2回実施する。 能力別のクラス分け等の事情により、授業計画に変更が生じる可能性がある。 新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合がある。 科目担当者欄に記載のあるいずれかの担当者が担当する。</p> | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 | |
| 1 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willmsen | <p>【授業内容】</p> <p>①ガイダンス:前期の授業内容を振り返り、後期の授業展開の概要を説明する。</p> <p>②アクティビティ:受講者同士のコミュニケーションを促進するための活動を行う。</p> | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習:1時間) 前期に学んだ単語(Day 1 ~ Day 20)までを再度確認しておく。 (復習:1時間) 授業内で紹介した学習方法で英語のリスニングや語彙学習を行う。 | |

| | | | | |
|----|--|---|-----------------------------------|---|
| 2 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 ①文法項目「代名詞」：代名詞の使われ方等についての理解を深め、TOEFL問題で応用力をつける。 ②リスニング：リスニングを行い、語彙や表現を確認する。 ③ 単語テスト (Day 1 ~ Day 20) を実施する。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) 単語テストの準備をし、指示された課題を行う。 (復習：1時間) 単語テストで間違った部分や授業で扱った文法項目およびリスニング問題の復習をする。 |
| 3 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 ①文法項目「名詞・冠詞」：名詞・冠詞の使われ方等についての理解を深め、TOEFL問題で応用力をつける。 ②リスニング：キャンパスでの会話に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) 指示された語彙テキストの範囲の単語をおぼえ、課題を行う。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 4 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 ①文法項目「前置詞・接続詞」：前置詞と接続詞の使われ方の違いを理解し、TOEFL問題で練習を行う。 ②リスニング：キャンパスでの会話に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 5 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 ①文法項目「前置詞・接続詞」：前置詞と接続詞の使われ方の違いを理解し、TOEFL問題で練習を行う。 ②リスニング：住まいに関連した会話を聞き、ペアやグループで会話練習を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、講義やペアワークを行う。 | (予習：1時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 6 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 ①文法項目「助動詞」：助動詞の使われ方等についての理解を深め、TOEFL問題で応用力をつける。 ②リスニング：「ビジネス」に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 7 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 ①文法項目「不定詞・動名詞」：不定詞・動名詞の使い分けについて理解を深め、TOEFL問題で応用力をつける。 ②リスニング：「ビジネス」に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 8 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 ここまでの文法項目とリスニングを復習し、TOEFL問題で定着度を確認する。定着していない項目を再度説明し、練習を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) ここまでの範囲を復習する。 (復習：1時間) 授業で扱った文法問題の復習をする。 |
| 9 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 ①文法項目「分詞」：現在分詞・過去分詞の形容詞的用法についての理解を深め、TOEFL問題で応用力をつける。 ②リスニング：「クリニック」に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 ③単語復習テスト (Day 16~20) を実施する。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) Listening テキスト Unit 12を聞いて問題を解き、単語復習テストの準備をする。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 10 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 ①文法項目「分詞構文」：分詞構文の意味を理解し、構文を使った書き換え練習とTOEFL問題で応用力をつける。 ②リスニング：「クリニック」に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 11 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 ①文法項目「分詞構文」：分詞構文の慣用表現を学び、TOEFL問題で応用力をつける。 ②リスニング：クラスに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) Listening テキスト Unit 13を聞いて問題を解き、後期にカバーした単語の総復習をする。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 12 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 後期学習内容の総復習を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |

| | | | | |
|----|---|--------------------------|---|--|
| 13 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemssen | 【授業内容】 後期学習内容の総復習を行う。 | テキスト・配布ブ リント等を用い、 解説やペアワーク 等での演習を行 う。 | (予習:1時間) 後期にカバーした単語と文法項目の総復習をす る。 (復習:1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習 をする。 |
| 14 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemssen | 【授業内容】 後期学習内容の総復習を行う | テキストと配布ブ リント等を用いて 講義・ペアワーク を行う | (予習:2時間) 後期にカバーした単語の総復習をする。 (復習:2時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習 をする。 |
| | | 定期試験は実施しない | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

| | | | | | |
|---|--|---|-----------------------------------|---|---------|
| 科目名 | 【新カリ】Basic EnglishⅡ ⑯A | | | 授業形態 | 講義 |
| 英語科目名 | Basic EnglishⅡ ⑯A | | | 対象学年 | 1年 |
| 開講学期 | 2022年度後期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | 庄子 ひとみ | | | ナンバリング | LNG1102 |
| 担当教員 | 庄子 ひとみ、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | 本科目は、Basic English Iで確認された強化すべき学習項目に配慮しながら、基本的な語彙力の習得と文法や文構造の理解を深め、実践的な英語運用能力向上の素地となる基礎固めを確実にを行う。教材は TOEFLの試験問題を積極的に取り入れ、英語・資格試験に対応できる実践力を養成する。 | | | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 英語コミュニケーション力の基礎となる語彙や文法を理解し、使うことができる。 2. 身近な話題からキャンパスライフに関連した内容の英語を聞いて理解できる。 3. 自分自身や身近な話題について英語で表現できる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・外国語科目の選択必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目は、「コミュニケーション能力とリーダーシップ」という学位授与方針の達成に寄与する。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | 【履修要件】 能力別の授業内容のため、指定されたクラスを受講すること。 | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業外課題、授業内活動への参加度、小テスト (60%) 2. TOEFLスコア (40%) | | | | |
| 評価基準 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的な語彙や文法を理解し、文法問題やTOEFL問題などを解くことができる。 2. 身近な話題や大学生活に関連する英語を聞き、英語表現、英語音声特徴を理解した上で、内容を把握できる。 3. 自分自身や身近な話題について英語で話し、書くことができる。 | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 課題に対するフィードバックは授業内で行い、問題点の解説や強化すべき事項を明示する。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | TOEFL TEST 必ずでる単 | | Jリサーチ出版 | 9784863924130 | 購入必須 |
| | Boost Your English: Practice for TOEFL ITP | M. Shishido, M. Mann, 他 | 成美堂 | 9784791931248 | 購入必須 |
| 参考文献 | | | | | |
| 詳細は授業内で指示する。 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>【連絡先】 担当：庄子ひとみ E-mail：hi-shoji[at]juntendo.ac.jp *[at]を@に置き換えてください。</p> <p>【オフィスアワー】Office Hour 日時：火曜-木曜 昼休み 場所：1号館3階 1332室</p> | | | | |
| 担当教員の実務経験 | | | | | |
| 備考 | <p>【学修時間】 この授業は、演習の授業形態による2単位科目であり、授業60時間、予習・復習30時間の計90時間の学修を必要とする。</p> <p>【その他】 英語力の伸びを確認するためにTOEFL ITP試験を年に2回実施する。 能力別のクラス分け等の事情により、授業計画に変更が生じる可能性がある。 新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合がある。 科目担当者欄に記載のあるいずれかの担当者が担当する。</p> | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 | |
| 1 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemssen | <p>【授業内容】</p> <p>①ガイダンス:前期の授業内容を振り返り、後期の授業展開の概要を説明する。</p> <p>②アクティビティ:受講者同士のコミュニケーションを促進するための活動を行う。</p> | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | <p>(予習:1時間) 前期に学んだ単語(Day 1 ~ Day 20)までを再度確認しておく。</p> <p>(復習:1時間) 授業内で紹介した学習方法で英語のリスニングや語彙学習を行う。</p> | |

| | | | | |
|----|--|---|-----------------------------------|---|
| 2 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 ①文法項目「代名詞」：代名詞の使われ方等についての理解を深め、TOEFL問題で応用力をつける。 ②リスニング：リスニングを行い、語彙や表現を確認する。 ③ 単語テスト (Day 1 ~ Day 20) を実施する。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) 単語テストの準備をし、指示された課題を行う。 (復習：1時間) 単語テストで間違った部分や授業で扱った文法項目およびリスニング問題の復習をする。 |
| 3 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 ①文法項目「名詞・冠詞」：名詞・冠詞の使われ方等についての理解を深め、TOEFL問題で応用力をつける。 ②リスニング：キャンパスでの会話に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) 指示された語彙テキストの範囲の単語をおぼえ、課題を行う。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 4 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 ①文法項目「前置詞・接続詞」：前置詞と接続詞の使われ方の違いを理解し、TOEFL問題で練習を行う。 ②リスニング：キャンパスでの会話に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 5 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 ①文法項目「前置詞・接続詞」：前置詞と接続詞の使われ方の違いを理解し、TOEFL問題で練習を行う。 ②リスニング：住まいに関連した会話を聞き、ペアやグループで会話練習を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、講義やペアワークを行う。 | (予習：1時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 6 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 ①文法項目「助動詞」：助動詞の使われ方等についての理解を深め、TOEFL問題で応用力をつける。 ②リスニング：「ビジネス」に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 7 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 ①文法項目「不定詞・動名詞」：不定詞・動名詞の使い分けについて理解を深め、TOEFL問題で応用力をつける。 ②リスニング：「ビジネス」に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 8 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 ここまでの文法項目とリスニングを復習し、TOEFL問題で定着度を確認する。定着していない項目を再度説明し、練習を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：2時間) ここまでの範囲を復習する。 (復習：2時間) 授業で扱った文法問題の復習をする。 |
| 9 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 ①文法項目「分詞」：現在分詞・過去分詞の形容詞的用法についての理解を深め、TOEFL問題で応用力をつける。 ②リスニング：「クリニック」に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 ③単語復習テスト (Day 16~20) を実施する。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) Listening テキスト Unit 12を聞いて問題を解き、単語復習テストの準備をする。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 10 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 ①文法項目「分詞構文」：分詞構文の意味を理解し、構文を使った書き換え練習とTOEFL問題で応用力をつける。 ②リスニング：「クリニック」に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 11 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 ①文法項目「分詞構文」：分詞構文の慣用表現を学び、TOEFL問題で応用力をつける。 ②リスニング：クラスに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) Listening テキスト Unit 13を聞いて問題を解き、後期にカバーした単語の総復習をする。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 12 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 後期学習内容の総復習を行う。 | テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。 | (予習：1時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |

| | | | | |
|----|--|--------------------------|---|--|
| 13 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 後期学習内容の総復習を行う。 | テキスト・配布ブ リント等を用い、 解説やペアワーク 等での演習を行 う。 | (予習：1時間) 後期にカバーした単語と文法項目の総復習をする。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| 14 | 堀智子 庄子ひとみ 廣瀬絵美 有江和美 Matthew Willemsen | 【授業内容】 後期学習内容の総復習を行う | テキストと配布ブ リント等を用いて 講義・ペアワーク を行う | (予習：1時間) 後期にカバーした単語の総復習をする。 (復習：1時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。 |
| | | 定期試験は実施しない | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

| | | | | | |
|---|---|------|--------|--------------------|---------|
| 科目名 | 【新カリ】Basic EnglishⅢ 中・上級 | | | 授業形態 | 講義 |
| 英語科目名 | Basic EnglishⅢ 中・上級 | | | 対象学年 | 2年 |
| 開講学期 | 2022年度後期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | Matthew Willemsen | | | ナンバリング | LNG2103 |
| 担当教員 | Matthew Willemsen、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | <p>【授業全体の内容】 Summary of the Course 本科目は演習の授業形態で行われる。1年次で学んだ英語の基礎から発展し、レベルごとにクラス編成をし、英語4技能 (Listening, Reading, Speaking, Writing) の総合的な運用能力の向上を目指す。身近な話題から発展して異文化理解、健康・医療、人権、環境など多岐にわたるトピックの英文を扱い、ロールプレイではビジネスの場面も想定して口頭や文章で意見をアウトプットする練習を行う。また音楽や映画などの音源・映像資料を使って、英語のリスニングや会話表現を学ぶ。</p> | | | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 英語コミュニケーション力の基礎となる語彙や文法を理解し、使うことができる。 2. 身近な話題から社会問題、ビジネスに関連した内容の英語を聞いて理解できる。 3. 身近な話題だけではなく、社会問題についても英語で表現できる。 4. TOEFL等、各種英語試験対策も考慮しながら、発展的な英語表現を学び、理解できる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・外国語科目の選択必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目はスポーツ健康科学部の学位授与方針である「グローバル社会において連携や協働できるコミュニケーション能力」の基礎力の習得を目指している。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | 特になし | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | <p>【成績評価の方法】 Evaluation System</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 発言、ロールプレイ含む授業参加度 (Class Participation 30%) 2. 提出課題 (Assignment 30%) 3. 定期試験 (Term Exam 40%) <p>(評価基準の詳細はオリエンテーションの際に説明します)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Evaluation is based upon student participation in skills activities in class (30%), completion of homework assignments (30%), and in-class tests (40%). 2. Further details will be described in the class orientation. | | | | |
| 評価基準 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的な語彙力及び文法を身に付け、英文を正しく理解できる。 2. 身近な話題や社会問題、ビジネスのやり取りに関連する英語を聞き、英語表現、英語音声特徴を理解した上で、内容を把握できる。 3. 自分自身や身近な話題について英語で話し、書くことができる。 | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 課題に対するフィードバックは授業内で行い、問題点の解説や強化すべき事項を明示する。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | | | | | |
| 参考文献 | | | | | |
| 授業内に随時、参考文献を提示します。 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>【連絡先】 Contact address matthew[at]juntendo.ac.jp *[at]を@に変更してください。</p> <p>【オフィスアワー】 Office hours Office hours Building 1 3'rd floor, rm1302, Tuesdays, Wednesdays and Thursdays 8:00-8:30, Wednesdays 4:20-4:45</p> | | | | |
| 担当教員の実務経歴 | | | | | |
| 備考 | <p>【学修時間】 Expected study time for this course この授業は、演習の授業形態による2単位科目であり、授業30時間、予習・復習各30時間の計90時間の学修を必要とする。</p> <p>【その他】 Notes 科目担当者欄に記載のあるいずれかの担当者が担当する。 新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p> | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 | |

| | | | | |
|---|--------------------|---|---|---|
| 1 | Matthew Willemssen | オリエンテーション | 授業目的、授業方法、評価方法を説明する。 英語による自己紹介 | (予習: 1時間) 自己紹介を英語で考えておく。 (復習: 1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |
| 2 | Matthew Willemssen | Listening & Reading (Cross Cultural Understanding 1) (TOEFL / TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習: 1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。 (復習: 1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |
| 3 | Matthew Willemssen | Listening & Reading (Cross Cultural Understanding 2) (TOEFL / TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習: 1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。授業内で指名された際には単語を調べてある状態にしておくこと。 (復習: 1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |
| 4 | Matthew Willemssen | Listening & Reading (Tourism) (TOEFL / TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習: 1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。授業内で指名された際には単語を調べてある状態にしておくこと。 (復習: 1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |
| 5 | Matthew Willemssen | Listening & Reading (Humanities 1) (TOEFL / TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習: 1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。 (復習: 1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |

| | | | | |
|---|--------------------|--|--|---|
| 6 | Matthew Willemssen | Listening & Reading (Humanities 2) (TOEFL / TOEIC) | <p>(1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。</p> <p>(2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど)</p> <p>(3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。</p> <p>(4) 英語で自分の意見を書く。</p> | <p>(予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。</p> <p>(復習：1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。</p> |
| 7 | Matthew Willemssen | Listening & Reading (Environment 1) (TOEFL / TOEIC) | <p>(1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。</p> <p>(2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど)</p> <p>(3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。</p> <p>(4) 英語で自分の意見を書く。</p> | <p>(予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。</p> <p>(復習：1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。</p> |
| 8 | Matthew Willemssen | Listening & Reading (Environment 2) (TOEFL / TOEIC) | <p>(1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。</p> <p>(2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど)</p> <p>(3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。</p> <p>(4) 英語で自分の意見を書く。</p> | <p>(予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。授業内で指名された際には単語を調べてある状態にしておくこと。</p> <p>(復習：1時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。</p> |
| 9 | Matthew Willemssen | Listening & Reading (Technology) (TOEFL / TOEIC) | <p>(1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。</p> <p>(2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど)</p> <p>(3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。</p> <p>(4) 英語で自分の意見を書く。</p> | <p>(予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。</p> <p>(復習：1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。</p> |

| | | | | |
|----|--------------------|---|--|---|
| 10 | Matthew Willemssen | Listening & Reading (History of Music) (TOEFL /TOEIC) | <p>(1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。</p> <p>(2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど)</p> <p>(3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。</p> <p>(4) 英語で自分の意見を書く。</p> | <p>(予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。</p> <p>(復習：1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。</p> |
| 11 | Matthew Willemssen | Listening & Reading (Sports) (TOEFL /TOEIC) | <p>(1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。</p> <p>(2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど)</p> <p>(3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。</p> <p>(4) 英語で自分の意見を書く。</p> | <p>(予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。授業内で指名された際には単語を調べてある状態にしておくこと。</p> <p>(復習：1時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。</p> |
| 12 | Matthew Willemssen | Listening & Reading (Lectures & Presentations) (TOEFL/ TOEIC) | <p>(1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。</p> <p>(2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど)</p> <p>(3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。</p> <p>(4) 英語で自分の意見を書く。</p> | <p>(予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。</p> <p>(復習：1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。</p> |
| 13 | Matthew Willemssen | Listening & Reading (Lectures & Presentations 2) (TOEFL/ TOEIC) | <p>(1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。</p> <p>(2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど)</p> <p>(3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。</p> <p>(4) 英語で自分の意見を書く。</p> | <p>(予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。</p> <p>(復習：1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。</p> |
| 14 | Matthew Willemssen | まとめ | 前期学習の総復習 | <p>(予習：2時間) 定期試験に備え、語彙ノートを振り返り、学んだ内容を整理する。</p> <p>(復習：2時間) 定期試験に備え、語彙ノートを振り返り、学んだ内容を整理する。</p> |
| | Matthew Willemssen | 定期試験 | | なし |
| | | | | |

| | | | | | |
|---|---|------|--------|--------------------|-----------------------|
| 科目名 | 【新カリ】Basic EnglishⅢ 入門 | | | 授業形態 | 講義 |
| 英語科目名 | Basic EnglishⅢ 入門 | | | 対象学年 | 2年 |
| 開講学期 | 2022年度後期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | Keith G.Russell | | | ナンバリング | LNG2103 |
| 担当教員 | Keith G.Russell、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | <p>【授業全体の内容】 Summary of the Course 本科目は演習の授業形態で行われる。1年次で学んだ英語の基礎から発展し、レベルごとにクラス編成をし、英語4技能（Listening, Reading, Speaking, Writing）の総合的な運用能力の向上を目指す。身近な話題から発展して異文化理解、健康・医療、人権、環境など多岐にわたるトピックの英文を扱い、ロールプレイではビジネスの場面も想定して口頭や文章で意見をアウトプットする練習を行う。また音楽や映画などの音源・映像資料を使って、英語のリスニングや会話表現を学ぶ。</p> | | | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 英語コミュニケーション力の基礎となる語彙や文法を理解し、使うことができる。 2. 身近な話題から社会問題、ビジネスに関連した内容の英語を聞いて理解できる。 3. 身近な話題だけではなく、社会問題についても英語で表現できる。 4. TOEFL等、各種英語試験対策も考慮しながら、発展的な英語表現を学び、理解できる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・外国語科目の選択必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目はスポーツ健康科学部の学位授与方針である「グローバル社会において連携や協働できるコミュニケーション能力」の基礎力の習得を目指している。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | 特になし | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | <p>【成績評価の方法】 Evaluation System</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 発言、ロールプレイ含む授業参加度 (Class Participation 30%) 2. 提出課題 (Assignment 30%) 3. 定期試験 (Term Exam 40%) <p>(評価基準の詳細はオリエンテーションの際に説明します)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Evaluation is based upon student participation in skills activities in class (30%), completion of homework assignments (30%), and in-class tests (40%). 2. Further details will be described in the class orientation. | | | | |
| 評価基準 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的な語彙力及び文法を身に付け、英文を正しく理解できる。 2. 身近な話題や社会問題、ビジネスのやり取りに関連する英語を聞き、英語表現、英語音声特徴を理解した上で、内容を把握できる。 3. 自分自身や身近な話題について英語で話し、書くことができる。 | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 課題に対するフィードバックは授業内で行い、問題点の解説や強化すべき事項を明示する。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | Marathon Mouth Keep On Running | | | | You must buy in class |
| 参考文献 | | | | | |
| 授業内に随時、参考文献を提示します。 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>【連絡先】 keithr[at]juntendo.ac.jp *[at]を@に変更してください。</p> <p>【オフィスアワー】 Office hours Building 1 3'rd floor, rm1302, Tuesdays, Wednesdays and Thursdays 8:00-8:30, Wednesdays 4:20-4:45</p> | | | | |
| 担当教員の実務経歴 | | | | | |
| 備考 | <p>【学修時間】 Expected study time for this course この授業は、演習の授業形態による2単位科目であり、授業30時間、予習・復習各30時間の計90時間の学修を必要とする。</p> <p>【その他】 Notes 科目担当者欄に記載のあるいずれかの担当者が担当する。 新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p> | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 | |

| | | | | |
|---|---------------------|---|---|---|
| 1 | Keith G. Russell | オリエンテーション | 授業目的、授業方法、評価方法を説明する。 英語による自己紹介 | (予習: 1時間) 自己紹介を英語で考えておく。 (復習: 1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |
| 2 | Keith G. Russell | Listening & Reading (Cross Cultural Understanding 1) (TOEFL / TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習: 1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。 (復習: 1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |
| 3 | Keith G. Russell | Listening & Reading (Cross Cultural Understanding 2) (TOEFL / TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習: 1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。授業内で指名された際には単語を調べてある状態にしておくこと。 (復習: 1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |
| 4 | Keith G. Russell | Listening & Reading (Tourism) (TOEFL / TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習: 1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。授業内で指名された際には単語を調べてある状態にしておくこと。 (復習: 1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |
| 5 | Keith G. Russell | Listening & Reading (Humanities 1) (TOEFL / TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習: 1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。 (復習: 1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |

| | | | | |
|---|---------------------|--|--|---|
| 6 | Keith G. Russell | Listening & Reading (Humanities 2) (TOEFL / TOEIC) | <p>(1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。</p> <p>(2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど)</p> <p>(3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。</p> <p>(4) 英語で自分の意見を書く。</p> | <p>(予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。</p> <p>(復習：1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。</p> |
| 7 | Keith G. Russell | Listening & Reading (Environment 1) (TOEFL / TOEIC) | <p>(1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。</p> <p>(2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど)</p> <p>(3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。</p> <p>(4) 英語で自分の意見を書く。</p> | <p>(予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。</p> <p>(復習：1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。</p> |
| 8 | Keith G. Russell | Listening & Reading (Environment 2) (TOEFL / TOEIC) | <p>(1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。</p> <p>(2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど)</p> <p>(3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。</p> <p>(4) 英語で自分の意見を書く。</p> | <p>(予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。授業内で指名された際には単語を調べてある状態にしておくこと。</p> <p>(復習：1時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。</p> |
| 9 | Keith G. Russell | Listening & Reading (Technology) (TOEFL / TOEIC) | <p>(1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。</p> <p>(2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど)</p> <p>(3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。</p> <p>(4) 英語で自分の意見を書く。</p> | <p>(予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。</p> <p>(復習：1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。</p> |

| | | | | |
|----|---------------------|---|---|--|
| 10 | Keith G. Russell | Listening & Reading (History of Music) (TOEFL /TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。 (復習：1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |
| 11 | Keith G. Russell | Listening & Reading (Sports) (TOEFL /TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。授業内で指名された際には単語を調べてある状態にしておくこと。 (復習：1時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 12 | Keith G. Russell | Listening & Reading (Lectures & Presentations) (TOEFL/ TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。 (復習：1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |
| 13 | Keith G. Russell | Listening & Reading (Lectures & Presentations 2) (TOEFL/ TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。 (復習：1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |
| 14 | Keith G. Russell | まとめ | 前期学習の総復習 | (予習：2時間) 定期試験に備え、語彙ノートを振り返り、学んだ内容を整理する。 (復習：2時間) 定期試験に備え、語彙ノートを振り返り、学んだ内容を整理する。 |
| | Keith G. Russell | 定期試験 | | なし |
| | | | | |

| | | | | | |
|---|---|------|--------|--------------------|---------|
| 科目名 | 【新カリ】Basic EnglishⅢ 入門 | | | 授業形態 | 講義 |
| 英語科目名 | Basic EnglishⅢ 入門 | | | 対象学年 | 2年 |
| 開講学期 | 2022年度後期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | Fran Conigliaro | | | ナンバリング | LNG2103 |
| 担当教員 | Fran Conigliaro、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | <p>【授業全体の内容】 Summary of the Course 本科目は演習の授業形態で行われる。1年次で学んだ英語の基礎から発展し、レベルごとにクラス編成をし、英語4技能（Listening, Reading, Speaking, Writing）の総合的な運用能力の向上を目指す。身近な話題から発展して異文化理解、健康・医療、人権、環境など多岐にわたるトピックの英文を扱い、ロールプレイではビジネスの場面も想定して口頭や文章で意見をアウトプットする練習を行う。また音楽や映画などの音源・映像資料を使って、英語のリスニングや会話表現を学ぶ。</p> | | | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 英語コミュニケーション力の基礎となる語彙や文法を理解し、使うことができる。 2. 身近な話題から社会問題、ビジネスに関連した内容の英語を聞いて理解できる。 3. 身近な話題だけではなく、社会問題についても英語で表現できる。 4. TOEFL等、各種英語試験対策も考慮しながら、発展的な英語表現を学び、理解できる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・外国語科目の選択必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目はスポーツ健康科学部の学位授与方針である「グローバル社会において連携や協働できるコミュニケーション能力」の基礎力の習得を目指している。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | 特になし | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | <p>【成績評価の方法】 Evaluation System</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 発言、ロールプレイ含む授業参加度 (Class Participation 30%) 2. 提出課題 (Assignment 30%) 3. 定期試験 (Term Exam 40%) <p>(評価基準の詳細はオリエンテーションの際に説明します)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Evaluation is based upon student participation in skills activities in class (30%), completion of homework assignments (30%), and in-class tests (40%). 2. Further details will be described in the class orientation. | | | | |
| 評価基準 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的な語彙力及び文法を身に付け、英文を正しく理解できる。 2. 身近な話題や社会問題、ビジネスのやり取りに関連する英語を聞き、英語表現、英語音声特徴を理解した上で、内容を把握できる。 3. 自分自身や身近な話題について英語で話し、書くことができる。 | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 課題に対するフィードバックは授業内で行い、問題点の解説や強化すべき事項を明示する。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | | | | | |
| 参考文献 | | | | | |
| 授業内に随時、参考文献を提示します。 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>【連絡先】 Contact Email: franc[at]juntendo.ac.jp [at] を@に変えて送信してください。</p> <p>【オフィスアワー】 Office Hours 1号館 3階 1302室 Tuesdays, 16:15-16:35</p> | | | | |
| 担当教員の実際経験 | | | | | |
| 備考 | <p>【学修時間】 Expected study time for this course この授業は、演習の授業形態による2単位科目であり、授業30時間、予習・復習各30時間の計90時間の学修を必要とする。</p> <p>【その他】 Notes 科目担当者欄に記載のあるいずれかの担当者が担当する。 新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p> | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 | |

| | | | | |
|---|-----------------|---|---|---|
| 1 | Fran Conigliaro | オリエンテーション | 授業目的、授業方法、評価方法を説明する。 英語による自己紹介 | (予習: 1時間) 自己紹介を英語で考えておく。 (復習: 1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |
| 2 | Fran Conigliaro | Listening & Reading (Cross Cultural Understanding 1) (TOEFL / TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習: 1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。 (復習: 1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |
| 3 | Fran Conigliaro | Listening & Reading (Cross Cultural Understanding 2) (TOEFL / TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習: 1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。授業内で指名された際には単語を調べてある状態にしておくこと。 (復習: 1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |
| 4 | Fran Conigliaro | Listening & Reading (Tourism) (TOEFL / TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習: 1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。授業内で指名された際には単語を調べてある状態にしておくこと。 (復習: 1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |
| 5 | Fran Conigliaro | Listening & Reading (Humanities 1) (TOEFL / TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習: 1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。 (復習: 1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |

| | | | | |
|---|-----------------|--|--|---|
| 6 | Fran Conigliaro | Listening & Reading (Humanities 2) (TOEFL / TOEIC) | <p>(1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。</p> <p>(2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど)</p> <p>(3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。</p> <p>(4) 英語で自分の意見を書く。</p> | <p>(予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。</p> <p>(復習：1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。</p> |
| 7 | Fran Conigliaro | Listening & Reading (Environment 1) (TOEFL / TOEIC) | <p>(1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。</p> <p>(2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど)</p> <p>(3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。</p> <p>(4) 英語で自分の意見を書く。</p> | <p>(予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。</p> <p>(復習：1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。</p> |
| 8 | Fran Conigliaro | Listening & Reading (Environment 2) (TOEFL / TOEIC) | <p>(1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。</p> <p>(2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど)</p> <p>(3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。</p> <p>(4) 英語で自分の意見を書く。</p> | <p>(予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。授業内で指名された際には単語を調べてある状態にしておくこと。</p> <p>(復習：1時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。</p> |
| 9 | Fran Conigliaro | Listening & Reading (Technology) (TOEFL / TOEIC) | <p>(1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。</p> <p>(2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど)</p> <p>(3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。</p> <p>(4) 英語で自分の意見を書く。</p> | <p>(予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。</p> <p>(復習：1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。</p> |

| | | | | |
|----|-----------------|---|---|--|
| 10 | Fran Conigliaro | Listening & Reading (History of Music) (TOEFL /TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。 (復習：1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |
| 11 | Fran Conigliaro | Listening & Reading (Sports) (TOEFL /TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。授業内で指名された際には単語を調べてある状態にしておくこと。 (復習：1時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 12 | Fran Conigliaro | Listening & Reading (Lectures & Presentations) (TOEFL/ TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。 (復習：1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |
| 13 | Fran Conigliaro | Listening & Reading (Lectures & Presentations 2) (TOEFL/ TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。 (復習：1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |
| 14 | Fran Conigliaro | まとめ | 前期学習の総復習 | (予習：2時間) 定期試験に備え、語彙ノートを振り返り、学んだ内容を整理する。 (復習：2時間) 定期試験に備え、語彙ノートを振り返り、学んだ内容を整理する。 |
| | Fran Conigliaro | 定期試験 | | なし |
| | | | | |

| | | | | | |
|---|---|------|--------|--------------------|-----------------------|
| 科目名 | 【新カリ】Basic EnglishⅢ 入門 | | | 授業形態 | 講義 |
| 英語科目名 | Basic EnglishⅢ 入門 | | | 対象学年 | 2年 |
| 開講学期 | 2022年度後期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | Keith G.Russell | | | ナンバリング | LNG2103 |
| 担当教員 | Keith G.Russell、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | <p>【授業全体の内容】 Summary of the Course 本科目は演習の授業形態で行われる。1年次で学んだ英語の基礎から発展し、レベルごとにクラス編成をし、英語4技能（Listening, Reading, Speaking, Writing）の総合的な運用能力の向上を目指す。身近な話題から発展して異文化理解、健康・医療、人権、環境など多岐にわたるトピックの英文を扱い、ロールプレイではビジネスの場面も想定して口頭や文章で意見をアウトプットする練習を行う。また音楽や映画などの音源・映像資料を使って、英語のリスニングや会話表現を学ぶ。</p> | | | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 英語コミュニケーション力の基礎となる語彙や文法を理解し、使うことができる。 2. 身近な話題から社会問題、ビジネスに関連した内容の英語を聞いて理解できる。 3. 身近な話題だけではなく、社会問題についても英語で表現できる。 4. TOEFL等、各種英語試験対策も考慮しながら、発展的な英語表現を学び、理解できる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・外国語科目の選択必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目はスポーツ健康科学部の学位授与方針である「グローバル社会において連携や協働できるコミュニケーション能力」の基礎力の習得を目指している。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | 特になし | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | <p>【成績評価の方法】 Evaluation System</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 発言、ロールプレイ含む授業参加度 (Class Participation 30%) 2. 提出課題 (Assignment 30%) 3. 定期試験 (Term Exam 40%) <p>(評価基準の詳細はオリエンテーションの際に説明します)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Evaluation is based upon student participation in skills activities in class (30%), completion of homework assignments (30%), and in-class tests (40%). 2. Further details will be described in the class orientation. | | | | |
| 評価基準 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的な語彙力及び文法を身に付け、英文を正しく理解できる。 2. 身近な話題や社会問題、ビジネスのやり取りに関連する英語を聞き、英語表現、英語音声特徴を理解した上で、内容を把握できる。 3. 自分自身や身近な話題について英語で話し、書くことができる。 | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 課題に対するフィードバックは授業内で行い、問題点の解説や強化すべき事項を明示する。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | Marathon Mouth Keep On Running | | | | You must buy in class |
| 参考文献 | | | | | |
| 授業内に随時、参考文献を提示します。 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>【連絡先】 keithr[at]juntendo.ac.jp *[at]を@に変更してください。</p> <p>【オフィスアワー】 Office hours Building 1 3'rd floor, rm1302, Tuesdays, Wednesdays and Thursdays 8:00-8:30, Wednesdays 4:20-4:45</p> | | | | |
| 担当教員の実務経歴 | | | | | |
| 備考 | <p>【学修時間】 Expected study time for this course この授業は、演習の授業形態による2単位科目であり、授業30時間、予習・復習各30時間の計90時間の学修を必要とする。</p> <p>【その他】 Notes 科目担当者欄に記載のあるいずれかの担当者が担当する。 新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p> | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 | |

| | | | | |
|---|---------------------|---|---|---|
| 1 | Keith G. Russell | オリエンテーション | 授業目的、授業方法、評価方法を説明する。 英語による自己紹介 | (予習: 1時間) 自己紹介を英語で考えておく。 (復習: 1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |
| 2 | Keith G. Russell | Listening & Reading (Cross Cultural Understanding 1) (TOEFL / TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習: 1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。 (復習: 1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |
| 3 | Keith G. Russell | Listening & Reading (Cross Cultural Understanding 2) (TOEFL / TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習: 1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。授業内で指名された際には単語を調べてある状態にしておくこと。 (復習: 1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |
| 4 | Keith G. Russell | Listening & Reading (Tourism) (TOEFL / TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習: 1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。授業内で指名された際には単語を調べてある状態にしておくこと。 (復習: 1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |
| 5 | Keith G. Russell | Listening & Reading (Humanities 1) (TOEFL / TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習: 1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。 (復習: 1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |

| | | | | |
|---|---------------------|--|--|---|
| 6 | Keith G. Russell | Listening & Reading (Humanities 2) (TOEFL / TOEIC) | <p>(1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。</p> <p>(2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど)</p> <p>(3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。</p> <p>(4) 英語で自分の意見を書く。</p> | <p>(予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。</p> <p>(復習：1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。</p> |
| 7 | Keith G. Russell | Listening & Reading (Environment 1) (TOEFL / TOEIC) | <p>(1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。</p> <p>(2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど)</p> <p>(3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。</p> <p>(4) 英語で自分の意見を書く。</p> | <p>(予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。</p> <p>(復習：1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。</p> |
| 8 | Keith G. Russell | Listening & Reading (Environment 2) (TOEFL / TOEIC) | <p>(1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。</p> <p>(2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど)</p> <p>(3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。</p> <p>(4) 英語で自分の意見を書く。</p> | <p>(予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。授業内で指名された際には単語を調べてある状態にしておくこと。</p> <p>(復習：1時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。</p> |
| 9 | Keith G. Russell | Listening & Reading (Technology) (TOEFL / TOEIC) | <p>(1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。</p> <p>(2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど)</p> <p>(3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。</p> <p>(4) 英語で自分の意見を書く。</p> | <p>(予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。</p> <p>(復習：1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。</p> |

| | | | | |
|----|---------------------|---|---|--|
| 10 | Keith G. Russell | Listening & Reading (History of Music) (TOEFL /TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。 (復習：1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |
| 11 | Keith G. Russell | Listening & Reading (Sports) (TOEFL /TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。授業内で指名された際には単語を調べてある状態にしておくこと。 (復習：1時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 12 | Keith G. Russell | Listening & Reading (Lectures & Presentations) (TOEFL/ TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。 (復習：1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |
| 13 | Keith G. Russell | Listening & Reading (Lectures & Presentations 2) (TOEFL/ TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。 (復習：1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |
| 14 | Keith G. Russell | まとめ | 前期学習の総復習 | (予習：2時間) 定期試験に備え、語彙ノートを振り返り、学んだ内容を整理する。 (復習：2時間) 定期試験に備え、語彙ノートを振り返り、学んだ内容を整理する。 |
| | Keith G. Russell | 定期試験 | | なし |
| | | | | |

| | | | | |
|--|--|--|--|--|
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

| | | | | | |
|---|---|------|--------|--------------------|---------|
| 科目名 | 【新カリ】Basic EnglishⅢ 入門 | | | 授業形態 | 講義 |
| 英語科目名 | Basic EnglishⅢ 入門 | | | 対象学年 | 2年 |
| 開講学期 | 2022年度後期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | Matthew Willemsen | | | ナンバリング | LNG2103 |
| 担当教員 | Matthew Willemsen、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | <p>【授業全体の内容】 Summary of the Course 本科目は演習の授業形態で行われる。1年次で学んだ英語の基礎から発展し、レベルごとにクラス編成をし、英語4技能（Listening, Reading, Speaking, Writing）の総合的な運用能力の向上を目指す。身近な話題から発展して異文化理解、健康・医療、人権、環境など多岐にわたるトピックの英文を扱い、ロールプレイではビジネスの場面も想定して口頭や文章で意見をアウトプットする練習を行う。また音楽や映画などの音源・映像資料を使って、英語のリスニングや会話表現を学ぶ。</p> | | | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 英語コミュニケーション力の基礎となる語彙や文法を理解し、使うことができる。 2. 身近な話題から社会問題、ビジネスに関連した内容の英語を聞いて理解できる。 3. 身近な話題だけではなく、社会問題についても英語で表現できる。 4. TOEFL等、各種英語試験対策も考慮しながら、発展的な英語表現を学び、理解できる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・外国語科目の選択必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目はスポーツ健康科学部の学位授与方針である「グローバル社会において連携や協働できるコミュニケーション能力」の基礎力の習得を目指している。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | 特になし | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | <p>【成績評価の方法】 Evaluation System</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 発言、ロールプレイ含む授業参加度 (Class Participation 30%) 2. 提出課題 (Assignment 30%) 3. 定期試験 (Term Exam 40%) <p>(評価基準の詳細はオリエンテーションの際に説明します)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Evaluation is based upon student participation in skills activities in class (30%), completion of homework assignments (30%), and in-class tests (40%). 2. Further details will be described in the class orientation. | | | | |
| 評価基準 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的な語彙力及び文法を身に付け、英文を正しく理解できる。 2. 身近な話題や社会問題、ビジネスのやり取りに関連する英語を聞き、英語表現、英語音声特徴を理解した上で、内容を把握できる。 3. 自分自身や身近な話題について英語で話し、書くことができる。 | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 課題に対するフィードバックは授業内で行い、問題点の解説や強化すべき事項を明示する。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | | | | | |
| 参考文献 | | | | | |
| 授業内に随時、参考文献を提示します。 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>【連絡先】 Contact address matthew[at]juntendo.ac.jp *[at]を@に変更してください。</p> <p>【オフィスアワー】 Office hours Office hours Building 1 3'rd floor, rm1302, Tuesdays, Wednesdays and Thursdays 8:00-8:30, Wednesdays 4:20-4:45</p> | | | | |
| 担当教員の実務経歴 | | | | | |
| 備考 | <p>【学修時間】 Expected study time for this course この授業は、演習の授業形態による2単位科目であり、授業30時間、予習・復習各30時間の計90時間の学修を必要とする。</p> <p>【その他】 Notes 科目担当者欄に記載のあるいずれかの担当者が担当する。 新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p> | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 | |

| | | | | |
|---|--------------------|---|---|---|
| 1 | Matthew Willemssen | オリエンテーション | 授業目的、授業方法、評価方法を説明する。 英語による自己紹介 | (予習: 1時間) 自己紹介を英語で考えておく。 (復習: 1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |
| 2 | Matthew Willemssen | Listening & Reading (Cross Cultural Understanding 1) (TOEFL / TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習: 1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。 (復習: 1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |
| 3 | Matthew Willemssen | Listening & Reading (Cross Cultural Understanding 2) (TOEFL / TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習: 1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。授業内で指名された際には単語を調べてある状態にしておくこと。 (復習: 1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |
| 4 | Matthew Willemssen | Listening & Reading (Tourism) (TOEFL / TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習: 1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。授業内で指名された際には単語を調べてある状態にしておくこと。 (復習: 1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |
| 5 | Matthew Willemssen | Listening & Reading (Humanities 1) (TOEFL / TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習: 1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。 (復習: 1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |

| | | | | |
|---|--------------------|--|--|---|
| 6 | Matthew Willemssen | Listening & Reading (Humanities 2) (TOEFL / TOEIC) | <p>(1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。</p> <p>(2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど)</p> <p>(3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。</p> <p>(4) 英語で自分の意見を書く。</p> | <p>(予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。</p> <p>(復習：1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。</p> |
| 7 | Matthew Willemssen | Listening & Reading (Environment 1) (TOEFL / TOEIC) | <p>(1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。</p> <p>(2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど)</p> <p>(3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。</p> <p>(4) 英語で自分の意見を書く。</p> | <p>(予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。</p> <p>(復習：1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。</p> |
| 8 | Matthew Willemssen | Listening & Reading (Environment 2) (TOEFL / TOEIC) | <p>(1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。</p> <p>(2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど)</p> <p>(3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。</p> <p>(4) 英語で自分の意見を書く。</p> | <p>(予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。授業内で指名された際には単語を調べてある状態にしておくこと。</p> <p>(復習：1時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。</p> |
| 9 | Matthew Willemssen | Listening & Reading (Technology) (TOEFL / TOEIC) | <p>(1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。</p> <p>(2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど)</p> <p>(3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。</p> <p>(4) 英語で自分の意見を書く。</p> | <p>(予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。</p> <p>(復習：1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。</p> |

| | | | | |
|----|--------------------|---|--|---|
| 10 | Matthew Willemssen | Listening & Reading (History of Music) (TOEFL /TOEIC) | <p>(1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。</p> <p>(2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど)</p> <p>(3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。</p> <p>(4) 英語で自分の意見を書く。</p> | <p>(予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。</p> <p>(復習：1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。</p> |
| 11 | Matthew Willemssen | Listening & Reading (Sports) (TOEFL /TOEIC) | <p>(1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。</p> <p>(2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど)</p> <p>(3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。</p> <p>(4) 英語で自分の意見を書く。</p> | <p>(予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。授業内で指名された際には単語を調べてある状態にしておくこと。</p> <p>(復習：1時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。</p> |
| 12 | Matthew Willemssen | Listening & Reading (Lectures & Presentations) (TOEFL/ TOEIC) | <p>(1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。</p> <p>(2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど)</p> <p>(3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。</p> <p>(4) 英語で自分の意見を書く。</p> | <p>(予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。</p> <p>(復習：1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。</p> |
| 13 | Matthew Willemssen | Listening & Reading (Lectures & Presentations 2) (TOEFL/ TOEIC) | <p>(1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。</p> <p>(2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど)</p> <p>(3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。</p> <p>(4) 英語で自分の意見を書く。</p> | <p>(予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。</p> <p>(復習：1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。</p> |
| 14 | Matthew Willemssen | まとめ | 前期学習の総復習 | <p>(予習：2時間) 定期試験に備え、語彙ノートを振り返り、学んだ内容を整理する。</p> <p>(復習：2時間) 定期試験に備え、語彙ノートを振り返り、学んだ内容を整理する。</p> |
| | Matthew Willemssen | 定期試験 | | なし |
| | | | | |

| | | | | | |
|---|---|--------|---------|------|----|
| 科目名 | 【新カリ】Basic EnglishⅢ 中・上級 | 授業形態 | 講義 | | |
| 英語科目名 | Basic EnglishⅢ 中・上級 | 対象学年 | 2年 | | |
| 開講学期 | 2022年度後期 | 単位数 | 2単位 | | |
| 代表教員 | 廣瀬 絵美 | ナンバリング | LNG2103 | | |
| 担当教員 | 廣瀬 絵美、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | <p>【授業全体の内容】 Summary of the Course 本科目は演習の授業形態で行われる。1年次で学んだ英語の基礎から発展し、レベルごとにクラス編成をし、英語4技能（Listening, Reading, Speaking, Writing）の総合的な運用能力の向上を目指す。身近な話題から発展して異文化理解、健康・医療、人権、環境など多岐にわたるトピックの英文を扱い、ロールプレイではビジネスの場面も想定して口頭や文章で意見をアウトプットする練習を行う。また音楽や映画などの音源・映像資料を使って、英語のリスニングや会話表現を学ぶ。</p> <p>【授業の位置づけ（学位授与方針に定められている知識・能力等との関連）】 Diploma& Curricular Policies この科目はスポーツ健康科学部の学位授与方針である「グローバル社会において連携や協働できるコミュニケーション能力」の基礎力の習得を目指している。</p> <p>【授業の到達目標】 Targets 1. 英語コミュニケーション力の基礎となる語彙や文法を理解し、使うことができる。 2. 身近な話題から社会問題、ビジネスに関連した内容の英語を聞いて理解できる。 3. 身近な話題だけではなく、社会問題についても英語で表現できる。 4. TOEFL等、各種英語試験対策も考慮しながら、発展的な英語表現を学び、理解できる。</p> | | | | |
| 到達目標 | 1. 英語コミュニケーション力の基礎となる語彙や文法を理解し、使うことができる。 2. 身近な話題から社会問題、ビジネスに関連した内容の英語を聞いて理解できる。 3. 身近な話題だけではなく、社会問題についても英語で表現できる。 4. TOEFL等、各種英語試験対策も考慮しながら、発展的な英語表現を学び、理解できる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・外国語科目の選択必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目はスポーツ健康科学部の学位授与方針である「グローバル社会において連携や協働できるコミュニケーション能力」の基礎力の習得を目指している。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | 特になし | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | <p>【成績評価の方法】 Evaluation System 1. 発言、ロールプレイ含む授業参加度（Class Participation 30%） 2. 提出課題（Assignment 30%） 3. 定期試験（Term Exam 40%） （評価基準の詳細はオリエンテーションの際に説明します）</p> <p>1. Evaluation is based upon student participation in skills activities in class (30%), completion of homework assignments (30%), and in-class tests (40%). 2. Further details will be described in the class orientation.</p> | | | | |
| 評価基準 | 1. 基本的な語彙力及び文法を身に着け、英文を正しく理解できる。 2. 身近な話題や社会問題、ビジネスのやり取りに関連する英語を聞き、英語表現、英語音声特徴を理解した上で、内容を把握できる。 3. 自分自身や身近な話題について英語で話し、書くことができる。 | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 課題に対するフィードバックは授業内で行い、問題点の解説や強化すべき事項を明示する。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | | | | | |
| 参考文献 | | | | | |
| 授業内に随時、参考文献を提示します。 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>【連絡先】 e.hirose.df@juntendo.ac.jp</p> <p>【オフィスアワー】 Office Hours 火 12:00~12:50 一号館3階 廣瀬絵美研究室（事前にメールで予約すること）</p> | | | | |
| 担当教員の実務経験 | | | | | |
| 備考 | <p>【学修時間】 Expected study time for this course この授業は、演習の授業形態による2単位科目であり、授業60時間、予習・復習30時間の計90時間の学修を必要とする。</p> <p>【その他】 Notes 科目担当者欄に記載のあるいずれかの担当者が担当する。 新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p> | | | | |

| 授業計画 | | | | |
|------|-------|---|---|---|
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 |
| 1 | 廣瀬絵美 | オリエンテーション | 授業目的、授業方法、評価方法を説明する。 英語による自己紹介 | (予習:1時間) 自己紹介を英語で考えておく。 (復習:1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |
| 2 | 廣瀬絵美 | Listening & Reading (Cross Cultural Understanding 1) (TOEFL / TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習:1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。 (復習:1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |
| 3 | 廣瀬 絵美 | Listening & Reading (Cross Cultural Understanding 2) (TOEFL / TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習:1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。授業内で指名された際には単語を調べてある状態にしておくこと。 (復習:1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |
| 4 | 廣瀬 絵美 | Listening & Reading (Tourism) (TOEFL / TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習:1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。授業内で指名された際には単語を調べてある状態にしておくこと。 (復習:1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |
| 5 | 廣瀬 絵美 | Listening & Reading (Humanities 1) (TOEFL / TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習:1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。 (復習:1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |

| | | | | |
|---|-------|--|--|---|
| 6 | 廣瀬 絵美 | Listening & Reading (Humanities 2) (TOEFL / TOEIC) | <p>(1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。</p> <p>(2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど)</p> <p>(3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。</p> <p>(4) 英語で自分の意見を書く。</p> | <p>(予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。</p> <p>(復習：1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。</p> |
| 7 | 廣瀬絵美 | Listening & Reading (Environment 1) (TOEFL / TOEIC) | <p>(1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。</p> <p>(2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど)</p> <p>(3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。</p> <p>(4) 英語で自分の意見を書く。</p> | <p>(予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。</p> <p>(復習：1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。</p> |
| 8 | 廣瀬 絵美 | Listening & Reading (Environment 2) (TOEFL / TOEIC) | <p>(1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。</p> <p>(2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど)</p> <p>(3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。</p> <p>(4) 英語で自分の意見を書く。</p> | <p>(予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。授業内で指名された際には単語を調べてある状態にしておくこと。</p> <p>(復習：1時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。</p> |
| 9 | 廣瀬 絵美 | Listening & Reading (Technology) (TOEFL / TOEIC) | <p>(1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。</p> <p>(2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど)</p> <p>(3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。</p> <p>(4) 英語で自分の意見を書く。</p> | <p>(予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。</p> <p>(復習：1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。</p> |

| | | | | |
|----|-------|---|---|--|
| 10 | 廣瀬 絵美 | Listening & Reading (History of Music) (TOEFL /TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。 (復習：1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |
| 11 | 廣瀬 絵美 | Listening & Reading (Sports) (TOEFL /TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。授業内で指名された際には単語を調べてある状態にしておくこと。 (復習：1時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 12 | 廣瀬 絵美 | Listening & Reading (Lectures & Presentations) (TOEFL/ TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。 (復習：1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |
| 13 | 廣瀬 絵美 | Listening & Reading (Lectures & Presentations 2) (TOEFL/ TOEIC) | (1) 英語で書かれた文章を読み、文の構造や重要語句を確認する。 (2) リスニング・ディクテーション練習(英会話、講義、TV・ラジオニュースなど) (3) グループディスカッションを行い、トピックについて英語で話す。 (4) 英語で自分の意見を書く。 | (予習：1時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。単語も調べてある状態にしておくこと。 (復習：1時間) 授業内で学んだ新しい語彙表現を復習する。 |
| 14 | 廣瀬 絵美 | まとめ | 前期学習の総復習 | (予習：2時間) 定期試験に備え、語彙ノートを振り返り、学んだ内容を整理する。 (復習：2時間) 定期試験に備え、語彙ノートを振り返り、学んだ内容を整理する。 |
| | 廣瀬 絵美 | 定期試験 | | なし |
| | | | | |

| | | | | |
|--|--|--|--|--|
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

| | | | | | |
|--|---|---|---|--|---------|
| 科目名 | 【新カリ】 TOEFL・IELTS | | | 授業形態 | 演習 |
| 英語科目名 | TOEFL・IELTS | | | 対象学年 | 1年 |
| 開講学期 | 2022年度後期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | Fran Conigliaro | | | ナンバリング | LNG1104 |
| 担当教員 | Fran Conigliaro、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | 本科目は、グローバル・スタンダードとして用いられている英語試験の一つTOEFL ITP対策を柱とすえ、留学に必要な英語力を文法、リーディング、リスニング面を中心に養成する。また、TOEFL IBTおよびIELTS受験者にも対応できるよう、スピーキングやライティングを含めたアウトプット面も強化することをめざす。 | | | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> TOEFLやIELTSで求められるアカデミックな語彙や表現を理解できる。 基本的な文法事項や文語表現を理解し、長文読解ができる。 キャンパスライフやアカデミックな内容の英語を聞いて理解できる。 身近なテーマについて意見を話したり、書いたりできる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・外国語科目の選択必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目は、スポーツ健康科学部の学位授与方針である「グローバル社会において連携や協働できるコミュニケーション能力」の習得を目指している。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | 【履修要件】 特になし | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | <ol style="list-style-type: none"> 課題や小テスト (20%) TOEFLスコア (40%) *第1回目のスコアから第2回目スコアが上昇していることが重要である。 定期試験 (40%) | | | | |
| 評価基準 | <ol style="list-style-type: none"> 文法を正しく理解し、TOEFLレベルのリスニングや英文読解ができる (TOEFLスコア・定期試験) アカデミックな語彙や表現を理解できる (小テスト・定期試験) 身近なテーマに関する自分の考えをスピーキングやライティングで表現できる (課題) | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 課題に対するフィードバックは授業内で行い、問題点の解説や強化すべき事項を明示する。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | | | | | |
| 参考文献 | | | | | |
| プリントや資料を配布、配信します。必要に応じて印刷して使用すること。 初回授業時に担当教員より参考図書、使用教材について指示します | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>[連絡先] Contact Email: franc[at]juntendo.ac.jp [at] を@に変えて送信してください。</p> <p>[オフィスアワー] Office Hours 1号館 3階 1302室 Tuesdays, 16:15-16:35</p> | | | | |
| 担当教員の実務経験 | | | | | |
| 備考 | <p>【学修時間】 この授業は、演習の授業形態による2単位科目であり、授業30時間、予習・復習各30時間の計90時間の学修を必要とする。</p> <p>【その他】 英語力の伸びを確認する指標の一つとしてTOEFL ITP試験を年に2回実施する。第1回目のスコアから第2回目が上昇していることが重要である。 科目担当者欄に記載のあるいずれかの担当者が担当する。 新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p> | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 | |
| 1 | Fran Conigliaro | <p>【授業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション：授業目的、授業方法、評価方法を説明する。 TOEFLとIELTS、そのほか代表的な英語試験の特徴について説明する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・簡易版TOEFL模試を実施し、弱点を知り、強化すべき項目を確認する。 | <p>(予習：2時間) TOEFL試験やそのほかの英語試験について調べ自分の目標スコアを設定する。</p> <p>(復習：4時間) 授業内で間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記する。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習(シャドーイング)をする。</p> | |

| | | | | |
|----|--------------------|--|--|--|
| 2 | Fran Conigliaro | 【授業内容】 TOEFL模試の解説を行う。 | 間違えやすい問題を取り上げ、解法、文の構造や解答を説明する。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 3 | Fran Conigliaro | 【授業内容】 TOEFL 問題演習、グループワーク | TOEFL形式の問題で演習を行い、ペアワークで問題の解法を確認し、理解を深める。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 4 | Fran Conigliaro | 【授業内容】 TOEFL 問題演習、グループワーク | TOEFL形式の問題で演習を行い、ペアワークで問題の解法を確認し、理解を深める。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 5 | Fran Conigliaro | 【授業内容】 TOEFL 問題演習、グループワーク | TOEFL形式の問題で演習を行い、ペアワークで音読や速読練習を行う。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 6 | Fran Conigliaro | 【授業内容】 TOEFL 問題演習、グループワーク | TOEFL形式の問題で演習を行い、ペアワークで音読や速読練習を行う。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 7 | Fran Conigliaro | 【授業内容】 TOEFLの読解問題の特徴を解説し、実際の問題で読解練習を行う。 | ペアワークで音読や速読練習を行う。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 8 | Fran Conigliaro | 【授業内容】 TOEFL 問題演習、グループワーク | TOEFL形式の問題で演習を行い、ペアワークで音読や速読練習を行う。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 9 | Fran Conigliaro | 【授業内容】 TOEFL 問題演習、グループワーク | TOEFL形式の問題で演習を行い、解説された文法項目を使って英文を作成する。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 10 | Fran Conigliaro | 【授業内容】 身近なテーマについて話す際の表現や英文の構成について解説する。 | TOEFL形式の問題で演習を行い、解説された文法項目を使って英文を作成する。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 11 | Fran Conigliaro | 【授業内容】 身近なテーマについて話す際の表現や英文の構成について解説する。 | TOEFL形式の問題で演習を行い、解説された文法項目を使って英文を作成する。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |

| | | | | |
|----|--------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|--|
| 12 | Fran Conigliaro | 【授業内容】 ここまでの授業内容の振り返りとポイントの確認を行う。 | 文法項目、リスニング、読解、それぞれのポイントの理解を確認する演習を行う。 | (予習：2時間) 指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 13 | Fran Conigliaro | 【授業内容】 ここまでの授業内容の振り返りとポイントの確認を行う。 | 文法項目、リスニング、読解、それぞれのポイントの理解を確認する演習を行う。 | (予習：2時間) 指定された課題を行う。 (復習：3時間) 定期試験に備え、語彙ノートを振り返り、学んだ内容を整理する。 |
| 14 | Fran Conigliaro | 【授業内容】 ここまでの授業内容の振り返りとポイントの確認を行う。 | 文法項目、リスニング、読解、それぞれのポイントの理解を確認する演習を行う。 | (予習：2時間) 指定された課題を行う。 (復習：3時間) 定期試験に備え、語彙ノートを振り返り、学んだ内容を整理する。 |
| | | 定期試験を実施する | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

| | | | | | |
|--|--|---|-------------------------------------|---|---------|
| 科目名 | 【新カリ】 TOEFL・IELTS | | | 授業形態 | 演習 |
| 英語科目名 | TOEFL・IELTS | | | 対象学年 | 1年 |
| 開講学期 | 2022年度後期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | Fran Conigliaro | | | ナンバリング | LNG1104 |
| 担当教員 | Fran Conigliaro、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | 本科目は、グローバル・スタンダードとして用いられている英語試験の一つTOEFL ITP対策を柱とすえ、留学に必要な英語力を文法、リーディング、リスニング面を中心に養成する。また、TOEFL IBTおよびIELTS受験者にも対応できるよう、スピーキングやライティングを含めたアウトプット面も強化することをめざす。 | | | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. TOEFLやIELTSで求められるアカデミックな語彙や表現を理解できる。 2. 基本的な文法事項や文語表現を理解し、長文読解ができる。 3. キャンパスライフやアカデミックな内容の英語を聞いて理解できる。 4. 身近なテーマについて意見を話したり、書いたりできる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・外国語科目の選択必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目は、スポーツ健康科学部の学位授与方針である「グローバル社会において連携や協働できるコミュニケーション能力」の習得を指している。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | 【履修要件】 特になし | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 課題や小テスト (20%) 2. TOEFLスコア (40%) *第1回目のスコアから第2回目スコアが上昇していることが重要である。 3. 定期試験 (40%) | | | | |
| 評価基準 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 文法を正しく理解し、TOEFLレベルのリスニングや英文読解ができる (TOEFLスコア・定期試験) 2. アカデミックな語彙や表現を理解できる (小テスト・定期試験) 3. 身近なテーマに関する自分の考えをスピーキングやライティングで表現できる (課題) | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 課題に対するフィードバックは授業内で行い、問題点の解説や強化すべき事項を明示する。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | | | | | |
| 参考文献 | | | | | |
| プリントや資料を配布、配信します。必要に応じて印刷して使用すること。 初回授業時に担当教員より参考図書、使用教材について指示します | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | [連絡先] Contact Email: franc[at]juntendo.ac.jp [at] を@に変えて送信してください。 [オフィスアワー] Office Hours 1号館 3階 1302室 Tuesdays, 16:15-16:35 | | | | |
| 担当教員の実務経験 | | | | | |
| 備考 | 【学修時間】 この授業は、演習の授業形態による2単位科目であり、授業30時間、予習・復習各30時間の計90時間の学修を必要とする。 【その他】 英語力の伸びを確認する指標の一つとしてTOEFL ITP試験を年に2回実施する。第1回目のスコアから第2回目が上昇していることが重要である。 科目担当者欄に記載のあるいずれかの担当者が担当する。 新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。 | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 | |
| 1 | Fran Conigliaro | 【授業内容】 ・オリエンテーション：授業目的、授業方法、評価方法を説明する。 TOEFLとIELTS、そのほか代表的な英語試験の特徴について説明する。 | ・簡易版TOEFL模試を実施し、弱点を知り、強化すべき項目を確認する。 | (予習：2時間) TOEFL試験やそのほかの英語試験について調べ自分の目標スコアを設定する。 (復習：4時間) 授業内で間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記する。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習(シャドーイング)をする。 | |

| | | | | |
|----|--------------------|--|--|--|
| 2 | Fran Conigliaro | 【授業内容】 TOEFL模試の解説を行う。 | 間違えやすい問題を取り上げ、解法、文の構造や解答を説明する。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 3 | Fran Conigliaro | 【授業内容】 TOEFL 問題演習、グループワーク | TOEFL形式の問題で演習を行い、ペアワークで問題の解法を確認し、理解を深める。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 4 | Fran Conigliaro | 【授業内容】 TOEFL 問題演習、グループワーク | TOEFL形式の問題で演習を行い、ペアワークで問題の解法を確認し、理解を深める。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 5 | Fran Conigliaro | 【授業内容】 TOEFL 問題演習、グループワーク | TOEFL形式の問題で演習を行い、ペアワークで音読や速読練習を行う。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 6 | Fran Conigliaro | 【授業内容】 TOEFL 問題演習、グループワーク | TOEFL形式の問題で演習を行い、ペアワークで音読や速読練習を行う。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 7 | Fran Conigliaro | 【授業内容】 TOEFLの読解問題の特徴を解説し、実際の問題で読解練習を行う。 | ペアワークで音読や速読練習を行う。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 8 | Fran Conigliaro | 【授業内容】 TOEFL 問題演習、グループワーク | TOEFL形式の問題で演習を行い、ペアワークで音読や速読練習を行う。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 9 | Fran Conigliaro | 【授業内容】 TOEFL 問題演習、グループワーク | TOEFL形式の問題で演習を行い、解説された文法項目を使って英文を作成する。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 10 | Fran Conigliaro | 【授業内容】 身近なテーマについて話す際の表現や英文の構成について解説する。 | TOEFL形式の問題で演習を行い、解説された文法項目を使って英文を作成する。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 11 | Fran Conigliaro | 【授業内容】 身近なテーマについて話す際の表現や英文の構成について解説する。 | TOEFL形式の問題で演習を行い、解説された文法項目を使って英文を作成する。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |

| | | | | |
|----|--------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|--|
| 12 | Fran Conigliaro | 【授業内容】 ここまでの授業内容の振り返りとポイントの確認を行う。 | 文法項目、リスニング、読解、それぞれのポイントの理解を確認する演習を行う。 | (予習：2時間) 指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 13 | Fran Conigliaro | 【授業内容】 ここまでの授業内容の振り返りとポイントの確認を行う。 | 文法項目、リスニング、読解、それぞれのポイントの理解を確認する演習を行う。 | (予習：2時間) 指定された課題を行う。 (復習：3時間) 定期試験に備え、語彙ノートを振り返り、学んだ内容を整理する。 |
| 14 | Fran Conigliaro | 【授業内容】 ここまでの授業内容の振り返りとポイントの確認を行う。 | 文法項目、リスニング、読解、それぞれのポイントの理解を確認する演習を行う。 | (予習：2時間) 指定された課題を行う。 (復習：3時間) 定期試験に備え、語彙ノートを振り返り、学んだ内容を整理する。 |
| | | 定期試験を実施する | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記 (PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等)

| | | | | | |
|--|--|---|-------------------------------------|---|---------|
| 科目名 | 【新カリ】 TOEFL・IELTS | | | 授業形態 | 演習 |
| 英語科目名 | TOEFL・IELTS | | | 対象学年 | 1年 |
| 開講学期 | 2022年度後期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | Matthew Willemsen | | | ナンバリング | LNG1104 |
| 担当教員 | Matthew Willemsen、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | 【授業全体の内容】 本科目は、グローバル・スタンダードとして用いられている英語試験の一つTOEFL ITP対策を柱とすえ、留学に必要な英語力を文法、リーディング、リスニング面を中心に養成する。また、TOEFL IBTおよびIELTS受験者にも対応できるよう、スピーキングやライティングを含めたアウトプット面も強化することをめざす。 | | | | |
| 到達目標 | 1. TOEFLやIELTSで求められるアカデミックな語彙や表現を理解できる。 2. 基本的な文法事項や文語表現を理解し、長文読解ができる。 3. キャンパスライフやアカデミックな内容の英語を聞いて理解できる。 4. 身近なテーマについて意見を話したり、書いたりできる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・外国語科目の選択必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目は、スポーツ健康科学部の学位授与方針である「グローバル社会において連携や協働できるコミュニケーション能力」の習得を目指すしている。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | 【履修要件】 特になし | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | 1. 課題や小テスト (20%) 2. TOEFLスコア (40%) *第1回目のスコアから第2回目スコアが上昇していることが重要である。 3. 定期試験 (40%) | | | | |
| 評価基準 | 1. 文法を正しく理解し、TOEFLレベルのリスニングや英文読解ができる (TOEFLスコア・定期試験) 2. アカデミックな語彙や表現を理解できる (小テスト・定期試験) 3. 身近なテーマに関する自分の考えをスピーキングやライティングで表現できる (課題) | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 課題に対するフィードバックは授業内で行い、問題点の解説や強化すべき事項を明示する。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | | | | | |
| 参考文献 | | | | | |
| プリントや資料を配布、配信します。必要に応じて印刷して使用すること。 初回授業時に担当教員より参考図書、使用教材について指示します | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | 【連絡先】 Contact address matthew[at]juntendo.ac.jp *[at]を@に変更してください。 【オフィスアワー】 Office hours Office hours Building 1 3'rd floor, rm1302, Tuesdays, Wednesdays and Thursdays 8:00-8:30, Wednesdays 4:20-4:45 | | | | |
| 担当教員の実務経験 | | | | | |
| 備考 | 【学修時間】 この授業は、演習の授業形態による2単位科目であり、授業30時間、予習・復習各30時間の計90時間の学修を必要とする。 【その他】 英語力の伸びを確認する指標の一つとしてTOEFL ITP試験を年に2回実施する。第1回目のスコアから第2回目の上昇していることが重要である。 科目担当者欄に記載のあるいずれかの担当者が担当する。 新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。 | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 | |
| 1 | Matthew Willemsen | 【授業内容】 ・オリエンテーション：授業目的、授業方法、評価方法を説明する。 TOEFLとIELTS、そのほか代表的な英語試験の特徴について説明する。 | ・簡易版TOEFL模試を実施し、弱点を知り、強化すべき項目を確認する。 | (予習：2時間) TOEFL試験やそのほかの英語試験について調べ自分の目標スコアを設定する。 (復習：4時間) 授業内で間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記する。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習(シャドーイング)をする。 | |

| | | | | |
|----|--------------------|--|--|--|
| 2 | Matthew Willemssen | 【授業内容】 TOEFL模試の解説を行う。 | 間違えやすい問題を取り上げ、解法、文の構造や解答を説明する。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 3 | Matthew Willemssen | 【授業内容】 TOEFL 問題演習、グループワーク | TOEFL形式の問題で演習を行い、ペアワークで問題の解法を確認し、理解を深める。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 4 | Matthew Willemssen | 【授業内容】 TOEFL 問題演習、グループワーク | TOEFL形式の問題で演習を行い、ペアワークで問題の解法を確認し、理解を深める。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 5 | Matthew Willemssen | 【授業内容】 TOEFL 問題演習、グループワーク | TOEFL形式の問題で演習を行い、ペアワークで音読や速読練習を行う。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 6 | Matthew Willemssen | 【授業内容】 TOEFL 問題演習、グループワーク | TOEFL形式の問題で演習を行い、ペアワークで音読や速読練習を行う。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 7 | Matthew Willemssen | 【授業内容】 TOEFLの読解問題の特徴を解説し、実際の問題で読解練習を行う。 | ペアワークで音読や速読練習を行う。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 8 | Matthew Willemssen | 【授業内容】 TOEFL 問題演習、グループワーク | TOEFL形式の問題で演習を行い、ペアワークで音読や速読練習を行う。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 9 | Matthew Willemssen | 【授業内容】 TOEFL 問題演習、グループワーク | TOEFL形式の問題で演習を行い、解説された文法項目を使って英文を作成する。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 10 | Matthew Willemssen | 【授業内容】 身近なテーマについて話す際の表現や英文の構成について解説する。 | TOEFL形式の問題で演習を行い、解説された文法項目を使って英文を作成する。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 11 | Matthew Willemssen | 【授業内容】 身近なテーマについて話す際の表現や英文の構成について解説する。 | TOEFL形式の問題で演習を行い、解説された文法項目を使って英文を作成する。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |

| | | | | | |
|--|--|---|--|--|---------|
| 科目名 | 【新カリ】 TOEFL・IELTS | | | 授業形態 | 演習 |
| 英語科目名 | TOEFL・IELTS | | | 対象学年 | 1年 |
| 開講学期 | 2022年度後期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | Matthew Willemsen | | | ナンバリング | LNG1104 |
| 担当教員 | Matthew Willemsen、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | <p>【授業全体の内容】</p> <p>本科目は、グローバル・スタンダードとして用いられている英語試験の一つTOEFL ITP対策を柱とすえ、留学に必要な英語力を文法、リーディング、リスニング面を中心に養成する。また、TOEFL IBTおよびIELTS受験者にも対応できるよう、スピーキングやライティングを含めたアウトプット面も強化することをめざす。</p> | | | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> TOEFLやIELTSで求められるアカデミックな語彙や表現を理解できる。 基本的な文法事項や文語表現を理解し、長文読解ができる。 キャンパスライフやアカデミックな内容の英語を聞いて理解できる。 身近なテーマについて意見を話したり、書いたりできる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・外国語科目の選択必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目は、スポーツ健康科学部の学位授与方針である「グローバル社会において連携や協働できるコミュニケーション能力」の習得を目指すしている。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | <p>【履修要件】</p> <p>特になし</p> | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | <ol style="list-style-type: none"> 課題や小テスト (20%) TOEFLスコア (40%) *第1回目のスコアから第2回目スコアが上昇していることが重要である。 定期試験 (40%) | | | | |
| 評価基準 | <ol style="list-style-type: none"> 文法を正しく理解し、TOEFLレベルのリスニングや英文読解ができる (TOEFLスコア・定期試験) アカデミックな語彙や表現を理解できる (小テスト・定期試験) 身近なテーマに関する自分の考えをスピーキングやライティングで表現できる (課題) | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 課題に対するフィードバックは授業内で行い、問題点の解説や強化すべき事項を明示する。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | | | | | |
| 参考文献 | | | | | |
| プリントや資料を配布、配信します。必要に応じて印刷して使用すること。 初回授業時に担当教員より参考図書、使用教材について指示します | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>【連絡先】 Contact address matthew[at]juntendo.ac.jp *[at]を@に変更してください。</p> <p>【オフィスアワー】 Office hours Office hours Building 1 3'rd floor, rm1302, Tuesdays, Wednesdays and Thursdays 8:00-8:30, Wednesdays 4:20-4:45</p> | | | | |
| 担当教員の実務経験 | | | | | |
| 備考 | <p>【学修時間】 この授業は、演習の授業形態による2単位科目であり、授業30時間、予習・復習各30時間の計90時間の学修を必要とする。</p> <p>【その他】 英語力の伸びを確認する指標の一つとしてTOEFL ITP試験を年に2回実施する。第1回目のスコアから第2回目上昇していることが重要である。 科目担当者欄に記載のあるいずれかの担当者が担当する。 新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p> | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 | |
| 1 | Matthew Willemsen | <p>【授業内容】</p> <p>・オリエンテーション：授業目的、授業方法、評価方法を説明する。 TOEFLとIELTS、そのほか代表的な英語試験の特徴について説明する。</p> | <p>・簡易版TOEFL模試を実施し、弱点を知り、強化すべき項目を確認する。</p> | <p>(予習：2時間) TOEFL試験やそのほかの英語試験について調べ自分の目標スコアを設定する。</p> <p>(復習：4時間) 授業内で間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記する。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習 (シャドーイング) をする。</p> | |

| | | | | |
|----|--------------------|--|--|--|
| 2 | Matthew Willemssen | 【授業内容】 TOEFL模試の解説を行う。 | 間違えやすい問題を取り上げ、解法、文の構造や解答を説明する。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 3 | Matthew Willemssen | 【授業内容】 TOEFL 問題演習、グループワーク | TOEFL形式の問題で演習を行い、ペアワークで問題の解法を確認し、理解を深める。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 4 | Matthew Willemssen | 【授業内容】 TOEFL 問題演習、グループワーク | TOEFL形式の問題で演習を行い、ペアワークで問題の解法を確認し、理解を深める。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 5 | Matthew Willemssen | 【授業内容】 TOEFL 問題演習、グループワーク | TOEFL形式の問題で演習を行い、ペアワークで音読や速読練習を行う。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 6 | Matthew Willemssen | 【授業内容】 TOEFL 問題演習、グループワーク | TOEFL形式の問題で演習を行い、ペアワークで音読や速読練習を行う。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 7 | Matthew Willemssen | 【授業内容】 TOEFLの読解問題の特徴を解説し、実際の問題で読解練習を行う。 | ペアワークで音読や速読練習を行う。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 8 | Matthew Willemssen | 【授業内容】 TOEFL 問題演習、グループワーク | TOEFL形式の問題で演習を行い、ペアワークで音読や速読練習を行う。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 9 | Matthew Willemssen | 【授業内容】 TOEFL 問題演習、グループワーク | TOEFL形式の問題で演習を行い、解説された文法項目を使って英文を作成する。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 10 | Matthew Willemssen | 【授業内容】 身近なテーマについて話す際の表現や英文の構成について解説する。 | TOEFL形式の問題で演習を行い、解説された文法項目を使って英文を作成する。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |
| 11 | Matthew Willemssen | 【授業内容】 身近なテーマについて話す際の表現や英文の構成について解説する。 | TOEFL形式の問題で演習を行い、解説された文法項目を使って英文を作成する。 | (予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。 (復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。 |

| | | | | | |
|---|---|----------------------------------|------------------------------------|---|---------|
| 科目名 | 【新カリ】フランス語 | | | 授業形態 | 演習 |
| 英語科目名 | 【新カリ】フランス語 | | | 対象学年 | 1年 |
| 開講学期 | 2022年度後期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | 竹内 京子 | | | ナンバリング | LNG1105 |
| 担当教員 | 竹内 京子、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | フランス語による簡単なコミュニケーションができるようになる。会話に必要な文法事項として動詞の活用や名詞の性数、代名詞、冠詞など英語と違う点に重点を置いて解説する。ペアによるやりとりなど、口答で発表を沢山する授業である。また、フランスを中心としてフランス語圏の文化、スポーツについても紹介する。 | | | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. フランス語の日常会話のための基礎的な文法、語彙を学ぶ。 2. あいさつ、自己紹介ができるようになる。 3. 旅先での簡単な会話などができるようになる。 4. フランス語の簡単な文法を理解する。 5. フランス語が使われている国の文化、習慣、ものの考え方などについて理解する。 6. フランス語圏で行われているスポーツを知り、ルールなどを説明できるようになる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・外国語科目の選択必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目は、スポーツ健康科学部の学位授与方針に定める「コミュニケーション能力」を身に付ける。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | <p>【履修要件】 フランス語を初めて学習する者</p> <p>【履修上の注意（科目独自のルール）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 初めて学ぶ言語であるので欠席せず、かつ積極的に参加することが非常に重要である。 2. 毎回の授業の予習・復習が1時間程度必要である。 3. 会話のクラスなので積極的にフランス語で話すことが大切であり、口答テストを重視する。 | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | 出席は3分の2以上が条件。平常点（毎回の宿題の小テスト・課題）（40%）+学期末試験（60%）合計点の60%以上を合格とする。 | | | | |
| 評価基準 | 授業で学んだ簡単な文法や表現を理解しているか。自己紹介ができ、口答で簡単な質問に答えられるか。 | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 毎回、宿題と小テストまたは課題提出があり、提出された課題は添削して次の授業で返却する。訂正された場合は再提出をしてもらう。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | バスカル・オ・ジャポン | 藤田裕二 | 白水社 | 9784560060834 | |
| 参考文献 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>【連絡先】 ktakeu@juntendo.ac.jp</p> <p>【オフィスアワー】 前期 月曜日10:00-10:40（1号館3階1302）</p> | | | | |
| 担当教員の実務経歴 | | | | | |
| 備考 | <p>【学修時間】 この授業は、演習の授業形態による1単位の科目であり、授業時間30時間と準備学習15時間の計45時間の学修を必要とする内容をもって構成する。</p> <p>【その他】 新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p> | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 | |
| 1 | 竹内 京子 | 授業の進め方・評価方法、あいさつ 0課 フランス語に親しむ | フランス語の単語を探し、意味を考えてみる。自分の名前の言い方を覚える | 【予習：0.5時間】 シラバスをよく読んでおく 【復習：0.5時間】 あいさつの表現を覚える | |
| 2 | 竹内 京子 | 1課 国籍を言う の本文と文法を学習する | 教科書の文法項目を理解し、実際に会話してみる。練習問題を解く。 | 【予習：0.5時間】 知っているフランス語を探しておく 【復習：0.5時間】 自分の名前の綴りをアルファベットで言えるようにする | |

| | | | | |
|--|--|--|--|--|
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

| | | | | | |
|------------------------|---|---|---------|---|----|
| 科目名 | 【新カリ】中国語 | 授業形態 | 演習 | | |
| 英語科目名 | 【新カリ】中国語 | 対象学年 | 1年 | | |
| 開講学期 | 2022年度後期 | 単位数 | 2単位 | | |
| 代表教員 | 鄧 鵬宇 | ナンバリング | LNG1106 | | |
| 担当教員 | 鄧 鵬宇、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | 【授業全体の内容】 本科目は、演習の授業形態で行われる。中国語という言葉の特徴を理解するとともに、中国語による日常的なコミュニケーションができるようになることを目標とする。特に中国語発音を表すための「ピンイン」という表記法及び簡単な文型を生かした日常会話を学ぶ。 | | | | |
| 到達目標 | 1、声調を含む発音を正しく発声することができる。 2、基本単語約300~400語、ピンインの読み方と綴り方を身につけ、読んだり書いたりすることができる。 3、基本文型、基本文法を理解し、読んだり書いたりすることができる。 4、日常の行動や好みについて話したり、簡単な意見（賛成、反対）を中国語で表現できる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・外国語科目の選択必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目は「スポーツ健康科学を中心とした幅広い知識と教養、及びそれらの活用能力という学位授与方針の達成に寄与する。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | 【履修要件】 中国語は文法がやさしく、単語も日本語と同じか似ているものが多いので、日本人には習得しやすい言語と思われるでしょう。しかし、中国語は日本語とは全く違う言語であり、同じ漢字でも発音も全然違うし、日本語にはない発音も多いため、教科書に付属の音声CDを繰り返し聞いて、発音の練習を重ね、正しい発音をマスターすること。毎回の予習、復習、どちらも音声教材を利用して、大きな声で繰り返し発音し、覚えること。 【課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法】 【テキスト・参考書等】 教科書、『どうちがう？似たもの中国語』 相原 茂 蘇紅 朝日出版社 | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | 【成績評価の基準】 1. 2. 3. | | | | |
| 評価基準 | 課題の提出、出席状況や学習態度（60%）オンライン授業の小テスト、期末翻訳文（40%） | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 授業内で適宜に返却する。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | | | | | |
| 参考文献 | | | | | |
| | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | 【連絡先】 担当：鄧鵬宇 E-mail：deng[at]juntendo.ac.jp 【オフィスアワー】 授業終了後、随時対応する。 | | | | |
| 担当教員の実務経験 | | | | | |
| 備考 | | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 | |
| 1 | | 【授業内容】 オリエンテーション 中国という14億人の人口がいる国とは？ 中国語とは？ 授業、試験、評価を説明する 【授業方法】 | | （予習：90分） シラバスをよく確認しておく。中国語学習基礎 Tips 1, 2に目を通しておく （復習：90分） 中国と中国語を知っておく | |

| | | |
|----|---|--|
| 2 | <p>【授業内容】 発音編1 声調と母音</p> <p>【授業方法】</p> | <p>(予習:90分) 音声教材を用い、声調と母音を聞いておく</p> <p>(復習:90分) 音声教材を聞き、母音の違いを把握し正しい発音する</p> |
| 3 | <p>【授業内容】 前回の復習 発音編2 子音</p> <p>【授業方法】</p> | <p>(予習:90分) 音声教材を用い、子音を聞いておく</p> <p>(復習:90分) 音声教材を聞き、子音の違いを聞き分ける</p> |
| 4 | <p>【授業内容】 前回の復習 発音編3 鼻母音</p> <p>【授業方法】</p> | <p>(予習:90分) 音声教材を用い、鼻母音を聞いておく</p> <p>(復習:90分) 音声教材を聞き、鼻母音の違いを把握し発音しながら練習する</p> |
| 5 | <p>【授業内容】 前回の復習 発音編4 声調変化 r化 軽声 ピンインの書き取り練習 あいさつができる</p> <p>【授業方法】</p> | <p>(予習:90分) 音声教材を用い、声調変化とr化を聞いておく</p> <p>(復習:90分) 音声教材を聞き、軽声と声調変化を把握し発音しながら練習する</p> |
| 6 | <p>【授業内容】 音声復習 ピンインの書き取り練習 発音矯正 ヒヤリング、スピーキングの練習 年齢、値段、時刻、日付、曜日 数を使う日常表現ができる</p> <p>【授業方法】</p> | <p>(予習:90分) 音声教材を用い、ピンインを聞いておく</p> <p>(復習:90分) 音声教材を聞き、ピンインの綴りと声調記号を覚える。挨拶言葉をすぐ言えるように練習する</p> |
| 7 | <p>【授業内容】 第1課 新出単語 本文 語法ポイント 数字 自己紹介ができる。</p> <p>【授業方法】</p> | <p>(予習:90分) 音声教材を用い、新出単語と本文を音読し、内容を把握する</p> <p>(復習:90分) 音声教材を聞き、単語、基本表現、本文を身に付ける。似たもの言葉を覚える</p> |
| 8 | <p>【授業内容】 第2課 新出単語 本文 語法ポイント 時刻 数を使う表現ができる</p> <p>【授業方法】</p> | <p>(予習:90分) 音声教材を用い、新出単語と本文を音読し、内容を把握する</p> <p>(復習:90分) 音声教材を聞き、単語、基本表現、本文を身に付ける。似たもの言葉を覚える</p> |
| 9 | <p>【授業内容】 第3課 新出単語 本文 語法ポイント 時量 レストランでの注文ができる</p> <p>【授業方法】</p> | <p>(予習:90分) 音声教材を用い、新出単語と本文を音読し、内容を把握する</p> <p>(復習:90分) 音声教材を聞き、単語、基本表現、本文を身に付ける。似たもの言葉を覚える</p> |
| 10 | <p>【授業内容】 第1～3課の復習 小テスト 音声を聞いて、すぐ返答をする練習 学生同士によるロールプレイング 練習問題 似たものことば</p> <p>【授業方法】</p> | <p>(予習:90分) 音声教材を用い、第1～3課の本文を音読し、内容を把握する</p> <p>(復習:90分) 音声教材を聞き、第1～3課授業で学んだことをしっかり身に付ける。絵で見るシソーラスを覚える</p> |
| 11 | <p>【授業内容】 第4課 新出単語 本文 語法ポイント 反復疑問文 相手の状況を見て、尋ねることができる</p> <p>【授業方法】</p> | <p>(予習:90分) 音声教材を用い、新出単語と本文を音読し、内容を把握する</p> <p>(復習:90分) 音声教材を聞き、単語、基本表現、本文を身に付ける。似たもの言葉を覚える</p> |

| | | | | |
|--|--|--|--|--|
| | | | | |
|--|--|--|--|--|

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

| | | | | | |
|------------------------------|--|------------------------------------|--|---|---------|
| 科目名 | 【新カリ】English Reading | | | 授業形態 | 演習 |
| 英語科目名 | English Reading | | | 対象学年 | 3年 |
| 開講学期 | 2022年度後期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | 堀 智子 | | | ナンバリング | LNG3108 |
| 担当教員 | 堀 智子、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | 【授業全体の内容】 本科目は、演習の授業形態で行われる。1・2年次で学んだ基礎から発展して、就職や進学に備え、英語読解力を更に磨き、英語によって見聞を深めたい学生のニーズに応える。海外のジャーナル等も教材として幅広く用い、国際的教養を深めることも目的とする。 | | | | |
| 到達目標 | 1. 英文を多読することで語彙力を増強し、精読によって英文の構造を理解する。 2. 海外の多様なトピックについて書かれた英語原文を読むことで、異文化理解を深め、グローバルな視点を育てる。 3. TOEFLやIELTSなど各種英語試験リーディング対策も意識しながら、速読など目的に応じた多様な読み方を習得する。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・外国語科目の選択科目（卒業所要単位外）である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目は、「グローバル社会において連携や共働を促進するためのコミュニケーション能力とリーダーシップ」という学位授与方針の達成に寄与する。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | 【履修要件】 特になし | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | 1. 授業内で課される翻訳課題 20% 2. 授業における発言を含めた平常点 20% 3. 内容理解についての授業内試験 60% | | | | |
| 評価基準 | 1. 英文の構造を理解し、辞書やインターネットを適切かつ効果的に用い、内容を正しく理解することができる。（課題、試験） 2. 様々な英文を読む作業を通じて、豊かな語彙力を習得する。（平常点、試験） 3. 時間をかけて丁寧に複雑な英文を読み解く精読、概要を短時間で把握する速読の使い分けができるようになる。（課題、平常点） | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 翻訳課題について授業時間内にフィードバックする。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | World of Wonders: A Brave New World | Anthony Sellick, John Barton 他著 | Seibido | ISBN9784-7919-7191-6 | |
| 参考文献 | | | | | |
| 教科書以外に、学生の関心に応じて適宜プリントを配布する。 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | 【連絡先】 担当：庄子ひとみ E-mail：hi-shoji@juntendo.ac.jp 【オフィスアワー】 日時：火曜日昼休み・4限 場所：1号館3階 1332室 | | | | |
| 担当教員の実務経験 | | | | | |
| 備考 | 【学修時間】 この授業は、演習の授業形態による2単位科目であり、授業時間60時間、予習・復習30時間の計90時間の学修を必要とする。 【その他】 新型コロナウイルス感染症の発生状況により、授業計画等の変更をお願いする可能性がある。 | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 | |
| 1 | 庄子 | 【授業内容】 ガイダンス | 授業の進行や教材、効果的な学習方法について説明し、学生の希望も参考にしながら追加で読む資料の提示をする。 | (予習：1時間) 教科書全体に目を通しておく。 (復習：1時間) 授業で紹介された参考資料やウェブサイト参照し今後の学修に向けた準備をする。 | |

| | | | | |
|----|----|---|--|--|
| 2 | 庄子 | 【授業内容】 社会と文化について書かれた英文を読む。 The World of Culture and Society | 英文の構造を確認しながら英文を理解する。 速読と精読の使い分けを意識しながら読む。 | (予習:1時間) わからない単語は事前に調べておく。 課題として指定されたパラグラフを翻訳する。 (復習:1時間) 自分の訳と比較しながら授業内で確認・修正した内容を振り返る。新しく学んだ語彙は自作の単語帳に記録し日々暗記に努める。 |
| 3 | 庄子 | 【授業内容】 社会と文化について書かれた英文を読む。 The World of Culture and Society | 英文の構造を確認しながら英文を理解する。 速読と精読の使い分けを意識しながら読む。 | (予習:1時間) わからない単語は事前に調べておく。 課題として指定されたパラグラフを翻訳する。 (復習:1時間) 自分の訳と比較しながら授業内で確認・修正した内容を振り返る。新しく学んだ語彙は自作の単語帳に記録し日々暗記に努める。 |
| 4 | 庄子 | 【授業内容】 社会と文化について書かれた英文を読む。 The World of Culture and Society | 英文の構造を確認しながら英文を理解する。 速読と精読の使い分けを意識しながら読む。 | (予習:1時間) わからない単語は事前に調べておく。 課題として指定されたパラグラフを翻訳する。 (復習:1時間) 自分の訳と比較しながら授業内で確認・修正した内容を振り返る。新しく学んだ語彙は自作の単語帳に記録し日々暗記に努める。 |
| 5 | 庄子 | 【授業内容】 科学技術について書かれた英文を読む。 The World of Science and Technology | 英文の構造を確認しながら英文を理解する。 速読と精読の使い分けを意識しながら読む。 | (予習:1時間) わからない単語は事前に調べておく。 課題として指定されたパラグラフを翻訳する。 (復習:1時間) 自分の訳と比較しながら授業内で確認・修正した内容を振り返る。新しく学んだ語彙は自作の単語帳に記録し日々暗記に努める。 |
| 6 | 庄子 | 【授業内容】 科学技術について書かれた英文を読む。 The World of Science and Technology | 英文の構造を確認しながら英文を理解する。 速読と精読の使い分けを意識しながら読む。 | (予習:1時間) わからない単語は事前に調べておく。 課題として指定されたパラグラフを翻訳する。 (復習:1時間) 自分の訳と比較しながら授業内で確認・修正した内容を振り返る。新しく学んだ語彙は自作の単語帳に記録し日々暗記に努める。 |
| 7 | 庄子 | 【授業内容】 科学技術について書かれた英文を読む。 The World of Science and Technology | 英文の構造を確認しながら英文を理解する。 速読と精読の使い分けを意識しながら読む。 | (予習:1時間) わからない単語は事前に調べておく。 課題として指定されたパラグラフを翻訳する。 (復習:1時間) 自分の訳と比較しながら授業内で確認・修正した内容を振り返る。新しく学んだ語彙は自作の単語帳に記録し日々暗記に努める。 |
| 8 | 庄子 | 【授業内容】 ビジネス、経済学分野の英文を読む。 The World of Business and Economics | 英文の構造を確認しながら英文を理解する。 速読と精読の使い分けを意識しながら読む。 | (予習:1時間) わからない単語は事前に調べておく。 課題として指定されたパラグラフを翻訳する。 (復習:1時間) 自分の訳と比較しながら授業内で確認・修正した内容を振り返る。新しく学んだ語彙は自作の単語帳に記録し日々暗記に努める。 |
| 9 | 庄子 | 【授業内容】 ビジネス、経済学分野の英文を読む。 The World of Business and Economics | 英文の構造を確認しながら英文を理解する。 速読と精読の使い分けを意識しながら読む。 | (予習:1時間) わからない単語は事前に調べておく。 課題として指定されたパラグラフを翻訳する。 (復習:1時間) 自分の訳と比較しながら授業内で確認・修正した内容を振り返る。新しく学んだ語彙は自作の単語帳に記録し日々暗記に努める。 |
| 10 | 庄子 | 【授業内容】 ビジネス、経済学分野の英文を読む。 The World of Business and Economics | 英文の構造を確認しながら英文を理解する。 速読と精読の使い分けを意識しながら読む。 | (予習:1時間) わからない単語は事前に調べておく。 課題として指定されたパラグラフを翻訳する。 (復習:1時間) 自分の訳と比較しながら授業内で確認・修正した内容を振り返る。新しく学んだ語彙は自作の単語帳に記録し日々暗記に努める。 |

| | | | | |
|--|--|--|--|--|
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

| | | | | | |
|------------------------|---|------|--------|--------------------|---------|
| 科目名 | 【新カリ】日本国憲法 [後半] | | | 授業形態 | 講義 |
| 英語科目名 | 【新カリ】日本国憲法 [後半] | | | 対象学年 | 1年 |
| 開講学期 | 2022年度前期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | 池田 良彦 | | | ナンバリング | BAS1109 |
| 担当教員 | 池田 良彦、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | <p>【授業全体の内容】 憲法を学ぶ意義は、主権者である国民が政治のあり方を最終的に決定する力をもっていることにあるといえる。日本国憲法が制定（1947年5月3日）されてから70年が過ぎたが、その間に国際情勢が変化し、日本が少なからず影響を受けながらどのようにかかわってきたのかは、この間の日本の歴史を見れば明確であり、今後もわが国の対応が注目されることになる。憲法は、国家の基本法であり、国の制度や国の運営の方法について定められたもので、主権者である国民はこの憲法についての基本的な知識をもつことが必須条件といわなければならない。昨年、選挙権は18歳からと公職選挙法の改正が行われたが、大学生の皆さんは、政治に関心を持つことが必要不可欠ということになった。この授業では103カ条から成る日本国憲法の基本的な考え方を習得し、是非とも憲法問題に関心を示していただくことを念頭に置き授業を進めていきたい。</p> <p>【授業の位置づけ（学位授与方針に定められている知識・能力等との関連）】 この科目は「スポーツ健康科学に関連した幅広い知識を基礎とした教養」という学位授与方針の達成に寄与する。</p> <p>【授業の到達目標】 憲法問題は、連日のようにマスコミが採り上げているが、そこでの議論に理解を示し、自分の意見を論じることができるようになることを目標とする。</p> | | | | |
| 到達目標 | | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・人文・社会科学科目の必修科目である。また、中・高保健体育1種免許取得にあたっての必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | <p>【履修要件】 特になし。 【課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法】 レポート提出日の次の授業の時に解説する。 【テキスト・参考書等】 テキストはとくに指定しないが、憲法の条文は準備すること。（六法を購入する必要はないが、憲法の条文は必要。）</p> | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | <p>【成績評価の基準】 定期的にレポートの提出をもとめ、次の三点を評価の対象とする。 ①テーマに対する理解度、 ②問題点の説明、 ③自説の展開 【成績評価の方法】 レポートの評価（50%）と定期試験（50%）</p> | | | | |
| 評価基準 | | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | | | | | |
| 参考文献 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>【連絡先】 担当：池田良彦 E-mail：：ysikeda [at] df.catv.ne.jp ※ [at] を@に変換してください 【オフィスアワー】 日時：毎週月曜日の2時間目の時間 場所：講師室の部屋</p> | | | | |
| 担当教員の実務経験 | | | | | |
| 備考 | <p>【学修時間】 この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業時間30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。1回の授業時間は100分とする。 【その他】 中・高教諭1種免許（保健体育）取得するための必修科目 科目：教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目（中学校及び高等学校 保健体育） 施行規則に定める科目区分又は事項等：日本国憲法</p> | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 | |

| | | | | |
|----|----|---|--|--|
| 1 | 池田 | <p>【授業内容】 テマ：日本国憲法制定の過程を説明する。大日本帝国憲法と日本国憲法との違いを比較し、講義を進める。 【授業方法】 講義形式でおこなう。</p> | | <p>(予習：3時間) 1 945年(昭和20年)8月15日の終戦が日本史の上でどのような状況にあったのかを高校時代の日本史の教科書で確認しておくこと。 (復習：1時間) 配布資料をよく読むこと。</p> |
| 2 | 池田 | <p>【授業内容】 テマ：天皇制について 「皇室典範」により天皇制が法的に位置づけられているが、今後の天皇制についての問題点を考える。 【授業方法】 配布資料を用いて講義をおこなう。</p> | | <p>(予習：3時間) 天皇の退位問題が話題となっているが、現行法上ではどのように考えられているのか調べておくこと。 (復習：1時間) 配布資料をよく読むこと。</p> |
| 3 | 池田 | <p>【授業内容】 テマ：日本国憲法9条の戦争放棄条項について わが国の政府は、9条に関する見解を日米安保条約との関係で解釈を変更してきたが、その主旨を説明し問題点を考える。 【授業方法】 配布資料を用いて講義をおこなう。</p> | | <p>(予習：3時間) 憲法9条問題を理解するためには、日米安保条約についての理解が必須であり、条約の趣旨を理解しておくこと。 (復習：1時間) 配布資料をよく読んで、憲法と条約の関係を理解すること。</p> |
| 4 | 池田 | <p>【授業内容】 テマ：憲法9条に関する司法解釈について 最高裁の砂川判決を資料として使い説明する。 【授業方法】 配布資料を用いて講義をおこなう。</p> | | <p>(予習：3時間) 憲 法問題は、政治的判断と、憲法上の法解釈とが異なることがあり、その違いを調べて理解しておくことが必要である。 (復習：1時間) 配 布資料を熟読し、政治的判断と法的判断との違いを理解すること。</p> |
| 5 | 池田 | <p>【授業内容】 テマ：基本的人権の基礎を学ぶ。 基本的人権は自由権から始まり、生存権へと発展していくがその基本的な考え方の違いについて理解する。人権の歴史を紹介する。 【授業方法】 配布資料を用いて講義をおこなう。</p> | | <p>(予習：3時間) 人権の歴史は古く、1215年のイギリスのマグナカルタにはじまり、以降1776年のアメリカの独立宣言、1789年のフランス革命があり、その歴史的な背景を理解しておくこと。 (復習：1時間) 配 布資料をよく読んで人権のルーツを理解する。</p> |
| 6 | 池田 | <p>【授業内容】 テマ：三権分立の意義 民主主義の根幹である国の制度のあり方について学ぶ。 【授業方法】 配布資料を用いて講義をおこなう。</p> | | <p>(予習：3時間) モ ンテスキューの「法の精神」によって三権分立が説かれたのでその考え方を調べて欲しい。 (復習：1時間) 配布資料を熟読して理解を深めて欲しい。</p> |
| 7 | 池田 | <p>【授業内容】 テマ：憲法13条の「個人の尊重」について プライバシーの権利は、一世紀前の時代から、現在の権利に至るまでの歴史あり、その発展過程を理解してほしい。 【授業方法】 配布資料を用いて講義をおこなう。</p> | | <p>(予習：3時間) 個 人の尊重はプライバシーの権利としてアメリカで発展してきた権利であり、この権利について調べて理解をして欲しい。 (復習：1時間) 配布資料を読んで理解して欲しい。</p> |
| 8 | 池田 | <p>【授業内容】 テマ：憲法14条の「法の下での平等」について 人種差別問題をはじめ、今日では平等概念が広く主張されるようになったのでその情報を提供する。 【授業方法】 配布資料を用いて講義をおこなう。</p> | | <p>(予習：3時間) 平 等概念はアメリカで発展してきた権利であり、新しい平等概念についても理解を深めて欲しい。 (復習：1時間) 平等問題は広く議論されているので、資料を読んで理解を深めて欲しい。</p> |
| 9 | 池田 | <p>【授業内容】 テマ：思想、良心の自由、表現の自由 表現の自由をはじめ、人間には生まれながらにして自由が付与されていることを理解する必要があることを説明する。 【授業方法】 配布資料を用いて講義をおこなう。</p> | | <p>(予習：3時間) 思 想や表現の自由は、人間に与えられた基本権であり、国家によって制限されるものではないが、世界には表現の自由が厳しく制限されている国家があり、そのような事情を調べて欲しい。 (復習：1時間) 配布資料をよく読んで欲しい。</p> |
| 10 | 池田 | <p>【授業内容】 テマ：刑事被告人の権利について わが国の司法制度について説明をする。 【授業方法】 配布資料を用いて講義をおこなう。</p> | | <p>(予習：3時間) 裁判における被告人の権利について調べて欲しい。 (復習：1時間) 資料を熟読して司法制度の理解を深めて欲しい。</p> |
| 11 | 池田 | <p>【授業内容】 テマ：市民参加型の刑事裁判について 世界の裁判制度について、陪審制(英米)、参審制(ヨーロッパ大陸)を比較して説明する。 【授業方法】 配布資料を用いて講義をおこなう。</p> | | <p>(予習：3時間) 裁判員制度の導入により国民が裁判に関心を持つ機会が多くなったがその問題点を調べてほしい。 (復習：1時間) 配布資料を読んで理解を求めろ。</p> |

| | | | | | |
|--|---|------|--------|--------------------|---------|
| 科目名 | 【新カリ】文章表現法 ① | | | 授業形態 | 講義 |
| 英語科目名 | 【新カリ】文章表現法 ① | | | 対象学年 | 1年 |
| 開講学期 | 2022年度前期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | 大野 早苗 | | | ナンバリング | BAS1110 |
| 担当教員 | 大野 早苗、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | 自分の思考や経験、感情を文章として表現する力は、大学での学びを支えるものであり、さらに、豊かな社会生活を送るための基礎となるものである。 本講義では、前半では主に創造的な文章を、後半では主に論理的な文章を書く練習をすることによって、文章で表現する力を涵養する。 | | | | |
| 到達目標 | 1. 自分の思考や経験、感情等を自由に書けるようになる。 2. 必要に応じて他者の言説の引用やデータの紹介を含めながら、自分の意見を筋道を立てて述べる文章が書けるようになる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・人文・社会科学科目の必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目は「スポーツ健康科学に関連した幅広い知識を基礎とした教養」という学位授与方針の達成に寄与する。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | [履修要件] 指定されたクラスで履修すること。 [履修上の注意（科目独自のルール）] 配布プリント、および、自分の書いた課題作文を、いつでも参照できる状態で保管するためのファイル（A4サイズ）を準備すること。 | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | 毎回の授業の課題作文を下記基準に沿って採点する（各回、10点～20点満点）。最終的に、課題作文の採点の合計を100点満点に換算して成績評価とする。 | | | | |
| 評価基準 | 1. 各回の学習項目に沿って、課題作文が書ける。 2. 求められた字数以上で課題作文が書ける。 | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 課題作文は、添削、評価して次回の授業時に返却する。 返却時に、評価基準を説明するとともに、必要に応じて修正や書き直しの時間を設ける。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | | | | | |
| 参考文献 | | | | | |
| 1. 石黒圭（2009）『よくわかる 文章表現の技術Ⅱ-文章構成編- [新版]』明治書院 2. 二通信子・大島弥生・佐藤勢紀子・因京子・山本富美子（2009）『留学生と日本人学生のためのレポート・論文表現ハンドブック』東京大学出版会 3. 田中真理・阿部新『Good Writingへのパスポート-読み手と構成を意識した日本語ライティング』くろしお出版 4. 大島弥生・池田玲子・大場理恵子・加納なおみ・高橋淑郎・岩田夏穂（2014）『ピアで学ぶ大学生の日本語表現 第2版-プロセス重視のレポート作成-』ひつじ書房 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | [連絡先] 担当：大野早苗 E-mail：sanaeo[at]juntendo.ac.jp ※[at]を@に変更してください。 [オフィスアワー] 日時：木曜日12:20～14:00 場所：1号館3階1336号室 | | | | |
| 担当教員の実務経験 | | | | | |
| 備考 | [学修時間] この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、90時間（授業30時間以上を含む）の学修を必要とする内容をもって構成する。 [その他] 新型コロナウイルス感染症の発生状況により、授業計画等の変更をお願いする可能性がある。 | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 | |

| | | | | |
|----|----|---|------------|---|
| 1 | 大野 | <p>〔授業内容〕 テーマ：自分の書く力を確認する。 長い文章を書くことに挑戦する。与えられた課題で、どれだけの長さの文章が書けるか、試してみる。</p> | 講義 | <p>(予習：1時間) シラバス全体に目を通し、授業の目的と進め方を確認しておく。</p> <p>(復習：3時間) 授業中に指示されたテーマ、字数で作文を書く。</p> |
| 2 | 大野 | <p>〔授業内容〕 テーマ：書き言葉と話し言葉の違いを知る。 話し言葉が発話の状況や話し手と聞き手の共有知識にいかにか依存しているかを確認し、書き言葉では多くのことを表現しなければ読み手にしっかりと情報が伝わらないことを知る。 学生同士ペアになり、互いに自分は知っているが相手は知らないことについて述べる文章を書き、どれくらい相手に伝わるか、確認してみる。</p> | 講義・ペアワーク | <p>(予習：1時間) 参考図書『Good Writingへのパスポート-読み手と構成を意識した日本語ライティング』pp.12-20を読み、読み手に伝わるように書くためには、何が必要かを理解する。</p> <p>(復習：3時間) 授業中に提示されたテーマ、字数で作文を書く。</p> |
| 3 | 大野 | <p>〔授業内容〕 テーマ：視覚的イメージを言葉で描写する。 日常的によく目にするものをよく観察し、言葉で描写する。このことを通じて、自分に見えているもの、感じていることを言葉に表す際に必要な情報が何かを知る。 書き上げた文章は、グループで共有し、互いに批評し合う。</p> | 講義・グループワーク | <p>(予習：2時間) 参考図書『Good Writingへのパスポート-読み手と構成を意識した日本語ライティング』pp.52-60を読み、見えているものの描写のしかたを理解する。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた文章を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 4 | 大野 | <p>〔授業内容〕 テーマ：創造的文章を作成する(1)。 短篇小说を読み、登場人物の性格や行動、それまでの人間関係、起きた出来事をしっかりと読み取り、その後の展開を想像して続編を書く。 書き上げた文章は、グループで共有し、互いに批評し合う。</p> | 講義・グループワーク | <p>(予習：2時間) 参考図書『よくわかる 文章表現の技術Ⅱ-文章構成編- [新版]』pp.61-81を読み、文章の始まりと結末がどのように呼応するかを理解する。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた文章を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 5 | 大野 | <p>〔授業内容〕 テーマ：創造的文章を作成する(2)。 4コマ漫画を見て、その展開をもとにして、短編の小説あるいは随筆を書く。 書き上げた文章は、グループで共有し、互いに批評し合う。</p> | 講義・グループワーク | <p>(予習：2時間) 参考図書『よくわかる 文章表現の技術Ⅱ-文章構成編- [新版]』pp.161-178を読み、出来事の展開をどのように書くかを理解する。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた文章を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 6 | 大野 | <p>〔授業内容〕 テーマ：創造的文章を作成する(3)。 詩歌をもとに、物語を創作する。想像力をもって言葉を受け止め、創造力をもって言葉をつむぐ。 書き上げた文章は、グループで共有し、互いに批評し合う。</p> | 講義・グループワーク | <p>(予習：2時間) 第3～5回の授業で書いた文章を見返し、見えているものの描写、文章の始まりと結末の呼応、出来事の展開の書き方などを整理しておく。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた文章を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 7 | 大野 | <p>〔授業内容〕 テーマ：意見を述べる(1)。 スポーツマンシップに反する行動をしようとしている友人に対し、それをいさめる手紙・メールを書く。友人を説得するために何を言わなければならないかを考え、必要な情報を収集する。 学生同士ペアになり、互いの手紙を読んで、説得力があるかどうか、話し合う。</p> | 講義・ペアワーク | <p>(予習：2時間) 課題作文の準備として、スポーツマンシップとは何かについて、必要に応じて文献等を参照しながら、整理しておく。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた手紙を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 8 | 大野 | <p>〔授業内容〕 テーマ：意見を述べる(2)。 前回の授業で書いた手紙の内容をもとに、特定の個人宛ではなく、意見文として、スポーツマンシップの大切さを説く文章を書く。筋道の通った文章となるように、論の構成をよく考える。 学生同士ペアになり、互いの文章を読んで、説得力があるかどうか、話し合う。</p> | 講義・ペアワーク | <p>(予習：2時間) 新聞社説等を読んで、意見や見解を述べる文章の展開はどのようなものか、考える。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた手紙を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 9 | 大野 | <p>〔授業内容〕 テーマ：引用して書く(1)。 他者の言説を引用する際の注意点を学ぶ。書籍や論文などについての情報(著者、発表年、発行所など)をどのようにして得るかを知り、引用する際に必要な情報を示す練習をする。</p> | 講義 | <p>(予習：2時間) 参考図書『留学生と日本人学生のためのレポート・論文表現ハンドブック』pp.69-75を参考に、引用の方法の基本を理解する。</p> <p>(復習：2時間) 授業で示された文献を使って、引用文を書く練習をする。</p> |
| 10 | 大野 | <p>〔授業内容〕 テーマ：引用して書く(2)。 他者の言説をもとに考えを深め、引用して筋道の通った文章を書く。筋道の通った文章となるように、論の構成をよく考える。 学生同士ペアになり、互いの文章を読んで、適切に引用ができていないか、確認し合う。</p> | 講義・ペアワーク | <p>(予習：1時間) 引用を含む文章を書く準備として、授業で示された複数の文献に目を通しておく。</p> <p>(復習：3時間) 授業中に書いた文章を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |

| | | | | |
|--|--|--|--|--|
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

| | | | | | |
|---|---|---|--------|---|---------|
| 科目名 | 【新カリ】文章表現法 ② | | | 授業形態 | 講義 |
| 英語科目名 | 【新カリ】文章表現法 ② | | | 対象学年 | 1年 |
| 開講学期 | 2022年度前期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | 沢野 美由紀 | | | ナンバリング | BAS1110 |
| 担当教員 | 沢野 美由紀、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | 自分の思考や経験、感情を文章として表現する力は、大学での学びを支えるものであり、さらに、豊かな社会生活を送るための基礎となるものである。 本講義では、前半では主に創造的な文章を、後半では主に論理的な文章を書く練習をすることによって、文章で表現する力を涵養する。 | | | | |
| 到達目標 | 1. 自分の思考や経験、感情等を自由に書けるようになる。 2. 必要に応じて他者の言説の引用やデータの紹介を含めながら、自分の意見を筋道を立てて述べる文章が書けるようになる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・人文・社会科学科目の必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目は「スポーツ健康科学に関連した幅広い知識を基礎とした教養」という学位授与方針の達成に寄与する。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | [履修要件] 指定されたクラスで履修すること。 [履修上の注意（科目独自のルール）] 配布プリント、および、自分の書いた課題作文を、いつでも参照できる状態で保管するためのファイル（A4サイズ）を準備すること。 | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | 毎回の授業の課題作文を上記基準に沿って採点する（各回、10点～20点満点）。最終的に、課題作文の採点の合計を100点満点に換算して成績評価とする。 | | | | |
| 評価基準 | 1. 各回の学習項目に沿って、課題作文が書ける。 2. 求められた字数以上で課題作文が書ける。 | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 課題作文は、添削、評価して次回の授業時に返却する。 返却時に、評価基準を説明するとともに、必要に応じて修正や書き直しの時間を設ける。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | | | | | |
| 参考文献 | | | | | |
| 1. 石黒圭 (2009) 『よくわかる 文章表現の技術Ⅱ-文章構成編- [新版]』 明治書院 2. 二通信子・大島弥生・佐藤勢紀子・因京子・山本富美子 (2009) 『留学生と日本人学生のためのレポート・論文表現ハンドブック』 東京大学出版会 3. 田中真理・阿部新 『Good Writingへのパスポート-読み手と構成を意識した日本語ライティング』 くろしお出版 4. 大島弥生・池田玲子・大場理恵子・加納なおみ・高橋淑郎・岩田夏穂 (2014) 『ピアで学ぶ大学生の日本語表現 第2版-プロセス重視のレポート作成-』 ひつじ書房 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | [連絡先] 担当： 沢野美由紀 E-mail : m-sawano[at] juntendo. ac. jp ※[at]を@に変更してください。 [オフィスアワー] | | | | |
| 担当教員の実務経験 | | | | | |
| 備考 | [学修時間] この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、90時間（授業30時間以上を含む）の学修を必要とする内容をもって構成する。 [その他] 新型コロナウイルス感染症の発生状況により、授業計画等の変更をお願いする可能性がある。 | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 | |
| 1 | 沢野 | [授業内容] テーマ：自分の書く力を確認する。 長い文章を書くことに挑戦する。与えられた課題で、どれだけの長さの文章が書けるか、試してみる。” | 講義 | (予習：1時間) シラバス全体に目を通し、授業の目的と進め方を確認しておく。 (復習：3時間) 授業中に指示されたテーマ、字数で作文を書く。 | |

| | | | | |
|----|----|---|------------|---|
| 2 | 沢野 | <p>[授業内容] テーマ：書き言葉と話し言葉の違いを知る。 話し言葉が発話の状況や話し手と聞き手の共有知識にいかにか依存しているかを確認し、書き言葉では多くのことを表現しなければ読み手にしっかりと情報が伝わらないことを知る。 学生同士ペアになり、互いに自分は知っているが相手は知らないことについて述べる文章を書き、どれくらい相手に伝わるか、確認してみる。</p> | 講義・ペアワーク | <p>(予習：1時間) 参考図書『Good Writingへのパスポート-読み手と構成を意識した日本語ライティング』pp.12-20を読み、読み手に伝わるように書くためには、何が必要かを理解する。</p> <p>(復習：3時間) 授業中に提示されたテーマ、字数で作文を書く。</p> |
| 3 | 沢野 | <p>[授業内容] テーマ：視覚的イメージを言葉で描写する。 日常的によく目にするものをよく観察し、言葉で描写する。このことを通じて、自分に見えているもの、感じているものを言葉に表す際に必要な情報が何かを知る。 書き上げた文章は、グループで共有し、互いに批評し合う。</p> | 講義・グループワーク | <p>(予習：2時間) 参考図書『Good Writingへのパスポート-読み手と構成を意識した日本語ライティング』pp.52-60を読み、見えているものの描写のしかたを理解する。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた文章を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 4 | 沢野 | <p>[授業内容] テーマ：創造的文章を作成する(1)。 短篇小说を読み、登場人物の性格や行動、それまでの人間関係、起きた出来事をしっかりと読み取り、その後の展開を想像して続編を書く。 書き上げた文章は、グループで共有し、互いに批評し合う。</p> | 講義・グループワーク | <p>(予習：2時間) 参考図書『よくわかる 文章表現の技術Ⅱ-文章構成編- [新版]』pp.61-81を読み、文章の始まりと結末がどのように呼応するかを理解する。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた文章を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 5 | 沢野 | <p>[授業内容] テーマ：創造的文章を作成する(2)。 4コマ漫画を見て、その展開をもとにして、短編の小説あるいは随筆を書く。 書き上げた文章は、グループで共有し、互いに批評し合う。</p> | 講義・グループワーク | <p>(予習：2時間) 参考図書『よくわかる 文章表現の技術Ⅱ-文章構成編- [新版]』pp.161-178を読み、出来事の展開をどのように書くかを理解する。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた文章を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 6 | 沢野 | <p>[授業内容] テーマ：創造的文章を作成する(3)。 詩歌をもとに、物語を創作する。想像力をもって言葉を受け止め、創造力をもって言葉をつむぐ。 書き上げた文章は、グループで共有し、互いに批評し合う。</p> | 講義・グループワーク | <p>(予習：2時間) 第3～5回の授業で書いた文章を見返し、見えているもの描写、文章の始まりと結末の呼応、出来事の展開の書き方などを整理しておく。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた文章を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 7 | 沢野 | <p>[授業内容] テーマ：意見を述べる(1)。 スポーツマンシップに反する行動をしようとしている友人に対し、それをいさめる手紙・メールを書く。友人を説得するために何を言わなければならないかを考え、必要な情報を収集する。 学生同士ペアになり、互いの手紙を読んで、説得力があるかどうか、話し合う。</p> | 講義・ペアワーク | <p>(予習：2時間) 課題作文の準備として、スポーツマンシップとは何かについて、必要に応じて文献等を参照しながら、整理しておく。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた手紙を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 8 | 沢野 | <p>[授業内容] テーマ：意見を述べる(2)。 前回の授業で書いた手紙の内容をもとに、特定の個人宛ではなく、意見文として、スポーツマンシップの大切さを説く文章を書く。筋道の通った文章となるように、論の構成をよく考える。 学生同士ペアになり、互いの文章を読んで、説得力があるかどうか、話し合う。</p> | 講義・ペアワーク | <p>(予習：2時間) 新聞社説等を読んで、意見や見解を述べる文章の展開はどのようなものか、考える。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた手紙を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 9 | 沢野 | <p>[授業内容] テーマ：引用して書く(1)。 他者の言説を引用する際の注意点を学ぶ。書籍や論文などについての情報(著者、発表年、発行所など)をどのようにして得るかを知り、引用する際に必要な情報を示す練習をする。</p> | 講義 | <p>(予習：2時間) 参考図書『留学生と日本人学生のためのレポート・論文表現ハンドブック』pp.69-75を参考に、引用の方法の基本を理解する。</p> <p>(復習：2時間) 授業で示された文献を使って、引用文を書く練習をする。</p> |
| 10 | 沢野 | <p>[授業内容] テーマ：引用して書く(2)。 他者の言説をもとに考えを深め、引用して筋道の通った文章を書く。筋道の通った文章となるように、論の構成をよく考える。 学生同士ペアになり、互いの文章を読んで、適切に引用ができていないか、確認し合う。</p> | 講義・ペアワーク | <p>(予習：1時間) 引用を含む文章を書く準備として、授業で示された複数の文献に目を通しておく。</p> <p>(復習：3時間) 授業中に書いた文章を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |

| | | | | |
|--|--|--|--|--|
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

| | | | | | |
|--|---|------|--------|--------------------|---------|
| 科目名 | 【新カリ】文章表現法 ⑥ | | | 授業形態 | 講義 |
| 英語科目名 | 【新カリ】文章表現法 ⑥ | | | 対象学年 | 1年 |
| 開講学期 | 2022年度前期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | 大野 早苗 | | | ナンバリング | BAS1110 |
| 担当教員 | 大野 早苗、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | 自分の思考や経験、感情を文章として表現する力は、大学での学びを支えるものであり、さらに、豊かな社会生活を送るための基礎となるものである。 本講義では、前半では主に創造的な文章を、後半では主に論理的な文章を書く練習をすることによって、文章で表現する力を涵養する。 | | | | |
| 到達目標 | 1. 自分の思考や経験、感情等を自由に書けるようになる。 2. 必要に応じて他者の言説の引用やデータの紹介を含めながら、自分の意見を筋道を立てて述べる文章が書けるようになる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・人文・社会科学科目の必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目は「スポーツ健康科学に関連した幅広い知識を基礎とした教養」という学位授与方針の達成に寄与する。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | [履修要件] 指定されたクラスで履修すること。 [履修上の注意（科目独自のルール）] 配布プリント、および、自分の書いた課題作文を、いつでも参照できる状態で保管するためのファイル（A4サイズ）を準備すること。 | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | 毎回の授業の課題作文を下記基準に沿って採点する（各回、10点～20点満点）。最終的に、課題作文の採点の合計を100点満点に換算して成績評価とする。 | | | | |
| 評価基準 | 1. 各回の学習項目に沿って、課題作文が書ける。 2. 求められた字数以上で課題作文が書ける。 | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 課題作文は、添削、評価して次回の授業時に返却する。 返却時に、評価基準を説明するとともに、必要に応じて修正や書き直しの時間を設ける。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | | | | | |
| 参考文献 | | | | | |
| 1. 石黒圭（2009）『よくわかる 文章表現の技術Ⅱ-文章構成編- [新版]』明治書院 2. 二通信子・大島弥生・佐藤勢紀子・因京子・山本富美子（2009）『留学生と日本人学生のためのレポート・論文表現ハンドブック』東京大学出版会 3. 田中真理・阿部新『Good Writingへのパスポート-読み手と構成を意識した日本語ライティング』くろしお出版 4. 大島弥生・池田玲子・大場理恵子・加納なおみ・高橋淑郎・岩田夏穂（2014）『ピアで学ぶ大学生の日本語表現 第2版-プロセス重視のレポート作成-』ひつじ書房 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | [連絡先] 担当：大野早苗 E-mail：sanaeo[at]juntendo.ac.jp ※[at]を@に変更してください。 [オフィスアワー] 日時：木曜日12:20～14:00 場所：1号館3階1336号室 | | | | |
| 担当教員の実務経験 | | | | | |
| 備考 | [学修時間] この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、90時間（授業30時間以上を含む）の学修を必要とする内容をもって構成する。 [その他] 新型コロナウイルス感染症の発生状況により、授業計画等の変更をお願いする可能性がある。 | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 | |

| | | | | |
|----|----|---|------------|---|
| 1 | 大野 | <p>〔授業内容〕 テーマ：自分の書く力を確認する。 長い文章を書くことに挑戦する。与えられた課題で、どれだけの長さの文章が書けるか、試してみる。</p> | 講義 | <p>(予習：1時間) シラバス全体に目を通し、授業の目的と進め方を確認しておく。</p> <p>(復習：3時間) 授業中に指示されたテーマ、字数で作文を書く。</p> |
| 2 | 大野 | <p>〔授業内容〕 テーマ：書き言葉と話し言葉の違いを知る。 話し言葉が発話の状況や話し手と聞き手の共有知識にいかにか依存しているかを確認し、書き言葉では多くのことを表現しなければ読み手にしっかりと情報が伝わらないことを知る。 学生同士ペアになり、互いに自分は知っているが相手は知らないことについて述べる文章を書き、どれくらい相手に伝わるか、確認してみる。</p> | 講義・ペアワーク | <p>(予習：1時間) 参考図書『Good Writingへのパスポート-読み手と構成を意識した日本語ライティング』pp.12-20を読み、読み手に伝わるように書くためには、何が必要かを理解する。</p> <p>(復習：3時間) 授業中に提示されたテーマ、字数で作文を書く。</p> |
| 3 | 大野 | <p>〔授業内容〕 テーマ：視覚的イメージを言葉で描写する。 日常的によく目にするものをよく観察し、言葉で描写する。このことを通じて、自分に見えているもの、感じていることを言葉に表す際に必要な情報が何かを知る。 書き上げた文章は、グループで共有し、互いに批評し合う。</p> | 講義・グループワーク | <p>(予習：2時間) 参考図書『Good Writingへのパスポート-読み手と構成を意識した日本語ライティング』pp.52-60を読み、見えているものの描写のしかたを理解する。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた文章を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 4 | 大野 | <p>〔授業内容〕 テーマ：創造的文章を作成する(1)。 短篇小说を読み、登場人物の性格や行動、それまでの人間関係、起きた出来事をしっかりと読み取り、その後の展開を想像して続編を書く。 書き上げた文章は、グループで共有し、互いに批評し合う。</p> | 講義・グループワーク | <p>(予習：2時間) 参考図書『よくわかる 文章表現の技術Ⅱ-文章構成編- [新版]』pp.61-81を読み、文章の始まりと結末がどのように呼応するかを理解する。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた文章を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 5 | 大野 | <p>〔授業内容〕 テーマ：創造的文章を作成する(2)。 4コマ漫画を見て、その展開をもとにして、短編の小説あるいは随筆を書く。 書き上げた文章は、グループで共有し、互いに批評し合う。</p> | 講義・グループワーク | <p>(予習：2時間) 参考図書『よくわかる 文章表現の技術Ⅱ-文章構成編- [新版]』pp.161-178を読み、出来事の展開をどのように書くかを理解する。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた文章を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 6 | 大野 | <p>〔授業内容〕 テーマ：創造的文章を作成する(3)。 詩歌をもとに、物語を創作する。想像力をもって言葉を受け止め、創造力をもって言葉をつむぐ。 書き上げた文章は、グループで共有し、互いに批評し合う。</p> | 講義・グループワーク | <p>(予習：2時間) 第3~5回の授業で書いた文章を見返し、見えているものの描写、文章の始まりと結末の呼応、出来事の展開の書き方などを整理しておく。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた文章を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 7 | 大野 | <p>〔授業内容〕 テーマ：意見を述べる(1)。 スポーツマンシップに反する行動をしようとしている友人に対し、それをいさめる手紙・メールを書く。友人を説得するために何を言わなければならないかを考え、必要な情報を収集する。 学生同士ペアになり、互いの手紙を読んで、説得力があるかどうか、話し合う。</p> | 講義・ペアワーク | <p>(予習：2時間) 課題作文の準備として、スポーツマンシップとは何かについて、必要に応じて文献等を参照しながら、整理しておく。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた手紙を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 8 | 大野 | <p>〔授業内容〕 テーマ：意見を述べる(2)。 前回の授業で書いた手紙の内容をもとに、特定の個人宛ではなく、意見文として、スポーツマンシップの大切さを説く文章を書く。筋道の通った文章となるように、論の構成をよく考える。 学生同士ペアになり、互いの文章を読んで、説得力があるかどうか、話し合う。</p> | 講義・ペアワーク | <p>(予習：2時間) 新聞社説等を読んで、意見や見解を述べる文章の展開はどのようなものか、考える。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた手紙を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 9 | 大野 | <p>〔授業内容〕 テーマ：引用して書く(1)。 他者の言説を引用する際の注意点を学ぶ。書籍や論文などについての情報(著者、発表年、発行所など)をどのようにして得るかを知り、引用する際に必要な情報を示す練習をする。</p> | 講義 | <p>(予習：2時間) 参考図書『留学生と日本人学生のためのレポート・論文表現ハンドブック』pp.69-75を参考に、引用の方法の基本を理解する。</p> <p>(復習：2時間) 授業で示された文献を使って、引用文を書く練習をする。</p> |
| 10 | 大野 | <p>〔授業内容〕 テーマ：引用して書く(2)。 他者の言説をもとに考えを深め、引用して筋道の通った文章を書く。筋道の通った文章となるように、論の構成をよく考える。 学生同士ペアになり、互いの文章を読んで、適切に引用ができていないか、確認し合う。</p> | 講義・ペアワーク | <p>(予習：1時間) 引用を含む文章を書く準備として、授業で示された複数の文献に目を通しておく。</p> <p>(復習：3時間) 授業中に書いた文章を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |

| | | | | |
|--|--|--|--|--|
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

| | | | | | |
|---|---|---|--------|---|---------|
| 科目名 | 【新カリ】文章表現法 ⑦ | | | 授業形態 | 講義 |
| 英語科目名 | 【新カリ】文章表現法 ⑦ | | | 対象学年 | 1年 |
| 開講学期 | 2022年度前期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | 杉山 和也 | | | ナンバリング | BAS1110 |
| 担当教員 | 杉山 和也、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | 自分の思考や経験、感情を文章として表現する力は、大学での学びを支えるものであり、さらに、豊かな社会生活を送るための基礎となるものである。 本講義では、前半では主に創造的な文章を、後半では主に論理的な文章を書く練習をすることによって、文章で表現する力を涵養する。 | | | | |
| 到達目標 | 1. 自分の思考や経験、感情等を自由に書けるようになる。 2. 必要に応じて他者の言説の引用やデータの紹介を含めながら、自分の意見を筋道を立てて述べる文章が書けるようになる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・人文・社会科学科目の必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目は「スポーツ健康科学に関連した幅広い知識を基礎とした教養」という学位授与方針の達成に寄与する。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | [履修要件] 指定されたクラスで履修すること。 [履修上の注意（科目独自のルール）] 配布プリント、および、自分の書いた課題作文を、いつでも参照できる状態で保管するためのファイル（A4サイズ）を準備すること。 | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | 毎回の授業の課題作文を下記基準に沿って採点する（各回、10点～20点満点）。最終的に、課題作文の採点の合計を100点満点に換算して成績評価とする。 | | | | |
| 評価基準 | 1. 各回の学習項目に沿って、課題作文が書ける。 2. 求められた字数以上で課題作文が書ける。 | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 課題作文は、添削、評価して次回の授業時に返却する。 返却時に、評価基準を説明するとともに、必要に応じて修正や書き直しの時間を設ける。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | | | | | |
| 参考文献 | | | | | |
| 1. 石黒圭 (2009) 『よくわかる 文章表現の技術Ⅱ-文章構成編- [新版]』 明治書院 2. 二通信子・大島弥生・佐藤勢紀子・因京子・山本富美子 (2009) 『留学生と日本人学生のためのレポート・論文表現ハンドブック』 東京大学出版会 3. 田中真理・阿部新 『Good Writingへのパスポート-読み手と構成を意識した日本語ライティング』 くろしお出版 4. 大島弥生・池田玲子・大場理恵子・加納なおみ・高橋淑郎・岩田夏穂 (2014) 『ピアで学ぶ大学生の日本語表現 第2版-プロセス重視のレポート作成-』 ひつじ書房 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | 【連絡先】 担当： 杉山 和也 E-mail : k.sugiyama.rn@juntendo.ac.jp 【オフィスアワー】 授業後に1303号室、ないし上記メールアドレス | | | | |
| 担当教員の実務経験 | | | | | |
| 備考 | [学修時間] この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、90時間（授業30時間以上を含む）の学修を必要とする内容をもって構成する。 [その他] 新型コロナウイルス感染症の発生状況により、授業計画等の変更をお願いする可能性がある。 | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 | |
| 1 | 杉山和也 | [授業内容] テーマ：自分の書く力を確認する。 長い文章を書くことに挑戦する。与えられた課題で、どれだけの長さの文章が書けるか、試してみる。” | 講義 | (予習：1時間) シラバス全体に目を通し、授業の目的と進め方を確認しておく。 (復習：3時間) 授業中に指示されたテーマ、字数で作文を書く。 | |

| | | | | |
|----|------|---|------------|---|
| 2 | 杉山和也 | <p>[授業内容] テーマ：書き言葉と話し言葉の違いを知る。 話し言葉が発話の状況や話し手と聞き手の共有知識にいかにか依存しているかを確認し、書き言葉では多くのことを表現しなければ読み手にしっかりと情報が伝わらないことを知る。 学生同士ペアになり、互いに自分は知っているが相手は知らないことについて述べる文章を書き、どれくらい相手に伝わるか、確認してみる。</p> | 講義・ペアワーク | <p>(予習：1時間) 参考図書『Good Writingへのパスポート-読み手と構成を意識した日本語ライティング』pp.12-20を読み、読み手に伝わるように書くためには、何が必要かを理解する。</p> <p>(復習：3時間) 授業中に提示されたテーマ、字数で作文を書く。</p> |
| 3 | 杉山和也 | <p>[授業内容] テーマ：視覚的イメージを言葉で描写する。 日常的によく目にするものをよく観察し、言葉で描写する。このことを通じて、自分に見えているもの、感じていることを言葉に表す際に必要な情報が何かを知る。 書き上げた文章は、グループで共有し、互いに批評し合う。</p> | 講義・グループワーク | <p>(予習：2時間) 参考図書『Good Writingへのパスポート-読み手と構成を意識した日本語ライティング』pp.52-60を読み、見えているものの描写のしかたを理解する。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた文章を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 4 | 杉山和也 | <p>[授業内容] テーマ：創造的文章を作成する(1)。 短篇小説を読み、登場人物の性格や行動、それまでの人間関係、起きた出来事をしっかりと読み取り、その後の展開を想像して続編を書く。 書き上げた文章は、グループで共有し、互いに批評し合う。</p> | 講義・グループワーク | <p>(予習：2時間) 参考図書『よくわかる 文章表現の技術Ⅱ-文章構成編- [新版]』pp.61-81を読み、文章の始まりと結末がどのように呼応するかを理解する。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた文章を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 5 | 杉山和也 | <p>[授業内容] テーマ：創造的文章を作成する(2)。 4コマ漫画を見て、その展開をもとにして、短編の小説あるいは随筆を書く。 書き上げた文章は、グループで共有し、互いに批評し合う。</p> | 講義・グループワーク | <p>(予習：2時間) 参考図書『よくわかる 文章表現の技術Ⅱ-文章構成編- [新版]』pp.161-178を読み、出来事の展開をどのように書くかを理解する。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた文章を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 6 | 杉山和也 | <p>[授業内容] テーマ：創造的文章を作成する(3)。 詩歌をもとに、物語を創作する。想像力をもって言葉を受け止め、創造力をもって言葉をつむぐ。 書き上げた文章は、グループで共有し、互いに批評し合う。</p> | 講義・グループワーク | <p>(予習：2時間) 第3～5回の授業で書いた文章を見返し、見えているものの描写、文章の始まりと結末の呼応、出来事の展開の書き方などを整理しておく。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた文章を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 7 | 杉山和也 | <p>[授業内容] テーマ：意見を述べる(1)。 スポーツマンシップに反する行動をしようとしている友人に対し、それをいさめる手紙・メールを書く。友人を説得するために何を言わなければならないかを考え、必要な情報を収集する。 学生同士ペアになり、互いの手紙を読んで、説得力があるかどうか、話し合う。</p> | 講義・ペアワーク | <p>(予習：2時間) 課題作文の準備として、スポーツマンシップとは何かについて、必要に応じて文献等を参照しながら、整理しておく。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた手紙を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 8 | 杉山和也 | <p>[授業内容] テーマ：意見を述べる(2)。 前回の授業で書いた手紙の内容をもとに、特定の個人宛ではなく、意見文として、スポーツマンシップの大切さを説く文章を書く。筋道の通った文章となるように、論の構成をよく考える。 学生同士ペアになり、互いの文章を読んで、説得力があるかどうか、話し合う。</p> | 講義・ペアワーク | <p>(予習：2時間) 新聞社説等を読んで、意見や見解を述べる文章の展開はどのようなものか、考える。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた手紙を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 9 | 杉山和也 | <p>[授業内容] テーマ：引用して書く(1)。 他者の言説を引用する際の注意点を学ぶ。書籍や論文などについての情報(著者、発表年、発行所など)をどのようにして得るかを知り、引用する際に必要な情報を示す練習をする。</p> | 講義 | <p>(予習：2時間) 参考図書『留学生と日本人学生のためのレポート・論文表現ハンドブック』pp.69-75を参考に、引用の方法の基本を理解する。</p> <p>(復習：2時間) 授業で示された文献を使って、引用文を書く練習をする。</p> |
| 10 | 杉山和也 | <p>[授業内容] テーマ：引用して書く(2) 他者の言説をもとに考えを深め、引用して筋道の通った文章を書く。筋道の通った文章となるように、論の構成をよく考える。 学生同士ペアになり、互いの文章を読んで、適切に引用ができていないか、確認し合う。</p> | 講義・ペアワーク | <p>(予習：1時間) 引用を含む文章を書く準備として、授業で示された複数の文献に目を通しておく。</p> <p>(復習：3時間) 授業中に書いた文章を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |

| | | | | |
|--|--|--|--|--|
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

| | | | | | |
|---|---|---|--------|---|---------|
| 科目名 | 【新カリ】文章表現法 ① | | | 授業形態 | 講義 |
| 英語科目名 | 【新カリ】文章表現法 ① | | | 対象学年 | 1年 |
| 開講学期 | 2022年度前期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | 杉山 和也 | | | ナンバリング | BAS1110 |
| 担当教員 | 杉山 和也、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | 自分の思考や経験、感情を文章として表現する力は、大学での学びを支えるものであり、さらに、豊かな社会生活を送るための基礎となるものである。 本講義では、前半では主に創造的な文章を、後半では主に論理的な文章を書く練習をすることによって、文章で表現する力を涵養する。 | | | | |
| 到達目標 | 1. 自分の思考や経験、感情等を自由に書けるようになる。 2. 必要に応じて他者の言説の引用やデータの紹介を含めながら、自分の意見を筋道を立てて述べる文章が書けるようになる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・人文・社会科学科目の必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目は「スポーツ健康科学に関連した幅広い知識を基礎とした教養」という学位授与方針の達成に寄与する。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | [履修要件] 指定されたクラスで履修すること。 [履修上の注意（科目独自のルール）] 配布プリント、および、自分の書いた課題作文を、いつでも参照できる状態で保管するためのファイル（A4サイズ）を準備すること。 | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | 毎回の授業の課題作文を下記基準に沿って採点する（各回、10点～20点満点）。最終的に、課題作文の採点の合計を100点満点に換算して成績評価とする。 | | | | |
| 評価基準 | 1. 各回の学習項目に沿って、課題作文が書ける。 2. 求められた字数以上で課題作文が書ける。 | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 課題作文は、添削、評価して次回の授業時に返却する。 返却時に、評価基準を説明するとともに、必要に応じて修正や書き直しの時間を設ける。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | | | | | |
| 参考文献 | | | | | |
| 1. 石黒圭 (2009) 『よくわかる 文章表現の技術Ⅱ-文章構成編- [新版]』 明治書院 2. 二通信子・大島弥生・佐藤勢紀子・因京子・山本富美子 (2009) 『留学生と日本人学生のためのレポート・論文表現ハンドブック』 東京大学出版会 3. 田中真理・阿部新 『Good Writingへのパスポート-読み手と構成を意識した日本語ライティング』 くろしお出版 4. 大島弥生・池田玲子・大場理恵子・加納なおみ・高橋淑郎・岩田夏穂 (2014) 『ピアで学ぶ大学生の日本語表現 第2版-プロセス重視のレポート作成-』 ひつじ書房 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | 【連絡先】 担当： 杉山 和也 E-mail : k.sugiyama.rn@juntendo.ac.jp 【オフィスアワー】 授業後に1303号室、ないし上記メールアドレス | | | | |
| 担当教員の実務経験 | | | | | |
| 備考 | [学修時間] この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、90時間（授業30時間以上を含む）の学修を必要とする内容をもって構成する。 [その他] 新型コロナウイルス感染症の発生状況により、授業計画等の変更をお願いする可能性がある。 | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 | |
| 1 | 杉山 和也 | [授業内容] テーマ：自分の書く力を確認する。 長い文章を書くことに挑戦する。与えられた課題で、どれだけの長さの文章が書けるか、試してみる。” | 講義 | (予習：1時間) シラバス全体に目を通し、授業の目的と進め方を確認しておく。 (復習：3時間) 授業中に指示されたテーマ、字数で作文を書く。 | |

| | | | | |
|----|-------|---|------------|---|
| 2 | 杉山 和也 | <p>[授業内容] テーマ：書き言葉と話し言葉の違いを知る。 話し言葉が発話の状況や話し手と聞き手の共有知識にいかにか依存しているかを確認し、書き言葉では多くのことを表現しなければ読み手にしっかりと情報が伝わらないことを知る。 学生同士ペアになり、互いに自分は知っているが相手は知らないことについて述べる文章を書き、どれくらい相手に伝わるか、確認してみる。</p> | 講義・ペアワーク | <p>(予習：1時間) 参考図書『Good Writingへのパスポート-読み手と構成を意識した日本語ライティング』pp.12-20を読み、読み手に伝わるように書くためには、何が必要かを理解する。</p> <p>(復習：3時間) 授業中に提示されたテーマ、字数で作文を書く。</p> |
| 3 | 杉山 和也 | <p>[授業内容] テーマ：視覚的イメージを言葉で描写する。 日常的によく目にするものをよく観察し、言葉で描写する。このことを通じて、自分に見えているもの、感じていることを言葉に表す際に必要な情報が何かを知る。 書き上げた文章は、グループで共有し、互いに批評し合う。</p> | 講義・グループワーク | <p>(予習：2時間) 参考図書『Good Writingへのパスポート-読み手と構成を意識した日本語ライティング』pp.52-60を読み、見えているものの描写のしかたを理解する。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた文章を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 4 | 杉山 和也 | <p>[授業内容] テーマ：創造的文章を作成する(1)。 短篇小说を読み、登場人物の性格や行動、それまでの人間関係、起きた出来事をしっかりと読み取り、その後の展開を想像して続編を書く。 書き上げた文章は、グループで共有し、互いに批評し合う。</p> | 講義・グループワーク | <p>(予習：2時間) 参考図書『よくわかる 文章表現の技術Ⅱ-文章構成編- [新版]』pp.61-81を読み、文章の始まりと結末がどのように呼応するかを理解する。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた文章を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 5 | 杉山 和也 | <p>[授業内容] テーマ：創造的文章を作成する(2)。 4コマ漫画を見て、その展開をもとにして、短編の小説あるいは随筆を書く。 書き上げた文章は、グループで共有し、互いに批評し合う。</p> | 講義・グループワーク | <p>(予習：2時間) 参考図書『よくわかる 文章表現の技術Ⅱ-文章構成編- [新版]』pp.161-178を読み、出来事の展開をどのように書くかを理解する。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた文章を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 6 | 杉山 和也 | <p>[授業内容] テーマ：創造的文章を作成する(3)。 詩歌をもとに、物語を創作する。想像力をもって言葉を受け止め、創造力をもって言葉をつむぐ。 書き上げた文章は、グループで共有し、互いに批評し合う。</p> | 講義・グループワーク | <p>(予習：2時間) 第3～5回の授業で書いた文章を見返し、見えているもの描写、文章の始まりと結末の呼応、出来事の展開の書き方などを整理しておく。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた文章を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 7 | 杉山 和也 | <p>[授業内容] テーマ：意見を述べる(1)。 スポーツマンシップに反する行動をしようとしている友人に対し、それをいさめる手紙・メールを書く。友人を説得するために何を言わなければならないかを考え、必要な情報を収集する。 学生同士ペアになり、互いの手紙を読んで、説得力があるかどうか、話し合う。</p> | 講義・ペアワーク | <p>(予習：2時間) 課題作文の準備として、スポーツマンシップとは何かについて、必要に応じて文献等を参照しながら、整理しておく。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた手紙を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 8 | 杉山 和也 | <p>[授業内容] テーマ：意見を述べる(2)。 前回の授業で書いた手紙の内容をもとに、特定の個人宛ではなく、意見文として、スポーツマンシップの大切さを説く文章を書く。筋道の通った文章となるように、論の構成をよく考える。 学生同士ペアになり、互いの文章を読んで、説得力があるかどうか、話し合う。</p> | 講義・ペアワーク | <p>(予習：2時間) 新聞社説等を読んで、意見や見解を述べる文章の展開はどのようなものか、考える。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた手紙を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 9 | 杉山 和也 | <p>[授業内容] テーマ：引用して書く(1)。 他者の言説を引用する際の注意点を学ぶ。書籍や論文などについての情報(著者、発表年、発行所など)をどのようにして得るかを知り、引用する際に必要な情報を示す練習をする。</p> | 講義 | <p>(予習：2時間) 参考図書『留学生と日本人学生のためのレポート・論文表現ハンドブック』pp.69-75を参考に、引用の方法の基本を理解する。</p> <p>(復習：2時間) 授業で示された文献を使って、引用文を書く練習をする。</p> |
| 10 | 杉山 和也 | <p>[授業内容] テーマ：引用して書く(2)。 他者の言説をもとに考えを深め、引用して筋道の通った文章を書く。筋道の通った文章となるように、論の構成をよく考える。 学生同士ペアになり、互いの文章を読んで、適切に引用ができていないか、確認し合う。</p> | 講義・ペアワーク | <p>(予習：1時間) 引用を含む文章を書く準備として、授業で示された複数の文献に目を通しておく。</p> <p>(復習：3時間) 授業中に書いた文章を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |

| | | | | |
|--|--|--|--|--|
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

| | | | | | |
|---|---|---|--------|---|---------|
| 科目名 | 【新カリ】文章表現法 ⑫ | | | 授業形態 | 講義 |
| 英語科目名 | 【新カリ】文章表現法 ⑫ | | | 対象学年 | 1年 |
| 開講学期 | 2022年度前期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | 沢野 美由紀 | | | ナンバリング | BAS1110 |
| 担当教員 | 沢野 美由紀、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | 自分の思考や経験、感情を文章として表現する力は、大学での学びを支えるものであり、さらに、豊かな社会生活を送るための基礎となるものである。 本講義では、前半では主に創造的な文章を、後半では主に論理的な文章を書く練習をすることによって、文章で表現する力を涵養する。 | | | | |
| 到達目標 | 1. 自分の思考や経験、感情等を自由に書けるようになる。 2. 必要に応じて他者の言説の引用やデータの紹介を含めながら、自分の意見を筋道を立てて述べる文章が書けるようになる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・人文・社会科学科目の必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目は「スポーツ健康科学に関連した幅広い知識を基礎とした教養」という学位授与方針の達成に寄与する。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | [履修要件] 指定されたクラスで履修すること。 [履修上の注意（科目独自のルール）] 配布プリント、および、自分の書いた課題作文を、いつでも参照できる状態で保管するためのファイル（A4サイズ）を準備すること。 | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | 毎回の授業の課題作文を上記基準に沿って採点する（各回、10点～20点満点）。最終的に、課題作文の採点の合計を100点満点に換算して成績評価とする。 | | | | |
| 評価基準 | 1. 各回の学習項目に沿って、課題作文が書ける。 2. 求められた字数以上で課題作文が書ける。 | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 課題作文は、添削、評価して次回の授業時に返却する。 返却時に、評価基準を説明するとともに、必要に応じて修正や書き直しの時間を設ける。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | | | | | |
| 参考文献 | | | | | |
| 1. 石黒圭 (2009) 『よくわかる 文章表現の技術Ⅱ-文章構成編- [新版]』 明治書院 2. 二通信子・大島弥生・佐藤勢紀子・因京子・山本富美子 (2009) 『留学生と日本人学生のためのレポート・論文表現ハンドブック』 東京大学出版会 3. 田中真理・阿部新 『Good Writingへのパスポート-読み手と構成を意識した日本語ライティング』 くろしお出版 4. 大島弥生・池田玲子・大場理恵子・加納なおみ・高橋淑郎・岩田夏穂 (2014) 『ピアで学ぶ大学生の日本語表現 第2版-プロセス重視のレポート作成-』 ひつじ書房 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | [連絡先] 担当： 沢野美由紀 E-mail : m-sawano[at] juntendo. ac. jp ※[at]を@に変更してください。 [オフィスアワー] | | | | |
| 担当教員の実務経験 | | | | | |
| 備考 | [学修時間] この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、90時間（授業30時間以上を含む）の学修を必要とする内容をもって構成する。 [その他] 新型コロナウイルス感染症の発生状況により、授業計画等の変更をお願いする可能性がある。 | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 | |
| 1 | 沢野 | [授業内容] テーマ：自分の書く力を確認する。 長い文章を書くことに挑戦する。与えられた課題で、どれだけの長さの文章が書けるか、試してみる。” | 講義 | (予習：1時間) シラバス全体に目を通し、授業の目的と進め方を確認しておく。 (復習：3時間) 授業中に指示されたテーマ、字数で作文を書く。 | |

| | | | | |
|----|----|---|-------------------|---|
| 2 | 沢野 | <p>[授業内容] テーマ：書き言葉と話し言葉の違いを知る。 話し言葉が発話の状況や話し手と聞き手の共有知識にいかにか依存しているかを確認し、書き言葉では多くのことを表現しなければ読み手にしっかりと情報が伝わらないことを知る。 学生同士ペアになり、互いに自分は知っているが相手は知らないことについて述べる文章を書き、どれくらい相手に伝わるか、確認してみる。</p> | <p>講義・ペアワーク</p> | <p>(予習：1時間) 参考図書『Good Writingへのパスポート-読み手と構成を意識した日本語ライティング』pp.12-20を読み、読み手に伝わるように書くためには、何が必要かを理解する。</p> <p>(復習：3時間) 授業中に提示されたテーマ、字数で作文を書く。</p> |
| 3 | 沢野 | <p>[授業内容] テーマ：視覚的イメージを言葉で描写する。 日常的によく目にするものをよく観察し、言葉で描写する。このことを通じて、自分に見えているもの、感じているものを言葉に表す際に必要な情報が何かを知る。 書き上げた文章は、グループで共有し、互いに批評し合う。</p> | <p>講義・グループワーク</p> | <p>(予習：2時間) 参考図書『Good Writingへのパスポート-読み手と構成を意識した日本語ライティング』pp.52-60を読み、見えているものの描写のしかたを理解する。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた文章を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 4 | 沢野 | <p>[授業内容] テーマ：創造的文章を作成する(1)。 短篇小说を読み、登場人物の性格や行動、それまでの人間関係、起きた出来事をしっかりと読み取り、その後の展開を想像して続編を書く。 書き上げた文章は、グループで共有し、互いに批評し合う。</p> | <p>講義・グループワーク</p> | <p>(予習：2時間) 参考図書『よくわかる 文章表現の技術Ⅱ-文章構成編- [新版]』pp.61-81を読み、文章の始まりと結末がどのように呼応するかを理解する。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた文章を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 5 | 沢野 | <p>[授業内容] テーマ：創造的文章を作成する(2)。 4コマ漫画を見て、その展開をもとにして、短編の小説あるいは随筆を書く。 書き上げた文章は、グループで共有し、互いに批評し合う。</p> | <p>講義・グループワーク</p> | <p>(予習：2時間) 参考図書『よくわかる 文章表現の技術Ⅱ-文章構成編- [新版]』pp.161-178を読み、出来事の展開をどのように書くかを理解する。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた文章を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 6 | 沢野 | <p>[授業内容] テーマ：創造的文章を作成する(3)。 詩歌をもとに、物語を創作する。想像力をもって言葉を受け止め、創造力をもって言葉をつむぐ。 書き上げた文章は、グループで共有し、互いに批評し合う。</p> | <p>講義・グループワーク</p> | <p>(予習：2時間) 第3～5回の授業で書いた文章を見返し、見えているもの描写、文章の始まりと結末の呼応、出来事の展開の書き方などを整理しておく。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた文章を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 7 | 沢野 | <p>[授業内容] テーマ：意見を述べる(1)。 スポーツマンシップに反する行動をしようとしている友人に対し、それをいさめる手紙・メールを書く。友人を説得するために何を言わなければならないかを考え、必要な情報を収集する。 学生同士ペアになり、互いの手紙を読んで、説得力があるかどうか、話し合う。</p> | <p>講義・ペアワーク</p> | <p>(予習：2時間) 課題作文の準備として、スポーツマンシップとは何かについて、必要に応じて文献等を参照しながら、整理しておく。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた手紙を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 8 | 沢野 | <p>[授業内容] テーマ：意見を述べる(2)。 前回の授業で書いた手紙の内容をもとに、特定の個人宛ではなく、意見文として、スポーツマンシップの大切さを説く文章を書く。筋道の通った文章となるように、論の構成をよく考える。 学生同士ペアになり、互いの文章を読んで、説得力があるかどうか、話し合う。</p> | <p>講義・ペアワーク</p> | <p>(予習：2時間) 新聞社説等を読んで、意見や見解を述べる文章の展開はどのようなものか、考える。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた手紙を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 9 | 沢野 | <p>[授業内容] テーマ：引用して書く(1)。 他者の言説を引用する際の注意点を学ぶ。書籍や論文などについての情報(著者、発表年、発行所など)をどのようにして得るかを知り、引用する際に必要な情報を示す練習をする。</p> | <p>講義</p> | <p>(予習：2時間) 参考図書『留学生と日本人学生のためのレポート・論文表現ハンドブック』pp.69-75を参考に、引用の方法の基本を理解する。</p> <p>(復習：2時間) 授業で示された文献を使って、引用文を書く練習をする。</p> |
| 10 | 沢野 | <p>[授業内容] テーマ：引用して書く(2)。 他者の言説をもとに考えを深め、引用して筋道の通った文章を書く。筋道の通った文章となるように、論の構成をよく考える。 学生同士ペアになり、互いの文章を読んで、適切に引用ができていないか、確認し合う。</p> | <p>講義・ペアワーク</p> | <p>(予習：1時間) 引用を含む文章を書く準備として、授業で示された複数の文献に目を通しておく。</p> <p>(復習：3時間) 授業中に書いた文章を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |

| | | | | |
|--|--|--|--|--|
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

| | | | | | |
|--|---|--------|---------|------|--------------|
| 科目名 | 【新カリ】新しい世界を拓いた人々 | 授業形態 | 講義 | | |
| 英語科目名 | 【新カリ】新しい世界を拓いた人々 | 対象学年 | 1年 | | |
| 開講学期 | 2022年度前期 | 単位数 | 2単位 | | |
| 代表教員 | 田中 和廣 | ナンバリング | BAS1111 | | |
| 担当教員 | 田中 和廣、廣津 信義、馬場 猛、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | スポーツ健康科学部、医学部、医療看護学部の3学部の学生を対象として、共通開講する一般教養の選択科目です。本学の全ての学部的一般教養担当教員を中心とした7名の教員が、それぞれの専門とする分野からインパクトのある話題、興味深い話題を選び、わかりやすく紹介します。特に、各分野に貢献した人物を糸口にして、分野の発展におけるターニング・ポイントにスポットを当てるほか、現在注目を浴びているホットな話題も取り上げます。 | | | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 人文科学から自然科学に至るまで、幅広い様々な内容に関心を持つことができる。 2. 所属学部にとらわれることなく他学部の学生とも積極的に交流して意見を交換できる。 3. 物事を様々な視点から考えることができる。 4. チームでの討論を通して、問題点を掘り下げその解決策を提案することができる。 5. 自分の意見をわかりやすく具体的に述べ、簡潔な文でまとめることができる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・人文・社会科学科目の選択必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目では、スポーツ健康科学部の学位授与方針に定める「スポーツ健康科学を中心とした幅広い知識と教養、及びそれらの活用能力」を身に付けます。人文科学から自然科学に至るまで、幅広い様々な内容に関心を持ち、仲間とのコミュニケーション力を高めて互いに意見を交換し、視野を広げ、考えを深めることを目標とします。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | <p>[履修要件]</p> <p>Zoom!によるオンライン授業として実施します。 対象：スポーツ健康科学部、医学部、医療看護学部の1年生（ただし、スポーツ健康科学部は2年生以上も履修できます。）</p> <p>[履修上の注意（科目独自のルール）]</p> <p>受講希望者多数の場合は、抽選をすることもあります。</p> | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | 各回の授業での提出物（グループ・ディスカッションの内容のまとめ、自分の意見をまとめた感想文、その他提出課題）を担当の教員が10点満点で採点した結果（90%）と、授業態度およびグループ・ディスカッションへの参加態度（10%）とを統合し、合計点を100点満点に換算して最終結果とします。 | | | | |
| 評価基準 | 各回の授業での提出物（グループ・ディスカッションの内容のまとめ、自分の意見をまとめた感想文、その他提出課題）により、 ・授業のグループ・ディスカッションを通して自分の考え方を発展させることができたか、 ・自分の意見をわかりやすく説明できるか、 を評価し、到達目標1～5の達成度を判定します。 | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| グループ・ディスカッションの内容を発表して全体で討論したり、各回の授業での提出物から解答例・感想の例をピックアップして紹介し、フィードバックする機会があります。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | | | | | テキストは使用しません。 |
| 参考文献 | | | | | |
| 参考書等は、授業の際に適宜紹介します。 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>[担当者の連絡先とオフィスアワー]</p> <p>担当： 廣津信義 E-mail: nhirotsu[at]juntendo.ac.jp （[at] を@に変更してください） 日時： 前期期間中の火曜日14:40から16:20 場所： さくらキャンパス1号館3階1327室</p> <p>担当： 田中和廣 E-mail: kztanaka[at]juntendo.ac.jp （[at] を@に変更してください） 日時： 前期期間中の木曜日9:00から15:00 場所： さくらキャンパス1号館3階1314室</p> <p>※上記の時間帯には、予約なしに質問や相談に応じますが、他の学生の相談時間とかち合わないようにするため、できるだけ前日までにE-mailで予約してください。質問や相談は予約のあった学生を優先します。</p> | | | | |
| 担当教員の実務経歴 | | | | | |

| | |
|----|---|
| 備考 | <p>[学修時間] この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。</p> |
| | <p>[その他] Zoomによるオンライン授業として実施します。3学部の学生が混合するようにグループを作り、Zoomのブレイクアウトルームにてグループ・ディスカッションをする時間を授業の中に設ける予定です。ブレイクアウトルームではZoomのカメラをONにすることとし、顔出ししてグループ・ディスカッションに参加できることを履修の条件とする。ディスカッションに積極的に取り組めるよう、コミュニケーション能力、リーダーシップ、協調性を高め準備しておくこと。 ①良い、悪い、驚いた等と感じたことがどの点であるかを、具体的に述べ簡潔な文でまとめられるようにしておくこと。 ②自分の意見をわかりやすくまとめて述べられるようにしておくこと。 ③通り一遍の意見にならないよう、自分の意見を掘り下げ深めようとする習慣をつけること。 ④理路整然とした筋の通った文章を書く訓練をしておくこと。 これらについて常日頃から意識して心掛け、身に付けるよう努めることが大切である。 また、この授業で登場する“新しい世界を拓いた人々”のエピソードや、授業のグループ・ディスカッションを通して自分の仲間たちの考え方からも学び、21世紀を生きていくために自分にとって不可欠な教養にどんなものがあるか考え、それらを大学生活および生涯にわたってどう学習していくか計画をたて実行に移していく。 なお、新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p> |

授業計画

| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 |
|-----|----------------------------------|--|-----------|--|
| 1 | 田中 和廣 廣津 信義 藤倉 ひとみ 馬場 猛 | <p>[授業内容] テーマ：4学部共通講座ガイダンス 授業の進め方とスケジュール、受講者の心構えについて解説し、グループ・ディスカッションのグループ分けを行う。</p> <p>[キーワード] ・グループ・ディスカッション ・グループ・リーダー、成績評価の方法</p> | 講義 SGD | <p>(予習：2時間) グループ・ディスカッションの進め方について検索し自己学習しておくこと。 (復習：1時間) 受講者の心構えと成績評価の方法を確認し、ディスカッション・リーダー等の次回の役割分担をまとめておくこと。</p> |
| 2 | 馬場 猛 | <p>[授業内容] テーマ：自己とは何か ～免疫というシステム～ ジェンナーに始まる免疫学の歴史をひも解き、免疫とは何か、自己とは何か、を議論する。</p> <p>[キーワード] ・天然痘、二度なし現象 ・ワクチン、抗毒素（抗体）、自己と非自己</p> | 講義 SGD | <p>(予習：1時間半) 免疫という言葉から連想される事象を考えておくこと。 (復習：1時間半) 免疫学の歴史について復習し、先人たちがいかに知恵を絞ったか、考えを巡らせよう。</p> |
| 3 | 奥野 浩 | <p>[授業内容] テーマ1：最初の計量 次の事項を議論する：どうして、測って数字にするのか？ テーマ2：記述統計の働き 次の事項を議論する：数値から何がわかるか</p> <p>[キーワード] ・データ ・グラント、ナイチンゲール</p> | 講義 SGD | <p>(予習：1時間半) 測って数字化する理由を考えてみよう。記述統計について調べてみよう。 (復習：1時間半) 身近なデータを調べ、そこから何がわかるか考える。</p> |
| 4 | 奥野 浩 | <p>[授業内容] テーマ1：確率とは 次の事項を議論する：確率で起きることを考える テーマ2：推計統計学 次の事項を議論する：一部から全体を推し量る</p> <p>[キーワード] ・カルダノ ・フィッシャー、ピアソン</p> | 講義 SGD | <p>(予習：1時間半) 降雨確率について調べてみよう。仮説検定について調べてみよう。 (復習：1時間半) 仮説検定を利用した記事を探す。</p> |
| 5 | Andrew Mason | <p>[授業内容] テーマ：Pioneers ～Interdisciplinarians (1)～ 次の事項を議論する：Health Economics</p> <p>[キーワード] ・scarcity, values, quality, affordability, accessibility ・efficiency, effectiveness</p> | 講義 SGD | <p>(予習：1時間半) Briefly review the academic field of health economics. (復習：1時間半) Consider practical solutions to the rising cost of healthcare.</p> |
| 6 | Andrew Mason | <p>[授業内容] テーマ：Pioneers ～Interdisciplinarians (2)～ 次の事項を議論する：Telemedicine</p> <p>[キーワード] ・health outcomes, cost, accessibility ・patient perceptions, provider perceptions, patient satisfaction</p> | 講義 SGD | <p>(予習：1時間半) Briefly review the emerging field of telemedicine. (復習：1時間半) Consider how medical care will change following widespread implementation of telemedicine.</p> |
| 7 | 杉山 和也 | <p>[授業内容] テーマ：説話を伝える人々 (1) 次の事項を議論する： ・説話とは何か ・キリスト教の聖人「ヨサファト」の正体を探れ</p> <p>[キーワード] ・説話、文学、民俗学 ・宗教、死生観</p> | 講義 SGD | <p>(予習：1時間半) 中学、高校までの世界史と文学史の授業の内容を復習する。 (復習：1時間半) 授業で示された資料や参考文献をよく読み、自分なりに考察を深める。</p> |

| | | | | |
|--|--|--|--|--|
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

| | | | | | |
|---|--|--------|---------|------|----|
| 科目名 | 【新カリ】心理学 | 授業形態 | 講義 | | |
| 英語科目名 | 【新カリ】心理学 | 対象学年 | 1年 | | |
| 開講学期 | 2022年度前期 | 単位数 | 2単位 | | |
| 代表教員 | 村上 達也 | ナンバリング | PSY1112 | | |
| 担当教員 | 村上 達也、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | 本講義では、実証科学としての心理学について、①科学とは何か、②心理学の科学性とは何か、について解説し、それらを踏まえた上で、③心理学の方法論について解説する。また、実際の心理学研究がどのように行われているのか、どのような研究知見があるのかについて、教室での疑似実験を行いながら解説する。本科目では、心理学の基礎的な内容を理解することが目標であるが、実生活のほか教育現場や医療現場などで実際に役立つ応用的な内容も扱っていく。 | | | | |
| 到達目標 | 本講義では、以下の4点を到達目標とする。 1. 心理学を理解するための前提として、科学とは何かについて理解する。 2. 心理学の科学性について理解する。 3. 心理学の科学的方法論について理解する。 4. 1～3を達成することによって、心理学の観点に基づく人間理解を深めることができるようになることを総合的な到達目標とする。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・人文・社会科学科目の選択必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この授業は、心理学への科学的な理解を深めることにより、スポーツ健康科学部の学位授与方針に定める「スポーツ健康科学に関連した幅広い知識を基礎とした教養」を身につけることを目標とする。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | 履修要件：特になし 履修上の注意： 1. 配布プリントを保管するためのファイルを準備すること。 2. 授業への遅刻を2回した場合には欠席1回分として扱う。 3. レポートを期限内に遅れて提出した場合には、レポートの評価は50%に減点する（提出しない場合には0点とする）。 ※ 本講義の履修者が多数になった場合には、履修候補者を初日の出席者に限定した上で履修制限を行うことがある。 | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | 中間レポート30%・定期試験40%、授業内レポート30%を基本に総合的に評価する。ただし、受講態度がふさわしくなく、改善が認められない場合、減点する。 | | | | |
| 評価基準 | 1. 心理学を理解するための前提として、科学とは何かについて理解する。（中間レポート・定期試験） 2. 心理学の科学性について理解する。（中間レポート・定期試験） 3. 心理学の科学的方法論について理解する。（定期試験） 4. 1～3を達成することによって、心理学の観点に基づく人間理解を深めることができるようになることを総合的な到達目標とする。（授業内レポート・定期試験） | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 授業内の質問や疑問は、適宜対応する。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | | | | | |
| 参考文献 | | | | | |
| テキストは使用せず、配布プリントを用いて講義を進める。参考書などは授業の際に適宜、紹介を行う。 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | 【連絡先】 担当：村上達也 E-mail:t.murakami.lr[at]juntendo.ac.jp ※[at]を@に変更 【オフィスアワー】 時間：月曜日 12:30-13:00 場所：さくらキャンパス1号館2階1221号室 ※上記の時間帯には予約なしに質問や相談に応じますが、他の学生の相談時間と重ならないようにするために、できるだけ前日までにE-mailで予約してください。質問や相談は予約のあった学生を優先します。 | | | | |
| 担当教員の実務経験 | 研究所での実務経験や学校心理士としての実務経験を活かし、心理学が実社会でもどのように有用であるのかについても織り込みながら、授業を行う。 | | | | |

| | |
|----|---|
| 備考 | <p>【学修時間】 この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。</p> <p>【その他】 学生の学習進度に応じて、あるいは、授業内レポートのコメントに応じて授業計画を変更する場合がある。 また、授業の中で、4年生や大学院生などによる質問紙調査や実験への参加募集を行う場合がある。参加することによって、心理学研究の実際を体験することができ、心理学を学ぶ上でメリットとなる。しかし、参加・不参加は履修者本人の自由であり、参加・不参加および回答内容などによる成績への影響は一切ない。履修者本人・保護者が調査研究への参加を希望しない場合、および、参加したものの研究での使用を希望しない場合、講義内やメールなどでその旨を科目責任者まで連絡すること。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の発生状況やその他の状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合がある。</p> |
|----|---|

授業計画

| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 |
|-----|-------|---|--|---|
| 1 | 村上 達也 | (授業内容) オリエンテーションとして、授業の目的と概要、成績評価、履修上の注意について説明する。また、受講生の持つ心理学に対する印象を把握し、心理学の全体像について解説する。 | (授業方法) 授業中に示すスライドに沿って講義を進める。 | 【予習：1時間】 自身の持つ心理学に対する印象（イメージ）や心理学について知っていることを整理しておく。 【復習：1時間】 心理学の全体像について、学んだ知識を整理しておく。 |
| 2 | 村上 達也 | (授業内容) 実証科学とは何か：実証科学に基づく心理学を理解するために、科学について解説する。 | (授業方法) 授業中に示すスライドに沿って講義を進める。 | 【予習：1時間】 前の授業中に課した予習内容に取り組む。 【復習：2時間】 授業中にキーワードとして示した用語について、自分で説明できるように理解しておく。 |
| 3 | 村上 達也 | (授業内容) 科学の方法：実証科学における科学の方法論について解説する。 | (授業方法) 授業中に示すスライドに沿って講義を進める。 | 【予習：1時間】 前の授業中に課した予習内容に取り組む。 【復習：2時間】 授業中にキーワードとして示した用語について、自分で説明できるように理解しておく。 |
| 4 | 村上 達也 | (授業内容) 科学としての心理学（1）相互主観性と操作主義：心理学が科学であるための要件としての相互主観性や操作主義について解説する。 | (授業方法) 授業中に示すスライドに沿って講義を進める。 | 【予習：1時間】 前の授業中に課した予習内容に取り組む。 【復習：2時間】 授業中にキーワードとして示した用語について、自分で説明できるように理解しておく。 |
| 5 | 村上 達也 | (授業内容) 科学としての心理学（2）心理測定：心理学の中の中核概念である心理測定について、その性質と特徴を解説する。 | (授業方法) 授業中に示すスライドに沿って講義を進める。 | 【予習：1時間】 前の授業中に課した予習内容に取り組む。 【復習：2時間】 授業中にキーワードとして示した用語について、自分で説明できるように理解しておく。 |
| 6 | 村上 達也 | (授業内容) 心理学実験の紹介（1）注意に関する心理学：ヒトの注意に関する認知心理学的研究とその応用について解説する。 | (授業方法) 授業中に示すスライドに沿って講義を進める。 | 【予習：1時間】 前の授業中に課した予習内容に取り組む。 【復習：2時間】 授業中にキーワードとして示した用語について、自分で説明できるように理解しておく。 |
| 7 | 村上 達也 | (授業内容) 心理学の科学性に関するまとめ／中間レポート：ここまでの授業を振り返って、心理学の科学性に関してのまとめを行い、それに関する中間レポートを課す。 | (授業方法) 第1～6回目までの内容に関する総括を行い、一連の流れを解説し、質問や疑問について答えていく。 | 【予習：5時間】 これまでの内容を体系的に整理するとともに、心理学の科学性について自分なりの考えをまとめておく。 【復習：10時間】 授業内での一連の説明や疑問への応答を通じて、心理学の科学性に関する自己の考えをまとめ、レポートを作成する。 |
| 8 | 村上 達也 | (授業内容) 心理学の方法論：心理学の方法論について紹介し、特に実験法について解説する。 | (授業方法) 授業中に示すスライドに沿って講義を進める。 | 【予習：1時間】 前の授業中に課した予習内容に取り組む。 【復習：2時間】 授業中にキーワードとして示した用語について、自分で説明できるように理解しておく。 |
| 9 | 村上 達也 | (授業内容) 心理学実験法（1）被験者内計画：被験者内計画について解説し、それを用いた心理学研究を紹介する。 | (授業方法) 授業中に示すスライドに沿って講義を進める。 | 【予習：1時間】 前の授業中に課した予習内容に取り組む。 【復習：2時間】 授業中にキーワードとして示した用語について、自分で説明できるように理解しておく。 |
| 10 | 村上 達也 | (授業内容) 心理学実験法（2）被験者間計画：被験者間計画について解説し、それを用いた心理学研究を紹介する。 | (授業方法) 授業中に示すスライドに沿って講義を進める。 | 【予習：1時間】 前の授業中に課した予習内容に取り組む。 【復習：2時間】 授業中にキーワードとして示した用語について、自分で説明できるように理解しておく。 |

| | | | | |
|--|--|--|--|--|
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

| | | | | | |
|--|--|--|--------|--|---------|
| 科目名 | 【新カリ】経済学 | | | 授業形態 | 講義 |
| 英語科目名 | 【新カリ】経済学 | | | 対象学年 | 1年 |
| 開講学期 | 2022年度前期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | 李 照錫 | | | ナンバリング | EC01113 |
| 担当教員 | 李 照錫、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | <p>【授業全体の内容】 経済学の用語・概念を理解し、それらを用いて具体的な経済問題を理解する。特に、人々の経済行動を分析するミクロ経済学、および一国全体の経済状況を分析するマクロ経済学の双方についてバランス良く学習する。 テレビや新聞等で報じられる経済ニュースは社会に出た途端に自身のビジネスや生活に関わるものとなる。本講義で扱うトピックは経済学という学問として捉えるのではなく、むしろ社会・経済で生活する上で的一般常識に近いものだと思って、修得する必要性を感じながら臨んで欲しい。</p> | | | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. ミクロ経済学とマクロ経済学の基本的用語を理解し、それぞれの概念の関係について説明できる。 2. 具体的な経済問題について、講義で学んだ用語を用いて論じることができる。 3. これからの経済社会にどのように対応していくのかを理解できる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・人文・社会科学科目の選択必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目は、経済学を通してスポーツ健康科学を中心とした幅広い知識と教養を身に付ける。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | <p>【履修要件】 特になし</p> <p>【履修上の注意（科目独自のルール）】 特になし</p> | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | <p>【成績評価の方法】 定期試験70%、授業内レポート30%で評価します。なお、受講態度が授業進行上ふさわしくないと判断した場合は、減点の対象とします。</p> | | | | |
| 評価基準 | <ol style="list-style-type: none"> 1. ミクロ経済学とマクロ経済学の基本的用語について説明できる。（定期試験） 2. 具体的な経済問題について、講義で学んだ用語を用いて解釈できる。（定期試験） 3. 受講態度や学習意欲を授業内レポートで評価する。（授業内レポート） | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 授業内の質問や疑問は、適宜対応する。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | | | | | |
| 参考文献 | | | | | |
| プリントを授業時に配付する。参考書として伊藤元重『ミクロ経済学』日本評論社、2003年と伊藤元重『マクロ経済学』日本評論社、2005年を挙げるが、購入の必要は無い。 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>【連絡先】 担当：李照錫 E-Mail：lee.kb [at] juntendo.ac.jp ※ [at] を@に置換してください。</p> <p>【オフィスアワー】 授業時間後に非常勤講師室（1号館2階）で対応する。</p> | | | | |
| 担当教員の実務経験 | | | | | |
| 備考 | <p>【学修時間】 この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、90時間（授業時間30時間以上を含む）の学修を必要とする内容をもって構成する。</p> <p>【実務経験のある教員による授業】 該当しない</p> <p>【その他】 新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p> | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 | |
| 1 | 李照錫 (イー・ヒーソク) | (授業内容) 経済学はどのような学問か、分析の対象と方法について理解する。 (授業方法) 経済学の二大分野であるミクロ経済学とマクロ経済学の概要について解説する。 | | (予習：2時間) 最近の日本や世界で起きた経済ニュースについて調査する。 (復習：3時間) ミクロ経済学とマクロ経済学の特徴や相違点について整理する。 | |

| | | | |
|----|------------------|---|---|
| 2 | 李熙錫 (イー・ヒーソク) | (授業内容) 経済学の歴史的な展開について学習する。 (授業方法) アダム・スミス、ケインズなどの経済学による理論を解説する。 | (予習：2時間) アダム・スミスとケインズについて調査する。 (復習：3時間) ケインズ政策と新古典派政策の中でどの政策が望ましいのか考察する。 |
| 3 | 李熙錫 (イー・ヒーソク) | (授業内容) ミクロ経済学について学習する。 (授業方法) 経済学の中でミクロ経済学は、資源配分の問題、ミクロ経済学と市場の失敗などミクロ経済学の特徴について分析する。 | (予習：2時間) 資源配分問題の概要をつかむ。 (復習：3時間) 現実の中でミクロ経済学はどのように我々の生活の中で活かしているか考える。 |
| 4 | 李熙錫 (イー・ヒーソク) | (授業内容) 需要と供給について学習する。 (授業方法) 需要と供給の仕組みを検討し、それを用いて需要曲線と供給曲線を分析する。 | (予習：2時間) 需要曲線と供給曲線の違いをつかむ。 (復習：3時間) 現実の生活の中で需要と供給がどのような影響を与えているのかを考える。 |
| 5 | 李熙錫 (イー・ヒーソク) | (授業内容) 消費者行動と需要曲線について学習する。 (授業方法) 消費者余剰と企業行動を分析する。 | (予習：2時間) 消費者行動による需要曲線の動きをつかむ。 (復習：2時間) 現実の消費者余剰によって企業はどのような行動をとるのかを考える。 |
| 6 | 李熙錫 (イー・ヒーソク) | (授業内容) 需給均衡を学習する。 (授業方法) 需要曲線と供給曲線によって交差する交点の重要性を学ぶ。 | (予習：2時間) 世の中の財・サービスはどうしてそれぞれで価格が異なるのかを考える。また、どのようにときに価格が変化するか考える。 (復習：2時間) 経済に様々な外的ショックが発生したときに市場均衡がどう動くのかを整理する。 |
| 7 | 李熙錫 (イー・ヒーソク) | (授業内容) マクロ経済学について学習する。 (授業方法) マクロ経済学は何か。マクロ経済学の基本的な用語、恒等式、三面等価、付加価値を解説する。 | (予習：2時間) 三面等価と付加価値について調べてその意味をつかむ。 (復習：2時間) 現実の中でマクロ経済学が我々の生活にどのように影響しているのかを考える。 |
| 8 | 李熙錫 (イー・ヒーソク) | (授業内容) マクロ経済学の捉え方を学ぶ。 (授業方法) マクロ経済学の需要と供給、経済成長率と寄与度について解説する。 | (予習：2時間) GDPと成長方程式について調査する。 (復習：2時間) マクロ経済の動きが経済に及ぼす影響について考える。 |
| 9 | 李熙錫 (イー・ヒーソク) | (授業内容) GDPとマクロ経済学について学習する。 (授業方法) 需要と供給は、どちらがマクロ経済の動きを決めるのかを学習する。 | (予習：2時間) 供給について新古典派の考え方を調査する。 (復習：2時間) 需要と供給についてケインズアンと新古典派の考え方を学ぶ。 |
| 10 | 李熙錫 (イー・ヒーソク) | (授業内容) 乗数について学習する。 (授業方法) 限界消費性向と乗数を学習する。 | (予習：2時間) 限界消費性向と乗数について調査する。 (復習：2時間) 生産、所得、需要について学ぶ。 |
| 11 | 李熙錫 (イー・ヒーソク) | (授業内容) 需要不足の経済について学習する。 (授業方法) 投資と政府支出について説明する。 | (予習：2時間) 乗数プロセスについて調査する。 (復習：2時間) マクロ経済の基本的な考え方を学ぶ。 |
| 12 | 李熙錫 (イー・ヒーソク) | (授業内容) ゲーム理論について学習する。 (授業方法) ゲーム理論を説明する。 | (予習：2時間) ゲーム理論について調査する。 (復習：2時間) ゲーム理論が社会経済にどのように応用できるか考える。 |
| 13 | 李熙錫 (イー・ヒーソク) | (授業内容) FTA、EPA、TPPIについて学習する。 (授業方法) 国際経済連携について概観する。 | (予習：2時間) FTA、EPA、TPPIについて調べる。 (復習：2時間) 日本の通商戦略を考える。 |
| 14 | 李熙錫 (イー・ヒーソク) | (授業内容) 日本の借金について学習する。 (授業方法) 日本の借金はどのようにして膨らみ、世界で最も多くなったのかを概観する。 | (予習：2時間) 人口の高齢化と社会保障について調査する。 (復習：2時間) 日本の借金が我々の暮らしにどのような影響があるのかを考察する。 |
| | | 期末試験 | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

| | | | | |
|--|--|--|--|--|
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

| | | | | | |
|---|---|--------|---------|------|----|
| 科目名 | 【新カリ】文学 | 授業形態 | 講義 | | |
| 英語科目名 | 【新カリ】文学 | 対象学年 | 1年 | | |
| 開講学期 | 2022年度前期 | 単位数 | 2単位 | | |
| 代表教員 | 杉山 和也 | ナンバリング | LIT1114 | | |
| 担当教員 | 杉山 和也、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | 本科目は、講義の授業形態で行われる。文学作品を通して人間の生き方や考え方を知り、人間についてより深く理解することを目指す。時代を代表する作品を用いて、言語及び文学に対する知識と理解を深め、作品から読み取れる歴史や社会について考察する。これらを通して、幅広く文学に親しむ態度を身に付ける。 | | | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 世界の著名な文学作品に関して、歴史的背景を踏まえつつ、基本的な説明をすることができる。 2. 信頼性の高い情報に、的確にアクセスし、それらをもとに論理的に考察することができる。 3. 人類の文化的遺産に対して、理解を示すことができる。 4. 文字、書道、書籍の歴史や価値について説明することができる。 5. 日本の舞台芸能である能・狂言・歌舞伎の歴史や価値について説明することができる。 6. 日本文化や、日本に生きる自己存在をグローバルな観点から相対的に捉えることができる。 7. 現代文化や、現代に生きる自己存在を通史的な観点から相対的に捉えることができる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・人文・社会科学科目の選択必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目は「スポーツ健康科学に関連した幅広い知識を基礎とした教養」という学位授与方針の達成に寄与する。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | <p>【履修上の注意】</p> <p>必要に応じて、Google ClassroomやZoomなども活用しつつ、授業を行う。授業中に表示される資料、および講義風景等を、受講生等、杉山和也以外の者が、撮影・録画録音等を行なうことについては、一切、これを禁じる。授業の録画映像やスライド資料等の著作権については、杉山和也に帰属するものとし、許可なく第三者に転送、公表、複製等することは認めない。オンラインなどで授業を実施することがあった場合、この授業の映像等に自分の姿を映したくない受講者は、必ずカメラを停止しておくか、物理的にカメラにシールを貼るなどして映らないような対処をあらかじめ行っておくようにしておくこと。そうした対処が行われていない場合に於いては、肖像権の利用を許諾したものと見做す。なお、杉山和也は、学術・教育以外の目的で本講義の映像等を利用しないこととする。</p> <p>【履修要件】</p> <p>本シラバスの内容を、あらかじめ十分に確認していること。</p> | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | <p>【成績評価の基準】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内で扱った文学作品や、その歴史的背景等に関して基礎的な知識が備わっている。（小テスト） 2. 授業で扱った内容を説明することができる。（定期試験） 3. 毎回の授業に対して、自分なりの感想や意見を持ち、コメントとして文を書くことができる。（平常点） | | | | |
| 評価基準 | 小テスト2回（40%）、レポート（40%）、平常点（20%）を総合して評価する。 | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 平常授業及び準備学習における課題については、授業内で随時、指示する。小テスト、レポート、コメントについては、評価規準を適宜、提示する。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | | | | | |
| 参考文献 | | | | | |
| 参考文献については、適宜、授業の中で指示する。テキストについては授業内でスライドで示す。 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>【連絡先】</p> <p>担当：杉山 和也 E-mail: k.sugiyama.rn@juntendo.ac.jp</p> <p>【オフィスアワー】</p> <p>授業後に1303号室、ないし上記メールアドレス</p> | | | | |
| 担当教員の業務経験 | | | | | |
| 備考 | <p>【学修時間】</p> <p>この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。</p> <p>【その他】</p> <p>毎回の授業で、コメントを提出する。提出方法については、授業内で説明する。コメントの内容は、授業内で無記名の形で紹介することがあるので、執筆にあたっては、この点、あらかじめ注意をすること。</p> <p>なお、授業中に表示される資料、および講義風景等を、受講生等、科目担当者・科目責任者以外の者が、撮影・録画・録音等を行なうことについては、一切、これを禁じる。授業の録画映像やスライド資料等の著作権については、科目担当者・科目責任者に帰属するものとし、許可なく第三者に転送、公表、複製等することは認めない。この授業の映像等に自分の姿を映したくない受講者は、必ずカメラを停止しておくか、物理的にカメラにシールを貼るなどして映らないような対処をあらかじめ行っておくこと。そうした対処が行われていない場合においては、肖像権の利用を許諾したものと見做す。なお、科目担当者・科目責任者は、学術・教育以外の目的で本講義の映像等を利用しないものとする。</p> | | | | |

| 授業計画 | | | | |
|------|-------|--|-------------------|--|
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 |
| 1 | 杉山 和也 | 《説話とは何か①》 シラバスを参照しつつ、授業の具体的な進め方、評価の方法について確認する。また、この講義で中心的なテーマとなる「説話」とは何かについて解説する。 | スライド資料を用いて講義を進める。 | (予習: 2時間) あらかじめシラバスを読んでおく。また、高校で習った文学史を復習しておく。 (復習: 2時間) 授業で扱った内容を整理する。自分なりに授業に関連する事柄を調べ、考察する。 |
| 2 | 杉山 和也 | 《説話とは何か②》 説話の汎世界的な広がりや人類の普遍性について、印旛沼周辺の昔話、昔話「瘤取りじいさん」、「月の鼠」説話などを具体例として考察する。 | スライド資料を用いて講義を進める。 | (予習: 2時間) 自分の身近に、どんな昔話や伝説があるのかについて、自分なりに調べる。 (復習: 2時間) 授業で扱った内容を整理する。自分なりに授業に関連する事柄を調べ、考察する。 |
| 3 | 杉山 和也 | 《説話とは何か③》 説話の汎世界的な広がりや人類の普遍性について「月の鼠」説話、「老いの坂道」などを具体例として考察する。 《人文学の観点から「順天堂」を考える》 本学の大学名ともなっている「順天」という概念について、ゲストスピーカーの徐萍氏(ドイツ・Volkshochschule Berlin Mitte非常勤講師)にお話をいただく。 | スライド資料を用いて講義を進める。 | (予習: 2時間) 中学、高校までの世界史の授業の内容を復習する。 (復習: 2時間) 授業で扱った内容を整理する。自分なりに授業に関連する事柄を調べ、考察する。 |
| 4 | 杉山 和也 | 【授業内容】《お伽草子『御曹司島渡』》とその時代① 『吾妻鏡』、『平家物語』諸本、『義経記』、歌舞伎『勘進帳』について、成立した時代背景を踏まえつつ解説する。その上で、それぞれの文献により、歴史上の人物としての源義経の実像が、どのようなものであったのか。また、時代が下るにつれて、どのような虚像を伴って描かれるようになったのかについて確認する。 【授業方法】 スライド資料を用いて講義を進める。 | 講義 | (予習: 2時間) 源義経という人物について、自分なりに調べる。 (復習: 2時間) 授業で扱った内容を整理する。自分なりに授業に関連する事柄を調べ、考察する。 |
| 5 | 杉山 和也 | 【授業内容】《お伽草子『御曹司島渡』》とその時代② お伽草子『御曹司島渡』を読む。また、前近代において日本に住んでいた人々が、日本の最果てや、文化的他者に対してどのような認識を抱いていたのかについて、『竹取物語』、『今昔物語集』、『平家物語』などの文学作品や、日本列島を描いた古地図である行基式(日本図)を分析することを通して検討し、この作品の成立した文化的背景、時代背景について考える。 【授業方法】 スライド資料を用いて講義を進める。 | 講義 | (予習: 2時間) 行基という人物、ならびに「要石(かなめいし)」について、自分なりに調べる。 (復習: 2時間) 授業で扱った内容を整理する。自分なりに授業に関連する事柄を調べ、考察する。 |
| 6 | 杉山 和也 | 【授業内容】《お伽草子『御曹司島渡』》とその時代③ 中国の『水滸伝』、朝鮮半島の『洪吉童伝』、ヨーロッパの『ボレクサンドル』、『ガリヴァー旅行記』など、虚実の入り交じった世界を渡航して行く冒険譚が、『御曹司島渡』の成立に近い時代に東西で成立していった時代背景、文化的背景について、各作品を概観しながら考察する。また併せて、漫画『ONE PIECE』などの現代の作品への文化的連続性についても考える。 【授業方法】 スライド資料を用いて講義を進める。 | 講義 | (予習: 2時間) 『御曹司島渡』を読み直して、内容の理解を深めておく。 (復習: 2時間) 授業で扱った内容を整理する。自分なりに授業に関連する事柄を調べ、考察する。 |
| 7 | 杉山 和也 | 【授業内容】 ゲストスピーカーの庄子ひとみ先生に、英国の文学について、ご専門の立場からお話をいただきます。 【授業方法】 スライド資料を用いて講義を進める。 | 講義 | (予習: 2時間) 移民も含め雑多な人々が集うグローバル都市であるヴィクトリア朝時代のロンドンの様子を想像しながら、同時代の小説を読んでみる。 (復習: 2時間) 授業で扱った内容を整理する。自分なりに授業に関連する事柄を調べ、考察する。 |
| 8 | 杉山 和也 | 【授業内容】《説話と絵巻》 ひらがなの成立史、ならびに日本の書道史について概説し、前近代に用いられていた、くずし字の解読方法についても簡単な紹介を行なう。さらに、卷子本の構造や前近代の印刷技術について確認し、博物館での展示物を閲覧する際の鑑賞ポイントや、注目すべき点について概説する。以上を踏まえて、説話と、その表現媒体との関係性について検討する。授業中に、第7回までの内容に関する小テストを行なう。 【授業方法】 スライド資料を用いて講義を進める。 | 講義 | (予習: 4時間) e国宝(https://emuseum.nich.go.jp/)など、インターネット上で閲覧できる絵巻物を複数検索し、鑑賞すること。小テストに備えて、授業で学んだことを整理しておくこと。 (復習: 2時間) 授業で扱った内容を整理する。自分なりに授業に関連する事柄を調べ、考察する。 |
| 9 | 杉山 和也 | 【授業内容】《狂言「付子」をめぐる説話と世界の説話①》 日本の舞台芸術である能と狂言、歌舞伎の歴史について概説する。その上で、狂言「付子」の内容を紹介する。 【授業方法】 スライド資料を用いて講義を進める。 | 講義 | (予習: 2時間) 日本の伝統芸能には、どのようなものがあるか、またその歴史について、自分なりに調べる。 (復習: 2時間) 授業で扱った内容を整理する。自分なりに授業に関連する事柄を調べ、考察する。 |

| | | | | |
|--|--|--|--|--|
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

| | | | | | |
|---|--|-------|--------|--------------------|-----------------|
| 科目名 | 【新カリ】文学 | | | 授業形態 | 講義 |
| 英語科目名 | 【新カリ】文学 | | | 対象学年 | 1年 |
| 開講学期 | 2022年度前期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | 加藤 由紀子 | | | ナンバリング | LIT1114 |
| 担当教員 | 加藤 由紀子、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | 文学作品を通して人間の生き方や考え方を知り、人間についてより深く理解する。日本語及び日本文学に対する知識と理解を深める。古典文学から近代文学まで幅広く親しむ態度を身につける。 この授業では、日本語及び日本文学について学ぶ。万葉集を通して、日本語についての知識を深め、歌の背景にある歴史や社会について学び、作者の考え方や生き方について授業内で意見を交換する。芥川龍之介の小説を読み、登場人物の生き方について授業内で意見を交換する。 | | | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本語の特色について理解し、日本語表記の歴史について説明することができる。 2. 万葉集を通して、歌謡から和歌への流れを理解し、前期万葉と後期万葉の違いについて説明することができる。 3. 歌の背景にある古代日本の社会や歴史を知り、万葉集の時代と和歌との関わりについて説明することができる。 4. 万葉集の和歌から作者の思いを読み取り、古代日本の人びとの考え方や生き方について理解し、そこからわかった人間の生き方について説明することができる。 5. 小説を読んで、登場人物の行動、言動、描写などを分析し、登場人物の心理を読み取り説明することができる。 6. 原典との比較を通して、作者の創作について説明することができる。 7. 作者の人生について知り、作品を通して人間の生き方についてより深く理解し、そこからわかった人間の生き方について説明することができる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・人文・社会科学科目の選択必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目は、スポーツ健康科学部の学位授与方針に定める「スポーツ健康科学を中心とした幅広い知識と教養、及びそれらの活用能力」を身に付ける。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | <p>[履修上の注意] 特になし</p> <p>[履修要件] 特になし</p> | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | 課題レポート2回（40%）、定期試験（40%）、平常点（20%）を総合して評価する。 | | | | |
| 評価基準 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本語や日本語表記の歴史について説明することができる（定期試験） 2. 万葉集を通して、和歌の流れや、歴史・社会と和歌との関わりについて説明することができる（定期試験） 3. 芥川龍之介の作品を読んで、登場人物の心理を読み取り説明することができる（定期試験） 4. 原典との比較を通して、作者の創作について説明することができる（定期試験） 5. 授業でとりあげた作品や作者を通してわかった人間の生き方について説明し、それに対する自分の考えを文章にまとめることができる（レポート） 6. 授業に対する取り組み及び毎時間の課題コメントで評価する（平常点） | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 毎時間の課題コメントは次の授業時にフィードバックを行う。 課題レポート及び試験については、評価のポイントを提示する。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | 地獄変・偷盗 | 芥川龍之介 | 新潮文庫 | 978-4-10-102502-5 | 平成23年10月改版以降のもの |
| 参考文献 | | | | | |
| その他の教材についてはその都度コピーを配布する。 授業内でテキストとして使用し、授業のまとめやレポート作成の際に参考となる。 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>[連絡先] 授業内で知らせます。</p> <p>[オフィスアワー] 授業時間の後に控室で。</p> | | | | |
| 担当教員の実務経験 | | | | | |
| 備考 | <p>[学修時間] この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。</p> <p>[その他] 新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p> | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 | |

| | | | | |
|---|----|--|--|---|
| 1 | 加藤 | 日本語表記の歴史について解説する。奈良時代の文学について解説する。万葉集について紹介する。 | プリントと板書を用いて講義を進める。コメントシートを提出する。 | (予習:1時間) あらかじめシラバスを読んで授業全体を把握しておくこと。 (復習:2時間) 日本語表記の歴史や奈良時代の文学、万葉集について、整理しておくこと。 |
| 2 | 加藤 | 万葉集の全体像を紹介する。万葉集の時代について解説する。万葉仮名について解説する。 | ビデオとプリントを用いて講義を進める。コメントシートを提出する。 | (予習:1時間) 万葉集について授業プリントを読んでおくこと。 (復習:2時間) 万葉仮名について整理しておくこと。万葉集について講義で学習したことを整理しておくこと。 |
| 3 | 加藤 | 萌芽時代から万葉第一期の時代背景と歌について解説する。 | プリントを用いて講義を進める。コメントシートを提出する。 | (予習:1時間) 万葉集の時期区分について、授業プリントの解説を読んで理解を深めておくこと。 (復習:2時間) 萌芽時代と万葉第一期の時代について整理しておくこと。授業で取り扱った歌について理解を深めておくこと。 |
| 4 | 加藤 | 万葉第二期の時代背景と歌について解説する。 | プリントを用いて講義を進める。コメントシートを提出する。 | (予習:1時間) 万葉第二期の時代について、授業プリントの解説を読んで理解を深めておくこと。 (復習:2時間) 万葉第二期の時代について整理しておくこと。授業で取り扱った歌について理解を深めておくこと。 |
| 5 | 加藤 | 万葉第三期の時代背景と歌について解説する。 | プリントを用いて講義を進める。コメントシートを提出する。 | (予習:1時間) 万葉第三期の時代について、授業プリントの解説を読んで理解を深めておくこと。 (復習:2時間) 万葉第三期の時代について整理しておくこと。授業で取り扱った歌について理解を深めておくこと。 |
| 6 | 加藤 | 万葉第四期の時代背景と歌について解説する。 | プリントを用いて講義を進める。コメントシートを提出する。 | (予習:1時間) 万葉第四期の時代について、授業プリントの解説を読んで理解を深めておくこと。 (復習:2時間) 万葉第四期の時代について整理しておくこと。授業で取り扱った歌について理解を深めておくこと。 |
| 7 | 加藤 | 万葉集についてまとめの解説をする。歌謡から和歌への流れや前期万葉と後期万葉の違いについて解説する。歌から作者の思いを読み取り、考え方や生き方について考える。 | プリントを用いて講義を進める。歌からわかった人間の生き方について話し合う。コメントシートを提出する。 | (予習:2時間) 前回までの授業について整理しておくこと。万葉集の歌からわかった人間の生き方についてまとめておくこと。 (復習:4時間) 万葉集の歌からわかった人間の生き方についてレポート課題を作成しておくこと。 |
| 8 | 加藤 | 作者について紹介する。小説の手法について解説する。第一段落、第二段階の内容について解説する。 | プリントとテキストを用いて講義を進める。コメントシートを提出する。 | (予習:4時間) 授業プリントを読んで理解を深めておくこと。テキストの『偷盗』を読んで内容を把握しておくこと。 (復習:2時間) 小説の書き出し、登場人物の描写などについて整理しておくこと。 |
| 9 | 加藤 | 第三段落、第四段落の内容について解説する。登場人物の述懐について考える。 | テキストを用いて講義を進める。登場人物の述懐について話し合う。コメントシートを提出する。 | (予習:1時間) テキストの『偷盗』(第三、四段落)を読んで理解を深めておくこと。 (復習:2時間) 登場人物の心理について整理しておくこと。 |

| | | | | |
|--|--|--|--|--|
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

| | | | | |
|---|--|--------|---------|----|
| 科目名 | 【新カリ】人間の生き方 | 授業形態 | 講義 | |
| 英語科目名 | 【新カリ】人間の生き方 | 対象学年 | 1年 | |
| 開講学期 | 2022年度前期 | 単位数 | 2単位 | |
| 代表教員 | 長沼 淳 | ナンバリング | PHI1115 | |
| 担当教員 | 長沼 淳、スポーツ健康科学部教員共通 | | | |
| 授業概要 | | | | |
| 全体内容 | <p>〔授業の全体的内容〕 哲学の営為に触れ、哲学的に考えるということの意味を理解する。 哲学とは、あらゆるものごとの基盤を問い返す試みである。したがってその対象は、人間の存在そのものといった根源的なものから日常生活でふと経験する些細なことまで非常に広い。 本講では、われわれの存在について様々な角度から、これまでの哲学的な議論を基にしつつ、分析し、新たな視点を確保することを目指したい。あまりに当たり前すぎて考えてみることもしなかったような事象について捉え返す作業を積み重ね、哲学的考察の方法を習得できるようにしたい。 こうした問いかけは、他者のみならず自らとの対話を求めるものであり、当然のことながらコミュニケーション能力や他者などと折り合いをつけながら生きるための基本的な視点を確保することになる。</p> | | | |
| 到達目標 | <p>〔授業の到達目標〕 人間の生や生きるための具体的な営みを問い返すといった作業から、哲学的にものごとを考えるとどのようなことなのかを理解できるようにする。そのうえで、自分の問題意識にそって、哲学的な考察ができるようになることを第二の目標とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 哲学という方法論を理解することができる。 2. 世界の多様な存在様式について確認でき、それを幅広い他者理解につなげることができる。 3. 他者との共存のためにコミュニケーションを通して調整することができる。 4. 哲学的な理解を日常生活に応用、実践につなげることができる。 | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・人文・社会科学科目の選択必修科目である。 | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | <p>〔授業の位置づけ（学位授与方針に定められた知識・能力等との関連）〕 この科目は「スポーツ健康科学を中心とした幅広い知識と教養、およびそれらの活用能力」を身につけるものである。</p> | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | <p>〔履修要件〕 特に指定しない。</p> <p>〔履修上の注意〕 「哲学的に考える」ということは簡単な問に見えて非常に難しい問題である。この授業を手がかりにして自らの生き方を振り返るきっかけとしてほしい。</p> | | | |
| 成績評価の方法 | | | | |
| 評価方法 | <p>〔成績評価の方法〕 定期試験（80%）、レポート（15%）、小テスト（5%）を基本に総合的に評価する。</p> | | | |
| 評価基準 | <p>〔成績評価の基準〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・哲学的に考察することの、基本的な構造を理解できるか、レポート、定期テストで評価する。 ・哲学的な考察を、自らの問題に応用できるか、授業後の小テスト、定期テストで評価する。 ・上記応用に基づき、日常生活への実践方法を構想できるか、定期テストで評価する。 | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | |
| <p>〔課題に対するフィードバックの方法〕 レポートは翌週以降の講義後に評価や改善点を受講者に個別にフィードバックする。 定期試験については、次学期において評価、改善点をフィードバックする。</p> | | | | |
| テキスト | | | | |
| 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| 指定しない | | | | |
| 参考文献 | | | | |
| 授業内において適宜紹介する。 | | | | |
| その他 | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>〔連絡先〕 連絡先は授業内に告知する。</p> <p>〔オフィスアワー〕 日時：木曜の講義の前後の時間 場所：1号館2階非常勤講師室 確実にコンタクトをとりたい場合は前日までメールにてアポイントメントをとること。</p> | | | |
| 担当教員の実務経験 | 該当なし | | | |
| 備考 | <p>〔学修時間〕 この授業は講義の授業形態による2単位の科目であり、90時間（授業30時間以上を含む）の学修を必要とする内容から成り立つ。</p> <p>〔その他〕 授業内容は受講生の要望に応じて変更する可能性がある。 コロナの状況次第で授業計画、成績評価の基準及び方法が変更となる場合があるため、その都度の案内には注意してほしい。</p> | | | |

| 授業計画 | | | | |
|------|------|--|--------|---|
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 |
| 1 | 長沼 淳 | (授業内容) オリエンテーション 哲学とは何かを考える (授業方法) 講義と小レポート作成を行う | 講義・演習 | (予習) 必要なし (復習: 5時間) 哲学とは何かをまとめ、学びを深めること。 |
| 2 | 長沼 淳 | (授業内容) スポーツとは何か (授業方法) 講義とその内容に応じた考察を行う | 講義・演習 | (予習: 2時間) 配布プリントを確認しておくこと (復習: 3時間) スポーツの持つ文化性について考えておくこと。 |
| 3 | 長沼 淳 | (授業内容) スポーツと「体育」の違いについて (授業方法) 講義とその内容に基づき各自考察を行う | 講義・演習 | (予習: 2時間) 予習: 配布プリントを確認しておくこと。 (復習: 3時間) 体育は何を育てる科目なのかを考え直すこと。 |
| 4 | 長沼 淳 | (授業内容) ルールを守るということ (授業方法) 講義とその内容に基づき各自考察を行う | 講義・演習 | (予習: 2時間) 配布プリントを確認しておくこと。 (復習: 3時間) ルールとは何のために存在し、プレイヤーに順守を求めるのはなぜなのかを考えておくこと。 |
| 5 | 長沼 淳 | (授業内容) フェアプレーとは何か (授業方法) 講義とその内容に基づき各自考察を行う | 講義・演習 | (予習: 2時間) 配布プリントを確認しておくこと。 (復習: 2時間) スポーツマンシップに則り正々堂々と戦うとはどのようなことなのかを考えておくこと。 |
| 6 | 長沼 淳 | (授業内容) アマスポーツとプロスポーツは何が異なるのか (授業方法) 講義とその内容に基づき各自考察を行う | 講義・演習 | (予習: 2時間) 配布プリントを確認しておくこと。 (復習: 2時間) アマレスとプロレスは何が違うのかを考えておくこと。 |
| 7 | 長沼 淳 | (授業内容) 心があるということ (授業方法) 講義とその内容に基づき各自考察を行う | 講義・演習 | (予習: 2時間) 配布プリントを確認しておくこと (復習: 2時間) ドラえもんには心があるのか、ペッパーには心があるのか、そもそも心があるとはどのようなことかを考えること。 |
| 8 | 長沼 淳 | (授業内容) 本当とは何か (授業方法) 講義とその内容に基づき各自考察を行う | 講義・演習 | (予習: 2時間) 配布プリントを確認しておくこと (復習: 2時間) 自分の認識が正しかったり誤ったりするのはなぜなのか、そして今自分は正しく世界を認識しているのかを考えること。 |
| 9 | 長沼 淳 | (授業内容) 記憶とは何か (授業方法) 講義とその内容に基づき各自考察を行う | 講義・演習 | (予習: 2時間) 事前配布資料を確認しておくこと。 (復習: 2時間) 何かを思い出すこととあるものを思い浮かべることの違いについて考えておくこと。 |
| 10 | 長沼 淳 | (授業内容) 確率とは何か (授業方法) 講義とその内容に基づき各自考察を行う | 講義・演習 | (予習: 2時間) 配布プリントを確認しておくこと。 (復習: 2時間) 一回だけの出来事について確率計算をする意味を自分なりにまとめること。 |
| 11 | 長沼 淳 | (授業内容) 名前と実体 (授業方法) 講義とその内容に基づき各自考察を行う | 講義・演習 | (予習: 2時間) 配布プリントを確認しておくこと。 (復習: 2時間) 言葉が意味を持つということについて、それがどういふことなのかを考えること。 |
| 12 | 長沼 淳 | (授業内容) 私とは何か——アイデンティティについて考える (授業方法) 講義とその内容に基づき各自考察を行う | 講義・演習 | (予習: 2時間) 配布プリントを確認しておくこと。 (復習: 2時間) アイデンティティ形成に関わる他者の存在の意義について自分なりに考えること。 |

| | | | | | |
|------------------------|---|--------|---------|--------------------|----|
| 科目名 | 【新カリ】日本国憲法 [前半] | 授業形態 | 講義 | | |
| 英語科目名 | 【新カリ】日本国憲法 [前半] | 対象学年 | 1年 | | |
| 開講学期 | 2022年度後期 | 単位数 | 2単位 | | |
| 代表教員 | 池田 良彦 | ナンバリング | BAS1109 | | |
| 担当教員 | 池田 良彦、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | <p>【授業全体の内容】 憲法を学ぶ意義は、主権者である国民が政治のあり方を最終的に決定する力をもっていることにあるといえる。日本国憲法が制定（1947年5月3日）されてから70年が過ぎたが、その間に国際情勢が変化し、日本が少なからず影響を受けながらどのようにかかわってきたのかは、この間の日本の歴史を見れば明確であり、今後もわが国の対応が注目されることになる。憲法は、国家の基本法であり、国の制度や国の運営の方法について定められたもので、主権者である国民はこの憲法についての基本的な知識をもつことが必須条件といわなければならない。昨年、選挙権は18歳からと公職選挙法の改正が行われたが、大学生の皆さんは、政治に関心を持つことが必要不可欠ということになった。この授業では103カ条から成る日本国憲法の基本的な考え方を習得し、是非とも憲法問題に関心を示していただくことを念頭に置き授業を進めていきたい。</p> <p>【授業の位置づけ（学位授与方針に定められている知識・能力等との関連）】 この科目は「スポーツ健康科学に関連した幅広い知識を基礎とした教養」という学位授与方針の達成に寄与する。</p> <p>【授業の到達目標】 憲法問題は、連日のようにマスコミが採り上げているが、そこでの議論に理解を示し、自分の意見を論じることができるようになることを目標とする。</p> | | | | |
| 到達目標 | | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・人文・社会科学科目の必修科目である。また、中・高保健体育1種免許取得にあたっての必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | <p>【履修要件】 特になし。 【課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法】 レポート提出日の次の授業の時に解説する。 【テキスト・参考書等】 テキストはとくに指定しないが、憲法の条文は準備すること。（六法を購入する必要はないが、憲法の条文は必要。）</p> | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | <p>【成績評価の基準】 定期的にレポートの提出をもとめ、次の三点を評価の対象とする。 ①テーマに対する理解度、 ②問題点の説明、 ③自説の展開 【成績評価の方法】 レポートの評価（50%）と定期試験（50%）</p> | | | | |
| 評価基準 | | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | | | | | |
| 参考文献 | | | | | |
| | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>【連絡先】 担当：池田良彦 E-mail：：ysikeda [at] df.catv.ne.jp ※ [at] を@に変換してください 【オフィスアワー】 日時：毎週月曜日の2時間目の時間 場所：講師室の部屋</p> | | | | |
| 担当教員の実務経験 | | | | | |
| 備考 | <p>【学修時間】 この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業時間30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。1回の授業時間は100分とする。 【その他】 中・高教諭1種免許（保健体育）取得するための必修科目 科目：教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目（中学校及び高等学校 保健体育） 施行規則に定める科目区分又は事項等：日本国憲法</p> | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 | |

| | | | | |
|----|----|---|--|--|
| 1 | 池田 | <p>【授業内容】 テマ：日本国憲法制定の過程を説明する。大日本帝国憲法と日本国憲法との違いを比較し、講義を進める。 【授業方法】 講義形式でおこなう。</p> | | <p>(予習：3時間) 1 945年(昭和20年)8月15日の終戦が日本史の上でどのような状況にあったのかを高校時代の日本史の教科書で確認しておくこと。 (復習：1時間) 配布資料をよく読むこと。</p> |
| 2 | 池田 | <p>【授業内容】 テマ：天皇制について 「皇室典範」により天皇制が法的に位置づけられているが、今後の天皇制についての問題点を考える。 【授業方法】 配布資料を用いて講義をおこなう。</p> | | <p>(予習：3時間) 天皇の退位問題が話題となっているが、現行法上ではどのように考えられているのか調べておくこと。 (復習：1時間) 配布資料をよく読むこと。</p> |
| 3 | 池田 | <p>【授業内容】 テマ：日本国憲法9条の戦争放棄条項について わが国の政府は、9条に関する見解を日米安保条約との関係で解釈を変更してきたが、その主旨を説明し問題点を考える。 【授業方法】 配布資料を用いて講義をおこなう。</p> | | <p>(予習：3時間) 憲法9条問題を理解するためには、日米安保条約についての理解が必須であり、条約の趣旨を理解しておくこと。 (復習：1時間) 配布資料をよく読んで、憲法と条約の関係を理解すること。</p> |
| 4 | 池田 | <p>【授業内容】 テマ：憲法9条に関する司法解釈について 最高裁の砂川判決を資料として使い説明する。 【授業方法】 配布資料を用いて講義をおこなう。</p> | | <p>(予習：3時間) 憲 法問題は、政治的判断と、憲法上の法解釈とが異なることがあり、その違いを調べて理解しておくことが必要である。 (復習：1時間) 配 布資料を熟読し、政治的判断と法的判断との違いを理解すること。</p> |
| 5 | 池田 | <p>【授業内容】 テマ：基本的人権の基礎を学ぶ。 基本的人権は自由権から始まり、生存権へと発展していくがその基本的な考え方の違いについて理解する。人権の歴史を紹介する。 【授業方法】 配布資料を用いて講義をおこなう。</p> | | <p>(予習：3時間) 人権の歴史は古く、1215年のイギリスのマグナカルタにはじまり、以降1776年のアメリカの独立宣言、1789年のフランス革命があり、その歴史的な背景を理解しておくこと。 (復習：1時間) 配 布資料をよく読んで人権のルーツを理解する。</p> |
| 6 | 池田 | <p>【授業内容】 テマ：三権分立の意義 民主主義の根幹である国の制度のあり方について学ぶ。 【授業方法】 配布資料を用いて講義をおこなう。</p> | | <p>(予習：3時間) モ ンテスキューの「法の精神」によって三権分立が説かれたのでその考え方を調べて欲しい。 (復習：1時間) 配布資料を熟読して理解を深めて欲しい。</p> |
| 7 | 池田 | <p>【授業内容】 テマ：憲法13条の「個人の尊重」について プライバシーの権利は、一世紀前の時代から、現在の権利に至るまでの歴史あり、その発展過程を理解してほしい。 【授業方法】 配布資料を用いて講義をおこなう。</p> | | <p>(予習：3時間) 個 人の尊重はプライバシーの権利としてアメリカで発展してきた権利であり、この権利について調べて理解をして欲しい。 (復習：1時間) 配布資料を読んで理解して欲しい。</p> |
| 8 | 池田 | <p>【授業内容】 テマ：憲法14条の「法の下での平等」について 人種差別問題をはじめ、今日では平等概念が広く主張されるようになったのでその情報を提供する。 【授業方法】 配布資料を用いて講義をおこなう。</p> | | <p>(予習：3時間) 平 等概念はアメリカで発展してきた権利であり、新しい平等概念についても理解を深めて欲しい。 (復習：1時間) 平等問題は広く議論されているので、資料を読んで理解を深めて欲しい。</p> |
| 9 | 池田 | <p>【授業内容】 テマ：思想、良心の自由、表現の自由 表現の自由をはじめ、人間には生まれながらにして自由が付与されていることを理解する必要があることを説明する。 【授業方法】 配布資料を用いて講義をおこなう。</p> | | <p>(予習：3時間) 思 想や表現の自由は、人間に与えられた基本権であり、国家によって制限されるものではないが、世界には表現の自由が厳しく制限されている国家があり、そのような事情を調べて欲しい。 (復習：1時間) 配布資料をよく読んで欲しい。</p> |
| 10 | 池田 | <p>【授業内容】 テマ：刑事被告人の権利について わが国の司法制度について説明をする。 【授業方法】 配布資料を用いて講義をおこなう。</p> | | <p>(予習：3時間) 裁判における被告人の権利について調べて欲しい。 (復習：1時間) 資料を熟読して司法制度の理解を深めて欲しい。</p> |
| 11 | 池田 | <p>【授業内容】 テマ：市民参加型の刑事裁判について 世界の裁判制度について、陪審制(英米)、参審制(ヨーロッパ大陸)を比較して説明する。 【授業方法】 配布資料を用いて講義をおこなう。</p> | | <p>(予習：3時間) 裁判員制度の導入により国民が裁判に関心を持つ機会が多くなったがその問題点を調べてほしい。 (復習：1時間) 配布資料を読んで理解を求めろ。</p> |

| | | | |
|----|----|---|---|
| 12 | 池田 | 【授業内容】 テーマ：立法権、行政権について 立法権、行政権に関わる国民の立場から、どのような参加ができるのか説明する。 【授業方法】 配布資料を用いて講義をおこない、グループで意見交換を行う。 | (予習：3時間) 国民の権利および義務の中心は、主権者として政治にどのようにかかわるのが重要であり、この問題について積極的に意見を求めたい。 (復習：1時間) 配布資料を読んで理解を求める。 |
| 13 | 池田 | 【授業内容】 テーマ：憲法改正手続きについて 現行憲法には、改正に関する手続きが明確に示されていない。今後でやる議論があるので、学生の皆さんにも積極的に考えて欲しい。 【授業方法】 配布資料を用いて講義をおこない、グループで意見交換を行う。 | (予習：3時間) わが国では憲法改正論議が盛んであるが、一国民としてこの問題をどのように考えるのかを問いたい。 (復習：1時間) 憲法改正について、あなたはどのように考えるかを議論して欲しい。 |
| 14 | 池田 | 【授業内容】 テーマ：憲法論のまとめ これまで扱ったテーマについて質疑を受ける。 【授業方法】 配布資料を用いて講義をおこなう。 | (予習：3時間) これまで扱ったテーマについて、憲法論として纏め、質問があったら申し出ること。 (復習：5時間) 配布資料を読んで理解を求める。 |
| | | 定期試験 | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

| | | | | | |
|--|---|------|--------|--------------------|---------|
| 科目名 | 【新カリ】文章表現法 ③ | | | 授業形態 | 講義 |
| 英語科目名 | 【新カリ】文章表現法 ③ | | | 対象学年 | 1年 |
| 開講学期 | 2022年度後期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | 大野 早苗 | | | ナンバリング | BAS1110 |
| 担当教員 | 大野 早苗、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | 自分の思考や経験、感情を文章として表現する力は、大学での学びを支えるものであり、さらに、豊かな社会生活を送るための基礎となるものである。 本講義では、前半では主に創造的な文章を、後半では主に論理的な文章を書く練習をすることによって、文章で表現する力を涵養する。 | | | | |
| 到達目標 | 1. 自分の思考や経験、感情等を自由に書けるようになる。 2. 必要に応じて他者の言説の引用やデータの紹介を含めながら、自分の意見を筋道を立てて述べる文章が書けるようになる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・人文・社会科学科目の必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目は「スポーツ健康科学に関連した幅広い知識を基礎とした教養」という学位授与方針の達成に寄与する。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | [履修要件] 指定されたクラスで履修すること。 [履修上の注意（科目独自のルール）] 配布プリント、および、自分の書いた課題作文を、いつでも参照できる状態で保管するためのファイル（A4サイズ）を準備すること。 | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | 毎回の授業の課題作文を下記基準に沿って採点する（各回、10点～20点満点）。最終的に、課題作文の採点の合計を100点満点に換算して成績評価とする。 | | | | |
| 評価基準 | 1. 各回の学習項目に沿って、課題作文が書ける。 2. 求められた字数以上で課題作文が書ける。 | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 課題作文は、添削、評価して次回の授業時に返却する。 返却時に、評価基準を説明するとともに、必要に応じて修正や書き直しの時間を設ける。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | | | | | |
| 参考文献 | | | | | |
| 1. 石黒圭（2009）『よくわかる 文章表現の技術Ⅱ-文章構成編- [新版]』明治書院 2. 二通信子・大島弥生・佐藤勢紀子・因京子・山本富美子（2009）『留学生と日本人学生のためのレポート・論文表現ハンドブック』東京大学出版会 3. 田中真理・阿部新『Good Writingへのパスポート-読み手と構成を意識した日本語ライティング』くろしお出版 4. 大島弥生・池田玲子・大場理恵子・加納なおみ・高橋淑郎・岩田夏穂（2014）『ピアで学ぶ大学生の日本語表現 第2版-プロセス重視のレポート作成-』ひつじ書房 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | [連絡先] 担当：大野早苗 E-mail：sanaeo[at]juntendo.ac.jp ※[at]を@に変更してください。 [オフィスアワー] 日時：木曜日12:20～14:00 場所：1号館3階1336号室 | | | | |
| 担当教員の実務経験 | | | | | |
| 備考 | [学修時間] この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、90時間（授業30時間以上を含む）の学修を必要とする内容をもって構成する。 [その他] 新型コロナウイルス感染症の発生状況により、授業計画等の変更をお願いする可能性がある。 | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 | |

| | | | | |
|----|----|---|------------|---|
| 1 | 大野 | <p>〔授業内容〕 テーマ：自分の書く力を確認する。 長い文章を書くことに挑戦する。与えられた課題で、どれだけの長さの文章が書けるか、試してみる。</p> | 講義 | <p>(予習：1時間) シラバス全体に目を通し、授業の目的と進め方を確認しておく。</p> <p>(復習：3時間) 授業中に指示されたテーマ、字数で作文を書く。</p> |
| 2 | 大野 | <p>〔授業内容〕 テーマ：書き言葉と話し言葉の違いを知る。 話し言葉が発話の状況や話し手と聞き手の共有知識にいかにか依存しているかを確認し、書き言葉では多くのことを表現しなければ読み手にしっかりと情報が伝わらないことを知る。 学生同士ペアになり、互いに自分は知っているが相手は知らないことについて述べる文章を書き、どれくらい相手に伝わるか、確認してみる。</p> | 講義・ペアワーク | <p>(予習：1時間) 参考図書『Good Writingへのパスポート-読み手と構成を意識した日本語ライティング』pp.12-20を読み、読み手に伝わるように書くためには、何が必要かを理解する。</p> <p>(復習：3時間) 授業中に提示されたテーマ、字数で作文を書く。</p> |
| 3 | 大野 | <p>〔授業内容〕 テーマ：視覚的イメージを言葉で描写する。 日常的によく目にするものをよく観察し、言葉で描写する。このことを通じて、自分に見えているもの、感じていることを言葉に表す際に必要な情報が何かを知る。 書き上げた文章は、グループで共有し、互いに批評し合う。</p> | 講義・グループワーク | <p>(予習：2時間) 参考図書『Good Writingへのパスポート-読み手と構成を意識した日本語ライティング』pp.52-60を読み、見えているものの描写のしかたを理解する。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた文章を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 4 | 大野 | <p>〔授業内容〕 テーマ：創造的文章を作成する(1)。 短篇小说を読み、登場人物の性格や行動、それまでの人間関係、起きた出来事をしっかりと読み取り、その後の展開を想像して続編を書く。 書き上げた文章は、グループで共有し、互いに批評し合う。</p> | 講義・グループワーク | <p>(予習：2時間) 参考図書『よくわかる 文章表現の技術Ⅱ-文章構成編- [新版]』pp.61-81を読み、文章の始まりと結末がどのように呼応するかを理解する。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた文章を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 5 | 大野 | <p>〔授業内容〕 テーマ：創造的文章を作成する(2)。 4コマ漫画を見て、その展開をもとにして、短編の小説あるいは随筆を書く。 書き上げた文章は、グループで共有し、互いに批評し合う。</p> | 講義・グループワーク | <p>(予習：2時間) 参考図書『よくわかる 文章表現の技術Ⅱ-文章構成編- [新版]』pp.161-178を読み、出来事の展開をどのように書くかを理解する。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた文章を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 6 | 大野 | <p>〔授業内容〕 テーマ：創造的文章を作成する(3)。 詩歌をもとに、物語を創作する。想像力をもって言葉を受け止め、創造力をもって言葉をつむぐ。 書き上げた文章は、グループで共有し、互いに批評し合う。</p> | 講義・グループワーク | <p>(予習：2時間) 第3~5回の授業で書いた文章を見返し、見えているものの描写、文章の始まりと結末の呼応、出来事の展開の書き方などを整理しておく。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた文章を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 7 | 大野 | <p>〔授業内容〕 テーマ：意見を述べる(1)。 スポーツマンシップに反する行動をしようとしている友人に対し、それをいさめる手紙・メールを書く。友人を説得するために何を言わなければならないかを考え、必要な情報を収集する。 学生同士ペアになり、互いの手紙を読んで、説得力があるかどうか、話し合う。</p> | 講義・ペアワーク | <p>(予習：2時間) 課題作文の準備として、スポーツマンシップとは何かについて、必要に応じて文献等を参照しながら、整理しておく。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた手紙を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 8 | 大野 | <p>〔授業内容〕 テーマ：意見を述べる(2)。 前回の授業で書いた手紙の内容をもとに、特定の個人宛ではなく、意見文として、スポーツマンシップの大切さを説く文章を書く。筋道の通った文章となるように、論の構成をよく考える。 学生同士ペアになり、互いの文章を読んで、説得力があるかどうか、話し合う。</p> | 講義・ペアワーク | <p>(予習：2時間) 新聞社説等を読んで、意見や見解を述べる文章の展開はどのようなものか、考える。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた手紙を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 9 | 大野 | <p>〔授業内容〕 テーマ：引用して書く(1)。 他者の言説を引用する際の注意点を学ぶ。書籍や論文などについての情報(著者、発表年、発行所など)をどのようにして得るかを知り、引用する際に必要な情報を示す練習をする。</p> | 講義 | <p>(予習：2時間) 参考図書『留学生と日本人学生のためのレポート・論文表現ハンドブック』pp.69-75を参考に、引用の方法の基本を理解する。</p> <p>(復習：2時間) 授業で示された文献を使って、引用文を書く練習をする。</p> |
| 10 | 大野 | <p>〔授業内容〕 テーマ：引用して書く(2)。 他者の言説をもとに考えを深め、引用して筋道の通った文章を書く。筋道の通った文章となるように、論の構成をよく考える。 学生同士ペアになり、互いの文章を読んで、適切に引用ができていないか、確認し合う。</p> | 講義・ペアワーク | <p>(予習：1時間) 引用を含む文章を書く準備として、授業で示された複数の文献に目を通しておく。</p> <p>(復習：3時間) 授業中に書いた文章を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |

| | | | | |
|--|--|--|--|--|
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

| | | | | | |
|--|---|------|--------|--------------------|---------|
| 科目名 | 【新カリ】文章表現法 ④ | | | 授業形態 | 講義 |
| 英語科目名 | 【新カリ】文章表現法 ④ | | | 対象学年 | 1年 |
| 開講学期 | 2022年度後期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | 大野 早苗 | | | ナンバリング | BAS1110 |
| 担当教員 | 大野 早苗、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | 自分の思考や経験、感情を文章として表現する力は、大学での学びを支えるものであり、さらに、豊かな社会生活を送るための基礎となるものである。 本講義では、前半では主に創造的な文章を、後半では主に論理的な文章を書く練習をすることによって、文章で表現する力を涵養する。 | | | | |
| 到達目標 | 1. 自分の思考や経験、感情等を自由に書けるようになる。 2. 必要に応じて他者の言説の引用やデータの紹介を含めながら、自分の意見を筋道を立てて述べる文章が書けるようになる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・人文・社会科学科目の必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目は「スポーツ健康科学に関連した幅広い知識を基礎とした教養」という学位授与方針の達成に寄与する。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | [履修要件] 指定されたクラスで履修すること。 [履修上の注意（科目独自のルール）] 配布プリント、および、自分の書いた課題作文を、いつでも参照できる状態で保管するためのファイル（A4サイズ）を準備すること。 | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | 毎回の授業の課題作文を下記基準に沿って採点する（各回、10点～20点満点）。最終的に、課題作文の採点の合計を100点満点に換算して成績評価とする。 | | | | |
| 評価基準 | 1. 各回の学習項目に沿って、課題作文が書ける。 2. 求められた字数以上で課題作文が書ける。 | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 課題作文は、添削、評価して次回の授業時に返却する。 返却時に、評価基準を説明するとともに、必要に応じて修正や書き直しの時間を設ける。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | | | | | |
| 参考文献 | | | | | |
| 1. 石黒圭（2009）『よくわかる 文章表現の技術Ⅱ-文章構成編- [新版]』明治書院 2. 二通信子・大島弥生・佐藤勢紀子・因京子・山本富美子（2009）『留学生と日本人学生のためのレポート・論文表現ハンドブック』東京大学出版会 3. 田中真理・阿部新『Good Writingへのパスポート-読み手と構成を意識した日本語ライティング』くろしお出版 4. 大島弥生・池田玲子・大場理恵子・加納なおみ・高橋淑郎・岩田夏穂（2014）『ピアで学ぶ大学生の日本語表現 第2版-プロセス重視のレポート作成-』ひつじ書房 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | [連絡先] 担当：大野早苗 E-mail：sanaeo[at]juntendo.ac.jp ※[at]を@に変更してください。 [オフィスアワー] 日時：木曜日12:20～14:00 場所：1号館3階1336号室 | | | | |
| 担当教員の実務経験 | | | | | |
| 備考 | [学修時間] この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、90時間（授業30時間以上を含む）の学修を必要とする内容をもって構成する。 [その他] 新型コロナウイルス感染症の発生状況により、授業計画等の変更をお願いする可能性がある。 | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 | |

| | | | | |
|----|----|---|------------|---|
| 1 | 大野 | <p>〔授業内容〕 テーマ：自分の書く力を確認する。 長い文章を書くことに挑戦する。与えられた課題で、どれだけの長さの文章が書けるか、試してみる。</p> | 講義 | <p>(予習：1時間) シラバス全体に目を通し、授業の目的と進め方を確認しておく。</p> <p>(復習：3時間) 授業中に指示されたテーマ、字数で作文を書く。</p> |
| 2 | 大野 | <p>〔授業内容〕 テーマ：書き言葉と話し言葉の違いを知る。 話し言葉が発話の状況や話し手と聞き手の共有知識にいかにか依存しているかを確認し、書き言葉では多くのことを表現しなければ読み手にしっかりと情報が伝わらないことを知る。 学生同士ペアになり、互いに自分は知っているが相手は知らないことについて述べる文章を書き、どれくらい相手に伝わるか、確認してみる。</p> | 講義・ペアワーク | <p>(予習：1時間) 参考図書『Good Writingへのパスポート-読み手と構成を意識した日本語ライティング』pp.12-20を読み、読み手に伝わるように書くためには、何が必要かを理解する。</p> <p>(復習：3時間) 授業中に提示されたテーマ、字数で作文を書く。</p> |
| 3 | 大野 | <p>〔授業内容〕 テーマ：視覚的イメージを言葉で描写する。 日常的によく目にするものをよく観察し、言葉で描写する。このことを通じて、自分に見えているもの、感じていることを言葉に表す際に必要な情報が何かを知る。 書き上げた文章は、グループで共有し、互いに批評し合う。</p> | 講義・グループワーク | <p>(予習：2時間) 参考図書『Good Writingへのパスポート-読み手と構成を意識した日本語ライティング』pp.52-60を読み、見えているものの描写のしかたを理解する。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた文章を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 4 | 大野 | <p>〔授業内容〕 テーマ：創造的文章を作成する(1)。 短篇小说を読み、登場人物の性格や行動、それまでの人間関係、起きた出来事をしっかりと読み取り、その後の展開を想像して続編を書く。 書き上げた文章は、グループで共有し、互いに批評し合う。</p> | 講義・グループワーク | <p>(予習：2時間) 参考図書『よくわかる 文章表現の技術Ⅱ-文章構成編- [新版]』pp.61-81を読み、文章の始まりと結末がどのように呼応するかを理解する。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた文章を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 5 | 大野 | <p>〔授業内容〕 テーマ：創造的文章を作成する(2)。 4コマ漫画を見て、その展開をもとにして、短編の小説あるいは随筆を書く。 書き上げた文章は、グループで共有し、互いに批評し合う。</p> | 講義・グループワーク | <p>(予習：2時間) 参考図書『よくわかる 文章表現の技術Ⅱ-文章構成編- [新版]』pp.161-178を読み、出来事の展開をどのように書くかを理解する。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた文章を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 6 | 大野 | <p>〔授業内容〕 テーマ：創造的文章を作成する(3)。 詩歌をもとに、物語を創作する。想像力をもって言葉を受け止め、創造力をもって言葉をつむぐ。 書き上げた文章は、グループで共有し、互いに批評し合う。</p> | 講義・グループワーク | <p>(予習：2時間) 第3~5回の授業で書いた文章を見返し、見えているものの描写、文章の始まりと結末の呼応、出来事の展開の書き方などを整理しておく。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた文章を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 7 | 大野 | <p>〔授業内容〕 テーマ：意見を述べる(1)。 スポーツマンシップに反する行動をしようとしている友人に対し、それをいさめる手紙・メールを書く。友人を説得するために何を言わなければならないかを考え、必要な情報を収集する。 学生同士ペアになり、互いの手紙を読んで、説得力があるかどうか、話し合う。</p> | 講義・ペアワーク | <p>(予習：2時間) 課題作文の準備として、スポーツマンシップとは何かについて、必要に応じて文献等を参照しながら、整理しておく。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた手紙を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 8 | 大野 | <p>〔授業内容〕 テーマ：意見を述べる(2)。 前回の授業で書いた手紙の内容をもとに、特定の個人宛ではなく、意見文として、スポーツマンシップの大切さを説く文章を書く。筋道の通った文章となるように、論の構成をよく考える。 学生同士ペアになり、互いの文章を読んで、説得力があるかどうか、話し合う。</p> | 講義・ペアワーク | <p>(予習：2時間) 新聞社説等を読んで、意見や見解を述べる文章の展開はどのようなものか、考える。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた手紙を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 9 | 大野 | <p>〔授業内容〕 テーマ：引用して書く(1)。 他者の言説を引用する際の注意点を学ぶ。書籍や論文などについての情報(著者、発表年、発行所など)をどのようにして得るかを知り、引用する際に必要な情報を示す練習をする。</p> | 講義 | <p>(予習：2時間) 参考図書『留学生と日本人学生のためのレポート・論文表現ハンドブック』pp.69-75を参考に、引用の方法の基本を理解する。</p> <p>(復習：2時間) 授業で示された文献を使って、引用文を書く練習をする。</p> |
| 10 | 大野 | <p>〔授業内容〕 テーマ：引用して書く(2)。 他者の言説をもとに考えを深め、引用して筋道の通った文章を書く。筋道の通った文章となるように、論の構成をよく考える。 学生同士ペアになり、互いの文章を読んで、適切に引用ができていないか、確認し合う。</p> | 講義・ペアワーク | <p>(予習：1時間) 引用を含む文章を書く準備として、授業で示された複数の文献に目を通しておく。</p> <p>(復習：3時間) 授業中に書いた文章を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |

| | | | | |
|--|--|--|--|--|
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

| | | | | | |
|---|---|---|--------|---|---------|
| 科目名 | 【新カリ】文章表現法 ⑤ | | | 授業形態 | 講義 |
| 英語科目名 | 【新カリ】文章表現法 ⑤ | | | 対象学年 | 1年 |
| 開講学期 | 2022年度後期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | 杉山 和也 | | | ナンバリング | BAS1110 |
| 担当教員 | 杉山 和也、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | 自分の思考や経験、感情を文章として表現する力は、大学での学びを支えるものであり、さらに、豊かな社会生活を送るための基礎となるものである。 本講義では、前半では主に創造的な文章を、後半では主に論理的な文章を書く練習をすることによって、文章で表現する力を涵養する。 | | | | |
| 到達目標 | 1. 自分の思考や経験、感情等を自由に書けるようになる。 2. 必要に応じて他者の言説の引用やデータの紹介を含めながら、自分の意見を筋道を立てて述べる文章が書けるようになる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・人文・社会科学科目の必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目は「スポーツ健康科学に関連した幅広い知識を基礎とした教養」という学位授与方針の達成に寄与する。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | [履修要件] 指定されたクラスで履修すること。 [履修上の注意（科目独自のルール）] 配布プリント、および、自分の書いた課題作文を、いつでも参照できる状態で保管するためのファイル（A4サイズ）を準備すること。 | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | 毎回の授業の課題作文を下記基準に沿って採点する（各回、10点～20点満点）。最終的に、課題作文の採点の合計を100点満点に換算して成績評価とする。 | | | | |
| 評価基準 | 1. 各回の学習項目に沿って、課題作文が書ける。 2. 求められた字数以上で課題作文が書ける。 | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 課題作文は、添削、評価して次回の授業時に返却する。 返却時に、評価基準を説明するとともに、必要に応じて修正や書き直しの時間を設ける。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | | | | | |
| 参考文献 | | | | | |
| 1. 石黒圭 (2009) 『よくわかる 文章表現の技術Ⅱ-文章構成編- [新版]』 明治書院 2. 二通信子・大島弥生・佐藤勢紀子・因京子・山本富美子 (2009) 『留学生と日本人学生のためのレポート・論文表現ハンドブック』 東京大学出版会 3. 田中真理・阿部新 『Good Writingへのパスポート-読み手と構成を意識した日本語ライティング』 ころしお出版 4. 大島弥生・池田玲子・大場理恵子・加納なおみ・高橋淑郎・岩田夏穂 (2014) 『ピアで学ぶ大学生の日本語表現 第2版-プロセス重視のレポート作成-』 ひつじ書房 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | 【連絡先】 担当： 杉山 和也 E-mail : k.sugiyama.rn@juntendo.ac.jp 【オフィスアワー】 授業後に1303号室、ないし上記メールアドレス | | | | |
| 担当教員の実務経験 | | | | | |
| 備考 | [学修時間] この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、90時間（授業30時間以上を含む）の学修を必要とする内容をもって構成する。 [その他] 新型コロナウイルス感染症の発生状況により、授業計画等の変更をお願いする可能性がある。 | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 | |
| 1 | 杉山和也 | [授業内容] テーマ：自分の書く力を確認する。 長い文章を書くことに挑戦する。与えられた課題で、どれだけの長さの文章が書けるか、試してみる。” | 講義 | (予習：1時間) シラバス全体に目を通し、授業の目的と進め方を確認しておく。 (復習：3時間) 授業中に指示されたテーマ、字数で作文を書く。 | |

| | | | | |
|----|------|---|------------|---|
| 2 | 杉山和也 | <p>[授業内容] テーマ：書き言葉と話し言葉の違いを知る。 話し言葉が発話の状況や話し手と聞き手の共有知識にいかにか依存しているかを確認し、書き言葉では多くのことを表現しなければ読み手にしっかりと情報が伝わらないことを知る。 学生同士ペアになり、互いに自分は知っているが相手は知らないことについて述べる文章を書き、どれくらい相手に伝わるか、確認してみる。</p> | 講義・ペアワーク | <p>(予習：1時間) 参考図書『Good Writingへのパスポート-読み手と構成を意識した日本語ライティング』pp.12-20を読み、読み手に伝わるように書くためには、何が必要かを理解する。</p> <p>(復習：3時間) 授業中に提示されたテーマ、字数で作文を書く。</p> |
| 3 | 杉山和也 | <p>[授業内容] テーマ：視覚的イメージを言葉で描写する。 日常的によく目にするものをよく観察し、言葉で描写する。このことを通じて、自分に見えているもの、感じていることを言葉に表す際に必要な情報が何かを知る。 書き上げた文章は、グループで共有し、互いに批評し合う。</p> | 講義・グループワーク | <p>(予習：2時間) 参考図書『Good Writingへのパスポート-読み手と構成を意識した日本語ライティング』pp.52-60を読み、見えているものの描写のしかたを理解する。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた文章を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 4 | 杉山和也 | <p>[授業内容] テーマ：創造的文章を作成する(1)。 短篇小説を読み、登場人物の性格や行動、それまでの人間関係、起きた出来事をしっかりと読み取り、その後の展開を想像して続編を書く。 書き上げた文章は、グループで共有し、互いに批評し合う。</p> | 講義・グループワーク | <p>(予習：2時間) 参考図書『よくわかる 文章表現の技術Ⅱ-文章構成編- [新版]』pp.61-81を読み、文章の始まりと結末がどのように呼応するかを理解する。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた文章を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 5 | 杉山和也 | <p>[授業内容] テーマ：創造的文章を作成する(2)。 4コマ漫画を見て、その展開をもとにして、短編の小説あるいは随筆を書く。 書き上げた文章は、グループで共有し、互いに批評し合う。</p> | 講義・グループワーク | <p>(予習：2時間) 参考図書『よくわかる 文章表現の技術Ⅱ-文章構成編- [新版]』pp.161-178を読み、出来事の展開をどのように書くかを理解する。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた文章を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 6 | 杉山和也 | <p>[授業内容] テーマ：創造的文章を作成する(3)。 詩歌をもとに、物語を創作する。想像力をもって言葉を受け止め、創造力をもって言葉をつむぐ。 書き上げた文章は、グループで共有し、互いに批評し合う。</p> | 講義・グループワーク | <p>(予習：2時間) 第3～5回の授業で書いた文章を見返し、見えているものの描写、文章の始まりと結末の呼応、出来事の展開の書き方などを整理しておく。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた文章を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 7 | 杉山和也 | <p>[授業内容] テーマ：意見を述べる(1)。 スポーツマンシップに反する行動をしようとしている友人に対し、それをいさめる手紙・メールを書く。友人を説得するために何を言わなければならないかを考え、必要な情報を収集する。 学生同士ペアになり、互いの手紙を読んで、説得力があるかどうか、話し合う。</p> | 講義・ペアワーク | <p>(予習：2時間) 課題作文の準備として、スポーツマンシップとは何かについて、必要に応じて文献等を参照しながら、整理しておく。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた手紙を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 8 | 杉山和也 | <p>[授業内容] テーマ：意見を述べる(2)。 前回の授業で書いた手紙の内容をもとに、特定の個人宛ではなく、意見文として、スポーツマンシップの大切さを説く文章を書く。筋道の通った文章となるように、論の構成をよく考える。 学生同士ペアになり、互いの文章を読んで、説得力があるかどうか、話し合う。</p> | 講義・ペアワーク | <p>(予習：2時間) 新聞社説等を読んで、意見や見解を述べる文章の展開はどのようなものか、考える。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた手紙を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 9 | 杉山和也 | <p>[授業内容] テーマ：引用して書く(1)。 他者の言説を引用する際の注意点を学ぶ。書籍や論文などについての情報(著者、発表年、発行所など)をどのようにして得るかを知り、引用する際に必要な情報を示す練習をする。</p> | 講義 | <p>(予習：2時間) 参考図書『留学生と日本人学生のためのレポート・論文表現ハンドブック』pp.69-75を参考に、引用の方法の基本を理解する。</p> <p>(復習：2時間) 授業で示された文献を使って、引用文を書く練習をする。</p> |
| 10 | 杉山和也 | <p>[授業内容] テーマ：引用して書く(2) 他者の言説をもとに考えを深め、引用して筋道の通った文章を書く。筋道の通った文章となるように、論の構成をよく考える。 学生同士ペアになり、互いの文章を読んで、適切に引用ができていないか、確認し合う。</p> | 講義・ペアワーク | <p>(予習：1時間) 引用を含む文章を書く準備として、授業で示された複数の文献に目を通しておく。</p> <p>(復習：3時間) 授業中に書いた文章を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |

| | | | | |
|--|--|--|--|--|
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

| | | | | | |
|---|---|---|--------|---|---------|
| 科目名 | 【新カリ】文章表現法 ⑧ | | | 授業形態 | 講義 |
| 英語科目名 | 【新カリ】文章表現法 ⑧ | | | 対象学年 | 1年 |
| 開講学期 | 2022年度後期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | 沢野 美由紀 | | | ナンバリング | BAS1110 |
| 担当教員 | 沢野 美由紀、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | 自分の思考や経験、感情を文章として表現する力は、大学での学びを支えるものであり、さらに、豊かな社会生活を送るための基礎となるものである。 本講義では、前半では主に創造的な文章を、後半では主に論理的な文章を書く練習をすることによって、文章で表現する力を涵養する。 | | | | |
| 到達目標 | 1. 自分の思考や経験、感情等を自由に書けるようになる。 2. 必要に応じて他者の言説の引用やデータの紹介を含めながら、自分の意見を筋道を立てて述べる文章が書けるようになる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・人文・社会科学科目の必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目は「スポーツ健康科学に関連した幅広い知識を基礎とした教養」という学位授与方針の達成に寄与する。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | [履修要件] 指定されたクラスで履修すること。 [履修上の注意（科目独自のルール）] 配布プリント、および、自分の書いた課題作文を、いつでも参照できる状態で保管するためのファイル（A4サイズ）を準備すること。 | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | 毎回の授業の課題作文を下記基準に沿って採点する（各回、10点～20点満点）。最終的に、課題作文の採点の合計を100点満点に換算して成績評価とする。 | | | | |
| 評価基準 | 1. 各回の学習項目に沿って、課題作文が書ける。 2. 求められた字数以上で課題作文が書ける。 | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 課題作文は、添削、評価して次回の授業時に返却する。 返却時に、評価基準を説明するとともに、必要に応じて修正や書き直しの時間を設ける。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | | | | | |
| 参考文献 | | | | | |
| 1. 石黒圭 (2009) 『よくわかる 文章表現の技術Ⅱ-文章構成編- [新版]』 明治書院 2. 二通信子・大島弥生・佐藤勢紀子・因京子・山本富美子 (2009) 『留学生と日本人学生のためのレポート・論文表現ハンドブック』 東京大学出版会 3. 田中真理・阿部新 『Good Writingへのパスポート-読み手と構成を意識した日本語ライティング』 くろしお出版 4. 大島弥生・池田玲子・大場理恵子・加納なおみ・高橋淑郎・岩田夏穂 (2014) 『ピアで学ぶ大学生の日本語表現 第2版-プロセス重視のレポート作成-』 ひつじ書房 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | [連絡先] 担当： 沢野美由紀 E-mail : m-sawano[at] juntendo. ac. jp ※[at]を@に変更してください。 [オフィスアワー] | | | | |
| 担当教員の実務経験 | | | | | |
| 備考 | [学修時間] この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、90時間（授業30時間以上を含む）の学修を必要とする内容をもって構成する。 [その他] 新型コロナウイルス感染症の発生状況により、授業計画等の変更をお願いする可能性がある。 | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 | |
| 1 | 沢野 | [授業内容] テーマ：自分の書く力を確認する。 長い文章を書くことに挑戦する。与えられた課題で、どれだけの長さの文章が書けるか、試してみる。” | 講義 | (予習：1時間) シラバス全体に目を通し、授業の目的と進め方を確認しておく。 (復習：3時間) 授業中に指示されたテーマ、字数で作文を書く。 | |

| | | | | |
|----|----|---|-------------------|---|
| 2 | 沢野 | <p>[授業内容] テーマ：書き言葉と話し言葉の違いを知る。 話し言葉が発話の状況や話し手と聞き手の共有知識にいかにか依存しているかを確認し、書き言葉では多くのことを表現しなければ読み手にしっかりと情報が伝わらないことを知る。 学生同士ペアになり、互いに自分は知っているが相手は知らないことについて述べる文章を書き、どれくらい相手に伝わるか、確認してみる。</p> | <p>講義・ペアワーク</p> | <p>(予習：1時間) 参考図書『Good Writingへのパスポート-読み手と構成を意識した日本語ライティング』pp.12-20を読み、読み手に伝わるように書くためには、何が必要かを理解する。</p> <p>(復習：3時間) 授業中に提示されたテーマ、字数で作文を書く。</p> |
| 3 | 沢野 | <p>[授業内容] テーマ：視覚的イメージを言葉で描写する。 日常的によく目にするものをよく観察し、言葉で描写する。このことを通じて、自分に見えているもの、感じているものを言葉に表す際に必要な情報が何かを知る。 書き上げた文章は、グループで共有し、互いに批評し合う。</p> | <p>講義・グループワーク</p> | <p>(予習：2時間) 参考図書『Good Writingへのパスポート-読み手と構成を意識した日本語ライティング』pp.52-60を読み、見えているものの描写のしかたを理解する。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた文章を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 4 | 沢野 | <p>[授業内容] テーマ：創造的文章を作成する(1)。 短篇小说を読み、登場人物の性格や行動、それまでの人間関係、起きた出来事をしっかりと読み取り、その後の展開を想像して続編を書く。 書き上げた文章は、グループで共有し、互いに批評し合う。</p> | <p>講義・グループワーク</p> | <p>(予習：2時間) 参考図書『よくわかる 文章表現の技術Ⅱ-文章構成編- [新版]』pp.61-81を読み、文章の始まりと結末がどのように呼応するかを理解する。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた文章を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 5 | 沢野 | <p>[授業内容] テーマ：創造的文章を作成する(2)。 4コマ漫画を見て、その展開をもとにして、短編の小説あるいは随筆を書く。 書き上げた文章は、グループで共有し、互いに批評し合う。</p> | <p>講義・グループワーク</p> | <p>(予習：2時間) 参考図書『よくわかる 文章表現の技術Ⅱ-文章構成編- [新版]』pp.161-178を読み、出来事の展開をどのように書くかを理解する。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた文章を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 6 | 沢野 | <p>[授業内容] テーマ：創造的文章を作成する(3)。 詩歌をもとに、物語を創作する。想像力をもって言葉を受け止め、創造力をもって言葉をつむぐ。 書き上げた文章は、グループで共有し、互いに批評し合う。</p> | <p>講義・グループワーク</p> | <p>(予習：2時間) 第3～5回の授業で書いた文章を見返し、見えているもの描写、文章の始まりと結末の呼応、出来事の展開の書き方などを整理しておく。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた文章を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 7 | 沢野 | <p>[授業内容] テーマ：意見を述べる(1)。 スポーツマンシップに反する行動をしようとしている友人に対し、それをいさめる手紙・メールを書く。友人を説得するために何を言わなければならないかを考え、必要な情報を収集する。 学生同士ペアになり、互いの手紙を読んで、説得力があるかどうか、話し合う。</p> | <p>講義・ペアワーク</p> | <p>(予習：2時間) 課題作文の準備として、スポーツマンシップとは何かについて、必要に応じて文献等を参照しながら、整理しておく。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた手紙を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 8 | 沢野 | <p>[授業内容] テーマ：意見を述べる(2)。 前回の授業で書いた手紙の内容をもとに、特定の個人宛ではなく、意見文として、スポーツマンシップの大切さを説く文章を書く。筋道の通った文章となるように、論の構成をよく考える。 学生同士ペアになり、互いの文章を読んで、説得力があるかどうか、話し合う。</p> | <p>講義・ペアワーク</p> | <p>(予習：2時間) 新聞社説等を読んで、意見や見解を述べる文章の展開はどのようなものか、考える。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた手紙を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 9 | 沢野 | <p>[授業内容] テーマ：引用して書く(1)。 他者の言説を引用する際の注意点を学ぶ。書籍や論文などについての情報(著者、発表年、発行所など)をどのようにして得るかを知り、引用する際に必要な情報を示す練習をする。</p> | <p>講義</p> | <p>(予習：2時間) 参考図書『留学生と日本人学生のためのレポート・論文表現ハンドブック』pp.69-75を参考に、引用の方法の基本を理解する。</p> <p>(復習：2時間) 授業で示された文献を使って、引用文を書く練習をする。</p> |
| 10 | 沢野 | <p>[授業内容] テーマ：引用して書く(2)。 他者の言説をもとに考えを深め、引用して筋道の通った文章を書く。筋道の通った文章となるように、論の構成をよく考える。 学生同士ペアになり、互いの文章を読んで、適切に引用ができていないか、確認し合う。</p> | <p>講義・ペアワーク</p> | <p>(予習：1時間) 引用を含む文章を書く準備として、授業で示された複数の文献に目を通しておく。</p> <p>(復習：3時間) 授業中に書いた文章を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |

| | | | | |
|--|--|--|--|--|
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

| | | | | | |
|---|---|---|--------|---|---------|
| 科目名 | 【新カリ】文章表現法 ⑨ | | | 授業形態 | 講義 |
| 英語科目名 | 【新カリ】文章表現法 ⑨ | | | 対象学年 | 1年 |
| 開講学期 | 2022年度後期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | 沢野 美由紀 | | | ナンバリング | BAS1110 |
| 担当教員 | 沢野 美由紀、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | 自分の思考や経験、感情を文章として表現する力は、大学での学びを支えるものであり、さらに、豊かな社会生活を送るための基礎となるものである。 本講義では、前半では主に創造的な文章を、後半では主に論理的な文章を書く練習をすることによって、文章で表現する力を涵養する。 | | | | |
| 到達目標 | 1. 自分の思考や経験、感情等を自由に書けるようになる。 2. 必要に応じて他者の言説の引用やデータの紹介を含めながら、自分の意見を筋道を立てて述べる文章が書けるようになる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・人文・社会科学科目の必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目は「スポーツ健康科学に関連した幅広い知識を基礎とした教養」という学位授与方針の達成に寄与する。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | [履修要件] 指定されたクラスで履修すること。 [履修上の注意（科目独自のルール）] 配布プリント、および、自分の書いた課題作文を、いつでも参照できる状態で保管するためのファイル（A4サイズ）を準備すること。 | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | 毎回の授業の課題作文を上記基準に沿って採点する（各回、10点～20点満点）。最終的に、課題作文の採点の合計を100点満点に換算して成績評価とする。 | | | | |
| 評価基準 | 1. 各回の学習項目に沿って、課題作文が書ける。 2. 求められた字数以上で課題作文が書ける。 | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 課題作文は、添削、評価して次回の授業時に返却する。 返却時に、評価基準を説明するとともに、必要に応じて修正や書き直しの時間を設ける。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | | | | | |
| 参考文献 | | | | | |
| 1. 石黒圭 (2009) 『よくわかる 文章表現の技術Ⅱ-文章構成編- [新版]』 明治書院 2. 二通信子・大島弥生・佐藤勢紀子・因京子・山本富美子 (2009) 『留学生と日本人学生のためのレポート・論文表現ハンドブック』 東京大学出版会 3. 田中真理・阿部新 『Good Writingへのパスポート-読み手と構成を意識した日本語ライティング』 くろしお出版 4. 大島弥生・池田玲子・大場理恵子・加納なおみ・高橋淑郎・岩田夏穂 (2014) 『ピアで学ぶ大学生の日本語表現 第2版-プロセス重視のレポート作成-』 ひつじ書房 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | [連絡先] 担当： 沢野美由紀 E-mail : m-sawano[at] juntendo. ac. jp ※[at]を@に変更してください。 [オフィスアワー] | | | | |
| 担当教員の実務経験 | | | | | |
| 備考 | [学修時間] この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、90時間（授業30時間以上を含む）の学修を必要とする内容をもって構成する。 [その他] 新型コロナウイルス感染症の発生状況により、授業計画等の変更をお願いする可能性がある。 | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 | |
| 1 | 沢野 | [授業内容] テーマ：自分の書く力を確認する。 長い文章を書くことに挑戦する。与えられた課題で、どれだけの長さの文章が書けるか、試してみる。” | 講義 | (予習：1時間) シラバス全体に目を通し、授業の目的と進め方を確認しておく。 (復習：3時間) 授業中に指示されたテーマ、字数で作文を書く。 | |

| | | | | |
|----|----|---|-------------------|---|
| 2 | 沢野 | <p>[授業内容] テーマ：書き言葉と話し言葉の違いを知る。 話し言葉が発話の状況や話し手と聞き手の共有知識にいかにか依存しているかを確認し、書き言葉では多くのことを表現しなければ読み手にしっかりと情報が伝わらないことを知る。 学生同士ペアになり、互いに自分は知っているが相手は知らないことについて述べる文章を書き、どれくらい相手に伝わるか、確認してみる。</p> | <p>講義・ペアワーク</p> | <p>(予習：1時間) 参考図書『Good Writingへのパスポート-読み手と構成を意識した日本語ライティング』pp.12-20を読み、読み手に伝わるように書くためには、何が必要かを理解する。</p> <p>(復習：3時間) 授業中に提示されたテーマ、字数で作文を書く。</p> |
| 3 | 沢野 | <p>[授業内容] テーマ：視覚的イメージを言葉で描写する。 日常的によく目にするものをよく観察し、言葉で描写する。このことを通じて、自分に見えているもの、感じているものを言葉に表す際に必要な情報が何かを知る。 書き上げた文章は、グループで共有し、互いに批評し合う。</p> | <p>講義・グループワーク</p> | <p>(予習：2時間) 参考図書『Good Writingへのパスポート-読み手と構成を意識した日本語ライティング』pp.52-60を読み、見えているものの描写のしかたを理解する。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた文章を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 4 | 沢野 | <p>[授業内容] テーマ：創造的文章を作成する(1)。 短篇小说を読み、登場人物の性格や行動、それまでの人間関係、起きた出来事をしっかりと読み取り、その後の展開を想像して続編を書く。 書き上げた文章は、グループで共有し、互いに批評し合う。</p> | <p>講義・グループワーク</p> | <p>(予習：2時間) 参考図書『よくわかる 文章表現の技術Ⅱ-文章構成編- [新版]』pp.61-81を読み、文章の始まりと結末がどのように呼応するかを理解する。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた文章を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 5 | 沢野 | <p>[授業内容] テーマ：創造的文章を作成する(2)。 4コマ漫画を見て、その展開をもとにして、短編の小説あるいは随筆を書く。 書き上げた文章は、グループで共有し、互いに批評し合う。</p> | <p>講義・グループワーク</p> | <p>(予習：2時間) 参考図書『よくわかる 文章表現の技術Ⅱ-文章構成編- [新版]』pp.161-178を読み、出来事の展開をどのように書くかを理解する。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた文章を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 6 | 沢野 | <p>[授業内容] テーマ：創造的文章を作成する(3)。 詩歌をもとに、物語を創作する。想像力をもって言葉を受け止め、創造力をもって言葉をつむぐ。 書き上げた文章は、グループで共有し、互いに批評し合う。</p> | <p>講義・グループワーク</p> | <p>(予習：2時間) 第3～5回の授業で書いた文章を見返し、見えているもの描写、文章の始まりと結末の呼応、出来事の展開の書き方などを整理しておく。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた文章を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 7 | 沢野 | <p>[授業内容] テーマ：意見を述べる(1)。 スポーツマンシップに反する行動をしようとしている友人に対し、それをいさめる手紙・メールを書く。友人を説得するために何を言わなければならないかを考え、必要な情報を収集する。 学生同士ペアになり、互いの手紙を読んで、説得力があるかどうか、話し合う。</p> | <p>講義・ペアワーク</p> | <p>(予習：2時間) 課題作文の準備として、スポーツマンシップとは何かについて、必要に応じて文献等を参照しながら、整理しておく。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた手紙を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 8 | 沢野 | <p>[授業内容] テーマ：意見を述べる(2)。 前回の授業で書いた手紙の内容をもとに、特定の個人宛ではなく、意見文として、スポーツマンシップの大切さを説く文章を書く。筋道の通った文章となるように、論の構成をよく考える。 学生同士ペアになり、互いの文章を読んで、説得力があるかどうか、話し合う。</p> | <p>講義・ペアワーク</p> | <p>(予習：2時間) 新聞社説等を読んで、意見や見解を述べる文章の展開はどのようなものか、考える。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた手紙を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 9 | 沢野 | <p>[授業内容] テーマ：引用して書く(1)。 他者の言説を引用する際の注意点を学ぶ。書籍や論文などについての情報(著者、発表年、発行所など)をどのようにして得るかを知り、引用する際に必要な情報を示す練習をする。</p> | <p>講義</p> | <p>(予習：2時間) 参考図書『留学生と日本人学生のためのレポート・論文表現ハンドブック』pp.69-75を参考に、引用の方法の基本を理解する。</p> <p>(復習：2時間) 授業で示された文献を使って、引用文を書く練習をする。</p> |
| 10 | 沢野 | <p>[授業内容] テーマ：引用して書く(2)。 他者の言説をもとに考えを深め、引用して筋道の通った文章を書く。筋道の通った文章となるように、論の構成をよく考える。 学生同士ペアになり、互いの文章を読んで、適切に引用ができていないか、確認し合う。</p> | <p>講義・ペアワーク</p> | <p>(予習：1時間) 引用を含む文章を書く準備として、授業で示された複数の文献に目を通しておく。</p> <p>(復習：3時間) 授業中に書いた文章を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |

| | | | | |
|--|--|--|--|--|
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

| | | | | | |
|---|---|---|--------|---|---------|
| 科目名 | 【新カリ】文章表現法 ⑩ | | | 授業形態 | 講義 |
| 英語科目名 | 【新カリ】文章表現法 ⑩ | | | 対象学年 | 1年 |
| 開講学期 | 2022年度後期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | 杉山 和也 | | | ナンバリング | BAS1110 |
| 担当教員 | 杉山 和也、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | 自分の思考や経験、感情を文章として表現する力は、大学での学びを支えるものであり、さらに、豊かな社会生活を送るための基礎となるものである。 本講義では、前半では主に創造的な文章を、後半では主に論理的な文章を書く練習をすることによって、文章で表現する力を涵養する。 | | | | |
| 到達目標 | 1. 自分の思考や経験、感情等を自由に書けるようになる。 2. 必要に応じて他者の言説の引用やデータの紹介を含めながら、自分の意見を筋道を立てて述べる文章が書けるようになる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・人文・社会科学科目の必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目は「スポーツ健康科学に関連した幅広い知識を基礎とした教養」という学位授与方針の達成に寄与する。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | [履修要件] 指定されたクラスで履修すること。 [履修上の注意（科目独自のルール）] 配布プリント、および、自分の書いた課題作文を、いつでも参照できる状態で保管するためのファイル（A4サイズ）を準備すること。 | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | 毎回の授業の課題作文を下記基準に沿って採点する（各回、10点～20点満点）。最終的に、課題作文の採点の合計を100点満点に換算して成績評価とする。 | | | | |
| 評価基準 | 1. 各回の学習項目に沿って、課題作文が書ける。 2. 求められた字数以上で課題作文が書ける。 | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 課題作文は、添削、評価して次回の授業時に返却する。 返却時に、評価基準を説明するとともに、必要に応じて修正や書き直しの時間を設ける。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | | | | | |
| 参考文献 | | | | | |
| 1. 石黒圭 (2009) 『よくわかる 文章表現の技術Ⅱ-文章構成編- [新版]』明治書院 2. 二通信子・大島弥生・佐藤勢紀子・因京子・山本富美子 (2009) 『留学生と日本人学生のためのレポート・論文表現ハンドブック』東京大学出版会 3. 田中真理・阿部新 『Good Writingへのパスポート-読み手と構成を意識した日本語ライティング』くろしお出版 4. 大島弥生・池田玲子・大場理恵子・加納なおみ・高橋淑郎・岩田夏穂 (2014) 『ピアで学ぶ大学生の日本語表現 第2版-プロセス重視のレポート作成-』ひつじ書房 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | 【連絡先】 担当：杉山 和也 E-mail：k.sugiyama.rn@juntendo.ac.jp 【オフィスアワー】 授業後に1303号室、ないし上記メールアドレス | | | | |
| 担当教員の実務経験 | | | | | |
| 備考 | [学修時間] この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、90時間（授業30時間以上を含む）の学修を必要とする内容をもって構成する。 [その他] 新型コロナウイルス感染症の発生状況により、授業計画等の変更をお願いする可能性がある。 | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 | |
| 1 | 杉山和也 | [授業内容] テーマ：自分の書く力を確認する。 長い文章を書くことに挑戦する。与えられた課題で、どれだけの長さの文章が書けるか、試してみる。” | 講義 | (予習：1時間) シラバス全体に目を通し、授業の目的と進め方を確認しておく。 (復習：3時間) 授業中に指示されたテーマ、字数で作文を書く。 | |

| | | | | |
|----|------|---|------------|---|
| 2 | 杉山和也 | <p>[授業内容] テーマ：書き言葉と話し言葉の違いを知る。 話し言葉が発話の状況や話し手と聞き手の共有知識にいかにか依存しているかを確認し、書き言葉では多くのことを表現しなければ読み手にしっかりと情報が伝わらないことを知る。 学生同士ペアになり、互いに自分は知っているが相手は知らないことについて述べる文章を書き、どれくらい相手に伝わるか、確認してみる。</p> | 講義・ペアワーク | <p>(予習：1時間) 参考図書『Good Writingへのパスポート-読み手と構成を意識した日本語ライティング』pp.12-20を読み、読み手に伝わるように書くためには、何が必要かを理解する。</p> <p>(復習：3時間) 授業中に提示されたテーマ、字数で作文を書く。</p> |
| 3 | 杉山和也 | <p>[授業内容] テーマ：視覚的イメージを言葉で描写する。 日常的によく目にするものをよく観察し、言葉で描写する。このことを通じて、自分に見えているもの、感じていることを言葉に表す際に必要な情報が何かを知る。 書き上げた文章は、グループで共有し、互いに批評し合う。</p> | 講義・グループワーク | <p>(予習：2時間) 参考図書『Good Writingへのパスポート-読み手と構成を意識した日本語ライティング』pp.52-60を読み、見えているものの描写のしかたを理解する。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた文章を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 4 | 杉山和也 | <p>[授業内容] テーマ：創造的文章を作成する(1)。 短篇小説を読み、登場人物の性格や行動、それまでの人間関係、起きた出来事をしっかりと読み取り、その後の展開を想像して続編を書く。 書き上げた文章は、グループで共有し、互いに批評し合う。</p> | 講義・グループワーク | <p>(予習：2時間) 参考図書『よくわかる 文章表現の技術Ⅱ-文章構成編- [新版]』pp.61-81を読み、文章の始まりと結末がどのように呼応するかを理解する。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた文章を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 5 | 杉山和也 | <p>[授業内容] テーマ：創造的文章を作成する(2)。 4コマ漫画を見て、その展開をもとにして、短編の小説あるいは随筆を書く。 書き上げた文章は、グループで共有し、互いに批評し合う。</p> | 講義・グループワーク | <p>(予習：2時間) 参考図書『よくわかる 文章表現の技術Ⅱ-文章構成編- [新版]』pp.161-178を読み、出来事の展開をどのように書くかを理解する。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた文章を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 6 | 杉山和也 | <p>[授業内容] テーマ：創造的文章を作成する(3)。 詩歌をもとに、物語を創作する。想像力をもって言葉を受け止め、創造力をもって言葉をつむぐ。 書き上げた文章は、グループで共有し、互いに批評し合う。</p> | 講義・グループワーク | <p>(予習：2時間) 第3～5回の授業で書いた文章を見返し、見えているものの描写、文章の始まりと結末の呼応、出来事の展開の書き方などを整理しておく。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた文章を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 7 | 杉山和也 | <p>[授業内容] テーマ：意見を述べる(1)。 スポーツマンシップに反する行動をしようとしている友人に対し、それをいさめる手紙・メールを書く。友人を説得するために何を言わなければならないかを考え、必要な情報を収集する。 学生同士ペアになり、互いの手紙を読んで、説得力があるかどうか、話し合う。</p> | 講義・ペアワーク | <p>(予習：2時間) 課題作文の準備として、スポーツマンシップとは何かについて、必要に応じて文献等を参照しながら、整理しておく。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた手紙を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 8 | 杉山和也 | <p>[授業内容] テーマ：意見を述べる(2)。 前回の授業で書いた手紙の内容をもとに、特定の個人宛ではなく、意見文として、スポーツマンシップの大切さを説く文章を書く。筋道の通った文章となるように、論の構成をよく考える。 学生同士ペアになり、互いの文章を読んで、説得力があるかどうか、話し合う。</p> | 講義・ペアワーク | <p>(予習：2時間) 新聞社説等を読んで、意見や見解を述べる文章の展開はどのようなものか、考える。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた手紙を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 9 | 杉山和也 | <p>[授業内容] テーマ：引用して書く(1)。 他者の言説を引用する際の注意点を学ぶ。書籍や論文などについての情報(著者、発表年、発行所など)をどのようにして得るかを知り、引用する際に必要な情報を示す練習をする。</p> | 講義 | <p>(予習：2時間) 参考図書『留学生と日本人学生のためのレポート・論文表現ハンドブック』pp.69-75を参考に、引用の方法の基本を理解する。</p> <p>(復習：2時間) 授業で示された文献を使って、引用文を書く練習をする。</p> |
| 10 | 杉山和也 | <p>[授業内容] テーマ：引用して書く(2) 他者の言説をもとに考えを深め、引用して筋道の通った文章を書く。筋道の通った文章となるように、論の構成をよく考える。 学生同士ペアになり、互いの文章を読んで、適切に引用ができていないか、確認し合う。</p> | 講義・ペアワーク | <p>(予習：1時間) 引用を含む文章を書く準備として、授業で示された複数の文献に目を通しておく。</p> <p>(復習：3時間) 授業中に書いた文章を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |

| | | | | |
|--|--|--|--|--|
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

| | | | | | |
|--|---|------|--------|--------------------|---------|
| 科目名 | 【新カリ】文章表現法 ⑬ | | | 授業形態 | 講義 |
| 英語科目名 | 【新カリ】文章表現法 ⑬ | | | 対象学年 | 1年 |
| 開講学期 | 2022年度後期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | 大野 早苗 | | | ナンバリング | BAS1110 |
| 担当教員 | 大野 早苗、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | 自分の思考や経験、感情を文章として表現する力は、大学での学びを支えるものであり、さらに、豊かな社会生活を送るための基礎となるものである。 本講義では、前半では主に創造的な文章を、後半では主に論理的な文章を書く練習をすることによって、文章で表現する力を涵養する。 | | | | |
| 到達目標 | 1. 自分の思考や経験、感情等を自由に書けるようになる。 2. 必要に応じて他者の言説の引用やデータの紹介を含めながら、自分の意見を筋道を立てて述べる文章が書けるようになる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・人文・社会科学科目の必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目は「スポーツ健康科学に関連した幅広い知識を基礎とした教養」という学位授与方針の達成に寄与する。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | [履修要件] 指定されたクラスで履修すること。 [履修上の注意（科目独自のルール）] 配布プリント、および、自分の書いた課題作文を、いつでも参照できる状態で保管するためのファイル（A4サイズ）を準備すること。 | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | 毎回の授業の課題作文を下記基準に沿って採点する（各回、10点～20点満点）。最終的に、課題作文の採点の合計を100点満点に換算して成績評価とする。 | | | | |
| 評価基準 | 1. 各回の学習項目に沿って、課題作文が書ける。 2. 求められた字数以上で課題作文が書ける。 | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 課題作文は、添削、評価して次回の授業時に返却する。 返却時に、評価基準を説明するとともに、必要に応じて修正や書き直しの時間を設ける。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | | | | | |
| 参考文献 | | | | | |
| 1. 石黒圭（2009）『よくわかる 文章表現の技術Ⅱ-文章構成編- [新版]』明治書院 2. 二通信子・大島弥生・佐藤勢紀子・因京子・山本富美子（2009）『留学生と日本人学生のためのレポート・論文表現ハンドブック』東京大学出版会 3. 田中真理・阿部新『Good Writingへのパスポート-読み手と構成を意識した日本語ライティング』くろしお出版 4. 大島弥生・池田玲子・大場理恵子・加納なおみ・高橋淑郎・岩田夏穂（2014）『ピアで学ぶ大学生の日本語表現 第2版-プロセス重視のレポート作成-』ひつじ書房 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | [連絡先] 担当：大野早苗 E-mail：sanaeo[at]juntendo.ac.jp ※[at]を@に変更してください。 [オフィスアワー] 日時：木曜日12:20～14:00 場所：1号館3階1336号室 | | | | |
| 担当教員の実務経験 | | | | | |
| 備考 | [学修時間] この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、90時間（授業30時間以上を含む）の学修を必要とする内容をもって構成する。 [その他] 新型コロナウイルス感染症の発生状況により、授業計画等の変更をお願いする可能性がある。 | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 | |

| | | | | |
|----|----|---|------------|---|
| 1 | 大野 | <p>〔授業内容〕 テーマ：自分の書く力を確認する。 長い文章を書くことに挑戦する。与えられた課題で、どれだけの長さの文章が書けるか、試してみる。</p> | 講義 | <p>(予習：1時間) シラバス全体に目を通し、授業の目的と進め方を確認しておく。</p> <p>(復習：3時間) 授業中に指示されたテーマ、字数で作文を書く。</p> |
| 2 | 大野 | <p>〔授業内容〕 テーマ：書き言葉と話し言葉の違いを知る。 話し言葉が発話の状況や話し手と聞き手の共有知識にいかにか依存しているかを確認し、書き言葉では多くのことを表現しなければ読み手にしっかりと情報が伝わらないことを知る。 学生同士ペアになり、互いに自分は知っているが相手は知らないことについて述べる文章を書き、どれくらい相手に伝わるか、確認してみる。</p> | 講義・ペアワーク | <p>(予習：1時間) 参考図書『Good Writingへのパスポート-読み手と構成を意識した日本語ライティング』pp.12-20を読み、読み手に伝わるように書くためには、何が必要かを理解する。</p> <p>(復習：3時間) 授業中に提示されたテーマ、字数で作文を書く。</p> |
| 3 | 大野 | <p>〔授業内容〕 テーマ：視覚的イメージを言葉で描写する。 日常的によく目にするものをよく観察し、言葉で描写する。このことを通じて、自分に見えているもの、感じていることを言葉に表す際に必要な情報が何かを知る。 書き上げた文章は、グループで共有し、互いに批評し合う。</p> | 講義・グループワーク | <p>(予習：2時間) 参考図書『Good Writingへのパスポート-読み手と構成を意識した日本語ライティング』pp.52-60を読み、見えているものの描写のしかたを理解する。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた文章を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 4 | 大野 | <p>〔授業内容〕 テーマ：創造的文章を作成する(1)。 短篇小说を読み、登場人物の性格や行動、それまでの人間関係、起きた出来事をしっかりと読み取り、その後の展開を想像して続編を書く。 書き上げた文章は、グループで共有し、互いに批評し合う。</p> | 講義・グループワーク | <p>(予習：2時間) 参考図書『よくわかる 文章表現の技術Ⅱ-文章構成編- [新版]』pp.61-81を読み、文章の始まりと結末がどのように呼応するかを理解する。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた文章を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 5 | 大野 | <p>〔授業内容〕 テーマ：創造的文章を作成する(2)。 4コマ漫画を見て、その展開をもとにして、短編の小説あるいは随筆を書く。 書き上げた文章は、グループで共有し、互いに批評し合う。</p> | 講義・グループワーク | <p>(予習：2時間) 参考図書『よくわかる 文章表現の技術Ⅱ-文章構成編- [新版]』pp.161-178を読み、出来事の展開をどのように書くかを理解する。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた文章を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 6 | 大野 | <p>〔授業内容〕 テーマ：創造的文章を作成する(3)。 詩歌をもとに、物語を創作する。想像力をもって言葉を受け止め、創造力をもって言葉をつむぐ。 書き上げた文章は、グループで共有し、互いに批評し合う。</p> | 講義・グループワーク | <p>(予習：2時間) 第3～5回の授業で書いた文章を見返し、見えているものの描写、文章の始まりと結末の呼応、出来事の展開の書き方などを整理しておく。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた文章を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 7 | 大野 | <p>〔授業内容〕 テーマ：意見を述べる(1)。 スポーツマンシップに反する行動をしようとしている友人に対し、それをいさめる手紙・メールを書く。友人を説得するために何を言わなければならないかを考え、必要な情報を収集する。 学生同士ペアになり、互いの手紙を読んで、説得力があるかどうか、話し合う。</p> | 講義・ペアワーク | <p>(予習：2時間) 課題作文の準備として、スポーツマンシップとは何かについて、必要に応じて文献等を参照しながら、整理しておく。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた手紙を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 8 | 大野 | <p>〔授業内容〕 テーマ：意見を述べる(2)。 前回の授業で書いた手紙の内容をもとに、特定の個人宛ではなく、意見文として、スポーツマンシップの大切さを説く文章を書く。筋道の通った文章となるように、論の構成をよく考える。 学生同士ペアになり、互いの文章を読んで、説得力があるかどうか、話し合う。</p> | 講義・ペアワーク | <p>(予習：2時間) 新聞社説等を読んで、意見や見解を述べる文章の展開はどのようなものか、考える。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた手紙を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 9 | 大野 | <p>〔授業内容〕 テーマ：引用して書く(1)。 他者の言説を引用する際の注意点を学ぶ。書籍や論文などについての情報(著者、発表年、発行所など)をどのようにして得るかを知り、引用する際に必要な情報を示す練習をする。</p> | 講義 | <p>(予習：2時間) 参考図書『留学生と日本人学生のためのレポート・論文表現ハンドブック』pp.69-75を参考に、引用の方法の基本を理解する。</p> <p>(復習：2時間) 授業で示された文献を使って、引用文を書く練習をする。</p> |
| 10 | 大野 | <p>〔授業内容〕 テーマ：引用して書く(2)。 他者の言説をもとに考えを深め、引用して筋道の通った文章を書く。筋道の通った文章となるように、論の構成をよく考える。 学生同士ペアになり、互いの文章を読んで、適切に引用ができていないか、確認し合う。</p> | 講義・ペアワーク | <p>(予習：1時間) 引用を含む文章を書く準備として、授業で示された複数の文献に目を通しておく。</p> <p>(復習：3時間) 授業中に書いた文章を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |

| | | | | |
|--|--|--|--|--|
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

| | | | | | |
|---|---|--|--------|---|---------|
| 科目名 | 【新カリ】文章表現法 ⑭ | | | 授業形態 | 講義 |
| 英語科目名 | 【新カリ】文章表現法 ⑭ | | | 対象学年 | 1年 |
| 開講学期 | 2022年度後期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | 杉山 和也 | | | ナンバリング | BAS1110 |
| 担当教員 | 杉山 和也、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | 自分の思考や経験、感情を文章として表現する力は、大学での学びを支えるものであり、さらに、豊かな社会生活を送るための基礎となるものである。 本講義では、前半では主に創造的な文章を、後半では主に論理的な文章を書く練習をすることによって、文章で表現する力を涵養する。 | | | | |
| 到達目標 | 1. 自分の思考や経験、感情等を自由に書けるようになる。 2. 必要に応じて他者の言説の引用やデータの紹介を含めながら、自分の意見を筋道を立てて述べる文章が書けるようになる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・人文・社会科学科目の必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目は「スポーツ健康科学に関連した幅広い知識を基礎とした教養」という学位授与方針の達成に寄与する。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | [履修要件] 指定されたクラスで履修すること。 [履修上の注意（科目独自のルール）] 配布プリント、および、自分の書いた課題作文を、いつでも参照できる状態で保管するためのファイル（A4サイズ）を準備すること。 | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | 毎回の授業の課題作文を下記基準に沿って採点する（各回、10点～20点満点）。最終的に、課題作文の採点の合計を100点満点に換算して成績評価とする。 | | | | |
| 評価基準 | 1. 各回の学習項目に沿って、課題作文が書ける。 2. 求められた字数以上で課題作文が書ける。 | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 課題作文は、添削、評価して次回の授業時に返却する。 返却時に、評価基準を説明するとともに、必要に応じて修正や書き直しの時間を設ける。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | | | | | |
| 参考文献 | | | | | |
| 1. 石黒圭 (2009) 『よくわかる 文章表現の技術Ⅱ-文章構成編- [新版]』 明治書院 2. 二通信子・大島弥生・佐藤勢紀子・因京子・山本富美子 (2009) 『留学生と日本人学生のためのレポート・論文表現ハンドブック』 東京大学出版会 3. 田中真理・阿部新 『Good Writingへのパスポート-読み手と構成を意識した日本語ライティング』 くろしお出版 4. 大島弥生・池田玲子・大場理恵子・加納なおみ・高橋淑郎・岩田夏穂 (2014) 『ピアで学ぶ大学生の日本語表現 第2版-プロセス重視のレポート作成-』 ひつじ書房 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | 【連絡先】 担当：杉山 和也 E-mail: k.sugiyama.rn@juntendo.ac.jp 【オフィスアワー】 授業後に1303号室、ないし上記メールアドレス | | | | |
| 担当教員の実務経験 | | | | | |
| 備考 | [学修時間] この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、90時間（授業30時間以上を含む）の学修を必要とする内容をもって構成する。 [その他] 新型コロナウイルス感染症の発生状況により、授業計画等の変更をお願いする可能性がある。 | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 | |
| 1 | 杉山和也 | [授業内容] テーマ：自分の書く力を確認する。 長い文章を書くことに挑戦する。与えられた課題で、どれだけの長さの文章が書けるか、試してみる。 | 講義 | (予習：1時間) シラバス全体に目を通し、授業の目的と進め方を確認しておく。 (復習：3時間) 授業中に指示されたテーマ、字数で作文を書く。 | |

| | | | | |
|----|------|---|------------|---|
| 2 | 杉山和也 | <p>[授業内容] テーマ：書き言葉と話し言葉の違いを知る。 話し言葉が発話の状況や話し手と聞き手の共有知識にいかにか依存しているかを確認し、書き言葉では多くのことを表現しなければ読み手にしっかりと情報が伝わらないことを知る。 学生同士ペアになり、互いに自分は知っているが相手は知らないことについて述べる文章を書き、どれくらい相手に伝わるか、確認してみる。</p> | 講義・ペアワーク | <p>(予習：1時間) 参考図書『Good Writingへのパスポート-読み手と構成を意識した日本語ライティング』pp.12-20を読み、読み手に伝わるように書くためには、何が必要かを理解する。</p> <p>(復習：3時間) 授業中に提示されたテーマ、字数で作文を書く。</p> |
| 3 | 杉山和也 | <p>[授業内容] テーマ：視覚的イメージを言葉で描写する。 日常的によく目にするものをよく観察し、言葉で描写する。このことを通じて、自分に見えているもの、感じていることを言葉に表す際に必要な情報が何かを知る。 書き上げた文章は、グループで共有し、互いに批評し合う。</p> | 講義・グループワーク | <p>(予習：2時間) 参考図書『Good Writingへのパスポート-読み手と構成を意識した日本語ライティング』pp.52-60を読み、見えているものの描写のしかたを理解する。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた文章を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 4 | 杉山和也 | <p>[授業内容] テーマ：創造的文章を作成する(1)。 短篇小説を読み、登場人物の性格や行動、それまでの人間関係、起きた出来事をしっかりと読み取り、その後の展開を想像して続編を書く。 書き上げた文章は、グループで共有し、互いに批評し合う。</p> | 講義・グループワーク | <p>(予習：2時間) 参考図書『よくわかる 文章表現の技術Ⅱ-文章構成編- [新版]』pp.61-81を読み、文章の始まりと結末がどのように呼応するかを理解する。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた文章を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 5 | 杉山和也 | <p>[授業内容] テーマ：創造的文章を作成する(2)。 4コマ漫画を見て、その展開をもとにして、短編の小説あるいは随筆を書く。 書き上げた文章は、グループで共有し、互いに批評し合う。</p> | 講義・グループワーク | <p>(予習：2時間) 参考図書『よくわかる 文章表現の技術Ⅱ-文章構成編- [新版]』pp.161-178を読み、出来事の展開をどのように書くかを理解する。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた文章を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 6 | 杉山和也 | <p>[授業内容] テーマ：創造的文章を作成する(3)。 詩歌をもとに、物語を創作する。想像力をもって言葉を受け止め、創造力をもって言葉をつむぐ。 書き上げた文章は、グループで共有し、互いに批評し合う。</p> | 講義・グループワーク | <p>(予習：2時間) 第3～5回の授業で書いた文章を見返し、見えているものの描写、文章の始まりと結末の呼応、出来事の展開の書き方などを整理しておく。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた文章を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 7 | 杉山和也 | <p>[授業内容] テーマ：意見を述べる(1)。 スポーツマンシップに反する行動をしようとしている友人に対し、それをいさめる手紙・メールを書く。友人を説得するために何を言わなければならないかを考え、必要な情報を収集する。 学生同士ペアになり、互いの手紙を読んで、説得力があるかどうか、話し合う。</p> | 講義・ペアワーク | <p>(予習：2時間) 課題作文の準備として、スポーツマンシップとは何かについて、必要に応じて文献等を参照しながら、整理しておく。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた手紙を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 8 | 杉山和也 | <p>[授業内容] テーマ：意見を述べる(2)。 前回の授業で書いた手紙の内容をもとに、特定の個人宛ではなく、意見文として、スポーツマンシップの大切さを説く文章を書く。筋道の通った文章となるように、論の構成をよく考える。 学生同士ペアになり、互いの文章を読んで、説得力があるかどうか、話し合う。</p> | 講義・ペアワーク | <p>(予習：2時間) 新聞社説等を読んで、意見や見解を述べる文章の展開はどのようなものか、考える。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた手紙を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 9 | 杉山和也 | <p>[授業内容] テーマ：引用して書く(1)。 他者の言説を引用する際の注意点を学ぶ。書籍や論文などについての情報(著者、発表年、発行所など)をどのようにして得るかを知り、引用する際に必要な情報を示す練習をする。</p> | 講義 | <p>(予習：2時間) 参考図書『留学生と日本人学生のためのレポート・論文表現ハンドブック』pp.69-75を参考に、引用の方法の基本を理解する。</p> <p>(復習：2時間) 授業で示された文献を使って、引用文を書く練習をする。</p> |
| 10 | 杉山和也 | <p>[授業内容] テーマ：引用して書く(2) 他者の言説をもとに考えを深め、引用して筋道の通った文章を書く。筋道の通った文章となるように、論の構成をよく考える。 学生同士ペアになり、互いの文章を読んで、適切に引用ができていないか、確認し合う。</p> | 講義・ペアワーク | <p>(予習：1時間) 引用を含む文章を書く準備として、授業で示された複数の文献に目を通しておく。</p> <p>(復習：3時間) 授業中に書いた文章を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |

| | | | | |
|--|--|--|--|--|
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

| | | | | | |
|--|---|------|--------|--------------------|---------|
| 科目名 | 【新カリ】文章表現法 ⑮ | | | 授業形態 | 講義 |
| 英語科目名 | 【新カリ】文章表現法 ⑮ | | | 対象学年 | 1年 |
| 開講学期 | 2022年度後期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | 大野 早苗 | | | ナンバリング | BAS1110 |
| 担当教員 | 大野 早苗、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | 自分の思考や経験、感情を文章として表現する力は、大学での学びを支えるものであり、さらに、豊かな社会生活を送るための基礎となるものである。 本講義では、前半では主に創造的な文章を、後半では主に論理的な文章を書く練習をすることによって、文章で表現する力を涵養する。 | | | | |
| 到達目標 | 1. 自分の思考や経験、感情等を自由に書けるようになる。 2. 必要に応じて他者の言説の引用やデータの紹介を含めながら、自分の意見を筋道を立てて述べる文章が書けるようになる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・人文・社会科学科目の必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目は「スポーツ健康科学に関連した幅広い知識を基礎とした教養」という学位授与方針の達成に寄与する。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | [履修要件] 指定されたクラスで履修すること。 [履修上の注意（科目独自のルール）] 配布プリント、および、自分の書いた課題作文を、いつでも参照できる状態で保管するためのファイル（A4サイズ）を準備すること。 | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | 毎回の授業の課題作文を上記基準に沿って採点する（各回、10点～20点満点）。最終的に、課題作文の採点の合計を100点満点に換算して成績評価とする。 | | | | |
| 評価基準 | 1. 各回の学習項目に沿って、課題作文が書ける。 2. 求められた字数以上で課題作文が書ける。 | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 課題作文は、添削、評価して次回の授業時に返却する。 返却時に、評価基準を説明するとともに、必要に応じて修正や書き直しの時間を設ける。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | | | | | |
| 参考文献 | | | | | |
| 1. 石黒圭（2009）『よくわかる 文章表現の技術Ⅱ-文章構成編- [新版]』明治書院 2. 二通信子・大島弥生・佐藤勢紀子・因京子・山本富美子（2009）『留学生と日本人学生のためのレポート・論文表現ハンドブック』東京大学出版会 3. 田中真理・阿部新『Good Writingへのパスポート-読み手と構成を意識した日本語ライティング』くろしお出版 4. 大島弥生・池田玲子・大場理恵子・加納なおみ・高橋淑郎・岩田夏穂（2014）『ピアで学ぶ大学生の日本語表現 第2版-プロセス重視のレポート作成-』ひつじ書房 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | [連絡先] 担当：大野早苗 E-mail：sanaeo[at]juntendo.ac.jp ※[at]を@に変更してください。 [オフィスアワー] 日時：木曜日12:20～14:00 場所：1号館3階1336号室 | | | | |
| 担当教員の実務経験 | | | | | |
| 備考 | [学修時間] この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、90時間（授業30時間以上を含む）の学修を必要とする内容をもって構成する。 [その他] 新型コロナウイルス感染症の発生状況により、授業計画等の変更をお願いする可能性がある。 | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 | |

| | | | | |
|----|----|---|------------|---|
| 1 | 大野 | <p>〔授業内容〕 テーマ：自分の書く力を確認する。 長い文章を書くことに挑戦する。与えられた課題で、どれだけの長さの文章が書けるか、試してみる。</p> | 講義 | <p>(予習：1時間) シラバス全体に目を通し、授業の目的と進め方を確認しておく。</p> <p>(復習：3時間) 授業中に指示されたテーマ、字数で作文を書く。</p> |
| 2 | 大野 | <p>〔授業内容〕 テーマ：書き言葉と話し言葉の違いを知る。 話し言葉が発話の状況や話し手と聞き手の共有知識にいかにか依存しているかを確認し、書き言葉では多くのことを表現しなければ読み手にしっかりと情報が伝わらないことを知る。 学生同士ペアになり、互いに自分は知っているが相手は知らないことについて述べる文章を書き、どれくらい相手に伝わるか、確認してみる。</p> | 講義・ペアワーク | <p>(予習：1時間) 参考図書『Good Writingへのパスポート-読み手と構成を意識した日本語ライティング』pp.12-20を読み、読み手に伝わるように書くためには、何が必要かを理解する。</p> <p>(復習：3時間) 授業中に提示されたテーマ、字数で作文を書く。</p> |
| 3 | 大野 | <p>〔授業内容〕 テーマ：視覚的イメージを言葉で描写する。 日常的によく目にするものをよく観察し、言葉で描写する。このことを通じて、自分に見えているもの、感じていることを言葉に表す際に必要な情報が何かを知る。 書き上げた文章は、グループで共有し、互いに批評し合う。</p> | 講義・グループワーク | <p>(予習：2時間) 参考図書『Good Writingへのパスポート-読み手と構成を意識した日本語ライティング』pp.52-60を読み、見えているものの描写のしかたを理解する。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた文章を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 4 | 大野 | <p>〔授業内容〕 テーマ：創造的文章を作成する(1)。 短篇小说を読み、登場人物の性格や行動、それまでの人間関係、起きた出来事をしっかりと読み取り、その後の展開を想像して続編を書く。 書き上げた文章は、グループで共有し、互いに批評し合う。</p> | 講義・グループワーク | <p>(予習：2時間) 参考図書『よくわかる 文章表現の技術Ⅱ-文章構成編- [新版]』pp.61-81を読み、文章の始まりと結末がどのように呼応するかを理解する。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた文章を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 5 | 大野 | <p>〔授業内容〕 テーマ：創造的文章を作成する(2)。 4コマ漫画を見て、その展開をもとにして、短編の小説あるいは随筆を書く。 書き上げた文章は、グループで共有し、互いに批評し合う。</p> | 講義・グループワーク | <p>(予習：2時間) 参考図書『よくわかる 文章表現の技術Ⅱ-文章構成編- [新版]』pp.161-178を読み、出来事の展開をどのように書くかを理解する。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた文章を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 6 | 大野 | <p>〔授業内容〕 テーマ：創造的文章を作成する(3)。 詩歌をもとに、物語を創作する。想像力をもって言葉を受け止め、創造力をもって言葉をつむぐ。 書き上げた文章は、グループで共有し、互いに批評し合う。</p> | 講義・グループワーク | <p>(予習：2時間) 第3~5回の授業で書いた文章を見返し、見えているものの描写、文章の始まりと結末の呼応、出来事の展開の書き方などを整理しておく。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた文章を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 7 | 大野 | <p>〔授業内容〕 テーマ：意見を述べる(1)。 スポーツマンシップに反する行動をしようとしている友人に対し、それをいさめる手紙・メールを書く。友人を説得するために何を言わなければならないかを考え、必要な情報を収集する。 学生同士ペアになり、互いの手紙を読んで、説得力があるかどうか、話し合う。</p> | 講義・ペアワーク | <p>(予習：2時間) 課題作文の準備として、スポーツマンシップとは何かについて、必要に応じて文献等を参照しながら、整理しておく。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた手紙を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 8 | 大野 | <p>〔授業内容〕 テーマ：意見を述べる(2)。 前回の授業で書いた手紙の内容をもとに、特定の個人宛ではなく、意見文として、スポーツマンシップの大切さを説く文章を書く。筋道の通った文章となるように、論の構成をよく考える。 学生同士ペアになり、互いの文章を読んで、説得力があるかどうか、話し合う。</p> | 講義・ペアワーク | <p>(予習：2時間) 新聞社説等を読んで、意見や見解を述べる文章の展開はどのようなものか、考える。</p> <p>(復習：2時間) 授業中に書いた手紙を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |
| 9 | 大野 | <p>〔授業内容〕 テーマ：引用して書く(1)。 他者の言説を引用する際の注意点を学ぶ。書籍や論文などについての情報(著者、発表年、発行所など)をどのようにして得るかを知り、引用する際に必要な情報を示す練習をする。</p> | 講義 | <p>(予習：2時間) 参考図書『留学生と日本人学生のためのレポート・論文表現ハンドブック』pp.69-75を参考に、引用の方法の基本を理解する。</p> <p>(復習：2時間) 授業で示された文献を使って、引用文を書く練習をする。</p> |
| 10 | 大野 | <p>〔授業内容〕 テーマ：引用して書く(2)。 他者の言説をもとに考えを深め、引用して筋道の通った文章を書く。筋道の通った文章となるように、論の構成をよく考える。 学生同士ペアになり、互いの文章を読んで、適切に引用ができていないか、確認し合う。</p> | 講義・ペアワーク | <p>(予習：1時間) 引用を含む文章を書く準備として、授業で示された複数の文献に目を通しておく。</p> <p>(復習：3時間) 授業中に書いた文章を改めて読み直し、加筆、修正を行う。</p> |

| | | | | |
|--|--|--|--|--|
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

| | | | | | |
|---|--|--------|---------|------|----|
| 科目名 | 【新カリ】心理学 | 授業形態 | 講義 | | |
| 英語科目名 | 【新カリ】心理学 | 対象学年 | 1年 | | |
| 開講学期 | 2022年度後期 | 単位数 | 2単位 | | |
| 代表教員 | 村上 達也 | ナンバリング | PSY1112 | | |
| 担当教員 | 村上 達也、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | 本講義では、実証科学としての心理学について、①科学とは何か、②心理学の科学性とは何か、について解説し、それらを踏まえた上で、③心理学の方法論について解説する。また、実際の心理学研究がどのように行われているのか、どのような研究知見があるのかについて、教室での疑似実験を行いながら解説する。本科目では、心理学の基礎的な内容を理解することが目標であるが、実生活のほか教育現場や医療現場などで実際に役立つ応用的な内容も扱っていく。 | | | | |
| 到達目標 | 本講義では、以下の4点を到達目標とする。 1. 心理学を理解するための前提として、科学とは何かについて理解する。 2. 心理学の科学性について理解する。 3. 心理学の科学的方法論について理解する。 4. 1～3を達成することによって、心理学の観点に基づく人間理解を深めることができるようになることを総合的な到達目標とする。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・人文・社会科学科目の選択必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この授業は、心理学への科学的な理解を深めることにより、スポーツ健康科学部の学位授与方針に定める「スポーツ健康科学に関連した幅広い知識を基礎とした教養」を身につけることを目標とする。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | 履修要件：特になし 履修上の注意： 1. 配布プリントを保管するためのファイルを準備すること。 2. 授業への遅刻を2回した場合には欠席1回分として扱う。 3. レポートを期限内に遅れて提出した場合には、レポートの評価は50%に減点する（提出しない場合には0点とする）。 ※ 本講義の履修者が多数になった場合には、履修候補者を初日の出席者に限定した上で履修制限を行うことがある。 | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | 中間レポート30%・定期試験40%、授業内レポート30%を基本に総合的に評価する。ただし、受講態度がふさわしくなく、改善が認められない場合、減点する。1. 人間の情報処理過程を理解し説明できる。（定期試験） 2. 人間の対人コミュニケーションの特徴を理解し説明できる。（定期試験） 3. 人間の生涯発達の特徴を理解し説明できる。（定期試験） 4. 臨床心理学の概論を理解し説明できる。（定期試験） | | | | |
| 評価基準 | 1. 心理学を理解するための前提として、科学とは何かについて理解する。（中間レポート・定期試験） 2. 心理学の科学性について理解する。（中間レポート・定期試験） 3. 心理学の科学的方法論について理解する。（定期試験） 4. 1～3を達成することによって、心理学の観点に基づく人間理解を深めることができるようになることを総合的な到達目標とする。（授業内レポート・定期試験） | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 授業内の質問や疑問は、適宜対応する。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | | | | | |
| 参考文献 | | | | | |
| テキストは使用せず、配布プリントを用いて講義を進める。参考書などは授業の際に適宜、紹介を行う。 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | 【連絡先】 担当：村上達也 E-mail:t.murakami.lr[at]juntendo.ac.jp ※[at]を@に変更 【オフィスアワー】 時間：月曜日 12:30-13:00 場所：さくらキャンパス1号館2階1221号室 ※上記の時間帯には予約なしに質問や相談に応じますが、他の学生の相談時間と重ならないようにするために、できるだけ前日までにE-mailで予約してください。質問や相談は予約のあった学生を優先します。 | | | | |
| 担当教員の実務経験 | 研究所での実務経験や学校心理士としての実務経験を活かし、心理学が実社会でもどのように有用であるのかについても織り込みながら、授業を行う。 | | | | |

| | |
|----|---|
| 備考 | <p>【学修時間】 この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。</p> <p>【その他】 学生の学習進度に応じて、あるいは、授業内レポートのコメントに応じて授業計画を変更する場合がある。 また、授業の中で、4年生や大学院生などによる質問紙調査や実験への参加募集を行う場合がある。参加することによって、心理学研究の実際を体験することができ、心理学を学ぶ上でメリットとなる。しかし、参加・不参加は履修者本人の自由であり、参加・不参加および回答内容などによる成績への影響は一切ない。履修者本人・保護者が調査研究への参加を希望しない場合、および、参加したものの研究での使用を希望しない場合、講義内やメールなどでその旨を科目責任者まで連絡すること。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の発生状況やその他の状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合がある。</p> |
|----|---|

| 授業計画 | | | | |
|------|-------|---|--|---|
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 |
| 1 | 村上 達也 | (授業内容) オリエンテーションとして、授業の目的と概要、成績評価、履修上の注意について説明する。また、受講生の持つ心理学に対する印象を把握し、心理学の全体像について解説する。 | (授業方法) 授業中に示すスライドに沿って講義を進める。 | 【予習：1時間】 自身の持つ心理学に対する印象（イメージ）や心理学について知っていることを整理しておく。 【復習：1時間】 心理学の全体像について、学んだ知識を整理しておく。 |
| 2 | 村上 達也 | (授業内容) 実証科学とは何か：実証科学に基づく心理学を理解するために、科学について解説する。 | (授業方法) 授業中に示すスライドに沿って講義を進める。 | 【予習：1時間】 前の授業中に課した予習内容に取り組む。 【復習：2時間】 授業中にキーワードとして示した用語について、自分で説明できるように理解しておく。 |
| 3 | 村上 達也 | (授業内容) 科学の方法：実証科学における科学の方法論について解説する。 | (授業方法) 授業中に示すスライドに沿って講義を進める。 | 【予習：1時間】 前の授業中に課した予習内容に取り組む。 【復習：2時間】 授業中にキーワードとして示した用語について、自分で説明できるように理解しておく。 |
| 4 | 村上 達也 | (授業内容) 科学としての心理学（1）相互主観性と操作主義：心理学が科学であるための要件としての相互主観性や操作主義について解説する。 | (授業方法) 授業中に示すスライドに沿って講義を進める。 | 【予習：1時間】 前の授業中に課した予習内容に取り組む。 【復習：2時間】 授業中にキーワードとして示した用語について、自分で説明できるように理解しておく。 |
| 5 | 村上 達也 | (授業内容) 科学としての心理学（2）心理測定：心理学の中の中核概念である心理測定について、その性質と特徴を解説する。 | (授業内容) 科学としての心理学（2）心理測定：心理学の中の中核概念である心理測定について、その性質と特徴を解説する。 | 【予習：1時間】 前の授業中に課した予習内容に取り組む。 【復習：2時間】 授業中にキーワードとして示した用語について、自分で説明できるように理解しておく。 |
| 6 | 村上 達也 | (授業内容) 心理学実験の紹介（1）注意に関する心理学：ヒトの注意に関する認知心理学的研究とその応用について解説する。 | (授業方法) 授業中に示すスライドに沿って講義を進める。 | 【予習：1時間】 前の授業中に課した予習内容に取り組む。 【復習：2時間】 授業中にキーワードとして示した用語について、自分で説明できるように理解しておく。 |
| 7 | 村上 達也 | (授業内容) 心理学の科学性に関するまとめ／中間レポート：ここまでの授業を振り返って、心理学の科学性に関してのまとめを行い、それに関する中間レポートを課す。 | (授業方法) 第1～6回目までの内容に関する総括を行い、一連の流れを解説し、質問や疑問について答えていく。 | 【予習：5時間】 これまでの内容を体系的に整理するとともに、心理学の科学性について自分なりの考えをまとめておく。 【復習：10時間】 授業内での一連の説明や疑問への応答を通じて、心理学の科学性に関する自己の考えをまとめ、レポートを作成する。 |
| 8 | 村上 達也 | (授業内容) 心理学の方法論：心理学の方法論について紹介し、特に実験法について解説する。 | (授業方法) 授業中に示すスライドに沿って講義を進める。 | 【予習：1時間】 前の授業中に課した予習内容に取り組む。 【復習：2時間】 授業中にキーワードとして示した用語について、自分で説明できるように理解しておく。 |
| 9 | 村上 達也 | (授業内容) 心理学実験法（1）被験者内計画：被験者内計画について解説し、それを用いた心理学研究を紹介する。 | (授業内容) 心理学実験法（1）被験者内計画：被験者内計画について解説し、それを用いた心理学研究を紹介する。 | 【予習：1時間】 前の授業中に課した予習内容に取り組む。 【復習：2時間】 授業中にキーワードとして示した用語について、自分で説明できるように理解しておく。 |

| | | | | |
|--|--|--|--|--|
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

| | | | | | |
|--|--|--|--------|--|---------|
| 科目名 | 【新カリ】経済学 | | | 授業形態 | 講義 |
| 英語科目名 | 【新カリ】経済学 | | | 対象学年 | 1年 |
| 開講学期 | 2022年度後期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | 李 照錫 | | | ナンバリング | EC01113 |
| 担当教員 | 李 照錫、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | <p>【授業全体の内容】 経済学の用語・概念を理解し、それらを用いて具体的な経済問題を理解する。特に、人々の経済行動を分析するミクロ経済学、および一国全体の経済状況を分析するマクロ経済学の双方についてバランス良く学習する。 テレビや新聞等で報じられる経済ニュースは社会に出た途端に自身のビジネスや生活に関わるものとなる。本講義で扱うトピックは経済学という学問として捉えるのではなく、むしろ社会・経済で生活する上で的一般常識に近いものだと思って、修得する必要性を感じながら臨んで欲しい。</p> | | | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. ミクロ経済学とマクロ経済学の基本的用語を理解し、それぞれの概念の関係について説明できる。 2. 具体的な経済問題について、講義で学んだ用語を用いて論じることができる。 3. これからの経済社会にどのように対応していくのかを理解できる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・人文・社会科学科目の選択必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目は、経済学を通してスポーツ健康科学を中心とした幅広い知識と教養を身に付ける。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | <p>【履修要件】 特になし</p> <p>【履修上の注意（科目独自のルール）】 特になし</p> | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | <p>【成績評価の方法】 定期試験70%、授業内レポート30%で評価します。なお、受講態度が授業進行上ふさわしくないと判断した場合は、減点の対象とします。</p> | | | | |
| 評価基準 | <ol style="list-style-type: none"> 1. ミクロ経済学とマクロ経済学の基本的用語について説明できる。（定期試験） 2. 具体的な経済問題について、講義で学んだ用語を用いて解釈できる。（定期試験） 3. 受講態度や学習意欲を授業内レポートで評価する。（授業内レポート） | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 授業内の質問や疑問は、適宜対応する。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | | | | | |
| 参考文献 | | | | | |
| プリントを授業時に配付する。参考書として伊藤元重『ミクロ経済学』日本評論社、2003年と伊藤元重『マクロ経済学』日本評論社、2005年を挙げるが、購入の必要は無い。 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>【連絡先】 担当：李照錫 E-Mail：lee.kb[at]juntendo.ac.jp ※[at]を@に置換してください。</p> <p>【オフィスアワー】 授業時間後に非常勤講師室（1号館2階）で対応する。</p> | | | | |
| 担当教員の実務経験 | | | | | |
| 備考 | <p>【学修時間】 この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、90時間（授業時間30時間以上を含む）の学修を必要とする内容をもって構成する。</p> <p>【実務経験のある教員による授業】 該当しない</p> <p>【その他】 新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p> | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 | |
| 1 | 李照錫 (イー・ヒーソク) | (授業内容) 経済学はどのような学問か、分析の対象と方法について理解する。 (授業方法) 経済学の二大分野であるミクロ経済学とマクロ経済学の概要について解説する。 | | (予習：2時間) 最近の日本や世界で起きた経済ニュースについて調査する。 (復習：3時間) ミクロ経済学とマクロ経済学の特徴や相違点について整理する。 | |

| | | | |
|----|------------------|---|--|
| 2 | 李熙錫 (イー・ヒーソク) | (授業内容) 経済学の歴史的な展開について学習する。 (授業方法) アダム・スミス、ケインズなどの経済学による理論を解説する。 | (予習: 2時間) アダム・スミスとケインズについて調査する。 (復習: 3時間) ケインズ政策と新古典派政策の中でどの政策が望ましいのか考察する。 |
| 3 | 李熙錫 (イー・ヒーソク) | (授業内容) ミクロ経済学について学習する。 (授業方法) 経済学の中でミクロ経済学は、資源配分の問題、ミクロ経済学と市場の失敗などミクロ経済学の特徴について分析する。 | (予習: 2時間) 資源配分問題の概要をつかむ。 (復習: 3時間) 現実の中でミクロ経済学はどのように我々の生活の中で活かしているか考える。 |
| 4 | 李熙錫 (イー・ヒーソク) | (授業内容) 需要と供給について学習する。 (授業方法) 需要と供給の仕組みを検討し、それを用いて需要曲線と供給曲線を分析する。 | (予習: 2時間) 需要曲線と供給曲線の違いをつかむ。 (復習: 3時間) 現実の生活の中で需要と供給がどのような影響を与えているのかを考える。 |
| 5 | 李熙錫 (イー・ヒーソク) | (授業内容) 消費者行動と需要曲線について学習する。 (授業方法) 消費者余剰と企業行動を分析する。 | (予習: 2時間) 消費者行動による需要曲線の動きをつかむ。 (復習: 2時間) 現実の消費者余剰によって企業はどのような行動をとるのかを考える。 |
| 6 | 李熙錫 (イー・ヒーソク) | (授業内容) 需給均衡を学習する。 (授業方法) 需要曲線と供給曲線によって交差する交点の重要性を学ぶ。 | (予習: 2時間) 世の中の財・サービスはどのようにしてそれぞれで価格が異なるのかを考える。また、どのようにときに価格が変化するか考える。 (復習: 2時間) 経済に様々な外的ショックが発生したときに市場均衡がどう動くのかを整理する。 |
| 7 | 李熙錫 (イー・ヒーソク) | (授業内容) マクロ経済学について学習する。 (授業方法) マクロ経済学は何か。マクロ経済学の基本的な用語、恒等式、三面等価、付加価値を解説する。 | (予習: 2時間) 三面等価と付加価値について調べてその意味をつかむ。 (復習: 2時間) 現実の中でマクロ経済学が我々の生活にどのように影響しているのかを考える。 |
| 8 | 李熙錫 (イー・ヒーソク) | (授業内容) マクロ経済学の捉え方を学ぶ。 (授業方法) マクロ経済学の需要と供給、経済成長率と寄与度について解説する。 | (予習: 2時間) GDPと成長方程式について調査する。 (復習: 2時間) マクロ経済の動きが経済に及ぼす影響について考える。 |
| 9 | 李熙錫 (イー・ヒーソク) | (授業内容) GDPとマクロ経済学について学習する。 (授業方法) 需要と供給は、どちらがマクロ経済の動きを決めるのかを学習する。 | (予習: 2時間) 供給について新古典派の考え方を調査する。 (復習: 2時間) 需要と供給についてケインズアンと新古典派の考え方を学ぶ。 |
| 10 | 李熙錫 (イー・ヒーソク) | (授業内容) 乗数について学習する。 (授業方法) 限界消費性向と乗数を学習する。 | (予習: 2時間) 限界消費性向と乗数について調査する。 (復習: 2時間) 生産、所得、需要について学ぶ。 |
| 11 | 李熙錫 (イー・ヒーソク) | (授業内容) 需要不足の経済について学習する。 (授業方法) 投資と政府支出について説明する。 | (予習: 2時間) 乗数プロセスについて調査する。 (復習: 2時間) マクロ経済の基本的な考え方を学ぶ。 |
| 12 | 李熙錫 (イー・ヒーソク) | (授業内容) ゲーム理論について学習する。 (授業方法) ゲーム理論を説明する。 | (予習: 2時間) ゲーム理論について調査する。 (復習: 2時間) ゲーム理論が社会経済にどのように応用できるかを考える。 |
| 13 | 李熙錫 (イー・ヒーソク) | (授業内容) FTA、EPA、TPPIについて学習する。 (授業方法) 国際経済連携について概観する。 | (予習: 2時間) FTA、EPA、TPPIについて調べる。 (復習: 2時間) 日本の通商戦略を考える。 |
| 14 | 李熙錫 (イー・ヒーソク) | (授業内容) 日本の借金について学習する。 (授業方法) 日本の借金はどのようにして膨らみ、世界で最も多くなったのかを概観する。 | (予習: 2時間) 人口の高齢化と社会保障について調査する。 (復習: 2時間) 日本の借金が我々の暮らしにどのような影響があるのかを考察する。 |
| | | 期末試験 | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

| | | | | | |
|---|---|--------|---------|------|----|
| 科目名 | 【新カリ】文学 | 授業形態 | 講義 | | |
| 英語科目名 | 【新カリ】文学 | 対象学年 | 1年 | | |
| 開講学期 | 2022年度後期 | 単位数 | 2単位 | | |
| 代表教員 | 杉山 和也 | ナンバリング | LIT1114 | | |
| 担当教員 | 杉山 和也、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | 本科目は、講義の授業形態で行われる。文学作品を通して人間の生き方や考え方を知り、人間についてより深く理解することを目指す。時代を代表する作品を用いて、言語及び文学に対する知識と理解を深め、作品から読み取れる歴史や社会について考察する。これらを通して、幅広く文学に親しむ態度を身に付ける。 | | | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 世界の著名な文学作品に関して、歴史的背景を踏まえつつ、基本的な説明をすることができる。 2. 信頼性の高い情報に、的確にアクセスし、それらをもとに論理的に考察することができる。 3. 人類の文化的遺産に対して、理解を示すことができる。 4. 文字、書道、書籍の歴史や価値について説明することができる。 5. 日本の舞台芸能である能・狂言・歌舞伎の歴史や価値について説明することができる。 6. 日本文化や、日本に生きる自己存在をグローバルな観点から相対的に捉えることができる。 7. 現代文化や、現代に生きる自己存在を通史的な観点から相対的に捉えることができる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・人文・社会科学科目の選択必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目は「スポーツ健康科学に関連した幅広い知識を基礎とした教養」という学位授与方針の達成に寄与する。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | <p>【履修上の注意】</p> <p>必要に応じて、Google ClassroomやZoomなども活用しつつ、授業を行う。授業中に表示される資料、および講義風景等を、受講生等、杉山和也以外の者が、撮影・録画録音等を行なうことについては、一切、これを禁じる。授業の録画映像やスライド資料等の著作権については、杉山和也に帰属するものとし、許可なく第三者に転送、公表、複製等することは認めない。オンラインなどで授業を実施することがあった場合、この授業の映像等に自分の姿を映したくない受講者は、必ずカメラを停止しておくか、物理的にカメラにシールを貼るなどして映らないような対処をあらかじめ行っておくようにしておくこと。そうした対処が行われていない場合に於いては、肖像権の利用を許諾したものと見做す。なお、杉山和也は、学術・教育以外の目的で本講義の映像等を利用しないこととする。</p> <p>【履修要件】</p> <p>本シラバスの内容を、あらかじめ十分に確認していること。</p> | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | <p>【成績評価の基準】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内で扱った文学作品や、その歴史的背景等に関して基礎的な知識が備わっている。（小テスト） 2. 授業で扱った内容を説明することができる。（定期試験） 3. 毎回の授業に対して、自分なりの感想や意見を持ち、コメントとして文を書くことができる。（平常点） | | | | |
| 評価基準 | 小テスト2回（40%）、レポート（40%）、平常点（20%）を総合して評価する。 | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 平常授業及び準備学習における課題については、授業内で随時、指示する。小テスト、レポート、コメントについては、評価規準を適宜、提示する。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | | | | | |
| 参考文献 | | | | | |
| 参考文献については、適宜、授業の中で指示する。テキストについては授業内でスライドで示す。 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>【連絡先】</p> <p>担当：杉山 和也 E-mail: k.sugiyama.rn@juntendo.ac.jp</p> <p>【オフィスアワー】</p> <p>授業後に1303号室、ないし上記メールアドレス</p> | | | | |
| 担当教員の業務経験 | | | | | |
| 備考 | <p>【学修時間】</p> <p>この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。</p> <p>【その他】</p> <p>毎回の授業で、コメントを提出する。提出方法については、授業内で説明する。コメントの内容は、授業内で無記名の形で紹介することがあるので、執筆にあたっては、この点、あらかじめ注意をすること。</p> <p>なお、授業中に表示される資料、および講義風景等を、受講生等、科目担当者・科目責任者以外の者が、撮影・録画・録音等を行なうことについては、一切、これを禁じる。授業の録画映像やスライド資料等の著作権については、科目担当者・科目責任者に帰属するものとし、許可なく第三者に転送、公表、複製等することは認めない。この授業の映像等に自分の姿を映したくない受講者は、必ずカメラを停止しておくか、物理的にカメラにシールを貼るなどして映らないような対処をあらかじめ行っておくこと。そうした対処が行われていない場合においては、肖像権の利用を許諾したものと見做す。なお、科目担当者・科目責任者は、学術・教育以外の目的で本講義の映像等を利用しないものとする。</p> | | | | |

| 授業計画 | | | | |
|------|-------|--|-------------------|--|
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 |
| 1 | 杉山 和也 | 《説話とは何か①》 シラバスを参照しつつ、授業の具体的な進め方、評価の方法について確認する。また、この講義で中心的なテーマとなる「説話」とは何かについて解説する。 | スライド資料を用いて講義を進める。 | (予習: 2時間) あらかじめシラバスを読んでおく。また、高校で習った文学史を復習しておく。 (復習: 2時間) 授業で扱った内容を整理する。自分なりに授業に関連する事柄を調べ、考察する。 |
| 2 | 杉山 和也 | 《説話とは何か②》 説話の汎世界的な広がりや人類の普遍性について、印旛沼周辺の昔話、昔話「瘤取りじいさん」、「月の鼠」説話などを具体例として考察する。 | スライド資料を用いて講義を進める。 | (予習: 2時間) 自分の身近に、どんな昔話や伝説があるのかについて、自分なりに調べる。 (復習: 2時間) 授業で扱った内容を整理する。自分なりに授業に関連する事柄を調べ、考察する。 |
| 3 | 杉山 和也 | 《説話とは何か③》 説話の汎世界的な広がりや人類の普遍性について「月の鼠」説話、「老いの坂道」などを具体例として考察する。 《人文学の観点から「順天堂」を考える》 本学の大学名ともなっている「順天」という概念について、ゲストスピーカーの徐萍氏(ドイツ・Volkshochschule Berlin Mitte非常勤講師)にお話をいただく。 | スライド資料を用いて講義を進める。 | (予習: 2時間) 中学、高校までの世界史の授業の内容を復習する。 (復習: 2時間) 授業で扱った内容を整理する。自分なりに授業に関連する事柄を調べ、考察する。 |
| 4 | 杉山 和也 | 【授業内容】《お伽草子『御曹司島渡』》とその時代① 『吾妻鏡』、『平家物語』諸本、『義経記』、歌舞伎『勘進帳』について、成立した時代背景を踏まえつつ解説する。その上で、それぞれの文献により、歴史上の人物としての源義経の実像が、どのようなものであったのか。また、時代が下るにつれて、どのような虚像を伴って描かれるようになったのかについて確認する。 【授業方法】 スライド資料を用いて講義を進める。 | 講義 | (予習: 2時間) 源義経という人物について、自分なりに調べる。 (復習: 2時間) 授業で扱った内容を整理する。自分なりに授業に関連する事柄を調べ、考察する。 |
| 5 | 杉山 和也 | 【授業内容】《お伽草子『御曹司島渡』》とその時代② お伽草子『御曹司島渡』を読む。また、前近代において日本に住んでいた人々が、日本の最果てや、文化的他者に対してどのような認識を抱いていたのかについて、『竹取物語』、『今昔物語集』、『平家物語』などの文学作品や、日本列島を描いた古地図である行基式(日本図)を分析することを通して検討し、この作品の成立した文化的背景、時代背景について考える。 【授業方法】 スライド資料を用いて講義を進める。 | 講義 | (予習: 2時間) 行基という人物、ならびに「要石(かなめいし)」について、自分なりに調べる。 (復習: 2時間) 授業で扱った内容を整理する。自分なりに授業に関連する事柄を調べ、考察する。 |
| 6 | 杉山 和也 | 【授業内容】《お伽草子『御曹司島渡』》とその時代③ 中国の『水滸伝』、朝鮮半島の『洪吉童伝』、ヨーロッパの『ボレクサンドル』、『ガリヴァー旅行記』など、虚実の入り交じった世界を渡航して行く冒険譚が、『御曹司島渡』の成立に近い時代に東西で成立していった時代背景、文化的背景について、各作品を概観しながら考察する。また併せて、漫画『ONE PIECE』などの現代の作品への文化的連続性についても考える。 【授業方法】 スライド資料を用いて講義を進める。 | 講義 | (予習: 2時間) 『御曹司島渡』を読み直して、内容の理解を深めておく。 (復習: 2時間) 授業で扱った内容を整理する。自分なりに授業に関連する事柄を調べ、考察する。 |
| 7 | 杉山 和也 | 【授業内容】 ゲストスピーカーの庄子ひとみ先生に、英国の文学について、ご専門の立場からお話をいただきます。 【授業方法】 スライド資料を用いて講義を進める。 | 講義 | (予習: 2時間) 移民も含め雑多な人々が集うグローバル都市であるヴィクトリア朝時代のロンドンの様子を想像しながら、同時代の小説を読んでみる。 (復習: 2時間) 授業で扱った内容を整理する。自分なりに授業に関連する事柄を調べ、考察する。 |
| 8 | 杉山 和也 | 【授業内容】《説話と絵巻》 ひらがなの成立史、ならびに日本の書道史について概説し、前近代に用いられていた、くずし字の解読方法についても簡単な紹介を行なう。さらに、卷子本の構造や前近代の印刷技術について確認し、博物館での展示物を閲覧する際の鑑賞ポイントや、注目すべき点について概説する。以上を踏まえて、説話と、その表現媒体との関係性について検討する。授業中に、第7回までの内容に関する小テストを行なう。 【授業方法】 スライド資料を用いて講義を進める。 | 講義 | (予習: 4時間) e国宝 (https://emuseum.nich.go.jp/) など、インターネット上で閲覧できる絵巻物を複数検索し、鑑賞すること。小テストに備えて、授業で学んだことを整理しておくこと。 (復習: 2時間) 授業で扱った内容を整理する。自分なりに授業に関連する事柄を調べ、考察する。 |
| 9 | 杉山 和也 | 【授業内容】《狂言「付子」をめぐる説話と世界の説話①》 日本の舞台芸術である能と狂言、歌舞伎の歴史について概説する。その上で、狂言「付子」の内容を紹介する。 【授業方法】 スライド資料を用いて講義を進める。 | 講義 | (予習: 2時間) 日本の伝統芸能には、どのようなものがあるか、またその歴史について、自分なりに調べる。 (復習: 2時間) 授業で扱った内容を整理する。自分なりに授業に関連する事柄を調べ、考察する。 |

| | | | | |
|--|--|--|--|--|
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

| | | | | | |
|---|---|--------|---------|------|----|
| 科目名 | 【新カリ】文学 | 授業形態 | 講義 | | |
| 英語科目名 | 【新カリ】文学 | 対象学年 | 1年 | | |
| 開講学期 | 2022年度後期 | 単位数 | 2単位 | | |
| 代表教員 | 杉山 和也 | ナンバリング | LIT1114 | | |
| 担当教員 | 杉山 和也、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | 本科目は、講義の授業形態で行われる。文学作品を通して人間の生き方や考え方を知り、人間についてより深く理解することを目指す。時代を代表する作品を用いて、言語及び文学に対する知識と理解を深め、作品から読み取れる歴史や社会について考察する。これらを通して、幅広く文学に親しむ態度を身に付ける。 | | | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 世界の著名な文学作品に関して、歴史的背景を踏まえつつ、基本的な説明をすることができる。 2. 信頼性の高い情報に、的確にアクセスし、それらをもとに論理的に考察することができる。 3. 人類の文化的遺産に対して、理解を示すことができる。 4. 文字、書道、書籍の歴史や価値について説明することができる。 5. 日本の舞台芸能である能・狂言・歌舞伎の歴史や価値について説明することができる。 6. 日本文化や、日本に生きる自己存在をグローバルな観点から相対的に捉えることができる。 7. 現代文化や、現代に生きる自己存在を通史的な観点から相対的に捉えることができる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・人文・社会科学科目の選択必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目は「スポーツ健康科学に関連した幅広い知識を基礎とした教養」という学位授与方針の達成に寄与する。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | <p>【履修上の注意】</p> <p>必要に応じて、Google ClassroomやZoomなども活用しつつ、授業を行う。授業中に表示される資料、および講義風景等を、受講生等、杉山和也以外の者が、撮影・録画録音等を行なうことについては、一切、これを禁じる。授業の録画映像やスライド資料等の著作権については、杉山和也に帰属するものとし、許可なく第三者に転送、公表、複製等することは認めない。オンラインなどで授業を実施することがあった場合、この授業の映像等に自分の姿を映したくない受講者は、必ずカメラを停止しておくか、物理的にカメラにシールを貼るなどして映らないような対処をあらかじめ行っておくようにしておくこと。そうした対処が行われていない場合に於いては、肖像権の利用を許諾したものと見做す。なお、杉山和也は、学術・教育以外の目的で本講義の映像等を利用しないこととする。</p> <p>【履修要件】</p> <p>本シラバスの内容を、あらかじめ十分に確認していること。</p> | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | <p>【成績評価の基準】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内で扱った文学作品や、その歴史的背景等に関して基礎的な知識が備わっている。（小テスト） 2. 授業で扱った内容を説明することができる。（定期試験） 3. 毎回の授業に対して、自分なりの感想や意見を持ち、コメントとして文を書くことができる。（平常点） | | | | |
| 評価基準 | 小テスト2回（40%）、レポート（40%）、平常点（20%）を総合して評価する。 | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 平常授業及び準備学習における課題については、授業内で随時、指示する。小テスト、レポート、コメントについては、評価規準を適宜、提示する。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | | | | | |
| 参考文献 | | | | | |
| 参考文献については、適宜、授業の中で指示する。テキストについては授業内でスライドで示す。 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>【連絡先】</p> <p>担当：杉山 和也 E-mail: k.sugiyama.rn@juntendo.ac.jp</p> <p>【オフィスアワー】</p> <p>授業後に1303号室、ないし上記メールアドレス</p> | | | | |
| 担当教員の業務経験 | | | | | |
| 備考 | <p>【学修時間】</p> <p>この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。</p> <p>【その他】</p> <p>毎回の授業で、コメントを提出する。提出方法については、授業内で説明する。コメントの内容は、授業内で無記名の形で紹介することがあるので、執筆にあたっては、この点、あらかじめ注意をすること。</p> <p>なお、授業中に表示される資料、および講義風景等を、受講生等、科目担当者・科目責任者以外の者が、撮影・録画・録音等を行なうことについては、一切、これを禁じる。授業の録画映像やスライド資料等の著作権については、科目担当者・科目責任者に帰属するものとし、許可なく第三者に転送、公表、複製等することは認めない。この授業の映像等に自分の姿を映したくない受講者は、必ずカメラを停止しておくか、物理的にカメラにシールを貼るなどして映らないような対処をあらかじめ行っておくこと。そうした対処が行われていない場合においては、肖像権の利用を許諾したものと見做す。なお、科目担当者・科目責任者は、学術・教育以外の目的で本講義の映像等を利用しないものとする。</p> | | | | |

| 授業計画 | | | | |
|------|-------|--|-------------------|--|
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 |
| 1 | 杉山 和也 | 《説話とは何か①》 シラバスを参照しつつ、授業の具体的な進め方、評価の方法について確認する。また、この講義で中心的なテーマとなる「説話」とは何かについて解説する。 | スライド資料を用いて講義を進める。 | (予習: 2時間) あらかじめシラバスを読んでおく。また、高校で習った文学史を復習しておく。 (復習: 2時間) 授業で扱った内容を整理する。自分なりに授業に関連する事柄を調べ、考察する。 |
| 2 | 杉山 和也 | 《説話とは何か②》 説話の汎世界的な広がりや人類の普遍性について、印旛沼周辺の昔話、昔話「瘤取りじいさん」、「月の鼠」説話などを具体例として考察する。 | スライド資料を用いて講義を進める。 | (予習: 2時間) 自分の身近に、どんな昔話や伝説があるのかについて、自分なりに調べる。 (復習: 2時間) 授業で扱った内容を整理する。自分なりに授業に関連する事柄を調べ、考察する。 |
| 3 | 杉山 和也 | 《説話とは何か③》 説話の汎世界的な広がりや人類の普遍性について「月の鼠」説話、「老いの坂道」などを具体例として考察する。 《人文学の観点から「順天堂」を考える》 本学の大学名ともなっている「順天」という概念について、ゲストスピーカーの徐萍氏(ドイツ・Volkshochschule Berlin Mitte非常勤講師)にお話をいただく。 | スライド資料を用いて講義を進める。 | (予習: 2時間) 中学、高校までの世界史の授業の内容を復習する。 (復習: 2時間) 授業で扱った内容を整理する。自分なりに授業に関連する事柄を調べ、考察する。 |
| 4 | 杉山 和也 | 【授業内容】《お伽草子『御曹司島渡』》とその時代① 『吾妻鏡』、『平家物語』諸本、『義経記』、歌舞伎『勘進帳』について、成立した時代背景を踏まえつつ解説する。その上で、それぞれの文献により、歴史上の人物としての源義経の実像が、どのようなものであったのか。また、時代が下るにつれて、どのような虚像を伴って描かれるようになったのかについて確認する。 【授業方法】 スライド資料を用いて講義を進める。 | 講義 | (予習: 2時間) 源義経という人物について、自分なりに調べる。 (復習: 2時間) 授業で扱った内容を整理する。自分なりに授業に関連する事柄を調べ、考察する。 |
| 5 | 杉山 和也 | 【授業内容】《お伽草子『御曹司島渡』》とその時代② お伽草子『御曹司島渡』を読む。また、前近代において日本に住んでいた人々が、日本の最果てや、文化的他者に対してどのような認識を抱いていたのかについて、『竹取物語』、『今昔物語集』、『平家物語』などの文学作品や、日本列島を描いた古地図である行基式(日本図)を分析することを通して検討し、この作品の成立した文化的背景、時代背景について考える。 【授業方法】 スライド資料を用いて講義を進める。 | 講義 | (予習: 2時間) 行基という人物、ならびに「要石(かなめいし)」について、自分なりに調べる。 (復習: 2時間) 授業で扱った内容を整理する。自分なりに授業に関連する事柄を調べ、考察する。 |
| 6 | 杉山 和也 | 【授業内容】《お伽草子『御曹司島渡』》とその時代③ 中国の『水滸伝』、朝鮮半島の『洪吉童伝』、ヨーロッパの『ボレクサンドル』、『ガリヴァー旅行記』など、虚実の入り交じった世界を渡航して行く冒険譚が、『御曹司島渡』の成立に近い時代に東西で成立していった時代背景、文化的背景について、各作品を概観しながら考察する。また併せて、漫画『ONE PIECE』などの現代の作品への文化的連続性についても考える。 【授業方法】 スライド資料を用いて講義を進める。 | 講義 | (予習: 2時間) 『御曹司島渡』を読み直して、内容の理解を深めておく。 (復習: 2時間) 授業で扱った内容を整理する。自分なりに授業に関連する事柄を調べ、考察する。 |
| 7 | 杉山 和也 | 【授業内容】 ゲストスピーカーの庄子ひとみ先生に、英国の文学について、ご専門の立場からお話をいただきます。 【授業方法】 スライド資料を用いて講義を進める。 | 講義 | (予習: 2時間) 移民も含め雑多な人々が集うグローバル都市であるヴィクトリア朝時代のロンドンの様子を想像しながら、同時代の小説を読んでみる。 (復習: 2時間) 授業で扱った内容を整理する。自分なりに授業に関連する事柄を調べ、考察する。 |
| 8 | 杉山 和也 | 【授業内容】《説話と絵巻》 ひらがなの成立史、ならびに日本の書道史について概説し、前近代に用いられていた、くずし字の解読方法についても簡単な紹介を行なう。さらに、卷子本の構造や前近代の印刷技術について確認し、博物館での展示物を閲覧する際の鑑賞ポイントや、注目すべき点について概説する。以上を踏まえて、説話と、その表現媒体との関係性について検討する。授業中に、第7回までの内容に関する小テストを行なう。 【授業方法】 スライド資料を用いて講義を進める。 | 講義 | (予習: 4時間) e国宝 (https://emuseum.nich.go.jp/) など、インターネット上で閲覧できる絵巻物を複数検索し、鑑賞すること。小テストに備えて、授業で学んだことを整理しておくこと。 (復習: 2時間) 授業で扱った内容を整理する。自分なりに授業に関連する事柄を調べ、考察する。 |
| 9 | 杉山 和也 | 【授業内容】《狂言「付子」をめぐる説話と世界の説話①》 日本の舞台芸術である能と狂言、歌舞伎の歴史について概説する。その上で、狂言「付子」の内容を紹介する。 【授業方法】 スライド資料を用いて講義を進める。 | 講義 | (予習: 2時間) 日本の伝統芸能には、どのようなものがあるか、またその歴史について、自分なりに調べる。 (復習: 2時間) 授業で扱った内容を整理する。自分なりに授業に関連する事柄を調べ、考察する。 |

| | | | | |
|--|--|--|--|--|
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

| | | | | | |
|--|--|--------|---------|------|----|
| 科目名 | 【新カリ】人間の生き方 | 授業形態 | 講義 | | |
| 英語科目名 | 【新カリ】人間の生き方 | 対象学年 | 1年 | | |
| 開講学期 | 2022年度後期 | 単位数 | 2単位 | | |
| 代表教員 | 長沼 淳 | ナンバリング | PHI1115 | | |
| 担当教員 | 長沼 淳、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | <p>〔授業の全体的内容〕 哲学の営為に触れ、哲学的に考えるということの意味を理解する。 哲学とは、あらゆるものごとの基盤を問い返す試みである。したがってその対象は、人間の存在そのものといった根源的なものから日常生活でふと経験する些細なことまで非常に広い。 本講では、われわれの存在について様々な角度から、これまでの哲学的な議論を基にしつつ、分析し、新たな視点を確保することを目指したい。あまりに当たり前すぎて考えてみることもしなかったような事象について捉え返す作業を積み重ね、哲学的考察の方法を習得できるようにしたい。 こうした問いかけは、他者のみならず自らとの対話を求めるものであり、当然のことながらコミュニケーション能力や他者などと折り合いをつけながら生きるための基本的な視点を確保することになる。</p> | | | | |
| 到達目標 | <p>〔授業の到達目標〕 人間の生や生きるための具体的な営みを問い返すといった作業から、哲学的にものごとを考えるとどのようなことなのかを理解できるようにする。そのうえで、自分の問題意識にそって、哲学的な考察ができるようになることを第二の目標とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 哲学という方法論を理解することができる。 2. 世界の多様な存在様式について確認でき、それを幅広い他者理解につなげることができる。 3. 他者との共存のためにコミュニケーションを通して調整することができる。 4. 哲学的な理解を日常生活に応用、実践につなげることができる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・人文・社会科学科目の選択必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | 〔授業の位置づけ（学位授与方針に定められた知識・能力等との関連）〕 この科目は「スポーツ健康科学を中心とした幅広い知識と教養、およびそれらの活用能力」を身につけるものである。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | <p>〔履修要件〕 特に指定しない。</p> <p>〔履修上の注意〕 「哲学的に考える」ということは簡単な問に見えて非常に難しい問題である。この授業を手がかりにして自らの生き方を振り返るきっかけとしてほしい。</p> | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | 〔成績評価の方法〕 定期試験（80%）、レポート（15%）、小テスト（5%）を基本に総合的に評価する。 | | | | |
| 評価基準 | <p>〔成績評価の基準〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・哲学的に考察することの、基本的な構造を理解できるか、レポート、定期テストで評価する。 ・哲学的な考察を、自らの問題に応用できるか、授業後の小テスト、定期テストで評価する。 ・上記応用に基づき、日常生活への実践方法を構想できるか、定期テストで評価する。 | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 〔課題に対するフィードバックの方法〕 レポートは翌週以降の講義後に評価や改善点を受講者に個別にフィードバックする。 定期試験については、次学期において評価、改善点をフィードバックする。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | 指定しない | | | | |
| 参考文献 | | | | | |
| 授業内において適宜紹介する。 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>〔連絡先〕 連絡先は授業内に告知する。</p> <p>〔オフィスアワー〕 日時：木曜の講義の前後の時間 場所：1号館2階非常勤講師室 確実にコンタクトをとりたい場合は前日までメールにてアポイントメントをとること。</p> | | | | |
| 担当教員の実務経験 | 該当なし | | | | |
| 備考 | <p>〔学修時間〕 この授業は講義の授業形態による2単位の科目であり、90時間（授業30時間以上を含む）の学修を必要とする内容から成り立つ。</p> <p>〔その他〕 授業内容は受講生の要望に応じて変更する可能性がある。 コロナの状況次第で授業計画、成績評価の基準及び方法が変更となる場合があるため、その都度の案内には注意してほしい。</p> | | | | |

| 授業計画 | | | | |
|------|------|--|--------|---|
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 |
| 1 | 長沼 淳 | (授業内容) オリエンテーション 哲学とは何かを考える (授業方法) 講義と小レポート作成を行う | 講義・演習 | (予習) 必要なし (復習: 5時間) 哲学とは何かをまとめ、学びを深めること。 |
| 2 | 長沼 淳 | (授業内容) スポーツとは何か (授業方法) 講義とその内容に応じた考察を行う | 講義・演習 | (予習: 2時間) 配布プリントを確認しておくこと (復習: 3時間) スポーツの持つ文化性について考えておくこと。 |
| 3 | 長沼 淳 | (授業内容) スポーツと「体育」の違いについて (授業方法) 講義とその内容に基づき各自考察を行う | 講義・演習 | (予習: 2時間) 予習: 配布プリントを確認しておくこと。 (復習: 3時間) 体育は何を育てる科目なのかを考え直すこと。 |
| 4 | 長沼 淳 | (授業内容) ルールを守るということ (授業方法) 講義とその内容に基づき各自考察を行う | 講義・演習 | (予習: 2時間) 配布プリントを確認しておくこと。 (復習: 3時間) ルールとは何のために存在し、プレイヤーに順守を求めるのはなぜなのかを考えておくこと。 |
| 5 | 長沼 淳 | (授業内容) フェアプレーとは何か (授業方法) 講義とその内容に基づき各自考察を行う | 講義・演習 | (予習: 2時間) 配布プリントを確認しておくこと。 (復習: 2時間) スポーツマンシップに則り正々堂々と戦うとはどのようなことなのかを考えておくこと。 |
| 6 | 長沼 淳 | (授業内容) アマスポーツとプロスポーツは何が異なるのか (授業方法) 講義とその内容に基づき各自考察を行う | 講義・演習 | (予習: 2時間) 配布プリントを確認しておくこと。 (復習: 2時間) アマレスとプロレスは何が違うのかを考えておくこと。 |
| 7 | 長沼 淳 | (授業内容) 心があるということ (授業方法) 講義とその内容に基づき各自考察を行う | 講義・演習 | (予習: 2時間) 配布プリントを確認しておくこと (復習: 2時間) ドラえもんには心があるのか、ペッパーには心があるのか、そもそも心があるとはどのようなことかを考えること。 |
| 8 | 長沼 淳 | (授業内容) 本当とは何か (授業方法) 講義とその内容に基づき各自考察を行う | 講義・演習 | (予習: 2時間) 配布プリントを確認しておくこと (復習: 2時間) 自分の認識が正しかったり誤ったりするのはなぜなのか、そして今自分は正しく世界を認識しているのかを考えること。 |
| 9 | 長沼 淳 | (授業内容) 記憶とは何か (授業方法) 講義とその内容に基づき各自考察を行う | 講義・演習 | (予習: 2時間) 事前配布資料を確認しておくこと。 (復習: 2時間) 何かを思い出すこととあるものを思い浮かべることの違いについて考えておくこと。 |
| 10 | 長沼 淳 | (授業内容) 確率とは何か (授業方法) 講義とその内容に基づき各自考察を行う | 講義・演習 | (予習: 2時間) 配布プリントを確認しておくこと。 (復習: 2時間) 一回だけの出来事について確率計算をする意味を自分なりにまとめること。 |
| 11 | 長沼 淳 | (授業内容) 名前と実体 (授業方法) 講義とその内容に基づき各自考察を行う | 講義・演習 | (予習: 2時間) 配布プリントを確認しておくこと。 (復習: 2時間) 言葉が意味を持つということについて、それがどういふことなのかを考えること。 |
| 12 | 長沼 淳 | (授業内容) 私とは何か——アイデンティティについて考える (授業方法) 講義とその内容に基づき各自考察を行う | 講義・演習 | (予習: 2時間) 配布プリントを確認しておくこと。 (復習: 2時間) アイデンティティ形成に関わる他者の存在の意義について自分なりに考えること。 |

| | | | | | |
|---|---|--------|---------|------|----|
| 科目名 | 【新カリ】情報処理演習 ③ | 授業形態 | 演習 | | |
| 英語科目名 | 【新カリ】情報処理演習 ③ | 対象学年 | 1年 | | |
| 開講学期 | 2022年度前期 | 単位数 | 2単位 | | |
| 代表教員 | 木藤 友規 | ナンバリング | INF1116 | | |
| 担当教員 | 木藤 友規、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | <p>【授業全体の内容】</p> <p>この授業では、情報処理の基礎的な知識や技能の習得を目指す。特に、ワープロソフト・表計算ソフト・プレゼンテーションソフトという、スポーツ健康科学部の学びで必要となる基本的なソフトウェアの活用能力を習得し、情報を収集・整理・分析して資料を作成する技術の向上に重点を置いて授業を行う。情報倫理・インターネットの活用など情報を扱う際の危険性やルールについての理解も深めるとともに、簡単なプログラミングによるデータ処理も行う。</p> | | | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 広く普及しているソフトウェアを中心にコンピュータの基礎的な操作ができる 2. コンピュータを用いて情報を収集・整理・分析し、一般的かつ基礎的な資料を作成できる 3. コンピュータで情報を扱う際の危険性やルールを説明できる | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・自然科学科目の必修科目である。また、中・高保健体育1種免許取得にあたっての必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目は、スポーツ健康科学部の学位授与方針に定める「スポーツ健康科学を中心とした教養」を身に付ける。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | <p>【履修要件】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 受講できる学生は、J-Pass上で履修登録を行った学生に限る。各クラスは定員制で先着順に受け付ける。定員については、別に定め、履修登録前に提示する。 2. 2年生以上の受講希望者について、定員に達したために履修できなかった場合、履修登録期間内（修正期間を除く）にクラス分け担当教員まで申し出ることで2年生以上の学生に限り受講を認める場合がある。 <p>【履修上の注意（科目独自のルール）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 1回の授業について、3分の2以上の出席時間がなく、課題を完成できないときには、その回の授業を欠席扱いとする場合がある。 2. 授業開始時に課題説明を行うため、遅刻した場合には授業に参加できない場合がある。 | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | <p>【成績評価の方法】</p> <p>毎回の授業で課される課題（90%）、課題レポート（10%）を総合して評価する。</p> | | | | |
| 評価基準 | <ol style="list-style-type: none"> 1. グループまたは個人で、与えられた時間内に情報を入力・交換・処理することができる。 2. Wordの基礎的な編集機能を理解し、文書が作成できる。（課題） 3. Excelの表計算と関数の基礎的な仕組みを理解し、データを整理・分析して、図表を作成できる。（課題） 4. PowerPointの基礎的な操作方法を理解し、プレゼンテーションのためのスライドを作成できる。（課題） 5. 著作権や著作権を中心に、コンピュータで情報を扱う際の危険性やルールを説明できる。（課題レポート） 6. 数理・データサイエンス・AIの重要性を理解し、説明できる。（課題） | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 授業の中で直接ないしはEmail（またはJuntendo Passport）でフィードバックする。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | | | | | |
| 参考文献 | | | | | |
| 購入を求めるテキストはありません。必要な資料は授業内で配布します。 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>【連絡先】</p> <p>担当： 廣津 信義 E-mail: nhirotsu@juntendo.ac.jp 木藤 友規 E-mail: t.kito@juntendo.ac.jp 山田 泰行 E-mail: yayamada@juntendo.ac.jp</p> <p>【オフィスアワー】</p> <p>廣津： 火曜日12:50-14:45（1号館3階1327室） 木藤： 前期月曜日13:00-13:30、後期：金曜日12:30-13:00（1号館4階1403室） 山田： 月曜日から木曜日12:10-13:50（1号館3階1326室）</p> <p>上記の時間帯には、予約なしに質問や相談に応じますが、他の学生の相談時間とかち合わないようするため、できるだけ前日までにE-mailで予約してください。質問や相談は予約のあった学生を優先します。</p> | | | | |
| 担当教員の実務経験 | 製鉄関連企業においてプラントエンジニアとしての業務にあっていた経験や国立スポーツ科学センターでのスポーツデータの分析業務の経験を生かし、情報処理が実社会で有用であるということも織り込みながら授業をします。 | | | | |
| 備考 | <p>【学修時間】</p> <p>この授業は、演習の授業形態による2単位の科目であり、授業60時間と準備学習30時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。1回の授業時間は100分とする。</p> <p>【その他】</p> <p>中・高教諭1種免許（保健体育）取得するための必修科目 科目：教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 施行規則に定める科目区分又は事項等：情報機器の操作</p> <p>学生の学修進度に応じて、授業計画を変更する場合があります。 受講者数は50名程度を予定していますが、受講者の状況に応じて増減もあります。 授業で扱うソフトウェア（ワープロソフト）・表計算ソフト・プレゼンテーションソフトの活用については、クラスにより内容や学修順が異なる場合がありますので、履修時に確認してください。</p> | | | | |
| 授業計画 | | | | | |

| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 |
|-----|----------------|---|--|--|
| 1 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 テーマ：情報収集と情報交換 機器の基本的な使用方法、及び本授業で身につけるスキルについて学習する。ブラウザとメールの基本を理解し、情報の収集と交換の方法を身につける。ワードプロセッサソフト（Word）の基本機能のうち、書式とレイアウトに関する操作方法を習得する。また、それらの仕組みについて理解を深める。 | コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：1時間) シラバスを読み、授業を受ける意義を確認しておくこと。 (復習：3時間) ガイダンスを受け、自分とっての受講の意義を確認すること。ローマ字入力で、スムーズに日本語入力ができるようにすること。 |
| 2 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 社会の変化について、●ビッグデータ、IoT、AI、ロボット、●データの増加、コンピュータの進歩、●Society5.0、データ駆動型社会、●人間の知的活動とAIという観点から考察する。また、演習として、ワードプロセッサソフト（Word）の基本機能のうち、参照機能（目次の作成）とセクション区切りに関する操作方法を習得する。他のソフトウェアとの連携操作を学習する。具体的には、差し込み印刷機能の操作方法とリンクの仕組みについて理解を深める。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 日本語入力でのキーボードのブラインドタッチの練習をしておくこと。 |
| 3 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 社会におけるデータの活用として、●1次データと2次データ、●オープンデータ、●構造化データと非構造化データ、●データの作成と収集という観点から考察する。また、演習として、計算ソフト（Excel）を使って、ワードプロセッサソフト（Word）との、連携操作を学習する。データを集計して、表にまとめる。Excel関数とその仕組みについて理解を深める。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 4 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 AIの利活用の現場について、●データサイエンスのサイクル、●探索的データ解析、●流通、製造、金融、インフラ、ヘルスケア等への利活用という観点から考察する。また、演習として、表計算ソフト（Excel）を使って、指定されたグラフを作成する。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 5 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 データ・AIを活用する上での留意事項について、●個人情報保護法とGDPRなどの国際動向、●データに関する情報モラルという観点から考察する。また、演習として、著作権と剽窃を中心に、情報を扱う際に気を付けるべきことについて情報を整理し、レポートとしてまとめる方法を学ぶ。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 6 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 データを守るための留意事項として、●データ駆動型社会のリスクとその対策、●情報漏洩と情報セキュリティ、●情報を扱う際のルールについて学ぶ。また、演習として、著作権と剽窃を中心に、情報を扱う際に気を付けるべきことについて情報を整理し、レポートとしてまとめる方法を学ぶ。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 7 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 データ・AI活用の最近の状況について、●AIを活用した新たなビジネスモデル、●AIの最新の活用例という観点から考察する。また、演習として、計算ソフト（Excel）を使って、データベースを作成する。また、ピボットテーブルを使用した分析方法について理解を深める。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 8 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 データの読み方①として、●質的データと量的データ（尺度）、●サンプリングとバイアス、●基本統計量、●誤差、欠損値、外れ値という観点から考察する。また、演習として、表計算ソフト（Excel）を使って、文字列操作（数字以外の文字情報に関する処理）を学び、質的データ・量的データの扱いや、サンプリングとバイアス、基本統計量の計算や、誤差、欠損値、外れ値について理解を深める。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 9 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 データの読み方②として、●基本統計量、●因果と相関、●分割表、散布図相関行列、●データの正しい理解という観点から考察する。また、演習として、表計算ソフト（Excel）を使って、相関の計算や分割表・散布図の表示について学習する。単回帰分析や相関行列について理解を深める。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 10 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 プログラミングをテーマに、表計算ソフト（Excel）を使った計算や視覚化により、因果と相関、データの正しい理解について考察する。また、表計算ソフト（Excel VBA）を使って、プログラミングについて学習する。 | コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) プログラミング言語について調べておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 11 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 テーマ：プレゼンテーションソフト（PowerPoint）のアニメーション機能を学ぶ。アニメーション機能を用いて効果的なスライドを作成する。 | コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：1時間) ブラウザを使って、課題の下調べをしておくこと。また、PowerPointに文字入力ができるようにしておくこと。 (復習：4時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 12 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 プレゼンテーションソフト（PowerPoint）のアニメーション機能を学ぶ。アニメーション機能を用いて効果的なスライドを作成する。 | コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) スライドの内容についてアイデアをまとめておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |

| | | | | |
|----|----------------|---|--------------------------------------|--|
| 13 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 プレゼンテーションソフト（PowerPoint）を使った発表準備。制限時間内にグループでのアイデアをまとめ、発表用スライドを作成する。 | コンピュータを使ってグループで課題に取り組む。 | (予習:2時間) 発表のアイデアをまとめておくこと。 (復習:4時間) 発表用スライドを準備すること。 |
| 14 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 プレゼンテーションソフト（PowerPoint）の機能を使って発表する。与えられた課題に対して、グループ発表を実施する。その際、表計算ソフトを利用して、発表内容を評価・集計する。 | コンピュータを使って自ら課題に取り組む。また、プレゼンテーションを行う。 | (予習:4時間) 発表練習をしておくこと。 (復習:1時間) 他のGrの内容を把握すること。 |
| | | 定期試験を実施しない | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

| | | | | | |
|---|---|--------|---------|------|----|
| 科目名 | 【新カリ】情報処理演習④ | 授業形態 | 演習 | | |
| 英語科目名 | 【新カリ】情報処理演習④ | 対象学年 | 1年 | | |
| 開講学期 | 2022年度前期 | 単位数 | 2単位 | | |
| 代表教員 | 木藤 友規 | ナンバリング | INF1116 | | |
| 担当教員 | 木藤 友規、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | <p>【授業全体の内容】</p> <p>この授業では、情報処理の基礎的な知識や技能の習得を目指す。特に、ワープロソフト・表計算ソフト・プレゼンテーションソフトという、スポーツ健康科学部の学びで必要となる基本的なソフトウェアの活用能力を習得し、情報を収集・整理・分析して資料を作成する技術の向上に重点を置いて授業を行う。情報倫理・インターネットの活用など情報を扱う際の危険性やルールについての理解も深めるとともに、簡単なプログラミングによるデータ処理も行う。</p> | | | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 広く普及しているソフトウェアを中心にコンピュータの基礎的な操作ができる 2. コンピュータを用いて情報を収集・整理・分析し、一般的かつ基礎的な資料を作成できる 3. コンピュータで情報を扱う際の危険性やルールを説明できる | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・自然科学科目の必修科目である。また、中・高保健体育1種免許取得にあたっての必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目は、スポーツ健康科学部の学位授与方針に定める「スポーツ健康科学を中心とした教養」を身に付ける。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | <p>【履修要件】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 受講できる学生は、J-Pass上で履修登録を行った学生に限る。各クラスは定員制で先着順に受け付ける。定員については、別に定め、履修登録前に提示する。 2. 2年生以上の受講希望者について、定員に達したために履修できなかった場合、履修登録期間内（修正期間を除く）にクラス分け担当教員まで申し出ることで2年生以上の学生に限り受講を認める場合がある。 <p>【履修上の注意（科目独自のルール）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 1回の授業について、3分の2以上の出席時間がなく、課題を完成できないときには、その回の授業を欠席扱いとする場合がある。 2. 授業開始時に課題説明を行うため、遅刻した場合には授業に参加できない場合がある。 | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | <p>【成績評価の方法】</p> <p>毎回の授業で課される課題（90%）、課題レポート（10%）を総合して評価する。</p> | | | | |
| 評価基準 | <ol style="list-style-type: none"> 1. グループまたは個人で、与えられた時間内に情報を入力・交換・処理することができる。 2. Wordの基礎的な編集機能を理解し、文書が作成できる。（課題） 3. Excelの表計算と関数の基礎的な仕組みを理解し、データを整理・分析して、図表を作成できる。（課題） 4. PowerPointの基礎的な操作方法を理解し、プレゼンテーションのためのスライドを作成できる。（課題） 5. 著作権や著作権を中心に、コンピュータで情報を扱う際の危険性やルールを説明できる。（課題レポート） 6. 数理・データサイエンス・AIの重要性を理解し、説明できる。（課題） | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 授業の中で直接ないしはEmail（またはJuntendo Passport）でフィードバックする。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | | | | | |
| 参考文献 | | | | | |
| 購入を求めるテキストはありません。必要な資料は授業内で配布します。 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>【連絡先】</p> <p>担当： 廣津 信義 E-mail: nhirotsu@juntendo.ac.jp 木藤 友規 E-mail: t.kito@juntendo.ac.jp 山田 泰行 E-mail: yayamada@juntendo.ac.jp</p> <p>【オフィスアワー】</p> <p>廣津： 火曜日12:50-14:45（1号館3階1327室） 木藤： 前期月曜日13:00-13:30、後期：金曜日12:30-13:00（1号館4階1403室） 山田： 月曜日から木曜日12:10-13:50（1号館3階1326室）</p> <p>上記の時間帯には、予約なしに質問や相談に応じますが、他の学生の相談時間とかち合わないようするため、できるだけ前日までにE-mailで予約してください。質問や相談は予約のあった学生を優先します。</p> | | | | |
| 担当教員の実務経験 | 製鉄関連企業においてプラントエンジニアとしての業務にあっていた経験や国立スポーツ科学センターでのスポーツデータの分析業務の経験を生かし、情報処理が実社会で有用であるということも織り込みながら授業をします。 | | | | |
| 備考 | <p>【学修時間】</p> <p>この授業は、演習の授業形態による2単位の科目であり、授業60時間と準備学習30時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。1回の授業時間は100分とする。</p> <p>【その他】</p> <p>中・高教諭1種免許（保健体育）取得するための必修科目 科目：教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 施行規則に定める科目区分又は事項等：情報機器の操作</p> <p>学生の学修進度に応じて、授業計画を変更する場合があります。 受講者数は50名程度を予定していますが、受講者の状況に応じて増減もあります。 授業で扱うソフトウェア（ワープロソフト）・表計算ソフト・プレゼンテーションソフトの活用については、クラスにより内容や学修順が異なる場合がありますので、履修時に確認してください。</p> | | | | |
| 授業計画 | | | | | |

| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 |
|-----|----------------|---|--|---|
| 1 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 テーマ：情報収集と情報交換 機器の基本的な使用方法、及び本授業で身につけるスキルについて学習する。ブラウザとメールの基本を理解し、情報の収集と交換の方法を身につける。ワードプロセッサソフト（Word）の基本機能のうち、書式とレイアウトに関する操作方法を習得する。また、それらの仕組みについて理解を深める。 | コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：1時間) シラバスを読み、授業を受ける意義を確認しておくこと。 (復習：3時間) ガイダンスを受け、自分とっての受講の意義を確認すること。ローマ字入力、スムーズに日本語入力ができるようにすること。 |
| 2 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 社会の変化について、●ビッグデータ、IoT、AI、ロボット、●データの増加、コンピュータの進歩、●Society5.0、データ駆動型社会、●人間の知的活動とAIという観点から考察する。また、演習として、ワードプロセッサソフト（Word）の基本機能のうち、参照機能（目次の作成）とセクション区切りに関する操作方法を習得する。他のソフトウェアとの連携操作を学習する。具体的には、差し込み印刷機能の操作方法とリンクの仕組みについて理解を深める。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 日本語入力でのキーボードのブラインドタッチの練習をしておくこと。 |
| 3 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 社会におけるデータの活用として、●1次データと2次データ、●オープンデータ、●構造化データと非構造化データ、●データの作成と収集という観点から考察する。また、演習として、計算ソフト（Excel）を使って、ワードプロセッサソフト（Word）との、連携操作を学習する。データを集計して、表にまとめる。Excel関数とその仕組みについて理解を深める。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 4 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 AIの利活用の現場について、●データサイエンスのサイクル、●探索的データ解析、●流通、製造、金融、インフラ、ヘルスケア等への利活用という観点から考察する。また、演習として、表計算ソフト（Excel）を使って、指定されたグラフを作成する。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 5 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 データ・AIを活用する上での留意事項について、●個人情報保護法とGDPRなどの国際動向、●データに関する情報モラルという観点から考察する。また、演習として、著作権と剽窃を中心に、情報を扱う際に気を付けるべきことについて情報を整理し、レポートとしてまとめる方法を学ぶ。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 6 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 データを守るための留意事項として、●データ駆動型社会のリスクとその対策、●情報漏洩と情報セキュリティ、●情報を扱う際のルールについて学ぶ。また、演習として、著作権と剽窃を中心に、情報を扱う際に気を付けるべきことについて情報を整理し、レポートとしてまとめる方法を学ぶ。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 7 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 データ・AI活用の最近の状況について、●AIを活用した新たなビジネスモデル、●AIの最新の活用例という観点から考察する。また、演習として、計算ソフト（Excel）を使って、データベースを作成する。また、ピボットテーブルを使用した分析方法について理解を深める。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 8 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 データの読み方①として、●質的データと量的データ（尺度）、●サンプリングとバイアス、●基本統計量、●誤差、欠損値、外れ値という観点から考察する。また、演習として、表計算ソフト（Excel）を使って、文字列操作（数字以外の文字情報に関する処理）を学び、質的データ・量的データの扱いや、サンプリングとバイアス、基本統計量の計算や、誤差、欠損値、外れ値について理解を深める。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 9 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 データの読み方②として、●基本統計量、●因果と相関、●分割表、散布図相関行列、●データの正しい理解という観点から考察する。また、演習として、表計算ソフト（Excel）を使って、相関の計算や分割表・散布図の表示について学習する。単回帰分析や相関行列について理解を深める。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 10 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 プログラミングをテーマに、表計算ソフト（Excel）を使った計算や視覚化により、因果と相関、データの正しい理解について考察する。また、表計算ソフト（Excel VBA）を使って、プログラミングについて学習する。 | コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) プログラミング言語について調べておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 11 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 テーマ：プレゼンテーションソフト（PowerPoint）のアニメーション機能を学ぶ。アニメーション機能を用いて効果的なスライドを作成する。 | コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：1時間) ブラウザを使って、課題の下調べをしておくこと。また、PowerPointに文字入力ができるようにしておくこと。 (復習：4時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 12 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 プレゼンテーションソフト（PowerPoint）のアニメーション機能を学ぶ。アニメーション機能を用いて効果的なスライドを作成する。 | コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) スライドの内容についてアイデアをまとめておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |

| | | | | |
|----|----------------|---|--------------------------------------|--|
| 13 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 プレゼンテーションソフト（PowerPoint）を使った発表準備。制限時間内にグループでのアイデアをまとめ、発表用スライドを作成する。 | コンピュータを使ってグループで課題に取り組む。 | (予習:2時間) 発表のアイデアをまとめておくこと。 (復習:4時間) 発表用スライドを準備すること。 |
| 14 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 プレゼンテーションソフト（PowerPoint）の機能を使って発表する。与えられた課題に対して、グループ発表を実施する。その際、表計算ソフトを利用して、発表内容を評価・集計する。 | コンピュータを使って自ら課題に取り組む。また、プレゼンテーションを行う。 | (予習:4時間) 発表練習をしておくこと。 (復習:1時間) 他のGrの内容を把握すること。 |
| | | 定期試験を実施しない | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

| | | | | | |
|---|---|--------|---------|------|----|
| 科目名 | 【新カリ】情報処理演習 ⑧ | 授業形態 | 演習 | | |
| 英語科目名 | 【新カリ】情報処理演習 ⑧ | 対象学年 | 1年 | | |
| 開講学期 | 2022年度前期 | 単位数 | 2単位 | | |
| 代表教員 | 木藤 友規 | ナンバリング | INF1116 | | |
| 担当教員 | 木藤 友規、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | <p>【授業全体の内容】</p> <p>この授業では、情報処理の基礎的な知識や技能の習得を目指す。特に、ワープロソフト・表計算ソフト・プレゼンテーションソフトという、スポーツ健康科学部の学びで必要となる基本的なソフトウェアの活用能力を習得し、情報を収集・整理・分析して資料を作成する技術の向上に重点を置いて授業を行う。情報倫理・インターネットの活用など情報を扱う際の危険性やルールについての理解も深めるとともに、簡単なプログラミングによるデータ処理も行う。</p> | | | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 広く普及しているソフトウェアを中心にコンピュータの基礎的な操作ができる 2. コンピュータを用いて情報を収集・整理・分析し、一般的かつ基礎的な資料を作成できる 3. コンピュータで情報を扱う際の危険性やルールを説明できる | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・自然科学科目の必修科目である。また、中・高保健体育1種免許取得にあたっての必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目は、スポーツ健康科学部の学位授与方針に定める「スポーツ健康科学を中心とした教養」を身に付ける。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | <p>【履修要件】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 受講できる学生は、J-Pass上で履修登録を行った学生に限る。各クラスは定員制で先着順に受け付ける。定員については、別に定め、履修登録前に提示する。 2. 2年生以上の受講希望者について、定員に達したために履修できなかった場合、履修登録期間内（修正期間を除く）にクラス分け担当教員まで申し出ることで2年生以上の学生に限り受講を認める場合がある。 <p>【履修上の注意（科目独自のルール）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 1回の授業について、3分の2以上の出席時間がなく、課題を完成できないときには、その回の授業を欠席扱いとする場合がある。 2. 授業開始時に課題説明を行うため、遅刻した場合には授業に参加できない場合がある。 | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | <p>【成績評価の方法】</p> <p>毎回の授業で課される課題（90%）、課題レポート（10%）を総合して評価する。</p> | | | | |
| 評価基準 | <ol style="list-style-type: none"> 1. グループまたは個人で、与えられた時間内に情報を入力・交換・処理することができる。 2. Wordの基礎的な編集機能を理解し、文書が作成できる。（課題） 3. Excelの表計算と関数の基礎的な仕組みを理解し、データを整理・分析して、図表を作成できる。（課題） 4. PowerPointの基礎的な操作方法を理解し、プレゼンテーションのためのスライドを作成できる。（課題） 5. 著作権や著作権を中心に、コンピュータで情報を扱う際の危険性やルールを説明できる。（課題レポート） 6. 数理・データサイエンス・AIの重要性を理解し、説明できる。（課題） | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 授業の中で直接ないしはEmail（またはJuntendo Passport）でフィードバックする。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | | | | | |
| 参考文献 | | | | | |
| 購入を求めるテキストはありません。必要な資料は授業内で配布します。 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>【連絡先】</p> <p>担当： 廣津 信義 E-mail: nhirotsu@juntendo.ac.jp 木藤 友規 E-mail: t.kito@juntendo.ac.jp 山田 泰行 E-mail: yayamada@juntendo.ac.jp</p> <p>【オフィスアワー】</p> <p>廣津： 火曜日12:50-14:45（1号館3階1327室） 木藤： 前期月曜日13:00-13:30、後期：金曜日12:30-13:00（1号館4階1403室） 山田： 月曜日から木曜日12:10-13:50（1号館3階1326室）</p> <p>上記の時間帯には、予約なしに質問や相談に応じますが、他の学生の相談時間とかち合わないようするため、できるだけ前日までにE-mailで予約してください。質問や相談は予約のあった学生を優先します。</p> | | | | |
| 担当教員の実務経験 | 製鉄関連企業においてプラントエンジニアとしての業務にあっていた経験や国立スポーツ科学センターでのスポーツデータの分析業務の経験を生かし、情報処理が実社会で有用であるということも織り込みながら授業をします。 | | | | |
| 備考 | <p>【学修時間】</p> <p>この授業は、演習の授業形態による2単位の科目であり、授業60時間と準備学習30時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。1回の授業時間は100分とする。</p> <p>【その他】</p> <p>中・高教諭1種免許（保健体育）取得するための必修科目 科目：教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 施行規則に定める科目区分又は事項等：情報機器の操作</p> <p>学生の学修進度に応じて、授業計画を変更する場合があります。 受講者数は50名程度を予定していますが、受講者の状況に応じて増減もあります。 授業で扱うソフトウェア（ワープロソフト）・表計算ソフト・プレゼンテーションソフトの活用については、クラスにより内容や学修順が異なる場合がありますので、履修時に確認してください。</p> | | | | |
| 授業計画 | | | | | |

| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 |
|-----|----------------|---|--|--|
| 1 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 テーマ：情報収集と情報交換 機器の基本的な使用方法、及び本授業で身につけるスキルについて学習する。ブラウザとメールの基本を理解し、情報の収集と交換の方法を身につける。ワードプロセッサソフト（Word）の基本機能のうち、書式とレイアウトに関する操作方法を習得する。また、それらの仕組みについて理解を深める。 | コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：1時間) シラバスを読み、授業を受ける意義を確認しておくこと。 (復習：3時間) ガイダンスを受け、自分とっての受講の意義を確認すること。ローマ字入力で、スムーズに日本語入力ができるようにすること。 |
| 2 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 社会の変化について、●ビッグデータ、IoT、AI、ロボット、●データの増加、コンピュータの進歩、●Society5.0、データ駆動型社会、●人間の知的活動とAIという観点から考察する。また、演習として、ワードプロセッサソフト（Word）の基本機能のうち、参照機能（目次の作成）とセクション区切りに関する操作方法を習得する。他のソフトウェアとの連携操作を学習する。具体的には、差し込み印刷機能の操作方法とリンクの仕組みについて理解を深める。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 日本語入力でのキーボードのブラインドタッチの練習をしておくこと。 |
| 3 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 社会におけるデータの活用として、●1次データと2次データ、●オープンデータ、●構造化データと非構造化データ、●データの作成と収集という観点から考察する。また、演習として、計算ソフト（Excel）を使って、ワードプロセッサソフト（Word）との、連携操作を学習する。データを集計して、表にまとめる。Excel関数とその仕組みについて理解を深める。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 4 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 AIの利活用の現場について、●データサイエンスのサイクル、●探索的データ解析、●流通、製造、金融、インフラ、ヘルスケア等への利活用という観点から考察する。また、演習として、表計算ソフト（Excel）を使って、指定されたグラフを作成する。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 5 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 データ・AIを活用する上での留意事項について、●個人情報保護法とGDPRなどの国際動向、●データに関する情報モラルという観点から考察する。また、演習として、著作権と剽窃を中心に、情報を扱う際に気を付けるべきことについて情報を整理し、レポートとしてまとめる方法を学ぶ。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 6 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 データを守るための留意事項として、●データ駆動型社会のリスクとその対策、●情報漏洩と情報セキュリティ、●情報を扱う際のルールについて学ぶ。また、演習として、著作権と剽窃を中心に、情報を扱う際に気を付けるべきことについて情報を整理し、レポートとしてまとめる方法を学ぶ。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 7 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 データ・AI活用の最近の状況について、●AIを活用した新たなビジネスモデル、●AIの最新の活用例という観点から考察する。また、演習として、計算ソフト（Excel）を使って、データベースを作成する。また、ピボットテーブルを使用した分析方法について理解を深める。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 8 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 データの読み方①として、●質的データと量的データ（尺度）、●サンプリングとバイアス、●基本統計量、●誤差、欠損値、外れ値という観点から考察する。また、演習として、表計算ソフト（Excel）を使って、文字列操作（数字以外の文字情報に関する処理）を学び、質的データ・量的データの扱いや、サンプリングとバイアス、基本統計量の計算や、誤差、欠損値、外れ値について理解を深める。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 9 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 データの読み方②として、●基本統計量、●因果と相関、●分割表、散布図相関行列、●データの正しい理解という観点から考察する。また、演習として、表計算ソフト（Excel）を使って、相関の計算や分割表・散布図の表示について学習する。単回帰分析や相関行列について理解を深める。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 10 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 プログラミングをテーマに、表計算ソフト（Excel）を使った計算や視覚化により、因果と相関、データの正しい理解について考察する。また、表計算ソフト（Excel VBA）を使って、プログラミングについて学習する。 | コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) プログラミング言語について調べておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 11 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 テーマ：プレゼンテーションソフト（PowerPoint）のアニメーション機能を学ぶ。アニメーション機能を用いて効果的なスライドを作成する。 | コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：1時間) ブラウザを使って、課題の下調べをしておくこと。また、PowerPointに文字入力ができるようにしておくこと。 (復習：4時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 12 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 プレゼンテーションソフト（PowerPoint）のアニメーション機能を学ぶ。アニメーション機能を用いて効果的なスライドを作成する。 | コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) スライドの内容についてアイデアをまとめておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |

| | | | | | |
|---|---|--------|---------|------|----|
| 科目名 | 【新カリ】情報処理演習 ⑨ | 授業形態 | 演習 | | |
| 英語科目名 | 【新カリ】情報処理演習 ⑨ | 対象学年 | 1年 | | |
| 開講学期 | 2022年度前期 | 単位数 | 2単位 | | |
| 代表教員 | 木藤 友規 | ナンバリング | INF1116 | | |
| 担当教員 | 木藤 友規、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | <p>【授業全体の内容】</p> <p>この授業では、情報処理の基礎的な知識や技能の習得を目指す。特に、ワープロソフト・表計算ソフト・プレゼンテーションソフトという、スポーツ健康科学部の学びで必要となる基本的なソフトウェアの活用能力を習得し、情報を収集・整理・分析して資料を作成する技術の向上に重点を置いて授業を行う。情報倫理・インターネットの活用など情報を扱う際の危険性やルールについての理解も深めるとともに、簡単なプログラミングによるデータ処理も行う。</p> | | | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 広く普及しているソフトウェアを中心にコンピュータの基礎的な操作ができる 2. コンピュータを用いて情報を収集・整理・分析し、一般的かつ基礎的な資料を作成できる 3. コンピュータで情報を扱う際の危険性やルールを説明できる | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・自然科学科目の必修科目である。また、中・高保健体育1種免許取得にあたっての必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目は、スポーツ健康科学部の学位授与方針に定める「スポーツ健康科学を中心とした教養」を身に付ける。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | <p>【履修要件】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 受講できる学生は、J-Pass上で履修登録を行った学生に限る。各クラスは定員制で先着順に受け付ける。定員については、別に定め、履修登録前に提示する。 2. 2年生以上の受講希望者について、定員に達したために履修できなかった場合、履修登録期間内（修正期間を除く）にクラス分け担当教員まで申し出ることで2年生以上の学生に限り受講を認める場合がある。 <p>【履修上の注意（科目独自のルール）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 1回の授業について、3分の2以上の出席時間がなく、課題を完成できないときには、その回の授業を欠席扱いとする場合がある。 2. 授業開始時に課題説明を行うため、遅刻した場合には授業に参加できない場合がある。 | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | <p>【成績評価の方法】</p> <p>毎回の授業で課される課題（90%）、課題レポート（10%）を総合して評価する。</p> | | | | |
| 評価基準 | <ol style="list-style-type: none"> 1. グループまたは個人で、与えられた時間内に情報を入力・交換・処理することができる。 2. Wordの基礎的な編集機能を理解し、文書が作成できる。（課題） 3. Excelの表計算と関数の基礎的な仕組みを理解し、データを整理・分析して、図表を作成できる。（課題） 4. PowerPointの基礎的な操作方法を理解し、プレゼンテーションのためのスライドを作成できる。（課題） 5. 著作権や著作権を中心に、コンピュータで情報を扱う際の危険性やルールを説明できる。（課題レポート） 6. 数理・データサイエンス・AIの重要性を理解し、説明できる。（課題） | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 授業の中で直接ないしはEmail（またはJuntendo Passport）でフィードバックする。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | | | | | |
| 参考文献 | | | | | |
| 購入を求めるテキストはありません。必要な資料は授業内で配布します。 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>【連絡先】</p> <p>担当： 廣津 信義 E-mail: nhirotsu@juntendo.ac.jp 木藤 友規 E-mail: t.kito@juntendo.ac.jp 山田 泰行 E-mail: yayamada@juntendo.ac.jp</p> <p>【オフィスアワー】</p> <p>廣津： 火曜日12:50-14:45（1号館3階1327室） 木藤： 前期月曜日13:00-13:30、後期：金曜日12:30-13:00（1号館4階1403室） 山田： 月曜日から木曜日12:10-13:50（1号館3階1326室）</p> <p>上記の時間帯には、予約なしに質問や相談に応じますが、他の学生の相談時間とかち合わないようするため、できるだけ前日までにE-mailで予約してください。質問や相談は予約のあった学生を優先します。</p> | | | | |
| 担当教員の実務経験 | 製鉄関連企業においてプラントエンジニアとしての業務にあっていた経験や国立スポーツ科学センターでのスポーツデータの分析業務の経験を生かし、情報処理が実社会で有用であるということも織り込みながら授業をします。 | | | | |
| 備考 | <p>【学修時間】</p> <p>この授業は、演習の授業形態による2単位の科目であり、授業60時間と準備学習30時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。1回の授業時間は100分とする。</p> <p>【その他】</p> <p>中・高教諭1種免許（保健体育）取得するための必修科目 科目：教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 施行規則に定める科目区分又は事項等：情報機器の操作</p> <p>学生の学修進度に応じて、授業計画を変更する場合があります。 受講者数は50名程度を予定していますが、受講者の状況に応じて増減もあります。 授業で扱うソフトウェア（ワープロソフト）・表計算ソフト・プレゼンテーションソフトの活用については、クラスにより内容や学修順が異なる場合がありますので、履修時に確認してください。</p> | | | | |
| 授業計画 | | | | | |

| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 |
|-----|----------------|---|--|---|
| 1 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 テーマ：情報収集と情報交換 機器の基本的な使用方法、及び本授業で身につけるスキルについて学習する。ブラウザとメールの基本を理解し、情報の収集と交換の方法を身につける。ワードプロセッサソフト（Word）の基本機能のうち、書式とレイアウトに関する操作方法を習得する。また、それらの仕組みについて理解を深める。 | コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：1時間) シラバスを読み、授業を受ける意義を確認しておくこと。 (復習：3時間) ガイダンスを受け、自分とっての受講の意義を確認すること。ローマ字入力、スムーズに日本語入力ができるようにすること。 |
| 2 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 社会の変化について、●ビッグデータ、IoT、AI、ロボット、●データの増加、コンピュータの進歩、●Society5.0、データ駆動型社会、●人間の知的活動とAIという観点から考察する。また、演習として、ワードプロセッサソフト（Word）の基本機能のうち、参照機能（目次の作成）とセクション区切りに関する操作方法を習得する。他のソフトウェアとの連携操作を学習する。具体的には、差し込み印刷機能の操作方法とリンクの仕組みについて理解を深める。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 日本語入力でのキーボードのブラインドタッチの練習をしておくこと。 |
| 3 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 社会におけるデータの活用として、●1次データと2次データ、●オープンデータ、●構造化データと非構造化データ、●データの作成と収集という観点から考察する。また、演習として、計算ソフト（Excel）を使って、ワードプロセッサソフト（Word）との、連携操作を学習する。データを集計して、表にまとめる。Excel関数とその仕組みについて理解を深める。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 4 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 AIの利活用の現場について、●データサイエンスのサイクル、●探索的データ解析、●流通、製造、金融、インフラ、ヘルスケア等への利活用という観点から考察する。また、演習として、表計算ソフト（Excel）を使って、指定されたグラフを作成する。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 5 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 データ・AIを活用する上での留意事項について、●個人情報保護法とGDPRなどの国際動向、●データに関する情報モラルという観点から考察する。また、演習として、著作権と剽窃を中心に、情報を扱う際に気を付けるべきことについて情報を整理し、レポートとしてまとめる方法を学ぶ。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 6 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 データを守るための留意事項として、●データ駆動型社会のリスクとその対策、●情報漏洩と情報セキュリティ、●情報を扱う際のルールについて学ぶ。また、演習として、著作権と剽窃を中心に、情報を扱う際に気を付けるべきことについて情報を整理し、レポートとしてまとめる方法を学ぶ。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 7 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 データ・AI活用の最近の状況について、●AIを活用した新たなビジネスモデル、●AIの最新の活用例という観点から考察する。また、演習として、計算ソフト（Excel）を使って、データベースを作成する。また、ピボットテーブルを使用した分析方法について理解を深める。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 8 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 データの読み方①として、●質的データと量的データ（尺度）、●サンプリングとバイアス、●基本統計量、●誤差、欠損値、外れ値という観点から考察する。また、演習として、表計算ソフト（Excel）を使って、文字列操作（数字以外の文字情報に関する処理）を学び、質的データ・量的データの扱いや、サンプリングとバイアス、基本統計量の計算や、誤差、欠損値、外れ値について理解を深める。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 9 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 データの読み方②として、●基本統計量、●因果と相関、●分割表、散布図相関行列、●データの正しい理解という観点から考察する。また、演習として、表計算ソフト（Excel）を使って、相関の計算や分割表・散布図の表示について学習する。単回帰分析や相関行列について理解を深める。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 10 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 プログラミングをテーマに、表計算ソフト（Excel）を使った計算や視覚化により、因果と相関、データの正しい理解について考察する。また、表計算ソフト（Excel VBA）を使って、プログラミングについて学習する。 | コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) プログラミング言語について調べておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 11 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 テーマ：プレゼンテーションソフト（PowerPoint）のアニメーション機能を学ぶ。アニメーション機能を用いて効果的なスライドを作成する。 | コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：1時間) ブラウザを使って、課題の下調べをしておくこと。また、PowerPointに文字入力ができるようにしておくこと。 (復習：4時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 12 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 プレゼンテーションソフト（PowerPoint）のアニメーション機能を学ぶ。アニメーション機能を用いて効果的なスライドを作成する。 | コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) スライドの内容についてアイデアをまとめておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |

| | | | | |
|----|----------------|---|--------------------------------------|--|
| 13 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 プレゼンテーションソフト（PowerPoint）を使った発表準備。制限時間内にグループでのアイデアをまとめ、発表用スライドを作成する。 | コンピュータを使ってグループで課題に取り組む。 | (予習:2時間) 発表のアイデアをまとめておくこと。 (復習:4時間) 発表用スライドを準備すること。 |
| 14 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 プレゼンテーションソフト（PowerPoint）の機能を使って発表する。与えられた課題に対して、グループ発表を実施する。その際、表計算ソフトを利用して、発表内容を評価・集計する。 | コンピュータを使って自ら課題に取り組む。また、プレゼンテーションを行う。 | (予習:4時間) 発表練習をしておくこと。 (復習:1時間) 他のGrの内容を把握すること。 |
| | | 定期試験を実施しない | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

| | | | | | |
|---|---|--------|---------|------|----|
| 科目名 | 【新カリ】情報処理演習 ⑬ | 授業形態 | 演習 | | |
| 英語科目名 | 【新カリ】情報処理演習 ⑬ | 対象学年 | 1年 | | |
| 開講学期 | 2022年度前期 | 単位数 | 2単位 | | |
| 代表教員 | 山田 泰行 | ナンバリング | INF1116 | | |
| 担当教員 | 山田 泰行、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | <p>【授業全体の内容】</p> <p>この授業では、情報処理の基礎的な知識や技能の習得を目指す。特に、ワープロソフト・表計算ソフト・プレゼンテーションソフトという、スポーツ健康科学部の学びで必要となる基本的なソフトウェアの活用能力を習得し、情報を収集・整理・分析して資料を作成する技術の向上に重点を置いて授業を行う。情報倫理・インターネットの活用など情報を扱う際の危険性やルールについての理解も深めるとともに、簡単なプログラミングによるデータ処理も行う。</p> | | | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 広く普及しているソフトウェアを中心にコンピュータの基礎的な操作ができる 2. コンピュータを用いて情報を収集・整理・分析し、一般的かつ基礎的な資料を作成できる 3. コンピュータで情報を扱う際の危険性やルールを説明できる | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・自然科学科目の必修科目である。また、中・高保健体育1種免許取得にあたっての必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目は、スポーツ健康科学部の学位授与方針に定める「スポーツ健康科学を中心とした教養」を身に付ける。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | <p>【履修要件】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 受講できる学生は、J-Pass上で履修登録を行った学生に限る。各クラスは定員制で先着順に受け付ける。定員については、別に定め、履修登録前に提示する。 2. 2年生以上の受講希望者について、定員に達したために履修できなかった場合、履修登録期間内（修正期間を除く）にクラス分け担当教員まで申し出ることで2年生以上の学生に限り受講を認める場合がある。 <p>【履修上の注意（科目独自のルール）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 1回の授業について、3分の2以上の出席時間がなく、課題を完成できないときには、その回の授業を欠席扱いとする場合がある。 2. 授業開始時に課題説明を行うため、遅刻した場合には授業に参加できない場合がある。 | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | <p>【成績評価の方法】</p> <p>毎回の授業で課される課題（90%）、課題レポート（10%）を総合して評価する。</p> | | | | |
| 評価基準 | <ol style="list-style-type: none"> 1. グループまたは個人で、与えられた時間内に情報を入力・交換・処理することができる。 2. Wordの基礎的な編集機能を理解し、文書が作成できる。（課題） 3. Excelの表計算と関数の基礎的な仕組みを理解し、データを整理・分析して、図表を作成できる。（課題） 4. PowerPointの基礎的な操作方法を理解し、プレゼンテーションのためのスライドを作成できる。（課題） 5. 著作権や著作権を中心に、コンピュータで情報を扱う際の危険性やルールを説明できる。（課題レポート） 6. 数理・データサイエンス・AIの重要性を理解し、説明できる。（課題） | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 授業の中で直接ないしはEmail（またはJuntendo Passport）でフィードバックする。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| 参考文献 | | | | | |
| 購入を求めるテキストはありません。必要な資料は授業内で配布します。 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>【連絡先】</p> <p>担当： 廣津 信義 E-mail: nhirotsu@juntendo.ac.jp 木藤 友規 E-mail: t.kito@juntendo.ac.jp 山田 泰行 E-mail: yayamada@juntendo.ac.jp</p> <p>【オフィスアワー】</p> <p>廣津： 火曜日12:50-14:45（1号館3階1327室） 木藤： 前期月曜日13:00-13:30、後期：金曜日12:30-13:00（1号館4階1403室） 山田： 月曜日から木曜日12:10-13:50（1号館3階1326室）</p> <p>上記の時間帯には、予約なしに質問や相談に応じますが、他の学生の相談時間とかち合わないようするため、できるだけ前日までにE-mailで予約してください。質問や相談は予約のあった学生を優先します。</p> | | | | |
| 担当教員の実務経験 | 製鉄関連企業においてプラントエンジニアとしての業務にあっていた経験や国立スポーツ科学センターでのスポーツデータの分析業務の経験を生かし、情報処理が実社会で有用であるということも織り込みながら授業をします。 | | | | |
| 備考 | <p>【学修時間】</p> <p>この授業は、演習の授業形態による2単位の科目であり、授業60時間と準備学習30時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。1回の授業時間は100分とする。</p> <p>【その他】</p> <p>中・高教諭1種免許（保健体育）取得するための必修科目 科目：教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 施行規則に定める科目区分又は事項等：情報機器の操作</p> <p>学生の学修進度に応じて、授業計画を変更する場合があります。 受講者数は50名程度を予定していますが、受講者の状況に応じて増減もあります。 授業で扱うソフトウェア（ワープロソフト）・表計算ソフト・プレゼンテーションソフトの活用については、クラスにより内容や学修順が異なる場合がありますので、履修時に確認してください。</p> | | | | |
| 授業計画 | | | | | |

| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 |
|-----|----------------|---|--|--|
| 1 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 テーマ：情報収集と情報交換 機器の基本的な使用方法、及び本授業で身につけるスキルについて学習する。ブラウザとメールの基本を理解し、情報の収集と交換の方法を身につける。ワードプロセッサソフト（Word）の基本機能のうち、書式とレイアウトに関する操作方法を習得する。また、それらの仕組みについて理解を深める。 | コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：1時間) シラバスを読み、授業を受ける意義を確認しておくこと。 (復習：3時間) ガイダンスを受け、自分とっての受講の意義を確認すること。ローマ字入力で、スムーズに日本語入力ができるようにすること。 |
| 2 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 社会の変化について、●ビッグデータ、IoT、AI、ロボット、●データの増加、コンピュータの進歩、●Society5.0、データ駆動型社会、●人間の知的活動とAIという観点から考察する。また、演習として、ワードプロセッサソフト（Word）の基本機能のうち、参照機能（目次の作成）とセクション区切りに関する操作方法を習得する。他のソフトウェアとの連携操作を学習する。具体的には、差し込み印刷機能の操作方法とリンクの仕組みについて理解を深める。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 日本語入力でのキーボードのブラインドタッチの練習をしておくこと。 |
| 3 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 社会におけるデータの活用として、●1次データと2次データ、●オープンデータ、●構造化データと非構造化データ、●データの作成と収集という観点から考察する。また、演習として、計算ソフト（Excel）を使って、ワードプロセッサソフト（Word）との、連携操作を学習する。データを集計して、表にまとめる。Excel関数とその仕組みについて理解を深める。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 4 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 AIの利活用の現場について、●データサイエンスのサイクル、●探索的データ解析、●流通、製造、金融、インフラ、ヘルスケア等への利活用という観点から考察する。また、演習として、表計算ソフト（Excel）を使って、指定されたグラフを作成する。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 5 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 データ・AIを活用する上での留意事項について、●個人情報保護法とGDPRなどの国際動向、●データに関する情報モラルという観点から考察する。また、演習として、著作権と剽窃を中心に、情報を扱う際に気を付けるべきことについて情報を整理し、レポートとしてまとめる方法を学ぶ。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 6 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 データを守るための留意事項として、●データ駆動型社会のリスクとその対策、●情報漏洩と情報セキュリティ、●情報を扱う際のルールについて学ぶ。また、演習として、著作権と剽窃を中心に、情報を扱う際に気を付けるべきことについて情報を整理し、レポートとしてまとめる方法を学ぶ。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 7 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 データ・AI活用の最近の状況について、●AIを活用した新たなビジネスモデル、●AIの最新の活用例という観点から考察する。また、演習として、計算ソフト（Excel）を使って、データベースを作成する。また、ピボットテーブルを使用した分析方法について理解を深める。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 8 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 データの読み方①として、●質的データと量的データ（尺度）、●サンプリングとバイアス、●基本統計量、●誤差、欠損値、外れ値という観点から考察する。また、演習として、表計算ソフト（Excel）を使って、文字列操作（数字以外の文字情報に関する処理）を学び、質的データ・量的データの扱いや、サンプリングとバイアス、基本統計量の計算や、誤差、欠損値、外れ値について理解を深める。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 9 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 データの読み方②として、●基本統計量、●因果と相関、●分割表、散布図相関行列、●データの正しい理解という観点から考察する。また、演習として、表計算ソフト（Excel）を使って、相関の計算や分割表・散布図の表示について学習する。単回帰分析や相関行列について理解を深める。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 10 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 プログラミングをテーマに、表計算ソフト（Excel）を使った計算や視覚化により、因果と相関、データの正しい理解について考察する。また、表計算ソフト（Excel VBA）を使って、プログラミングについて学習する。 | コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) プログラミング言語について調べておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 11 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 テーマ：プレゼンテーションソフト（PowerPoint）のアニメーション機能を学ぶ。アニメーション機能を用いて効果的なスライドを作成する。 | コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：1時間) ブラウザを使って、課題の下調べをしておくこと。また、PowerPointに文字入力ができるようにしておくこと。 (復習：4時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 12 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 プレゼンテーションソフト（PowerPoint）のアニメーション機能を学ぶ。アニメーション機能を用いて効果的なスライドを作成する。 | コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) スライドの内容についてアイデアをまとめておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |

| | | | | | |
|---|---|--------|---------|------|----|
| 科目名 | 【新カリ】情報処理演習 ⑭ | 授業形態 | 演習 | | |
| 英語科目名 | 【新カリ】情報処理演習 ⑭ | 対象学年 | 1年 | | |
| 開講学期 | 2022年度前期 | 単位数 | 2単位 | | |
| 代表教員 | 山田 泰行 | ナンバリング | INF1116 | | |
| 担当教員 | 山田 泰行、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | <p>【授業全体の内容】</p> <p>この授業では、情報処理の基礎的な知識や技能の習得を目指す。特に、ワープロソフト・表計算ソフト・プレゼンテーションソフトという、スポーツ健康科学部の学びで必要となる基本的なソフトウェアの活用能力を習得し、情報を収集・整理・分析して資料を作成する技術の向上に重点を置いて授業を行う。情報倫理・インターネットの活用など情報を扱う際の危険性やルールについての理解も深めるとともに、簡単なプログラミングによるデータ処理も行う。</p> | | | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 広く普及しているソフトウェアを中心にコンピュータの基礎的な操作ができる 2. コンピュータを用いて情報を収集・整理・分析し、一般的かつ基礎的な資料を作成できる 3. コンピュータで情報を扱う際の危険性やルールを説明できる | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・自然科学科目の必修科目である。また、中・高保健体育1種免許取得にあたっての必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目は、スポーツ健康科学部の学位授与方針に定める「スポーツ健康科学を中心とした教養」を身に付ける。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | <p>【履修要件】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 受講できる学生は、J-Pass上で履修登録を行った学生に限る。各クラスは定員制で先着順に受け付ける。定員については、別に定め、履修登録前に提示する。 2. 2年生以上の受講希望者について、定員に達したために履修できなかった場合、履修登録期間内（修正期間を除く）にクラス分け担当教員まで申し出ることで2年生以上の学生に限り受講を認める場合がある。 <p>【履修上の注意（科目独自のルール）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 1回の授業について、3分の2以上の出席時間がなく、課題を完成できないときには、その回の授業を欠席扱いとする場合がある。 2. 授業開始時に課題説明を行うため、遅刻した場合には授業に参加できない場合がある。 | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | <p>【成績評価の方法】</p> <p>毎回の授業で課される課題（90%）、課題レポート（10%）を総合して評価する。</p> | | | | |
| 評価基準 | <ol style="list-style-type: none"> 1. グループまたは個人で、与えられた時間内に情報を入力・交換・処理することができる。 2. Wordの基礎的な編集機能を理解し、文書が作成できる。（課題） 3. Excelの表計算と関数の基礎的な仕組みを理解し、データを整理・分析して、図表を作成できる。（課題） 4. PowerPointの基礎的な操作方法を理解し、プレゼンテーションのためのスライドを作成できる。（課題） 5. 著作権や著作権を中心に、コンピュータで情報を扱う際の危険性やルールを説明できる。（課題レポート） 6. 数理・データサイエンス・AIの重要性を理解し、説明できる。（課題） | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 授業の中で直接ないしはEmail（またはJuntendo Passport）でフィードバックする。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | | | | | |
| 参考文献 | | | | | |
| 購入を求めるテキストはありません。必要な資料は授業内で配布します。 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>【連絡先】</p> <p>担当： 廣津 信義 E-mail: nhirotsu@juntendo.ac.jp 木藤 友規 E-mail: t.kito@juntendo.ac.jp 山田 泰行 E-mail: yayamada@juntendo.ac.jp</p> <p>【オフィスアワー】</p> <p>廣津： 火曜日12:50-14:45（1号館3階1327室） 木藤： 前期月曜日13:00-13:30、後期：金曜日12:30-13:00（1号館4階1403室） 山田： 月曜日から木曜日12:10-13:50（1号館3階1326室）</p> <p>上記の時間帯には、予約なしに質問や相談に応じますが、他の学生の相談時間とかち合わないようするため、できるだけ前日までにE-mailで予約してください。質問や相談は予約のあった学生を優先します。</p> | | | | |
| 担当教員の実務経験 | 製鉄関連企業においてプラントエンジニアとしての業務にあっていた経験や国立スポーツ科学センターでのスポーツデータの分析業務の経験を生かし、情報処理が実社会で有用であるということも織り込みながら授業をします。 | | | | |
| 備考 | <p>【学修時間】</p> <p>この授業は、演習の授業形態による2単位の科目であり、授業60時間と準備学習30時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。1回の授業時間は100分とする。</p> <p>【その他】</p> <p>中・高教諭1種免許（保健体育）取得するための必修科目 科目：教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 施行規則に定める科目区分又は事項等：情報機器の操作</p> <p>学生の学修進度に応じて、授業計画を変更する場合があります。 受講者数は50名程度を予定していますが、受講者の状況に応じて増減もあります。 授業で扱うソフトウェア（ワープロソフト）・表計算ソフト・プレゼンテーションソフトの活用については、クラスにより内容や学修順が異なる場合がありますので、履修時に確認してください。</p> | | | | |
| 授業計画 | | | | | |

| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 |
|-----|----------------|---|--|--|
| 1 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 テーマ：情報収集と情報交換 機器の基本的な使用方法、及び本授業で身につけるスキルについて学習する。ブラウザとメールの基本を理解し、情報の収集と交換の方法を身につける。ワードプロセッサソフト（Word）の基本機能のうち、書式とレイアウトに関する操作方法を習得する。また、それらの仕組みについて理解を深める。 | コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：1時間) シラバスを読み、授業を受ける意義を確認しておくこと。 (復習：3時間) ガイダンスを受け、自分とっての受講の意義を確認すること。ローマ字入力で、スムーズに日本語入力ができるようにすること。 |
| 2 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 社会の変化について、●ビッグデータ、IoT、AI、ロボット、●データの増加、コンピュータの進歩、●Society5.0、データ駆動型社会、●人間の知的活動とAIという観点から考察する。また、演習として、ワードプロセッサソフト（Word）の基本機能のうち、参照機能（目次の作成）とセクション区切りに関する操作方法を習得する。他のソフトウェアとの連携操作を学習する。具体的には、差し込み印刷機能の操作方法とリンクの仕組みについて理解を深める。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 日本語入力でのキーボードのブラインドタッチの練習をしておくこと。 |
| 3 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 社会におけるデータの活用として、●1次データと2次データ、●オープンデータ、●構造化データと非構造化データ、●データの作成と収集という観点から考察する。また、演習として、計算ソフト（Excel）を使って、ワードプロセッサソフト（Word）との、連携操作を学習する。データを集計して、表にまとめる。Excel関数とその仕組みについて理解を深める。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 4 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 AIの利活用の現場について、●データサイエンスのサイクル、●探索的データ解析、●流通、製造、金融、インフラ、ヘルスケア等への利活用という観点から考察する。また、演習として、表計算ソフト（Excel）を使って、指定されたグラフを作成する。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 5 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 データ・AIを活用する上での留意事項について、●個人情報保護法とGDPRなどの国際動向、●データに関する情報モラルという観点から考察する。また、演習として、著作権と剽窃を中心に、情報を扱う際に気を付けるべきことについて情報を整理し、レポートとしてまとめる方法を学ぶ。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 6 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 データを守るための留意事項として、●データ駆動型社会のリスクとその対策、●情報漏洩と情報セキュリティ、●情報を扱う際のルールについて学ぶ。また、演習として、著作権と剽窃を中心に、情報を扱う際に気を付けるべきことについて情報を整理し、レポートとしてまとめる方法を学ぶ。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 7 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 データ・AI活用の最近の状況について、●AIを活用した新たなビジネスモデル、●AIの最新の活用例という観点から考察する。また、演習として、計算ソフト（Excel）を使って、データベースを作成する。また、ピボットテーブルを使用した分析方法について理解を深める。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 8 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 データの読み方①として、●質的データと量的データ（尺度）、●サンプリングとバイアス、●基本統計量、●誤差、欠損値、外れ値という観点から考察する。また、演習として、表計算ソフト（Excel）を使って、文字列操作（数字以外の文字情報に関する処理）を学び、質的データ・量的データの扱いや、サンプリングとバイアス、基本統計量の計算や、誤差、欠損値、外れ値について理解を深める。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 9 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 データの読み方②として、●基本統計量、●因果と相関、●分割表、散布図相関行列、●データの正しい理解という観点から考察する。また、演習として、表計算ソフト（Excel）を使って、相関の計算や分割表・散布図の表示について学習する。単回帰分析や相関行列について理解を深める。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 10 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 プログラミングをテーマに、表計算ソフト（Excel）を使った計算や視覚化により、因果と相関、データの正しい理解について考察する。また、表計算ソフト（Excel VBA）を使って、プログラミングについて学習する。 | コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) プログラミング言語について調べておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 11 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 テーマ：プレゼンテーションソフト（PowerPoint）のアニメーション機能を学ぶ。アニメーション機能を用いて効果的なスライドを作成する。 | コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：1時間) ブラウザを使って、課題の下調べをしておくこと。また、PowerPointに文字入力ができるようにしておくこと。 (復習：4時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 12 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 プレゼンテーションソフト（PowerPoint）のアニメーション機能を学ぶ。アニメーション機能を用いて効果的なスライドを作成する。 | コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) スライドの内容についてアイデアをまとめておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |

| | | | | | |
|---|---|--|--|--|---------|
| 科目名 | 【新カリ】 データサイエンスのための数学 | | | 授業形態 | 講義 |
| 英語科目名 | 【新カリ】 データサイエンスのための数学 | | | 対象学年 | 1年 |
| 開講学期 | 2022年度前期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | 小宮根 文子 | | | ナンバリング | MAT1117 |
| 担当教員 | 小宮根 文子、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | <p>【授業全体の内容】</p> <p>本科目は、講義の授業形態で行われる。近年のICTの発達により、多様な分野の様々な種類のデータが容易に収集・活用できるようになっている中で、データの扱いに当たって必須となる数理・データサイエンス・AIの知識について身に付けることを目標とする。また、スポーツ健康科学の分野で基本的な数学の知識を活用し、論理的に思考できる能力を高められるように、具体的な問題を提示し、その取り組みを通して学修を進める。</p> | | | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 数理・データサイエンス・AIに関わる基礎的な数学用語を知る。 2. データの分析に必要な数学の基礎的な考え方が理解できる。 3. 2次関数、指数・対数に関する計算ができる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・自然科学科目の選択必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目は、「スポーツ健康科学を中心とした幅広い知識と教養」を身につけるための科目の一つとして開講され、スポーツ健康科学に関連するどの分野においても必要となり、専門性をもちかつ教養のある人材を育成するための基盤となる。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | <p>【履修要件】</p> <p>特になし</p> <p>【履修上の注意（科目独自のルール）】</p> <p>1回の授業について、3分の2以上の出席時間がない場合は、その回の授業を欠席扱いとする。</p> | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | <p>【成績評価の方法】</p> <p>期末試験（85%）、毎回の平常点（15%）を総合して評価する。</p> | | | | |
| 評価基準 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 数理・データサイエンス・AIに関わる基礎的な数学用語に関する知識を有している（定期試験）。 2. データの分析に関する数学の基礎的な考え方を理解している（定期試験）。 3. 2次関数、指数・対数に関する計算ができる（定期試験）。 4. 毎回のレポート課題や予習・復習の取り組み状況によって受講態度を評価する（平常点）。 | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| プリント課題の内容は授業中にフィードバックする。定期試験後には要望があれば個別に解説を行う。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | | | | | |
| 参考文献 | | | | | |
| この科目では、必ず用意しなければならないテキストはありません。必要な資料は、授業中に、適宜配布します。一般的な数学のテキスト等を参考にしてもよいです。 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>【連絡先】</p> <p>担当： 小宮根文子 E-mail： a-komine[at]juntendo.ac.jp （[at]を@に変更してください）</p> <p>【オフィスアワー】</p> <p>日時： 場所：非常勤講師室 事前にメールで日程を相談してください。</p> | | | | |
| 担当教員の実務経験 | システムエンジニアやスポーツ現場でのテクニカルサポートスタッフとしての実務経験を活かし、数学の学習で得られる計算技術だけでなく、論理的思考や発想力も実社会において有効であるということを念頭において授業をします。 | | | | |
| 備考 | <p>【学修時間】</p> <p>この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。</p> <p>【その他】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p> | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 | |
| 1 | 小宮根 | <p>【授業内容】</p> <p>ガイダンスとして、授業の目的、概要の解説、評価方法と授業の進め方を説明する</p> | <p>スライドを用いて内容を説明する</p> <p>高校までの数学の履修状況についてアンケートとテストを実施する</p> | <p>（予習：1時間）</p> <p>シラバスを読み、他の数学の授業との違いを確認する</p> <p>高校までの数学について見直しをする</p> <p>（復習：2時間）</p> <p>この授業の概要、授業目的や評価方法、授業の進め方を理解し、高校までの数学でこの授業の概要に関連する部分を復習する</p> | |

| | | | | |
|----|-----|---|---|--|
| 2 | 小宮根 | [授業内容] 一次関数の概念を説明し、式、グラフについて解説する | スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する | (予習：2時間) 一次関数の式やグラフについて調べてくる (復習：2時間) 一次関数の式からグラフ、グラフから式にする方法を復習する |
| 3 | 小宮根 | [授業内容] 一次関数の応用について説明し、考え方や例題について解説する | スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する | (予習：2時間) 一次関数の概念を理解しておく (復習：2時間) 一次関数を用いた応用問題の解法について復習する |
| 4 | 小宮根 | [授業内容] 二次関数の概念を説明し、式、グラフについて解説する | スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する | (予習：2時間) 二次関数の式やグラフについて調べてくる (復習：2時間) 二次関数の式で、一般形から標準形にする方法、二次関数の式をグラフにする方法を復習する |
| 5 | 小宮根 | [授業内容] 二次関数の応用について説明し、考え方や例題について解説する | スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する | (予習：2時間) 二次関数の概念を理解しておく (復習：2時間) 二次関数を用いた応用問題の解法について復習する |
| 6 | 小宮根 | データ・AIの活用領域とその技術①として ・データ・AIの活用領域の進展 ・製造、物流、販売、マーケティング、サービス等での活用 ・仮説検証、知識発見、原因究明、判断支援等 という観点から考察する。また、二次関数と二次方程式の解の判別式の関係について解説する | スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておく (復習：2時間) 二次関数のグラフと解の判別式、二次関数と一次関数のグラフと解の判別式の関係について復習する |
| 7 | 小宮根 | [授業内容] 指数法則について説明し、指数計算、指数の大小関係について解説する | スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する | (予習：2時間) 指数法則について調べてくる (復習：2.5時間) 指数法則を用いた計算について復習する |
| 8 | 小宮根 | [授業内容] 対数法則について説明し、対数計算、対数の大小関係について解説する | スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する | (予習：2時間) 対数法則について調べてくる (復習：2.5時間) 対数法則を用いた計算について復習する |
| 9 | 小宮根 | [授業内容] 指数関数の概念を説明し、式、グラフについて解説する | スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する | (予習：2時間) 指数関数の式やグラフについて調べてくる (復習：2.5時間) 指数関数の式でとりうるx, yの値や指数関数の式をグラフにする方法を復習する |
| 10 | 小宮根 | [授業内容] 対数関数の概念を説明し、式、グラフについて解説する | スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する | (予習：2時間) 対数関数の式やグラフについて調べてくる (復習：2.5時間) 対数関数の式でとりうるx, yの値や対数関数の式をグラフにする方法を復習する |
| 11 | 小宮根 | [授業内容] 関数の式とグラフで、平行移動の関係について解説する | スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する | (予習：2時間) 今まで学習した関数の式やグラフについて理解しておく (復習：2時間) グラフが平行移動の関係になる関数の式の関係について復習する |
| 12 | 小宮根 | [授業内容] 関数の式とグラフで、対称や逆関数の関係について解説する | スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する | (予習：2時間) 今まで学習した関数の式やグラフについて理解しておく (復習：2時間) グラフが対称移動の関係になる関数の式の関係、逆関数となる関数の式の関係について復習する |

| | | | | |
|----|-----|---|---|--|
| 13 | 小宮根 | [授業内容] 指数、対数を用いる応用問題の解法や考え方について解説する | スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する | (予習：2時間) 指数、対数の概念を理解しておく (復習：2時間) 指数、対数を用いた応用問題の解法について復習する |
| 14 | 小宮根 | データ・AIの活用領域とその技術②として ・データ解析(分類、予測) ・シミュレーション ・データの可視化 ・AIでできること ・認識技術、自動化 という観点から考察する。また、総復習としてこれまでの講義内容について、特に重要なポイントを解説する | スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する | (予習：3時間) オンデマンド教材を視聴しておく今まで学習した関数の式やグラフ、計算方法や応用問題の考え方について理解しておく (復習：4時間) 本講義で学んだことについて復習をする |
| | | 定期試験の実施 | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

| | | | | | |
|---|---|--|--|--|---------|
| 科目名 | 【新カリ】 データサイエンスのための数学 | | | 授業形態 | 講義 |
| 英語科目名 | 【新カリ】 データサイエンスのための数学 | | | 対象学年 | 1年 |
| 開講学期 | 2022年度前期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | 小宮根 文子 | | | ナンバリング | MAT1117 |
| 担当教員 | 小宮根 文子、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | <p>【授業全体の内容】</p> <p>本科目は、講義の授業形態で行われる。近年のICTの発達により、多様な分野の様々な種類のデータが容易に収集・活用できるようになっている中で、データの扱いに当たって必須となる数理・データサイエンス・AIの知識について身に付けることを目標とする。また、スポーツ健康科学の分野で基本的な数学の知識を活用し、論理的に思考できる能力を高められるように、具体的な問題を提示し、その取り組みを通して学修を進める。</p> | | | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 数理・データサイエンス・AIに関わる基礎的な数学用語を知る。 2. データの分析に必要な数学の基礎的な考え方が理解できる。 3. 2次関数、指数・対数に関する計算ができる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・自然科学科目の選択必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目は、「スポーツ健康科学を中心とした幅広い知識と教養」を身につけるための科目の一つとして開講され、スポーツ健康科学に関連するどの分野においても必要となり、専門性をもちかつ教養のある人材を育成するための基盤となる。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | <p>【履修要件】</p> <p>特になし</p> <p>【履修上の注意（科目独自のルール）】</p> <p>1回の授業について、3分の2以上の出席時間がない場合は、その回の授業を欠席扱いとする。</p> | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | <p>【成績評価の方法】</p> <p>期末試験（85%）、毎回の平常点（15%）を総合して評価する。</p> | | | | |
| 評価基準 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 数理・データサイエンス・AIに関わる基礎的な数学用語に関する知識を有している（定期試験）。 2. データの分析に関する数学の基礎的な考え方を理解している（定期試験）。 3. 2次関数、指数・対数に関する計算ができる（定期試験）。 4. 毎回のレポート課題や予習・復習の取り組み状況によって受講態度を評価する（平常点）。 | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| プリント課題の内容は授業中にフィードバックする。定期試験後には要望があれば個別に解説を行う。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | | | | | |
| 参考文献 | | | | | |
| この科目では、必ず用意しなければならないテキストはありません。必要な資料は、授業中に、適宜配布します。一般的な数学のテキスト等を参考にしてもよいです。 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>【連絡先】</p> <p>担当： 小宮根文子 E-mail：a-komine[at]juntendo.ac.jp（[at]を@に変更してください）</p> <p>【オフィスアワー】</p> <p>日時： 場所：非常勤講師室 事前にメールで日程を相談してください。</p> | | | | |
| 担当教員の実務経験 | システムエンジニアやスポーツ現場でのテクニカルサポートスタッフとしての実務経験を活かし、数学の学習で得られる計算技術だけでなく、論理的思考や発想力も実社会において有効であるということを念頭において授業をします。 | | | | |
| 備考 | <p>【学修時間】</p> <p>この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。</p> <p>【その他】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p> | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 | |
| 1 | 小宮根 | <p>【授業内容】</p> <p>ガイダンスとして、授業の目的、概要の解説、評価方法と授業の進め方を説明する</p> | <p>スライドを用いて内容を説明する</p> <p>高校までの数学の履修状況についてアンケートとテストを実施する</p> | <p>（予習：1時間）</p> <p>シラバスを読み、他の数学の授業との違いを確認する</p> <p>高校までの数学について見直しをする</p> <p>（復習：2時間）</p> <p>この授業の概要、授業目的や評価方法、授業の進め方を理解し、高校までの数学でこの授業の概要に関連する部分を復習する</p> | |

| | | | | |
|----|-----|--|---|--|
| 2 | 小宮根 | [授業内容] 一次関数の概念を説明し、式、グラフについて解説する | スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する | (予習：2時間) 一次関数の式やグラフについて調べてくる (復習：2時間) 一次関数の式からグラフ、グラフから式にする方法を復習する |
| 3 | 小宮根 | [授業内容] 一次関数の応用について説明し、考え方や例題について解説する | スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する | (予習：2時間) 一次関数の概念を理解しておく (復習：2時間) 一次関数を用いた応用問題の解法について復習する |
| 4 | 小宮根 | [授業内容] 二次関数の概念を説明し、式、グラフについて解説する | スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する | (予習：2時間) 二次関数の式やグラフについて調べてくる (復習：2時間) 二次関数の式で、一般形から標準形にする方法、二次関数の式をグラフにする方法を復習する |
| 5 | 小宮根 | [授業内容] 二次関数の応用について説明し、考え方や例題について解説する | スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する | (予習：2時間) 二次関数の概念を理解しておく (復習：2時間) 二次関数を用いた応用問題の解法について復習する |
| 6 | 小宮根 | [授業内容] 二次関数と二次方程式の解の判別式の関係について解説する | スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する | (予習：2時間) 二次方程式の解の判別式について調べてくる (復習：2時間) 二次関数のグラフと解の判別式、二次関数と一次関数のグラフと解の判別式の関係について復習する |
| 7 | 小宮根 | [授業内容] 指数法則について説明し、指数計算、指数の大小関係について解説する | スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する | (予習：2時間) 指数法則について調べてくる (復習：2.5時間) 指数法則を用いた計算について復習する |
| 8 | 小宮根 | [授業内容] 対数法則について説明し、対数計算、対数の大小関係について解説する | スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する | (予習：2時間) 対数法則について調べてくる (復習：2.5時間) 対数法則を用いた計算について復習する |
| 9 | 小宮根 | [授業内容] 指数関数の概念を説明し、式、グラフについて解説する | スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する | (予習：2時間) 指数関数の式やグラフについて調べてくる (復習：2.5時間) 指数関数の式でとりうるx, yの値や指数関数の式をグラフにする方法を復習する |
| 10 | 小宮根 | [授業内容] 対数関数の概念を説明し、式、グラフについて解説する | スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する | (予習：2時間) 対数関数の式やグラフについて調べてくる (復習：2.5時間) 対数関数の式でとりうるx, yの値や対数関数の式をグラフにする方法を復習する |
| 11 | 小宮根 | [授業内容] 関数の式とグラフで、平行移動の関係について解説する | スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する | (予習：2時間) 今まで学習した関数の式やグラフについて理解しておく (復習：2時間) グラフが平行移動の関係になる関数の式の関係について復習する |
| 12 | 小宮根 | [授業内容] 関数の式とグラフで、対称や逆関数の関係について解説する | スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する | (予習：2時間) 今まで学習した関数の式やグラフについて理解しておく (復習：2時間) グラフが対称移動の関係になる関数の式の関係、逆関数となる関数の式の関係について復習する |

| | | | | |
|----|-----|---|---|---|
| 13 | 小宮根 | [授業内容] 指数、対数を用いる応用問題の解法や考え方について解説する | スライドを用いて 講義した後、プリ ントの課題に取り 組み理解を深め、 課題の解説により 今回の内容を再確 認する | (予習: 2時間) 指数、対数の概念を理解しておく (復習: 2時間) 指数、対数を用いた応用問題の解法について復 習する |
| 14 | 小宮根 | [授業内容] 総復習として今までの講義内容について、特に重要なポイントを解説 する | スライドを用いて 講義した後、プリ ントの課題に取り 組み理解を深め、 課題の解説により 今回の内容を再確 認する | (予習: 3時間) 今まで学習した関数の式やグラフ、計算方法や 応用問題の考え方について理解しておく (復習: 4時間) 本講義で学んだことについて復習をする |
| | | 定期試験の実施 | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記 (PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等)

| | | | | | |
|---|---|--|--|--|---------|
| 科目名 | 【新カリ】 データサイエンスのための数学 | | | 授業形態 | 講義 |
| 英語科目名 | 【新カリ】 データサイエンスのための数学 | | | 対象学年 | 1年 |
| 開講学期 | 2022年度前期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | 小宮根 文子 | | | ナンバリング | MAT1117 |
| 担当教員 | 小宮根 文子、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | <p>【授業全体の内容】</p> <p>本科目は、講義の授業形態で行われる。近年のICTの発達により、多様な分野の様々な種類のデータが容易に収集・活用できるようになっている中で、データの扱いに当たって必須となる数理・データサイエンス・AIの知識について身に付けることを目標とする。また、スポーツ健康科学の分野で基本的な数学の知識を活用し、論理的に思考できる能力を高められるように、具体的な問題を提示し、その取り組みを通して学修を進める。</p> | | | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 数理・データサイエンス・AIに関わる基礎的な数学用語を知る。 2. データの分析に必要な数学の基礎的な考え方が理解できる。 3. 2次関数、指数・対数、微積分に関する計算ができる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・自然科学科目の選択必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目は、「スポーツ健康科学を中心とした幅広い知識と教養」を身につけるための科目の一つとして開講され、スポーツ健康科学に関連するどの分野においても必要となり、専門性をもちかつ教養のある人材を育成するための基盤となる。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | <p>【履修要件】</p> <p>特になし</p> <p>【履修上の注意（科目独自のルール）】</p> <p>1回の授業について、3分の2以上の出席時間がない場合は、その回の授業を欠席扱いとする。</p> | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | <p>【成績評価の方法】</p> <p>期末試験（85%）、毎回の平常点（15%）を総合して評価する。</p> | | | | |
| 評価基準 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 数理・データサイエンス・AIに関わる基礎的な数学用語に関する知識を有している（定期試験）。 2. データの分析に関する数学の基礎的な考え方を理解している（定期試験）。 3. 2次関数、指数・対数、微積分に関する計算ができる（定期試験）。 4. 毎回のレポート課題や予習・復習の取り組み状況によって受講態度を評価する（平常点）。 | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| プリント課題の内容は授業中にフィードバックする。定期試験後には要望があれば個別に解説を行う。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | | | | | |
| 参考文献 | | | | | |
| この科目では、必ず用意しなければならないテキストはありません。必要な資料は、授業中に、適宜配布します。一般的な数学のテキスト等を参考にしてもよいです。 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>【連絡先】</p> <p>担当：小宮根文子</p> <p>E-mail：a-komine[at]juntendo.ac.jp（[at]を@に変更してください）</p> <p>【オフィスアワー】</p> <p>日時：</p> <p>場所：非常勤講師室</p> <p>事前にメールで日程を相談してください。</p> | | | | |
| 担当教員の実務経験 | システムエンジニアやスポーツ現場でのテクニカルサポートスタッフとしての実務経験を活かし、数学の学習で得られる計算技術だけでなく、論理的思考や発想力も実社会において有効であるということを念頭において授業をします。 | | | | |
| 備考 | <p>【学修時間】</p> <p>この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。</p> <p>【その他】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p> | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 | |
| 1 | 小宮根 | <p>【授業内容】</p> <p>ガイダンスとして、授業の目的、概要の解説、評価方法と授業の進め方を説明する</p> | <p>スライドを用いて内容を説明する</p> <p>高校までの数学の履修状況についてアンケートとテストを実施する</p> | <p>（予習：1時間）</p> <p>シラバスを読み、他の数学の授業との違いを確認する</p> <p>高校までの数学について見直しをする</p> <p>（復習：2時間）</p> <p>この授業の概要、授業目的や評価方法、授業の進め方を理解し、高校までの数学でこの授業の概要に関連する部分を復習する</p> | |

| | | | | |
|----|-----|--|---|---|
| 2 | 小宮根 | [授業内容] 一次関数の概念を説明し、式、グラフ、応用問題について解説する | スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する | (予習：2時間) 一次関数の式やグラフについて調べてくる (復習：2時間) 一次関数の式からグラフ、グラフから式にする方法、一次関数を使った応用問題の解法を復習する |
| 3 | 小宮根 | [授業内容] 二次関数の概念を説明し、式、グラフ、応用問題について解説する | スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する | (予習：2時間) 二次関数の式やグラフについて調べてくる (復習：2時間) 二次関数の式で、一般形から標準形にする方法、二次関数の式をグラフにする方法や二次関数を使った応用問題の解法を復習する |
| 4 | 小宮根 | データ・AIの活用領域とその技術①として ・データ・AIの活用領域の進展 ・製造、物流、販売、マーケティング、サービス等での活用 ・仮説検証、知識発見、原因究明、判断支援等 という観点から考察する。また、二次関数と二次方程式の解の判別式の関係について解説する [授業方法] スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する | スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておく (復習：2時間) 二次関数のグラフと解の判別式、二次関数と一次関数のグラフと解の判別式の関係について復習する |
| 5 | 小宮根 | [授業内容] 多項式関数の式やグラフについて説明し、接線や接線の傾きについて解説する | スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する | (予習：2時間) 多項式関数の式やグラフについて調べてくる (復習：2.5時間) 多項式関数の式やグラフ、それらの接線や接線の傾きについて復習する |
| 6 | 小宮根 | [授業内容] 微分法の考え方について説明し、導関数の意味や計算方法、多項式関数のグラフの概形の求め方について解説する | スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する | (予習：2時間) 多項式関数の式やグラフ、それらの接線や接線の傾きについて理解しておく (復習：2.5時間) 導関数の意味や計算方法、多項式関数のグラフの概形の求め方について復習する |
| 7 | 小宮根 | [授業内容] 積分法の考え方について説明し、原始関数の意味と不定積分、定積分の計算方法について解説する | スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する | (予習：2時間) 導関数の意味や計算方法を理解しておく (復習：2.5時間) 不定積分、定積分の計算について復習する |
| 8 | 小宮根 | [授業内容] 微分法、積分法の考え方を使った多項式関数のグラフの概形やその接線、多項式関数のグラフと直線で囲まれた面積を求める方法を解説する | スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する | (予習：2時間) 微分法、積分法の考え方を理解しておく (復習：2.5時間) 微分法、積分法の考え方を使った問題について復習する |
| 9 | 小宮根 | [授業内容] 指数・対数法則について説明し、指数・対数計算について解説する | スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する | (予習：2時間) 指数・対数法則について調べてくる (復習：2時間) 指数・対数法則を用いた計算について復習する |
| 10 | 小宮根 | [授業内容] 指数・対数関数の概念を説明し、式、グラフについて解説する | スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する | (予習：2時間) 指数・対数関数の式やグラフについて調べてくる (復習：2時間) 指数・対数関数の式でとりうるx、yの値や対数関数の式をグラフにする方法を復習する |
| 11 | 小宮根 | [授業内容] 指数関数や対数関数のグラフを使い、指数や対数の大小関係について解説する | スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する | (予習：2時間) 指数計算や対数計算、指数関数や対数関数の式やグラフについて理解しておく (復習：2時間) 指数や対数の大小関係について復習する |
| 12 | 小宮根 | [授業内容] 関数の式とグラフで、平行移動、対称や逆関数の関係について解説する | スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する | (予習：2時間) 今まで学習した関数の式やグラフについて理解しておく (復習：2時間) グラフが平行移動や対称移動の関係になる関数の式の関係、逆関数となる関数の式の関係について復習する |

| | | | | | |
|---|---|--|--|--|---------|
| 科目名 | 【新カリ】 データサイエンスのための数学 | | | 授業形態 | 講義 |
| 英語科目名 | 【新カリ】 データサイエンスのための数学 | | | 対象学年 | 1年 |
| 開講学期 | 2022年度前期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | 小宮根 文子 | | | ナンバリング | MAT1117 |
| 担当教員 | 小宮根 文子、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | <p>【授業全体の内容】</p> <p>本科目は、講義の授業形態で行われる。近年のICTの発達により、多様な分野の様々な種類のデータが容易に収集・活用できるようになっている中で、データの扱いに当たって必須となる数理・データサイエンス・AIの知識について身に付けることを目標とする。また、スポーツ健康科学の分野で基本的な数学の知識を活用し、論理的に思考できる能力を高められるように、具体的な問題を提示し、その取り組みを通して学修を進める。</p> | | | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 数理・データサイエンス・AIに関わる基礎的な数学用語を知る。 2. データの分析に必要な数学の基礎的な考え方が理解できる。 3. 2次関数、指数・対数に関する計算ができる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・自然科学科目の選択必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目は、「スポーツ健康科学を中心とした幅広い知識と教養」を身につけるための科目の一つとして開講され、スポーツ健康科学に関連するどの分野においても必要となり、専門性をもちかつ教養のある人材を育成するための基盤となる。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | <p>【履修要件】</p> <p>特になし</p> <p>【履修上の注意（科目独自のルール）】</p> <p>1回の授業について、3分の2以上の出席時間がない場合は、その回の授業を欠席扱いとする。</p> | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | <p>【成績評価の方法】</p> <p>期末試験（85%）、毎回の平常点（15%）を総合して評価する。</p> | | | | |
| 評価基準 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 数理・データサイエンス・AIに関わる基礎的な数学用語に関する知識を有している（定期試験）。 2. データの分析に関する数学の基礎的な考え方を理解している（定期試験）。 3. 2次関数、指数・対数に関する計算ができる（定期試験）。 4. 毎回のレポート課題や予習・復習の取り組み状況によって受講態度を評価する（平常点）。 | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| プリント課題の内容は授業中にフィードバックする。定期試験後には要望があれば個別に解説を行う。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | | | | | |
| 参考文献 | | | | | |
| この科目では、必ず用意しなければならないテキストはありません。必要な資料は、授業中に、適宜配布します。一般的な数学のテキスト等を参考にしてもよいです。 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>【連絡先】</p> <p>担当： 小宮根文子 E-mail：a-komine[at]juntendo.ac.jp（[at]を@に変更してください）</p> <p>【オフィスアワー】</p> <p>日時： 場所：非常勤講師室 事前にメールで日程を相談してください。</p> | | | | |
| 担当教員の実務経験 | システムエンジニアやスポーツ現場でのテクニカルサポートスタッフとしての実務経験を活かし、数学の学習で得られる計算技術だけでなく、論理的思考や発想力も実社会において有効であるということを念頭において授業をします。 | | | | |
| 備考 | <p>【学修時間】</p> <p>この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。</p> <p>【その他】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p> | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 | |
| 1 | 小宮根 | <p>【授業内容】</p> <p>ガイダンスとして、授業の目的、概要の解説、評価方法と授業の進め方を説明する</p> | <p>スライドを用いて内容を説明する</p> <p>高校までの数学の履修状況についてアンケートとテストを実施する</p> | <p>（予習：1時間）</p> <p>シラバスを読み、他の数学の授業との違いを確認する</p> <p>高校までの数学について見直しをする</p> <p>（復習：2時間）</p> <p>この授業の概要、授業目的や評価方法、授業の進め方を理解し、高校までの数学でこの授業の概要に関連する部分を復習する</p> | |

| | | | | |
|----|-----|--|---|--|
| 2 | 小宮根 | [授業内容] 一次関数の概念を説明し、式、グラフについて解説する | スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する | (予習：2時間) 一次関数の式やグラフについて調べてくる (復習：2時間) 一次関数の式からグラフ、グラフから式にする方法を復習する |
| 3 | 小宮根 | [授業内容] 一次関数の応用について説明し、考え方や例題について解説する | スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する | (予習：2時間) 一次関数の概念を理解しておく (復習：2時間) 一次関数を用いた応用問題の解法について復習する |
| 4 | 小宮根 | [授業内容] 二次関数の概念を説明し、式、グラフについて解説する | スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する | (予習：2時間) 二次関数の式やグラフについて調べてくる (復習：2時間) 二次関数の式で、一般形から標準形にする方法、二次関数の式をグラフにする方法を復習する |
| 5 | 小宮根 | [授業内容] 二次関数の応用について説明し、考え方や例題について解説する | スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する | (予習：2時間) 二次関数の概念を理解しておく (復習：2時間) 二次関数を用いた応用問題の解法について復習する |
| 6 | 小宮根 | [授業内容] 二次関数と二次方程式の解の判別式の関係について解説する | スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する | (予習：2時間) 二次方程式の解の判別式について調べてくる (復習：2時間) 二次関数のグラフと解の判別式、二次関数と一次関数のグラフと解の判別式の関係について復習する |
| 7 | 小宮根 | [授業内容] 指数法則について説明し、指数計算、指数の大小関係について解説する | スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する | (予習：2時間) 指数法則について調べてくる (復習：2.5時間) 指数法則を用いた計算について復習する |
| 8 | 小宮根 | [授業内容] 対数法則について説明し、対数計算、対数の大小関係について解説する | スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する | (予習：2時間) 対数法則について調べてくる (復習：2.5時間) 対数法則を用いた計算について復習する |
| 9 | 小宮根 | [授業内容] 指数関数の概念を説明し、式、グラフについて解説する | スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する | (予習：2時間) 指数関数の式やグラフについて調べてくる (復習：2.5時間) 指数関数の式でとりうるx, yの値や指数関数の式をグラフにする方法を復習する |
| 10 | 小宮根 | [授業内容] 対数関数の概念を説明し、式、グラフについて解説する | スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する | (予習：2時間) 対数関数の式やグラフについて調べてくる (復習：2.5時間) 対数関数の式でとりうるx, yの値や対数関数の式をグラフにする方法を復習する |
| 11 | 小宮根 | [授業内容] 関数の式とグラフで、平行移動の関係について解説する | スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する | (予習：2時間) 今まで学習した関数の式やグラフについて理解しておく (復習：2時間) グラフが平行移動の関係になる関数の式の関係について復習する |
| 12 | 小宮根 | [授業内容] 関数の式とグラフで、対称や逆関数の関係について解説する | スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する | (予習：2時間) 今まで学習した関数の式やグラフについて理解しておく (復習：2時間) グラフが対称移動の関係になる関数の式の関係、逆関数となる関数の式の関係について復習する |

| | | | | | |
|---|--|---------------------------------------|--|---|---------|
| 科目名 | 【新カリ】 データサイエンスのための数学 | | | 授業形態 | |
| 英語科目名 | 【新カリ】 データサイエンスのための数学 | | | 対象学年 | 1年 |
| 開講学期 | 2022年度前期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | 廣津 信義 | | | ナンバリング | MAT1117 |
| 担当教員 | 廣津 信義、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | 本科目は、講義の授業形態で行われる。近年のICTの発達により、多様な分野の様々な種類のデータが容易に収集・活用できるようになっている中で、データの扱いに当たって必須となる数理・データサイエンス・AIの知識について身に付けることを目標とする。また、スポーツ健康科学の分野で基本的な数学の知識を活用し、論理的に思考できる能力を高められるように、具体的な問題を提示し、その取り組みを通して学修を進める。 | | | | |
| 到達目標 | 1. 数理・データサイエンス・AIに関わる基礎的な数学用語を知る。 2. データの分析に必要な数学の基礎的な考え方が理解できる。 3. 2次関数、指数・対数に関する計算ができる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・自然科学科目の選択必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目は、「スポーツ健康科学を中心とした幅広い知識と教養」を身につけるための科目の一つとして開講され、スポーツ健康科学に関連するどの分野においても必要となり、専門性をもちかつ教養のある人材を育成するための基盤となる。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | 【履修要件】 特になし 【課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法】 1回の授業について、3分の2以上の出席時間がない場合は、その回の授業を欠席扱いとする。 | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | 期末試験（85%）、毎回の平常点（15%）を総合して評価する。 | | | | |
| 評価基準 | 1. 数理・データサイエンス・AIに関わる基礎的な数学用語に関する知識を有している（定期試験）。 2. データの分析に関する数学の基礎的な考え方を理解している（定期試験）。 3. 2次関数、指数・対数に関する計算ができる（定期試験）。 4. 毎回のプリント課題や予習・復習の取り組み状況によって受講態度を評価する（平常点）。 | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| プリント課題の内容は授業中にフィードバックする。定期試験後には要望があれば個別に解説を行う。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | | | | | |
| 参考文献 | | | | | |
| この科目では、必ず用意しなければならないテキストはありません。一般的な数学のテキスト等を参考にしてもよいです。 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | 【連絡先】 担当： 廣津信義 E-mail：nhirotsu[at]juntendo.ac.jp（[at]を@に変更してください） 【オフィスアワー】 日時：火曜日 13：10から14：45 場所：1号館3階1327室 上記の時間帯は予約がなくても対応しますが、予約があった学生を優先します。 | | | | |
| 担当教員の実務経験 | 製鉄関連企業においてプラントエンジニアとしての業務にあっていた経験や国立スポーツ科学センターでのスポーツデータの分析業務の経験を生かし、数学が実社会で有用であるということも織り込みながら授業をします。 | | | | |
| 備考 | 【学習時間】 この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、90時間（授業時間30時間以上を含む）の学修を必要とする内容をもって構成する。 【その他】 新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。 | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 | |
| 1 | 廣津 | ガイダンスとして、授業の目的、概要の解説、評価方法と授業の進め方を説明する | スライドを用いて内容を説明する 高校までの数学の履修状況についてのアンケートとテストを実施する | (予習：1時間) シラバスを読み、他の数学の授業との違いを確認する 高校までの数学について見直しをする (復習：2時間) この授業の概要、授業目的や評価方法、授業の進め方を理解し、高校までの数学でこの授業の概要に関連する部分を復習する | |

| | | | | |
|----|----|---|---|--|
| 2 | 廣津 | 一次関数の概念を説明し、式、グラフについて解説する | スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する | (予習：2時間) 一次関数の式やグラフについて調べてくる (復習：2時間) 一次関数の式からグラフ、グラフから式にする方法を復習する |
| 3 | 廣津 | 一次関数の応用について説明し、考え方や例題について解説する | スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する | (予習：2時間) 一次関数の概念を理解しておく (復習：2時間) 一次関数を用いた応用問題の解法について復習する |
| 4 | 廣津 | 二次関数の概念を説明し、式、グラフについて解説する | スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する | (予習：2時間) 二次関数の概念を理解しておく (復習：2時間) 二次関数を用いた応用問題の解法について復習する |
| 5 | 廣津 | 二次関数の応用について説明し、考え方や例題について解説する | スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する | (予習：2時間) 二次関数の概念を理解しておく (復習：2時間) 二次関数を用いた応用問題の解法について復習する |
| 6 | 廣津 | データ・AIの活用領域とその技術①として ・データ・AIの活用領域の進展 ・製造、物流、販売、マーケティング、サービス等での活用 ・仮説検証、知識発見、原因究明、判断支援等 という観点から考察する。また、二次関数と二次方程式の解の判別式の関係について解説する | スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておく (復習：2時間) 二次関数のグラフと解の判別式、二次関数と一次関数のグラフと解の判別式の関係について復習する |
| 7 | 廣津 | 指数法則について説明し、指数計算、指数の大小関係について解説する | スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する | (予習：2時間) 指数法則について調べてくる (復習：2.5時間) 指数法則を用いた計算について復習する |
| 8 | 廣津 | 対数法則について説明し、対数計算、指数の大小関係について解説する | スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する | (予習：2時間) 対数法則について調べてくる (復習：2.5時間) 対数法則を用いた計算について復習する |
| 9 | 廣津 | 指数関数の概念を説明し、式、グラフについて解説する | スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する | (予習：2時間) 指数関数の式やグラフについて調べてくる (復習：2.5時間) 指数関数の式でとりうるx, yの値や指数関数の式をグラフにする方法を復習する |
| 10 | 廣津 | 対数関数の概念を説明し、式、グラフについて解説する | スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する | (予習：2時間) 対数関数の式やグラフについて調べてくる (復習：2.5時間) 対数関数の式でとりうるx, yの値や対数関数の式をグラフにする方法を復習する |
| 11 | 廣津 | 関数の式とグラフで、平行移動の関係について解説する | スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する | (予習：2時間) 今まで学習した関数の式やグラフについて理解しておく (復習：2時間) グラフが平行移動の関係になる関数の式の関係について復習する |
| 12 | 廣津 | 関数の式とグラフで、対称や逆関数の関係について解説する | スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する | (予習：2時間) 今まで学習した関数の式やグラフについて理解しておく (復習：2時間) グラフが対称移動の関係になる関数の式の関係、逆関数となる関数の式の関係について復習する |

| | | | | |
|----|----|--|---|--|
| 13 | 廣津 | 指数、対数を用いる応用問題の解法や考え方について解説する | スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する | (予習：2時間) 指数、対数の概念を理解しておく (復習：2時間) 指数、対数を用いた応用問題の解法について復習する |
| 14 | 廣津 | [授業内容] データ・AIの活用領域とその技術②として ・データ解析(分類, 予測) ・シミュレーション ・データの可視化 ・AIでできること ・認識技術, 自動化 という観点から考察する。また、総復習として今までの講義内容について、特に重要なポイントを解説する | スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する | (予習：3時間) オンデマンド教材を視聴しておく今まで学習した関数の式やグラフ、計算方法や応用問題の考え方について理解しておく (復習：4時間) 本講義で学んだことについて復習をする |
| | | 定期試験を実施する | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

| | | | | | |
|---|---|------|--------|--------------------|---------|
| 科目名 | 【新カリ】細胞の生物学 | | | 授業形態 | 講義 |
| 英語科目名 | 【新カリ】細胞の生物学 | | | 対象学年 | 1年 |
| 開講学期 | 2022年度前期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | 松本 顕 | | | ナンバリング | BI01118 |
| 担当教員 | 松本 顕、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | 細胞生物学はスポーツ健康科学を学ぶ上での基礎概念であるのみならず、医療技術が高度化する現代社会でより良い生活を送る上での基礎知識としても重要である。本授業では、細胞生物学の諸概念（細胞の構造と機能、さらには、生化学反応や生体におけるその役割）を教科書から学ぶだけでなく、実際の映像などを通してより身近なものとして定着させ、講義内容の実社会への応用例に関しても理解を深める。2年次以降で学ぶ、より専門性の高い分野との関連性も紹介する。 | | | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 細胞の構造を専門用語を用いて正しく説明できる。 2. 細胞の機能を専門用語を用いて正しく説明できる。 3. 細胞内での生化学反応や代謝について専門用語や化学式を用いて正しく説明できる。 4. 各種の細胞および組織のヒトの生命活動における役割を専門用語を用いて正しく説明できる。 5. 細胞生物学の専門用語を正しく使って生命科学の現代社会への影響を解説できる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・自然科学科目の選択必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目では、スポーツ健康科学部の学位授与方針に定める「スポーツ健康科学を中心とした幅広い知識と教養、及びそれらの活用能力」を身に付ける。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | <p>〔履修要件〕 本講義の履修には、高校で旧課程の「生物Ⅰ」および「生物Ⅱ」、あるいは新課程の「生物基礎」「生物」を履修していることが望ましい。そうでない者はまずは高校の教科書などで自習して、知識を補充しておく努力をすること。</p> <p>〔履修上の注意（科目独自のルール）〕 1回の授業について、3分の2以上の出席時間がない場合は、その回の授業を欠席扱いとする。また、遅刻および早退3回で、1回分の欠席としてカウントする。</p> | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | 定期試験（60～70%）、小テストおよびレポート（平常点を含んで30～40%）で総合評価する。ただし、各評価の比率は小テストやレポートの実施状況に従い、若干の変更がありうる。また、授業態度が授業進行上においてふさわしくないと判断した場合は、減点の対象とする。 | | | | |
| 評価基準 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 細胞の構造を専門用語を用いて正しく記述できる（定期試験および小テスト）。 2. 細胞の機能を専門用語を用いて正しく説明できる（定期試験および小テスト）。 3. 細胞内での生化学反応や代謝について専門用語や化学式を用いて正しく説明できる（定期試験および小テスト）。 4. 各種の細胞および組織のヒトの生命活動における役割を正しく説明できる（定期試験および小テスト）。 5. 提示された生命科学関連の時事問題に対して、細胞生物学の専門用語を正しく用いた解説ができる（定期試験および小テスト）。 6. 授業中の発言や質問、グループワークの取り組み状況によって受講態度を評価する（平常点）。 | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 講義中の課題については基本的には翌週の授業の冒頭で模範解答などを提示して解説する。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | | | | | |
| 参考文献 | | | | | |
| 教科書は特に指定せず、毎回、理解を助けるための“まとめプリント”を配布する予定である。基本的には紙媒体ではなくJ-Passの「クラスプロファイル」にPDFファイルとしてアップロードするので、各自ダウンロードすること。 参考書として「エッセンシャル細胞生物学（南江堂：訳本は第5版が最新）」を勧めるが、購入は強制しない。購入しない場合は、授業前に図書館で該当箇所を一読し、太字の重要単語やその説明文をノートに書き出すなどの予習をすることを勧める。 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>〔連絡先〕 メールアドレス：amatsumo(at)juntendo.ac.jp ※(at)を@に変更してください。</p> <p>〔オフィスアワー〕 日時：前期期間中の木曜12：20～13：10 場所：2号館3階2317号室</p> | | | | |
| 担当教員の実務経験 | | | | | |
| 備考 | <p>〔学修時間〕 この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、90時間（授業30時間以上を含む）の学修を必要とする内容をもって構成する。</p> <p>〔その他〕 受講人数が100人を超える場合には、高校生物の履修状況や生物学に関する基礎知識によって受講者の選別、および、授業方法の変更の可能性がある。 また、新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更をお願いする場合がある。</p> | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 | |

| | | | | |
|---|------|---|---|---|
| 1 | 松本 顕 | 細胞を基本とする生物の階層性について理解を深める。 ・細胞の構造について解説する。 ・脊椎動物の組織の成り立ちについて解説する。 ・ヒトの器官と器官系について解説する。 | 細胞を基本とする生物の階層性について理解を深めるため、図表、映像資料などを適宜使いながら解説を行う。 | (予習：50分) 真核生物の細胞の構造、脊椎動物の基本組織、ヒトの器官と器官系についての概略を理解しておく事。 (復習：100分) 授業プリントを見ながら、真核生物の細胞の構造、脊椎動物の基本組織、ヒトの器官と器官系について、専門用語を用いて正しい解説をノートに書き出す。 |
| 2 | 松本 顕 | 細胞小器官に関して理解を深める。 ・細胞膜の機能と構造について解説する。 ・細胞小器官の機能と構造について解説する。 ・細胞小器官から見た原核生物と真核生物の共通点と相違点について解説する。 | 細胞小器官に関して理解を深めるため、図表、映像資料などを適宜使いながら解説を行う。 | (予習：100分) 細胞小器官についての概略を理解しておく事。 (復習：100分) 授業プリントを見ながら、細胞膜、核、ミトコンドリア、葉緑体、ゴルジ体、小胞体、リソソームなどの細胞小器官の機能と構造について、専門用語を用いて正しい解説をノートに書き出す。 |
| 3 | 松本 顕 | 細胞内の物質の種類と役割、その消化と吸収のメカニズムについて理解を深める。 ・3大栄養素の基本構造、消化、吸収メカニズムについて解説する。 ・3大栄養素以外の細胞内物質に関して解説する。 | 細胞内の物質の種類と役割、その消化と吸収のメカニズムについて理解を深めるため、図表、映像資料などを適宜使いながら解説を行う。 | 予習：100分) 細胞内に存在する物質の種類、その消化と吸収メカニズムについての概略を理解しておく事。 (復習：100分) 授業プリントを見ながら、細胞内に存在する物質の種類、その消化と吸収メカニズムについて、専門用語を用いて正しい解説をノートに書き出す。健康の維持増進、スポーツ競技に対する栄養摂取の役割について、専門用語を用いて正しい解説をノートに書き出す。 |
| 4 | 松本 顕 | 酸素を必要としない細胞のエネルギー獲得について理解を深める。 ・好気呼吸と嫌気呼吸の違いについて解説する。 ・ATPについて解説する。 ・発酵と乳酸について解説する。 ・解糖系について解説する。 | 酸素を必要としない細胞のエネルギー獲得のメカニズム、および、身の回りでのそれらの反応系について理解を深めるため、図表、映像資料などを適宜使いながら解説を行う。 | (予習：100分) 酸素を用いないエネルギー獲得反応についての概略を理解しておく事。 (復習：100分) 授業プリントを見ながら、酸素を用いないエネルギー獲得反応についてATPや解糖系、乳酸などといった専門用語を用いて正しい解説をノートに書き出す。また、その反応系の身の回りでの利用事例、スポーツとの関連に関してノートに書き出す。 |
| 5 | 松本 顕 | 酸素を必要とする細胞のエネルギー獲得について理解を深める。 ・クエン酸回路に関して解説する。 ・酸化的リン酸化に関して解説する。 | 酸素を必要とする細胞のエネルギー獲得のメカニズム、および、それらの反応系の真核生物にとっての重要性に関して理解を深めるため、図表、映像資料などを適宜使いながら解説を行う。 | (予習：100分) 酸素を用いるエネルギー獲得反応についての概略を理解しておく事。 (復習：100分) 授業プリントを見ながら、クエン酸回路、酸化的リン酸化について専門用語を用いて正しい解説をノートに書き出す。有酸素運動および無酸素運動と細胞内呼吸の関係について、専門用語を用いて正しい解説をノートに書き出す。なお、専門用語については講義中に指摘するもので充分であるが、余力や興味のある学生は、より詳しい化学反応式や物質名についても学習しておくが良い。 |
| 6 | 松本 顕 | 体細胞分裂について理解を深める。 ・体細胞分裂と減数分裂の違いに関して解説する。 ・体細胞分裂の細胞周期に関して解説する。 ・DNAの複製に関して解説する。 | 体細胞分裂の様式やDNA複製に関する理解を深めるため、図表、映像資料などを適宜使いながら解説を行う。 | (予習：100分) 細胞の増殖およびDNA複製に関する概略を理解しておく事。 (復習：100分) 授業プリントを見ながら、体細胞分裂における細胞周期の各ステップで起きる現象、および、DNA複製のメカニズムに関して専門用語を用いて正しい解説をノートに書き出す。なお、専門用語については講義中に指摘するもので充分であるが、余力や興味のある学生は、より詳しい化学反応式や酵素名、DNAの化学構造について学習するとよい。 |
| 7 | 松本 顕 | 遺伝子発現メカニズムの中でも特に転写に関しての理解を深める。 ・ゲノム、遺伝子、DNAの関係性、また、それらの機能について解説する。 ・転写のメカニズムに関して解説する。 | 遺伝子の働きおよび転写に関して理解を深めるため、図表、映像資料などを適宜使いながら解説を行う。 | (予習：100分) ゲノム、遺伝子、DNAの違いに関して概略を理解しておく事。遺伝子の転写メカニズムに関して概略を理解しておく事。 (復習：100分) 授業プリントを見ながら、遺伝子の働きおよび転写メカニズムについて専門用語を用いて正しい解説をノートに書き出す。 |

| | | | | |
|----|------|--|---|--|
| 8 | 松本 顕 | 遺伝子発現メカニズムの中でも特に翻訳に関する理解を深める。 ・ mRNAからタンパク質への翻訳メカニズムに関して解説する。 ・ ゲノム研究の社会的影響やスポーツ競技への影響に関して解説する。 | 遺伝子の翻訳メカニズムに関して理解を深めるため、図表、映像資料などを適宜使いながら解説を行う。また、ゲノム研究の現状と課題について解説し [時間があれば] 少人数でのグループ討論も行う。 | (予習: 100分) 遺伝子の翻訳メカニズムの概略を理解しておく事。ゲノム研究の社会的影響に関してネットなどで調べておく事。 (復習: 100分) 授業プリントを見ながら、翻訳について専門用語を用いて正しい解説をノートに書き出す。ゲノム研究の社会的影響やスポーツ競技への影響を書き出し、講義中のグループ討論も参考にしながら、自分の意見を専門用語を用いてノートにまとめる。 |
| 9 | 松本 顕 | 減数分裂とヒト生殖細胞の形成について理解を深める。 ・ 減数分裂の過程に関して解説する。 ・ ヒト生殖細胞の形成に関して解説する。 | 減数分裂の過程をふまえた上でヒト生殖細胞の形成に関して理解を深めるため、図表、映像資料などを適宜使いながら解説を行う。 | (予習: 100分) 第6回の講義内容の、体細胞分裂の細胞周期に関して復習した上で、減数分裂と体細胞分裂の共通点と相違点を理解しておく事。ヒト生殖細胞の形成に関して概略を調べておく事。 (復習: 100分) 授業プリントを見ながら、減数分裂の特徴と過程について専門用語を用いて正しい解説をノートに書き出す。減数分裂の各ステップを基準として、ヒト生殖細胞の形成過程をノートに書き出し、特徴をまとめる。 |
| 10 | 松本 顕 | 細胞の分化と発生について理解を深める。 ・ ヒト胚の初期発生に関して解説する。 ・ 三胚葉からの組織・器官の分化に関して解説する。 ・ 生殖医療や再生医療の現状と課題に関して解説する。 | 細胞の分化と発生について、特にヒト胚の初期発生に関する理解を深めるため、図表、映像資料などを適宜使いながら解説を行う。 | (予習: 100分) 多細胞生物における初期発生の概略を理解しておく事。 (復習: 100分) 授業プリントを見ながら、ヒト胚の初期発生の様式、三胚葉からの組織・器官形成について専門用語を用いて正しい解説をノートに書き出す。生殖医療、再生医療の現状と課題をふまえてそれらに対する自分の意見をノートにまとめる。 |
| 11 | 松本 顕 | 細胞の運命決定と分化における遺伝子の機能について理解を深める。 ・ 遺伝子発現の調節に関して解説する。 ・ ホメオティック遺伝子に関して解説する。 | 細胞の運命決定と分化における遺伝子の機能に関して理解を深めるため、図表、映像資料などを適宜使いながら解説を行う。 | (予習: 100分) 遺伝子発現の調節メカニズムの概略を理解しておく事。 (復習: 100分) 授業プリントを見ながら、遺伝子発現の調節機構およびホメオティック遺伝子の働きについて専門用語を用いて正しい解説をノートに書き出す。 |
| 12 | 松本 顕 | 細胞および個体の老化現象と死について理解を深める。 ・ 老化の特徴に関して解説する。 ・ プログラム細胞死に関して解説する。 ・ 老化のプログラム説に関して解説する。 | 細胞および個体の老化現象と死に関して、主にプログラム説からの理解を深めるため、図表、映像資料などを適宜使いながら解説を行う。 | (予習: 100分) テロメアの構造と機能、DNA複製との関係についての概略を理解しておく事。 (復習: 100分) 授業プリントを見ながら、プログラム細胞死のメカニズムおよび老化のプログラム説について専門用語を用いて正しい解説をノートに書き出す。 |
| 13 | 松本 顕 | 細胞および個体の老化現象と死について理解を深める。 ・ 老化の傷害蓄積説に関して解説する。 ・ 老化のプログラム説と傷害蓄積説の関係性に関して解説する。 ・ 高齢化社会の問題、老化制御の取り組みに関して解説する。 | 細胞および個体の老化現象と死に関して、傷害蓄積説からの理解を深めるため、図表、映像資料などを適宜使いながら解説を行う。さらに、老化制御研究の最新の話題を紹介する。 | (予習: 50分) 活性酸素の細胞への影響についての概略を理解しておく事。 (復習: 100分) 授業プリントを見ながら、老化の傷害蓄積説について専門用語を用いて正しい解説をノートに書き出す。さらに、老化制御研究の最新の話題など真核生物における細胞機能が老化とどのように結びついているかをノートにまとめる。 |
| 14 | 松本 顕 | 「細胞の生物学」の授業のまとめを行い、以下の事項を有機的に結びつける。 1. 細胞の構造 2. 細胞の機能 3. 細胞内での生化学反応や代謝 4. 各種の細胞および組織のヒトの生命活動における役割 5. 生命科学の現代社会への影響 | これまでに配布したプリント、各自でノートにまとめた予習復習課題への解答を見ながら、これまでの授業を振り返り、それぞれの内容の関連性を解説する。 | (予習: 50分) これまでの授業内容をプリントやノートで振り返ってまとめておく事。 (復習: 100分) 授業プリントやノートを見ながら、各単元の重要概念、キーワードをノートに書き出す。それらの関連性をイメージ図としてまとめる。 |
| 15 | 松本 顕 | 定期試験 | これまでの講義をふまえた定期試験を行う。 | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

| | | | | | |
|---|--|--|-----|------------------------------|--|
| 科目名 | 【新カリ】細胞の生物学 | | | 授業形態 | 講義 |
| 英語科目名 | 【新カリ】細胞の生物学 | | | 対象学年 | 1年 |
| 開講学期 | 2022年度前期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | 和田 麻理 | | | ナンバリング | BI01118 |
| 担当教員 | 和田 麻理、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体的内容 | <p>〔授業全体の内容〕 自分の体を動かすにあたって、まず自分をかたちづけているもの、すなわち、基本単位である細胞とはどのようなものか、その構造と機能について学習し理解を深めることは、スポーツ健康科学を学ぶ上でも基礎知識として重要である。本授業、細胞の生物学では、基本的な細胞の働きを学んだ上で、自分のからだで実際におこっていること、代謝、恒常性、免疫、遺伝などに関する理解を深める。さらに、近年進歩がめざましい再生医療など応用例に関しても解説を行う。</p> | | | | |
| 到達目標 | <p>〔授業の到達目標〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 細胞の構造と機能を、専門用語を用いて正しく説明できる。 自分のからだに関連した、遺伝、代謝、恒常性、情報伝達、免疫について、その概要を、専門用語を用いて正しく説明できる。 再生医療など生命科学の諸問題に対して、利点のみでなく欠点を考慮した上で自分の意見を述べるができる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・自然科学科目の選択必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目は、スポーツ健康科学部の学位授与方針に定める「スポーツ健康科学に関連した幅広い知識」を身につける。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | <p>〔履修条件〕 「生物基礎」を履修している事が望ましい。</p> <p>〔履修上の注意〕 1回の授業について、2/3以上の出席時間がない場合は、その回の授業を欠席扱いとする。また、遅刻および早退3回で、1回分の欠席としてカウントする。</p> <p>授業回数の1/3を超えて欠席した場合には、定期試験が受験できない。</p> | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | <p>〔成績評価の方法〕 講義毎の出席および小テスト30%、定期試験70%。 ただし、評価の比率は小テストの実施に状況によっては多少前後する。なお、授業態度が授業を進行する上でふさわしくないと判断した場合は減点の対象とする。</p> | | | | |
| 評価基準 | <p>〔成績評価の基準〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 細胞の構造及び機能に関して、専門用語を用いて正しく記述できるか、小テスト及び定期試験で評価する。 ヒトの生命活動における細胞や組織の役割を、専門用語を用いて正しく説明できるか、小テスト及び定期試験で評価する。 | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| <p>〔課題に対するフィードバックの方法〕 小テストの模範解答は、翌週の講義で提示し、解説を加える。</p> | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | | | | | |
| 参考文献 | | | | | |
| <p>〔テキスト・参考書など〕 特に指定しないが、理解を深めたり、日頃の予習、復習のためには、各社から発行されている生物図表は便利である。</p> | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>火曜日 12:00~13:00 2号館3F 2318 連絡先：mwada(at)juntendo.ac.jp *(at)を@に変更してください。</p> | | | | |
| 担当教員の実務経験 | | | | | |
| 備考 | <p>〔学修時間〕 本授業は、講義形態による2単位の科目であるので、講義30時間と準備学習60時間の計90時間の学習を必要とする内容で構成する。</p> <p>〔その他〕 自分の体を動かす上でも関連する内容であるので、興味をもって積極的に授業に参加できること。</p> <p>* 新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合がある。</p> | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 |
| 1 | 和田 麻理 | <p>〔授業内容〕 真核生物の誕生：生命の誕生時から、真核細胞が出現する過程について理解を深める。</p> <p>〔授業方法〕 配布資料や映像資料などを適宜用いながら、解説を行う。</p> | | 講義 対面、あるいはzoomによるオンライン授業。 | (予習：2時間) 原核細胞と真核細胞の違いについて自己学習しておくこと。 (復習：2時間) 原核細胞と真核細胞の違いを正しく解説することができる。共生説が説明できる。 |

| | | | | |
|----|-------|--|--------------------------------------|--|
| 2 | 和田 麻理 | <p>〔授業内容〕 細胞小器官のはたらき：各細胞小器官のはたらきと構造について、理解を深める。</p> <p>〔授業方法〕 核やミトコンドリアなどの細胞小器官の構造と機能について、配布資料や映像資料などを適宜用いながら、解説を行う。</p> | <p>講義 対面、あるいはzoomによるオンライン授業。</p> | <p>(予習：2時間) 各細胞小器官の名称、構造、働きについて理解しておくこと。 (復習：2時間) 各細胞小器官の名称、構造、働きについて正しく解説することができる。</p> |
| 3 | 和田 麻理 | <p>〔授業内容〕 細胞を構成する物質：主としてタンパク質の働きについて理解を深める。</p> <p>〔授業方法〕 筋肉など構造タンパク質や、からだの様々な反応を行う酵素について、配布資料や映像資料などを適宜用いながら、解説を行う。</p> | <p>講義 対面、あるいはzoomによるオンライン授業。</p> | <p>予習：2時間) タンパク質を構成するアミノ酸、タンパク質の働きについて自己学習しておくこと。 (復習：2時間) タンパク質を構成するアミノ酸、酵素などタンパク質の働きについて正しく解説することができる。</p> |
| 4 | 和田 麻理 | <p>〔授業内容〕 遺伝子とは何かについて理解を深める。</p> <p>〔授業方法〕 複製などについて、配布資料や映像資料などを適宜用いながら、解説を行う。</p> | <p>講義 対面、あるいはzoomによるオンライン授業。</p> | <p>(予習：2時間) DNAとは何かについて自己学習しておくこと。 (復習：2時間) 半保存的複製、転写、翻訳について解説することができる。</p> |
| 5 | 和田 麻理 | <p>〔授業内容〕 遺伝とは何かについて、理解を深める。</p> <p>〔授業方法〕 身近な遺伝する形質について、配布資料や映像資料などを適宜用いながら、解説を行う。</p> | <p>講義 対面、あるいはzoomによるオンライン授業。</p> | <p>予習：2時間) 遺伝する形質とは何かについて自己学習しておくこと。 (復習：2時間) 1組の対立遺伝子が関与する遺伝の仕組みについて、解説することができる。</p> |
| 6 | 和田 麻理 | <p>〔授業内容〕 伴性遺伝や母系遺伝などについて理解を深める。</p> <p>〔授業方法〕 簡単な家系図などの資料から、性染色体上にある遺伝子が子孫にどう伝わるか、解説を行う。</p> | <p>講義 対面、あるいはzoomによるオンライン授業。</p> | <p>(予習：2時間) 性染色体上にある遺伝子の子孫への伝わり方と保因者について、自己学習しておくこと。 (復習：2時間) 伴性遺伝、ミトコンドリアの遺伝の仕方について解説することができる。</p> |
| 7 | 和田 麻理 | <p>〔授業内容〕 自分のからだを維持する際の体細胞分裂と、次世代につなぐための減数分裂のしくみについて理解を深める。</p> <p>〔授業方法〕 体細胞と生殖細胞各々の分裂様式を、配布資料や映像資料などを適宜用いながら、解説を行う。</p> | <p>講義 対面、あるいはzoomによるオンライン授業。</p> | <p>(予習：2時間) 体細胞分裂と減数分裂について自己学習しておくこと。 (復習：2時間) 自分の体を維持する体細胞分裂と、次の世代につなぐための減数分裂の仕組みを説明できる。</p> |
| 8 | 和田 麻理 | <p>〔授業内容〕 生命共通のエネルギーであるATPとは何か、また、嫌気呼吸によるATP産生について、理解を深める。</p> <p>〔授業方法〕 生きているものが様々な活動のために必要とするATPをどう獲得するか、また、酸素を用いない嫌気呼吸の方法を、配布資料や映像資料などを適宜用いながら、解説を行う。</p> | <p>講義 対面、あるいはzoomによるオンライン授業。</p> | <p>(予習：2時間) 呼吸の役割について自己学習しておくこと。 (復習：2時間) 酸素を使わない、エネルギーの獲得法について説明できる。</p> |
| 9 | 和田 麻理 | <p>〔授業内容〕 酸素を用いた好気呼吸好について理解を深める。また、筋肉の収縮についても解説を行う。</p> <p>〔授業方法〕 酸素を用いて効率的にエネルギーを取り出す好気呼吸の方法を、配布資料や映像資料などを適宜用いながら、解説を行う。</p> | <p>講義 対面、あるいはzoomによるオンライン授業。</p> | <p>(予習：2時間) 酸素呼吸について予習しておくこと。 (復習：2時間) 筋繊維の性質と、筋肉におけるATP合成について説明できる。</p> |
| 10 | 和田 麻理 | <p>〔授業内容〕 体を整えるホルモンについて理解を深める。</p> <p>〔授業方法〕 血糖濃度の調節など内分泌の仕組みを、配布資料や映像資料などを適宜用いながら、解説を行う。</p> | <p>講義 対面、あるいはzoomによるオンライン授業。</p> | <p>(予習：2時間) 外分泌と内分泌の違いについて予習しておくこと。 (復習：2時間) ホルモン分泌の負のフィードバック調節について説明できる。</p> |
| 11 | 和田 麻理 | <p>〔授業内容〕 刺激を伝える神経細胞の構造と、刺激の伝わり方について理解を深める。</p> <p>〔授業方法〕 神経細胞の構造、伝導、伝達について、配布資料や映像資料などを適宜用いながら、解説を行う。</p> | <p>講義 対面、あるいはzoomによるオンライン授業。</p> | <p>(予習：2時間) 神経の伝導と伝達について自己学習しておくこと。 (復習：2時間) 神経細胞、グリア細胞の働き、神経伝達物質について説明できる。</p> |
| 12 | 和田 麻理 | <p>〔授業内容〕 感覚器から入った情報が、どのようにして脳に伝わり、様々な反応につながるのかについて、理解を深める。</p> <p>〔授業方法〕 自律神経がどのように自分の体を調節するか、また、脳の機能について、配布資料や映像資料などを適宜用いながら、解説を行う。</p> | <p>講義 対面、あるいはzoomによるオンライン授業。</p> | <p>(予習：2時間) 運動神経、感覚神経、自律神経について自己学習しておくこと。 (復習：2時間) 脳幹、間脳、小脳、大脳の機能をおおまかに説明できる。</p> |
| 13 | 和田 麻理 | <p>〔授業内容〕 免疫とは何か、先天的免疫と後天的免疫について、理解を深める。</p> <p>〔授業方法〕 各種リンパ球の働きや、免疫記憶などについて配布資料や映像資料などを適宜用いながら、解説を行う。また、アレルギー反応についても解説を行う。</p> | <p>講義 対面、あるいはzoomによるオンライン授業。</p> | <p>(予習：2時間) 先天性免疫と後天性免疫について自己学習しておくこと。 (復習：2時間) 細胞性免疫と、体液性免疫の仕組みについて説明できる。</p> |

| | | | | | |
|----------------------------|--|----------------------|----------------------|---|---------|
| 科目名 | 【新カリ】一般化学 | | | 授業形態 | 講義 |
| 英語科目名 | 【新カリ】一般化学 | | | 対象学年 | 1年 |
| 開講学期 | 2022年度前期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | 志村 絵理 | | | ナンバリング | CHE1119 |
| 担当教員 | 志村 絵理、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | 生体は有機物をはじめとした様々な種類の化学物質の集合体である。生体を理解するためには、それを構成する生体物質や体内で生じる反応に関する知識を欠くことができないが、そこで必須となるのが化学の知識である。この授業では、化学の基礎を学ぶとともに生化学・生理学の理解のための基礎知識を学ぶ。 | | | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 物質を構成する原子・分子についてその基本的な構造、性質を説明することができる。 2. 物質が示す気体・液体・固体という3つの状態についてその特徴を説明できる。特に気体の性質について説明できる。 3. 物質が水に溶ける、溶けないを決めている水との相互作用について説明できる。 4. 水溶液の性質、特に濃度、酸と塩基、緩衝作用について説明できる。 5. 有機化合物について、その基本構造と官能基とその反応について説明できる。 6. 脂質の種類と基本性質について説明できる。 7. 糖質の種類と基本性質について説明できる。 8. アミノ酸・タンパク質の基本構造と性質について説明できる | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・自然科学科目の選択必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目は、スポーツ健康科学部の学位授与方針に定める「スポーツ健康科学を中心とした幅広い知識を基礎とした教養」を身につける。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | 特になし | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | 中間試験40%、期末試験40%で評価します。残りの20%は授業の終わりに出した課題の解答内容や授業中の態度、授業に対する積極性などを評価します。欠席については学則に準じます。 | | | | |
| 評価基準 | <p>以下の各項目について、中間試験および定期テストで評価する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 物質を構成する原子・分子についてその基本的な構造、性質を説明することができる。 2. 物質が示す気体・液体・固体という3つの状態についてその特徴を説明できる。特に気体の性質について説明できる。 3. 物質が水に溶ける、溶けないを決めている水との相互作用について説明できる。 4. 水溶液の性質、特に濃度、酸と塩基、緩衝作用について説明できる。 5. 有機化合物について、その基本構造と官能基とその反応について説明できる。 6. 脂質の種類と基本性質について説明できる。 7. 糖質の種類と基本性質について説明できる。 8. アミノ酸 とタンパク質の基本構造と性質について説明できる。 | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 授業期間中に課す問題については、授業内で解説を行う。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | 化学の視点 | 山倉文幸・大森大二郎・馬場猛 | 東京教学社 | 9784808230524 | |
| 参考文献 | | | | | |
| 適宜、資料を配布します。 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>[連絡先] 連絡先は授業内で知らせます。 [オフィスアワー] 日時:前期の月曜日 12時から13時 場所:2号館2階2115室 上記の時間帯には、予約なしに質問や相談に応じますが、他の学生の相談時間と合わないようするため、できるだけ前日までにE-mail等で予約してください。質問や相談は予約のあった学生を優先します。</p> | | | | |
| 担当教員の実務経験 | | | | | |
| 備考 | <p>[学修時間] この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容を持って構成する。 [その他] 新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p> | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 | |
| 1 | 志村 | 原子・分子・イオンについて理解を深める。 | 講義を行い、それに基づいた小問題を解く。 | (予習:2時間) 使用教科書のp2~p12を予め読んでおくこと。 (復習:2時間) 講義で取り上げた箇所について教科書を読み、理解を深めておく。 | |

| | | | | |
|----|----|-------------------------|----------------------|--|
| 2 | 志村 | 化学結合について理解を深める。 | 講義を行い、それに基づいた小問題を解く。 | (予習:2時間) 使用教科書のp14~p25を予め読んでおくこと。 (復習:2時間) 講義で取り上げた箇所について教科書を読み、理解を深めておく。 |
| 3 | 志村 | 物質の状態について理解を深める。 | 講義を行い、それに基づいた小問題を解く。 | (予習:2時間) 使用教科書のp28~p40を予め読んでおくこと。 (復習:2時間) 講義で取り上げた箇所について教科書を読み、理解を深めておく。 |
| 4 | 志村 | 酸と塩基について理解を深める。 | 講義を行い、それに基づいた小問題を解く。 | (予習:2時間) 使用教科書のp42~p48を予め読んでおくこと。 (復習:2時間) 講義で取り上げた箇所について教科書を読み、理解を深めておく。 |
| 5 | 志村 | 化学反応の速さと化学平衡について理解を深める。 | 講義を行い、それに基づいた小問題を解く。 | (予習:2時間) 使用教科書のp50~p56を予め読んでおくこと。 (復習:2時間) 講義で取り上げた箇所について教科書を読み、理解を深めておく。 |
| 6 | 志村 | 化学反応とエネルギーについて理解を深める。 | 講義を行い、それに基づいた小問題を解く。 | (予習:2時間) 使用教科書のp58~p63を予め読んでおくこと。 (復習:2時間) 講義で取り上げた箇所について教科書を読み、理解を深めておく。 |
| 7 | 志村 | 酸化還元反応について理解を深める。 | 講義を行い、それに基づいた小問題を解く。 | (予習:2時間) 使用教科書のp66~p75を予め読んでおくこと。 (復習:2時間) 講義で取り上げた箇所について教科書を読み、理解を深めておく。 |
| 8 | 志村 | マークシートによる中間試験 | | (予習:3時間) これまでの講義内容 (復習:3時間) これまでの講義内容 |
| 9 | 志村 | 炭化水素について理解を深める。 | 講義を行い、それに基づいた小問題を解く。 | (予習:2時間) 使用教科書のp78~p92を予め読んでおくこと。 (復習:2時間) 講義で取り上げた箇所について教科書を読み、理解を深めておく。 |
| 10 | 志村 | 酸素原子を含む有機化合物について理解を深める。 | 講義を行い、それに基づいた小問題を解く。 | (予習:2時間) 使用教科書のp94~p112を予め読んでおくこと。 (復習:2時間) 講義で取り上げた箇所について教科書を読み、理解を深めておく。 |
| 11 | 志村 | 窒素を含む有機化合物について理解を深める。 | 講義を行い、それに基づいた小問題を解く。 | (予習:2時間) 使用教科書のp114~p124を予め読んでおくこと。 (復習:2時間) 講義で取り上げた箇所について教科書を読み、理解を深めておく。 |
| 12 | 志村 | 糖質(炭水化物)について理解を深める。 | 講義を行い、それに基づいた小問題を解く。 | (予習:2時間) 使用教科書のp126~p138を予め読んでおくこと。 (復習:3時間) 講義で取り上げた箇所について教科書を読み、理解を深めておく。 |
| 13 | 志村 | 脂質の構造と働きについて理解を深める。 | 講義を行い、それに基づいた小問題を解く。 | (予習:2時間) 使用教科書のp140~p149を予め読んでおくこと。 (復習:3時間) 講義で取り上げた箇所について教科書を読み、理解を深めておく。 |
| 14 | 志村 | アミノ酸とタンパク質について理解を深める。 | 講義を行い、それに基づいた小問題を解く。 | (予習:2時間) 使用教科書のp152~p166を予め読んでおくこと。 (復習:2時間) 講義で取り上げた箇所について教科書を読み、理解を深めておく。 |

| | | | | | |
|-----------------------------|---|--|-----------------------------------|---|---------|
| 科目名 | 【新カリ】一般化学 | | | 授業形態 | 講義 |
| 英語科目名 | 【新カリ】一般化学 | | | 対象学年 | 1年 |
| 開講学期 | 2022年度前期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | 石原 量 | | | ナンバリング | CHE1119 |
| 担当教員 | 石原 量、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | 本科目は、講義の授業形態で行われる。生体は有機物を始めとした様々な種類の化学物質の集合体である。この授業では、生体を構成する生体物質や体内で生じる反応を理解するために必須となる化学的知識の習得を目標とする。また、化学の基礎を学ぶだけでなく、生化学や生理学等の関連科目で扱われる生命現象との関連についても学ぶ。 | | | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 物質を構成する原子・分子についてその基本事項を説明できる。 2. 物質が示す状態や物質間の相互作用についてその基本事項を説明できる。 3. 化学反応に関する基本的な概念や法則を説明ができる。 4. 三大栄養素(脂質・糖質・タンパク質)について化学の視点で説明できる。 5. 科学リテラシーをみにつける方法を理解する。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・自然科学科目の選択必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目は「スポーツ健康科学に関連した幅広い知識を基礎とした教養」という学位授与方針の達成に寄与する。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | 高度な化学の知識を前提として講義を展開するようなことはしませんので、特に履修要件はありません。 | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | 中間試験30%、期末試験30%で評価します。残りの40%は講義で出題した課題の解答内容、講義に対する態度などを評価します。出欠席については学則に準じます。 | | | | |
| 評価基準 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 化学の基本事項に関する試験問題を出题し、適切な解法で解答できるかでその到達度を評価する。(到達目標1~4) 2. 化学の視点に関する課題や試験問題を出题し、正しく解答できるかでその到達度を評価する。(到達目標1~5) 3. 科学リテラシーに関連する課題や発言する機会を提供し、その内容によって到達度を評価する。(到達目標5) | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 授業で出題した課題や試験に関して、授業内で解説を行う。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | 化学の視点 | 山倉文幸・大森大二郎・馬場猛 著 | 東京教学社 | 9784808230524 | |
| 参考文献 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>【連絡先】 担当：石原 量 E-mail：r-ishihara [at] juntendo.ac.jp ※ [at] を@に変更してください。</p> <p>【オフィスアワー】 日時：金曜日 12~13時 場所：2号館2階2214室 上記の時間帯には、予約なしに質問や相談に応じますが、他の学生の相談時間と合わないようするため、できるだけ前日までにE-mail等で予約してください。質問や相談は予約のあった学生を優先します。</p> | | | | |
| 担当教員の実務経験 | | | | | |
| 備考 | <p>一 この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と講義外学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容を持って構成されています。</p> <p>一 新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、講義の実施方法および試験方法を変更する場合があります。</p> | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 | |
| 1 | 石原 量 | <p>「化学の視点とは？」 化学の視点、自然科学、科学リテラシーについて理解を深める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 受講にあたって 2. 自然科学 3. 化学の視点 | 基本的には講義を行い、講義の中で関連したディカッションなどを行う。 | <p>(予習：1時間) 自然科学、科学リテラシーについて学習しておく。 (復習：3時間) 講義で取り上げた内容および課題に関して自ら調べ理解を深める。</p> | |
| 2 | 石原 量 | <p>「ミクロの世界とは？」 周期表、原子構造について理解を深める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 定性・定量 2. 周期表 3. 原子の構造 (I) | 基本的には講義を行い、講義の中で関連したディカッションなどを行う。 | <p>(予習：1時間) 原子、分子、イオンについて学習しておく。 (復習：3時間) 講義で取り上げた内容および課題に関して自ら調べ理解を深める。</p> | |
| 3 | 石原 量 | <p>「化学物質の結合とは？」 原子、分子、そして物質へとつながる化学物質の結合について理解を深める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ミクロの世界の不思議 2. 原子の構造 (II) と化学結合 3. 物質の特徴 | 基本的には講義を行い、講義の中で関連したディカッションなどを行う。 | <p>(予習：1時間) 化学結合について学習しておく。 (復習：3時間) 講義で取り上げた内容および課題に関して自ら調べ理解を深める。</p> | |

| | | | | | |
|--|---|----|-----|--------|---------|
| 科目名 | 【新カリ】基礎の物理 | | | 授業形態 | 講義 |
| 英語科目名 | 【新カリ】基礎の物理 | | | 対象学年 | 1年 |
| 開講学期 | 2022年度前期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | 田中 和廣 | | | ナンバリング | PSC1120 |
| 担当教員 | 田中 和廣、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | 本科目は、講義の授業形態で行われる。18世紀の古典力学の時代から20世紀の物理である現代物理の誕生の歴史に沿った形で約300年の物理学の発展を概観し、我々の生活を支える現代物理学の基礎について学ぶ。これらの基礎事項の中には現代社会に不可欠な情報セキュリティへと繋がる技術や、放射線といった身近なテーマも含まれる。現代社会を支える技術について物理学的な基本知識を身に付けることを目標とする。 | | | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 力学の基本となる概念・法則を理解し身近な現象に応用できるようになり、自ら考え問題を解決する能力を身につける。 2. 物体の慣性とニュートンの運動の第1法則について説明できる。 3. 物体にはたらく力とニュートンの運動の第2法則について説明できる。 4. 放物運動の軌道が作図でき、スポーツで見られる放物運動の例、放物運動と衛星の運動の関係について説明できる。 5. 力のつり合いと力のモーメントのつり合いを用いて、ポディメカニクスを説明できる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・自然科学科目の選択必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目は「スポーツ健康科学に関連した幅広い知識を基礎とした教養」という学位授与方針の達成に寄与する。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | <p>【履修要件】 高校で物理を学んでいなくてよい。</p> <p>【履修上の注意（科目独自のルール）】 特になし。</p> <p>【テキスト・参考書等】 テキスト：特に指定しない。</p> | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | 期末試験（多肢選択マーク80%、記述20%）によって評価する。なお、授業態度や、毎回の授業の終わりに実施するまとめの練習問題への取り組みが良くない場合には、減点の対象となるので注意すること。 | | | | |
| 評価基準 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業の終わりに実施するまとめの練習問題の解答用紙を毎回回収し、練習問題に積極的に取り組んでいるか（自分でまず答案を考えてから模範解答と照合し、理解度の自己チェックができていないか）を評価し、取り組みが良くない場合には減点する。 2. 運動の測定データを速度、加速度を用いて分析し、これを活用した推論ができるか、授業内の課題で評価する。 3. 等加速度運動する物体がもつ速さと到達する距離を求めることができるか、期末試験で評価する。 4. 物体の慣性とニュートンの運動の第1法則について説明できるか、期末試験で評価する。 5. さまざまな状況下で運動がどうなっていくかを、ニュートンの運動の第2法則を用いて予測できるか、期末試験で評価する。 6. 放物運動の軌道を作図して求めることができるか、授業内の課題と期末試験で評価する。 7. 力のつり合いと力のモーメントのつり合いをポディメカニクスに活用できるか、授業内の課題と期末試験で評価する。 | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 毎回の授業の終わりににはまとめの練習問題を出題し、模範解答も提示するので、積極的に取り組んで各自の理解度のチェックに役立てること。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | | | | | |
| 参考文献 | | | | | |
| <p>参考書： ボール G. ヒューエット他 著 「力と運動（物理学のコンセプト1）」（共立出版、1997） 鮑本 一裕 著 「クイズで学ぶ大学の物理」（講談社ブルーバックス、2001） 初田 真知子、伊知地 国夫、矢田 雅哉 著 「身近な素材で実験する物理」（丸善出版、2022）</p> | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>【連絡先】 担当：田中和廣 E-mail：kztanaka[at]juntendo.ac.jp ※[at]を@に変更してください。</p> <p>【オフィスアワー】 日時：木曜日9:00から15:00 場所：1号館 3階1314 物理学研究室 上記の時間帯には、予約なし質問や相談に応じますが、他の学生の相談時間とかち合わないようにするため、できるだけ前日までにE-mailで予約してください。質問や相談は予約のあった学生を優先します。</p> | | | | |
| 担当教員の実務経験 | | | | | |
| 備考 | <p>【学修時間】 この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。</p> <p>【その他】 「速さとは？」といった簡単な話から始めて、一段一段段階を上るように、力学の基礎となるポイントを発見的に学んでいくので、欠かさず出席し興味を持って授業に臨んで欲しい。授業計画は、受講者の理解の状況に応じて多少前後することがある。 また、新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p> | | | | |

| 授業計画 | | | | |
|------|-------|---------------------|--|---|
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 |
| 1 | 田中 和廣 | 物理とは？力学とは？ | 物理と力学的自然観、物理学と他の学問との関係について解説する。 | (予習：1時間) 物理学がスポーツ健康科学に役立つことを示すと思われる具体例を、各自考えてくること。 (復習：1時間半) 長さ・質量・時間を測るMKS単位系について復習する。 |
| 2 | 田中 和廣 | 運動と速さ | 「速さ」に2種類あること(“平均の速さ”と“瞬間の速さ”)について解説する。 | (予習：1時間) 前回講義内容を復習する。スピードガンで球速を測るしくみについて調べる。 (復習：1時間半) 瞬間の速さから平均の速さを割り出す方法を復習する。 |
| 3 | 田中 和廣 | 運動をどのように表現するか？ | 速度と加速度によって、運動が詳細に表現できることについて解説する。 | (予習：1時間) 前回講義内容を復習する。乗り物酔いがなぜ起きるかについて調べる。 (復習：1時間半) 減速する運動では加速度をどう表すか復習すること。 |
| 4 | 田中 和廣 | スキーで直滑降をしたとき | 「斜面をころがる球」の演示実験の測定データを各自が分析し、等加速度運動の証拠を探る。 | (予習：1時間) 前回講義内容を復習する。加速度が変化する運動・変化しない運動の例を挙げる。 (復習：1時間半) 「斜面をころがる球」の演示実験のデータから作成した“速さのグラフ”を復習し傾きを求める。 |
| 5 | 田中 和廣 | 等加速度運動の応用 | 加速度から速さと距離を求める方法について解説する。 | (予習：1時間) 前回講義内容を復習する。スキージャンプの踏み切りのときの時速を調べる。 (復習：1時間半) 速さと距離を求める式を自分で導けるよう復習すること。 |
| 6 | 田中 和廣 | 落下する物体 | 自由落下が等加速度運動であることを解説する。また、自由落下運動の演示実験の測定データを分析し、重力加速度の値を割り出す。 | (予習：1時間) 等加速度運動の講義ノートを見直し疑問点を調べる。 (復習：10時間半) 垂直跳びのハングタイムの求め方を復習すること。また、「演習問題(その1)」を授業で配布するので、1~6回の授業の総復習としてこれから毎日少しずつ解き、参考書「力と運動」の巻末に出ている解答で答え合わせすること。 |
| 7 | 田中 和廣 | 車は急に止まれない！ | “ニュートンの運動の第1法則”と慣性について解説する。 | (予習：1時間) 前回講義内容を復習する。カーリングではなぜブラシで氷をこするのか調べる。 (復習：1時間半) 質量が慣性の強さを表すことについて復習すること。 |
| 8 | 田中 和廣 | 月や火星に行くと体重はいくらになるか？ | 力学で質量と重さがどう区別されるか解説する。 | (予習：1時間) 前回講義内容を復習する。国際宇宙ステーションでの無重力状態について調べる。 (復習：1時間半) 重さを測る単位N(ニュートン)について復習すること。 |
| 9 | 田中 和廣 | 力と運動方程式 | “ニュートンの運動の第2法則”と未来の運動の予測について解説する。 | (予習：1時間) 前回講義内容を復習する。静電気ではたらく力や磁石にはたらく力について調べる。 (復習：1時間半) 摩擦力がはたらく場合の合力の求め方を復習すること。 |
| 10 | 田中 和廣 | 落下運動と重力 | 落下運動が運動の第2法則からどうとらえられるかについて考え、空気抵抗の効果についても解説する。 | (予習：1時間) 前回講義内容を復習する。スポーツで空気抵抗を減らす方法の例を調べる。 (復習：10時間半) 空気抵抗があるときの落下の加速度の求め方を復習。また、「演習問題(その2)」を授業で配布するので、7~10回の授業の総復習としてこれから毎日少しずつ解き、参考書「力と運動」の巻末に出ている解答で答え合わせすること。 |

| | | | | |
|--|--|--|--|--|
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

| | | | | | |
|--|--|----|-----|--------|---------|
| 科目名 | 【新カリ】基礎の物理 | | | 授業形態 | |
| 英語科目名 | 【新カリ】基礎の物理 | | | 対象学年 | 1年 |
| 開講学期 | 2022年度前期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | 清 裕一郎 | | | ナンバリング | PSC1120 |
| 担当教員 | 清 裕一郎、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | <p>本科目は、講義の授業形態で行われる。18世紀の古典力学の時代から20世紀の物理である現代物理の誕生の歴史に沿った形で約300年の物理学の発展を概観し、我々の生活を支える現代物理学の基礎について学ぶ。これらの基礎事項の中には現代社会に不可欠な情報セキュリティへと繋がる技術や、放射線といった身近なテーマも含まれる。現代社会を支える技術について物理的な基本知識を身に付けることを目標とする。</p> | | | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 力学の基本となる概念・法則を理解し身近な現象に応用できる 2. 物体の慣性とニュートンの運動の第1法則について説明できる 3. 物体にはたらく力とニュートンの運動の第2法則について説明できる 4. 作用反作用の法則について具体例をあげて説明できる 5. 惑星運動の知識と地球上の昼夜の区別や季節の変化について説明できる 6. 現代社会を支える科学について例を挙げて説明できる | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・自然科学科目の選択必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | 【授業の位置づけ（学位授与方針に定められている知識・能力等との関連）】 この科目は「スポーツ健康科学に関連した幅広い知識を基礎とした教養」という学位授与方針の達成に寄与する。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | <p>【履修要件】 高校で物理を学んでいなくてよい。毎回の授業で配布するプリントを参考にすること。</p> <p>【履修上の注意（科目独自のルール）】 特になし。</p> | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | <p>期末試験（多肢選択マーク80%、記述20%）を実施する。 成績は期末試験（60%）、レポート（20%）、平常点（20%）を総合して評価する。 授業態度や、毎回の授業の終わりに実施する練習問題への取り組みは平常点として評価に取り込む。</p> | | | | |
| 評価基準 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 質量、速度、加速度、力といった基本概念が、身についているか期末試験で評価する。 2. 等加速度運動における移動距離や時間の関係をグラフを用いて解析できるか期末試験で評価する。 3. 空気抵抗がある場合の物体の落下運動についてエネルギー保存則とグラフを用いた解析ができるか期末試験で評価する。 4. 万有引力による惑星運動や人工衛星の運動について定性的な解析ができるか期末試験で評価する。 5. 科学の発展史や現代社会を支える基礎科学について概観し自分の意見をまとめることができるかレポート課題で評価する。 6. 授業中に配布するプリントの練習問題を解いて毎回提出すること。回収したプリントに学習度合いに応じた点数をつけ平常点として成績評価に取り入れる。 | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 毎回の授業の終わりににはまとめの練習問題を出題し、模範解答も提示するので積極的に取り組んで各自の理解度のチェックに役立てること。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | | | | | |
| 参考文献 | | | | | |
| <p>【テキスト】 テキストは特に指定しない。</p> <p>【参考書】 授業やレポートの参考となるものとして下の参考書をあげる。 ・ポール G. ヒューエット他著「力と運動（物理科学のコンセプト1）」（共立出版、1997） ・小暮陽三「なっとくする一般力学」（講談社、2002）</p> <p>【副読本】 副読本は授業と関連した話が分かりやすく書かれた読み物である。 ・新田英雄著「マンガでわかる物理[力学編]」（オーム社、2006） ・関口智彦「マンガ 物理に強くなる力学は野球よりやさしい」（講談社ブルーバックス、2008） ・鮑本一裕著「クイズで学ぶ大学の物理」（講談社ブルーバックス、2001）</p> | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>【連絡先】 担当：清 裕一郎 E-mail：ykiyo[at]juntendo.ac.jp ※[at] を@に変更してください。</p> <p>【オフィスアワー】 日時：木曜日9:00から15:00 場所：1号館 3階1316 物理学研究室 上記の時間帯には、予約なし質問や相談に応じますが、他の学生の相談時間とかち合わないようにするため、できるだけ前日までにE-mailで予約してください。 質問や相談は予約のあった学生を優先します。</p> | | | | |
| 担当教員の実務経験 | | | | | |

| 備考 | | | | |
|--|-------|--|-------------------|---|
| <p>【学修時間】 この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。</p> <p>【その他】 「速さとは？」といった簡単な話から始めて、一段一段階を上げるように、力学の基礎となるポイントを発見的に学んでいくので、欠かさず出席し興味を持って授業に臨んで欲しい。授業計画は、受講者の理解の状況に応じて多少前後することがある。また、新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p> | | | | |
| 授業計画 | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 |
| 1 | 清 裕一郎 | [科学的な方法の始まり] ガリレオ・ガリレイに始まる仮説と実験による検証という自然科学の方法論について解説する。 ガリレオの方法論が自然科学の発展に与えた影響について考えよう。 | グループワークで演習問題に取り組む | (予習：1時間) ガリレオ前とガリレオの自然科学へのアプローチの違いについて、文献やインターネットで調べること。 (復習：1時間30分) 授業プリントを復習し、物理量の単位計算と有効数字の計算方法について復習する。 |
| 2 | 清 裕一郎 | [運動の記述：時間と距離、変化の割合] 運動を記述するために必要な物理量について考え、速度や加速度といった概念について解説する。 速度や加速度が「変化の割合」であることを理解しよう。 | グループワークで演習問題に取り組む | (予習：1時間) 陸上競技の100m走を考えると、スタートからゴールまでの運動の様子は選手によって様々であろう。各選手の運動の違いはどのような物理量で表せるか考えてくること。 (復習：1時間30分) 授業プリントを復習して、等速運動、等加速度運動の時間-距離のグラフを作成すること。またそれぞれの場合に、グラフの傾きを計算することによって、速度を算出すること。 |
| 3 | 清 裕一郎 | [重力による落下（実験）] 「物体の落下運動」の演示実験を行う。 測定データからグラフを作成し運動の様子について調べよう。 | グループワークで演習問題に取り組む | (予習：1時間) 時間-距離のグラフから速度を算出する方法を復習すること。 (復習：1時間30分) 授業プリントを復習して、授業で行なった「重力による落下」(演示実験)のデータから「時間-加速度」のグラフを作る過程を復習する。 |
| 4 | 清 裕一郎 | [重力による落下（データ解析）] 「物体の落下運動」の演示実験で得た測定データを基に、運動を分析する。 速度や加速度の変化を調べ、等加速度運動について理解しよう。 | グループワークで演習問題に取り組む | (予習：1時間) 演示実験「重力による落下」のデータから分かることをまとめておく。 (復習：1時間30分) 授業プリントの演習問題を復習すること。 加速度から速度や位置を算出する方法を復習すること。 |
| 5 | 清 裕一郎 | [時計の時刻合わせをする時計とは？] 時間の基本単位である「1秒」はどのように決まっているのだろうか？ 基本単位の決定について説明する。タイム・マシンは作れるの？などのSF的な話題にも言及する。 | グループワークで演習問題に取り組む | (予習：1時間) 身の回りに周期的な運動を繰り返すものがないか考えてくること。 (復習：2時間) 授業スライドとプリントを読んで、時間や長さ、物体の質量などがどのように決まっているか復習すること。 |
| 6 | 清 裕一郎 | [加速度から位置と速度を知る] 物体の運動に関して、加速度のデータから未来の位置が予想できることを説明する。 | グループワークで演習問題に取り組む | (予習：1時間) 時間と移動距離のグラフから速度を得る方法を復習して、速度が与えられ時に距離を知る方法について考えてくること。 (復習：1時間30分) 授業プリントを復習し、等速度運動、等加速度運動の場合の加速度から移動距離を計算する方法を復習する。 |
| 7 | 清 裕一郎 | [運動を変化させるもの] 等速度運動は「静的」であることを説明し、「慣性の法則」にたどり着くガリレオの思考を追体験する。 運動の変化とは加速度であり、それは力によって引き起こされることを説明する。 | グループワークで演習問題に取り組む | (予習：1時間) 物体の運動を観察しているとき、運動に変化が生じていると考えるのはどのような時であろうか、具体例をあげてノートにまとめてくること。 (復習：1時間30分) 授業プリントの演習問題をとき、物体にはたらく力が将来の物体の位置を計算する方法を復習すること。 |
| 8 | 清 裕一郎 | [ニュートンの運動の法則] 運動の三法則：慣性の法則、運動の法則（運動方程式）、作用反作用の法則について説明する。 運動方程式を立てると運動について未来の予想ができることを理解しよう。 | グループワークで演習問題に取り組む | (予習：1時間) 慣性とはどのような概念か、事前に調べ、慣性が大きい場合と小さい場合の具体例を考えてくること。 (復習：1時間30分) 授業プリントの演習問題をとき、様々な現象に対して運動方程式の立式を復習する。 |

| | | | | | |
|---|--|---|--|---|---------|
| 科目名 | 【新カリ】統計学 | | | 授業形態 | 講義 |
| 英語科目名 | 【新カリ】統計学 | | | 対象学年 | 1年 |
| 開講学期 | 2022年度前期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | 廣津 信義 | | | ナンバリング | STA1121 |
| 担当教員 | 廣津 信義、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | <p>【授業全体の内容】</p> <p>本科目は、講義の授業形態で行われる。統計学はデータを基に、定量的に現象を把握するだけでなく、相手を説得する際に必要となる学問である。統計学の基礎的な概念を理解するとともに、統計計算を実践することで、スポーツ健康科学部での学びで必要となる統計理論、また、母集団と標本、標本の特性値、確率分布、標本分布、推定、検定という用語や概念を理解する。</p> | | | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. スポーツ健康科学にて必須となる統計学の専門用語を覚える。 2. 測定や調査・実験にて得られたデータの解析にあたって、分散、標準偏差、標準得点など基本的な統計量の計算ができる。 3. 推定・検定など統計学で使われる基礎的な概念が理解できる。 4. 相関や回帰分析に関する計算ができる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・自然科学科目の選択必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目は、「スポーツ健康科学を中心とした幅広い知識と教養」を身につけるための科目の一つとして開講され、スポーツ健康科学に関連するどの分野においても必要となり、専門性をもちかつ教養のある人材を育成するための基盤となる。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | <p>【履修要件】</p> <p>特になし</p> <p>[履修上の注意（科目独自のルール）]</p> <p>1回の授業について、3分の2以上の出席時間がない場合は、その回の授業を欠席扱いとする。</p> | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | <p>【成績評価の方法】</p> <p>期末試験（85%）、毎回の平常点（15%）を総合して評価する。</p> | | | | |
| 評価基準 | <ol style="list-style-type: none"> 1. スポーツ健康科学にて必須となる統計学の専門用語を覚える（定期試験）。 2. 測定や調査にて得られたデータの解析にあたって、分散、標準偏差、標準得点など基本的な統計量の計算ができる（定期試験）。 3. 推定・検定など統計学で使われる基礎的な概念が理解できる（定期試験）。 4. 相関や回帰分析に関する計算ができる（定期試験）。 5. 毎回のレポート課題や予習・復習の取り組み状況によって受講態度を評価する（平常点）。 | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| プリント課題の内容は授業中にフィードバックする。定期試験後には要望があれば個別に解説を行う。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | 基礎統計学(栄養科学シリーズNEXT) | 鈴木良雄・廣津信義 | 講談社 | 978-4-06-155348-4 | |
| | 統計学は最強の学問である | 西内啓 | ダイヤモンド社 | 978-4-478-02221-4 | |
| 参考文献 | | | | | |
| この科目では、必ず用意しなければならないテキストはありません。必要な資料は、授業中に配布します。上記の2点は、レポート作成の際や準備学習での参考書として薦めます。 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>【連絡先】</p> <p>担当：廣津信義</p> <p>E-mail: nhirotsu[at]juntendo.ac.jp（[at]を@に変更してください）</p> <p>【オフィスアワー】</p> <p>日時：火曜日 13:10から14:45</p> <p>場所：1号館3階1327室</p> <p>上記の時間帯は予約がなくても対応しますが、予約があった学生を優先します。</p> | | | | |
| 担当教員の実務経験 | 製鉄関連企業においてプラントエンジニアとしての業務にあっていた経験や国立スポーツ科学センターでのスポーツデータの分析業務の経験を生かし、統計学が実社会で有用であるということも織り込みながら授業をします。 | | | | |
| 備考 | <p>【学修時間】</p> <p>この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。</p> <p>【その他】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p> | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 | |
| 1 | 廣津 | <p>[授業内容]</p> <p>授業の内容を把握するとともに、基礎的な統計学の考え方を理解する。</p> | 授業目的や評価方法と授業の進め方を説明する。統計学の考え方を提示し解説する。 | <p>（予習：2時間）</p> <p>シラバスを読み、授業の内容を確認する。</p> <p>（復習：2時間）</p> <p>ガイダンスを受け、自分にとっての受講の意義を確認すること。</p> | |

| | | | | |
|----|----|---|--|---|
| 2 | 廣津 | 〔授業内容〕 統計と統計学という用語の理解を深める。データの収集方法について学習する。 | データの収集方法について解説するとともに、練習問題を解いてもらい3名程度のグループで討議する。 | (予習: 3時間) プリントを読み、疑問点について調べてくること。 (復習: 3時間) プリントを再読し、理解を深めること。 |
| 3 | 廣津 | 〔授業内容〕 標本と母集団の概念を理解する。データ整理の例として度数分布表を作成できるようになる。 | 標本と母集団の概念を解説する。度数分布表の作成方法を示し、具体的な例で作成してみる。 | (予習: 2時間) プリントを読み、疑問点について調べてくること。 (復習: 2時間) プリントを再読し、理解を深めること。 |
| 4 | 廣津 | 〔授業内容〕 記述統計として重要となるメジアン、モード、平均値、分散、標準偏差を理解する。 | メジアン、モード、平均値、分散、標準偏差の意味と計算方法を解説する。例をもとに計算を行う。インフォグラフィックについてグループで資料作成し発表する。 | (予習: 2時間) インフォグラフィックスの資料を作成する。 (復習: 2時間) 他Grの資料をよみ、理解を深めること。 |
| 5 | 廣津 | 〔授業内容〕 統計学の背後にある確率の概念を把握する。 | 確率の意味と計算方法を解説する。例をもとに計算を行う。不明点については3名程度のグループで討議する。 | (予習: 2時間) プリントを読み、疑問点について調べてくること。 (復習: 2時間) プリントを再読し、理解を深めること。 |
| 6 | 廣津 | 〔授業内容〕 連続型の確率分布として最重要である正規分布について学び、正規分布を利用した計算方法を習得する。 | 正規分布について解説する。標準得点や偏差値の計算を行う。不明点については3名程度のグループで討議する。 | (予習: 2時間) プリントを読み、疑問点について調べてくること。 (復習: 2時間) プリントを再読し、理解を深めること。 |
| 7 | 廣津 | 〔授業内容〕 離散型の確率分布として最重要である二項分布について学び、二項分布を利用した計算方法を習得する。 | 二項分布について解説する。問題を解いて、不明点については3名程度のグループで討議する。 | (予習: 2時間) プリントを読み、疑問点について調べてくること。 (復習: 2時間) プリントを再読し、理解を深めること。 |
| 8 | 廣津 | 〔授業内容〕 母集団の平均値を推定するための区間推定の概念と計算手法を理解する。 | 中心極限定理と区間推定の概念を説明する。具体的な計算手法を例示する。不明点については3名程度のグループで討議する。 | (予習: 2時間) プリントを読み、疑問点について調べてくること。 (復習: 2時間) プリントを再読し、理解を深めること。 |
| 9 | 廣津 | 〔授業内容〕 母比率を推定するための区間推定の概念と計算手法を理解する。 | 母比率の区間推定の考え方を説明する。具体的な計算手法を例示する。不明点については3名程度のグループで討議する。 | (予習: 2時間) プリントを読み、疑問点について調べてくること。 (復習: 2時間) プリントを再読し、理解を深めること。 |
| 10 | 廣津 | 〔授業内容〕 検定の概念について学び、母平均値の検定の方法を区間推定と比較しながら学習する。 | 検定の考え方を説明する。具体的な計算手法を例示する。不明点については3名程度のグループで討議する。 | (予習: 2時間) プリントを読み、疑問点について調べてくること。 (復習: 2時間) プリントを再読し、理解を深めること。 |
| 11 | 廣津 | 〔授業内容〕 平均値の差の検定の方法を理解する。 | 平均値の差の検定の方法を説明する。具体的な計算手法を例示する。不明点については3名程度のグループで討議する。 | (予習: 2時間) プリントを読み、疑問点について調べてくること。 (復習: 2時間) プリントを再読し、理解を深めること。 |

| | | | | |
|--|--|--|--|--|
| | | | | |
|--|--|--|--|--|

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

| | | | | | |
|---|---|--|--|--|---------|
| 科目名 | 【新カリ】統計学 | | | 授業形態 | 講義 |
| 英語科目名 | 【新カリ】統計学 | | | 対象学年 | 1年 |
| 開講学期 | 2022年度前期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | 廣津 信義 | | | ナンバリング | STA1121 |
| 担当教員 | 廣津 信義、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | <p>[授業全体の内容]</p> <p>統計学は、数値データを用いて定量的に現象を把握するだけでなく、相手を説得する際に必要となる学問である。この授業では、統計学の基礎的な概念を理解するとともに、実データを基に統計計算することで、スポーツ健康科学部での卒業研究などで必要となる統計理論に関する理解を深める。</p> <p>この授業では、母集団と標本、標本の特性値、確率分布、標本分布、推定、検定という用語や概念を講義するとともに、毎回アクティブラーニングとして、統計学の問題を解いてもらい、さらに学生同士の討議を通じて理解を深めていく。また、グループワークとしてインフォグラフィックの資料作成や統計分析を行い発表する。</p> | | | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. スポーツ健康科学にて必須となる統計学の専門用語を覚える。 2. 測定や調査・実験にて得られたデータの解析にあたって、分散、標準偏差、標準得点など基本的な統計量の計算ができる。 3. 推定・検定など統計学で使われる基礎的な概念が理解できる。 4. 相関や回帰分析に関する計算ができる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・自然科学科目の選択必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目は、「スポーツ健康科学を中心とした幅広い知識と教養」を身につけるための科目の一つとして開講され、スポーツ健康科学に関連するどの分野においても必要となり、専門性をもちかつ教養のある人材を育成するための基盤となる。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | <p>[履修要件]</p> <p>特になし</p> <p>[履修上の注意（科目独自のルール）]</p> <p>1回の授業について、3分の2以上の出席時間がない場合は、その回の授業を欠席扱いとする。</p> | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | <p>[成績評価の方法]</p> <p>期末試験（85%）、毎回の平常点（15%）を総合して評価する。</p> | | | | |
| 評価基準 | <ol style="list-style-type: none"> 1. スポーツ健康科学にて必須となる統計学の専門用語を覚える（定期試験）。 2. 測定や調査にて得られたデータの解析にあたって、分散、標準偏差、標準得点など基本的な統計量の計算ができる（定期試験）。 3. 推定・検定など統計学で使われる基礎的な概念が理解できる（定期試験）。 4. 相関や回帰分析に関する計算ができる（定期試験）。 5. 毎回のレポート課題や予習・復習の取り組み状況によって受講態度を評価する（平常点）。 | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| プリント課題の内容は授業中にフィードバックする。定期試験後には要望があれば個別に解説を行う。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | | | | | |
| 参考文献 | | | | | |
| この科目では、必ず用意しなければならないテキストはありません。必要な資料は、授業中に、適宜配布します。 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>[連絡先]</p> <p>担当：廣津信義 E-mail:nhirotsu[at]juntendo.ac.jp（[at]を@に変更してください）</p> <p>[オフィスアワー]</p> <p>日時：火曜日 13:10から14:45 場所：1号館3階1327室 上記の時間帯は予約がなくとも対応しますが、予約があった学生を優先します。</p> | | | | |
| 担当教員の実務経験 | 製鉄関連企業においてプラントエンジニアとしての業務にあっていた経験や国立スポーツ科学センターでのスポーツデータの分析業務の経験を生かし、統計学が実社会で有用であるということも織り込みながら授業をします。 | | | | |
| 備考 | <p>[学修時間]</p> <p>この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。</p> <p>[その他]</p> <p>新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p> | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 | |
| 1 | 廣津 | (授業内容) 授業の内容を把握するとともに、基礎的な統計学の考え方を理解する。 | 授業目的や評価方法と授業の進め方を説明する。統計学の考え方を提示し解説する。 | (予習:2時間) シラバスを読み、「健康統計学」の授業や他の授業との違いを確認する。 (復習:2時間) ガイダンスを受け、自分にとっての受講の意義を確認すること。 | |

| | | | | |
|----|----|---|---|---|
| 2 | 廣津 | (授業内容) 統計と統計学という用語の理解を深める。データの収集方法について学習する。 | データの収集方法について解説するとともに、練習問題を解いてもらい3名程度のグループで討議する。 | (予習:2時間) プリントを読み、疑問点について調べてくること。 (復習:2時間) プリント |
| 3 | 廣津 | (授業内容) 標本と母集団の概念を理解する。データ整理の例として度数分布表を作成できるようになる。 | 標本と母集団の概念を解説する。度数分布表の作成方法を示し、具体的な例で作成して試してみる。 | (予習:2時間) プリントを読み、疑問点について調べてくること。 (復習:2時間) プリント |
| 4 | 廣津 | (授業内容) 記述統計として重要となるメジアン、モード、平均値、分散、標準偏差を理解する。 | メジアン、モード、平均値、分散、標準偏差の意味と計算方法を解説する。例をもとに計算を行う。インフォグラフィックについて3名程度のグループで資料作成し発表する。 | (予習:4時間) インフォグラフィックスの資料を作成する。 (復習:2時間) 他Grの資料をよみ、理解を深めること。 |
| 5 | 廣津 | (授業内容) 統計学の背後にある確率の概念を把握する。 | 確率の意味と計算方法を解説する。例をもとに計算計算を行う。不明点については3名程度のグループで討議する。 | (予習:2時間) プリントを読み、疑問点について調べてくること。 (復習:2時間) プリントを再読し、理解を深めること。 |
| 6 | 廣津 | (授業内容) 連続型の確率分布として最重要である正規分布について学び、正規分布を利用した計算方法を習得する。 | 正規分布について解説する。標準偏差や偏差値の計算を行う。不明点については3名程度のグループで討議する。 | (予習:2時間) プリントを読み、疑問点について調べてくること。 (復習:2時間) プリントを再読し、理解を深めること。 |
| 7 | 廣津 | (授業内容) 離散型の確率分布として最重要である二項分布について学び、二項分布を利用した計算方法を習得する。 | 二項分布について解説する。問題を解いて、不明点については3名程度のグループで討議する。 | (予習:2時間) プリントを読み、疑問点について調べてくること。 (復習:2時間) プリントを再読し、理解を深めること。 |
| 8 | 廣津 | (授業内容) 母集団の平均値を推定するための区間推定の概念と計算手法を理解する。 | 中心極限定理と区間推定の概念を説明する。具体的な計算手法を例示する。不明点については3名程度のグループで討議する。 | (予習:2時間) プリントを読み、疑問点について調べてくること。 (復習:2時間) プリントを再読し、理解を深めること。 |
| 9 | 廣津 | (授業内容) 母比率を推定するための区間推定の概念と計算手法を理解する。 | 母比率の区間推定の考え方を説明する。具体的な計算手法を例示する。不明点については3名程度のグループで討議する。 | (予習:2時間) プリントを読み、疑問点について調べてくること。 (復習:2時間) プリントを再読し、理解を深めること。 |
| 10 | 廣津 | (授業内容) 検定の概念について学び、母平均値の検定の方法を区間推定と比較しながら学習する。 | 検定の考え方を説明する。具体的な計算手法を例示する。不明点については3名程度のグループで討議する。 | (予習:2時間) プリントを読み、疑問点について調べてくること。 (復習:2時間) プリントを再読し、理解を深めること。 |
| 11 | 廣津 | (授業内容) (授業内容) 平均値の差の検定の方法を理解する。 | 平均値の差の検定の方法を説明する。具体的な計算手法を例示する。不明点については3名程度のグループで討議する。 | (予習:2時間) プリントを読み、疑問点について調べてくること。 (復習:2時間) プリントを再読し、理解を深めること。 |

| | | | | |
|--|--|--|--|--|
| | | | | |
|--|--|--|--|--|

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

| | | | | | |
|---|---|--------|---------|------|----|
| 科目名 | 【新カリ】情報処理演習 ① | 授業形態 | 演習 | | |
| 英語科目名 | 【新カリ】情報処理演習 ① | 対象学年 | 1年 | | |
| 開講学期 | 2022年度後期 | 単位数 | 2単位 | | |
| 代表教員 | 廣津 信義 | ナンバリング | INF1116 | | |
| 担当教員 | 廣津 信義、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | <p>【授業全体の内容】</p> <p>この授業では、情報処理の基礎的な知識や技能の習得を目指す。特に、ワープロソフト・表計算ソフト・プレゼンテーションソフトという、スポーツ健康科学部の学びで必要となる基本的なソフトウェアの活用能力を習得し、情報を収集・整理・分析して資料を作成する技術の向上に重点を置いて授業を行う。情報倫理・インターネットの活用など情報を扱う際の危険性やルールについての理解も深めるとともに、簡単なプログラミングによるデータ処理も行う。</p> | | | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 広く普及しているソフトウェアを中心にコンピュータの基礎的な操作ができる 2. コンピュータを用いて情報を収集・整理・分析し、一般的かつ基礎的な資料を作成できる 3. コンピュータで情報を扱う際の危険性やルールを説明できる | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・自然科学科目の必修科目である。また、中・高保健体育1種免許取得にあたっての必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目は、スポーツ健康科学部の学位授与方針に定める「スポーツ健康科学を中心とした教養」を身に付ける。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | <p>【履修要件】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 受講できる学生は、J-Pass上で履修登録を行った学生に限る。各クラスは定員制で先着順に受け付ける。定員については、別に定め、履修登録前に提示する。 2. 2年生以上の受講希望者について、定員に達したために履修できなかった場合、履修登録期間内（修正期間を除く）にクラス分け担当教員まで申し出ることで2年生以上の学生に限り受講を認める場合がある。 <p>【履修上の注意（科目独自のルール）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 1回の授業について、3分の2以上の出席時間がなく、課題を完成できないときには、その回の授業を欠席扱いとする場合がある。 2. 授業開始時に課題説明を行うため、遅刻した場合には授業に参加できない場合がある。 | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | <p>【成績評価の方法】</p> <p>毎回の授業で課される課題（90%）、課題レポート（10%）を総合して評価する。</p> | | | | |
| 評価基準 | <ol style="list-style-type: none"> 1. グループまたは個人で、与えられた時間内に情報を入力・交換・処理することができる。 2. Wordの基礎的な編集機能を理解し、文書が作成できる。（課題） 3. Excelの表計算と関数の基礎的な仕組みを理解し、データを整理・分析して、図表を作成できる。（課題） 4. PowerPointの基礎的な操作方法を理解し、プレゼンテーションのためのスライドを作成できる。（課題） 5. 著作権や著作権を中心に、コンピュータで情報を扱う際の危険性やルールを説明できる。（課題レポート） 6. 数理・データサイエンス・AIの重要性を理解し、説明できる。（課題） | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 授業の中で直接ないしはEmail（またはJuntendo Passport）でフィードバックする。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | | | | | |
| 参考文献 | | | | | |
| 購入を求めるテキストはありません。必要な資料は授業内で配布します。 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>【連絡先】</p> <p>担当： 廣津 信義 E-mail: nhirotsu@juntendo.ac.jp 木藤 友規 E-mail: t.kito@juntendo.ac.jp 山田 泰行 E-mail: yayamada@juntendo.ac.jp</p> <p>【オフィスアワー】</p> <p>廣津： 火曜日12:50-14:45（1号館3階1327室） 木藤： 前期月曜日13:00-13:30、後期：金曜日12:30-13:00（1号館4階1403室） 山田： 月曜日から木曜日12:10-13:50（1号館3階1326室）</p> <p>上記の時間帯には、予約なしに質問や相談に応じますが、他の学生の相談時間とかち合わないようするため、できるだけ前日までにE-mailで予約してください。質問や相談は予約のあった学生を優先します。</p> | | | | |
| 担当教員の実務経験 | 製鉄関連企業においてプラントエンジニアとしての業務にあっていた経験や国立スポーツ科学センターでのスポーツデータの分析業務の経験を生かし、情報処理が実社会で有用であるということも織り込みながら授業をします。 | | | | |
| 備考 | <p>【学修時間】</p> <p>この授業は、演習の授業形態による2単位の科目であり、授業60時間と準備学習30時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。1回の授業時間は100分とする。</p> <p>【その他】</p> <p>中・高教諭1種免許（保健体育）取得するための必修科目 科目：教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 施行規則に定める科目区分又は事項等：情報機器の操作</p> <p>学生の学修進度に応じて、授業計画を変更する場合があります。 受講者数は50名程度を予定していますが、受講者の状況に応じて増減もあります。 授業で扱うソフトウェア（ワープロソフト）・表計算ソフト・プレゼンテーションソフトの活用については、クラスにより内容や学修順が異なる場合がありますので、履修時に確認してください。</p> | | | | |
| 授業計画 | | | | | |

| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 |
|-----|----------------|---|--|--|
| 1 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 テーマ：情報収集と情報交換 機器の基本的な使用方法、及び本授業で身につけるスキルについて学習する。ブラウザとメールの基本を理解し、情報の収集と交換の方法を身につける。ワードプロセッサソフト（Word）の基本機能のうち、書式とレイアウトに関する操作方法を習得する。また、それらの仕組みについて理解を深める。 | コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：1時間) シラバスを読み、授業を受ける意義を確認しておくこと。 (復習：3時間) ガイダンスを受け、自分とっての受講の意義を確認すること。ローマ字入力で、スムーズに日本語入力ができるようにすること。 |
| 2 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 社会の変化について、●ビッグデータ、IoT、AI、ロボット、●データの増加、コンピュータの進歩、●Society5.0、データ駆動型社会、●人間の知的活動とAIという観点から考察する。また、演習として、ワードプロセッサソフト（Word）の基本機能のうち、参照機能（目次の作成）とセクション区切りに関する操作方法を習得する。他のソフトウェアとの連携操作を学習する。具体的には、差し込み印刷機能の操作方法とリンクの仕組みについて理解を深める。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 日本語入力でのキーボードのブラインドタッチの練習をしておくこと。 |
| 3 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 社会におけるデータの活用として、●1次データと2次データ、●オープンデータ、●構造化データと非構造化データ、●データの作成と収集という観点から考察する。また、演習として、計算ソフト（Excel）を使って、ワードプロセッサソフト（Word）との、連携操作を学習する。データを集計して、表にまとめる。Excel関数とその仕組みについて理解を深める。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 4 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 AIの利活用の現場について、●データサイエンスのサイクル、●探索的データ解析、●流通、製造、金融、インフラ、ヘルスケア等への利活用という観点から考察する。また、演習として、表計算ソフト（Excel）を使って、指定されたグラフを作成する。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 5 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 データ・AIを活用する上での留意事項について、●個人情報保護法とGDPRなどの国際動向、●データに関する情報モラルという観点から考察する。また、演習として、著作権と剽窃を中心に、情報を扱う際に気を付けるべきことについて情報を整理し、レポートとしてまとめる方法を学ぶ。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 6 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 データを守るための留意事項として、●データ駆動型社会のリスクとその対策、●情報漏洩と情報セキュリティ、●情報を扱う際のルールについて学ぶ。また、演習として、著作権と剽窃を中心に、情報を扱う際に気を付けるべきことについて情報を整理し、レポートとしてまとめる方法を学ぶ。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 7 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 データ・AI活用の最近の状況について、●AIを活用した新たなビジネスモデル、●AIの最新の活用例という観点から考察する。また、演習として、計算ソフト（Excel）を使って、データベースを作成する。また、ピボットテーブルを使用した分析方法について理解を深める。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 8 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 データの読み方①として、●質的データと量的データ（尺度）、●サンプリングとバイアス、●基本統計量、●誤差、欠損値、外れ値という観点から考察する。また、演習として、表計算ソフト（Excel）を使って、文字列操作（数字以外の文字情報に関する処理）を学び、質的データ・量的データの扱いや、サンプリングとバイアス、基本統計量の計算や、誤差、欠損値、外れ値について理解を深める。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 9 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 データの読み方②として、●基本統計量、●因果と相関、●分割表、散布図相関行列、●データの正しい理解という観点から考察する。また、演習として、表計算ソフト（Excel）を使って、相関の計算や分割表・散布図の表示について学習する。単回帰分析や相関行列について理解を深める。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 10 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 プログラミングをテーマに、表計算ソフト（Excel）を使った計算や視覚化により、因果と相関、データの正しい理解について考察する。また、表計算ソフト（Excel VBA）を使って、プログラミングについて学習する。 | コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) プログラミング言語について調べておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 11 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 テーマ：プレゼンテーションソフト（PowerPoint）のアニメーション機能を学ぶ。アニメーション機能を用いて効果的なスライドを作成する。 | コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：1時間) ブラウザを使って、課題の下調べをしておくこと。また、PowerPointに文字入力ができるようにしておくこと。 (復習：4時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 12 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 プレゼンテーションソフト（PowerPoint）のアニメーション機能を学ぶ。アニメーション機能を用いて効果的なスライドを作成する。 | コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) スライドの内容についてアイデアをまとめておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |

| | | | | | |
|---|---|--------|---------|------|----|
| 科目名 | 【新カリ】情報処理演習② | 授業形態 | 演習 | | |
| 英語科目名 | 【新カリ】情報処理演習② | 対象学年 | 1年 | | |
| 開講学期 | 2022年度後期 | 単位数 | 2単位 | | |
| 代表教員 | 山田 泰行 | ナンバリング | INF1116 | | |
| 担当教員 | 山田 泰行、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | <p>【授業全体の内容】</p> <p>この授業では、情報処理の基礎的な知識や技能の習得を目指す。特に、ワープロソフト・表計算ソフト・プレゼンテーションソフトという、スポーツ健康科学部の学びで必要となる基本的なソフトウェアの活用能力を習得し、情報を収集・整理・分析して資料を作成する技術の向上に重点を置いて授業を行う。情報倫理・インターネットの活用など情報を扱う際の危険性やルールについての理解も深めるとともに、簡単なプログラミングによるデータ処理も行う。</p> | | | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 広く普及しているソフトウェアを中心にコンピュータの基礎的な操作ができる 2. コンピュータを用いて情報を収集・整理・分析し、一般的かつ基礎的な資料を作成できる 3. コンピュータで情報を扱う際の危険性やルールを説明できる | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・自然科学科目の必修科目である。また、中・高保健体育1種免許取得にあたっての必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目は、スポーツ健康科学部の学位授与方針に定める「スポーツ健康科学を中心とした教養」を身に付ける。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | <p>【履修要件】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 受講できる学生は、J-Pass上で履修登録を行った学生に限る。各クラスは定員制で先着順に受け付ける。定員については、別に定め、履修登録前に提示する。 2. 2年生以上の受講希望者について、定員に達したために履修できなかった場合、履修登録期間内（修正期間を除く）にクラス分け担当教員まで申し出ることで2年生以上の学生に限り受講を認める場合がある。 <p>【履修上の注意（科目独自のルール）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 1回の授業について、3分の2以上の出席時間がなく、課題を完成できないときには、その回の授業を欠席扱いとする場合がある。 2. 授業開始時に課題説明を行うため、遅刻した場合には授業に参加できない場合がある。 | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | <p>【成績評価の方法】</p> <p>毎回の授業で課される課題（90%）、課題レポート（10%）を総合して評価する。</p> | | | | |
| 評価基準 | <ol style="list-style-type: none"> 1. グループまたは個人で、与えられた時間内に情報を入力・交換・処理することができる。 2. Wordの基礎的な編集機能を理解し、文書が作成できる。（課題） 3. Excelの表計算と関数の基礎的な仕組みを理解し、データを整理・分析して、図表を作成できる。（課題） 4. PowerPointの基礎的な操作方法を理解し、プレゼンテーションのためのスライドを作成できる。（課題） 5. 著作権や著作権を中心に、コンピュータで情報を扱う際の危険性やルールを説明できる。（課題レポート） 6. 数理・データサイエンス・AIの重要性を理解し、説明できる。（課題） | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 授業の中で直接ないしはEmail（またはJuntendo Passport）でフィードバックする。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | | | | | |
| 参考文献 | | | | | |
| 購入を求めるテキストはありません。必要な資料は授業内で配布します。 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>【連絡先】</p> <p>担当： 廣津 信義 E-mail: nhirotsu@juntendo.ac.jp 木藤 友規 E-mail: t.kito@juntendo.ac.jp 山田 泰行 E-mail: yayamada@juntendo.ac.jp</p> <p>【オフィスアワー】</p> <p>廣津： 火曜日12:50-14:45（1号館3階1327室） 木藤： 前期月曜日13:00-13:30、後期：金曜日12:30-13:00（1号館4階1403室） 山田： 月曜日から木曜日12:10-13:50（1号館3階1326室）</p> <p>上記の時間帯には、予約なしに質問や相談に応じますが、他の学生の相談時間とかち合わないようするため、できるだけ前日までにE-mailで予約してください。質問や相談は予約のあった学生を優先します。</p> | | | | |
| 担当教員の実務経験 | 製鉄関連企業においてプラントエンジニアとしての業務にあっていた経験や国立スポーツ科学センターでのスポーツデータの分析業務の経験を生かし、情報処理が実社会で有用であるということも織り込みながら授業をします。 | | | | |
| 備考 | <p>【学修時間】</p> <p>この授業は、演習の授業形態による2単位の科目であり、授業60時間と準備学習30時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。1回の授業時間は100分とする。</p> <p>【その他】</p> <p>中・高教諭1種免許（保健体育）取得するための必修科目 科目：教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 施行規則に定める科目区分又は事項等：情報機器の操作</p> <p>学生の学修進度に応じて、授業計画を変更する場合があります。 受講者数は50名程度を予定していますが、受講者の状況に応じて増減もあります。 授業で扱うソフトウェア（ワープロソフト）・表計算ソフト・プレゼンテーションソフトの活用については、クラスにより内容や学修順が異なる場合がありますので、履修時に確認してください。</p> | | | | |
| 授業計画 | | | | | |

| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 |
|-----|----------------|---|--|---|
| 1 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 テーマ：情報収集と情報交換 機器の基本的な使用方法、及び本授業で身につけるスキルについて学習する。ブラウザとメールの基本を理解し、情報の収集と交換の方法を身につける。ワードプロセッサソフト（Word）の基本機能のうち、書式とレイアウトに関する操作方法を習得する。また、それらの仕組みについて理解を深める。 | コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：1時間) シラバスを読み、授業を受ける意義を確認しておくこと。 (復習：3時間) ガイダンスを受け、自分とっての受講の意義を確認すること。ローマ字入力、スムーズに日本語入力ができるようにすること。 |
| 2 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 社会の変化について、●ビッグデータ、IoT、AI、ロボット、●データの増加、コンピュータの進歩、●Society5.0、データ駆動型社会、●人間の知的活動とAIという観点から考察する。また、演習として、ワードプロセッサソフト（Word）の基本機能のうち、参照機能（目次の作成）とセクション区切りに関する操作方法を習得する。他のソフトウェアとの連携操作を学習する。具体的には、差し込み印刷機能の操作方法とリンクの仕組みについて理解を深める。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 日本語入力でのキーボードのブラインドタッチの練習をしておくこと。 |
| 3 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 社会におけるデータの活用として、●1次データと2次データ、●オープンデータ、●構造化データと非構造化データ、●データの作成と収集という観点から考察する。また、演習として、計算ソフト（Excel）を使って、ワードプロセッサソフト（Word）との、連携操作を学習する。データを集計して、表にまとめる。Excel関数とその仕組みについて理解を深める。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 4 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 AIの利活用の現場について、●データサイエンスのサイクル、●探索的データ解析、●流通、製造、金融、インフラ、ヘルスケア等への利活用という観点から考察する。また、演習として、表計算ソフト（Excel）を使って、指定されたグラフを作成する。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 5 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 データ・AIを活用する上での留意事項について、●個人情報保護法とGDPRなどの国際動向、●データに関する情報モラルという観点から考察する。また、演習として、著作権と剽窃を中心に、情報を扱う際に気を付けるべきことについて情報を整理し、レポートとしてまとめる方法を学ぶ。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 6 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 データを守るための留意事項として、●データ駆動型社会のリスクとその対策、●情報漏洩と情報セキュリティ、●情報を扱う際のルールについて学ぶ。また、演習として、著作権と剽窃を中心に、情報を扱う際に気を付けるべきことについて情報を整理し、レポートとしてまとめる方法を学ぶ。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 7 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 データ・AI活用の最近の状況について、●AIを活用した新たなビジネスモデル、●AIの最新の活用例という観点から考察する。また、演習として、計算ソフト（Excel）を使って、データベースを作成する。また、ピボットテーブルを使用した分析方法について理解を深める。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 8 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 データの読み方①として、●質的データと量的データ（尺度）、●サンプリングとバイアス、●基本統計量、●誤差、欠損値、外れ値という観点から考察する。また、演習として、表計算ソフト（Excel）を使って、文字列操作（数字以外の文字情報に関する処理）を学び、質的データ・量的データの扱いや、サンプリングとバイアス、基本統計量の計算や、誤差、欠損値、外れ値について理解を深める。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 9 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 データの読み方②として、●基本統計量、●因果と相関、●分割表、散布図相関行列、●データの正しい理解という観点から考察する。また、演習として、表計算ソフト（Excel）を使って、相関の計算や分割表・散布図の表示について学習する。単回帰分析や相関行列について理解を深める。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 10 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 プログラミングをテーマに、表計算ソフト（Excel）を使った計算や視覚化により、因果と相関、データの正しい理解について考察する。また、表計算ソフト（Excel VBA）を使って、プログラミングについて学習する。 | コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) プログラミング言語について調べておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 11 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 テーマ：プレゼンテーションソフト（PowerPoint）のアニメーション機能を学ぶ。アニメーション機能を用いて効果的なスライドを作成する。 | コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：1時間) ブラウザを使って、課題の下調べをしておくこと。また、PowerPointに文字入力ができるようにしておくこと。 (復習：4時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 12 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 プレゼンテーションソフト（PowerPoint）のアニメーション機能を学ぶ。アニメーション機能を用いて効果的なスライドを作成する。 | コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) スライドの内容についてアイデアをまとめておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |

| | | | | | |
|---|---|--------|---------|------|----|
| 科目名 | 【新カリ】情報処理演習 ⑤ | 授業形態 | 演習 | | |
| 英語科目名 | 【新カリ】情報処理演習 ⑤ | 対象学年 | 1年 | | |
| 開講学期 | 2022年度後期 | 単位数 | 2単位 | | |
| 代表教員 | 山田 泰行 | ナンバリング | INF1116 | | |
| 担当教員 | 山田 泰行、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | <p>【授業全体の内容】</p> <p>この授業では、情報処理の基礎的な知識や技能の習得を目指す。特に、ワープロソフト・表計算ソフト・プレゼンテーションソフトという、スポーツ健康科学部の学びで必要となる基本的なソフトウェアの活用能力を習得し、情報を収集・整理・分析して資料を作成する技術の向上に重点を置いて授業を行う。情報倫理・インターネットの活用など情報を扱う際の危険性やルールについての理解も深めるとともに、簡単なプログラミングによるデータ処理も行う。</p> | | | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 広く普及しているソフトウェアを中心にコンピュータの基礎的な操作ができる 2. コンピュータを用いて情報を収集・整理・分析し、一般的かつ基礎的な資料を作成できる 3. コンピュータで情報を扱う際の危険性やルールを説明できる | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・自然科学科目の必修科目である。また、中・高保健体育1種免許取得にあたっての必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目は、スポーツ健康科学部の学位授与方針に定める「スポーツ健康科学を中心とした教養」を身に付ける。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | <p>【履修要件】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 受講できる学生は、J-Pass上で履修登録を行った学生に限る。各クラスは定員制で先着順に受け付ける。定員については、別に定め、履修登録前に提示する。 2. 2年生以上の受講希望者について、定員に達したために履修できなかった場合、履修登録期間内（修正期間を除く）にクラス分け担当教員まで申し出ることで2年生以上の学生に限り受講を認める場合がある。 <p>【履修上の注意（科目独自のルール）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 1回の授業について、3分の2以上の出席時間がなく、課題を完成できないときには、その回の授業を欠席扱いとする場合がある。 2. 授業開始時に課題説明を行うため、遅刻した場合には授業に参加できない場合がある。 | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | <p>【成績評価の方法】</p> <p>毎回の授業で課される課題（90%）、課題レポート（10%）を総合して評価する。</p> | | | | |
| 評価基準 | <ol style="list-style-type: none"> 1. グループまたは個人で、与えられた時間内に情報を入力・交換・処理することができる。 2. Wordの基礎的な編集機能を理解し、文書が作成できる。（課題） 3. Excelの表計算と関数の基礎的な仕組みを理解し、データを整理・分析して、図表を作成できる。（課題） 4. PowerPointの基礎的な操作方法を理解し、プレゼンテーションのためのスライドを作成できる。（課題） 5. 著作権や著作権を中心に、コンピュータで情報を扱う際の危険性やルールを説明できる。（課題レポート） 6. 数理・データサイエンス・AIの重要性を理解し、説明できる。（課題） | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 授業の中で直接ないしはEmail（またはJuntendo Passport）でフィードバックする。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | | | | | |
| 参考文献 | | | | | |
| 購入を求めるテキストはありません。必要な資料は授業内で配布します。 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>【連絡先】</p> <p>担当： 廣津 信義 E-mail: nhirotsu@juntendo.ac.jp 木藤 友規 E-mail: t.kito@juntendo.ac.jp 山田 泰行 E-mail: yayamada@juntendo.ac.jp</p> <p>【オフィスアワー】</p> <p>廣津： 火曜日12:50-14:45（1号館3階1327室） 木藤： 前期月曜日13:00-13:30、後期：金曜日12:30-13:00（1号館4階1403室） 山田： 月曜日から木曜日12:10-13:50（1号館3階1326室） 上記の時間帯には、予約なしに質問や相談に応じますが、他の学生の相談時間とかち合わないようするため、できるだけ前日までにE-mailで予約してください。質問や相談は予約のあった学生を優先します。</p> | | | | |
| 担当教員の実務経験 | 製鉄関連企業においてプラントエンジニアとしての業務にあっていた経験や国立スポーツ科学センターでのスポーツデータの分析業務の経験を生かし、情報処理が実社会で有用であるということも織り込みながら授業をします。 | | | | |
| 備考 | <p>【学修時間】</p> <p>この授業は、演習の授業形態による2単位の科目であり、授業60時間と準備学習30時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。1回の授業時間は100分とする。</p> <p>【その他】</p> <p>中・高教諭1種免許（保健体育）取得するための必修科目 科目：教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 施行規則に定める科目区分又は事項等：情報機器の操作</p> <p>学生の学修進度に応じて、授業計画を変更する場合があります。 受講者数は50名程度を予定していますが、受講者の状況に応じて増減もあります。 授業で扱うソフトウェア（ワープロソフト）・表計算ソフト・プレゼンテーションソフトの活用については、クラスにより内容や学修順が異なる場合がありますので、履修時に確認してください。</p> | | | | |
| 授業計画 | | | | | |

| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 |
|-----|----------------|---|--|---|
| 1 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 テーマ：情報収集と情報交換 機器の基本的な使用方法、及び本授業で身につけるスキルについて学習する。ブラウザとメールの基本を理解し、情報の収集と交換の方法を身につける。ワードプロセッサソフト（Word）の基本機能のうち、書式とレイアウトに関する操作方法を習得する。また、それらの仕組みについて理解を深める。 | コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：1時間) シラバスを読み、授業を受ける意義を確認しておくこと。 (復習：3時間) ガイダンスを受け、自分とっての受講の意義を確認すること。ローマ字入力、スムーズに日本語入力ができるようにすること。 |
| 2 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 社会の変化について、●ビッグデータ、IoT、AI、ロボット、●データの増加、コンピュータの進歩、●Society5.0、データ駆動型社会、●人間の知的活動とAIという観点から考察する。また、演習として、ワードプロセッサソフト（Word）の基本機能のうち、参照機能（目次の作成）とセクション区切りに関する操作方法を習得する。他のソフトウェアとの連携操作を学習する。具体的には、差し込み印刷機能の操作方法とリンクの仕組みについて理解を深める。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 日本語入力でのキーボードのブラインドタッチの練習をしておくこと。 |
| 3 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 社会におけるデータの活用として、●1次データと2次データ、●オープンデータ、●構造化データと非構造化データ、●データの作成と収集という観点から考察する。また、演習として、計算ソフト（Excel）を使って、ワードプロセッサソフト（Word）との、連携操作を学習する。データを集計して、表にまとめる。Excel関数とその仕組みについて理解を深める。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 4 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 AIの利活用の現場について、●データサイエンスのサイクル、●探索的データ解析、●流通、製造、金融、インフラ、ヘルスケア等への利活用という観点から考察する。また、演習として、表計算ソフト（Excel）を使って、指定されたグラフを作成する。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 5 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 データ・AIを活用する上での留意事項について、●個人情報保護法とGDPRなどの国際動向、●データに関する情報モラルという観点から考察する。また、演習として、著作権と剽窃を中心に、情報を扱う際に気を付けるべきことについて情報を整理し、レポートとしてまとめる方法を学ぶ。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 6 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 データを守るための留意事項として、●データ駆動型社会のリスクとその対策、●情報漏洩と情報セキュリティ、●情報を扱う際のルールについて学ぶ。また、演習として、著作権と剽窃を中心に、情報を扱う際に気を付けるべきことについて情報を整理し、レポートとしてまとめる方法を学ぶ。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 7 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 データ・AI活用の最近の状況について、●AIを活用した新たなビジネスモデル、●AIの最新の活用例という観点から考察する。また、演習として、計算ソフト（Excel）を使って、データベースを作成する。また、ピボットテーブルを使用した分析方法について理解を深める。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 8 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 データの読み方①として、●質的データと量的データ（尺度）、●サンプリングとバイアス、●基本統計量、●誤差、欠損値、外れ値という観点から考察する。また、演習として、表計算ソフト（Excel）を使って、文字列操作（数字以外の文字情報に関する処理）を学び、質的データ・量的データの扱いや、サンプリングとバイアス、基本統計量の計算や、誤差、欠損値、外れ値について理解を深める。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 9 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 データの読み方②として、●基本統計量、●因果と相関、●分割表、散布図相関行列、●データの正しい理解という観点から考察する。また、演習として、表計算ソフト（Excel）を使って、相関の計算や分割表・散布図の表示について学習する。単回帰分析や相関行列について理解を深める。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 10 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 プログラミングをテーマに、表計算ソフト（Excel）を使った計算や視覚化により、因果と相関、データの正しい理解について考察する。また、表計算ソフト（Excel VBA）を使って、プログラミングについて学習する。 | コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) プログラミング言語について調べておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 11 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 テーマ：プレゼンテーションソフト（PowerPoint）のアニメーション機能を学ぶ。アニメーション機能を用いて効果的なスライドを作成する。 | コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：1時間) ブラウザを使って、課題の下調べをしておくこと。また、PowerPointに文字入力ができるようにしておくこと。 (復習：4時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 12 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 プレゼンテーションソフト（PowerPoint）のアニメーション機能を学ぶ。アニメーション機能を用いて効果的なスライドを作成する。 | コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) スライドの内容についてアイデアをまとめておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |

| | | | | | |
|---|---|--------|---------|------|----|
| 科目名 | 【新カリ】情報処理演習 ⑥ | 授業形態 | 演習 | | |
| 英語科目名 | 【新カリ】情報処理演習 ⑥ | 対象学年 | 1年 | | |
| 開講学期 | 2022年度後期 | 単位数 | 2単位 | | |
| 代表教員 | 山田 泰行 | ナンバリング | INF1116 | | |
| 担当教員 | 山田 泰行、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | <p>【授業全体の内容】 この授業では、情報処理の基礎的な知識や技能の習得を目指す。特に、ワープロソフト・表計算ソフト・プレゼンテーションソフトという、スポーツ健康科学部の学びで必要となる基本的なソフトウェアの活用能力を習得し、情報を収集・整理・分析して資料を作成する技術の向上に重点を置いて授業を行う。情報倫理・インターネットの活用など情報を扱う際の危険性やルールについての理解も深めるとともに、簡単なプログラミングによるデータ処理も行う。</p> | | | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 広く普及しているソフトウェアを中心にコンピュータの基礎的な操作ができる 2. コンピュータを用いて情報を収集・整理・分析し、一般的かつ基礎的な資料を作成できる 3. コンピュータで情報を扱う際の危険性やルールを説明できる | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・自然科学科目の必修科目である。また、中・高保健体育1種免許取得にあたっての必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目は、スポーツ健康科学部の学位授与方針に定める「スポーツ健康科学を中心とした教養」を身に付ける。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | <p>【履修要件】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 受講できる学生は、J-Pass上で履修登録を行った学生に限る。各クラスは定員制で先着順に受け付ける。定員については、別に定め、履修登録前に提示する。 2. 2年生以上の受講希望者について、定員に達したために履修できなかった場合、履修登録期間内（修正期間を除く）にクラス分け担当教員まで申し出ることで2年生以上の学生に限り受講を認める場合がある。 <p>【履修上の注意（科目独自のルール）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 1回の授業について、3分の2以上の出席時間がなく、課題を完成できないときには、その回の授業を欠席扱いとする場合がある。 2. 授業開始時に課題説明を行うため、遅刻した場合には授業に参加できない場合がある。 | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | <p>【成績評価の方法】 毎回の授業で課される課題（90%）、課題レポート（10%）を総合して評価する。</p> | | | | |
| 評価基準 | <ol style="list-style-type: none"> 1. グループまたは個人で、与えられた時間内に情報を入力・交換・処理することができる。 2. Wordの基礎的な編集機能を理解し、文書が作成できる。（課題） 3. Excelの表計算と関数の基礎的な仕組みを理解し、データを整理・分析して、図表を作成できる。（課題） 4. PowerPointの基礎的な操作方法を理解し、プレゼンテーションのためのスライドを作成できる。（課題） 5. 著作権や著作権を中心に、コンピュータで情報を扱う際の危険性やルールを説明できる。（課題レポート） 6. 数理・データサイエンス・AIの重要性を理解し、説明できる。（課題） | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 授業の中で直接ないしはEmail（またはJuntendo Passport）でフィードバックする。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | | | | | |
| 参考文献 | | | | | |
| 購入を求めるテキストはありません。必要な資料は授業内で配布します。 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>【連絡先】 担当： 廣津 信義 E-mail: nhirotsu@juntendo.ac.jp 木藤 友規 E-mail: t.kito@juntendo.ac.jp 山田 泰行 E-mail: yayamada@juntendo.ac.jp</p> <p>【オフィスアワー】 廣津： 火曜日12:50-14:45（1号館3階1327室） 木藤： 前期月曜日13:00-13:30、後期：金曜日12:30-13:00（1号館4階1403室） 山田： 月曜日から木曜日12:10-13:50（1号館3階1326室） 上記の時間帯には、予約なしに質問や相談に応じますが、他の学生の相談時間とかち合わないようするため、できるだけ前日までにE-mailで予約してください。質問や相談は予約のあった学生を優先します。</p> | | | | |
| 担当教員の実務経験 | 製鉄関連企業においてプラントエンジニアとしての業務にあっていた経験や国立スポーツ科学センターでのスポーツデータの分析業務の経験を生かし、情報処理が実社会で有用であるということも織り込みながら授業をします。 | | | | |
| 備考 | <p>【学修時間】 この授業は、演習の授業形態による2単位の科目であり、授業60時間と準備学習30時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。1回の授業時間は100分とする。</p> <p>【その他】 中・高教諭1種免許（保健体育）取得するための必修科目 科目：教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 施行規則に定める科目区分又は事項等：情報機器の操作</p> <p>学生の学修進度に応じて、授業計画を変更する場合があります。 受講者数は50名程度を予定していますが、受講者の状況に応じて増減もあります。 授業で扱うソフトウェア（ワープロソフト）・表計算ソフト・プレゼンテーションソフトの活用については、クラスにより内容や学修順が異なる場合がありますので、履修時に確認してください。</p> | | | | |
| 授業計画 | | | | | |

| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 |
|-----|----------------|---|--|--|
| 1 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 テーマ：情報収集と情報交換 機器の基本的な使用方法、及び本授業で身につけるスキルについて学習する。ブラウザとメールの基本を理解し、情報の収集と交換の方法を身につける。ワードプロセッサソフト（Word）の基本機能のうち、書式とレイアウトに関する操作方法を習得する。また、それらの仕組みについて理解を深める。 | コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：1時間) シラバスを読み、授業を受ける意義を確認しておくこと。 (復習：3時間) ガイダンスを受け、自分とっての受講の意義を確認すること。ローマ字入力で、スムーズに日本語入力ができるようにすること。 |
| 2 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 社会の変化について、●ビッグデータ、IoT、AI、ロボット、●データの増加、コンピュータの進歩、●Society5.0、データ駆動型社会、●人間の知的活動とAIという観点から考察する。また、演習として、ワードプロセッサソフト（Word）の基本機能のうち、参照機能（目次の作成）とセクション区切りに関する操作方法を習得する。他のソフトウェアとの連携操作を学習する。具体的には、差し込み印刷機能の操作方法とリンクの仕組みについて理解を深める。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 日本語入力でのキーボードのブラインドタッチの練習をしておくこと。 |
| 3 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 社会におけるデータの活用として、●1次データと2次データ、●オープンデータ、●構造化データと非構造化データ、●データの作成と収集という観点から考察する。また、演習として、計算ソフト（Excel）を使って、ワードプロセッサソフト（Word）との、連携操作を学習する。データを集計して、表にまとめる。Excel関数とその仕組みについて理解を深める。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 4 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 AIの利活用の現場について、●データサイエンスのサイクル、●探索的データ解析、●流通、製造、金融、インフラ、ヘルスケア等への利活用という観点から考察する。また、演習として、表計算ソフト（Excel）を使って、指定されたグラフを作成する。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 5 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 データ・AIを活用する上での留意事項について、●個人情報保護法とGDPRなどの国際動向、●データに関する情報モラルという観点から考察する。また、演習として、著作権と剽窃を中心に、情報を扱う際に気を付けるべきことについて情報を整理し、レポートとしてまとめる方法を学ぶ。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 6 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 データを守るための留意事項として、●データ駆動型社会のリスクとその対策、●情報漏洩と情報セキュリティ、●情報を扱う際のルールについて学ぶ。また、演習として、著作権と剽窃を中心に、情報を扱う際に気を付けるべきことについて情報を整理し、レポートとしてまとめる方法を学ぶ。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 7 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 データ・AI活用の最近の状況について、●AIを活用した新たなビジネスモデル、●AIの最新の活用例という観点から考察する。また、演習として、計算ソフト（Excel）を使って、データベースを作成する。また、ピボットテーブルを使用した分析方法について理解を深める。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 8 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 データの読み方①として、●質的データと量的データ（尺度）、●サンプリングとバイアス、●基本統計量、●誤差、欠損値、外れ値という観点から考察する。また、演習として、表計算ソフト（Excel）を使って、文字列操作（数字以外の文字情報に関する処理）を学び、質的データ・量的データの扱いや、サンプリングとバイアス、基本統計量の計算や、誤差、欠損値、外れ値について理解を深める。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 9 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 データの読み方②として、●基本統計量、●因果と相関、●分割表、散布図相関行列、●データの正しい理解という観点から考察する。また、演習として、表計算ソフト（Excel）を使って、相関の計算や分割表・散布図の表示について学習する。単回帰分析や相関行列について理解を深める。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 10 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 プログラミングをテーマに、表計算ソフト（Excel）を使った計算や視覚化により、因果と相関、データの正しい理解について考察する。また、表計算ソフト（Excel VBA）を使って、プログラミングについて学習する。 | コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) プログラミング言語について調べておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 11 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 テーマ：プレゼンテーションソフト（PowerPoint）のアニメーション機能を学ぶ。アニメーション機能を用いて効果的なスライドを作成する。 | コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：1時間) ブラウザを使って、課題の下調べをしておくこと。また、PowerPointに文字入力ができるようにしておくこと。 (復習：4時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 12 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 プレゼンテーションソフト（PowerPoint）のアニメーション機能を学ぶ。アニメーション機能を用いて効果的なスライドを作成する。 | コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) スライドの内容についてアイデアをまとめておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |

| | | | | | |
|---|---|--------|---------|------|----|
| 科目名 | 【新カリ】情報処理演習 ⑦ | 授業形態 | 演習 | | |
| 英語科目名 | 【新カリ】情報処理演習 ⑦ | 対象学年 | 1年 | | |
| 開講学期 | 2022年度後期 | 単位数 | 2単位 | | |
| 代表教員 | 山田 泰行 | ナンバリング | INF1116 | | |
| 担当教員 | 山田 泰行、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | <p>【授業全体の内容】</p> <p>この授業では、情報処理の基礎的な知識や技能の習得を目指す。特に、ワープロソフト・表計算ソフト・プレゼンテーションソフトという、スポーツ健康科学部の学びで必要となる基本的なソフトウェアの活用能力を習得し、情報を収集・整理・分析して資料を作成する技術の向上に重点を置いて授業を行う。情報倫理・インターネットの活用など情報を扱う際の危険性やルールについての理解も深めるとともに、簡単なプログラミングによるデータ処理も行う。</p> | | | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 広く普及しているソフトウェアを中心にコンピュータの基礎的な操作ができる 2. コンピュータを用いて情報を収集・整理・分析し、一般的かつ基礎的な資料を作成できる 3. コンピュータで情報を扱う際の危険性やルールを説明できる | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・自然科学科目の必修科目である。また、中・高保健体育1種免許取得にあたっての必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目は、スポーツ健康科学部の学位授与方針に定める「スポーツ健康科学を中心とした教養」を身に付ける。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | <p>【履修要件】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 受講できる学生は、J-Pass上で履修登録を行った学生に限る。各クラスは定員制で先着順に受け付ける。定員については、別に定め、履修登録前に提示する。 2. 2年生以上の受講希望者について、定員に達したために履修できなかった場合、履修登録期間内（修正期間を除く）にクラス分け担当教員まで申し出ることで2年生以上の学生に限り受講を認める場合がある。 <p>【履修上の注意（科目独自のルール）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 1回の授業について、3分の2以上の出席時間がなく、課題を完成できないときには、その回の授業を欠席扱いとする場合がある。 2. 授業開始時に課題説明を行うため、遅刻した場合には授業に参加できない場合がある。 | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | <p>【成績評価の方法】</p> <p>毎回の授業で課される課題（90%）、課題レポート（10%）を総合して評価する。</p> | | | | |
| 評価基準 | <ol style="list-style-type: none"> 1. グループまたは個人で、与えられた時間内に情報を入力・交換・処理することができる。 2. Wordの基礎的な編集機能を理解し、文書が作成できる。（課題） 3. Excelの表計算と関数の基礎的な仕組みを理解し、データを整理・分析して、図表を作成できる。（課題） 4. PowerPointの基礎的な操作方法を理解し、プレゼンテーションのためのスライドを作成できる。（課題） 5. 著作権や著作権を中心に、コンピュータで情報を扱う際の危険性やルールを説明できる。（課題レポート） 6. 数理・データサイエンス・AIの重要性を理解し、説明できる。（課題） | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 授業の中で直接ないしはEmail（またはJuntendo Passport）でフィードバックする。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| 参考文献 | | | | | |
| 購入を求めるテキストはありません。必要な資料は授業内で配布します。 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>【連絡先】</p> <p>担当： 廣津 信義 E-mail: nhirotsu@juntendo.ac.jp 木藤 友規 E-mail: t.kito@juntendo.ac.jp 山田 泰行 E-mail: yayamada@juntendo.ac.jp</p> <p>【オフィスアワー】</p> <p>廣津： 火曜日12:50-14:45（1号館3階1327室） 木藤： 前期月曜日13:00-13:30、後期：金曜日12:30-13:00（1号館4階1403室） 山田： 月曜日から木曜日12:10-13:50（1号館3階1326室）</p> <p>上記の時間帯には、予約なしに質問や相談に応じますが、他の学生の相談時間とかち合わないようするため、できるだけ前日までにE-mailで予約してください。質問や相談は予約のあった学生を優先します。</p> | | | | |
| 担当教員の実務経験 | 製鉄関連企業においてプラントエンジニアとしての業務にあっていた経験や国立スポーツ科学センターでのスポーツデータの分析業務の経験を生かし、情報処理が実社会で有用であるということも織り込みながら授業をします。 | | | | |
| 備考 | <p>【学修時間】</p> <p>この授業は、演習の授業形態による2単位の科目であり、授業60時間と準備学習30時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。1回の授業時間は100分とする。</p> <p>【その他】</p> <p>中・高教諭1種免許（保健体育）取得するための必修科目 科目：教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 施行規則に定める科目区分又は事項等：情報機器の操作</p> <p>学生の学修進度に応じて、授業計画を変更する場合があります。 受講者数は50名程度を予定していますが、受講者の状況に応じて増減もあります。 授業で扱うソフトウェア（ワープロソフト）・表計算ソフト・プレゼンテーションソフトの活用については、クラスにより内容や学修順が異なる場合がありますので、履修時に確認してください。</p> | | | | |
| 授業計画 | | | | | |

| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 |
|-----|----------------|---|--|---|
| 1 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 テーマ：情報収集と情報交換 機器の基本的な使用方法、及び本授業で身につけるスキルについて学習する。ブラウザとメールの基本を理解し、情報の収集と交換の方法を身につける。ワードプロセッサソフト（Word）の基本機能のうち、書式とレイアウトに関する操作方法を習得する。また、それらの仕組みについて理解を深める。 | コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：1時間) シラバスを読み、授業を受ける意義を確認しておくこと。 (復習：3時間) ガイダンスを受け、自分とっての受講の意義を確認すること。ローマ字入力、スムーズに日本語入力ができるようにすること。 |
| 2 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 社会の変化について、●ビッグデータ、IoT、AI、ロボット、●データの増加、コンピュータの進歩、●Society5.0、データ駆動型社会、●人間の知的活動とAIという観点から考察する。また、演習として、ワードプロセッサソフト（Word）の基本機能のうち、参照機能（目次の作成）とセクション区切りに関する操作方法を習得する。他のソフトウェアとの連携操作を学習する。具体的には、差し込み印刷機能の操作方法とリンクの仕組みについて理解を深める。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 日本語入力でのキーボードのブラインドタッチの練習をしておくこと。 |
| 3 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 社会におけるデータの活用として、●1次データと2次データ、●オープンデータ、●構造化データと非構造化データ、●データの作成と収集という観点から考察する。また、演習として、計算ソフト（Excel）を使って、ワードプロセッサソフト（Word）との、連携操作を学習する。データを集計して、表にまとめる。Excel関数とその仕組みについて理解を深める。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 4 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 AIの利活用の現場について、●データサイエンスのサイクル、●探索的データ解析、●流通、製造、金融、インフラ、ヘルスケア等への利活用という観点から考察する。また、演習として、表計算ソフト（Excel）を使って、指定されたグラフを作成する。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 5 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 データ・AIを活用する上での留意事項について、●個人情報保護法とGDPRなどの国際動向、●データに関する情報モラルという観点から考察する。また、演習として、著作権と剽窃を中心に、情報を扱う際に気を付けるべきことについて情報を整理し、レポートとしてまとめる方法を学ぶ。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 6 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 データを守るための留意事項として、●データ駆動型社会のリスクとその対策、●情報漏洩と情報セキュリティ、●情報を扱う際のルールについて学ぶ。また、演習として、著作権と剽窃を中心に、情報を扱う際に気を付けるべきことについて情報を整理し、レポートとしてまとめる方法を学ぶ。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 7 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 データ・AI活用の最近の状況について、●AIを活用した新たなビジネスモデル、●AIの最新の活用例という観点から考察する。また、演習として、計算ソフト（Excel）を使って、データベースを作成する。また、ピボットテーブルを使用した分析方法について理解を深める。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 8 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 データの読み方①として、●質的データと量的データ（尺度）、●サンプリングとバイアス、●基本統計量、●誤差、欠損値、外れ値という観点から考察する。また、演習として、表計算ソフト（Excel）を使って、文字列操作（数字以外の文字情報に関する処理）を学び、質的データ・量的データの扱いや、サンプリングとバイアス、基本統計量の計算や、誤差、欠損値、外れ値について理解を深める。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 9 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 データの読み方②として、●基本統計量、●因果と相関、●分割表、散布図相関行列、●データの正しい理解という観点から考察する。また、演習として、表計算ソフト（Excel）を使って、相関の計算や分割表・散布図の表示について学習する。単回帰分析や相関行列について理解を深める。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 10 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 プログラミングをテーマに、表計算ソフト（Excel）を使った計算や視覚化により、因果と相関、データの正しい理解について考察する。また、表計算ソフト（Excel VBA）を使って、プログラミングについて学習する。 | コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) プログラミング言語について調べておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 11 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 テーマ：プレゼンテーションソフト（PowerPoint）のアニメーション機能を学ぶ。アニメーション機能を用いて効果的なスライドを作成する。 | コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：1時間) ブラウザを使って、課題の下調べをしておくこと。また、PowerPointに文字入力ができるようにしておくこと。 (復習：4時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 12 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 プレゼンテーションソフト（PowerPoint）のアニメーション機能を学ぶ。アニメーション機能を用いて効果的なスライドを作成する。 | コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) スライドの内容についてアイデアをまとめておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |

| | | | | | |
|---|---|--------|---------|------|----|
| 科目名 | 【新カリ】情報処理演習 ⑩ | 授業形態 | 演習 | | |
| 英語科目名 | 【新カリ】情報処理演習 ⑩ | 対象学年 | 1年 | | |
| 開講学期 | 2022年度後期 | 単位数 | 2単位 | | |
| 代表教員 | 木藤 友規 | ナンバリング | INF1116 | | |
| 担当教員 | 木藤 友規、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | <p>【授業全体の内容】</p> <p>この授業では、情報処理の基礎的な知識や技能の習得を目指す。特に、ワープロソフト・表計算ソフト・プレゼンテーションソフトという、スポーツ健康科学部の学びで必要となる基本的なソフトウェアの活用能力を習得し、情報を収集・整理・分析して資料を作成する技術の向上に重点を置いて授業を行う。情報倫理・インターネットの活用など情報を扱う際の危険性やルールについての理解も深めるとともに、簡単なプログラミングによるデータ処理も行う。</p> | | | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 広く普及しているソフトウェアを中心にコンピュータの基礎的な操作ができる 2. コンピュータを用いて情報を収集・整理・分析し、一般的かつ基礎的な資料を作成できる 3. コンピュータで情報を扱う際の危険性やルールを説明できる | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・自然科学科目の必修科目である。また、中・高保健体育1種免許取得にあたっての必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目は、スポーツ健康科学部の学位授与方針に定める「スポーツ健康科学を中心とした教養」を身に付ける。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | <p>【履修要件】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 受講できる学生は、J-Pass上で履修登録を行った学生に限る。各クラスは定員制で先着順に受け付ける。定員については、別に定め、履修登録前に提示する。 2. 2年生以上の受講希望者について、定員に達したために履修できなかった場合、履修登録期間内（修正期間を除く）にクラス分け担当教員まで申し出ることで2年生以上の学生に限り受講を認める場合がある。 <p>【履修上の注意（科目独自のルール）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 1回の授業について、3分の2以上の出席時間がなく、課題を完成できないときには、その回の授業を欠席扱いとする場合がある。 2. 授業開始時に課題説明を行うため、遅刻した場合には授業に参加できない場合がある。 | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | <p>【成績評価の方法】</p> <p>毎回の授業で課される課題（90%）、課題レポート（10%）を総合して評価する。</p> | | | | |
| 評価基準 | <ol style="list-style-type: none"> 1. グループまたは個人で、与えられた時間内に情報を入力・交換・処理することができる。 2. Wordの基礎的な編集機能を理解し、文書が作成できる。（課題） 3. Excelの表計算と関数の基礎的な仕組みを理解し、データを整理・分析して、図表を作成できる。（課題） 4. PowerPointの基礎的な操作方法を理解し、プレゼンテーションのためのスライドを作成できる。（課題） 5. 著作権や著作権を中心に、コンピュータで情報を扱う際の危険性やルールを説明できる。（課題レポート） 6. 数理・データサイエンス・AIの重要性を理解し、説明できる。（課題） | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 授業の中で直接ないしはEmail（またはJuntendo Passport）でフィードバックする。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| 参考文献 | | | | | |
| 購入を求めるテキストはありません。必要な資料は授業内で配布します。 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>【連絡先】</p> <p>担当： 廣津 信義 E-mail: nhirotsu@juntendo.ac.jp 木藤 友規 E-mail: t.kito@juntendo.ac.jp 山田 泰行 E-mail: yayamada@juntendo.ac.jp</p> <p>【オフィスアワー】</p> <p>廣津： 火曜日12:50-14:45（1号館3階1327室） 木藤： 前期月曜日13:00-13:30、後期：金曜日12:30-13:00（1号館4階1403室） 山田： 月曜日から木曜日12:10-13:50（1号館3階1326室）</p> <p>上記の時間帯には、予約なしに質問や相談に応じますが、他の学生の相談時間とかち合わないようするため、できるだけ前日までにE-mailで予約してください。質問や相談は予約のあった学生を優先します。</p> | | | | |
| 担当教員の実務経験 | 製鉄関連企業においてプラントエンジニアとしての業務にあっていた経験や国立スポーツ科学センターでのスポーツデータの分析業務の経験を生かし、情報処理が実社会で有用であるということも織り込みながら授業をします。 | | | | |
| 備考 | <p>【学修時間】</p> <p>この授業は、演習の授業形態による2単位の科目であり、授業60時間と準備学習30時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。1回の授業時間は100分とする。</p> <p>【その他】</p> <p>中・高教諭1種免許（保健体育）取得するための必修科目 科目：教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 施行規則に定める科目区分又は事項等：情報機器の操作</p> <p>学生の学修進度に応じて、授業計画を変更する場合があります。 受講者数は50名程度を予定していますが、受講者の状況に応じて増減もあります。 授業で扱うソフトウェア（ワープロソフト）・表計算ソフト・プレゼンテーションソフトの活用については、クラスにより内容や学修順が異なる場合がありますので、履修時に確認してください。</p> | | | | |
| 授業計画 | | | | | |

| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 |
|-----|----------------|---|--|--|
| 1 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 テーマ：情報収集と情報交換 機器の基本的な使用方法、及び本授業で身につけるスキルについて学習する。ブラウザとメールの基本を理解し、情報の収集と交換の方法を身につける。ワードプロセッサソフト（Word）の基本機能のうち、書式とレイアウトに関する操作方法を習得する。また、それらの仕組みについて理解を深める。 | コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：1時間) シラバスを読み、授業を受ける意義を確認しておくこと。 (復習：3時間) ガイダンスを受け、自分とっての受講の意義を確認すること。ローマ字入力で、スムーズに日本語入力ができるようにすること。 |
| 2 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 社会の変化について、●ビッグデータ、IoT、AI、ロボット、●データの増加、コンピュータの進歩、●Society5.0、データ駆動型社会、●人間の知的活動とAIという観点から考察する。また、演習として、ワードプロセッサソフト（Word）の基本機能のうち、参照機能（目次の作成）とセクション区切りに関する操作方法を習得する。他のソフトウェアとの連携操作を学習する。具体的には、差し込み印刷機能の操作方法とリンクの仕組みについて理解を深める。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 日本語入力でのキーボードのブラインドタッチの練習をしておくこと。 |
| 3 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 社会におけるデータの活用として、●1次データと2次データ、●オープンデータ、●構造化データと非構造化データ、●データの作成と収集という観点から考察する。また、演習として、計算ソフト（Excel）を使って、ワードプロセッサソフト（Word）との、連携操作を学習する。データを集計して、表にまとめる。Excel関数とその仕組みについて理解を深める。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 4 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 AIの利活用の現場について、●データサイエンスのサイクル、●探索的データ解析、●流通、製造、金融、インフラ、ヘルスケア等への利活用という観点から考察する。また、演習として、表計算ソフト（Excel）を使って、指定されたグラフを作成する。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 5 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 データ・AIを活用する上での留意事項について、●個人情報保護法とGDPRなどの国際動向、●データに関する情報モラルという観点から考察する。また、演習として、著作権と剽窃を中心に、情報を扱う際に気を付けるべきことについて情報を整理し、レポートとしてまとめる方法を学ぶ。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 6 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 データを守るための留意事項として、●データ駆動型社会のリスクとその対策、●情報漏洩と情報セキュリティ、●情報を扱う際のルールについて学ぶ。また、演習として、著作権と剽窃を中心に、情報を扱う際に気を付けるべきことについて情報を整理し、レポートとしてまとめる方法を学ぶ。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 7 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 データ・AI活用の最近の状況について、●AIを活用した新たなビジネスモデル、●AIの最新の活用例という観点から考察する。また、演習として、計算ソフト（Excel）を使って、データベースを作成する。また、ピボットテーブルを使用した分析方法について理解を深める。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 8 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 データの読み方①として、●質的データと量的データ（尺度）、●サンプリングとバイアス、●基本統計量、●誤差、欠損値、外れ値という観点から考察する。また、演習として、表計算ソフト（Excel）を使って、文字列操作（数字以外の文字情報に関する処理）を学び、質的データ・量的データの扱いや、サンプリングとバイアス、基本統計量の計算や、誤差、欠損値、外れ値について理解を深める。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 9 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 データの読み方②として、●基本統計量、●因果と相関、●分割表、散布図相関行列、●データの正しい理解という観点から考察する。また、演習として、表計算ソフト（Excel）を使って、相関の計算や分割表・散布図の表示について学習する。単回帰分析や相関行列について理解を深める。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 10 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 プログラミングをテーマに、表計算ソフト（Excel）を使った計算や視覚化により、因果と相関、データの正しい理解について考察する。また、表計算ソフト（Excel VBA）を使って、プログラミングについて学習する。 | コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) プログラミング言語について調べておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 11 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 テーマ：プレゼンテーションソフト（PowerPoint）のアニメーション機能を学ぶ。アニメーション機能を用いて効果的なスライドを作成する。 | コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：1時間) ブラウザを使って、課題の下調べをしておくこと。また、PowerPointに文字入力ができるようにしておくこと。 (復習：4時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 12 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 プレゼンテーションソフト（PowerPoint）のアニメーション機能を学ぶ。アニメーション機能を用いて効果的なスライドを作成する。 | コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) スライドの内容についてアイデアをまとめておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |

| | | | | | |
|---|--|--------|---------|------|----|
| 科目名 | 【新カリ】情報処理演習 ① | 授業形態 | 演習 | | |
| 英語科目名 | 【新カリ】情報処理演習 ① | 対象学年 | 1年 | | |
| 開講学期 | 2022年度後期 | 単位数 | 2単位 | | |
| 代表教員 | 木藤 友規 | ナンバリング | INF1116 | | |
| 担当教員 | 木藤 友規、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | 【授業全体の内容】 この授業では、情報処理の基礎的な知識や技能の習得を目指す。特に、ワープロソフト・表計算ソフト・プレゼンテーションソフトという、スポーツ健康科学部の学びで必要となる基本的なソフトウェアの活用能力を習得し、情報を収集・整理・分析して資料を作成する技術の向上に重点を置いて授業を行う。情報倫理・インターネットの活用など情報を扱う際の危険性やルールについての理解も深めるとともに、簡単なプログラミングによるデータ処理も行う。 | | | | |
| 到達目標 | 1. 広く普及しているソフトウェアを中心にコンピュータの基礎的な操作ができる 2. コンピュータを用いて情報を収集・整理・分析し、一般的かつ基礎的な資料を作成できる 3. コンピュータで情報を扱う際の危険性やルールを説明できる | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・自然科学科目の必修科目である。また、中・高保健体育1種免許取得にあたっての必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目は、スポーツ健康科学部の学位授与方針に定める「スポーツ健康科学を中心とした教養」を身に付ける。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | 【履修要件】 1. 受講できる学生は、J-Pass上で履修登録を行った学生に限る。各クラスは定員制で先着順に受け付ける。定員については、別に定め、履修登録前に提示する。 2. 2年生以上の受講希望者について、定員に達したために履修できなかった場合、履修登録期間内（修正期間を除く）にクラス分け担当教員まで申し出ることで2年生以上の学生に限り受講を認める場合がある。 【履修上の注意（科目独自のルール）】 1. 1回の授業について、3分の2以上の出席時間がなく、課題を完成できないときには、その回の授業を欠席扱いとする場合がある。 2. 授業開始時に課題説明を行うため、遅刻した場合には授業に参加できない場合がある。 | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | 【成績評価の方法】 毎回の授業で課される課題（90%）、課題レポート（10%）を総合して評価する。 | | | | |
| 評価基準 | 1. グループまたは個人で、与えられた時間内に情報を入力・交換・処理することができる。 2. Wordの基礎的な編集機能を理解し、文書が作成できる。（課題） 3. Excelの表計算と関数の基礎的な仕組みを理解し、データを整理・分析して、図表を作成できる。（課題） 4. PowerPointの基礎的な操作方法を理解し、プレゼンテーションのためのスライドを作成できる。（課題） 5. 著作権や著作権を中心に、コンピュータで情報を扱う際の危険性やルールを説明できる。（課題レポート） 6. 数理・データサイエンス・AIの重要性を理解し、説明できる。（課題） | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 授業の中で直接ないしはEmail（またはJuntendo Passport）でフィードバックする。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| 参考文献 | | | | | |
| 購入を求めるテキストはありません。必要な資料は授業内で配布します。 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | 【連絡先】 担当： 廣津 信義 E-mail: nhirotsu@juntendo.ac.jp 木藤 友規 E-mail: t.kito@juntendo.ac.jp 山田 泰行 E-mail: yayamada@juntendo.ac.jp 【オフィスアワー】 廣津： 火曜日12:50-14:45（1号館3階1327室） 木藤： 前期月曜日13:00-13:30、後期：金曜日12:30-13:00（1号館4階1403室） 山田： 月曜日から木曜日12:10-13:50（1号館3階1326室） 上記の時間帯には、予約なしに質問や相談に応じますが、他の学生の相談時間とかち合わないようするため、できるだけ前日までにE-mailで予約してください。質問や相談は予約のあった学生を優先します。 | | | | |
| 担当教員の実務経験 | 製鉄関連企業においてプラントエンジニアとしての業務にあっていた経験や国立スポーツ科学センターでのスポーツデータの分析業務の経験を生かし、情報処理が実社会で有用であるということも織り込みながら授業をします。 | | | | |
| 備考 | 【学修時間】 この授業は、演習の授業形態による2単位の科目であり、授業60時間と準備学習30時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。1回の授業時間は100分とする。 【その他】 中・高教諭1種免許（保健体育）取得するための必修科目 科目：教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 施行規則に定める科目区分又は事項等：情報機器の操作 学生の学修進度に応じて、授業計画を変更する場合があります。 受講者数は50名程度を予定していますが、受講者の状況に応じて増減もあります。 授業で扱うソフトウェア（ワープロソフト）・表計算ソフト・プレゼンテーションソフトの活用については、クラスにより内容や学修順が異なる場合がありますので、履修時に確認してください。 | | | | |
| 授業計画 | | | | | |

| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 |
|-----|----------------|---|--|---|
| 1 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 テーマ：情報収集と情報交換 機器の基本的な使用方法、及び本授業で身につけるスキルについて学習する。ブラウザとメールの基本を理解し、情報の収集と交換の方法を身につける。ワードプロセッサソフト（Word）の基本機能のうち、書式とレイアウトに関する操作方法を習得する。また、それらの仕組みについて理解を深める。 | コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：1時間) シラバスを読み、授業を受ける意義を確認しておくこと。 (復習：3時間) ガイダンスを受け、自分とっての受講の意義を確認すること。ローマ字入力、スムーズに日本語入力ができるようにすること。 |
| 2 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 社会の変化について、●ビッグデータ、IoT、AI、ロボット、●データの増加、コンピュータの進歩、●Society5.0、データ駆動型社会、●人間の知的活動とAIという観点から考察する。また、演習として、ワードプロセッサソフト（Word）の基本機能のうち、参照機能（目次の作成）とセクション区切りに関する操作方法を習得する。他のソフトウェアとの連携操作を学習する。具体的には、差し込み印刷機能の操作方法とリンクの仕組みについて理解を深める。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 日本語入力でのキーボードのブラインドタッチの練習をしておくこと。 |
| 3 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 社会におけるデータの活用として、●1次データと2次データ、●オープンデータ、●構造化データと非構造化データ、●データの作成と収集という観点から考察する。また、演習として、計算ソフト（Excel）を使って、ワードプロセッサソフト（Word）との、連携操作を学習する。データを集計して、表にまとめる。Excel関数とその仕組みについて理解を深める。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 4 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 AIの利活用の現場について、●データサイエンスのサイクル、●探索的データ解析、●流通、製造、金融、インフラ、ヘルスケア等への利活用という観点から考察する。また、演習として、表計算ソフト（Excel）を使って、指定されたグラフを作成する。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 5 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 データ・AIを活用する上での留意事項について、●個人情報保護法とGDPRなどの国際動向、●データに関する情報モラルという観点から考察する。また、演習として、著作権と剽窃を中心に、情報を扱う際に気を付けるべきことについて情報を整理し、レポートとしてまとめる方法を学ぶ。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 6 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 データを守るための留意事項として、●データ駆動型社会のリスクとその対策、●情報漏洩と情報セキュリティ、●情報を扱う際のルールについて学ぶ。また、演習として、著作権と剽窃を中心に、情報を扱う際に気を付けるべきことについて情報を整理し、レポートとしてまとめる方法を学ぶ。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 7 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 データ・AI活用の最近の状況について、●AIを活用した新たなビジネスモデル、●AIの最新の活用例という観点から考察する。また、演習として、計算ソフト（Excel）を使って、データベースを作成する。また、ピボットテーブルを使用した分析方法について理解を深める。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 8 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 データの読み方①として、●質的データと量的データ（尺度）、●サンプリングとバイアス、●基本統計量、●誤差、欠損値、外れ値という観点から考察する。また、演習として、表計算ソフト（Excel）を使って、文字列操作（数字以外の文字情報に関する処理）を学び、質的データ・量的データの扱いや、サンプリングとバイアス、基本統計量の計算や、誤差、欠損値、外れ値について理解を深める。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 9 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 データの読み方②として、●基本統計量、●因果と相関、●分割表、散布図相関行列、●データの正しい理解という観点から考察する。また、演習として、表計算ソフト（Excel）を使って、相関の計算や分割表・散布図の表示について学習する。単回帰分析や相関行列について理解を深める。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 10 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 プログラミングをテーマに、表計算ソフト（Excel）を使った計算や視覚化により、因果と相関、データの正しい理解について考察する。また、表計算ソフト（Excel VBA）を使って、プログラミングについて学習する。 | コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) プログラミング言語について調べておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 11 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 テーマ：プレゼンテーションソフト（PowerPoint）のアニメーション機能を学ぶ。アニメーション機能を用いて効果的なスライドを作成する。 | コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：1時間) ブラウザを使って、課題の下調べをしておくこと。また、PowerPointに文字入力ができるようにしておくこと。 (復習：4時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 12 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 プレゼンテーションソフト（PowerPoint）のアニメーション機能を学ぶ。アニメーション機能を用いて効果的なスライドを作成する。 | コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) スライドの内容についてアイデアをまとめておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |

| | | | | | |
|---|---|--------|---------|------|----|
| 科目名 | 【新カリ】情報処理演習 ⑫ | 授業形態 | 演習 | | |
| 英語科目名 | 【新カリ】情報処理演習 ⑫ | 対象学年 | 1年 | | |
| 開講学期 | 2022年度後期 | 単位数 | 2単位 | | |
| 代表教員 | 木藤 友規 | ナンバリング | INF1116 | | |
| 担当教員 | 木藤 友規、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | <p>【授業全体の内容】</p> <p>この授業では、情報処理の基礎的な知識や技能の習得を目指す。特に、ワープロソフト・表計算ソフト・プレゼンテーションソフトという、スポーツ健康科学部の学びで必要となる基本的なソフトウェアの活用能力を習得し、情報を収集・整理・分析して資料を作成する技術の向上に重点を置いて授業を行う。情報倫理・インターネットの活用など情報を扱う際の危険性やルールについての理解も深めるとともに、簡単なプログラミングによるデータ処理も行う。</p> | | | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 広く普及しているソフトウェアを中心にコンピュータの基礎的な操作ができる 2. コンピュータを用いて情報を収集・整理・分析し、一般的かつ基礎的な資料を作成できる 3. コンピュータで情報を扱う際の危険性やルールを説明できる | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・自然科学科目の必修科目である。また、中・高保健体育1種免許取得にあたっての必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目は、スポーツ健康科学部の学位授与方針に定める「スポーツ健康科学を中心とした教養」を身に付ける。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | <p>【履修要件】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 受講できる学生は、J-Pass上で履修登録を行った学生に限る。各クラスは定員制で先着順に受け付ける。定員については、別に定め、履修登録前に提示する。 2. 2年生以上の受講希望者について、定員に達したために履修できなかった場合、履修登録期間内（修正期間を除く）にクラス分け担当教員まで申し出ることで2年生以上の学生に限り受講を認める場合がある。 <p>【履修上の注意（科目独自のルール）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 1回の授業について、3分の2以上の出席時間がなく、課題を完成できないときには、その回の授業を欠席扱いとする場合がある。 2. 授業開始時に課題説明を行うため、遅刻した場合には授業に参加できない場合がある。 | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | <p>【成績評価の方法】</p> <p>毎回の授業で課される課題（90%）、課題レポート（10%）を総合して評価する。</p> | | | | |
| 評価基準 | <ol style="list-style-type: none"> 1. グループまたは個人で、与えられた時間内に情報を入力・交換・処理することができる。 2. Wordの基礎的な編集機能を理解し、文書が作成できる。（課題） 3. Excelの表計算と関数の基礎的な仕組みを理解し、データを整理・分析して、図表を作成できる。（課題） 4. PowerPointの基礎的な操作方法を理解し、プレゼンテーションのためのスライドを作成できる。（課題） 5. 著作権や著作権を中心に、コンピュータで情報を扱う際の危険性やルールを説明できる。（課題レポート） 6. 数理・データサイエンス・AIの重要性を理解し、説明できる。（課題） | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 授業の中で直接ないしはEmail（またはJuntendo Passport）でフィードバックする。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | | | | | |
| 参考文献 | | | | | |
| 購入を求めるテキストはありません。必要な資料は授業内で配布します。 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>【連絡先】</p> <p>担当： 廣津 信義 E-mail: nhirotsu@juntendo.ac.jp 木藤 友規 E-mail: t.kito@juntendo.ac.jp 山田 泰行 E-mail: yayamada@juntendo.ac.jp</p> <p>【オフィスアワー】</p> <p>廣津： 火曜日12:50-14:45（1号館3階1327室） 木藤： 前期月曜日13:00-13:30、後期：金曜日12:30-13:00（1号館4階1403室） 山田： 月曜日から木曜日12:10-13:50（1号館3階1326室）</p> <p>上記の時間帯には、予約なしに質問や相談に応じますが、他の学生の相談時間とかち合わないようするため、できるだけ前日までにE-mailで予約してください。質問や相談は予約のあった学生を優先します。</p> | | | | |
| 担当教員の実務経験 | 製鉄関連企業においてプラントエンジニアとしての業務にあっていた経験や国立スポーツ科学センターでのスポーツデータの分析業務の経験を生かし、情報処理が実社会で有用であるということも織り込みながら授業をします。 | | | | |
| 備考 | <p>【学修時間】</p> <p>この授業は、演習の授業形態による2単位の科目であり、授業60時間と準備学習30時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。1回の授業時間は100分とする。</p> <p>【その他】</p> <p>中・高教諭1種免許（保健体育）取得するための必修科目 科目：教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 施行規則に定める科目区分又は事項等：情報機器の操作</p> <p>学生の学修進度に応じて、授業計画を変更する場合があります。 受講者数は50名程度を予定していますが、受講者の状況に応じて増減もあります。 授業で扱うソフトウェア（ワープロソフト）・表計算ソフト・プレゼンテーションソフトの活用については、クラスにより内容や学修順が異なる場合がありますので、履修時に確認してください。</p> | | | | |
| 授業計画 | | | | | |

| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 |
|-----|----------------|---|--|---|
| 1 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 テーマ：情報収集と情報交換 機器の基本的な使用方法、及び本授業で身につけるスキルについて学習する。ブラウザとメールの基本を理解し、情報の収集と交換の方法を身につける。ワードプロセッサソフト（Word）の基本機能のうち、書式とレイアウトに関する操作方法を習得する。また、それらの仕組みについて理解を深める。 | コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：1時間) シラバスを読み、授業を受ける意義を確認しておくこと。 (復習：3時間) ガイダンスを受け、自分とっての受講の意義を確認すること。ローマ字入力、スムーズに日本語入力ができるようにすること。 |
| 2 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 社会の変化について、●ビッグデータ、IoT、AI、ロボット、●データの増加、コンピュータの進歩、●Society5.0、データ駆動型社会、●人間の知的活動とAIという観点から考察する。また、演習として、ワードプロセッサソフト（Word）の基本機能のうち、参照機能（目次の作成）とセクション区切りに関する操作方法を習得する。他のソフトウェアとの連携操作を学習する。具体的には、差し込み印刷機能の操作方法とリンクの仕組みについて理解を深める。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 日本語入力でのキーボードのブラインドタッチの練習をしておくこと。 |
| 3 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 社会におけるデータの活用として、●1次データと2次データ、●オープンデータ、●構造化データと非構造化データ、●データの作成と収集という観点から考察する。また、演習として、計算ソフト（Excel）を使って、ワードプロセッサソフト（Word）との、連携操作を学習する。データを集計して、表にまとめる。Excel関数とその仕組みについて理解を深める。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 4 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 AIの利活用の現場について、●データサイエンスのサイクル、●探索的データ解析、●流通、製造、金融、インフラ、ヘルスケア等への利活用という観点から考察する。また、演習として、表計算ソフト（Excel）を使って、指定されたグラフを作成する。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 5 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 データ・AIを活用する上での留意事項について、●個人情報保護法とGDPRなどの国際動向、●データに関する情報モラルという観点から考察する。また、演習として、著作権と剽窃を中心に、情報を扱う際に気を付けるべきことについて情報を整理し、レポートとしてまとめる方法を学ぶ。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 6 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 データを守るための留意事項として、●データ駆動型社会のリスクとその対策、●情報漏洩と情報セキュリティ、●情報を扱う際のルールについて学ぶ。また、演習として、著作権と剽窃を中心に、情報を扱う際に気を付けるべきことについて情報を整理し、レポートとしてまとめる方法を学ぶ。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 7 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 データ・AI活用の最近の状況について、●AIを活用した新たなビジネスモデル、●AIの最新の活用例という観点から考察する。また、演習として、計算ソフト（Excel）を使って、データベースを作成する。また、ピボットテーブルを使用した分析方法について理解を深める。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 8 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 データの読み方①として、●質的データと量的データ（尺度）、●サンプリングとバイアス、●基本統計量、●誤差、欠損値、外れ値という観点から考察する。また、演習として、表計算ソフト（Excel）を使って、文字列操作（数字以外の文字情報に関する処理）を学び、質的データ・量的データの扱いや、サンプリングとバイアス、基本統計量の計算や、誤差、欠損値、外れ値について理解を深める。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 9 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 データの読み方②として、●基本統計量、●因果と相関、●分割表、散布図相関行列、●データの正しい理解という観点から考察する。また、演習として、表計算ソフト（Excel）を使って、相関の計算や分割表・散布図の表示について学習する。単回帰分析や相関行列について理解を深める。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 10 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 プログラミングをテーマに、表計算ソフト（Excel）を使った計算や視覚化により、因果と相関、データの正しい理解について考察する。また、表計算ソフト（Excel VBA）を使って、プログラミングについて学習する。 | コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) プログラミング言語について調べておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 11 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 テーマ：プレゼンテーションソフト（PowerPoint）のアニメーション機能を学ぶ。アニメーション機能を用いて効果的なスライドを作成する。 | コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：1時間) ブラウザを使って、課題の下調べをしておくこと。また、PowerPointに文字入力ができるようにしておくこと。 (復習：4時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 12 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 プレゼンテーションソフト（PowerPoint）のアニメーション機能を学ぶ。アニメーション機能を用いて効果的なスライドを作成する。 | コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) スライドの内容についてアイデアをまとめておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |

| | | | | | |
|---|---|--------|---------|------|----|
| 科目名 | 【新カリ】情報処理演習 ⑮ | 授業形態 | 演習 | | |
| 英語科目名 | 【新カリ】情報処理演習 ⑮ | 対象学年 | 1年 | | |
| 開講学期 | 2022年度後期 | 単位数 | 2単位 | | |
| 代表教員 | 廣津 信義 | ナンバリング | INF1116 | | |
| 担当教員 | 廣津 信義、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | <p>【授業全体の内容】</p> <p>この授業では、情報処理の基礎的な知識や技能の習得を目指す。特に、ワープロソフト・表計算ソフト・プレゼンテーションソフトという、スポーツ健康科学部の学びで必要となる基本的なソフトウェアの活用能力を習得し、情報を収集・整理・分析して資料を作成する技術の向上に重点を置いて授業を行う。情報倫理・インターネットの活用など情報を扱う際の危険性やルールについての理解も深めるとともに、簡単なプログラミングによるデータ処理も行う。</p> | | | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 広く普及しているソフトウェアを中心にコンピュータの基礎的な操作ができる 2. コンピュータを用いて情報を収集・整理・分析し、一般的かつ基礎的な資料を作成できる 3. コンピュータで情報を扱う際の危険性やルールを説明できる | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・自然科学科目の必修科目である。また、中・高保健体育1種免許取得にあたっての必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目は、スポーツ健康科学部の学位授与方針に定める「スポーツ健康科学を中心とした教養」を身に付ける。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | <p>【履修要件】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 受講できる学生は、J-Pass上で履修登録を行った学生に限る。各クラスは定員制で先着順に受け付ける。定員については、別に定め、履修登録前に提示する。 2. 2年生以上の受講希望者について、定員に達したために履修できなかった場合、履修登録期間内（修正期間を除く）にクラス分け担当教員まで申し出ることで2年生以上の学生に限り受講を認める場合がある。 <p>【履修上の注意（科目独自のルール）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 1回の授業について、3分の2以上の出席時間がなく、課題を完成できないときには、その回の授業を欠席扱いとする場合がある。 2. 授業開始時に課題説明を行うため、遅刻した場合には授業に参加できない場合がある。 | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | <p>【成績評価の方法】</p> <p>毎回の授業で課される課題（90%）、課題レポート（10%）を総合して評価する。</p> | | | | |
| 評価基準 | <ol style="list-style-type: none"> 1. グループまたは個人で、与えられた時間内に情報を入力・交換・処理することができる。 2. Wordの基礎的な編集機能を理解し、文書が作成できる。（課題） 3. Excelの表計算と関数の基礎的な仕組みを理解し、データを整理・分析して、図表を作成できる。（課題） 4. PowerPointの基礎的な操作方法を理解し、プレゼンテーションのためのスライドを作成できる。（課題） 5. 著作権や著作権を中心に、コンピュータで情報を扱う際の危険性やルールを説明できる。（課題レポート） 6. 数理・データサイエンス・AIの重要性を理解し、説明できる。（課題） | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 授業の中で直接ないしはEmail（またはJuntendo Passport）でフィードバックする。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | | | | | |
| 参考文献 | | | | | |
| 購入を求めるテキストはありません。必要な資料は授業内で配布します。 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>【連絡先】</p> <p>担当： 廣津 信義 E-mail: nhirotsu@juntendo.ac.jp 木藤 友規 E-mail: t.kito@juntendo.ac.jp 山田 泰行 E-mail: yayamada@juntendo.ac.jp</p> <p>【オフィスアワー】</p> <p>廣津： 火曜日12:50-14:45（1号館3階1327室） 木藤： 前期月曜日13:00-13:30、後期：金曜日12:30-13:00（1号館4階1403室） 山田： 月曜日から木曜日12:10-13:50（1号館3階1326室）</p> <p>上記の時間帯には、予約なしに質問や相談に応じますが、他の学生の相談時間とかち合わないようするため、できるだけ前日までにE-mailで予約してください。質問や相談は予約のあった学生を優先します。</p> | | | | |
| 担当教員の実務経験 | 製鉄関連企業においてプラントエンジニアとしての業務にあっていた経験や国立スポーツ科学センターでのスポーツデータの分析業務の経験を生かし、情報処理が実社会で有用であるということも織り込みながら授業をします。 | | | | |
| 備考 | <p>【学修時間】</p> <p>この授業は、演習の授業形態による2単位の科目であり、授業60時間と準備学習30時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。1回の授業時間は100分とする。</p> <p>【その他】</p> <p>中・高教諭1種免許（保健体育）取得するための必修科目 科目：教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 施行規則に定める科目区分又は事項等：情報機器の操作</p> <p>学生の学修進度に応じて、授業計画を変更する場合があります。 受講者数は50名程度を予定していますが、受講者の状況に応じて増減もあります。 授業で扱うソフトウェア（ワープロソフト）・表計算ソフト・プレゼンテーションソフトの活用については、クラスにより内容や学修順が異なる場合がありますので、履修時に確認してください。</p> | | | | |
| 授業計画 | | | | | |

| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 |
|-----|----------------|---|--|--|
| 1 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 テーマ：情報収集と情報交換 機器の基本的な使用方法、及び本授業で身につけるスキルについて学習する。ブラウザとメールの基本を理解し、情報の収集と交換の方法を身につける。ワードプロセッサソフト（Word）の基本機能のうち、書式とレイアウトに関する操作方法を習得する。また、それらの仕組みについて理解を深める。 | コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：1時間) シラバスを読み、授業を受ける意義を確認しておくこと。 (復習：3時間) ガイダンスを受け、自分とっての受講の意義を確認すること。ローマ字入力で、スムーズに日本語入力ができるようにすること。 |
| 2 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 社会の変化について、●ビッグデータ、IoT、AI、ロボット、●データの増加、コンピュータの進歩、●Society5.0、データ駆動型社会、●人間の知的活動とAIという観点から考察する。また、演習として、ワードプロセッサソフト（Word）の基本機能のうち、参照機能（目次の作成）とセクション区切りに関する操作方法を習得する。他のソフトウェアとの連携操作を学習する。具体的には、差し込み印刷機能の操作方法とリンクの仕組みについて理解を深める。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 日本語入力でのキーボードのブラインドタッチの練習をしておくこと。 |
| 3 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 社会におけるデータの活用として、●1次データと2次データ、●オープンデータ、●構造化データと非構造化データ、●データの作成と収集という観点から考察する。また、演習として、計算ソフト（Excel）を使って、ワードプロセッサソフト（Word）との、連携操作を学習する。データを集計して、表にまとめる。Excel関数とその仕組みについて理解を深める。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 4 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 AIの利活用の現場について、●データサイエンスのサイクル、●探索的データ解析、●流通、製造、金融、インフラ、ヘルスケア等への利活用という観点から考察する。また、演習として、表計算ソフト（Excel）を使って、指定されたグラフを作成する。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 5 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 データ・AIを活用する上での留意事項について、●個人情報保護法とGDPRなどの国際動向、●データに関する情報モラルという観点から考察する。また、演習として、著作権と剽窃を中心に、情報を扱う際に気を付けるべきことについて情報を整理し、レポートとしてまとめる方法を学ぶ。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 6 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 データを守るための留意事項として、●データ駆動型社会のリスクとその対策、●情報漏洩と情報セキュリティ、●情報を扱う際のルールについて学ぶ。また、演習として、著作権と剽窃を中心に、情報を扱う際に気を付けるべきことについて情報を整理し、レポートとしてまとめる方法を学ぶ。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 7 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 データ・AI活用の最近の状況について、●AIを活用した新たなビジネスモデル、●AIの最新の活用例という観点から考察する。また、演習として、計算ソフト（Excel）を使って、データベースを作成する。また、ピボットテーブルを使用した分析方法について理解を深める。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 8 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 データの読み方①として、●質的データと量的データ（尺度）、●サンプリングとバイアス、●基本統計量、●誤差、欠損値、外れ値という観点から考察する。また、演習として、表計算ソフト（Excel）を使って、文字列操作（数字以外の文字情報に関する処理）を学び、質的データ・量的データの扱いや、サンプリングとバイアス、基本統計量の計算や、誤差、欠損値、外れ値について理解を深める。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 9 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 データの読み方②として、●基本統計量、●因果と相関、●分割表、散布図相関行列、●データの正しい理解という観点から考察する。また、演習として、表計算ソフト（Excel）を使って、相関の計算や分割表・散布図の表示について学習する。単回帰分析や相関行列について理解を深める。 | 予習にて視聴したオンデマンド教材の内容について確認する。コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 10 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 プログラミングをテーマに、表計算ソフト（Excel）を使った計算や視覚化により、因果と相関、データの正しい理解について考察する。また、表計算ソフト（Excel VBA）を使って、プログラミングについて学習する。 | コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) プログラミング言語について調べておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 11 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 テーマ：プレゼンテーションソフト（PowerPoint）のアニメーション機能を学ぶ。アニメーション機能を用いて効果的なスライドを作成する。 | コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：1時間) ブラウザを使って、課題の下調べをしておくこと。また、PowerPointに文字入力ができるようにしておくこと。 (復習：4時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |
| 12 | 廣津 木藤 山田 | 【授業内容】 プレゼンテーションソフト（PowerPoint）のアニメーション機能を学ぶ。アニメーション機能を用いて効果的なスライドを作成する。 | コンピュータを使って自ら課題に取り組む。 | (予習：2時間) スライドの内容についてアイデアをまとめておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。 |

| | | | | | |
|--|--|--|--|--|---------|
| 科目名 | 【新カリ】 データサイエンスのための数学 | | | 授業形態 | 講義 |
| 英語科目名 | 【新カリ】 データサイエンスのための数学 | | | 対象学年 | 1年 |
| 開講学期 | 2022年度後期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | 奥野 浩 | | | ナンバリング | MAT1117 |
| 担当教員 | 奥野 浩、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体的内容 | 【授業全体の内容】 本科目は、講義の授業形態で行われる。近年のICTの発達により、多様な分野の様々な種類のデータが容易に収集・活用できるようになっている。本科目では、データの扱いに当たって必須となる数理・データサイエンス・AIの知識について身に付けることを目標とする。また、スポーツ健康科学の分野で基本的な数学の概念や知識を活用し、論理的に思考できる能力を高められるように、具体的な問題を提示し、その取り組みを通して学修を進める。 | | | | |
| 到達目標 | 【授業の到達目標】 1. 数理・データサイエンス・AIに関わる基礎的な数学用語を説明できる。 2. データの分析に必要な数学の基礎的な考え方が理解し説明できる。 3. 2次関数、指数・対数に関する計算ができる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・自然科学科目の選択必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | 【授業の位置づけ（学位授与方針に定められている知識・能力等との関連）】 本科目は、スポーツ健康科学部の学位授与方針に定める「スポーツ健康科学を中心とした幅広い知識と教養、及びそれらの活用能力」を身につけるための科目の一つとして開講され、スポーツ健康科学に関連するどの分野においても必要となり、専門性をもちかつ教養のある人材を育成するための基盤となる。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | 【履修要件】 特になし 【履修上の注意】 1回の授業について、3分の2以上の出席時間がない場合は、その回の授業を欠席扱いとする。 遅刻及び早退3回で、1回分の欠席としてカウントする。 | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | 【成績評価の方法】 期末試験（80%）、毎回の平常点（20%）を総合して評価する。ただし、講義の形式により変更することがある。 | | | | |
| 評価基準 | 【成績評価の基準】 1. 数理・データサイエンス・AIに関わる基礎的な数学用語に関する知識を有している（定期試験）。 2. データの分析に関する数学の基礎的な考え方を理解している（定期試験）。 3. 2次関数、指数・対数に関する計算ができる（定期試験）。 4. 毎回の課題や予習・復習の取り組み状況によって受講態度を評価する（平常点）。 | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 【課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法】 課題の内容は授業中にフィードバックする。 定期試験については、J-PASS上で模範解答を示す。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | | | | | |
| 参考文献 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | 【連絡先】 奥野浩 E-mail: h-okuno[at]juntendo.ac.jp ([at]を@に変更してください) 【オフィスアワー】 日時： 火曜日12:30-14:00 | | | | |
| 担当教員の業務経験 | | | | | |
| 備考 | 【学習時間】 この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。 【その他】 新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。 | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 | |
| 1 | 奥野浩 | 【授業内容】 ガイダンスとして、授業の目的、概要の解説、評価方法と授業の進め方を説明する。 | 【授業方法】 スライドを用いて内容を説明する。 高校までの数学の履修状況についてのアンケートとテストを実施する。 | （予習：1時間） シラバスを読み、他の数学の授業との違いを確認する。 高校までの数学について見直しをする。 （復習：2時間） この授業の概要、授業目的や評価方法、授業の進め方を理解し、高校までの数学でこの授業の概要に関連する部分を復習する。 | |

| | | | | |
|---|-----|---|--|---|
| 2 | 奥野浩 | [授業内容] 一次関数の概念を説明し、式、グラフについて解説する。 | [授業方法] スライドを用いて講義した後、課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する。 高校までに学んだ1次関数の知識についてSGDでまとめる。 | (予習：2時間) 一次関数の式やグラフについて調べてくる。 (復習：2時間) 一次関数の式からグラフ、グラフから式にする方法を復習する。 |
| 3 | 奥野浩 | [授業内容] 一次関数の応用について説明し、考え方や例題について解説する。 | [授業方法] スライドを用いて講義した後、課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する。 | (予習：2時間) 一次関数の概念を理解しておく。 (復習：2時間) 一次関数を用いた応用問題の解法について復習する。 |
| 4 | 奥野浩 | [授業内容] 二次関数の概念を説明し、式、グラフについて解説する。 | [授業方法] スライドを用いて講義した後、課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する。 高校までに学んだ二次関数の知識についてSGDでまとめる。 | (予習：2時間) 二次関数の式やグラフについて調べてくる。 (復習：2時間) 二次関数の式で、一般形から標準形にする方法、二次関数の式をグラフにする方法を復習する。 |
| 5 | 奥野浩 | [授業内容] 二次関数の応用について説明し、考え方や例題について解説する。 | [授業方法] スライドを用いて講義した後、課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する。 | (予習：2時間) 二次関数の概念を理解しておく。 (復習：2時間) 二次関数を用いた応用問題の解法について復習する。 |
| 6 | 奥野浩 | [授業内容] データ・AIの活用領域とその技術①として ・データ・AIの活用領域の進展 ・製造、物流、販売、マーケティング、サービス等での活用 ・仮説検証、知識発見、原因究明、判断支援等 という観点から考察する。また、二次関数と二次方程式の解の判別式の関係について解説する | [授業方法] スライドを用いて講義した後、課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する。 高校までに学んだ二次方程式の知識についてSGDでまとめる。 | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておく (復習：2時間) 二次関数のグラフと解の判別式、二次関数と一次関数のグラフと解の判別式の関係について復習する |
| 7 | 奥野浩 | [授業内容] 指数法則について説明し、指数計算、指数の大小関係について解説する。 | [授業方法] スライドを用いて講義した後、課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する。 高校までに学んだ指数法則の知識についてSGDでまとめる。 | (予習：2時間) 指数法則について調べてくる。 (復習：2.5時間) 指数法則を用いた計算について復習する。 |
| 8 | 奥野浩 | [授業内容] 対数法則について説明し、対数計算、指数の大小関係について解説する。 | [授業方法] スライドを用いて講義した後、課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する。 高校までに学んだ対数の知識についてSGDでまとめる。 | (予習：2時間) 対数法則について調べてくる。 (復習：2.5時間) 対数法則を用いた計算について復習する。 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---------|
| 科目名 | 【新カリ】 データサイエンスのための数学 | | | 授業形態 | 講義 |
| 英語科目名 | 【新カリ】 データサイエンスのための数学 | | | 対象学年 | 1年 |
| 開講学期 | 2022年度後期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | 小宮根 文子 | | | ナンバリング | MAT1117 |
| 担当教員 | 小宮根 文子、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | 【授業全体の内容】 本科目は、講義の授業形態で行われる。近年のICTの発達により、多様な分野の様々な種類のデータが容易に収集・活用できるようになっている中で、データの扱いに当たって必須となる数理・データサイエンス・AIの知識について身に付けることを目標とする。また、スポーツ健康科学の分野で基本的な数学の知識を活用し、論理的に思考できる能力を高められるように、具体的な問題を提示し、その取り組みを通して学修を進める。 | | | | |
| 到達目標 | 1. 数理・データサイエンス・AIに関わる基礎的な数学用語を知る。 2. データの分析に必要な数学の基礎的な考え方が理解できる。 3. 2次関数、指数・対数、微積分に関する計算ができる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・自然科学科目の選択必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目は、「スポーツ健康科学を中心とした幅広い知識と教養」を身につけるための科目の一つとして開講され、スポーツ健康科学に関連するどの分野においても必要となり、専門性をもちかつ教養のある人材を育成するための基盤となる。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | 【履修要件】 特になし 【履修上の注意（科目独自のルール）】 1回の授業について、3分の2以上の出席時間がない場合は、その回の授業を欠席扱いとする。 | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | 【成績評価の方法】 期末試験（85%）、毎回の平常点（15%）を総合して評価する。 | | | | |
| 評価基準 | 1. 数理・データサイエンス・AIに関わる基礎的な数学用語に関する知識を有している（定期試験）。 2. データの分析に関する数学の基礎的な考え方を理解している（定期試験）。 3. 2次関数、指数・対数、微積分に関する計算ができる（定期試験）。 4. 毎回のレポート課題や予習・復習の取り組み状況によって受講態度を評価する（平常点）。 | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| プリント課題の内容は授業中にフィードバックする。定期試験後には要望があれば個別に解説を行う。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | | | | | |
| 参考文献 | | | | | |
| この科目では、必ず用意しなければならないテキストはありません。必要な資料は、授業中に、適宜配布します。一般的な数学のテキスト等を参考にしてもよいです。 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | 【連絡先】 担当：小宮根文子 E-mail：a-komine[at]juntendo.ac.jp（[at]を@に変更してください） 【オフィスアワー】 日時： 場所：非常勤講師室 事前にメールで日程を相談してください。 | | | | |
| 担当教員の実務経験 | システムエンジニアやスポーツ現場でのテクニカルサポートスタッフとしての実務経験を活かし、数学の学習で得られる計算技術だけでなく、論理的思考や発想力も実社会において有効であるということを念頭において授業をします。 | | | | |
| 備考 | 【学修時間】 この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。 【その他】 新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。 | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 | |
| 1 | 小宮根 | 【授業内容】 ガイダンスとして、授業の目的、概要の解説、評価方法と授業の進め方を説明する | スライドを用いて内容を説明する 高校までの数学の履修状況についてアンケートとテストを実施する | （予習：1時間） シラバスを読み、他の数学の授業との違いを確認する 高校までの数学について見直しをする （復習：2時間） この授業の概要、授業目的や評価方法、授業の進め方を理解し、高校までの数学でこの授業の概要に関連する部分を復習する | |

| | | | | |
|----|-----|---|---|---|
| 2 | 小宮根 | [授業内容] 一次関数の概念を説明し、式、グラフ、応用問題について解説する | スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する | (予習：2時間) 一次関数の式やグラフについて調べてくる (復習：2時間) 一次関数の式からグラフ、グラフから式にする方法、一次関数を使った応用問題の解法を復習する |
| 3 | 小宮根 | [授業内容] データ・AIの活用領域とその技術①として ・データ・AIの活用領域の進展 ・製造、物流、販売、マーケティング、サービス等での活用 ・仮説検証、知識発見、原因究明、判断支援等 という観点から考察する。また、二次関数と二次方程式の解の判別式の関係について解説する | スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する | (予習：2時間) オンデマンド教材を視聴しておく (復習：2時間) 二次関数のグラフと解の判別式、二次関数と一次関数のグラフと解の判別式の関係について復習する |
| 4 | 小宮根 | [授業内容] 二次関数と二次方程式の解の判別式の関係について解説する | スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する | (予習：2時間) 二次方程式の解の判別式について調べてくる (復習：2時間) 二次関数のグラフと解の判別式、二次関数と一次関数のグラフと解の判別式の関係について復習する |
| 5 | 小宮根 | [授業内容] 多項式関数の式やグラフについて説明し、接線や接線の傾きについて解説する | スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する | (予習：2時間) 多項式関数の式やグラフについて調べてくる (復習：2.5時間) 多項式関数の式やグラフ、それらの接線や接線の傾きについて復習する |
| 6 | 小宮根 | [授業内容] 微分法の考え方について説明し、導関数の意味や計算方法、多項式関数のグラフの概形の求め方について解説する | スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する | (予習：2時間) 多項式関数の式やグラフ、それらの接線や接線の傾きについて理解しておく (復習：2.5時間) 導関数の意味や計算方法、多項式関数のグラフの概形の求め方について復習する |
| 7 | 小宮根 | [授業内容] 積分法の考え方について説明し、原始関数の意味と不定積分、定積分の計算方法について解説する | スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する | (予習：2時間) 導関数の意味や計算方法を理解しておく (復習：2.5時間) 不定積分、定積分の計算について復習する |
| 8 | 小宮根 | [授業内容] 微分法、積分法の考え方を使った多項式関数のグラフの概形やその接線、多項式関数のグラフと直線で囲まれた面積を求める方法を解説する | スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する | (予習：2時間) 微分法、積分法の考え方を理解しておく (復習：2.5時間) 微分法、積分法の考え方を使った問題について復習する |
| 9 | 小宮根 | [授業内容] 指数・対数法則について説明し、指数・対数計算について解説する | スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する | (予習：2時間) 指数・対数法則について調べてくる (復習：2時間) 指数・対数法則を用いた計算について復習する |
| 10 | 小宮根 | [授業内容] 指数・対数関数の概念を説明し、式、グラフについて解説する | スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する | (予習：2時間) 指数・対数関数の式やグラフについて調べてくる (復習：2時間) 指数・対数関数の式でとりうるx、yの値や対数関数の式をグラフにする方法を復習する |
| 11 | 小宮根 | [授業内容] 指数関数や対数関数のグラフを使い、指数や対数の大小関係について解説する | スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する | (予習：2時間) 指数計算や対数計算、指数関数や対数関数の式やグラフについて理解しておく (復習：2時間) 指数や対数の大小関係について復習する |
| 12 | 小宮根 | [授業内容] 関数の式とグラフで、平行移動、対称や逆関数の関係について解説する | スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する | (予習：2時間) 今まで学習した関数の式やグラフについて理解しておく (復習：2時間) グラフが平行移動や対称移動の関係になる関数の式の関係、逆関数となる関数の式の関係について復習する |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---------|
| 科目名 | 【新カリ】 データサイエンスのための数学 | | | 授業形態 | 講義 |
| 英語科目名 | 【新カリ】 データサイエンスのための数学 | | | 対象学年 | 1年 |
| 開講学期 | 2022年度後期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | 小宮根 文子 | | | ナンバリング | MAT1117 |
| 担当教員 | 小宮根 文子、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | 【授業全体の内容】 本科目は、講義の授業形態で行われる。近年のICTの発達により、多様な分野の様々な種類のデータが容易に収集・活用できるようになっている中で、データの扱いに当たって必須となる数理・データサイエンス・AIの知識について身に付けることを目標とする。また、スポーツ健康科学の分野で基本的な数学の知識を活用し、論理的に思考できる能力を高められるように、具体的な問題を提示し、その取り組みを通して学修を進める。 | | | | |
| 到達目標 | 1. 数理・データサイエンス・AIに関わる基礎的な数学用語を知る。 2. データの分析に必要な数学の基礎的な考え方が理解できる。 3. 2次関数、指数・対数に関する計算ができる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・自然科学科目の選択必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目は、「スポーツ健康科学を中心とした幅広い知識と教養」を身につけるための科目の一つとして開講され、スポーツ健康科学に関連するどの分野においても必要となり、専門性をもちかつ教養のある人材を育成するための基盤となる。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | 【履修要件】 特になし 【履修上の注意（科目独自のルール）】 1回の授業について、3分の2以上の出席時間がない場合は、その回の授業を欠席扱いとする。 | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | 【成績評価の方法】 期末試験（85%）、毎回の平常点（15%）を総合して評価する。 | | | | |
| 評価基準 | 1. 数理・データサイエンス・AIに関わる基礎的な数学用語に関する知識を有している（定期試験）。 2. データの分析に関する数学の基礎的な考え方を理解している（定期試験）。 3. 2次関数、指数・対数に関する計算ができる（定期試験）。 4. 毎回のレポート課題や予習・復習の取り組み状況によって受講態度を評価する（平常点）。 | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| プリント課題の内容は授業中にフィードバックする。定期試験後には要望があれば個別に解説を行う。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | | | | | |
| 参考文献 | | | | | |
| この科目では、必ず用意しなければならないテキストはありません。必要な資料は、授業中に、適宜配布します。一般的な数学のテキスト等を参考にしてもよいです。 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | 【連絡先】 担当： 小宮根文子 E-mail： a-komine[at]juntendo.ac.jp （[at]を@に変更してください） 【オフィスアワー】 日時： 場所：非常勤講師室 事前にメールで日程を相談してください。 | | | | |
| 担当教員の実務経験 | システムエンジニアやスポーツ現場でのテクニカルサポートスタッフとしての実務経験を活かし、数学の学習で得られる計算技術だけでなく、論理的思考や発想力も実社会において有効であるということを念頭において授業をします。 | | | | |
| 備考 | 【学修時間】 この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。 【その他】 新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。 | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 | |
| 1 | 小宮根 | 【授業内容】 ガイダンスとして、授業の目的、概要の解説、評価方法と授業の進め方を説明する | スライドを用いて内容を説明する 高校までの数学の履修状況についてアンケートとテストを実施する | (予習：1時間) シラバスを読み、他の数学の授業との違いを確認する 高校までの数学について見直しをする (復習：2時間) この授業の概要、授業目的や評価方法、授業の進め方を理解し、高校までの数学でこの授業の概要に関連する部分を復習する | |

| | | | | |
|----|-----|--|---|--|
| 2 | 小宮根 | [授業内容] 一次関数の概念を説明し、式、グラフについて解説する | スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する | (予習：2時間) 一次関数の式やグラフについて調べてくる (復習：2時間) 一次関数の式からグラフ、グラフから式にする方法を復習する |
| 3 | 小宮根 | [授業内容] 一次関数の応用について説明し、考え方や例題について解説する | スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する | (予習：2時間) 一次関数の概念を理解しておく (復習：2時間) 一次関数を用いた応用問題の解法について復習する |
| 4 | 小宮根 | [授業内容] 二次関数の概念を説明し、式、グラフについて解説する | スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する | (予習：2時間) 二次関数の式やグラフについて調べてくる (復習：2時間) 二次関数の式で、一般形から標準形にする方法、二次関数の式をグラフにする方法を復習する |
| 5 | 小宮根 | [授業内容] 二次関数の応用について説明し、考え方や例題について解説する | スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する | (予習：2時間) 二次関数の概念を理解しておく (復習：2時間) 二次関数を用いた応用問題の解法について復習する |
| 6 | 小宮根 | [授業内容] 二次関数と二次方程式の解の判別式の関係について解説する | スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する | (予習：2時間) 二次方程式の解の判別式について調べてくる (復習：2時間) 二次関数のグラフと解の判別式、二次関数と一次関数のグラフと解の判別式の関係について復習する |
| 7 | 小宮根 | [授業内容] 指数法則について説明し、指数計算、指数の大小関係について解説する | スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する | (予習：2時間) 指数法則について調べてくる (復習：2.5時間) 指数法則を用いた計算について復習する |
| 8 | 小宮根 | [授業内容] 対数法則について説明し、対数計算、対数の大小関係について解説する | スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する | (予習：2時間) 対数法則について調べてくる (復習：2.5時間) 対数法則を用いた計算について復習する |
| 9 | 小宮根 | [授業内容] 指数関数の概念を説明し、式、グラフについて解説する | スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する | (予習：2時間) 指数関数の式やグラフについて調べてくる (復習：2.5時間) 指数関数の式でとりうるx, yの値や指数関数の式をグラフにする方法を復習する |
| 10 | 小宮根 | [授業内容] 対数関数の概念を説明し、式、グラフについて解説する | スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する | (予習：2時間) 対数関数の式やグラフについて調べてくる (復習：2.5時間) 対数関数の式でとりうるx, yの値や対数関数の式をグラフにする方法を復習する |
| 11 | 小宮根 | [授業内容] 関数の式とグラフで、平行移動の関係について解説する | スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する | (予習：2時間) 今まで学習した関数の式やグラフについて理解しておく (復習：2時間) グラフが平行移動の関係になる関数の式の関係について復習する |
| 12 | 小宮根 | [授業内容] 関数の式とグラフで、対称や逆関数の関係について解説する | スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する | (予習：2時間) 今まで学習した関数の式やグラフについて理解しておく (復習：2時間) グラフが対称移動の関係になる関数の式の関係、逆関数となる関数の式の関係について復習する |

| | | | | | |
|--|--|------|--------|--------------------|---------|
| 科目名 | 【新カリ】細胞の生物学 | | | 授業形態 | 講義 |
| 英語科目名 | 【新カリ】細胞の生物学 | | | 対象学年 | 1年 |
| 開講学期 | 2022年度後期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | 枝松 裕紀 | | | ナンバリング | BI01118 |
| 担当教員 | 枝松 裕紀、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | 本科目は、講義の授業形態で行われる。細胞生物学はスポーツ健康科学を学ぶ上での基礎概念として重要であるのみならず、医療技術が高度化する現代で、より良い社会生活を送る上での基礎知識としても重要である。細胞生物学の諸概念（細胞の構造と機能、さらには、生化学反応や生体におけるその役割）を教科書から学ぶだけでなく、実際の映像などを通してより身近なものとして定着させ、講義内容の実社会への応用例に関しても理解を深める。 | | | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 細胞の構造を専門用語を用いて正しく説明できる。 2. 細胞の機能を専門用語を用いて正しく説明できる。 3. 細胞内での生化学反応や代謝について専門用語や化学式を用いて正しく説明できる。 4. 各種の細胞および組織のヒトの生命活動における役割を専門用語を用いて正しく説明できる。 5. 細胞生物学の専門用語を正しく使って生命科学の現代社会への影響を解説できる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・自然科学科目の選択必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目は「スポーツ健康科学に関連した幅広い知識を基礎とした教養」という学位授与方針の達成に寄与する。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | <p>[履修要件] 本授業の履修には、高等学校で「生物基礎」「生物」、あるいは「化学基礎」「化学」を履修していることが望ましい。</p> <p>[履修上の注意（科目独自のルール）] 1回の授業について、3分の2以上の出席時間がない場合は、その回の授業を欠席扱いとする。また、遅刻及び早退3回で、1回分の欠席としてカウントする。</p> | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | <p>[成績評価の方法] 定期試験（60～70%）、小テストおよび課題レポート（平常点込みで30～40%）で総合評価する。ただし、各評価の比率は小テスト等の実施状況によって、若干の変動があり得る。</p> | | | | |
| 評価基準 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 細胞の構造について、専門用語を用いて正しく説明できる（定期試験、小テスト）。 2. 細胞での代謝（栄養物の加工の過程）について、専門用語を用いて正しく説明できる（定期試験、小テスト）。 3. 遺伝子が働くしくみについて、専門用語を用いて正しく説明できる（定期試験、小テスト）。 4. 細胞の増殖のしくみについて、専門用語を用いて正しく説明できる。（定期試験、小テスト）。 5. 多様な細胞の機能について、専門用語を用いて正しく説明できる（定期試験、小テスト）。 6. 健康が維持されるしくみの概略を、細胞生物学の知識に基づいて説明できる（定期試験、小テスト、課題レポート）。 7. 授業中の発言や予習・復習の取組状況によって受講態度を評価する（平常点）。 | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 小テストは翌週の授業で返却し、模範解答などを提示して解説する。 ただし受講人数が多かったりするなど、小テストの返却が困難な場合には模範解答の提示のみ行う。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | | | | | |
| 参考文献 | | | | | |
| この科目では、必ず用意しなければならないテキストはない。授業では、プリント資料を適宜配付する。なお、授業の実施の状況によっては、プリント資料の紙媒体での配付は行わず、資料ファイルをJ-Passのクラスプロファイルにアップロードし、それを受講学生各自が閲覧やダウンロードする。なお参考書として、下記の書籍等を推薦する。 <ol style="list-style-type: none"> 1. Essential 細胞生物学 原著 第5版（南江堂）（授業では主にこのテキストを参考にする） 2. 高等学校「生物基礎」「生物」の教科書やその参考書（授業の補助教材として使いやすい） 3. 人体の細胞生物学（日本医事新報社）（図版が多く読みやすい） | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>[連絡先] 担当：枝松 裕紀 E-mail：h.edamatsu.xy[at]juntendo.ac.jp（[at]を@に変更してください）</p> <p>[オフィスアワー] 日時：開講学期中の木曜日 12時20分～13時10分 場所：2号館3階2316号室 上記の時間帯は予約がなくても対応しますが、E-mailで前日までに予約があった学生を優先します。</p> | | | | |
| 担当教員の実務経験 | 該当しない。 | | | | |
| 備考 | <p>[学習時間] この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、90時間（授業30時間以上を含む）の学修を必要とする内容をもって構成する。</p> <p>[その他] 受講人数が100人を超える場合には、高等学校での「生物基礎」「生物」の履修状況によって受講者の選別や授業方法の変更の可能性があります。 また、新型コロナウイルス感染症の発生状況により、授業計画等の変更をお願いする可能性があります。</p> | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 | |

| | | | | |
|---|-------|--|---|---|
| 1 | 枝松 裕紀 | <p>[授業内容] テーマ：イントロダクション「生物とは何か。細胞とは何か」 細胞の基本的な性質（膜に囲まれた構造を持ち、代謝を営み、自己複製し、その構造と機能を次世代に伝えていく）について概説し、この後の授業の受講に必須な予備知識を整理する。</p> | <p>配付資料や映像資料を用いながら、解説する。予習課題について発表してもらう。</p> | <p>(予習：100分) 細胞生物学を学ぶ意義について、自分の考えをまとめよ。</p> <p>(復習：50分) 配付資料や授業中に各自がとったノートや推薦参考書を見ながら、次の4つの項目について、授業で確認した内容を整理しておくこと。 (1) 細胞の膜の構造と役割、(2) 原核細胞、真核細胞、古細菌の違い(ウイルスは生物なのか)、(3) 代謝、(4) 自己複製と遺伝の法則</p> |
| 2 | 枝松 裕紀 | <p>[授業内容] テーマ：真核細胞の構造と機能 真核細胞を特徴づけている細胞小器官(特に、核、ミトコンドリア、小胞体、ゴルジ装置(あるいはゴルジ体))の構造と機能について解説する。</p> | <p>配付資料や映像資料を用いて、解説する。また、学生からの講義中の質問や意見を取り入れながら、授業を進める。</p> | <p>(予習：100分) 細胞小器官について、前回講義資料などを参考にしながら、確認しておくこと。単に名称を確認するだけではなく、各々の細胞小器官がどんな「細胞の基本的な性質(第1回の内容)」を担っているのか、各自の知識を整理しておくこと。なお、「エッセンシャル細胞生物学」の第1章が参考になる。</p> <p>(復習：100分) 配付資料や授業中に各自がとったノートを見ながら、細胞小器官の構造と機能について、授業で学習した内容を整理しておくこと。</p> |
| 3 | 枝松 裕紀 | <p>[授業内容] テーマ：細胞の化学成分 細胞の構造と機能の維持にかかる物質(タンパク質、核酸、脂肪酸、多糖など)について、それらの化学的性質について理解を深める。細胞内での化学反応を担う触媒である酵素についても、学ぶ。</p> | <p>配付資料や映像資料を用いて、解説する。また、学生からの講義中の質問や意見を取り入れながら、授業を進める。</p> | <p>(予習：100分) 細胞を構成する物質について、確認しておく。また化学結合(イオン結合、共有結合、水素結合)について、知識を整理しておく。高等学校で「化学基礎」を履修していないものは、高校教科書の該当部分をあらかじめ調べておくこと。なお、「エッセンシャル細胞生物学」の第2章が参考になる。</p> <p>(復習：100分) 配付資料や授業中に各自がとったノートを見ながら、タンパク質、核酸、脂肪酸、多糖の構造と機能について、授業で学習した内容を整理しておくこと。</p> |
| 4 | 枝松 裕紀 | <p>[授業内容] テーマ：遺伝と遺伝子① 遺伝子の本体であるDNAの構造と機能について、理解を深める。また、いわゆるセントラルドグマについても解説する。</p> | <p>配付資料や映像資料を用いて、解説する。また、学生からの講義中の質問や意見を取り入れながら、授業を進める。</p> | <p>(予習：100分) 第1回で習った遺伝の法則について、十分に確認しておくこと。また、第3回で取り扱った「核酸」と「水素結合」も確認しておくこと。特に、「エッセンシャル細胞生物学」の第5、6章が参考になる。</p> <p>(復習：100分) 配付資料や授業中に各自がとったノートを見ながら、DNAの構造とセントラルドグマについて、授業で学習した内容を整理しておくこと。</p> |
| 5 | 枝松 裕紀 | <p>[授業内容] テーマ：遺伝と遺伝子② DNAの複製と転写について、理解を深める。</p> | <p>配付資料や映像資料を用いて、解説する。また、学生からの講義中の質問や意見を取り入れながら、授業を進める。</p> | <p>(予習：100分) 第4回の内容を十分に確認しておくこと。特に「エッセンシャル細胞生物学」の第6～8章が参考になる。</p> <p>(復習：100分) 配付資料や授業中に各自がとったノートを見ながら、DNAの複製と転写について、授業で学習した内容を整理しておくこと。DNA複製と転写に関わる酵素や調節タンパク質のはたらきについて、自分で説明ができるように整理しておくこと。</p> |
| 6 | 枝松 裕紀 | <p>[授業内容] テーマ：遺伝と遺伝子③ タンパク質が合成される過程(翻訳)の概略を理解する。糖鎖付加やジスルフィド結合など小胞体で生じる翻訳後修飾についても解説する。さらに、組換えDNA技術についての入門的な内容を解説する。</p> | <p>配付資料や映像資料を用いて、解説する。また、学生からの講義中の質問や意見を取り入れながら、授業を進める。</p> | <p>(予習：100分) 第2回で取り上げた細胞小器官の内、核、小胞体、ゴルジ装置について、十分に確認しておくこと。また、第3回で取り上げたタンパク質と多糖についても確認しておくこと。特に、「エッセンシャル細胞生物学」の第7章が参考になる。</p> <p>(復習：100分) 配付資料や授業中に各自がとったノートを見ながら、タンパク質合成(翻訳と翻訳後修飾)について、授業で学習した内容を整理しておくこと。また、組換えDNA技術については、配付資料だけではなく、「エッセンシャル細胞生物学」の第10章なども参考に自己学習しておくこと。</p> |

| | | | | |
|----|-------|---|---|---|
| 7 | 枝松 裕紀 | <p>[授業内容] テーマ：代謝 体に取り込んだ栄養素からエネルギーを得たり（異化）、体を作る材料を合成したり（同化）する過程について学ぶ。</p> | <p>配付資料や映像資料を用いて、解説する。また、学生からの講義中の質問や意見を取り入れながら、授業を進める。</p> | <p>（予習：100分） 第2回で取り上げたミトコンドリア、第3回で取り上げた細胞の化学成分について、十分に確認しておくこと。この回の授業は、「エッセンシャル細胞生物学」の第13章が参考になる。</p> <p>（復習：100分） 配付資料や授業中に各自がとったノートを見ながら、解糖とクエン酸回路、電子伝達系について、授業で学習した内容を整理しておくこと。これらと関連して、必須アミノ酸やビタミンについても整理しておくこと。</p> |
| 8 | 枝松 裕紀 | <p>[授業内容] テーマ：細胞のシグナル伝達① ヒトのような多細胞生物での細胞間のシグナル伝達（ホルモンや神経伝達によるもの）に関わる分子（リガンドと受容体）について学ぶ。代謝の制御に関わるしくみの理解も深める。</p> | <p>配付資料や映像資料を用いて、解説する。また、学生からの講義中の質問や意見を取り入れながら、授業を進める。</p> | <p>（予習：100分） ホルモンによる代謝制御を理解するために、第7回の代謝の内容を十分に確認しておくこと。この回の講義は、「エッセンシャル細胞生物学」の第16章が参考になる。</p> <p>（復習：100分） 配付資料や授業中に各自がとったノートを見ながら、ホルモンや神経伝達について、授業で学習した内容を整理しておくこと。</p> |
| 9 | 枝松 裕紀 | <p>[授業内容] テーマ：細胞のシグナル伝達② 細胞内のシグナル伝達について、理解を深める。特に、ホルモンや光の情報を用いて細胞が受容体を使って受け取り解釈するしくみに関わるGタンパク質を中心に学ぶ。</p> | <p>配付資料や映像資料を用いて、解説する。また、学生からの講義中の質問や意見を取り入れながら、授業を進める。</p> | <p>（予習：100分） 第8回で取り上げた「リガンド」「ホルモン」「神経伝達物質」「受容体」の4つの用語について十分に理解しておく。「エッセンシャル細胞生物学」の第16章が参考になる。</p> <p>（復習：100分） 配付資料や授業中に各自がとったノートを見ながら、Gタンパク質とアデニル酸シクラーゼ、cAMP、ホスホジエステラーゼ、細胞内カルシウム貯蔵庫としての小胞体、イノシトールトリリン酸、ジアシルグリセロールについて、授業で学習した内容を整理しておくこと。</p> |
| 10 | 枝松 裕紀 | <p>[授業内容] テーマ：細胞のシグナル伝達③ 細胞内のシグナル伝達について、理解を深める。特に、細胞増殖因子による細胞内シグナル伝達に関わるRASについて、がん（癌）との関連も含めて学ぶ。</p> | <p>配付資料や映像資料を用いて、解説する。また、学生からの講義中の質問や意見を取り入れながら、授業を進める。</p> | <p>（予習：100分） リン酸化反応と脱リン酸化反応、Gタンパク質活性化と不活性化のしくみを中心に、第9回の内容を整理し十分に理解しておくこと。「エッセンシャル細胞生物学」の第16章が参考になる。</p> <p>（復習：100分） 配付資料や授業中に各自がとったノートを見ながら、細胞増殖の細胞内シグナル伝達の異常による発がんのしくみについて、授業で学習した内容を整理しておくこと。</p> |
| 11 | 枝松 裕紀 | <p>[授業内容] テーマ：細胞骨格と筋収縮 脂肪骨格を作るタンパク質について概説する。さらに筋収縮について理解を深める。</p> | <p>配付資料や映像資料を用いて、解説する。また、学生からの講義中の質問や意見を取り入れながら、授業を進める。</p> | <p>（予習：100分） 第9回で習った「細胞内カルシウム貯蔵庫としての小胞体」の機能を十分に理解しておく、筋収縮の学習の準備をしておくこと。「エッセンシャル細胞生物学」の第17章、「人体の細胞生物学」の第2章・3節が参考になる。</p> <p>（復習：100分） 配付資料や授業中に各自がとったノートを見ながら、筋収縮と細胞内カルシウムイオン動態との関連について、授業で学習した内容を整理しておくこと。T管など筋に特有な構造を筋の機能と関連付けて理解しておくこと。</p> |
| 12 | 枝松 裕紀 | <p>[授業内容] テーマ：細胞周期 細胞周期について説明する。哺乳動物細胞の体細胞分裂と減数分裂についても理解を深める。</p> | <p>配付資料や映像資料を用いて、解説する。また、学生からの講義中の質問や意見を取り入れながら、授業を進める。</p> | <p>（予習：100分） 体細胞分裂については高校「生物基礎」を、減数分裂については高校「生物」の教科書をもう一度復習しておくこと。また、「リン酸化反応」と「脱リン酸化反応」、それらを触媒する酵素である「キナーゼ」と「ホスファターゼ」について、特に第8階以降の内容をよく思い出して復習しておくこと。細胞周期については、「エッセンシャル細胞生物学」の第18、19章が参考になる。</p> <p>（復習：100分） 配付資料や授業中に各自がとったノートを見ながら、細胞周期の制御に関わる様々なキナーゼ（リン酸化酵素）の活性制御を中心に、授業で学習した内容を整理しておくこと。</p> |

| | | | | |
|--|--|--|--|--|
| | | | | |
|--|--|--|--|--|

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

| | | | | | |
|------------------------|--|--|--|--|---------|
| 科目名 | 【新カリ】一般化学 | | | 授業形態 | 講義 |
| 英語科目名 | 【新カリ】一般化学 | | | 対象学年 | 1年 |
| 開講学期 | 2022年度後期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | 馬場 猛 | | | ナンバリング | CHE1119 |
| 担当教員 | 馬場 猛、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | 【授業全体の内容】 本科目は、講義の授業形態で行われる。生体は有機物を始めとした様々な種類の化学物質の集合体である。この授業では、生体を構成する生体物質や体内で生じる反応を理解するために必須となる化学的知識の習得を目標とする。また、化学の基礎を学ぶだけでなく、生化学や生理学等の関連科目で扱われる生命現象との関連についても学ぶ。 | | | | |
| 到達目標 | 1. 単位について理解し単位換算ができる。 2. 化学の基礎用語を理解し、使うことができる。 3. 化学結合と物質の性質との関係を理解し、物質について徹視的な見方ができる。 4. 化学反応に関する基本的な概念や法則を理解し、基礎的な化学計算ができる。 5. 生命現象に関わりのある物質について化学的に考察できる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・自然科学科目の選択必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | この科目は「スポーツ健康科学に関連した幅広い知識を基礎とした教養」という学位授与方針の達成に寄与する。 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | [履修要件] 特になし [履修上の注意] 1. 授業計画に記載されている予習項目について調べておくこと。 2. 講義中、演示実験なども取り入れ授業を展開し、また演習問題も出題する。自分自身で考える習慣を身につけ、きちんと理解するように努めること。 | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | 中間試験（45%）、定期試験（45%）、演習問題（10%）を総合して評価する。 | | | | |
| 評価基準 | 1. 教科書の内容をもとに計算問題を出题し、適切な解法で解答できるかを評価する。 （到達目標1、到達目標4、評価方法：中間試験・期末試験） 2. 物質の構造や性質についての説明問題を出题し、正しく解答できるかを評価する。 （到達目標2、到達目標3、評価方法：中間試験・期末試験） 3. 生体関連物質に関わる問題を出题し、講義などの情報をもとに自ら考え、正しく解答できるかを評価する。 （到達目標5、評価方法：演習問題） 上記項目の総合的な問題を中間試験及び期末試験とする。 | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 中間試験等の解答は講義形式で解説を行う。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | 化学の視点 | 山倉文幸ほか | 東京教学社 | 9784808230524 | 授業中に指示 |
| 参考文献 | | | | | |
| 授業の際に提示する。 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | [連絡先] 担当：馬場 猛 E-mail：tkbaba [at] juntendo.ac.jp ※ [at] を@に変更してください。 [オフィスアワー] 日時：水曜日12：00～12：50 場所：2号館2階2212室 | | | | |
| 担当教員の実務経験 | | | | | |
| 備考 | [学修時間] この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、90時間（授業時間30時間以上を含む）の学修を必要とする内容をもって構成する。 [その他] 新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。 | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 * | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 | |
| 1 | 馬場 猛 | [授業内容] -ミクロの世界- 元素の周期性、原子構造及び核外電子配置等を学ぶ。 | 教科書とスライドを用いた講義。 教科書の問題をグループで話し合っ て解答し、それを発表する。 | (予習：2時間) 原子・分子・イオンについて学習しておくこと。 (復習：2時間) 講義中に与えられた問題を解いておくこと。 | |

| | | | | |
|----|------|--|--|--|
| 2 | 馬場 猛 | [授業内容] -化学結合- 原子から分子、分子から物質へ。化学結合について。 | 教科書とスライドを用いた講義。教科書の問題をグループで話し合っ て解答し、それを発表する。 | (予習：2時間) 化学結合について学習しておくこと。 (復習：2時間) 講義中に 出された問題を解いておくこと。 |
| 3 | 馬場 猛 | [授業内容] -物質の示す姿- 結晶の構造と性質について。 | 教科書とスライドを用いた講義。教科書の問題をグループで話し合っ て解答し、それを発表する。 | (予習：2時間) 物質の三態について学習しておくこと。 (復習：2時間) 講義中に 出された問題を解いておくこと。 |
| 4 | 馬場 猛 | [授業内容] -「溶ける」とは?- 溶解と溶液の性質、コロイドについて。 | 教科書とスライドを用いた講義。教科書の問題をグループで話し合っ て解答し、それを発表する。 | (予習：2時間) 溶解と溶液の性質について学習しておくこと。 (復習：2時間) 講義中に 出された問題を解いておくこと。 |
| 5 | 馬場 猛 | [授業内容] -気体の性質- 気体の体積・圧力・温度・物質量の関係について。 | 教科書とスライドを用いた講義。教科書の問題をグループで話し合っ て解答し、それを発表する。 | (予習：2時間) 気体の法則について学習しておくこと。 (復習：2時間) 講義中に 出された問題を解いておくこと。 |
| 6 | 馬場 猛 | [授業内容] -酸と塩基- 酸の定義。酸と塩基の強さについて。 | 教科書とスライドを用いた講義。教科書の問題をグループで話し合っ て解答し、それを発表する。 | (予習：2時間) 酸性・塩基性について学習しておくこと。 (復習：2時間) 講義中に 出された問題を解いておくこと。 |
| 7 | 馬場 猛 | [授業内容] 中間試験 | | 今までの授業内容を総復習しておくこと。(6時間) |
| 8 | 馬場 猛 | [授業内容] -化学反応とエネルギー- 熱化学方程式。反応熱について。 | 教科書とスライドを用いた講義。教科書の問題をグループで話し合っ て解答し、それを発表する。 | (予習：2時間) 化学変化や状態変化における熱の出入りに ついて学習 しておくこと。 (復習：2時間) 講義中に 出された問題を解いておくこと。 |
| 9 | 馬場 猛 | [授業内容] -反応の仕組み- 反応速度、活性化エネルギー、触媒について。 | 教科書とスライドを用いた講義。教科書の問題をグループで話し合っ て解答し、それを発表する。 | (予習：2時間) 化学反応の速さについて学習しておくこと。 (復習：2時間) 講義中に 出された問題を解いておくこと。 |
| 10 | 馬場 猛 | [授業内容] -化学平衡- 温度・圧力・濃度の変化に伴う化学平衡の移動について。 | 教科書とスライドを用いた講義。教科書の問題をグループで話し合っ て解答し、それを発表する。 | (予習：2時間) 化学平衡について学習しておくこと。 (復習：2時間) 講義中に 出された問題を解いておくこと。 |
| 11 | 馬場 猛 | [授業内容] -酸化・還元- 酸化・還元の定義。金属のイオン化傾向、電池、電気分解を理解する。 | 教科書とスライドを用いた講義。教科書の問題をグループで話し合っ て解答し、それを発表する。 | (予習：2時間) 電子のやりとりや酸化数および電池について 学習しておくこと。 (復習：2時間) 講義中に 出された問題を解いておくこと。 |
| 12 | 馬場 猛 | [授業内容] -脂肪族炭化水素- アルカン・アルケン・アルキンの命名及びそれらの性質について。 | 配布資料とスライドを用いた講義。 | (予習：2時間) 有機化合物の基本的な構造について学習して おくこと。 (復習：2時間) 講義中に 出された問題を解いておくこと。 |
| 13 | 馬場 猛 | [授業内容] -酸素を含む脂肪族化合物- アルコール・エーテル・アルデヒド・ケトン・カルボン酸などの有機化合物について。 | 配布資料とスライドを用いた講義。 | (予習：2時間) 官能基について学習しておくこと。 (復習：2時間) 講義中に 出された問題を解いておくこと。 |

| | | | | | |
|---|---|--------------------|---------------------------|---|---------|
| 科目名 | 【新カリ】基礎の物理 | | | 授業形態 | 講義 |
| 英語科目名 | 【新カリ】基礎の物理 | | | 対象学年 | 1年 |
| 開講学期 | 2022年度後期 | | | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | 矢田 雅哉 | | | ナンバリング | PSC1120 |
| 担当教員 | 矢田 雅哉、スポーツ健康科学部教員共通 | | | | |
| 授業概要 | | | | | |
| 全体内容 | 力学の基礎として、静力学・動力学を理解し、習得する。 その解析に必要な、物理単位・基礎的なベクトル計算・運動方程式について習熟し、物理現象を簡単な数式を交えて説明できるようにする。 さらに、基礎的な物理分野として熱・波・電磁気の基本的な性質を理解し、これにより起こる自然現象を説明できるようにする。 | | | | |
| 到達目標 | 1) 日常生活で用いる物理単位を正しく説明できる。 2) 力の分解と合成を作図で説明できる。 3) 力のモーメントのつり合い(てこの原理)を用いて、静力学現象を説明できる。 4) 力のつり合いと力のモーメントのつり合いを用いて、ポディメカニクスを説明できる。 5) 速度・加速度の違いを理解し、速度の変化する運動を説明できる。 6) 重力の介在する物理現象を理解し、物体の自由落下を説明できる。 7) 運動の法則を用いて、動力学現象を説明できる。 8) 熱とは何かを理解し、熱により引き起こされる物理現象を説明できる。 9) 音や光の波としての性質を理解し、波動現象の特徴を説明できる。 10) 電気の性質を理解し、日常生活における電磁気現象を説明できる。 | | | | |
| 授業の位置づけ | この科目は、一般教養科目群・自然科学科目の選択必修科目である。 | | | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | 物理学を通して「スポーツ健康科学を中心とした幅広い知識と教養」を修得する事が関連している。 ①「対人調整力」 ②「コミュニケーション力」 ③「スポーツ健康科学を中心とした幅広い知識と教養」 ④「①～③を応用し表現する能力」 ⑤「科学的知識を備えたスポーツ指導者の育成」 ⑥「スポーツ指導現場に詳しいスポーツ医学研究者の育成」 | | | | |
| 履修上の注意、履修要件 | 積極的に予習し、質問し、授業では演示実験や討論に参加すること。 ビデオ講義の場合でも身の回りにあるもので実験を行うことがあります。 自分の手でためし、考え、話し合ってください。 | | | | |
| 成績評価の方法 | | | | | |
| 評価方法 | 授業参加態度30%、レポート30%、期末試験40%の割合で評価する。 | | | | |
| 評価基準 | 授業の到達目標にある各目標に対して、以下の参加態度と提出物・期末試験で評価する。 ①授業中の応答やグループ討論への積極的な参加。(授業参加態度) ②課題レポートを提出し、各単元における理解度を評価する。(レポート) ③期末試験の得点。(期末試験) | | | | |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 | | | | | |
| 試験・レポート等の課題に対して、授業内に解答の解説を行う。類題を授業中に解き、発表を行います。 | | | | | |
| テキスト | | | | | |
| | 書名 | 著者 | 出版社 | ISBN | 備考 |
| | 身近な素材で実験する物理 | 初田真知子, 伊知地国夫, 矢田雅哉 | 丸善出版 | 978-4-621-30594-2 | |
| 参考文献 | | | | | |
| 授業中に関連テキスト・参考書を適宜伝えます。 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | 月曜 12:30~15:30。 オフィス「1号館3階 1315」 メール:m-yata[at]juntendo.ac.jp(※[at]を@に変換してください) | | | | |
| 担当教員の実務経歴 | | | | | |
| 備考 | 【学生に望むこと】 授業に積極的に参加し、自ら思考し、実験し、検証する態度を身に付けてください。 【学修時間】 この授業は、基本的に講義の授業形態による2単位の科目であり、90時間(授業30時間以上を含む)の学修を必要とする内容をもって構成する。 【その他】 新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。 | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法* | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 | |
| 1 | 矢田雅哉 | 物理量と単位 | 思考タイム、ディスカッション、講義 | 予習:「物理量と単位について」日常生活で触れる単位について調べる(学習時間2時間) 復習:課題レポート(学習時間2時間) | |
| 2 | 矢田雅哉 | アーチ石橋はなぜ強い? | 学生による実験、思考タイム、ディスカッション、講義 | 予習:「力の分解と合成」ベクトルについて調べる(学習時間2時間) 復習:課題レポート(学習時間2時間) | |

